第７回山口県地震・津波防災対策検討委員会

令和８年２月２７日（金）

山口県庁 本館棟４階 共用第２会議室

次　第

１　南海トラフ・周防灘断層帯地震津波被害想定の見直しについて
（１）第６回委員会における意見の整理　【資料１】
（２）被害想定見直し結果（案）等概要　【資料２】
（３）津波浸水想定図（瀬戸内海沿岸）（案）　【資料３】
（４）被害想定結果（案）　【資料４】
（建物・人的被害、ライフライン被害、経済被害）
（５）普及啓発資料（案）　【資料５】

２　県内活断層に係る地震被害想定の見直しについて
（業務計画）　【資料６】

３　日本海側の地震に係る地震津波被害想定の見直しについて
（想定地震、今後のスケジュール）　【資料７】

４　避難所運営検討部会での検討結果について　【資料８】

［配布資料］

資料１　第６回検討委員会における意見の整理

資料２　南海トラフ巨大地震の被害想定見直し結果（案）等 概要

（参考資料１）【市町別】南海トラフ巨大地震における主な被害想定結果（案）

資料３　津波浸水想定（瀬戸内海沿岸）について（解説）（案）

（参考資料２）津波浸水想定図（瀬戸内海沿岸）（案）

（参考資料３）【堤防が機能する条件】津波浸水想定図（瀬戸内海沿岸）（案）

資料４　被害想定結果（案）（建物・人的被害、ライフライン被害、経済被害）

（参考資料４）地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

（参考資料５）津波浸水想定の結果

（参考資料６）津波浸水想定の手法等

（参考資料７）被害想定計算手法の整理

（参考資料８）旧市町村別被害想定結果（案）

（参考資料９）各市町村で建物・人的被害最大となるケース

（参考資料 10）ケース別建物被害・人的被害（案）（建物被害・人的被害）

（参考資料 11）前回調査（H26.3）との比較（建物被害、人的被害）

（参考資料 12）第６回検討委員会（速報）との比較（建物被害、人的被害）

資料５　普及啓発資料（案）
（災害シナリオ、リーフレット、アニメーション動画）

資料６　令和７年度山口県地震被害想定調査業務 業務計画書

資料７　日本海側の地震に係る地震被害想定の見直しについて

資料８　避難所運営検討部会での検討結果について

山口県地震・津波防災対策検討委員会　委員名簿

所属・役職	氏名	備考
山口大学　名誉教授	三浦　房紀	会長
山口大学　名誉教授	山本　晴彦	
山口大学大学院創成科学研究科　教授	鈴木　素之	
山口大学大学院創成科学研究科　教授	朝位　孝二	御欠席
山口大学大学院創成科学研究科　教授	麻生　稔彦	
山口大学大学院創成科学研究科　教授	太田　岳洋	
山口大学大学院創成科学研究科　講師	秋田　知芳	御欠席
山口大学人文学部　教授	高橋　征仁	
山口大学教育学部　准教授	楮原　京子	
下関地方気象台　台長	別府　寿男	
日本防災士会山口県支部　女性部長	坂本　京子	
山陽小野田セーフティネットワーク　会長	岡本　志俊	御欠席
下関市総務部防災危機管理課　課長	上部　博範	
山口市総務部防災危機管理課　課長	伊藤　一孝	
萩市総務部防災危機管理課　課長	小野　彰彦	
岩国市総務部危機管理課　課長	藤村　聡明	

資料１

第７回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

第６回検討委員会における意見の整理

令和８年２月27日

第６回委員会における御意見について

御意見等	対応方針等
急傾斜地危険度予測結果の比較図について、前回調査結果と比較すると被害が大きく見える。	• 前回調査結果と今回調査結果とで被害箇所の表記の大きさが異なっていたため、同じ大きさに修正
津波浸水想定について、現状使えるデータで一番精度が高いものを用いていること、今回対象とした31河川以外にも河川遡上が生じ得る旨の説明を加えるとよい。	• 今後とりまとめる報告書において説明文を記載
建物被害の基礎資料となる建物データ等について、空き家等の建物の実態に応じたものとなっているのか。	• 空き家についての反映は困難 • なお、建物データについてはより実態に近い建物棟数となるよう、**改めて建物棟数データの精査を実施**

第６回委員会における御意見について

御意見等	対応方針等
人流データで盆20時頃に下関市でメッシュ人口が多いのは関門海峡花火大会の影響があるとのことだが、このような人口密集時には群衆雪崩や、屋台の火器による火災等が懸念されるが、負傷者等に影響はしないのか。	• **<u>改めて人流データの影響等も踏まえ人的被害推計の精査を実施</u>** ※群衆雪崩等のイベントに伴う人口密集時の被害については、本被害想定の対象外
被害想定結果の数字について、四捨五入しているため、０には小数点以下が含まれるものが含まれているとのことであるが、完全に０なのか、小数点以下の可能性があるのか分かるよう表記してほしい。	• 表記を修正 完全な０の場合…「０」 小数点以下の数字がある場合…「＊０」

第６回委員会における御意見について

御意見等	対応方針等
津波は必ずしも防波堤を超えて浸水するのではなく、河川からも浸水するため、アニメーションで表現で表現いただきたい。	• 河川からの浸水に係るアニメーション動画を作成

資料２

南海トラフ巨大地震の被害想定見直し結果（案）等 概要

１　被害想定の基本的な手法等

○　国被害想定(R7.3 公表)のデータや要因分析等を踏まえ、ボーリングデータや河川等の測量データ等の県独自データを取り入れ、より本県の実態に即した被害想定を実施。

○　検討委員会での意見を踏まえ、前回に比し、次のとおり変更

項　目	国	県(前回 H26)	県（今回見直し）
地震動解析	簡易計算手法		より**精度が高い計算手法**
津波浸水想定の対象河川(河川遡上)	―	13 河川	**31 河川**
	最小 10ｍメッシュ		**最小５ｍメッシュ**
被害想定算定単位	250ｍメッシュ		**人口集中地区：125ｍメッシュ** その他：250ｍメッシュ ※併せて**建物分布を精緻化**
人的・建物被害の発表単位	都道府県単位	市町単位	旧市町（56 市町村）単位
地震発生時の想定シーン(想定時間帯)	・冬・深夜（5 時） ・夏・昼（12 時） ・冬・夕方（18 時）		・盆・夜（20 時）を追加 ※観光や帰省で滞留人口が多くなるシーン

２　地震動予測（南海トラフ巨大地震）

項　目	推計値	前回(H26.3)	国結果(R6)
最大震度	６強(柳井市)	６強(柳井市平郡島)	震度６弱
震度６弱エリア	７市町(※)	７市町(※)	９市町

※岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町

＜前回（H26.3）からの変化の要因＞

一部地域を除き全体的に震度が低下

（要因）より詳細な分析が可能な最新の知見に基づく計算手法の採用
県独自データによる精緻な地盤モデルの作成

３　津波浸水想定(南海トラフ巨大地震・周防灘断層帯地震重ね合わせ)

津波防災地域づくりに関する法律に基づき、瀬戸内海沿岸の「津波浸水想定図」を作成するため、「瀬戸内海沿岸」で整理

※南トラと周防灘の浸水想定結果を重ね合わせ、最大となる浸水域を整理

項　目	① 推計値	② 前回(H26.3)	差 (①-②)	国結果(R6)
浸　水　面　積 (1cm 以上：浸水想定区域)	9,768 ha	8,659 ha	1,109 ha	約 3,200 ha
浸　水　面　積 (30cm 以上:死者発生可能性)	8,425 ha	7,466 ha	959 ha	約 2,500 ha
最　大　津　波　高	3.7m （光）	3.8m (下関、柳井、平生)	▲0.1m	5 m (小数点切り上げ整数表示)
最大津波到達時間（県内最速）	117 分 （光漁港）	116 分 (光漁港)	1 分	－

＜前回（H26.3）からの変化の要因＞

浸水面積が約１割増加

（要因）中小河川遡上の考慮、地形データの更新

４　主な被害想定結果（案）（南海トラフ巨大地震）

項　目	① 推計値	② 前回(H26)	差 (①-②)	国結果(R6)
死　者　数	502 人	614 人	▲112 人	約 500 人
（うち津波）	(474 人)	(582 人)	(▲108 人)	(約 400 人)
負　傷　者　数	1,446 人	1,477 人	▲31 人	約 5,200 人
（うち重傷者）	(129 人)	(98 人)	31 人	－
全壊・焼失棟数	9,738 棟	5,926 棟	3,812 棟	約 4,900 棟
（うち液状化）	(3,124 棟)	(1,771 棟)	(1,353 棟)	(約 2,600 棟)
（うち津波）	(5,844 棟)	(3,454 棟)	(2,390 棟)	(約 900 棟)
避難者数(1 日後)	245,720 人	167,643 人	78,077 人	約 53,000 人
災害関連死者数	641～1,282 人	－	－	－
上水道(直後の断水)	85,592 人	210,612 人	▲125,020 人	約 750,000 人
下水道(直後の断水)	4,244 人	6,275 人	▲2,031 人	約 790,000 人
電力(直後の停電)	13,443 軒	14,432 軒	▲989 軒	約 940,000 軒
通信(直後の固定電話不通)	7,546 回線	9,381 回線	▲1,835 回線	－
ガス(直後の供給停止)	4,672 戸	0 戸	4,672 戸	0 戸
経　済　被　害	約 1.9 兆円	約 1.2 兆円	約 0.7 兆円	－

＜前回（H26.3）からの変化の要因＞

○**死者数：約２割の減少**（津波による人的被害減）

（要因）人口の減少、津波避難に係る分析方法の精緻化

・メッシュ細分化（250m→最小５m）による避難距離の短縮

・避難者分類・地形勾配の考慮による避難時間の短縮

○**全壊・焼失棟数：約６割の増加**（液状化・津波による建物被害増）

（要因）建物分布の精緻化

・液状化被害の多い埋立地や津波被害の多い沿岸部に建物が集中

○**避難者数：約５割の増加**

（要因）避難者数算定手法の変更（近年の大規模災害での実情を反映）

○**ライフライン被害：ガス被害戸数の増加**

（要因）津波浸水の増（SI ｾﾝｻｰ浸水によるブロック単位での供給停止）

○**経済被害：約６割の増加**

（要因）建物被害増による家計部門の被害額増

【市町別】南海トラフ巨大地震における主な被害想定結果（案）

	地震動	津波		被害想定						
		代表地点における		人的被害（人）		建物被害（棟）				生活支障(人)
	最大震度	最高津波水位（T.P.m）	最高津波水位到達時間（分）	死者	負傷者	全壊棟数	火災による焼失棟数	全壊・焼失棟数	半壊棟数	避難者
下関市	5弱	3.5	249	10	1	324	0	324	1,288	14,268
宇部市	5強	2.9	314	26	15	871	0	871	5,360	36,340
山口市	5強	3.0	310	14	2	451	0	451	1,556	9,539
萩市	5弱	－	－	＊0	＊0	2	0	2	7	30
防府市	5弱	3.2	133	51	3	296	0	296	1,919	17,271
下松市	5強	3.3	131	6	3	21	0	21	439	8,193
岩国市	6弱	3.0	223	65	574	2,600	204	2,804	15,628	66,308
光市	5強	3.7	123	5	5	312	0	312	1,258	9,326
長門市	4	－	－	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	6強	3.6	176	67	498	963	36	999	4,881	14,569
美祢市	5弱	－	－	＊0	＊0	0	0	0	0	0
周南市	5強	3.5	139	75	15	501	0	501	2,926	22,633
山陽小野田市	5弱	3.6	250	28	1	1,204	0	1,204	3,840	16,062
周防大島町	6弱	3.6	174	50	176	989	8	996	4,576	10,476
和木町	6弱	3.0	220	8	38	229	＊0	229	1,364	5,529
上関町	6弱	3.6	128	10	13	47	0	47	347	1,882
田布施町	6弱	3.3	123	5	24	181	＊0	181	1,024	4,934
平生町	6弱	3.0	127	82	78	502	＊0	502	2,718	8,360
阿武町	5強	－	－	＊0	＊0	0	0	0	8	1
合計				502	1,446	9,490	248	9,738	49,137	245,720

※1　津波については、市町ごとに設定している主要な港湾・漁港等（代表地点）での最高津波水位。代表地点が複数ある場合は高い値を採用。
※2　1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3　小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

【市町別】南海トラフ巨大地震における主な被害想定結果
前回被害想定結果（H26.3）

	地震動	津波		被害想定						
		代表地点における※2		人的被害（人）		建物被害（棟）				生活支障(人)
	震度	最高津波水位（T.P.m）	最高津波水位到達時間（分）	死者	負傷者	全壊棟数	火災による建物被害	全壊・焼失棟数	半壊棟数	避難者
下関市	5弱	3.8	245	38	0	166	0	166	852	15,570
宇部市	5強	3.2	306	29	0	423	0	423	3,694	18,252
山口市	5強	3.2	308	21	7	641	0	641	1,565	9,059
萩市	5弱	－	－	0	0	32	0	32	3	23
防府市	5強	3.1	133	1	6	219	0	219	1,525	9,579
下松市	5強	3.2	130	0	1	31	0	31	258	1,442
岩国市	6弱	3.0	223	286	833	1,637	31	1,668	14,205	41,168
光市	5強	3.6	116	0	3	205	0	205	334	7,728
長門市	5弱	－	－	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	6強※	3.8	174	70	190	725	0	725	8,069	12,590
美祢市	5弱	－	－	0	0	0	0	0	0	0
周南市	5強	3.5	139	49	4	128	0	128	2,286	18,120
山陽小野田市	5弱	3.7	251	45	3	746	0	746	3,099	11,962
周防大島町	6弱	3.7	173	71	230	351	0	351	2,374	7,735
和木町	6弱	3.0	218	1	98	297	0	297	1,601	3,619
上関町	6弱	3.6	128	1	32	44	0	44	470	2,121
田布施町	6弱	3.4	124	0	21	49	0	49	551	2,200
平生町	6弱	3.8	128	1	49	202	0	202	2,138	6,476
阿武町	5強	－	－	0	0	0	0	0	0	0
合計 ※3				614	1,477	5,895	31	5,926	43,021	167,643

※1 6強は平郡島のみ。平郡島以外の最大は6弱。
※2 市町ごとに設定している主要な港湾・漁港等（代表地点）での最高津波水位。代表地点が複数ある場合は高い値を採用。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

資料３

津波浸水想定（瀬戸内海沿岸）について

（ 解 説 ）（案）

１　津波対策の考え方

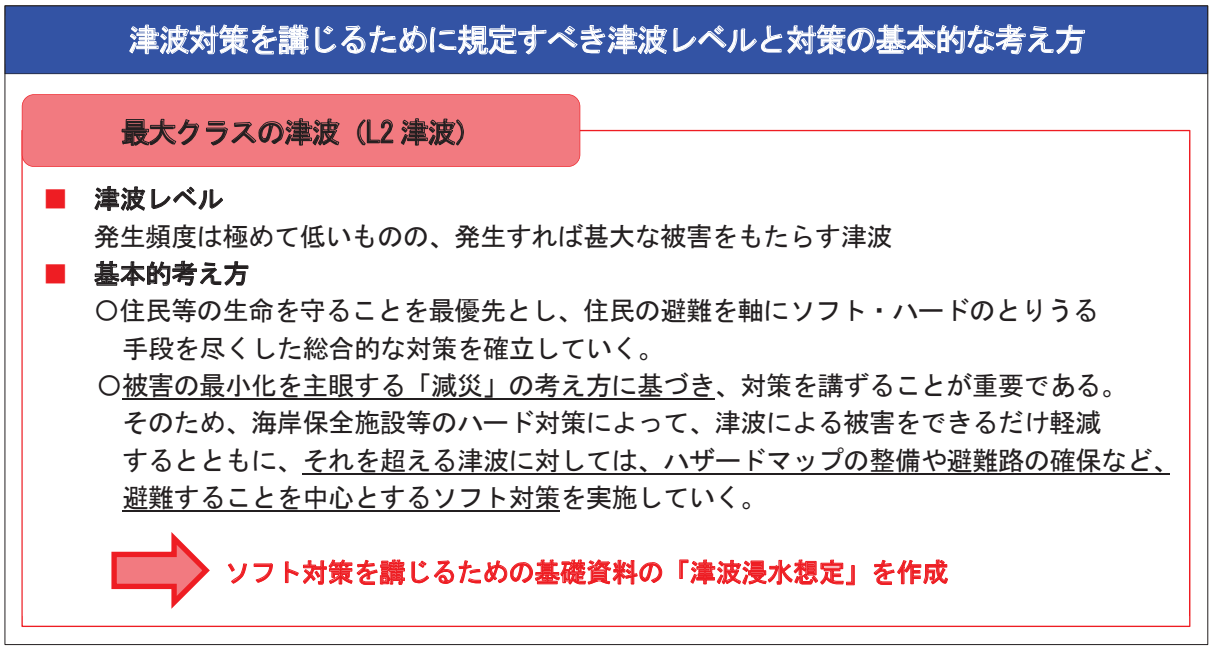
平成 23 年３月 11 日に発生した東日本大震災による甚大な津波被害を受け、内閣府中央防災会議専門調査会では、新たな津波対策の考え方を平成 23 年９月 28 日（東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告）に示しました。

この中で、今後の津波対策を構築するにあたっては、基本的に二つのレベルの津波を想定する必要があるとされています。

一つは、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で想定する「最大クラスの津波」（Ｌ２津波）で、もう一つは、海岸堤防などの構造物によって津波の内陸への浸入を防ぐ海岸保全施設等の建設を行う上で想定する「比較的発生頻度の高い津波」（Ｌ１津波）です。

「最大クラスの津波」（Ｌ２津波）に対して総合的防災対策を構築する際の基礎となる瀬戸内海沿岸の津波浸水想定については平成 25 年 12 月に、「比較的発生頻度の高い津波」（Ｌ１）に対応する設計津波潮位は平成 27 年 11 月に設定しました。

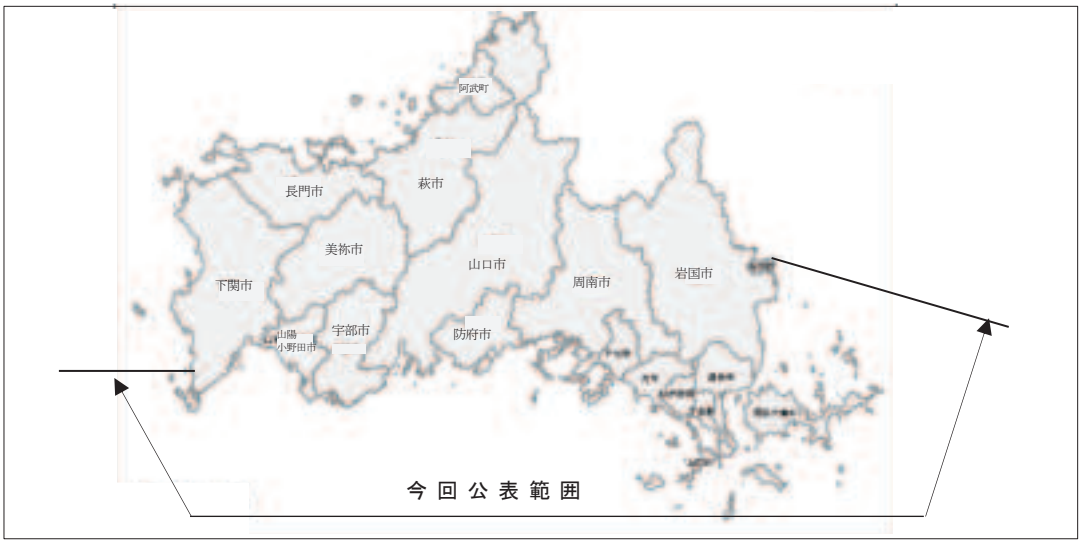
この度、「最大クラスの津波」（Ｌ２津波）に対応する瀬戸内海沿岸の津波浸水想定について、令和７年３月に内閣府が公表した「南海トラフ巨大地震に係る新たな被害想定」を踏まえ、「山口県地震・津波防災対策検討委員会」（学識者等で構成）において様々な意見をいただき、見直しを行いました。



図－１　津波対策を講じるために想定すべき津波レベルと対策の基本的な考え方

2　今回の公表範囲

本県では、全県域について津波浸水想定図を作成することとしていますが、今回は国の南海トラフ巨大地震の公表を踏まえた、瀬戸内海沿岸で想定される「最大クラスの津波」（Ｌ２津波）による浸水想定を公表します。



図－２　今回津波浸水想定を公表する範囲

3　留意事項

津波浸水想定をご覧いただく際には、次の留意事項をご確認ください。

○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成２３年法律第１２３号）第８条第１項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を設定し計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示しませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

4　津波浸水想定の記載事項及び用語の解説

（１）記載事項

＜基本事項＞

①浸水域

②浸水深

③留意事項（３の事項）

（２）用語の解説（図―３参照）

①浸水域

海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域。

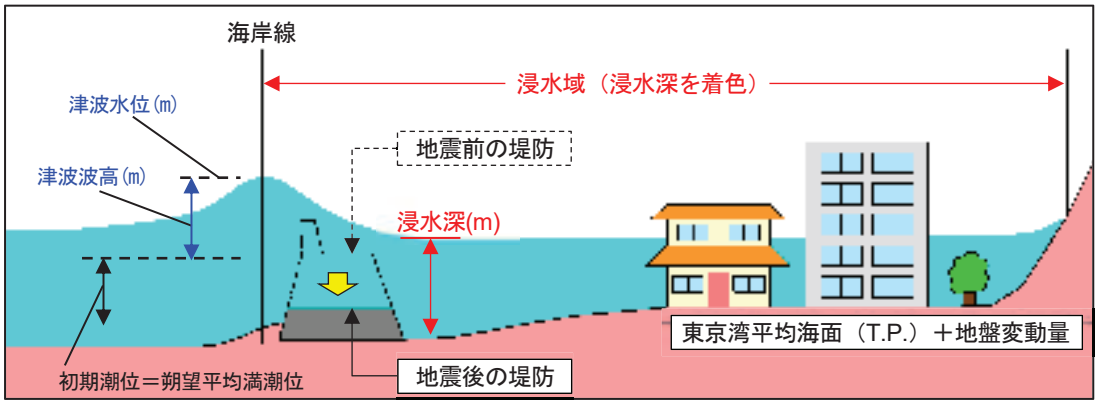
②浸水深

・陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ。

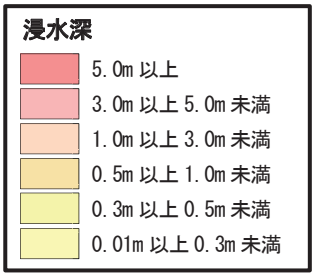
・図－４のような凡例で表示。

③最高津波水位について

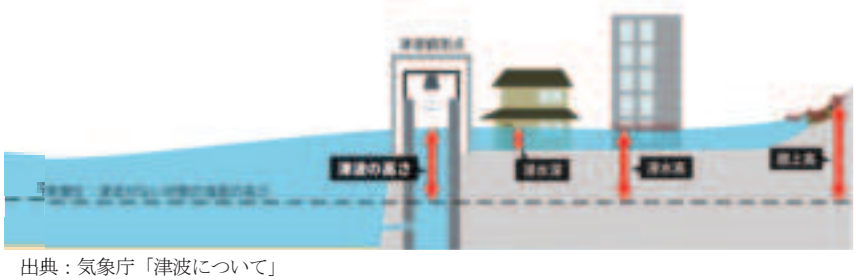
津波襲来時の海岸線から沖合約３０ｍの地点における津波水位の最大値（地盤変動量を考慮した値）。なお、気象庁が発表する津波の高さは、平常潮位（津波が無かった場合の同じ時刻の潮位）からの高さ（図－５）で、最高津波水位とは基準が異なります。



図－３　津波水位の定義（山口県）



図－４　浸水深凡例



出典：気象庁「津波について」

図－５　津波の高さの定義（気象庁）

５　瀬戸内海沿岸の対象津波（「最大クラスの津波」（Ｌ２津波））の設定について

（１）過去に山口県沿岸に襲来した津波について

過去に山口県沿岸に襲来した既往津波については、文献や「東北大学津波痕跡データベース」から津波高に係る記録が確認できた津波を抽出・整理しました。

（２）山口県沿岸に襲来する可能性がある想定津波について

中央防災会議「東南海・南海地震等に関する専門調査会」から公表された「東南海・南海地震」に伴う津波に加え、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が公表した１１ケースの津波断層モデルによる津波及び、地震調査研究推進本部が公表した長期評価を参考とした周防灘断層帯（瀬戸内海域の活断層）の地震による津波について検討を行いました。

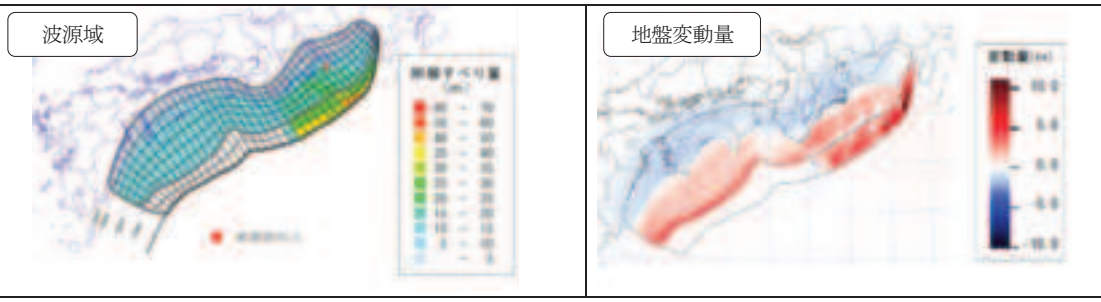
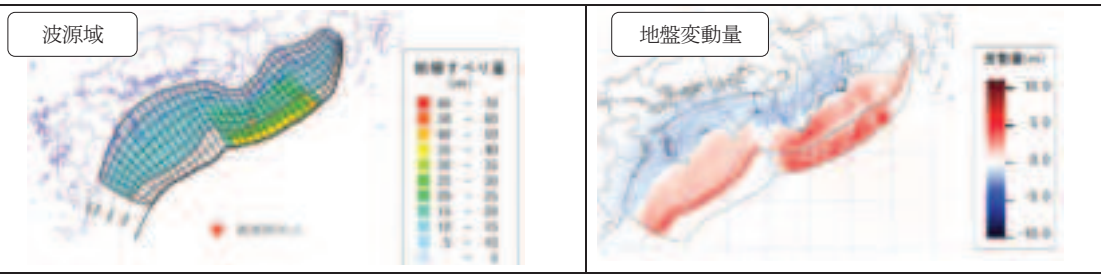
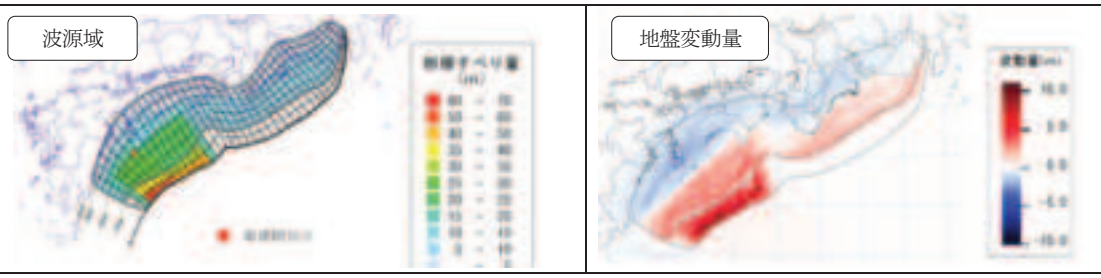
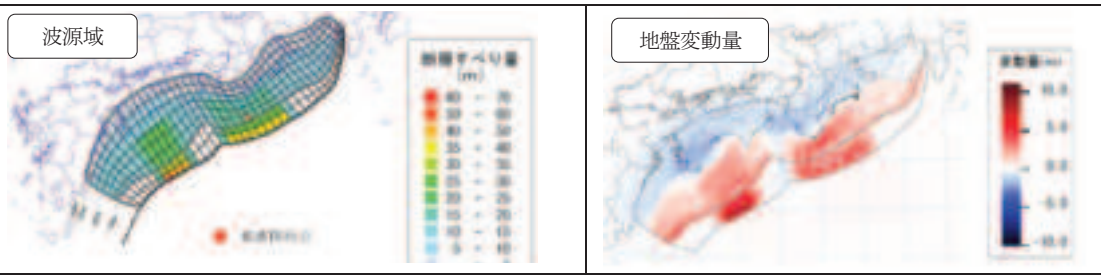
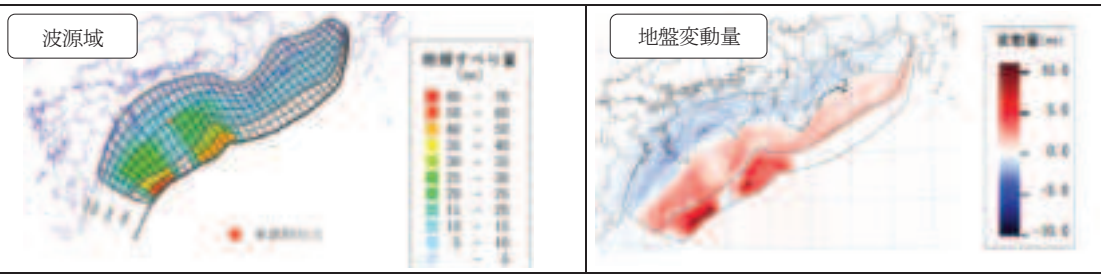
（３）選定した最大クラスの津波について

山口県の瀬戸内海沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される津波断層モデルとして、次の６つの津波を選定しました。

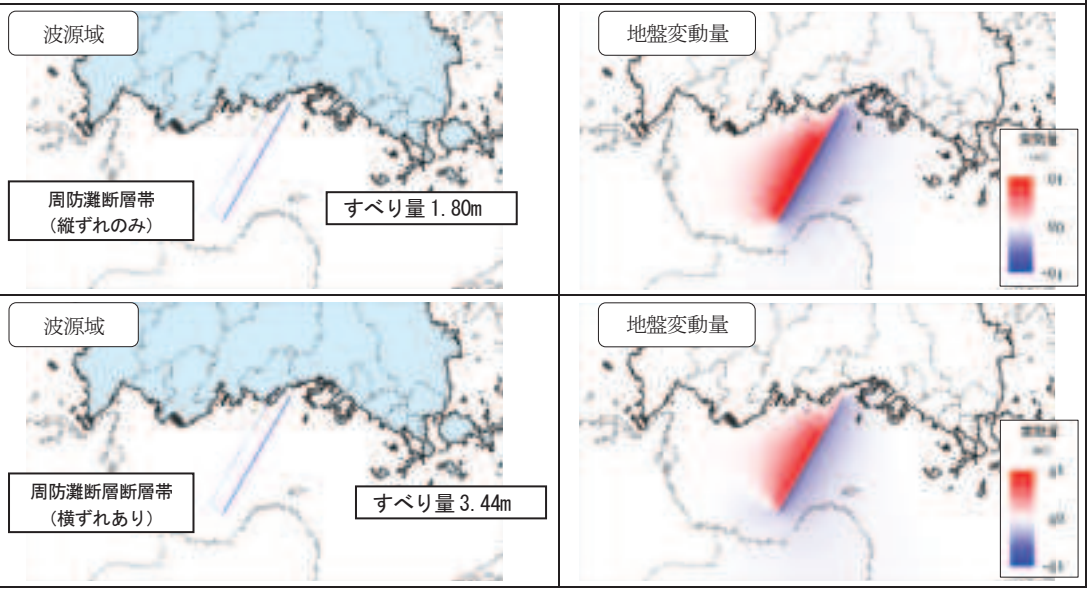
- 南海トラフ巨大地震
  （１１ケースの津波断層モデルのうち、山口県沿岸に対して津波の影響が大きいと想定されるケース１、２、５、１０、１１の５つのモデルを選定しました。）
- 周防灘断層断層帯

以上より、次の６ケースを津波シミュレーション対象ケースとして選定

① 南海トラフ巨大地震　ケース１
② 南海トラフ巨大地震　ケース２
③ 南海トラフ巨大地震　ケース５
④ 南海トラフ巨大地震　ケース１０
⑤ 南海トラフ巨大地震　ケース１１
⑥ 山口県独自モデル　周防灘断層帯（横ずれあり、縦ずれのみ）

対象津波①	南海トラフ巨大地震による津波ケース1	モーメントマグチュード9.1	使用モデル：ケース①　「駿河湾～紀伊半島沖」に「大すべり域＋超大すべり域」を設定 
対象津波②	南海トラフ巨大地震による津波ケース2	モーメントマグチュード9.1	使用モデル：ケース②　「紀伊半島沖」に「大すべり域＋超大すべり域」を設定 
対象津波③	南海トラフ巨大地震による津波ケース5	モーメントマグチュード9.1	使用モデル：ケース⑤　「四国沖～九州沖」に「大すべり域＋超大すべり域」を設定 
対象津波④	南海トラフ巨大地震による津波ケース10	モーメントマグチュード9.1	使用モデル：ケース⑩「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に「大すべり域＋超大すべり域」を２箇所設定 
対象津波⑤	南海トラフ巨大地震による津波ケース11	モーメントマグチュード9.1	使用モデル：ケース⑪　「室戸岬沖」と「日向灘」に「大すべり域＋超大すべり域」を２箇所設定 

図－６（１）　対象津波断層モデル

対象津波⑥	山口県独自モデルによる想定地震津波	マグチュード7.6	地震調査研究推進本部から平成20年11月に公表された「宇部沖断層群（周防灘断層群）の評価」による 

図－６（２）　対象津波断層モデル

（４）津波浸水シミュレーションについて

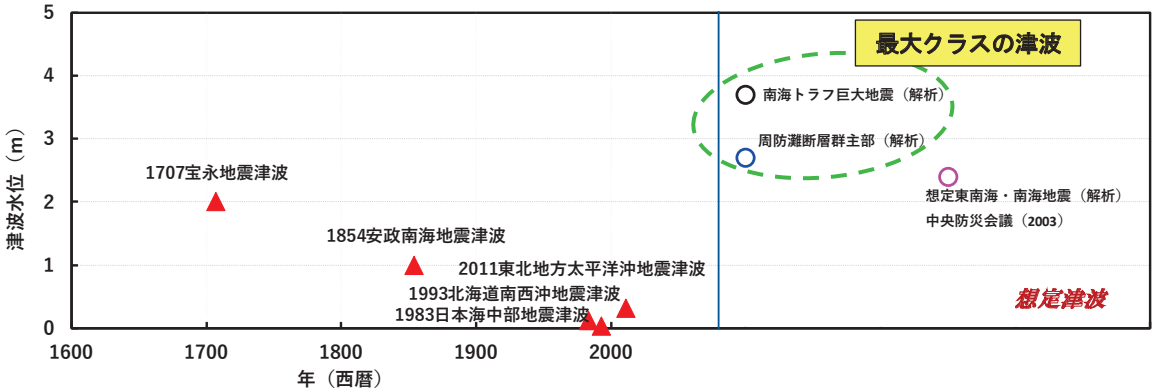
選定した６ケースについて、津波浸水シミュレーションを実施しました。

（５）津波浸水想定図の作成について

津波浸水想定図は、６ケースのシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を表しました。

（６）最大クラスの津波の設定について

過去に山口県沿岸に襲来した各種既往津波と今後襲来する可能性がある各種想定津波の津波水位を用いて、次のグラフを作成し、津波水位が最大となる津波を最大クラスの津波として設定しました。



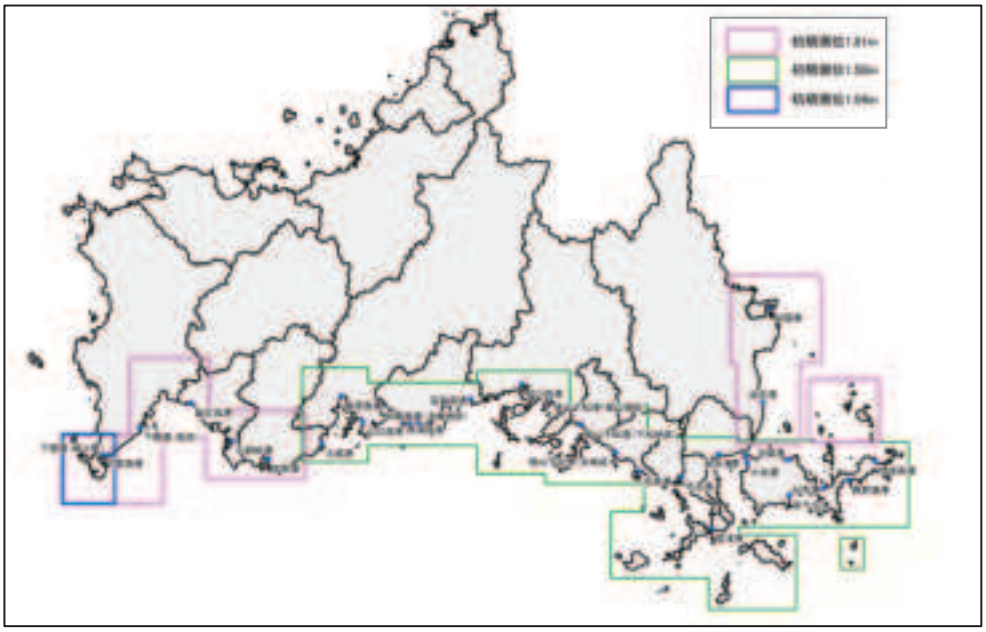
図―７　最大クラスの津波を設定するためのグラフ

６　主な計算条件の設定

次の悪条件下を前提に計算条件を設定しました。

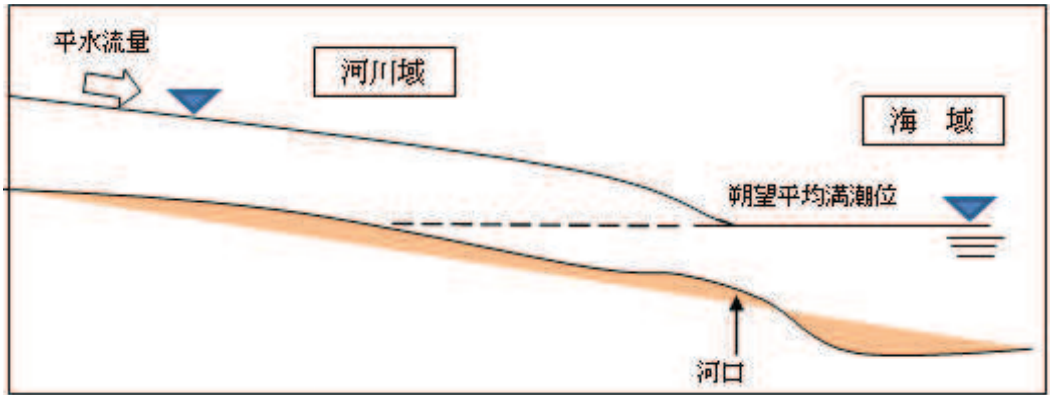
（１）潮位について

①海域については、山口県の海岸保全施設等の設計用に設定した朔望平均満潮位を基に初期潮位を決定しました。



図－８　設定初期潮位（T.P.m）

②河川内の水位については、平水流量及び沿岸の朔望平均満潮位を基に算出しました。



図―９　初期水位の設定

（２）地盤の沈下について

地盤高については、地震による地盤の沈下を考慮しました。

（３）各種構造物の取り扱いについて

①地震や津波による各種施設の被災を考慮しました。また、水門・陸閘等については、操作者の安全性確保の観点から閉鎖しないことを想定し、開放状態として取り扱うこととしています。

②各種構造物については、津波が越流し始めた時点で「破壊する」ものとし、破壊後の形状は「無し」としています。

表―１　　構造物条件

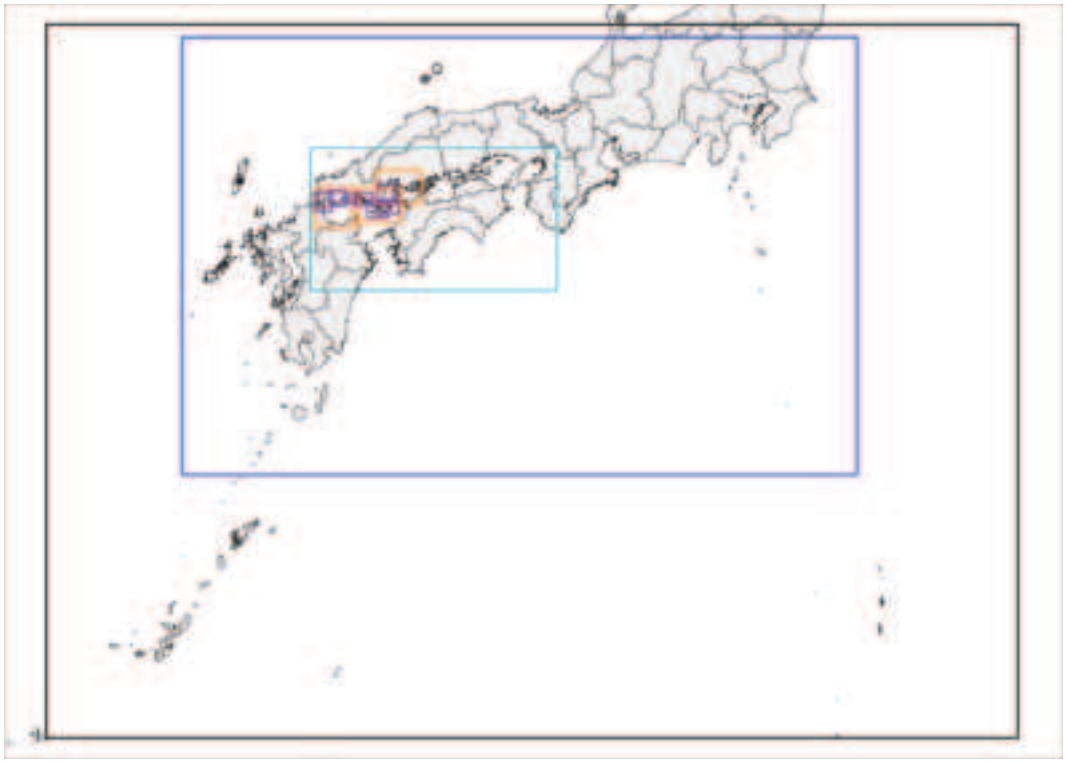
構造物の種類	条件
護　岸	今回想定された地震に対し、耐震や液状化に対する十分な対策が実施出来ていない区間については、構造物無しとしています。
堤　防	今回想定された地震に対し、耐震や液状化に対する十分な対策が実施出来ていない区間については、堤防高を地震前の２５％の高さとしています。
防波堤	今回想定された地震に対し、耐震や液状化に対する十分な対策が実施出来ていない区間については、構造物無しとしています。
道路・鉄道	地形として取り扱います。
水門等	開放状態として取り扱います。
建築物	建物の代わりに津波が遡上する時の摩擦（粗度）を設定しています。

（４）シミュレーションの基本条件について

①計算領域及び計算格子間隔

計算領域は、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」での解析条件を踏襲し、震源を含む範囲としました。

計算格子間隔は、陸域から沖に向かい 5m、10m、30m、90m、270m、810m、2430m としました。沿岸部の計算格子間隔は 10m を基本として、津波の影響度が高い河川が位置する箇所は 5m としました。



図－１０（１）　計算領域及び計算格子間隔（2430m～30m）

図－１０（２）　計算領域及び計算格子間隔（10m～5m）

②計算時間及び計算時間間隔

計算時間は、津波による最大浸水範囲、最大浸水深が計算できるように最大 12 時間とし、計算時間間隔は、計算が安定するように 0.05～0.15 秒間隔としました。

③陸域及び海域地形

1）陸域地形

・国土交通省国土地理院が実施した航空レーザー測量結果等を用いて作成しました。

・河川や海岸構造物等は、各施設管理者の測量結果等を用いて作成しました。

2）海域地形

・海域地形は、H24 年内閣府公表の津波解析モデルデータを用いました。

7　浸水面積等について

（1）浸水面積

今回の津波浸水想定による瀬戸内海沿岸 15 市町の浸水面積は下記のとおりです。

表―2　市町別浸水面積

市　町	浸水面積（ha）
下 関 市	658
宇 部 市	746
山口市	1,736
防府市	1,140
下松市	193
岩国市	1,695
光市	107
柳井市	519
周南市	621
山陽小野田市	934
周防大島町	549
和木町	76
上関町	160
田布施町	190
平生町	445
計	9,768

※浸水面積は、河川等部分を除いた陸域部の浸水深１ｃｍ以上。小数点以下第１位を四捨五入。

（２）市町別の代表地点における最高津波水位等

最高津波水位、海面変動などを示すため、瀬戸内海沿岸の代表的な地点を定めました。

今回の津波浸水想定による代表地点における最高津波水位、津波波高、最高津波水位到達時間、海面変動影響開始時間は下記のとおりです。

①南海トラフ巨大地震

表－３　代表地点の最高津波水位等

市町	代表地点名	最高津波水位（m）	うち津波波高（m）	最高津波水位到達時間（分）	海面変動＋30cm時間（分）	海面変動＋1m時間（分）
下関市	下関漁港	1.5	0.4	642	425	－
	下関港（彦之町）	2.4	1.3	254	220	240
	下関港（長府）	3.5	1.7	249	210	225
宇部市	宇部港	2.8	1.0	387	204	－
	丸尾港	2.9	1.3	314	135	155
山口市	椙原漁港	2.6	1.0	335	157	－
	秋穂漁港（秋穂地区）	3.0	1.4	310	135	302
	秋穂漁港（大海地区）	3.0	1.4	312	132	136
防府市	西浦漁港	2.7	1.1	310	128	305
	三田尻中関港（中関地区）	2.5	1.0	308	122	140
	三田尻中関港（三田尻地区）	2.8	1.2	126	119	123
	富海漁港	3.2	1.6	133	119	130
下松市	徳山下松港（下松市地区）	3.3	1.7	131	117	122
岩国市	由宇港	2.7	0.9	419	165	－
	岩国港	3.0	1.2	223	160	210
光市	徳山下松港（光地区）	3.7	2.2	123	103	106
	光漁港	3.6	2.0	117	98	113
柳井市	柳井港	3.6	2.1	176	54	106
周南市	福川漁港	3.5	1.9	139	123	127
	徳山下松港（徳山地区）	3.4	1.8	143	120	132
山陽小野田市	埴生漁港	3.6	1.8	250	212	222
	小野田港	3.3	1.5	248	208	226
周防大島町	久賀港	2.8	1.2	181	160	178
	白木港	2.8	1.3	197	130	191
	伊保田港	2.6	1.0	197	135	－
	安下庄港	3.1	1.6	170	47	125
	小松港	3.6	2.0	174	56	108
和木町	小瀬川河口	3.0	1.2	220	161	207
上関町	室津港	3.6	2.0	128	103	113
田布施町	尾津漁港	3.3	1.8	123	103	115
平生町	平生港	3.0	1.4	127	107	119

②周防灘断層帯の地震

表－４　代表地点の最高津波水位等

市町	代表地点名	最高津波水位（m）	うち津波波高（m）	最高津波水位到達時間（分）	海面変動＋30cm時間（分）	海面変動＋1m時間（分）
下関市	下関漁港	1.2	0.1	97	－	－
	下関港（彦之町）	1.4	0.3	66	－	－
	下関港（長府）	2.3	0.5	60	55	－
宇部市	宇部港	2.6	0.8	36	26	－
	丸尾港	2.6	1.0	25	15	－
山口市	椙原漁港	1.8	0.3	80	－	－
	秋穂漁港（秋穂地区）	2.7	1.1	24	17	－
	秋穂漁港（大海地区）	2.5	1.0	21	17	－
防府市	西浦漁港	2.0	0.5	13	12	－
	三田尻中関港（中関地区）	2.1	0.5	8	7	－
	三田尻中関港（三田尻地区）	2.2	0.6	26	24	－
	富海漁港	2.2	0.6	54	20	－
下松市	徳山下松港（下松市地区）	2.1	0.6	51	33	－
岩国市	由宇港	2.0	0.2	232	－	－
	岩国港	2.0	0.2	250	－	－
光市	徳山下松港（光地区）	2.5	0.9	75	31	－
	光漁港	2.4	0.8	56	37	－
柳井市	柳井港	2.1	0.5	151	149	－
周南市	福川漁港	2.3	0.8	181	32	－
	徳山下松港（徳山地区）	2.2	0.6	40	35	－
山陽小野田市	埴生漁港	2.4	0.6	93	55	－
	小野田港	2.3	0.5	112	46	－
周防大島町	久賀港	1.7	0.2	121	－	－
	白木港	1.8	0.2	218	－	－
	伊保田港	1.7	0.2	203	－	－
	安下庄港	2.0	0.4	128	128	－
	小松港	1.9	0.3	148	－	－
和木町	小瀬川河口	2.0	0.1	251	－	－
上関町	室津港	2.1	0.5	52	50	－
田布施町	尾津漁港	2.2	0.6	65	60	－
平生町	平生港	2.1	0.6	66	63	－

※この津波浸水想定は、現在の知見を基に津波の浸水予測を行ったものであり、想定より大きな津波が襲来し、津波波高が高く、到達時間は早くなる可能性があります。

※「最高津波水位」は、海岸線から沖合約３０ｍの地点における津波水位の最大値（地盤変動量を考慮した値）を示し、小数点以下第２位を切上げています。

※「海面変動＋３０ｃm時間」は、代表地点で地震発生直後海面に＋３０ｃｍ（被害想定において海辺にいる人の中に死者が発生する恐れのある水位の変化）の変動が生じるまでの時間です。「海面変動＋１m時間」は、代表地点で地震発生直後海面に＋１ｍ（被害想定において海辺にいる人の１００％が死亡する恐れのある水位の変化）の変動が生じるまでの時間です。

なお、「－」は、設定の水位変化が生じる津波が到達していないことを示しています。

※「最高津波水位」、「海面変動＋３０ｃm時間」および「海面変動＋１m時間」は、津波断層モデルが異なることがあります。

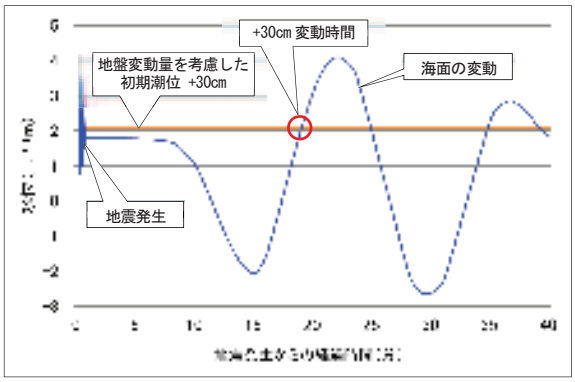
（３）海面変動時間予測図

海面変動や津波によって海辺にいる人の人命に影響する恐れのある水位の変化が生じるまでの時間を示しています。

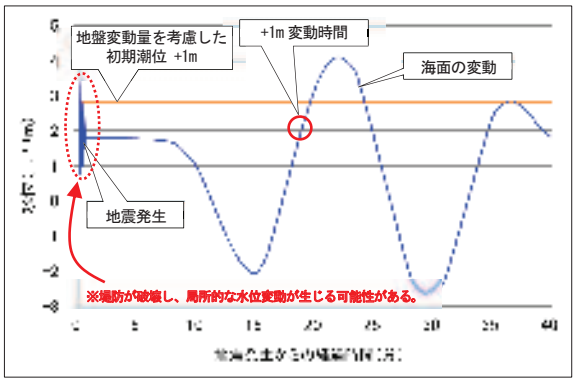
■地震発生直後の海面に＋３０ｃｍおよび＋１ｍの変動が生じるまでの時間です。
■実際は、この時間どおりになるとは限りません。揺れがおさまったら、すぐに避難を開始しましょう。
■海面の変動が＋３０ｃｍおよび＋１ｍより小さくても、海水の流速が早く、危険な場合もあります。注意しましょう。
■地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで、＋３０ｃｍおよび＋１ｍの海面変動時間よりも早くに浸水が開始する可能性がありますが、津波による海面変動時間として評価しておりません。この影響により局所的な水位変動が生じ、被害が生じる可能性がありますので、注意が必要です。

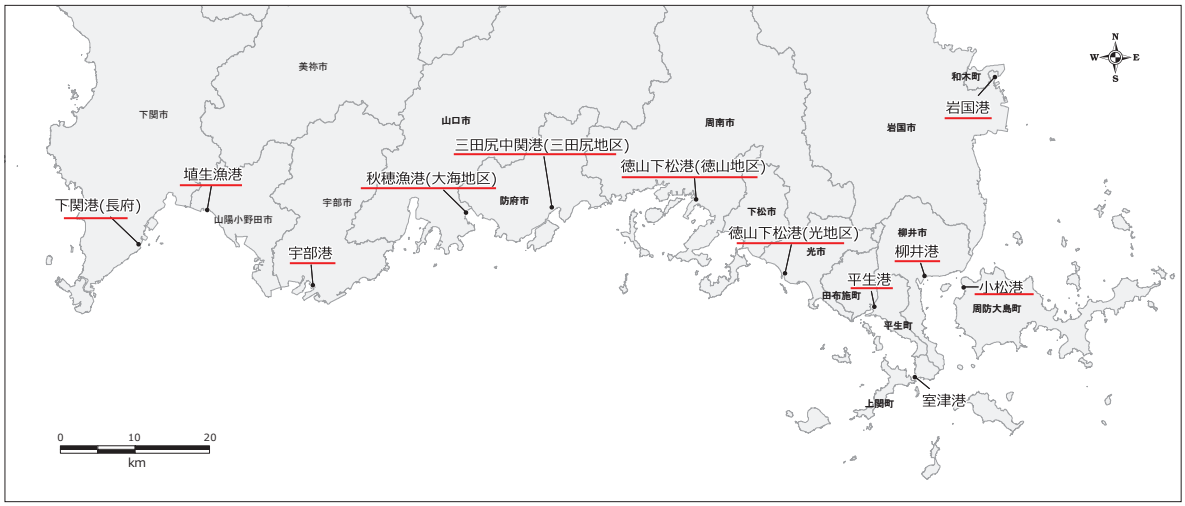
海面変動影響開始時間の説明

海面変動＋３０ｃｍ

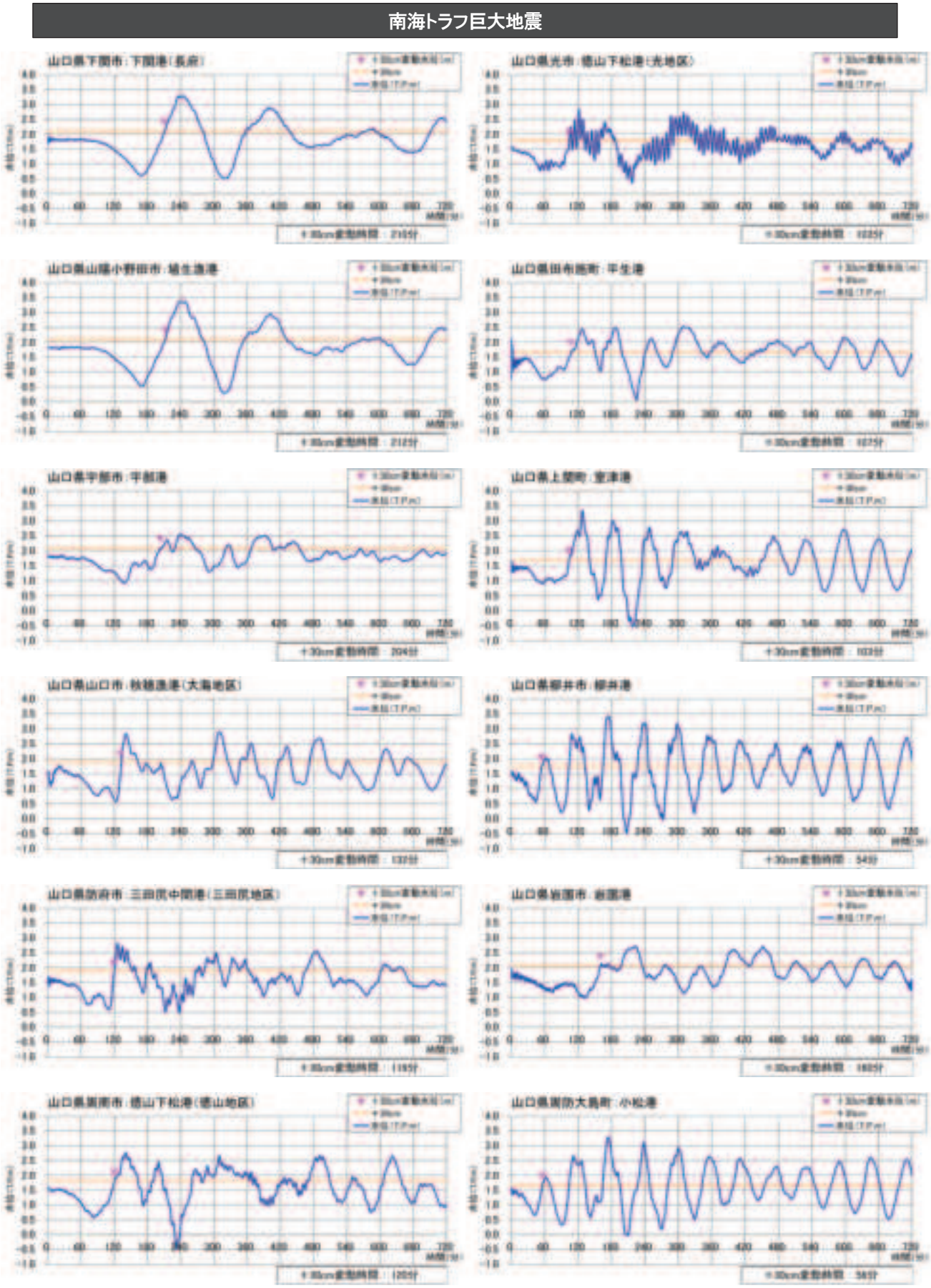


海面変動＋１ｍ



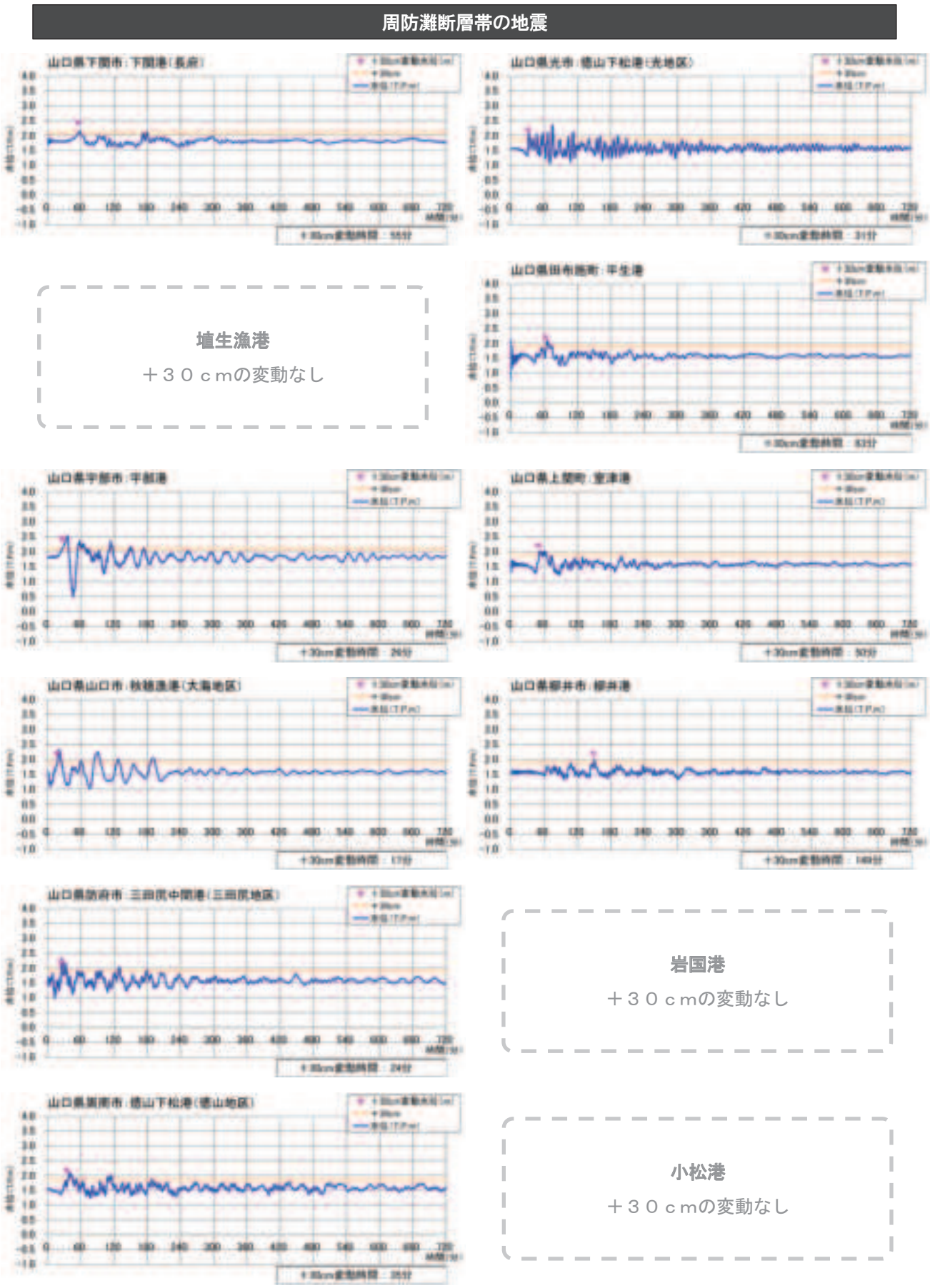


図―１１　予測図作成地点の位置図



図―１２（１）　海面変動＋３０ｃｍ時間予測図（南海トラフ巨大地震）

図―１２（２）　海面変動＋１ｍ時間予測図（南海トラフ巨大地震）



図―１２（３）　海面変動＋３０ｍ時間予測図（周防灘断層帯の地震）

８　今後について

今回の津波浸水想定を基に沿岸市町では、津波ハザードマップの作成や住民の避難方法の検討、地域防災計画の修正などに取り組むこととなるため、市町に対する技術的な支援や助言を行っていきます。

なお、今回設定した「最大クラスの津波」（Ｌ２津波）については、津波断層モデルの新たな知見が得られた場合には、必要に応じて見直していきます。

参考資料２

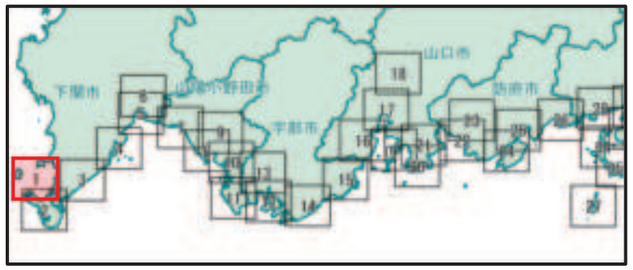
第7回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

津波浸水想定図
(瀬戸内海沿岸)　(案)

令和8年 2月27日

山口県津波浸水想定図 1

下関市 1/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

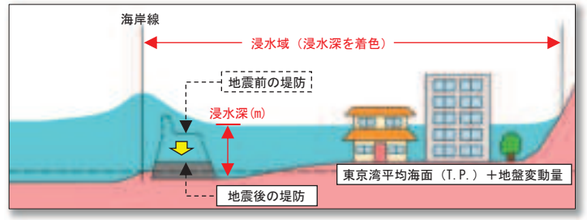
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



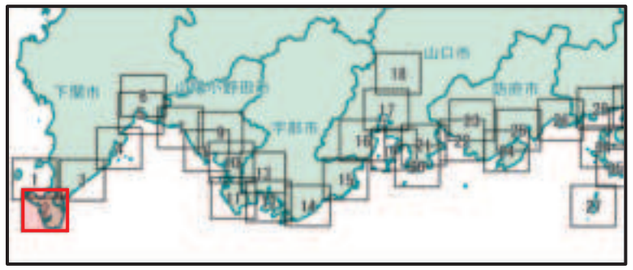
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 2

下関市 2/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

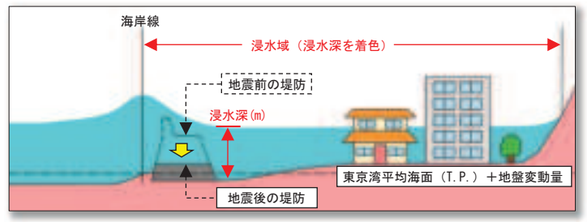
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



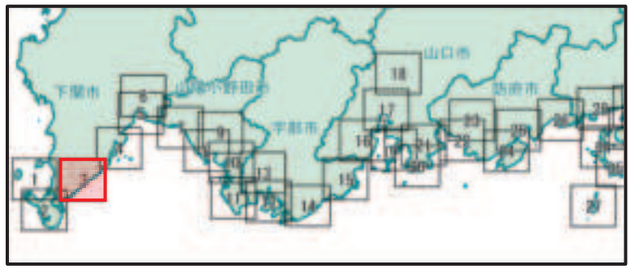
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 3

下関市 3/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

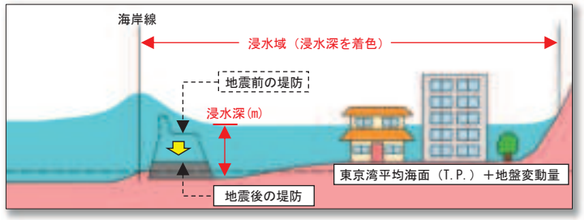
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

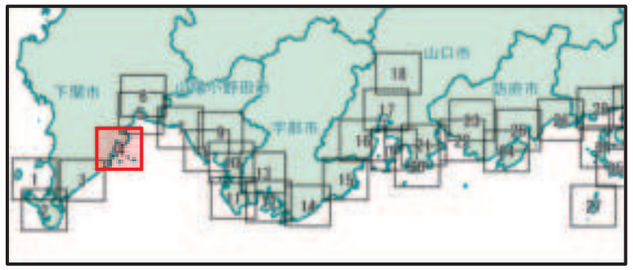
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 4

下関市 4/6

S=1/20,000(A3版)



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

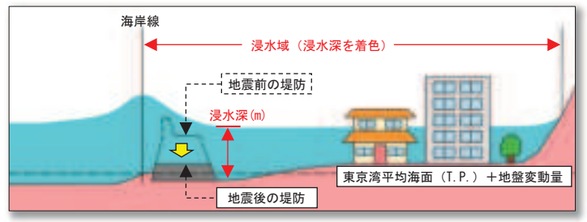
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



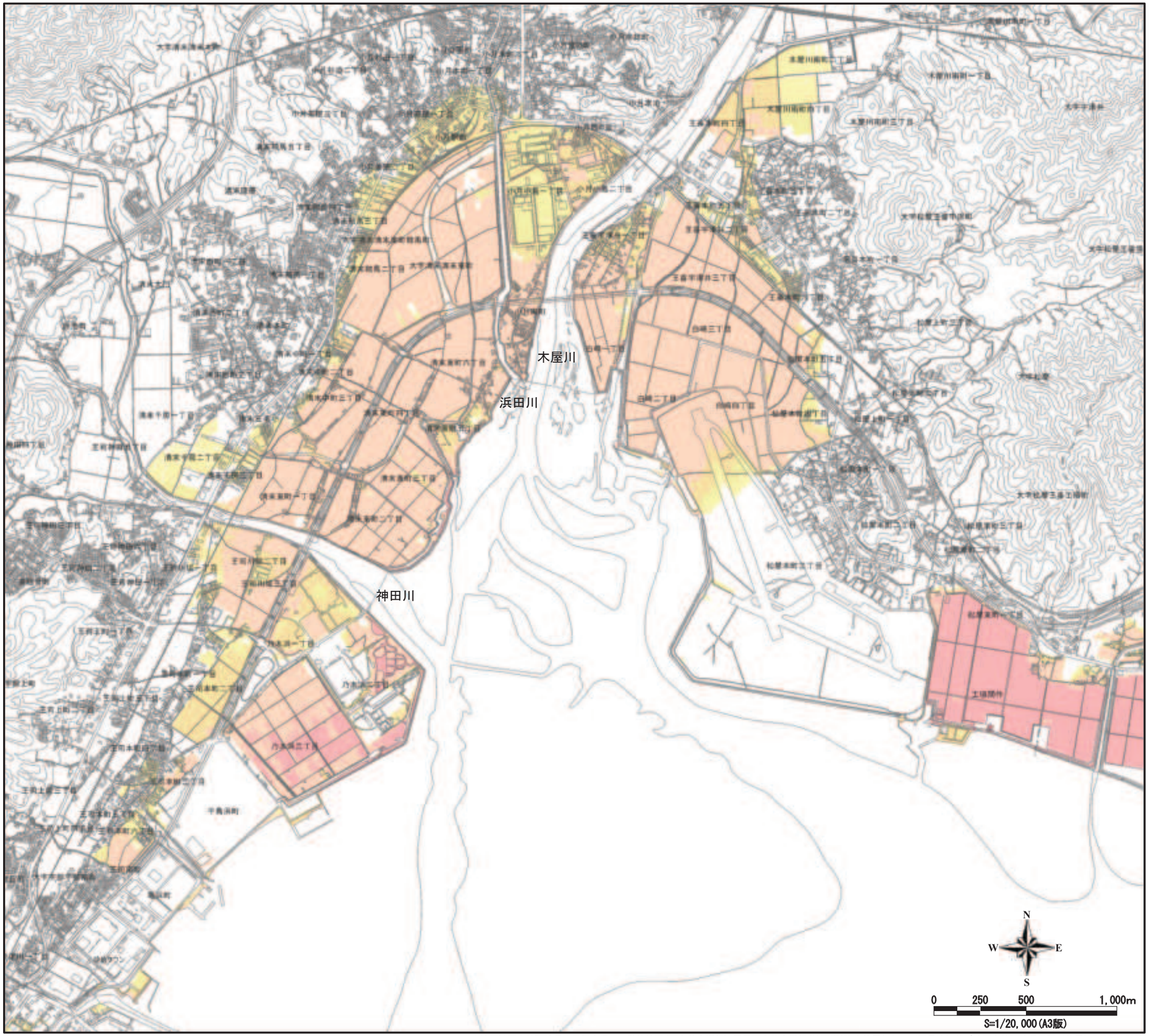
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

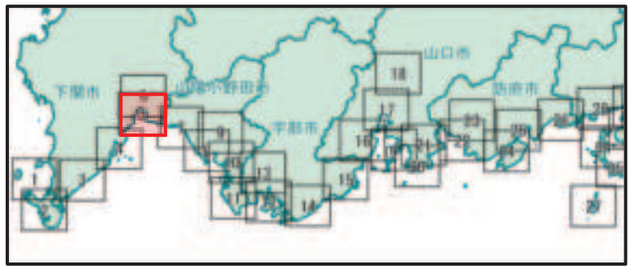
作成者：山　口　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 5

下関市 5/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

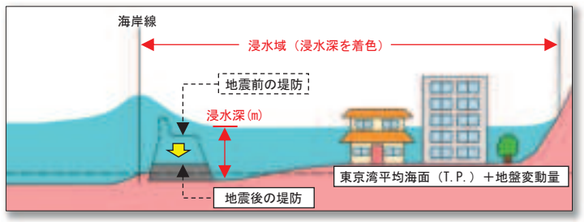
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



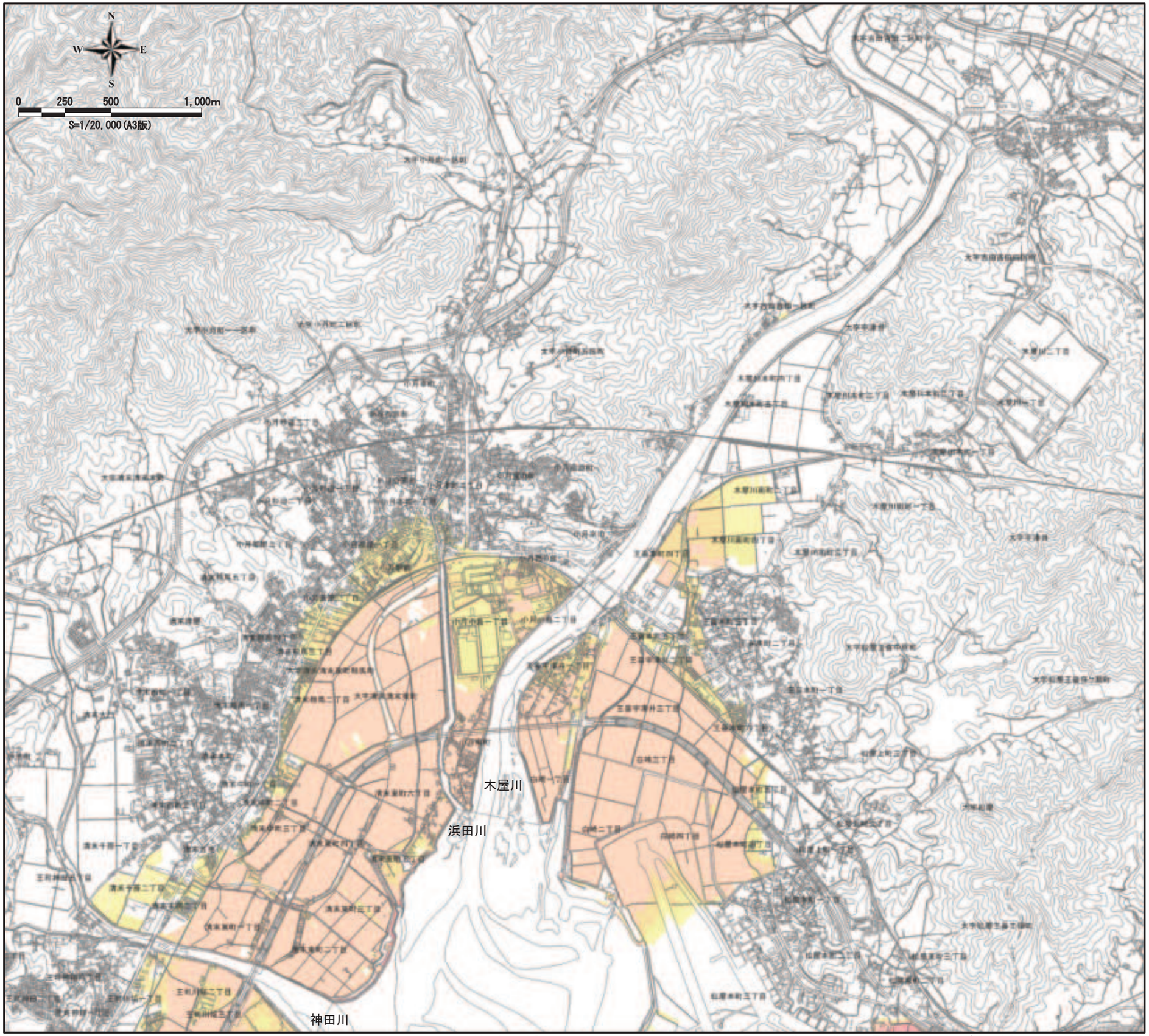
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

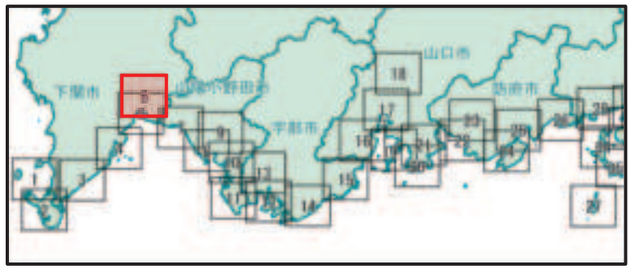
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 6

下関市 6/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

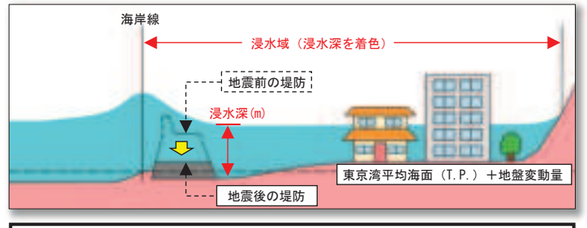
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



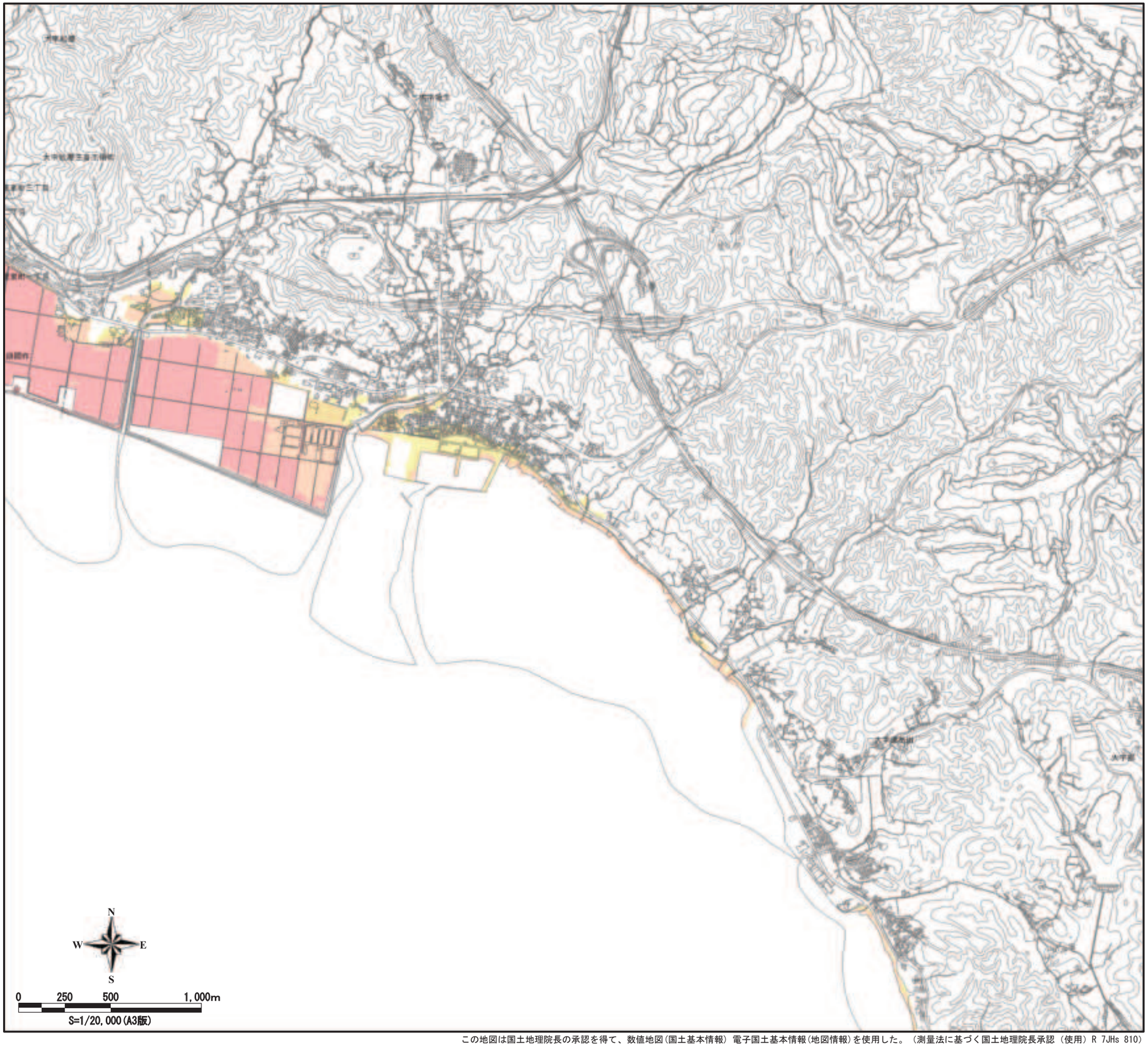
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

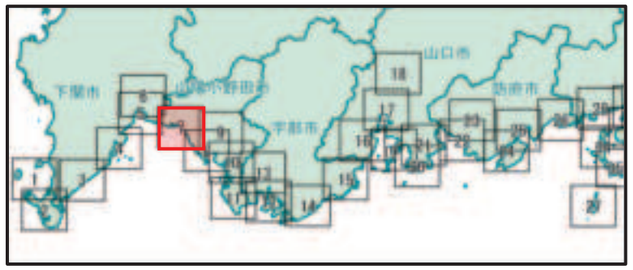
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 7

山陽小野田市 2/5





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

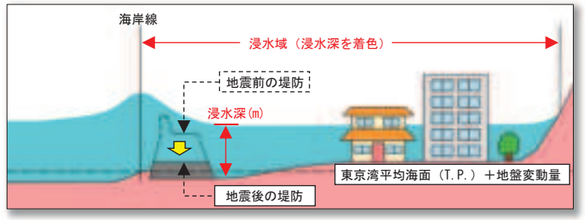
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



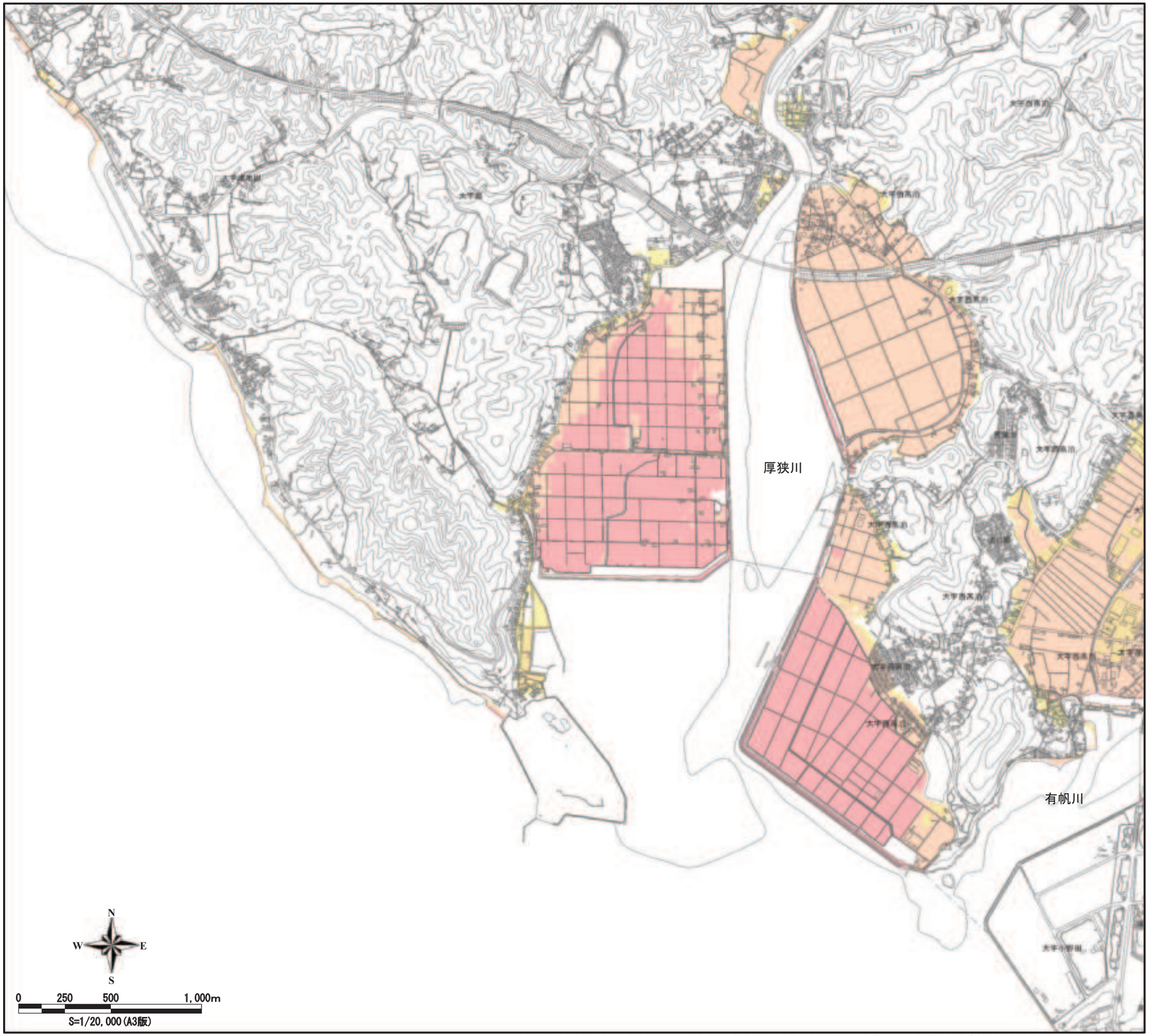
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

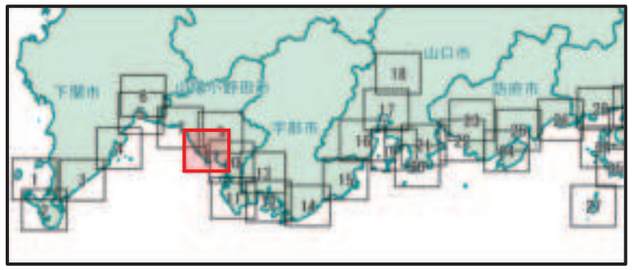
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 8

山陽小野田市 2/5





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

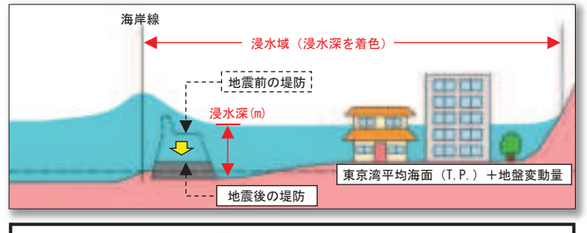
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



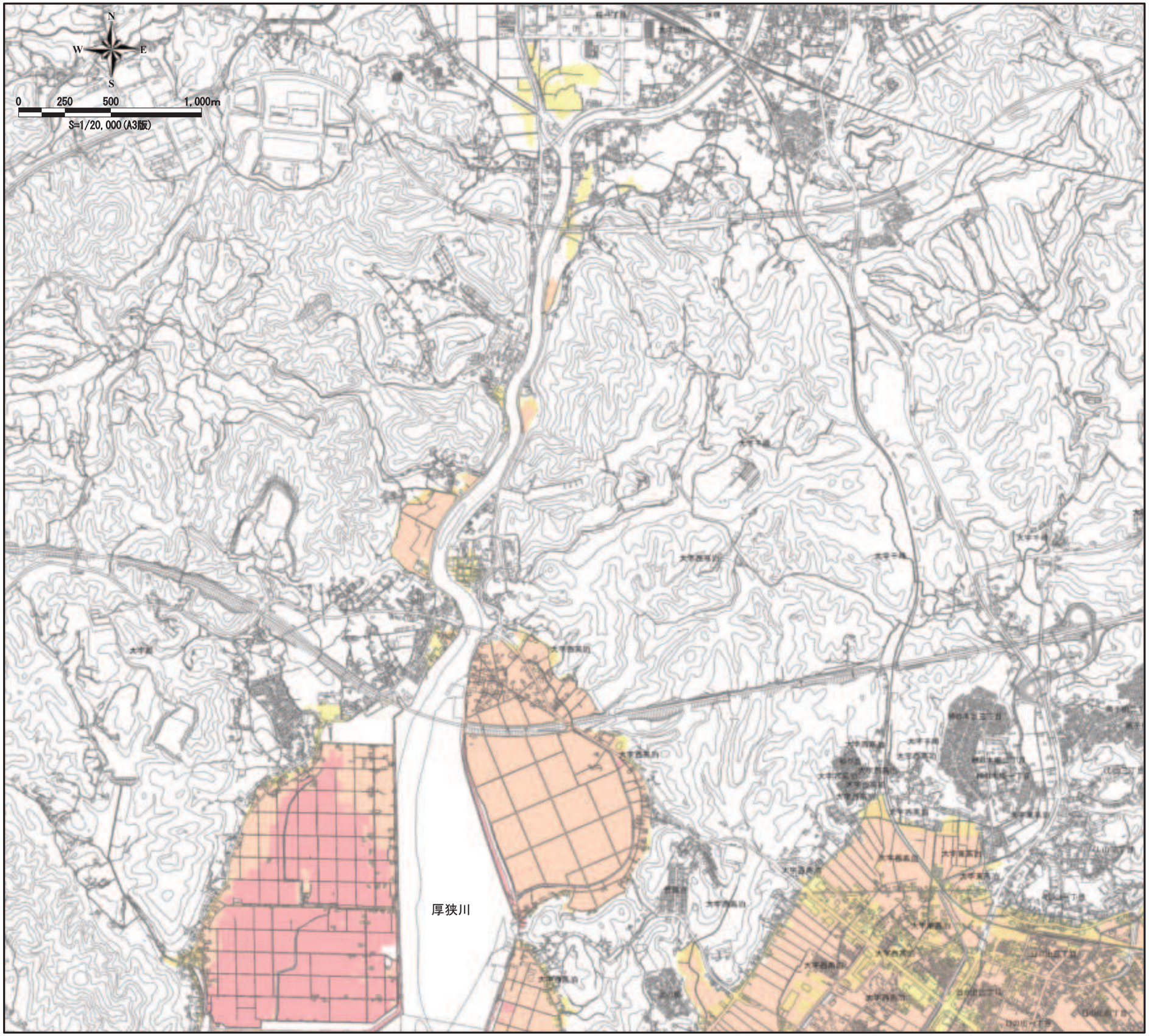
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

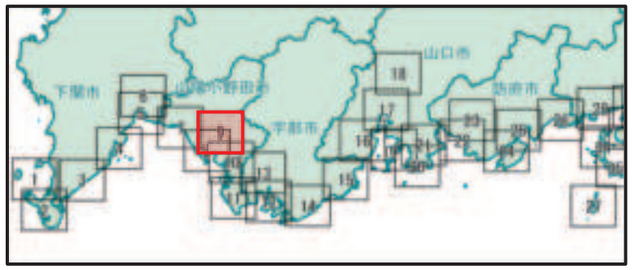
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 9

山陽小野田市 3/5





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

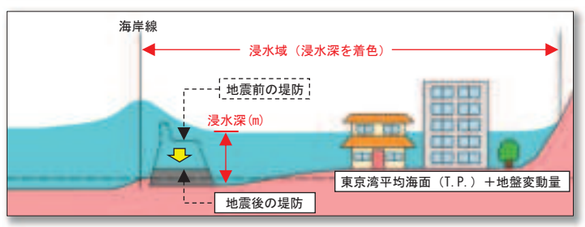
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



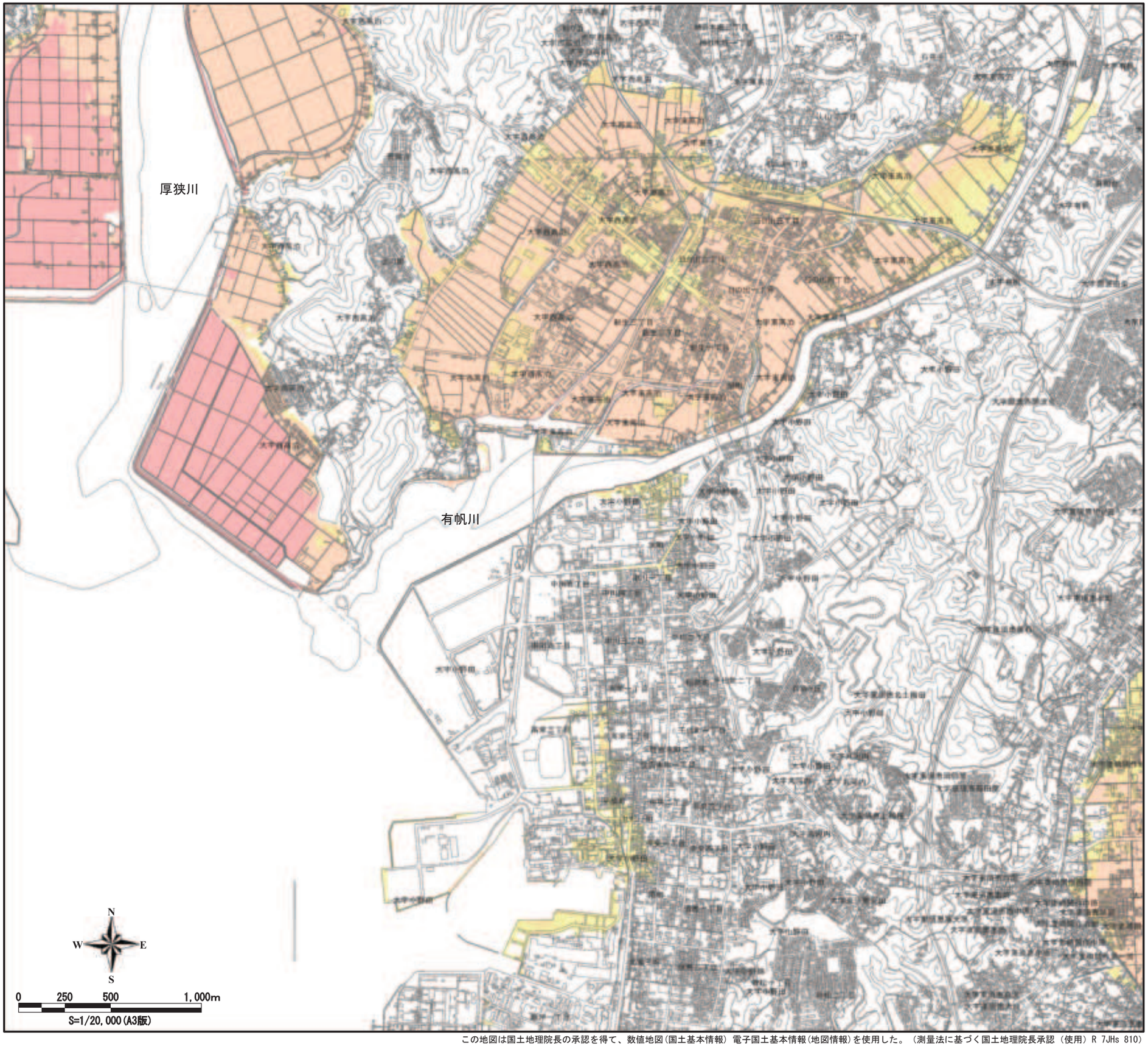
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

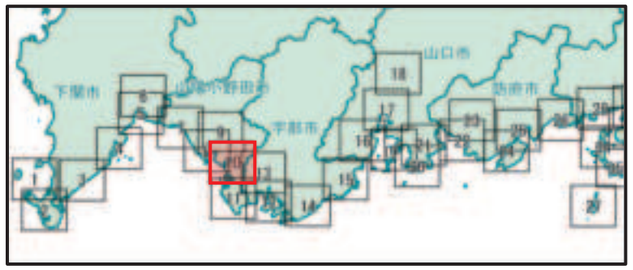
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 10

山陽小野田市 4/5





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

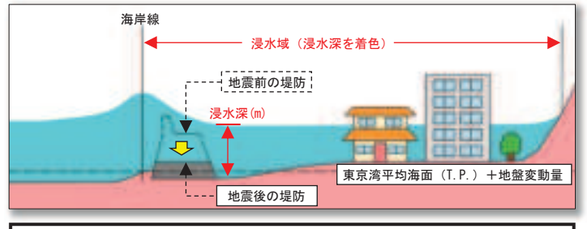
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



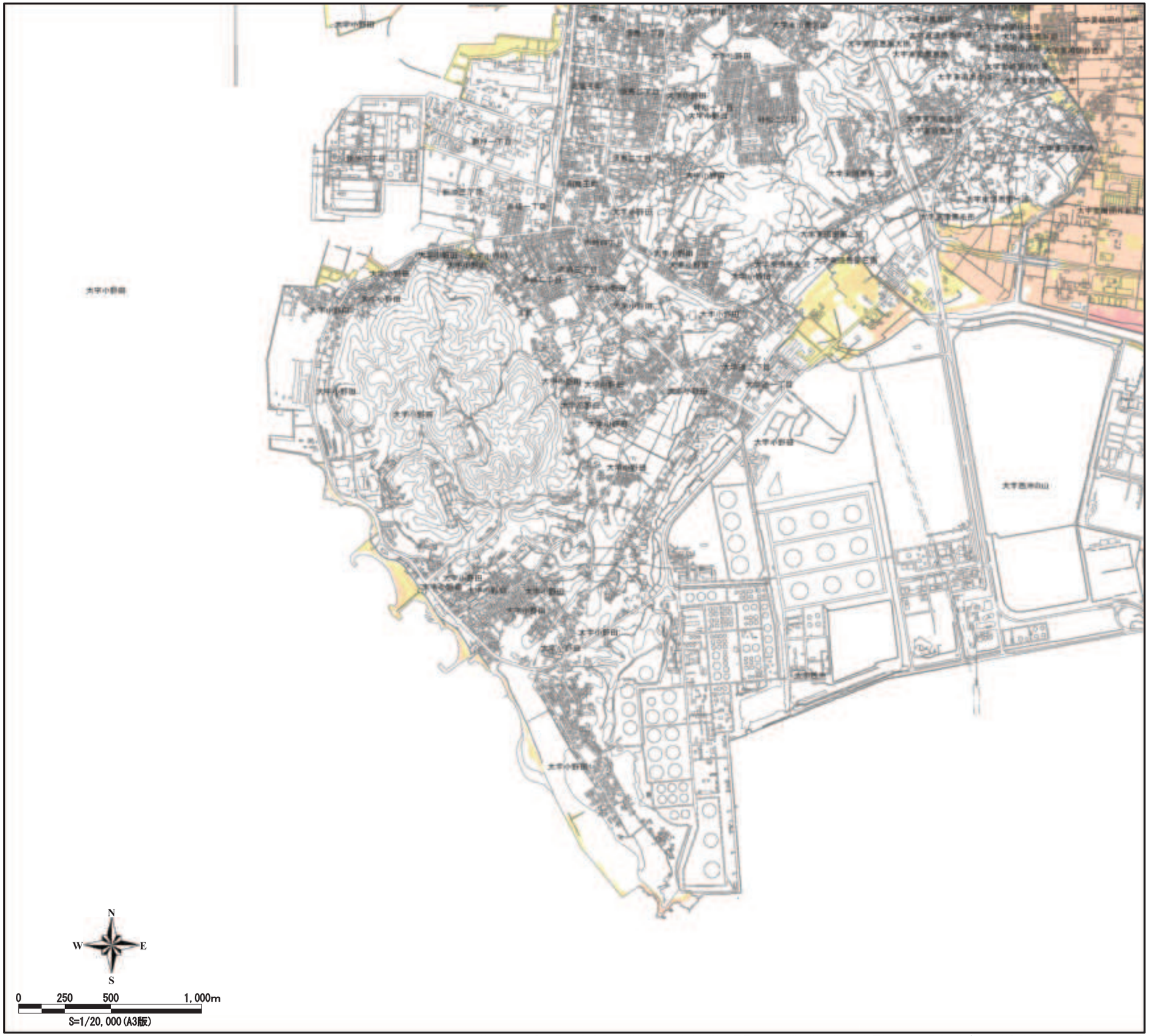
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

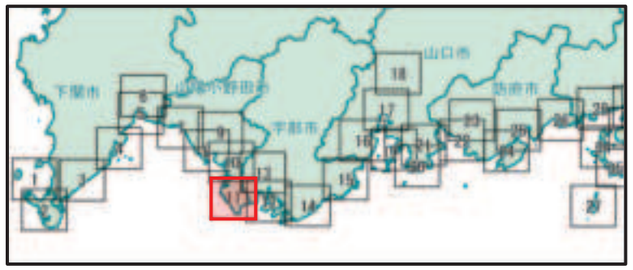
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 11

山陽小野田市 5/5





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

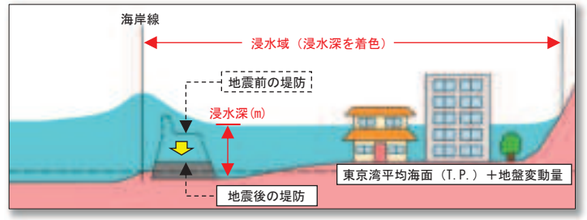
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



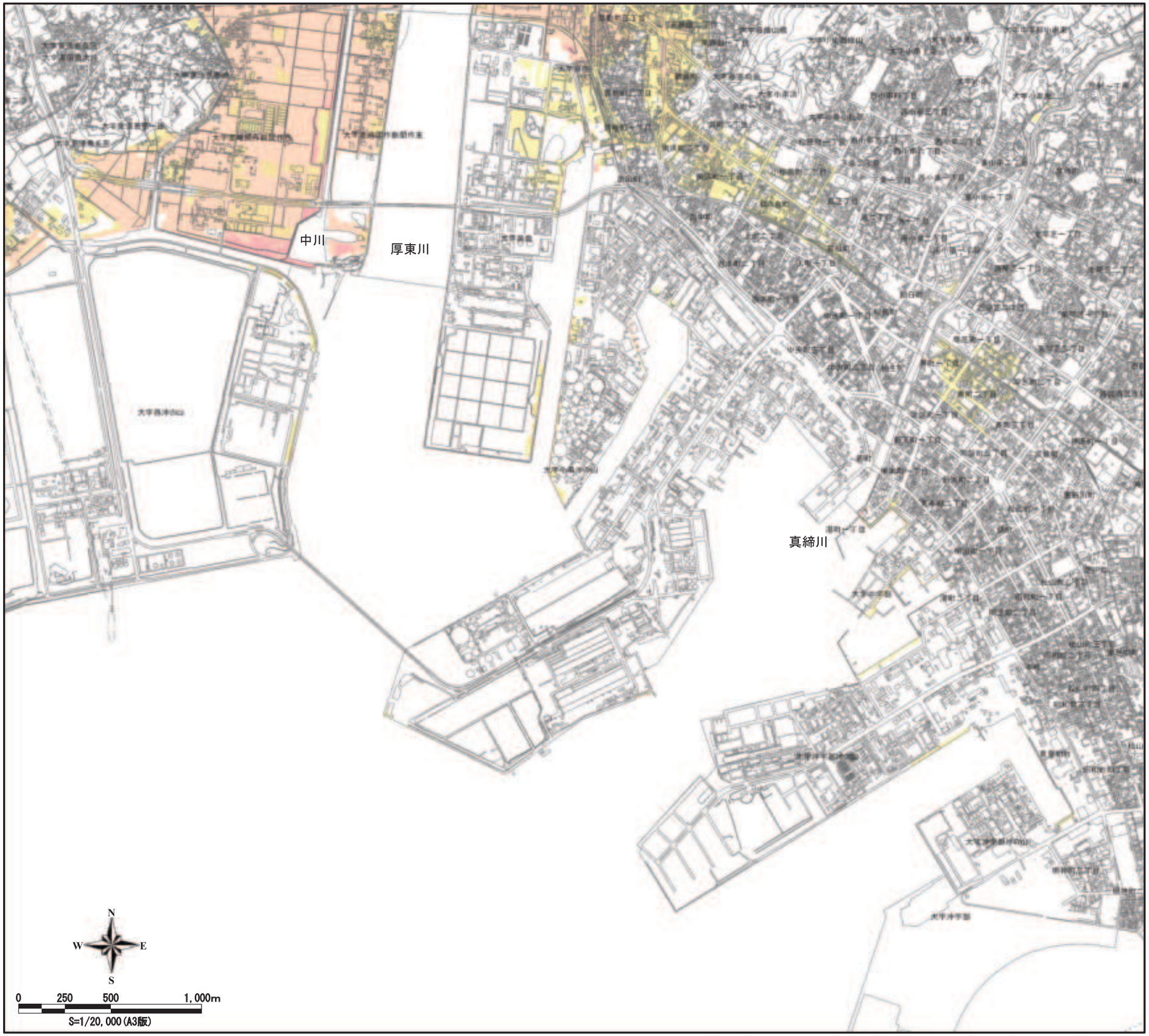
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

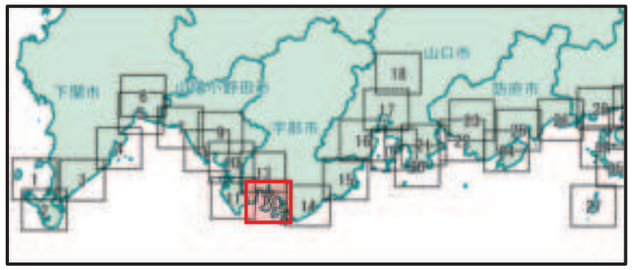
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 12

宇部市 1/4





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

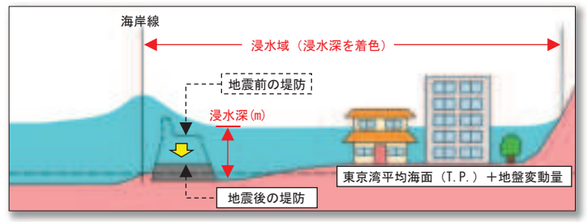
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



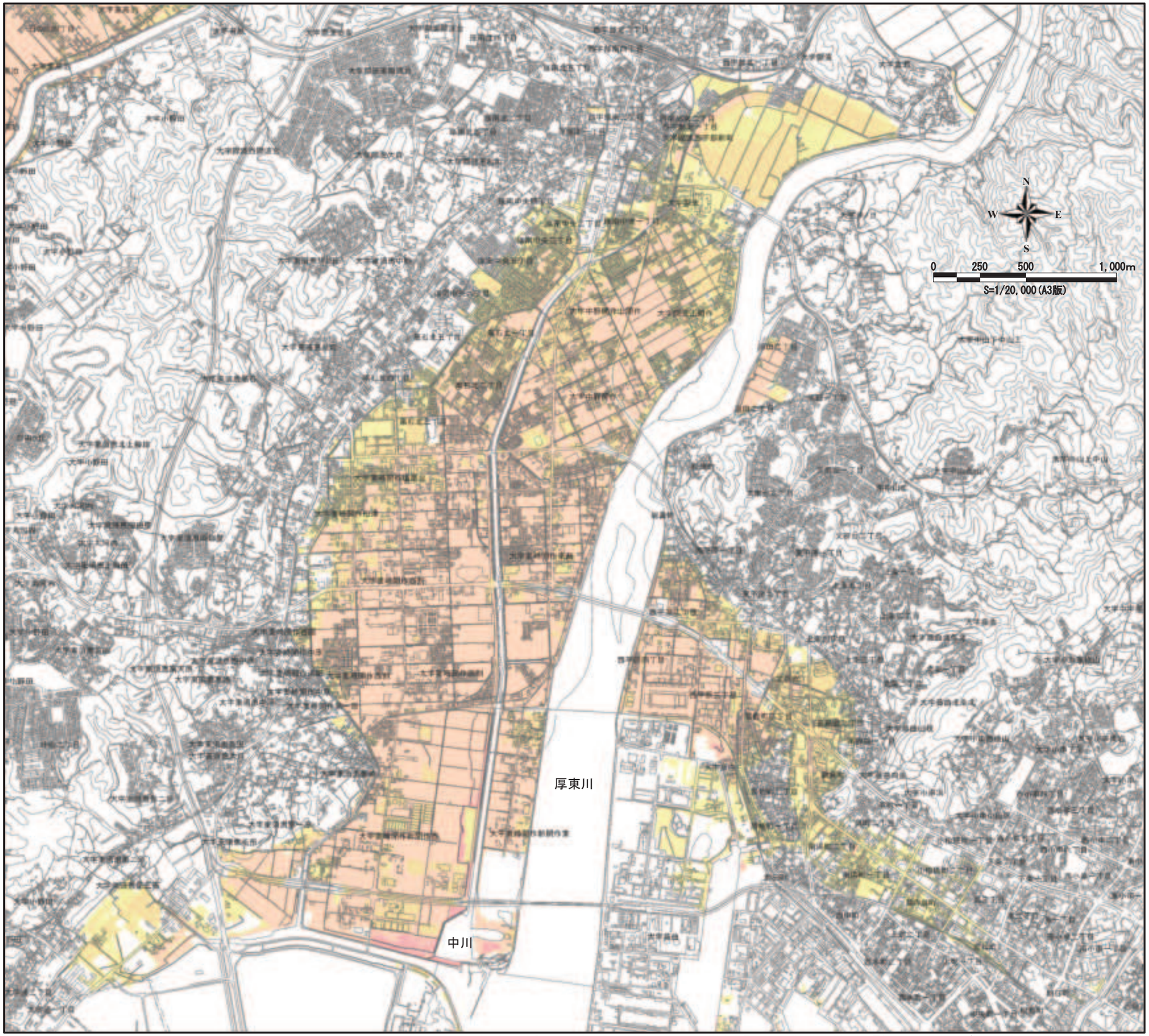
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

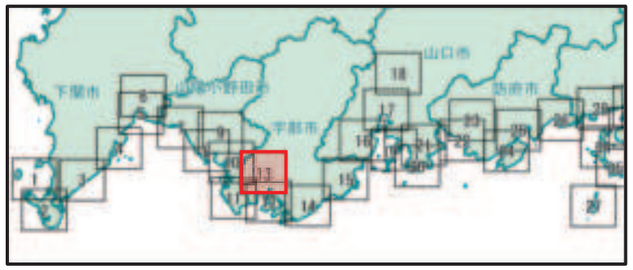
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 13

宇部市 2/4





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

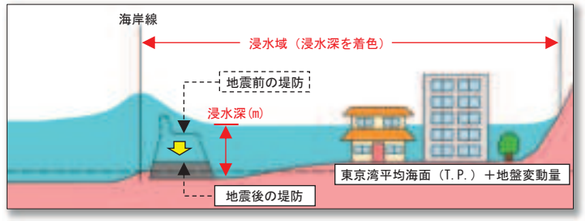
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



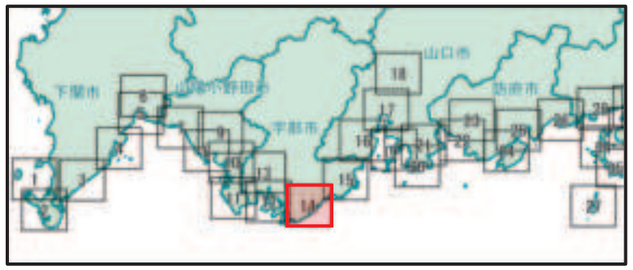
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 14

宇部市 3/4



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

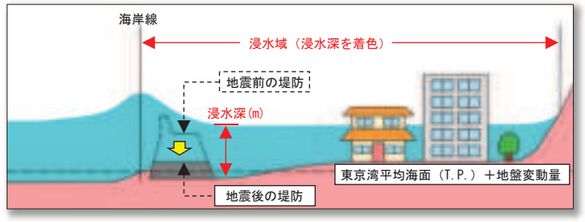
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

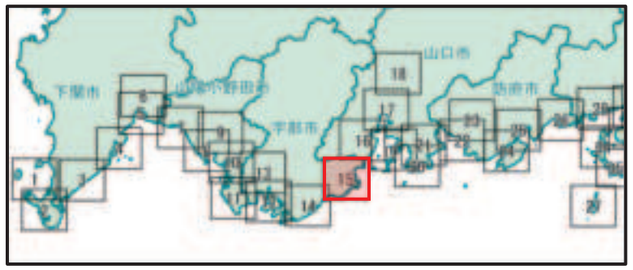
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 15

宇部市 4/4

S=1/20,000(A3版)



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

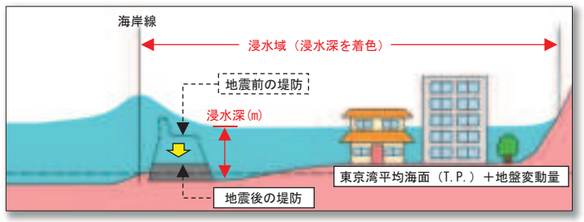
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



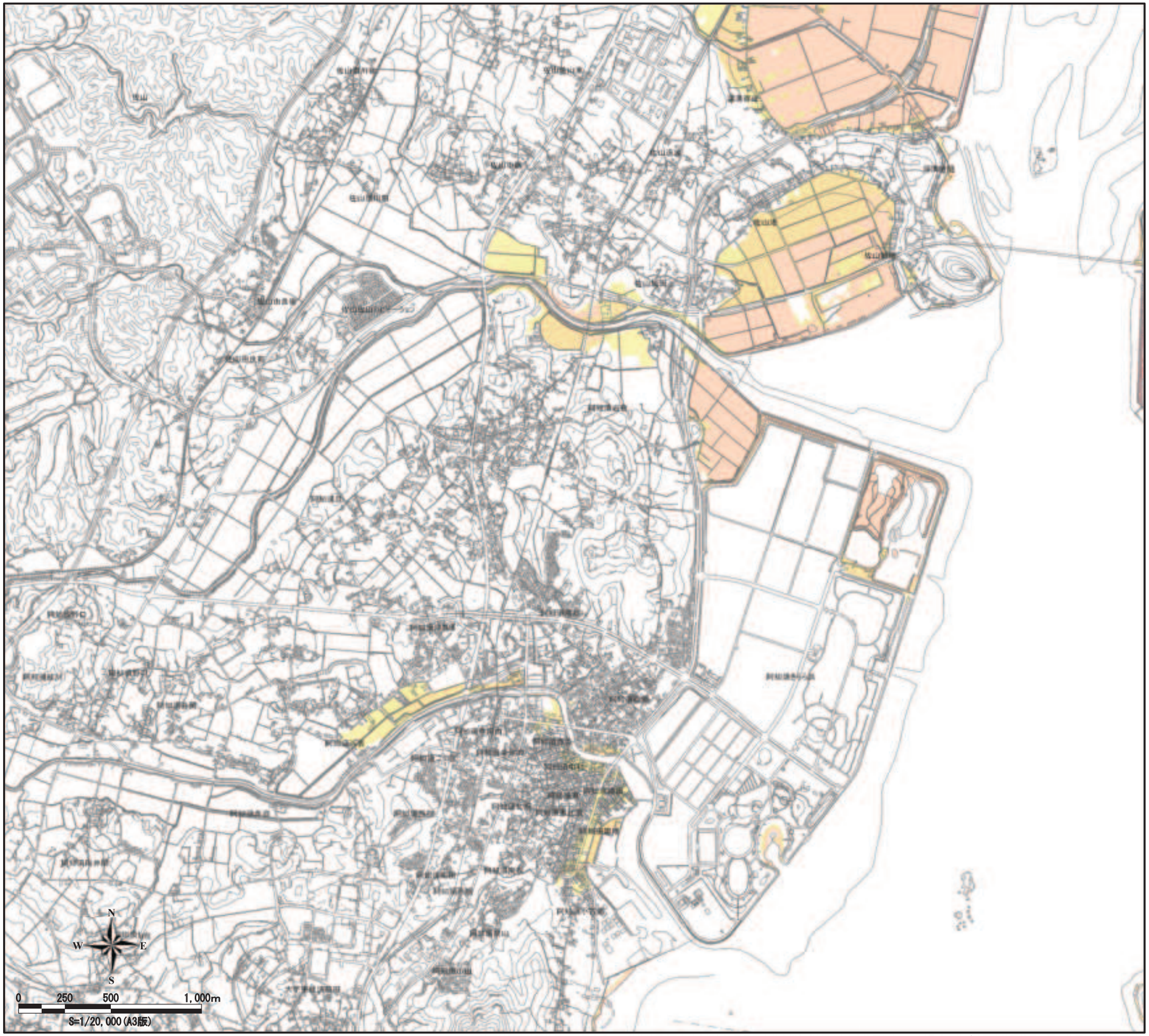
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

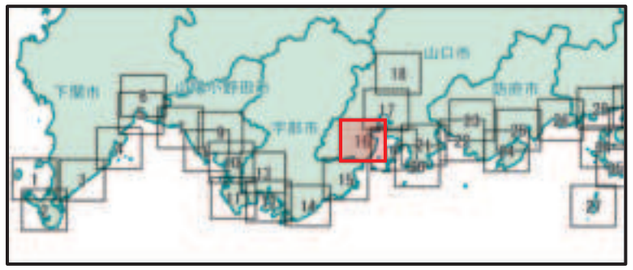
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 16

山口市 1/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

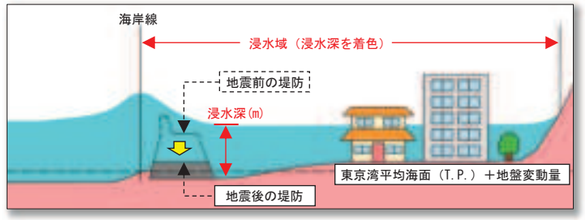
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



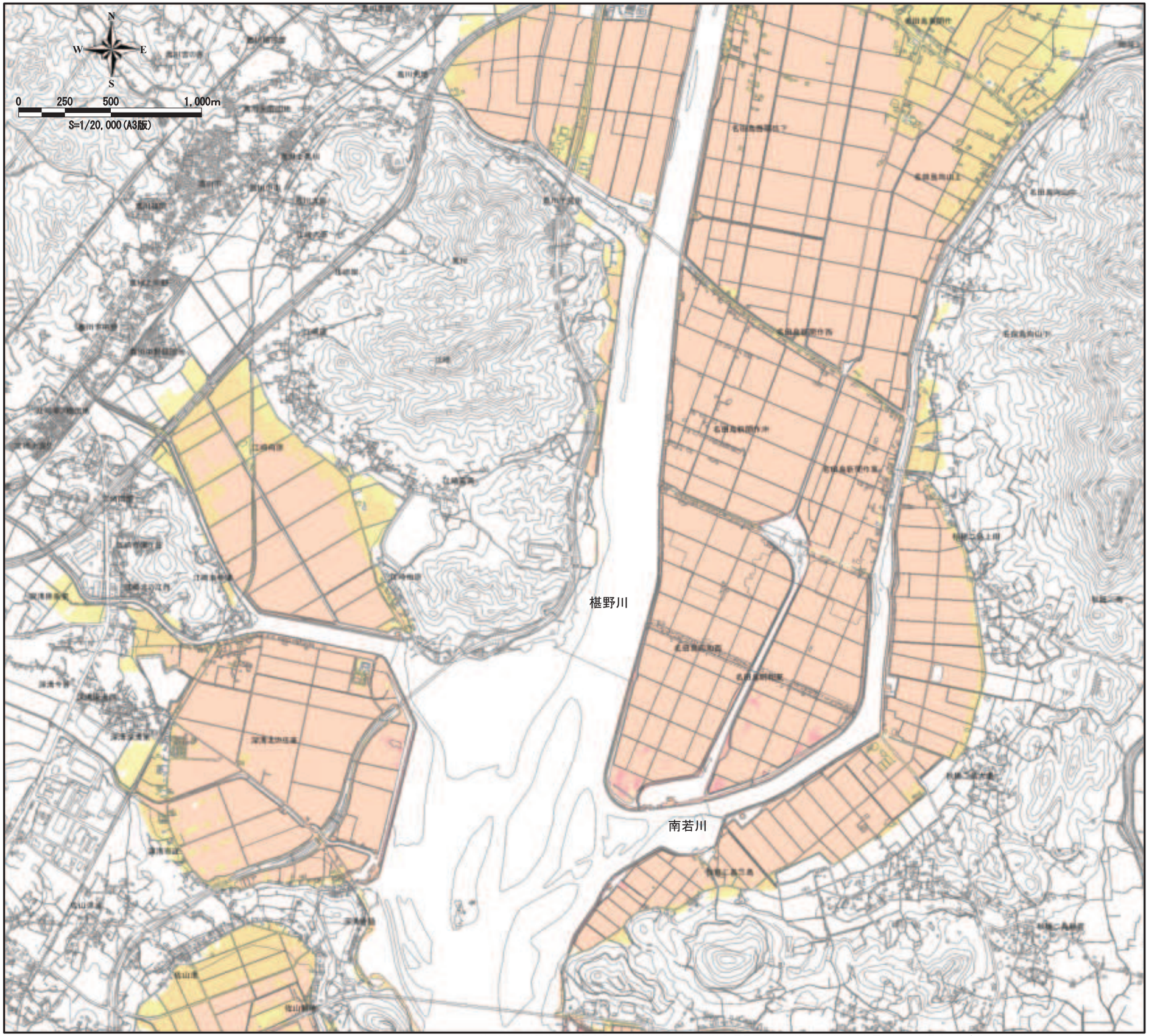
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

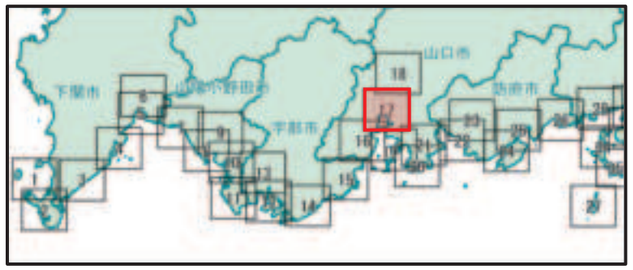
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 17

山口市 2/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

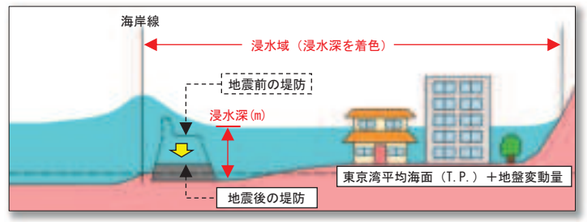
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



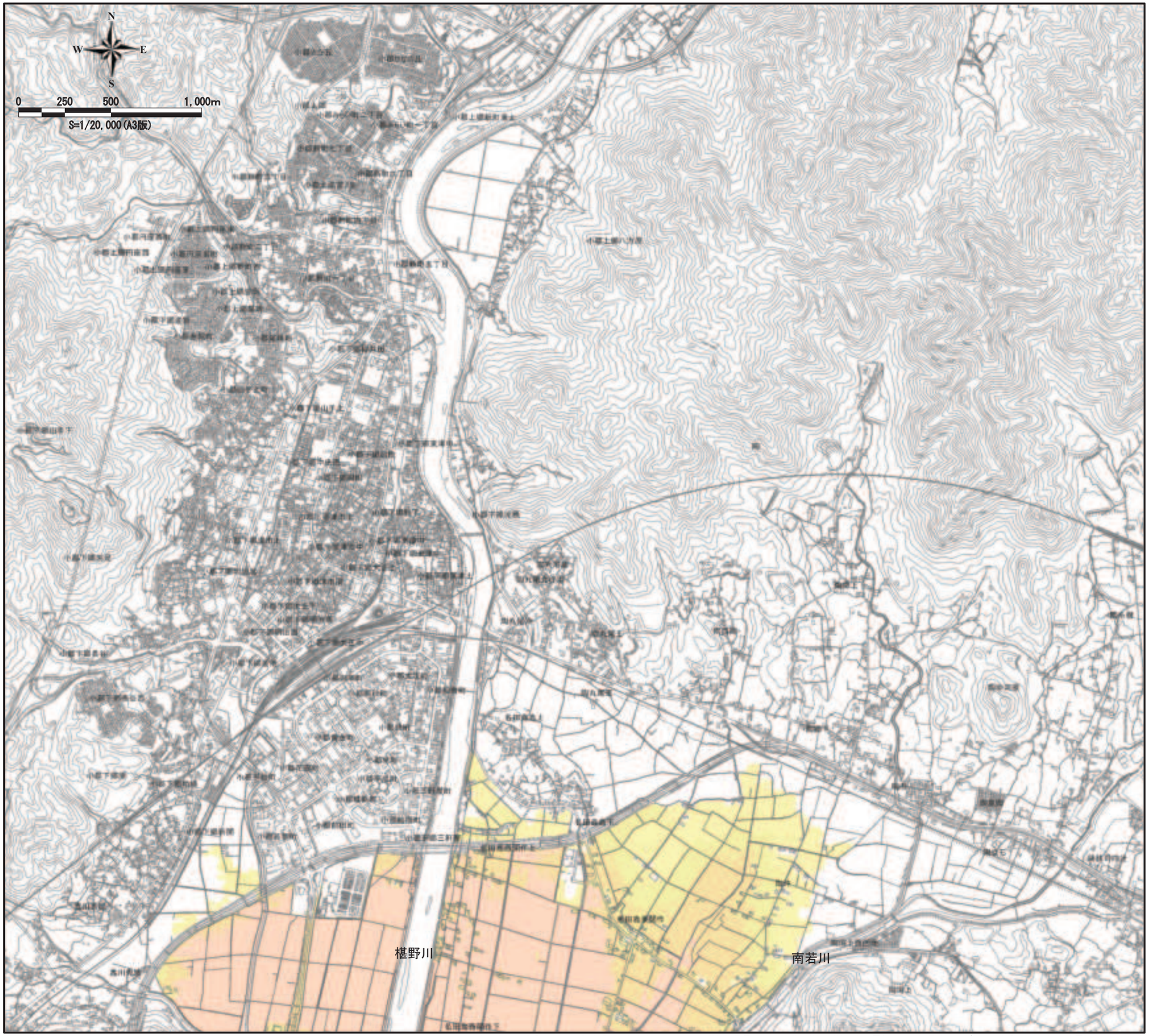
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

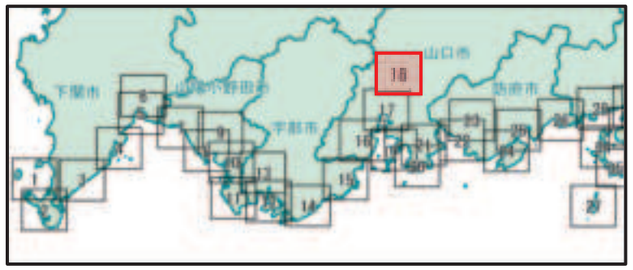
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 18

山口市 3/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

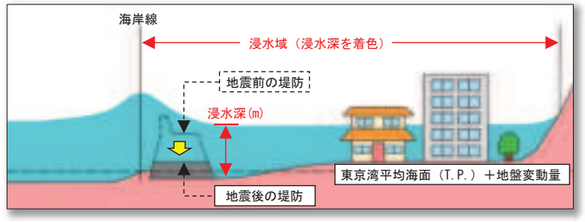
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



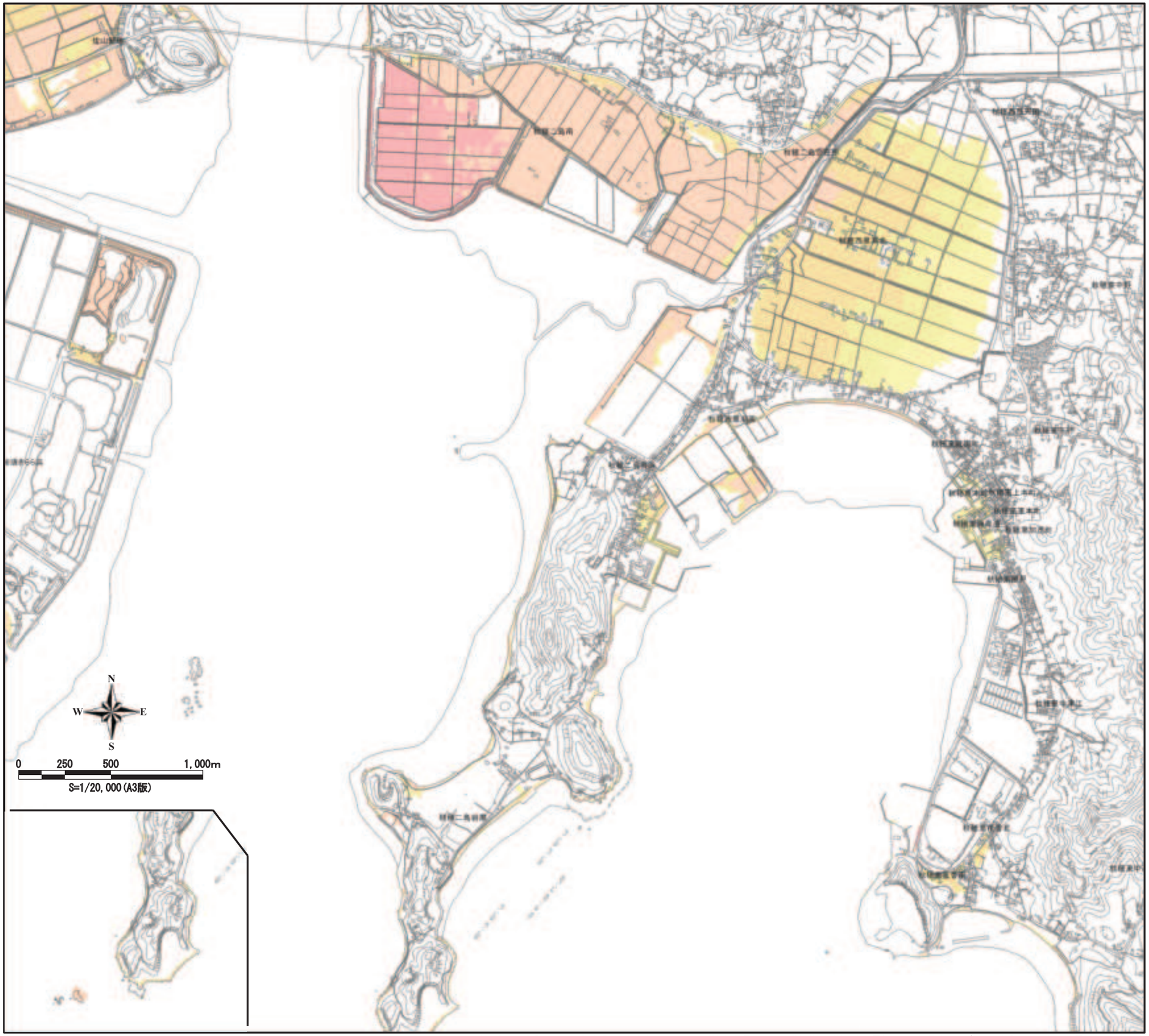
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

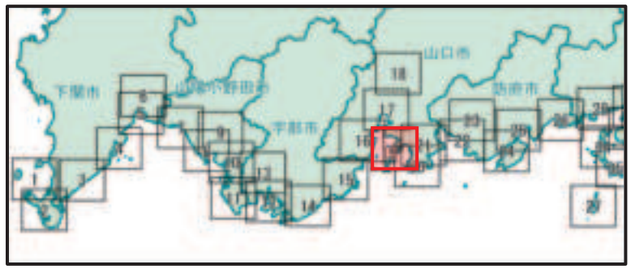
作成者：山口県
作成年月：令和8年3月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 19

山口市 4/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

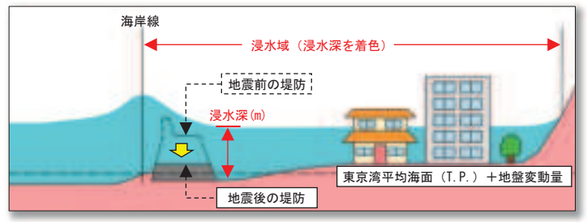
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



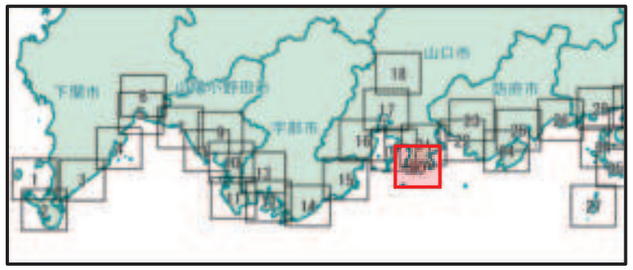
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 20

山口市 5/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

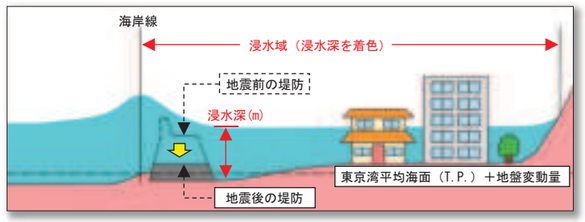
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



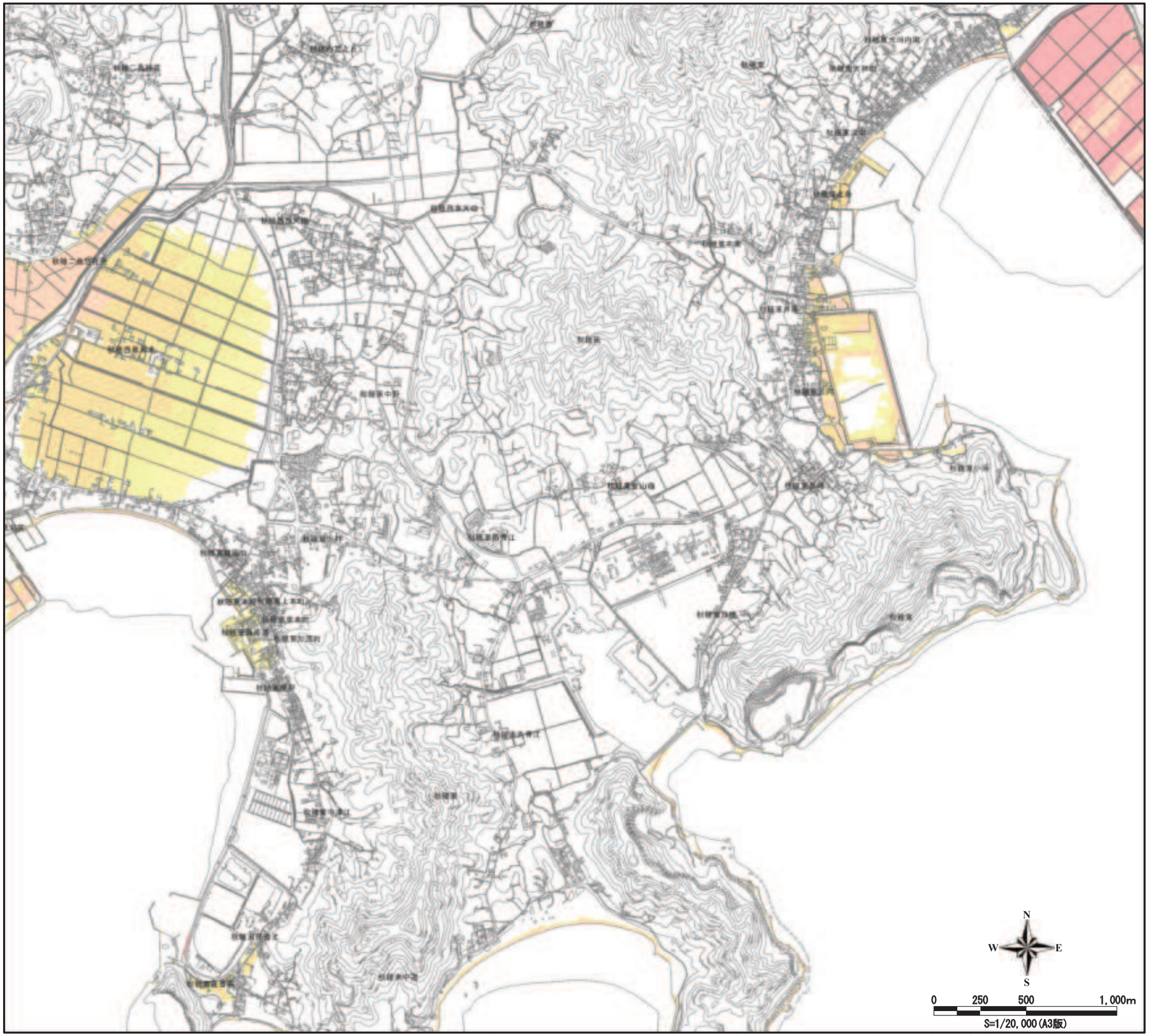
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

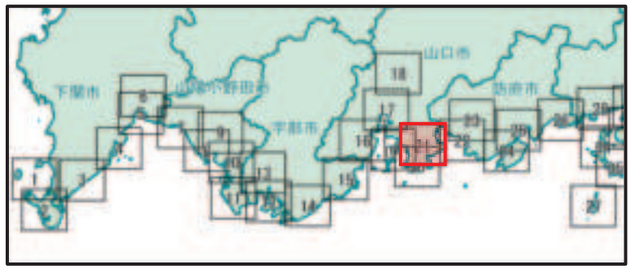
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 21

山口市 6/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

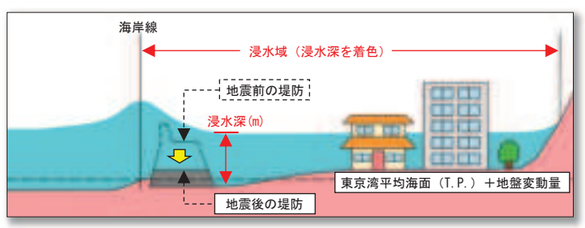
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



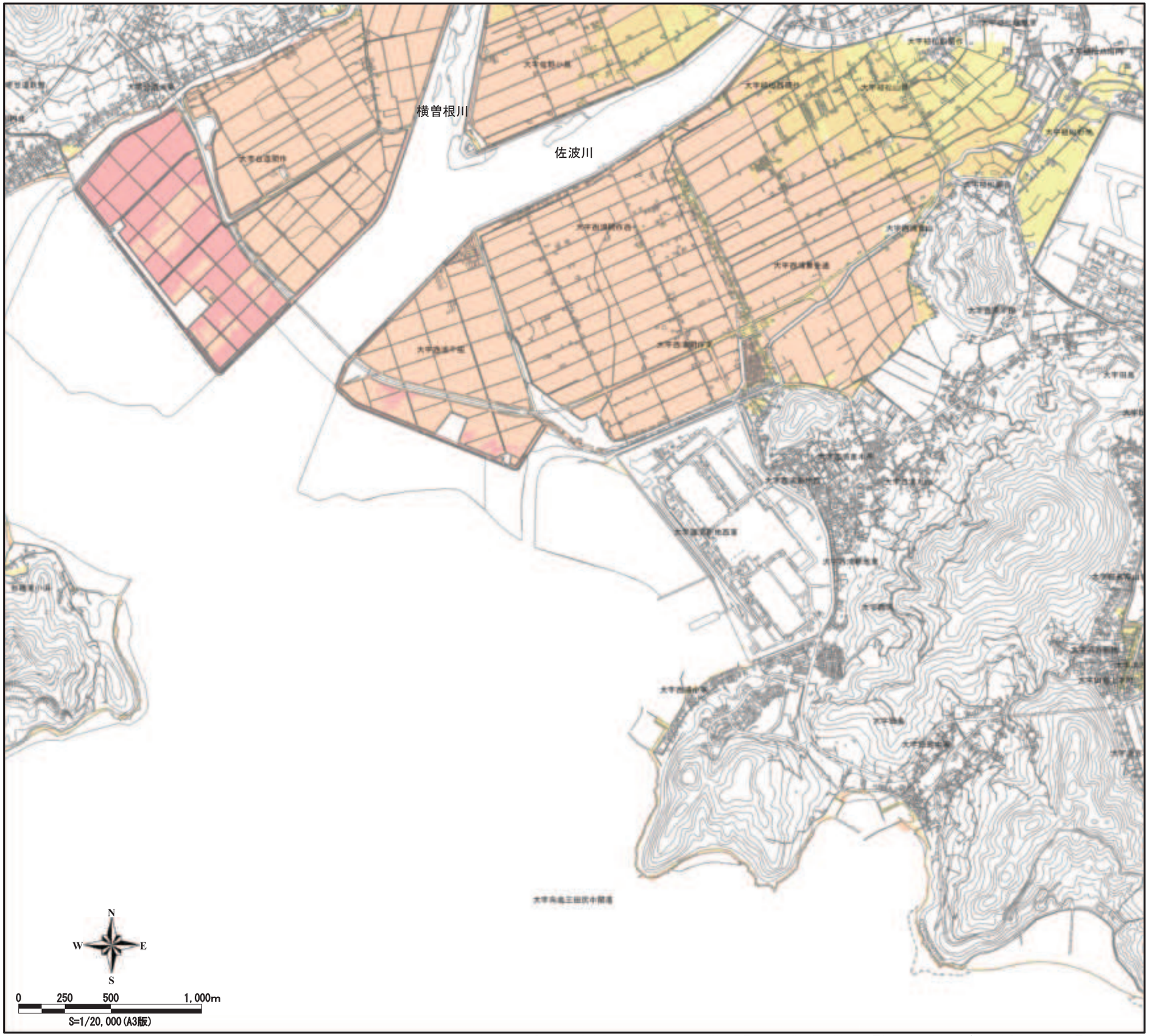
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

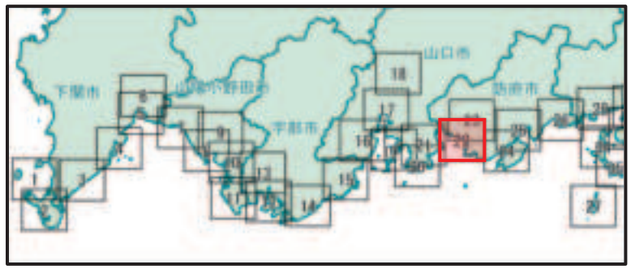
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 22

防府市 1/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

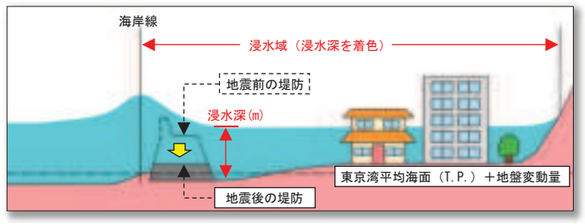
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



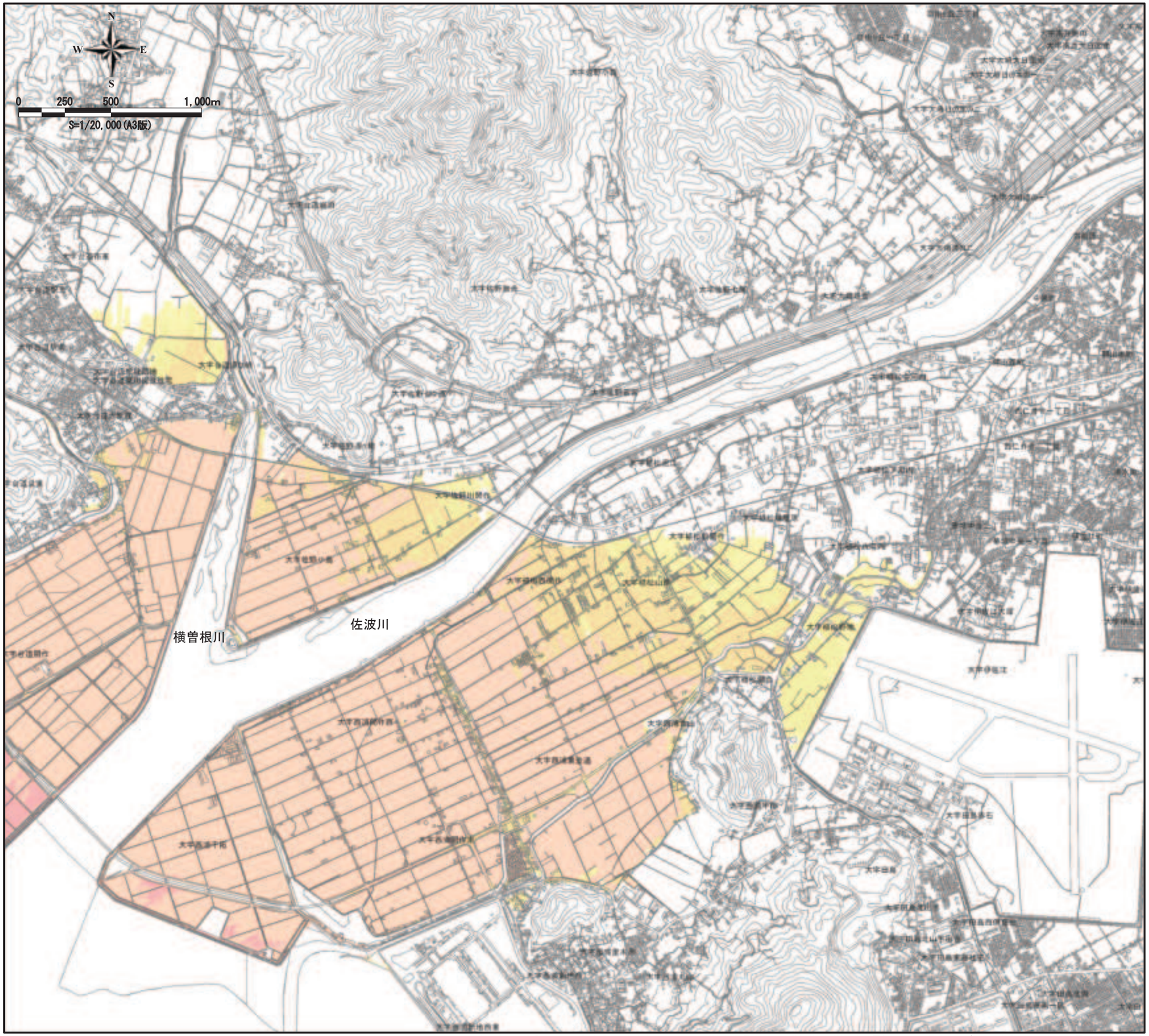
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

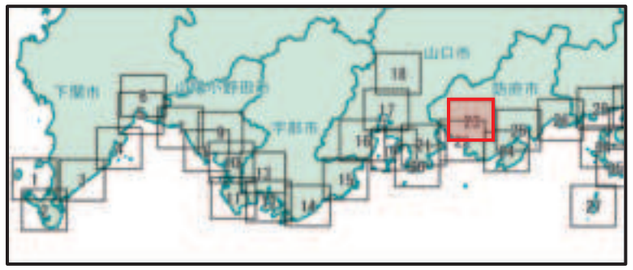
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 23

防府市 2/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

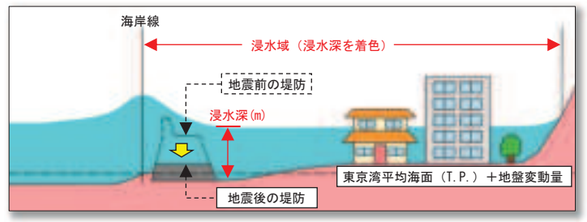
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



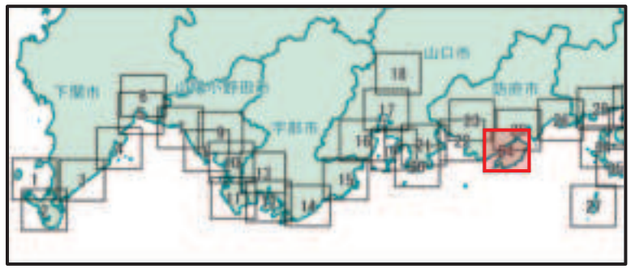
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 24

防府市 3/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

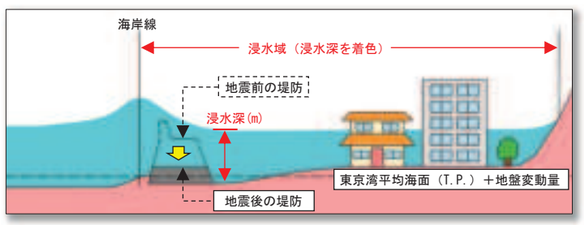
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



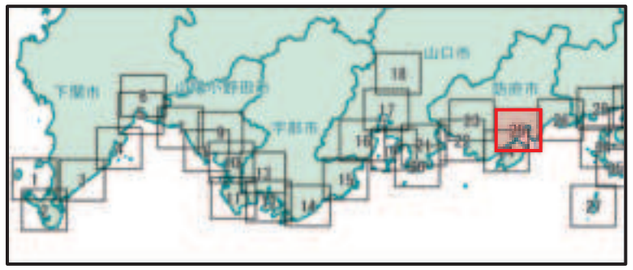
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 25

防府市 4/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

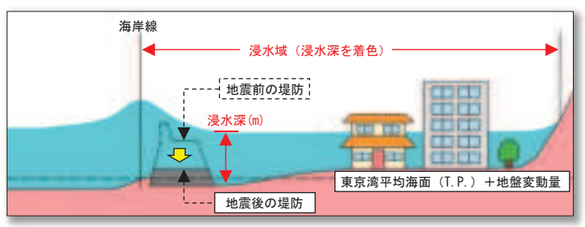
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



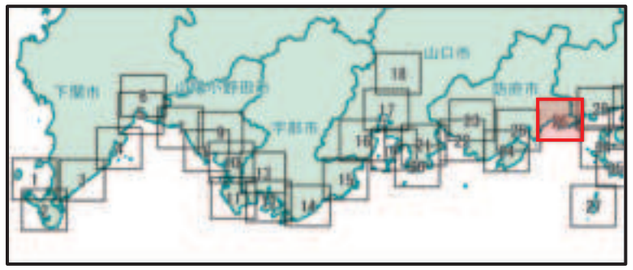
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 26

防府市 5/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

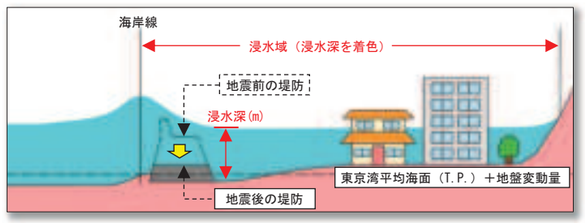
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



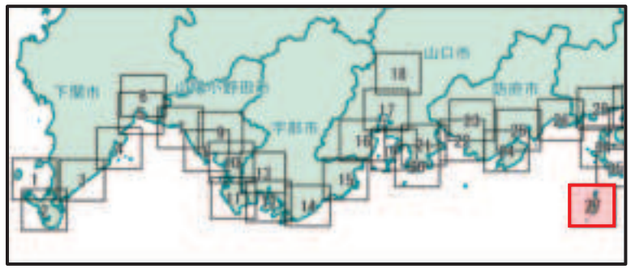
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 27

防府市 6/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

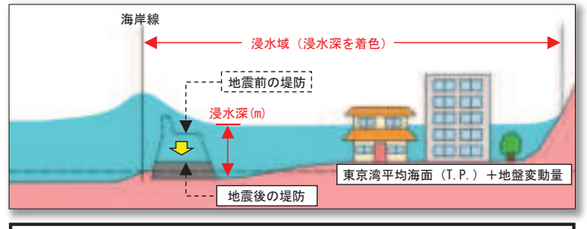
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



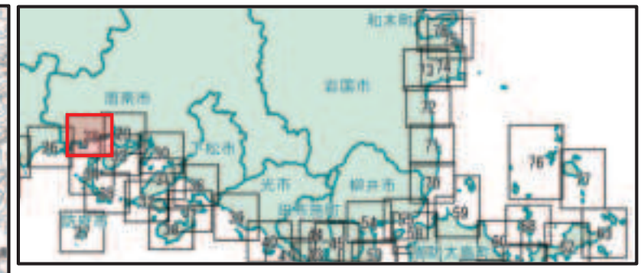
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 28

周南市 1/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

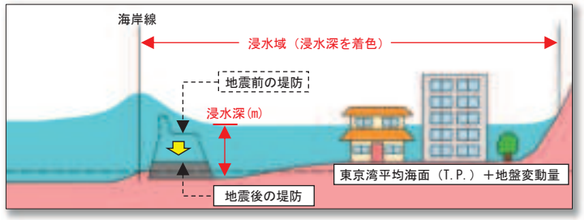
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



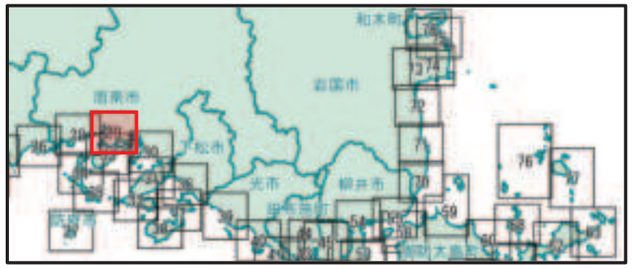
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 29

周南市 2/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

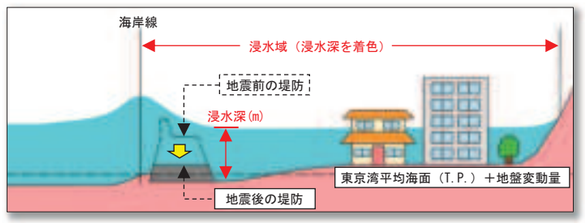
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



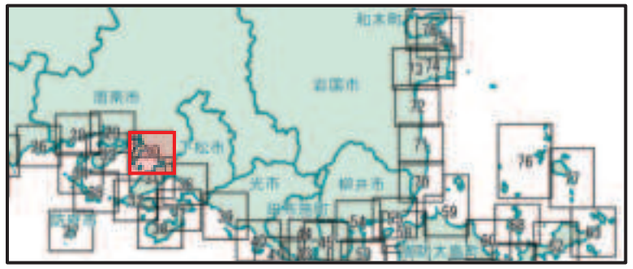
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 30

周南市 3/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

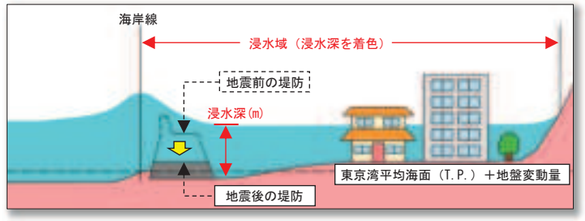
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



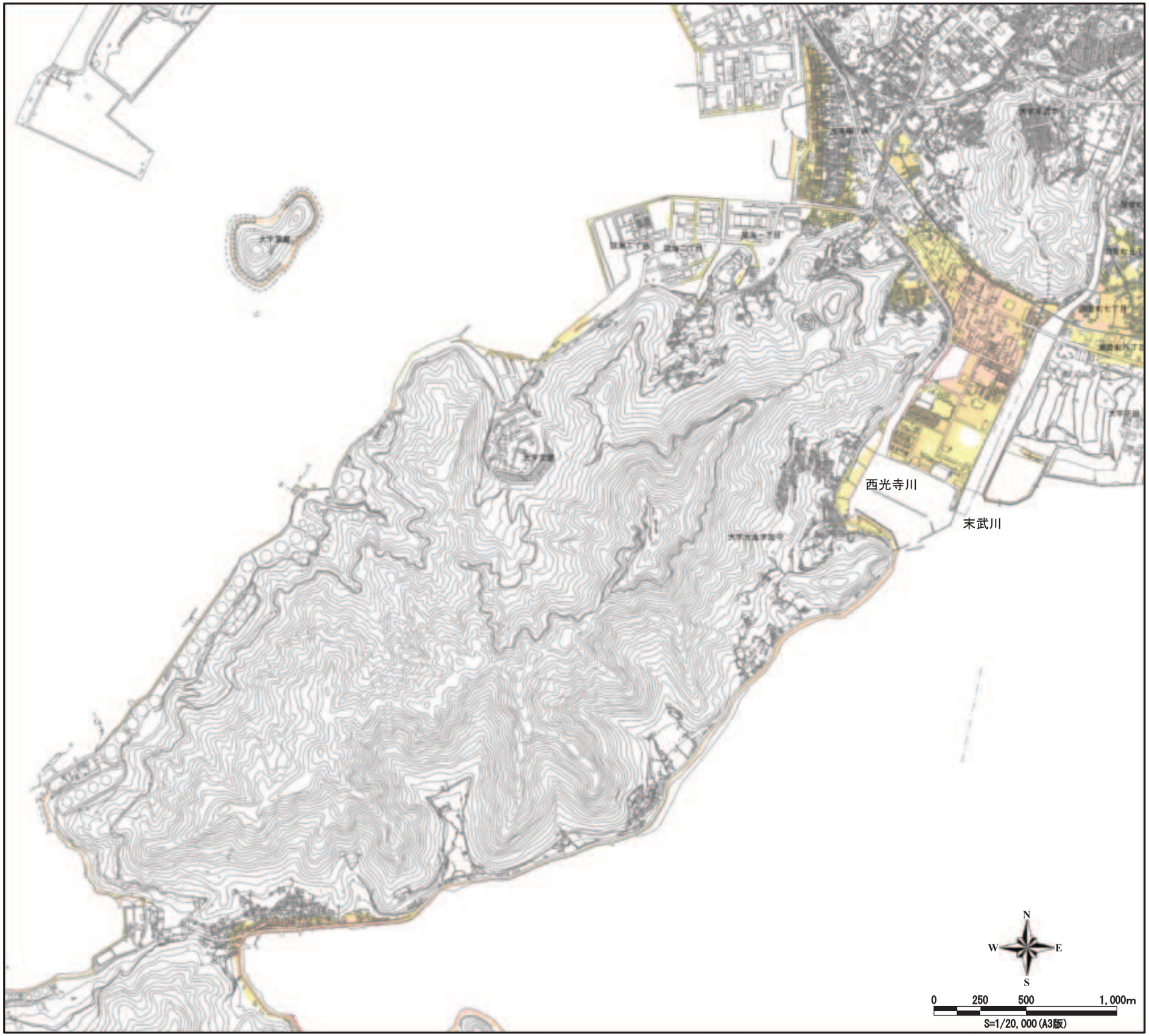
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

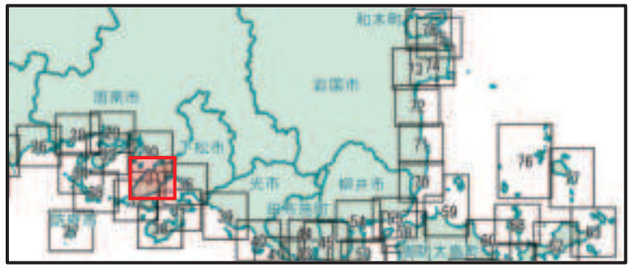
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 31

周南市 4/8





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

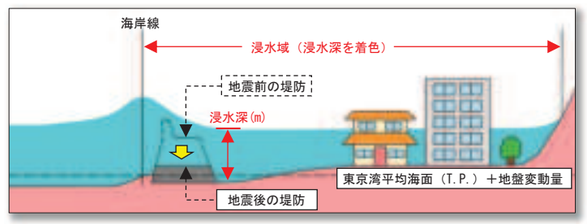
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



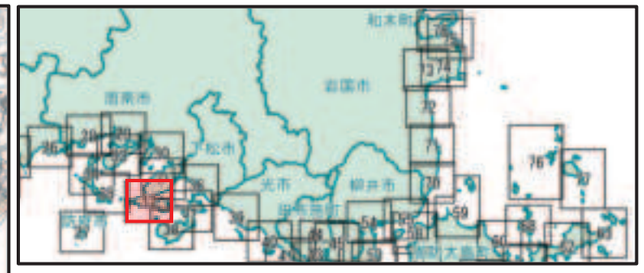
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 32

周南市 5/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

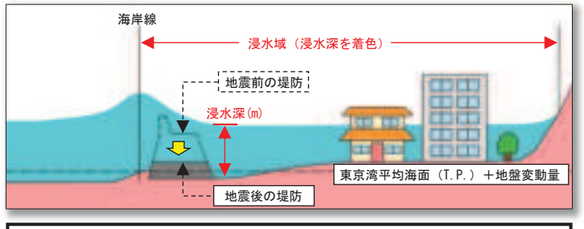
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



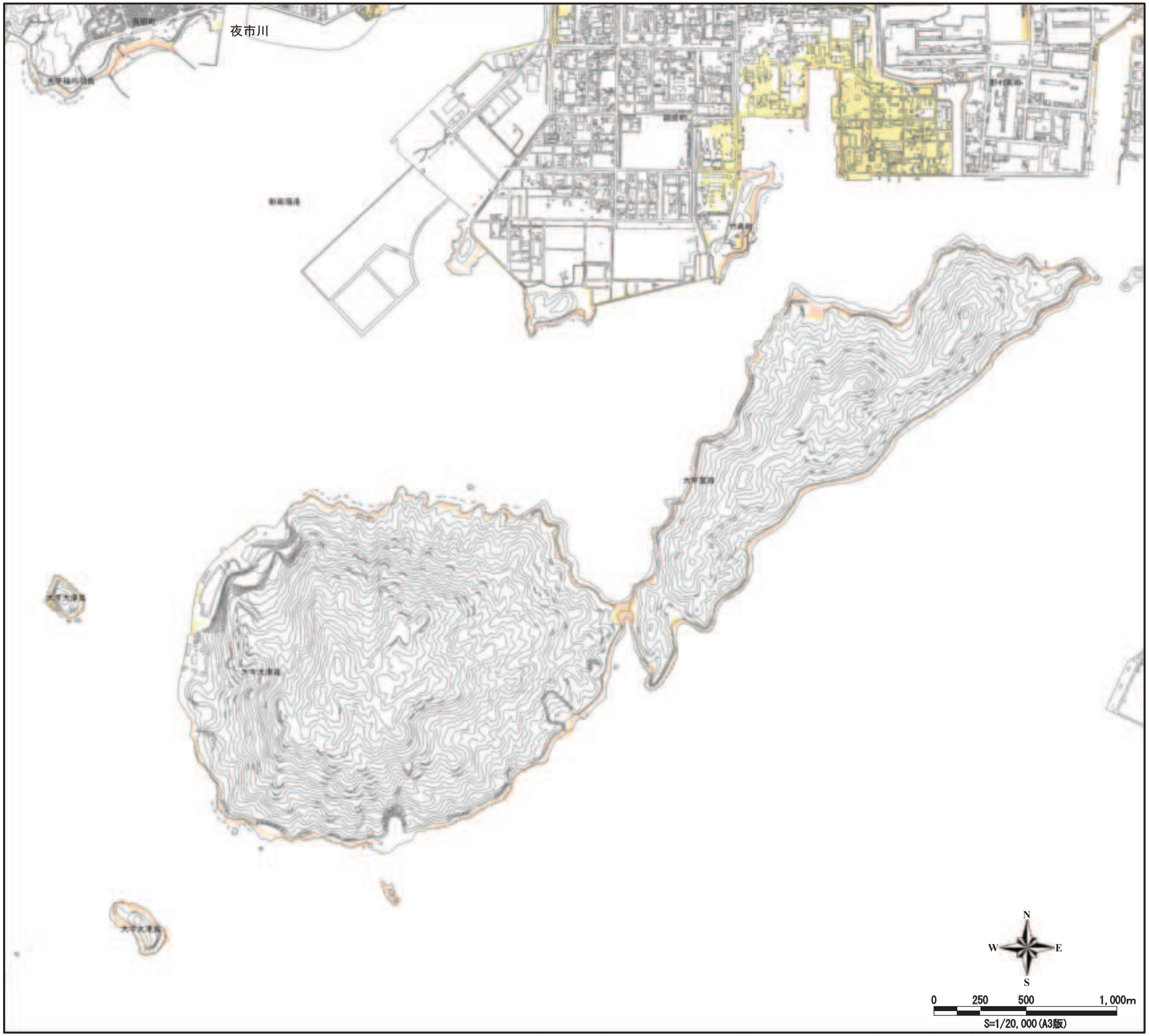
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

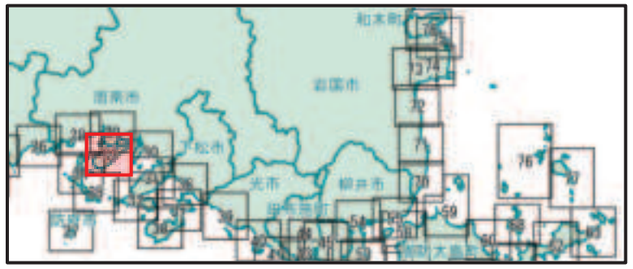
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 33

周南市 6/8





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

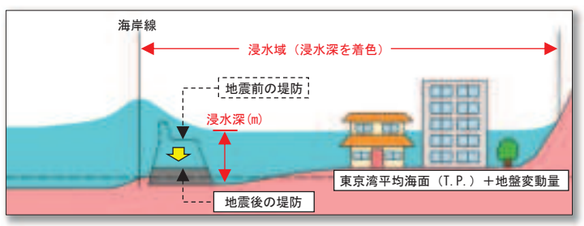
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

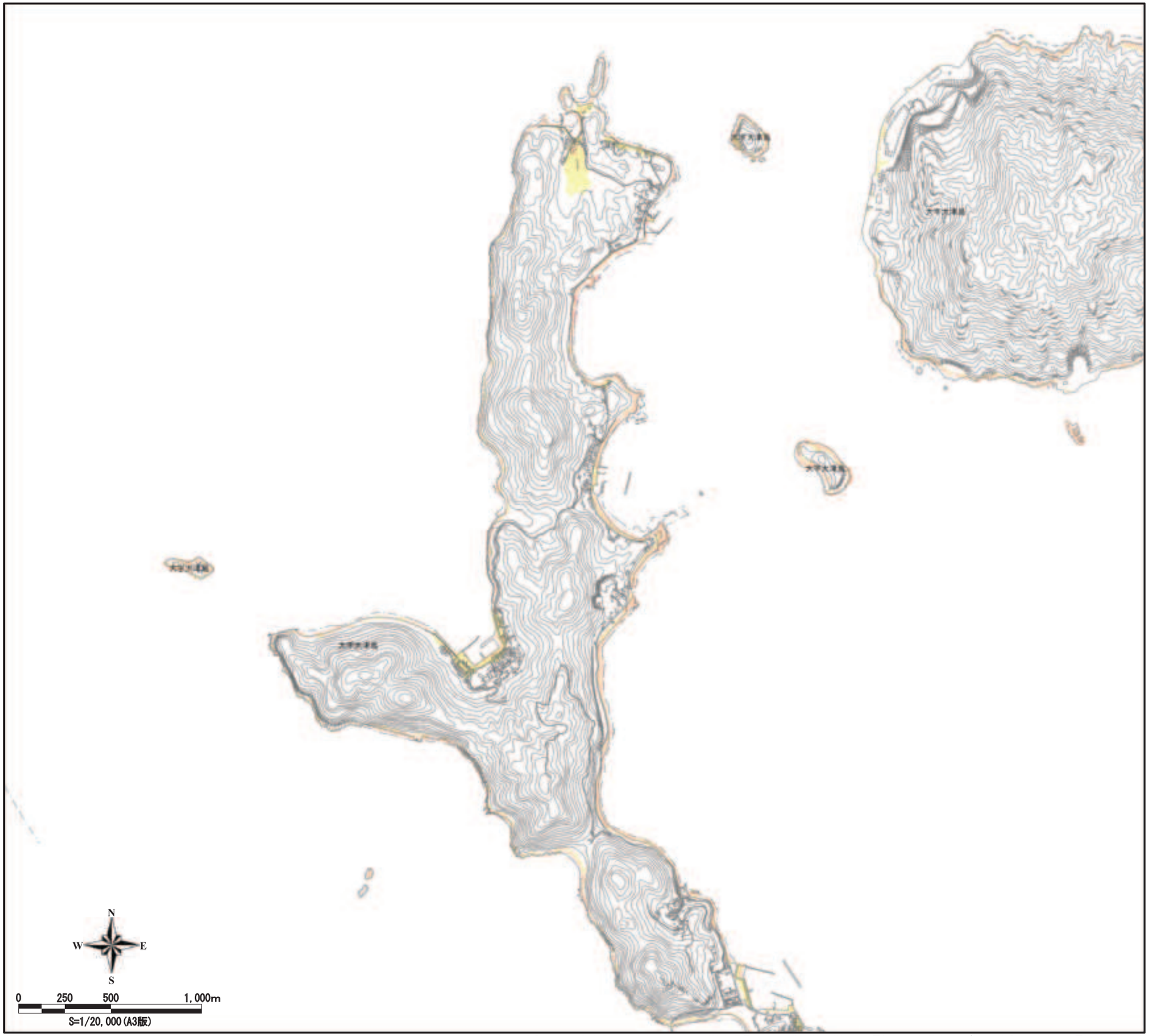
S=1/20,000(A3版)

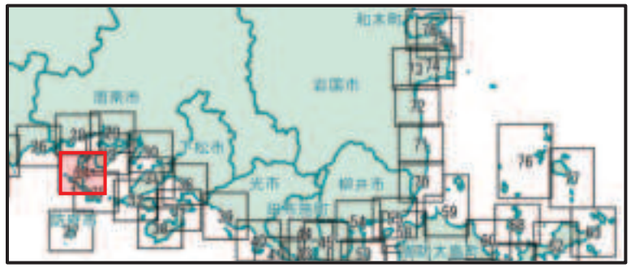
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 34

周南市 7/8





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

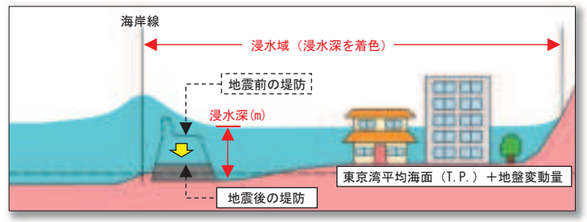
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



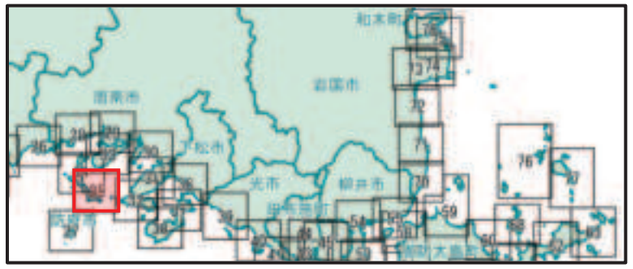
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 35

周南市 8/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

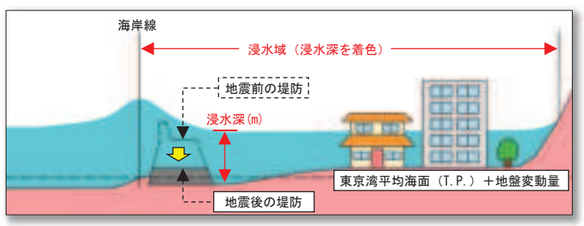
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



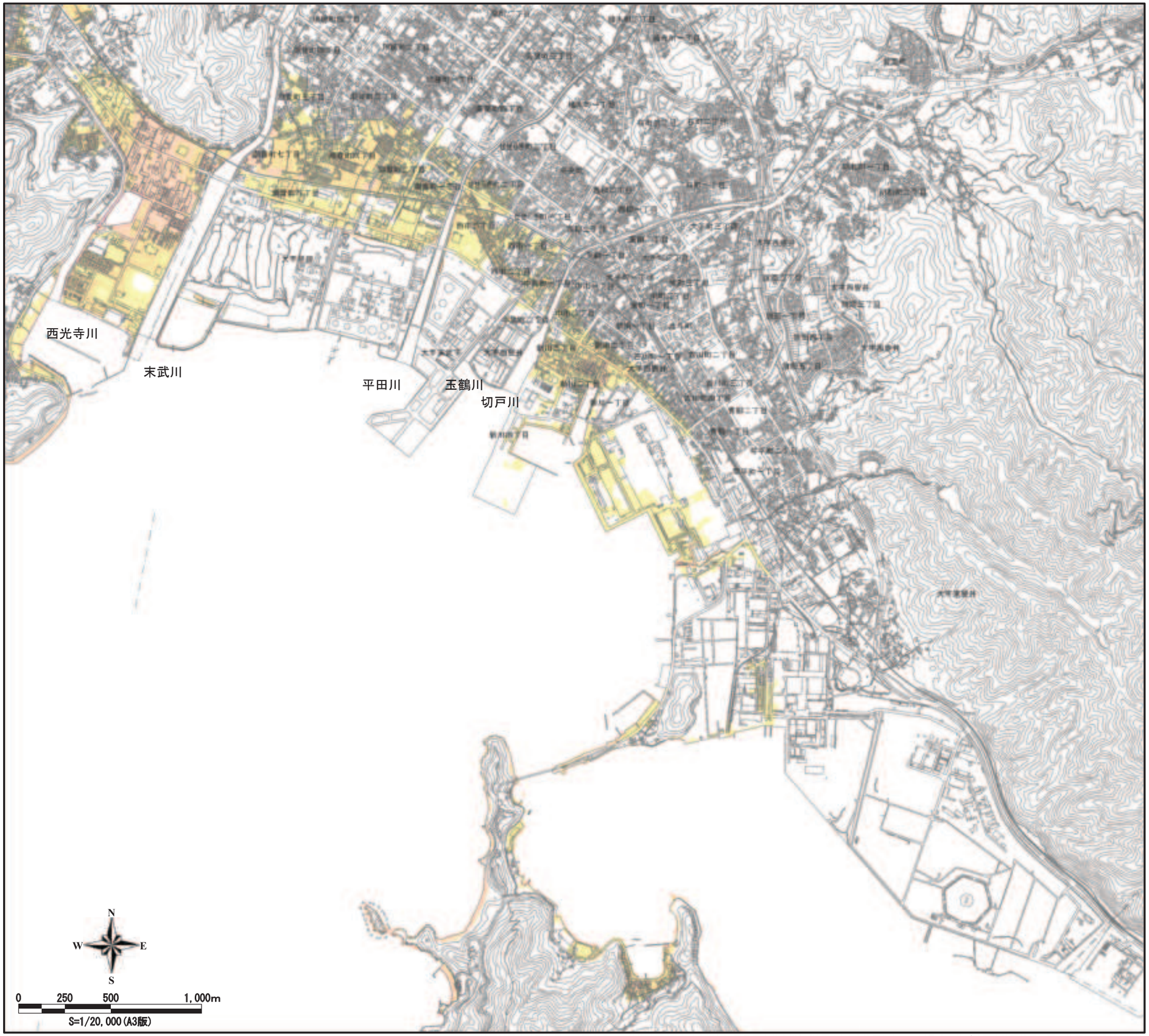
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

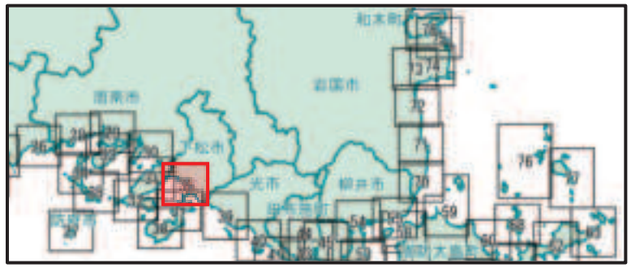
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 36

下松市 1/3





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

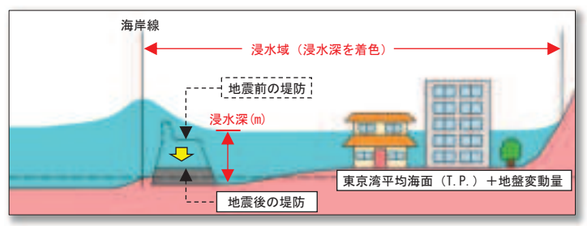
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



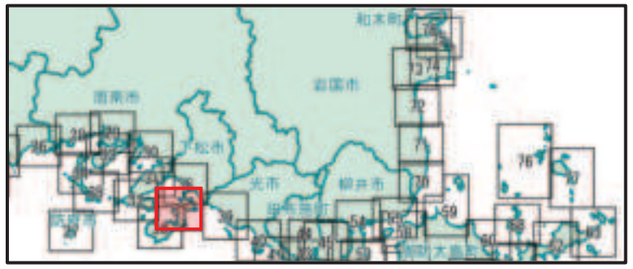
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 37

下松市 2/3



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

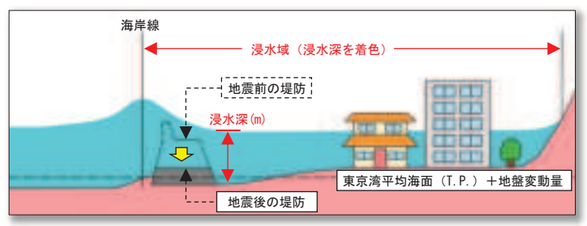
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



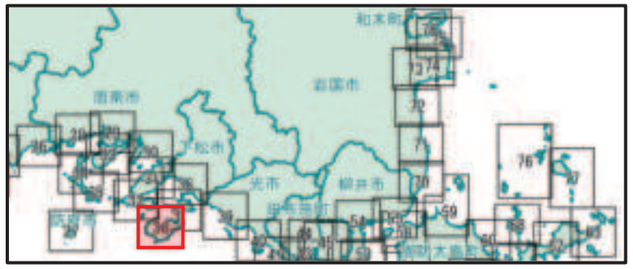
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 38

下松市 3/3



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

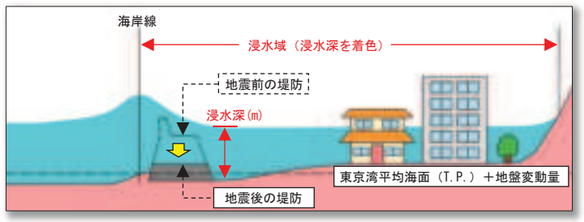
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



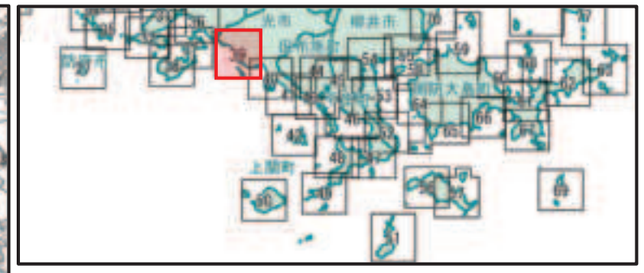
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 39

光市 1/4



島田川

N
W
E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

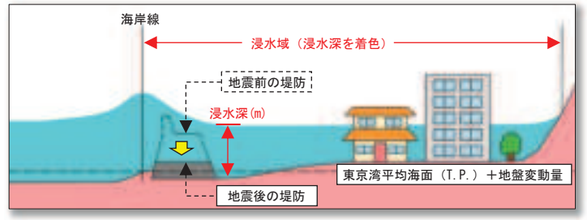
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



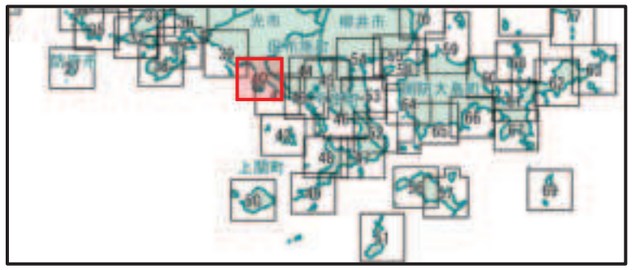
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 40

光市 2/4



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

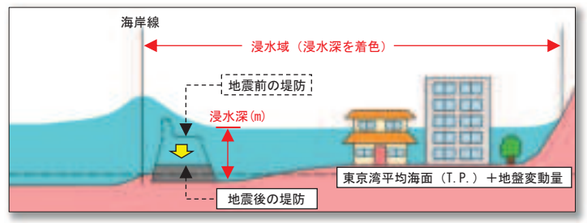
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



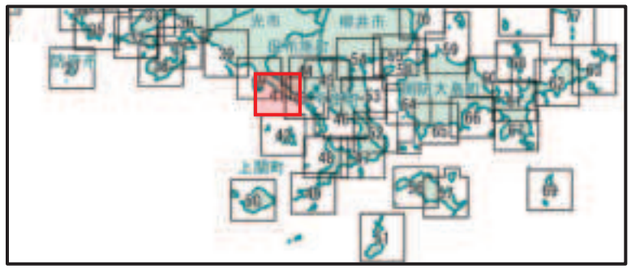
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 41

光市 3/4



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

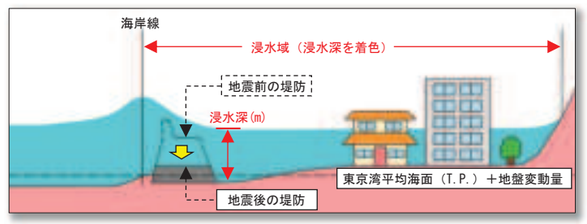
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



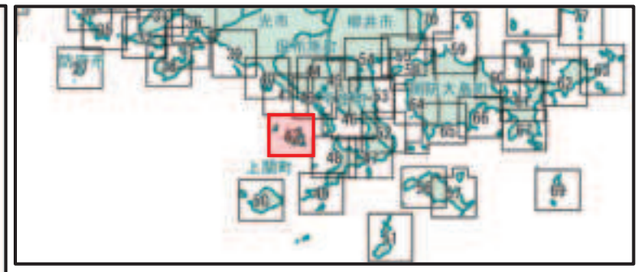
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 42

光市 4/4



0　250　500　1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

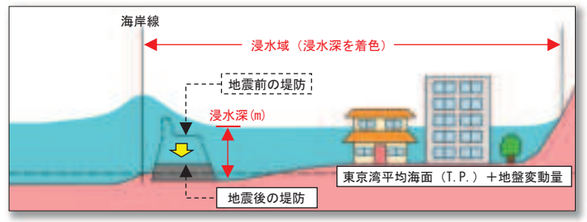
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



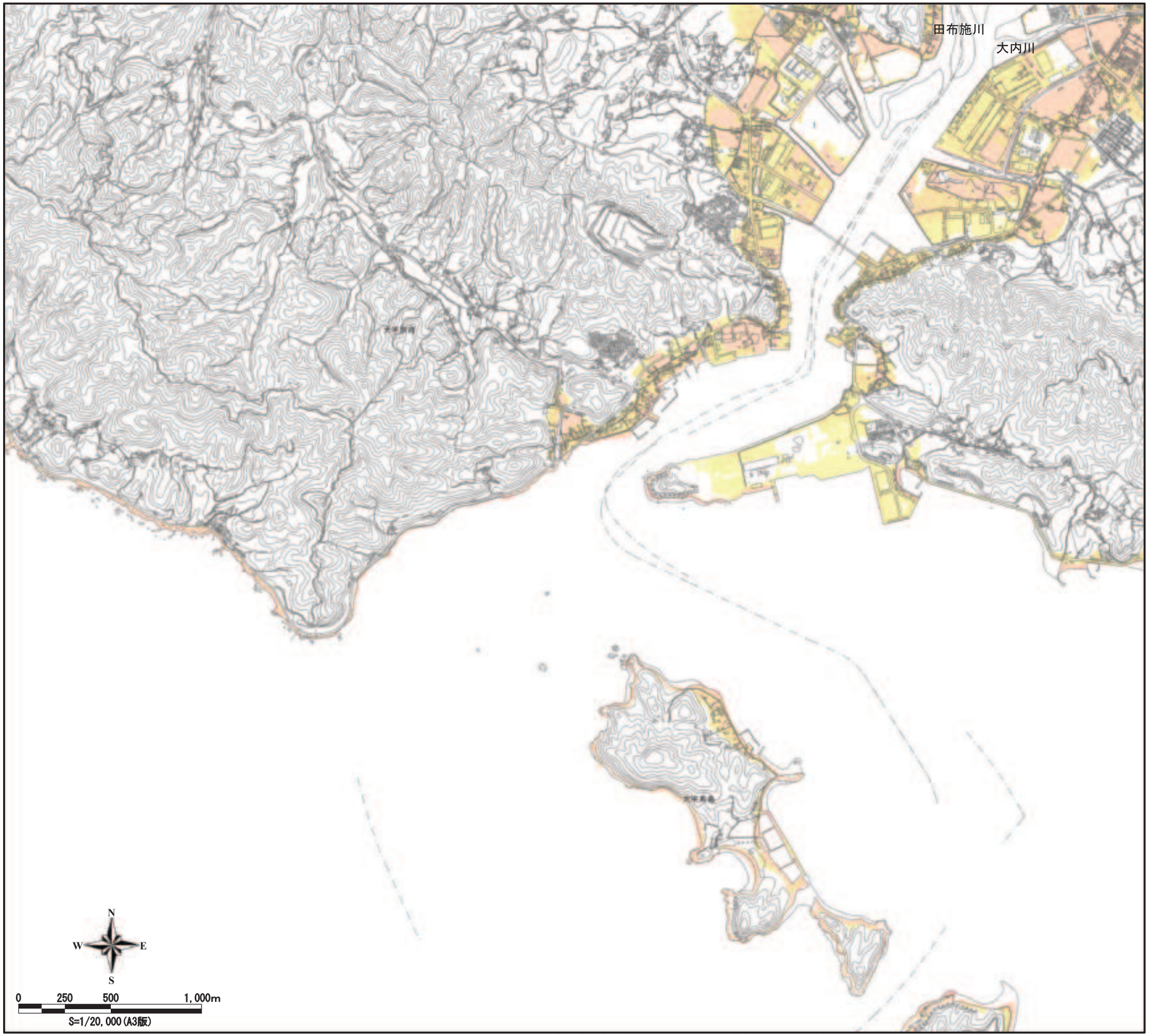
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

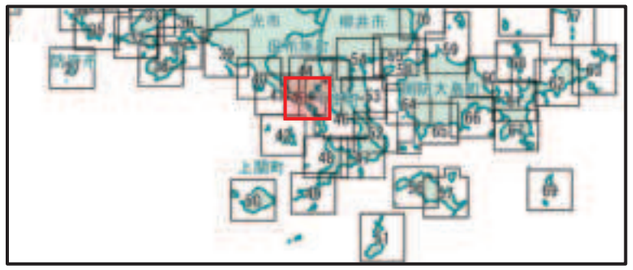
作成者：山　口　県
作成年月：令和8年3月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 43

田布施町 1/2





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

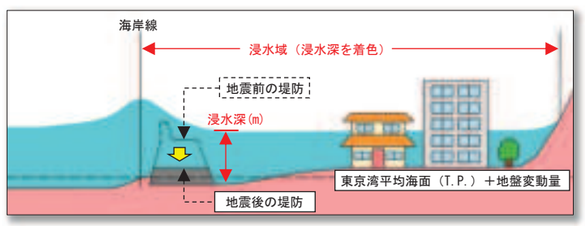
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



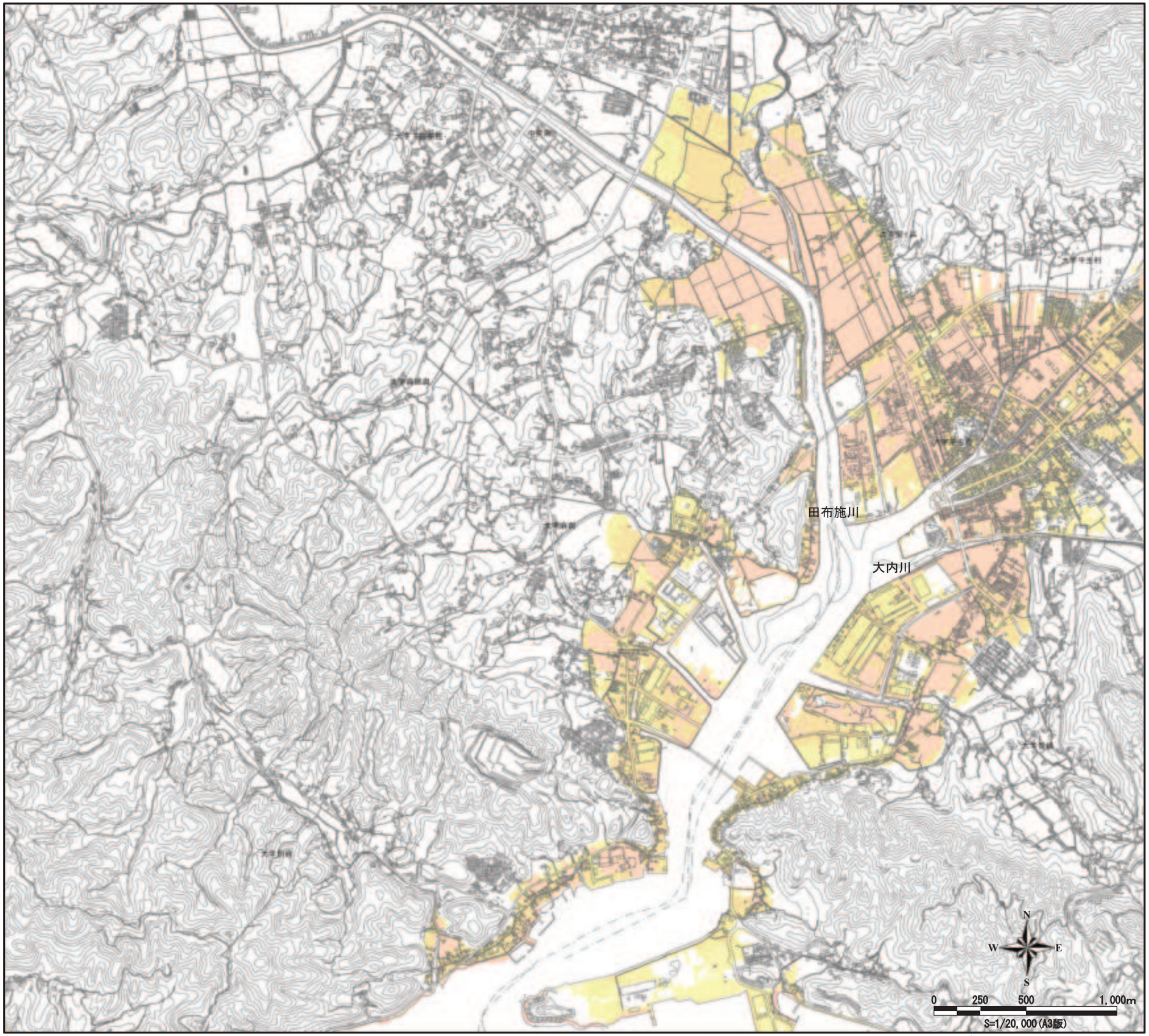
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

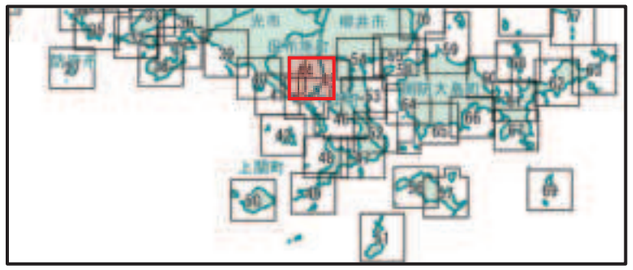
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 44

田布施町 2/2





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

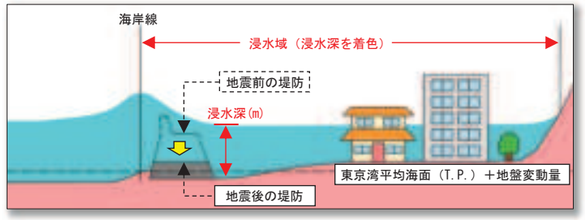
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



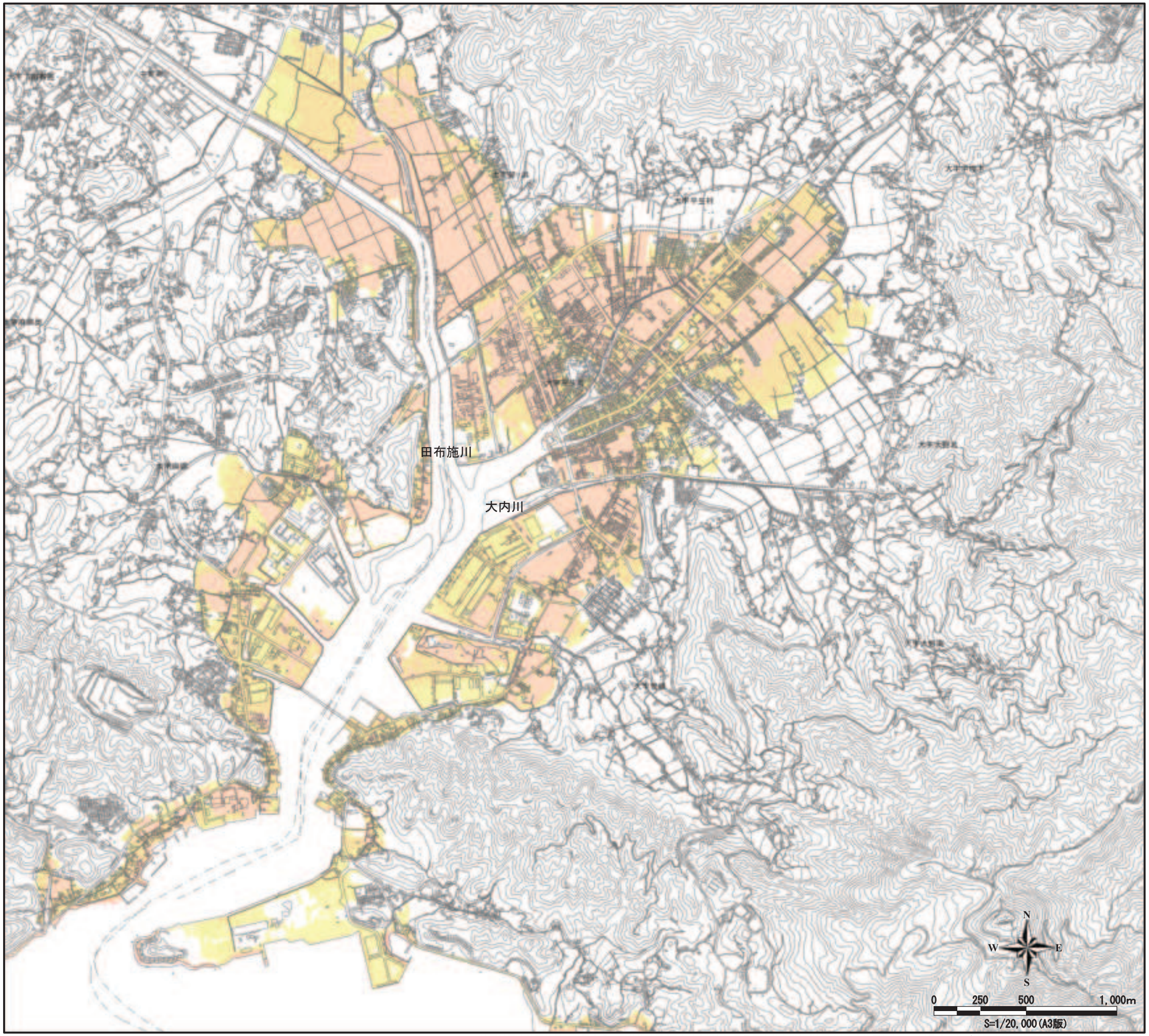
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

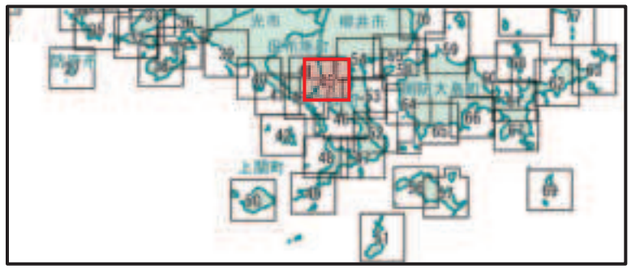
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 45

平生町 1/2





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

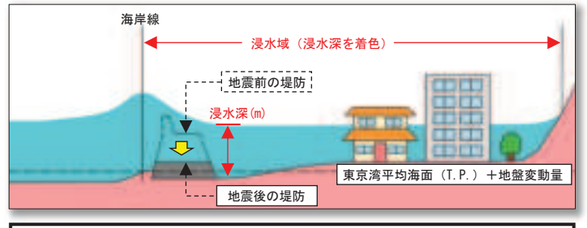
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



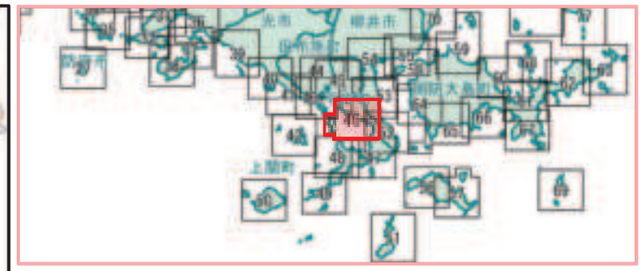
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 46

平生町 2/2



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

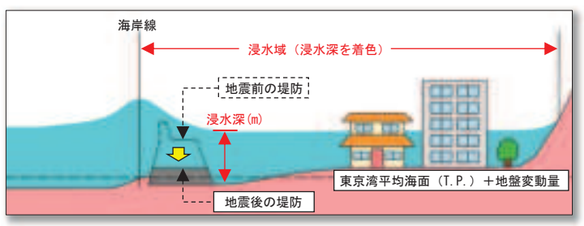
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



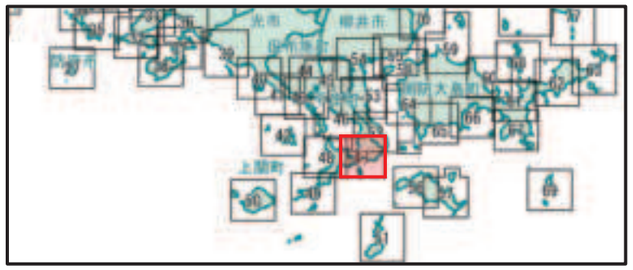
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 47

上関町 1/5



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

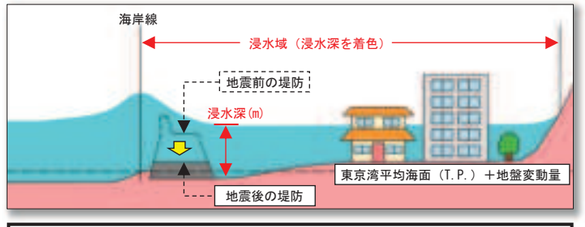
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



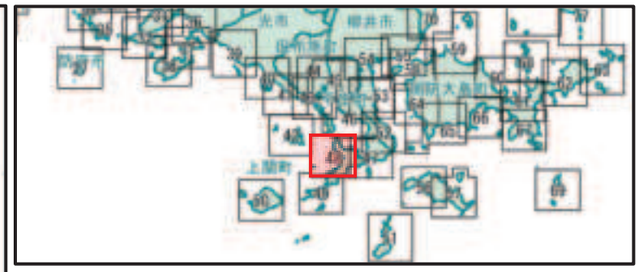
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 48

上関町 2/5



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

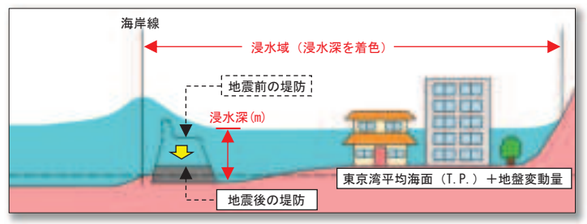
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



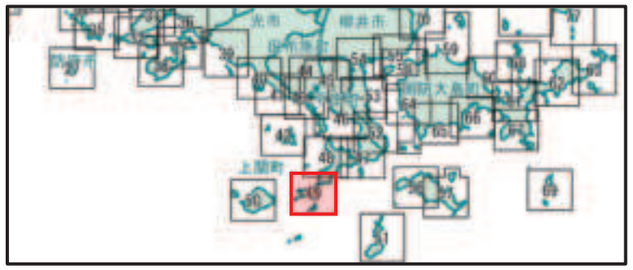
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 49

上関町 3/5



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

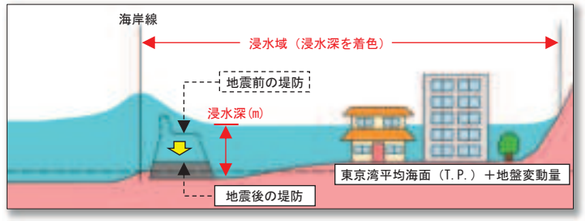
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



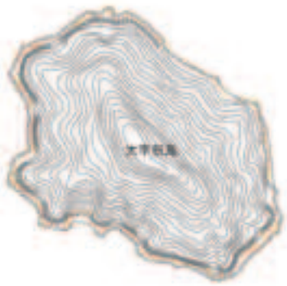
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

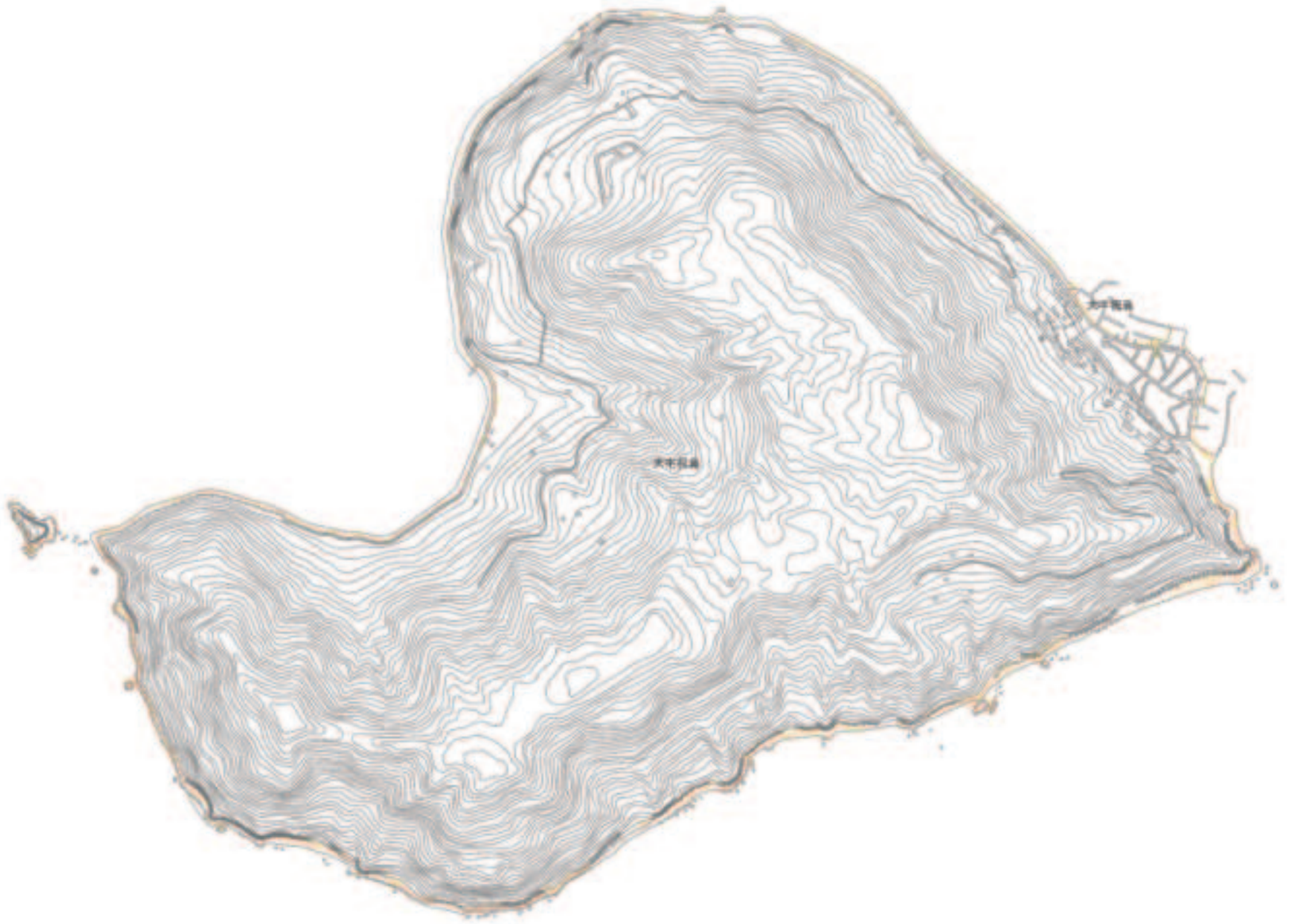
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 50

上関町 4/5





0　250　500　1,000m

S=1/20,000(A3版)

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図(国土基本情報)電子国土基本情報(地図情報)を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 810)

【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

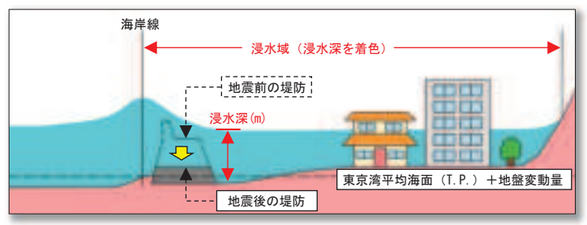
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

山口県津波浸水想定図 51

上関町 5/5

【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

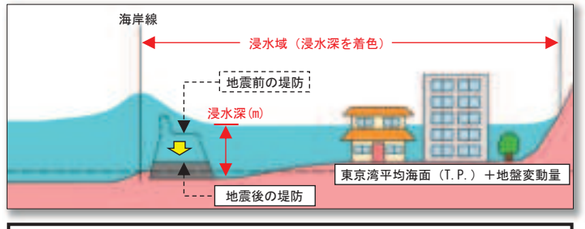
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



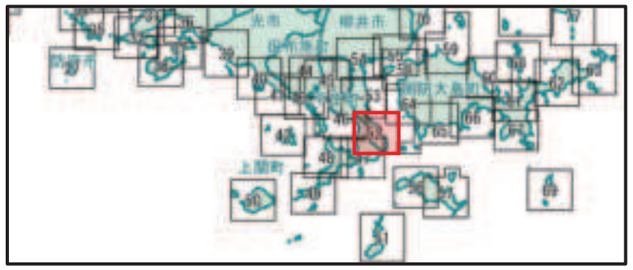
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 52

柳井市 1/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

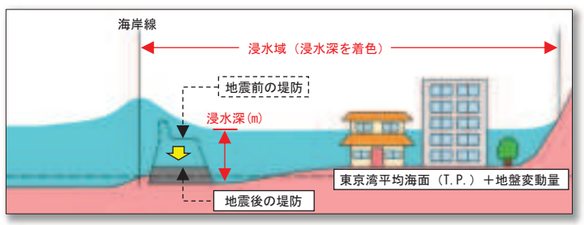
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



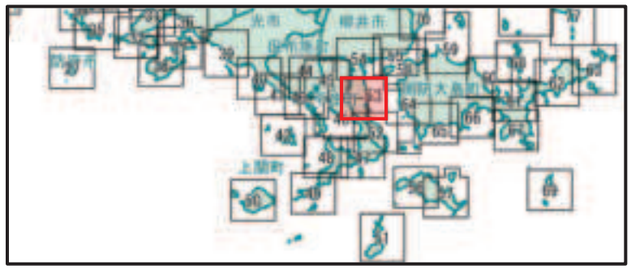
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 53

柳井市 2/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

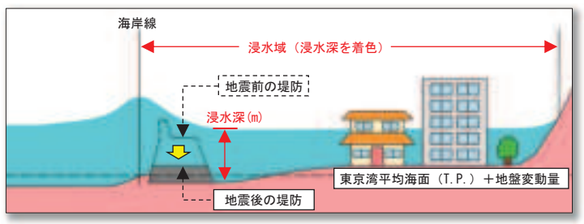
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



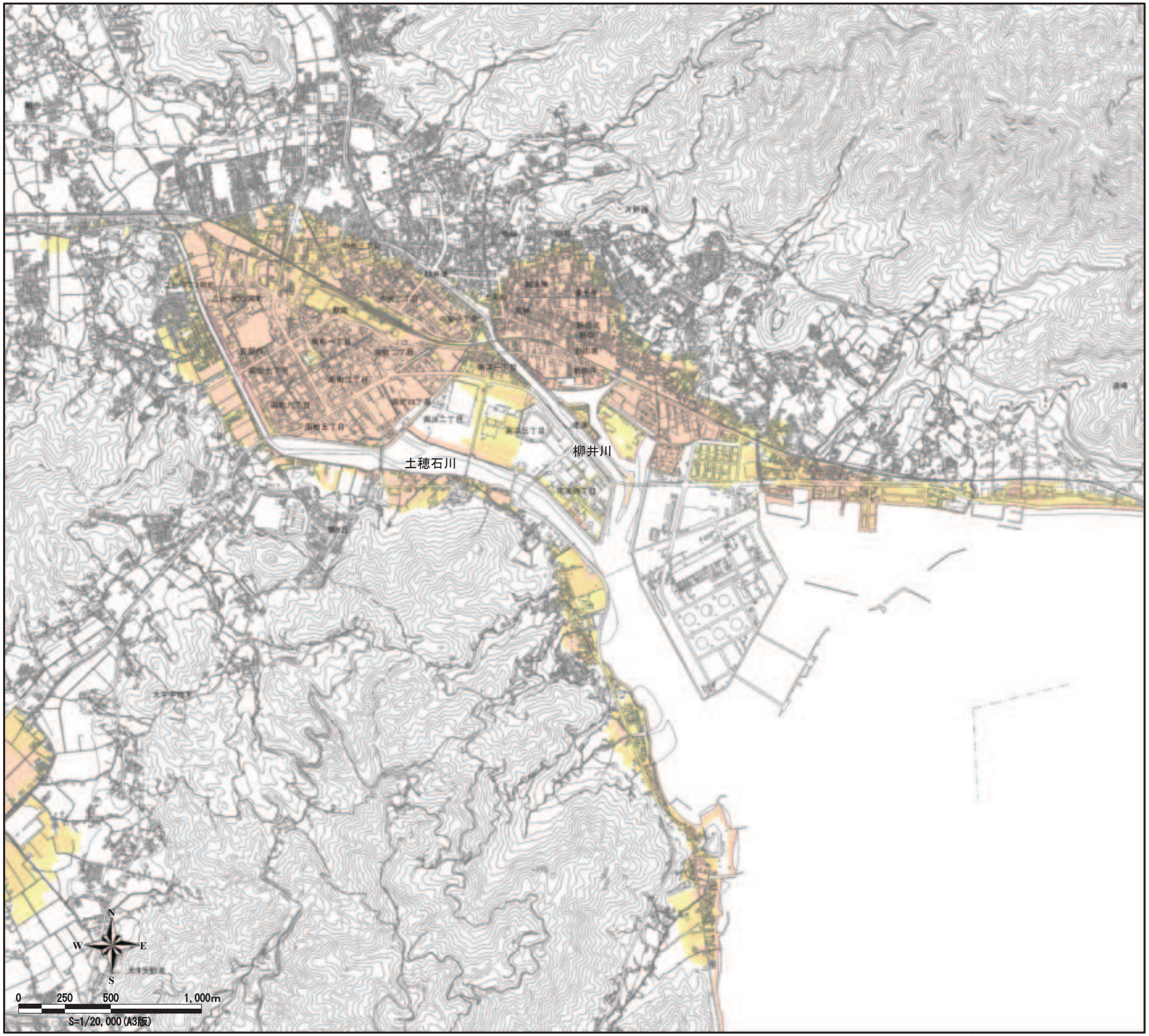
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

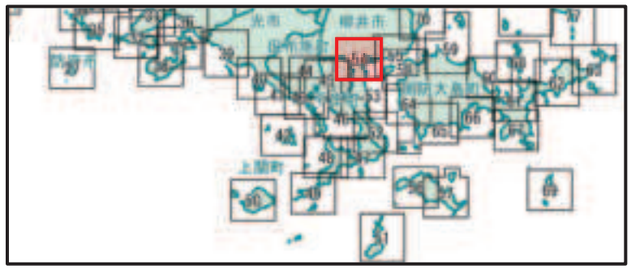
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 54

柳井市 3/6





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

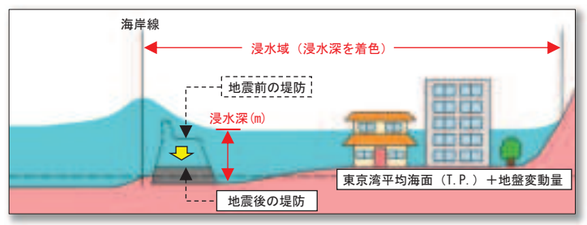
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



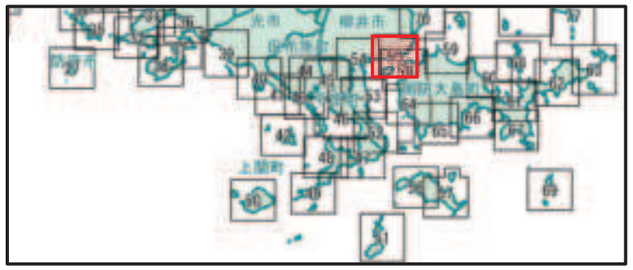
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 55

柳井市 4/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

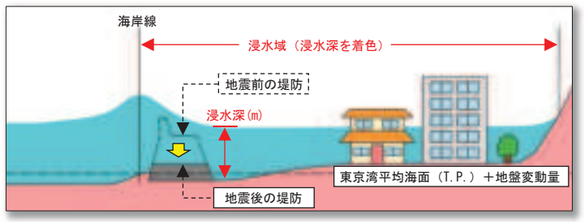
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



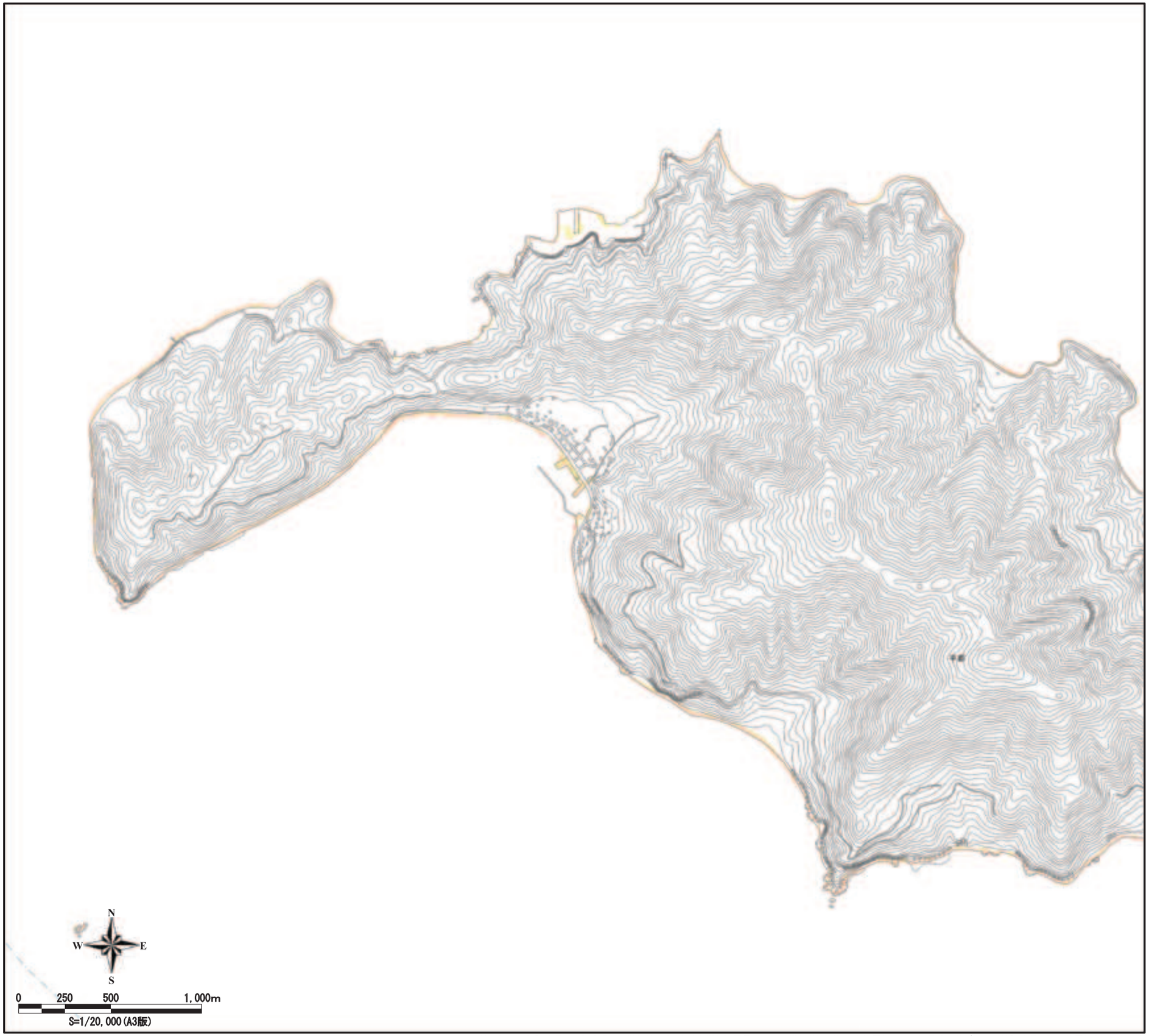
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 56

柳井市 5/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

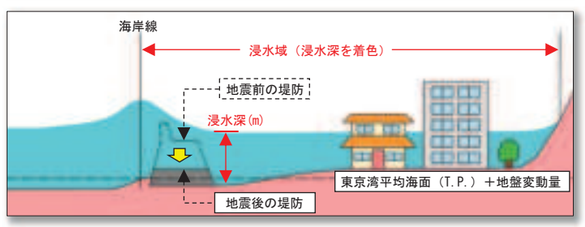
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



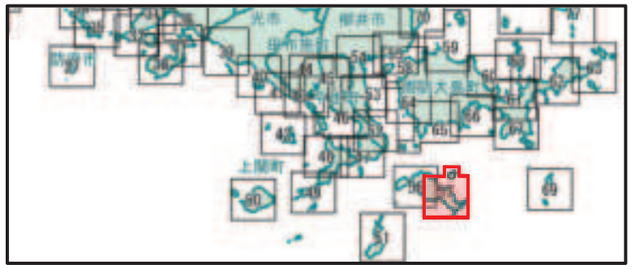
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作成者：山　口　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 57

柳井市 6/6



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

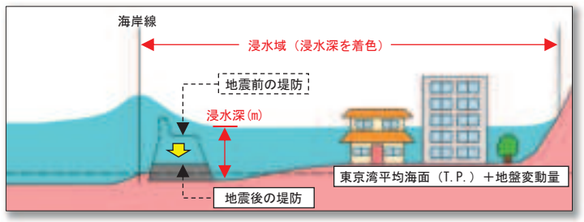
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



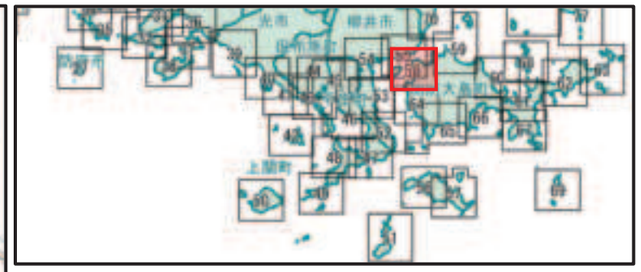
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

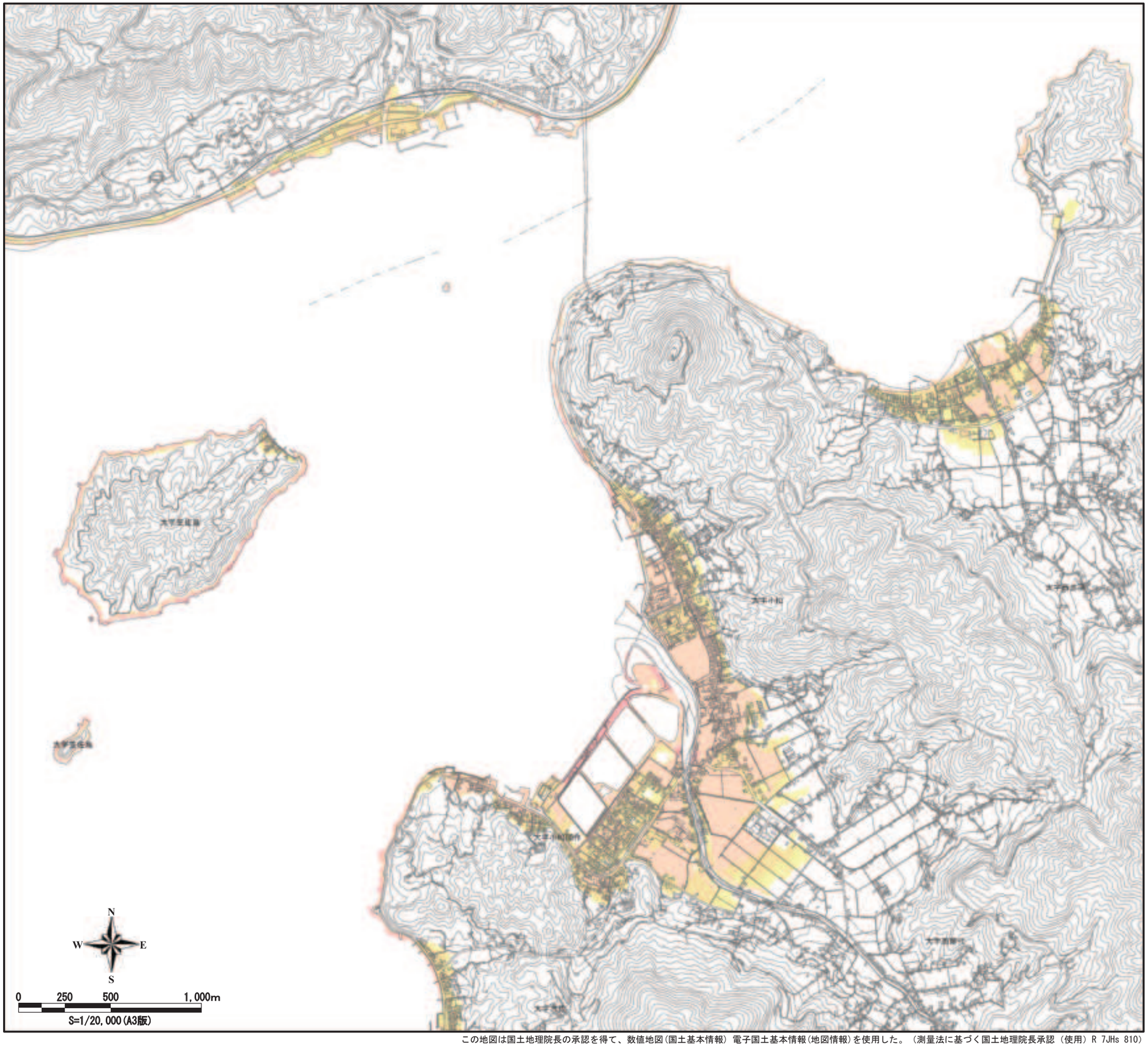
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 58

周防大島町 1/12





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

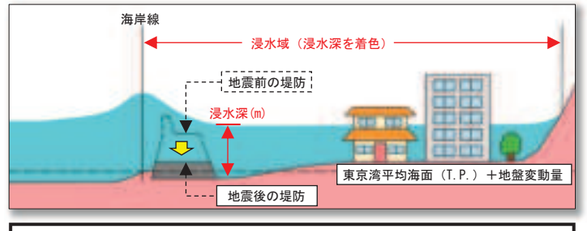
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



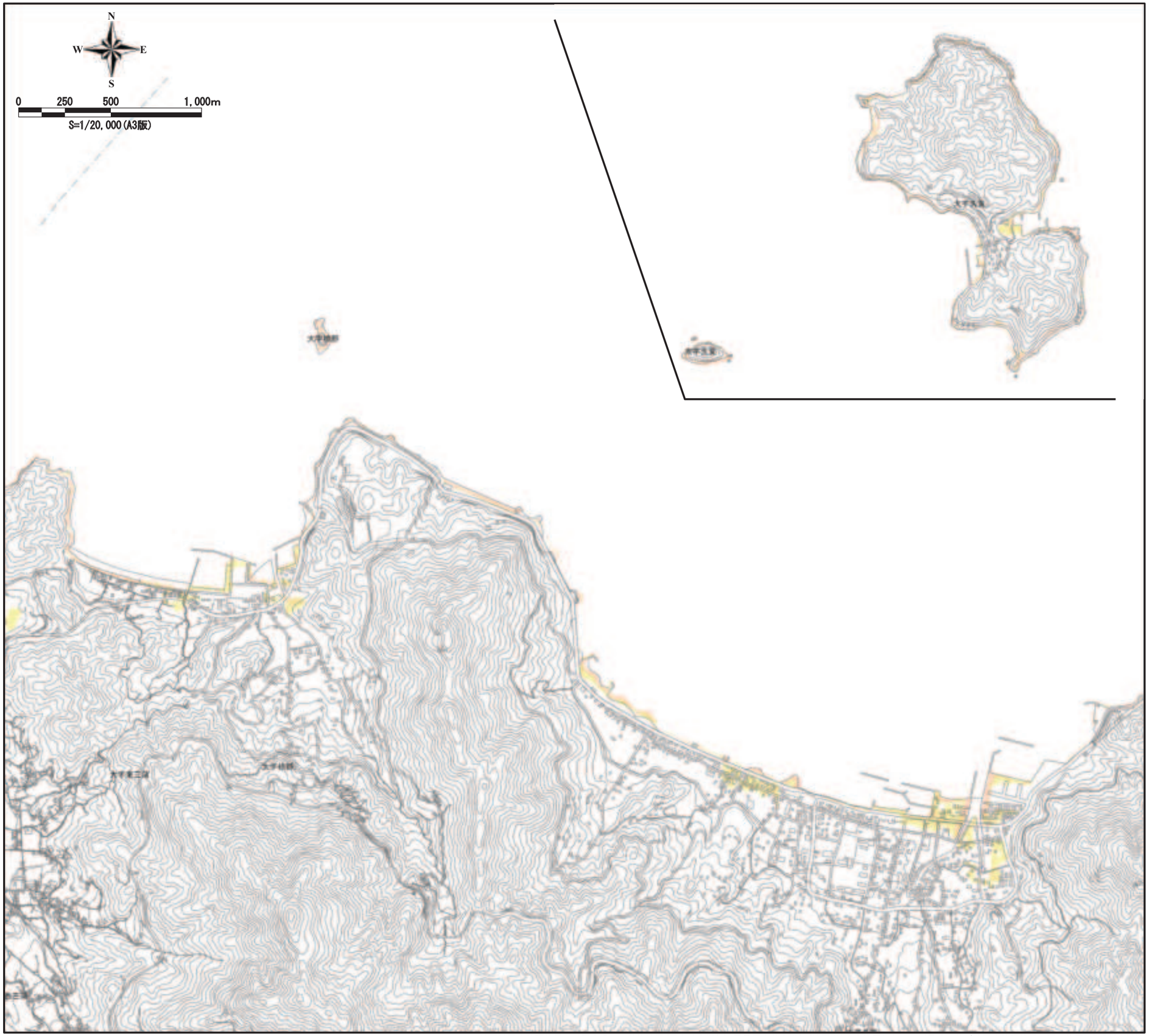
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

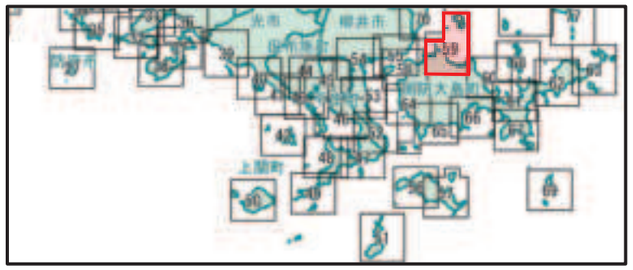
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 59

周防大島町 2/12





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

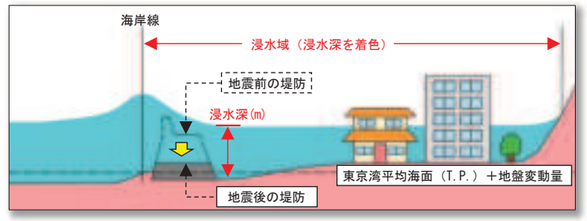
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



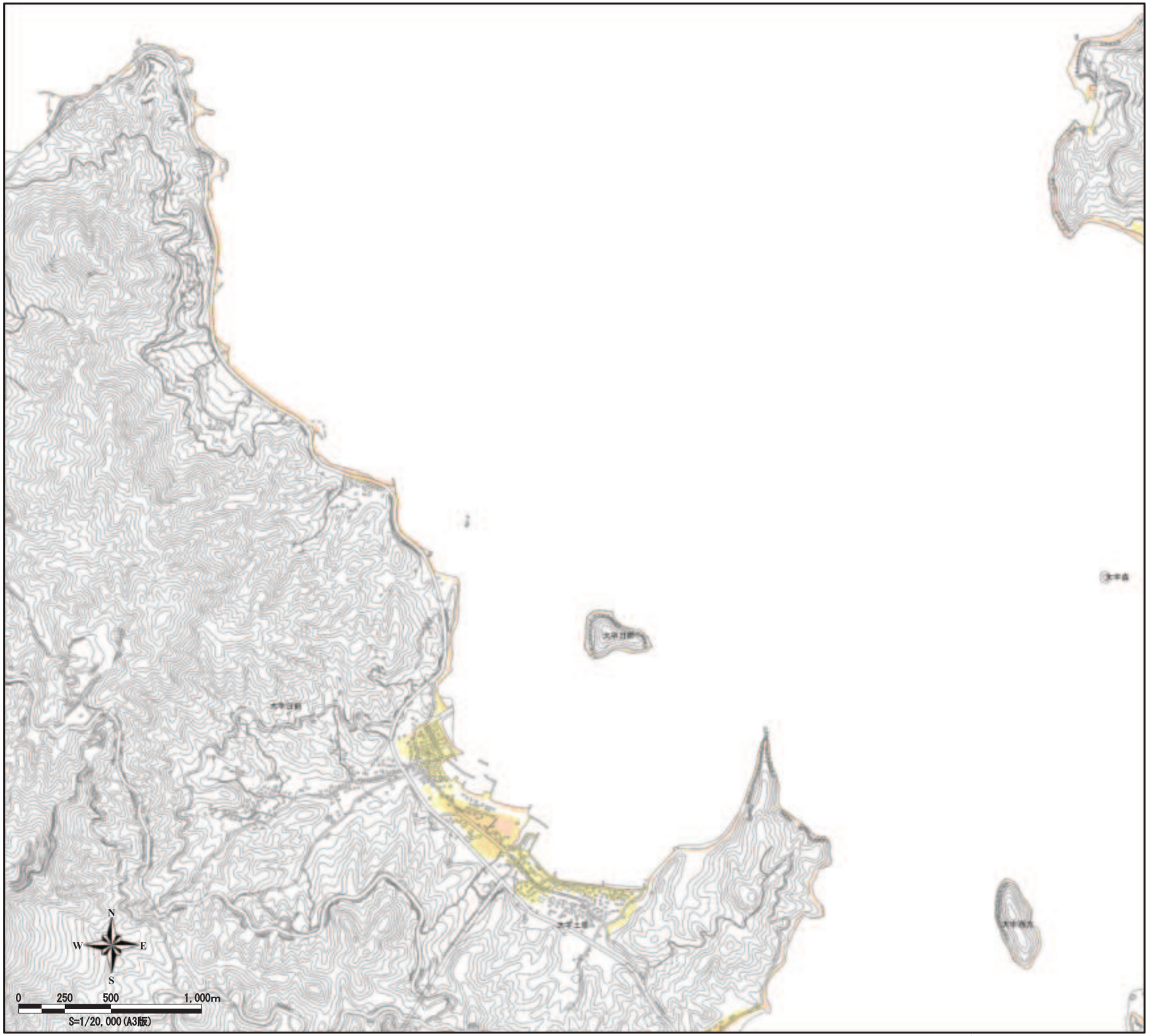
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

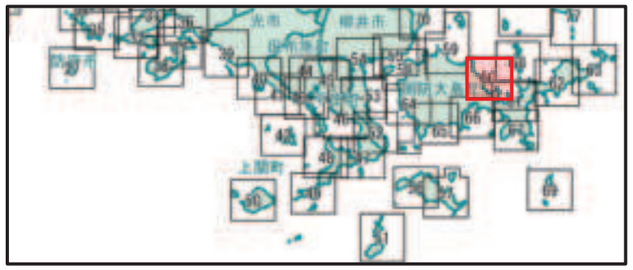
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 60

周防大島町 3/12





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

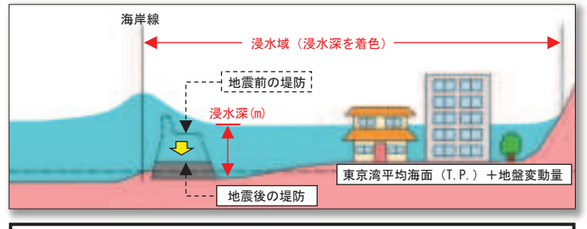
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



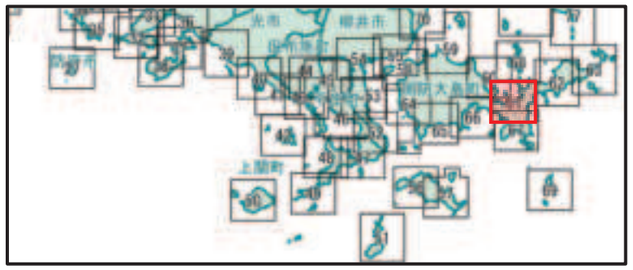
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 61

周防大島町 4/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

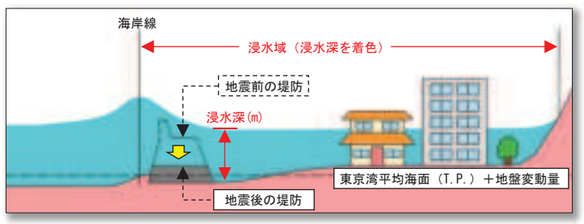
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



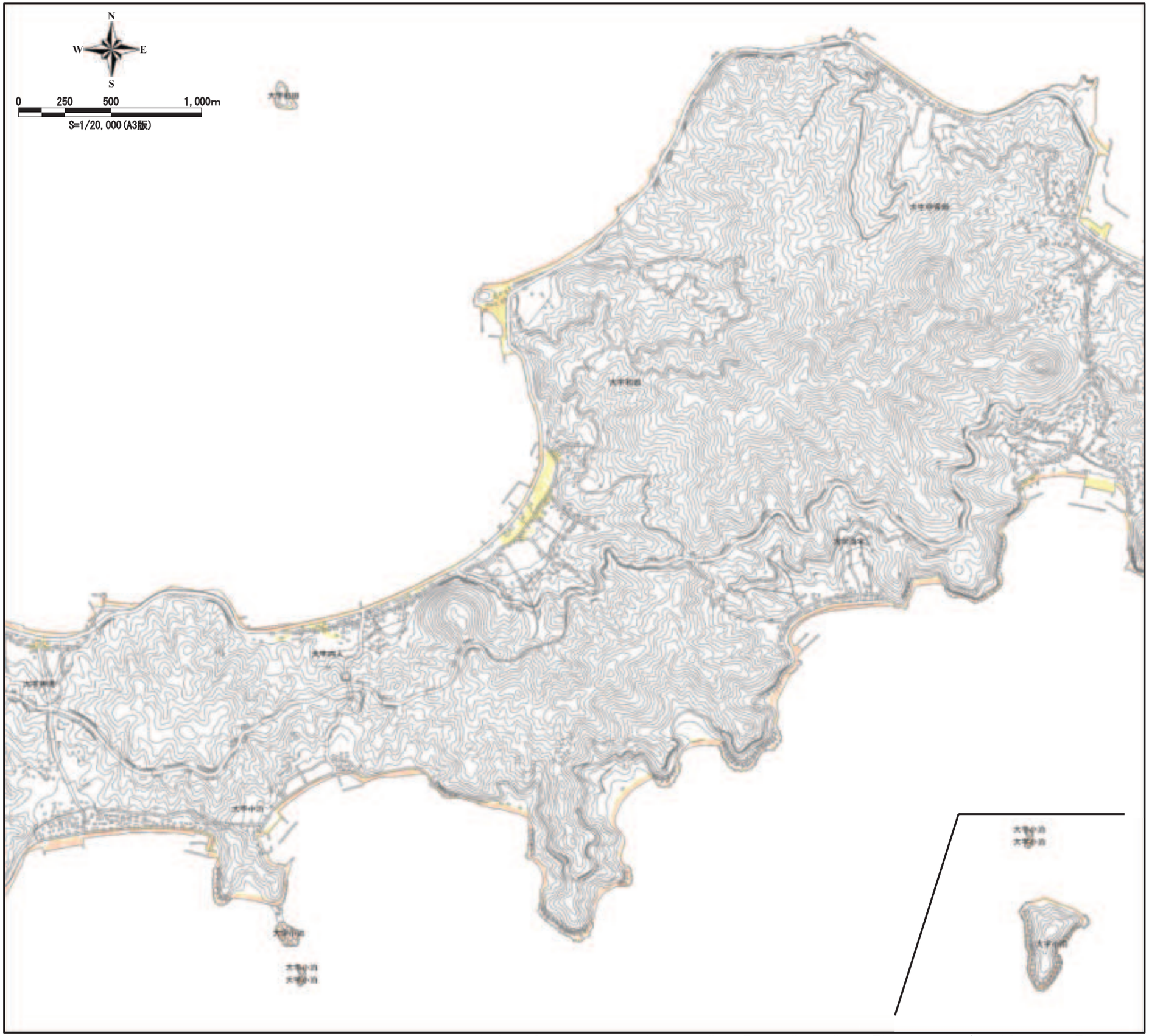
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

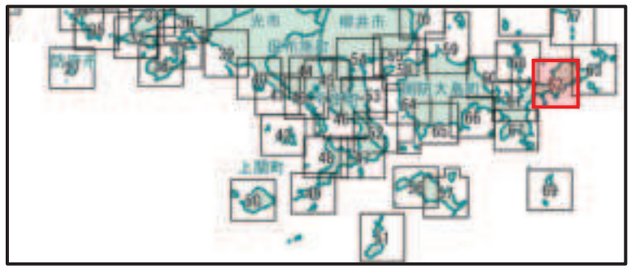
作成者：山　口　県
作成年月：令和8年3月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 62

周防大島町 5/12





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

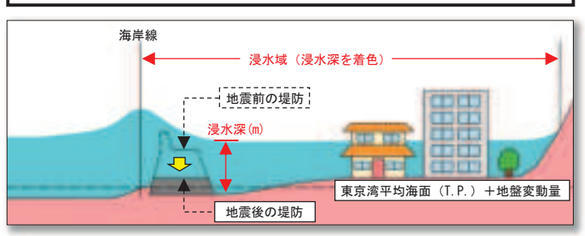
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



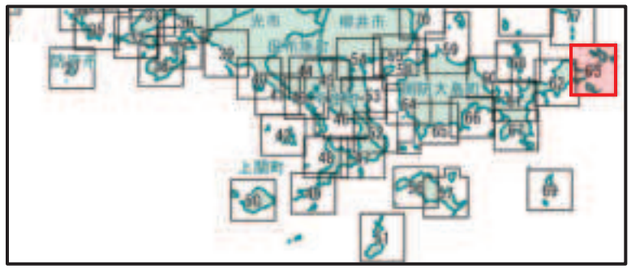
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 63

周防大島町 6/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

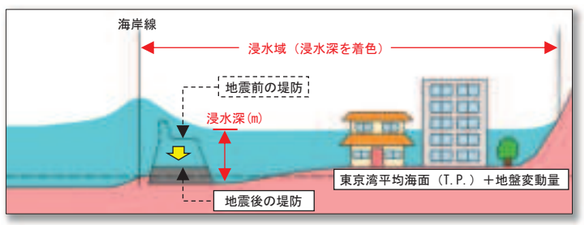
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



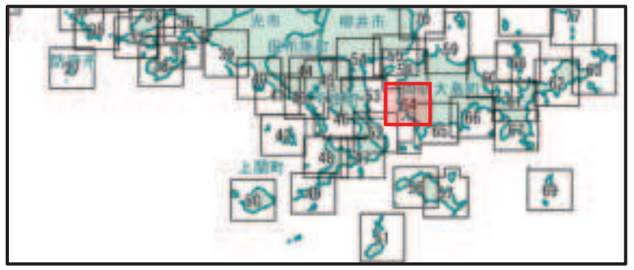
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 64

周防大島町 7/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

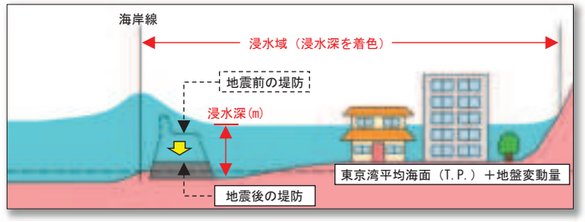
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



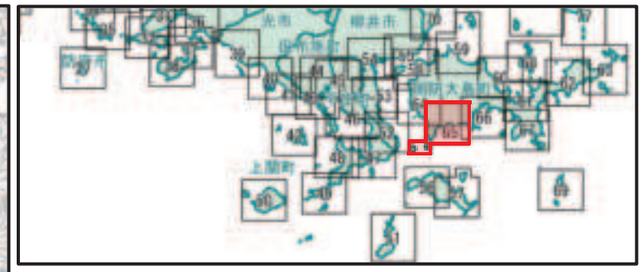
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 65

周防大島町 8/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

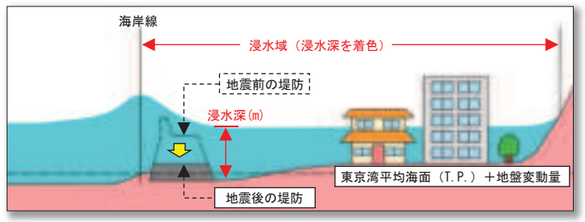
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



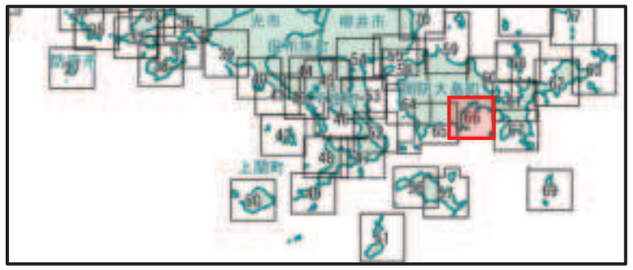
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 66

周防大島町 9/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

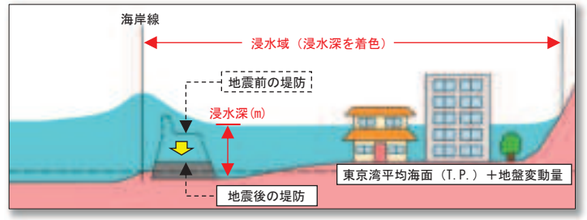
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



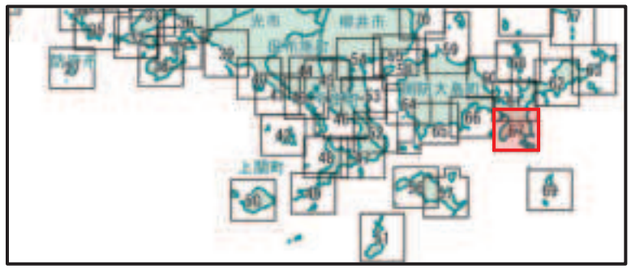
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 67

周防大島町 10/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

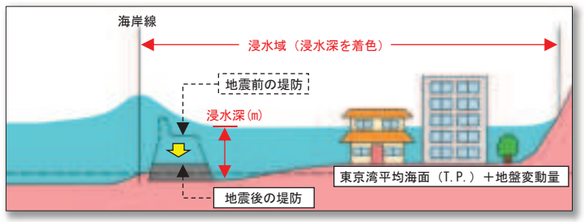
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



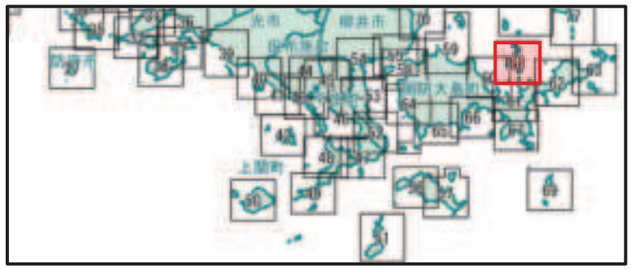
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 68

周防大島町 11/12



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

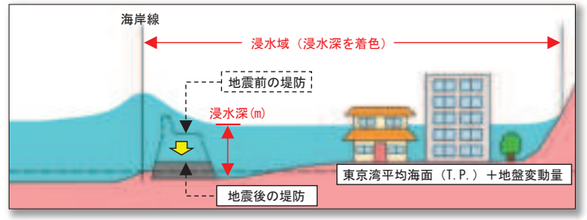
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



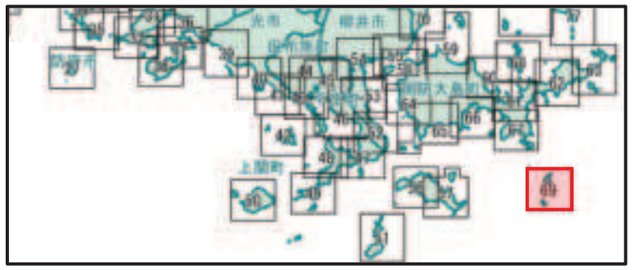
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

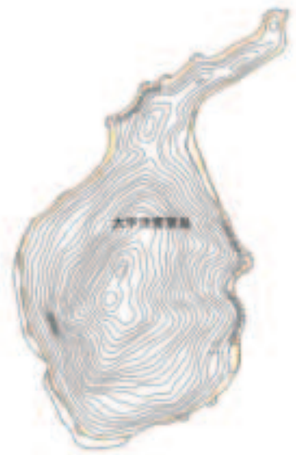
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

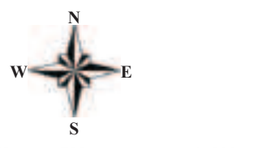
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 69

周防大島町 12/12







0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図(国土基本情報) 電子国土基本情報(地図情報)を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

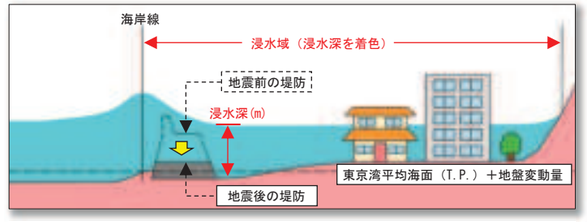
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満

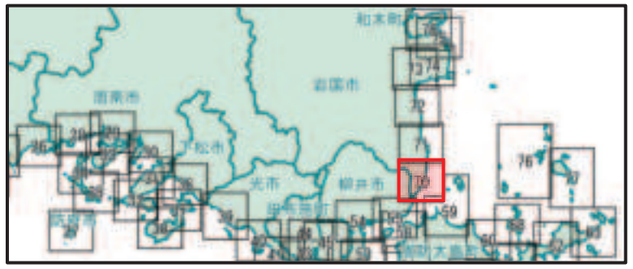


地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

山口県津波浸水想定図 70

岩国市 1/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

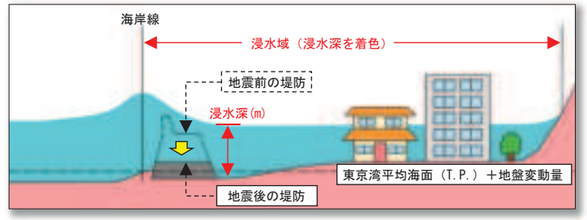
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

N
W　E
S

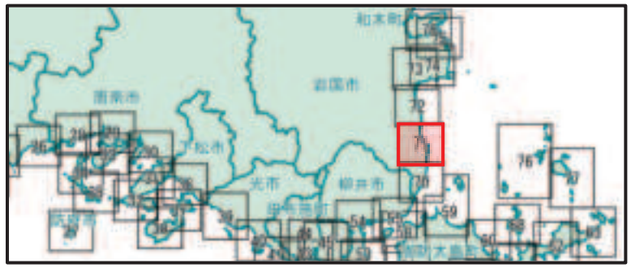
0　250　500　1,000m

S=1/20,000(A3版)

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図(国土基本情報) 電子国土基本情報(地図情報)を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 71

岩国市 2/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

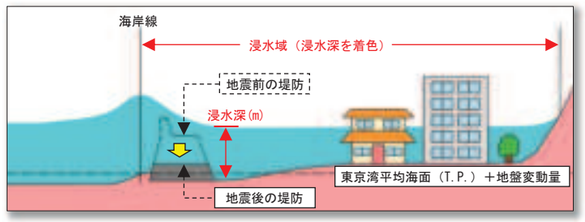
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



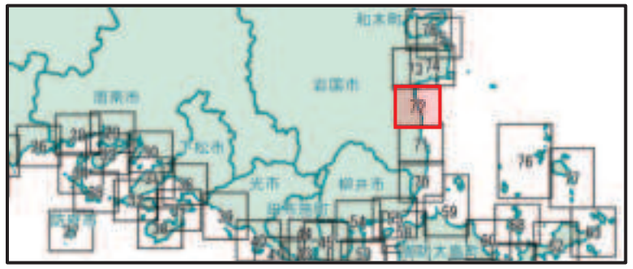
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 72

岩国市 3/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

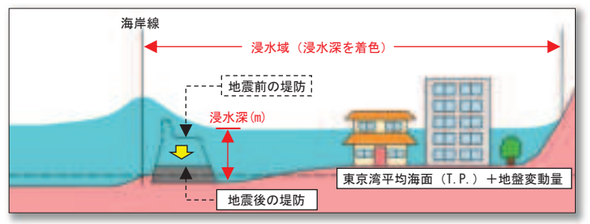
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



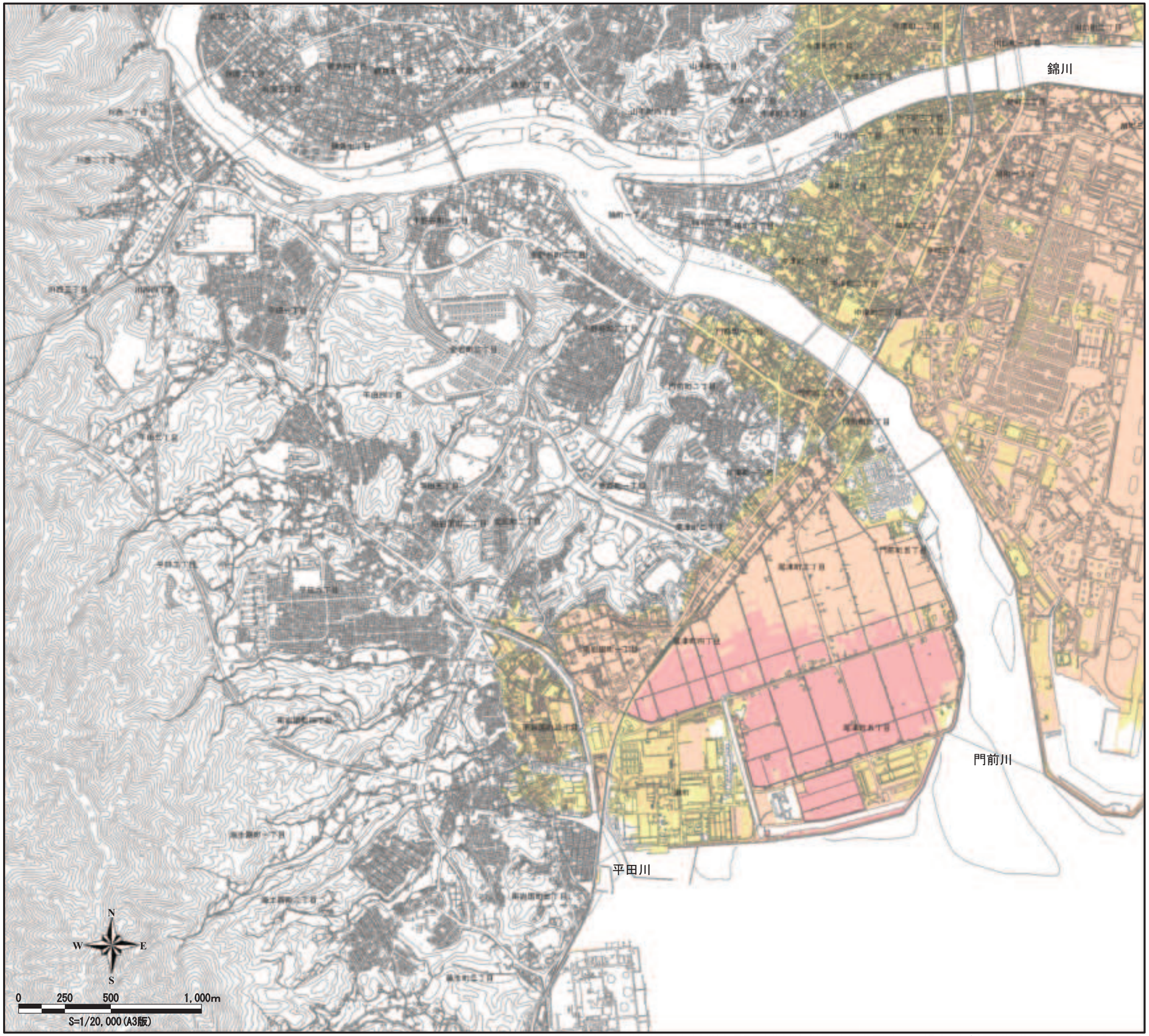
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

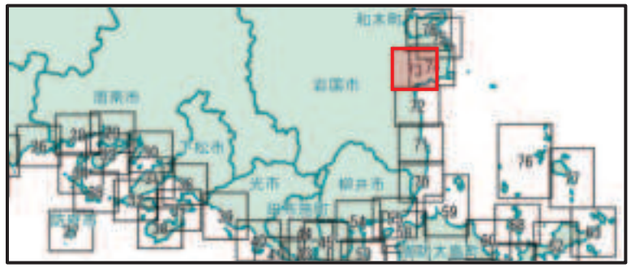
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 73

岩国市 4/8





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

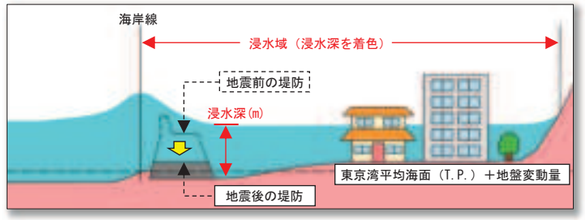
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



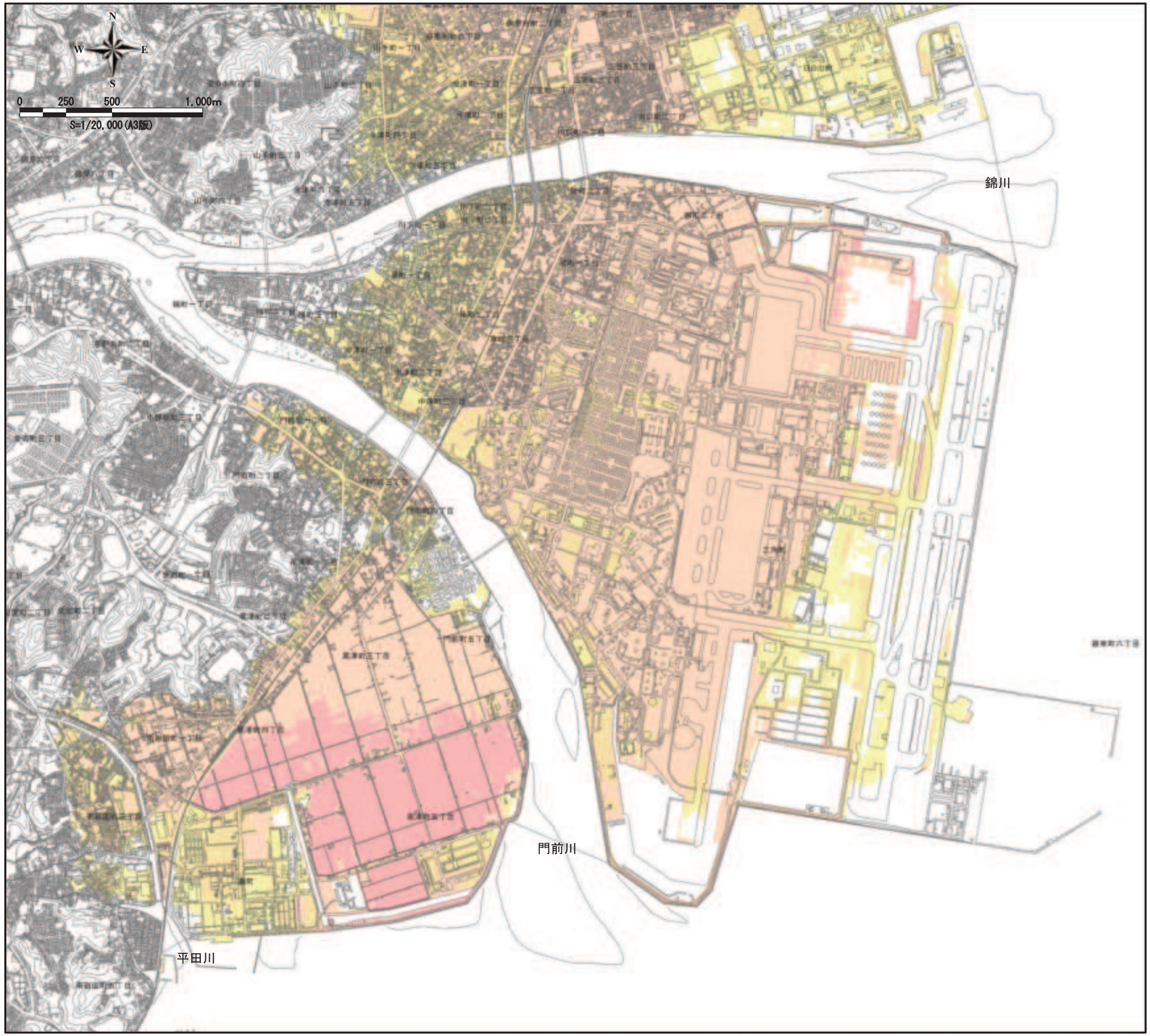
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

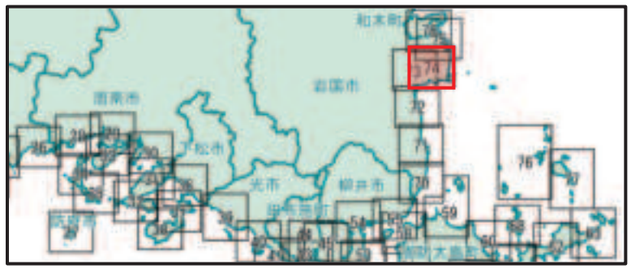
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 74

岩国市 5/8





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

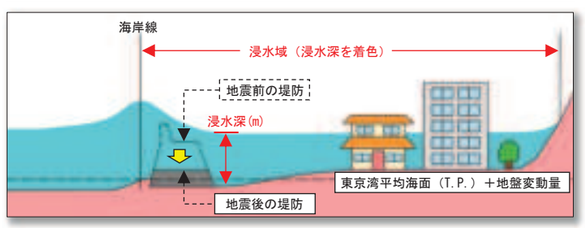
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



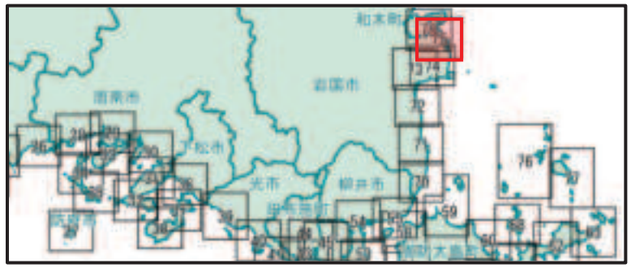
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 75

岩国市 6/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

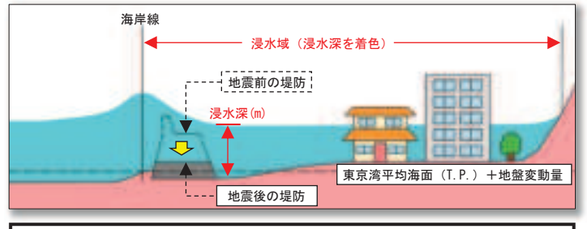
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



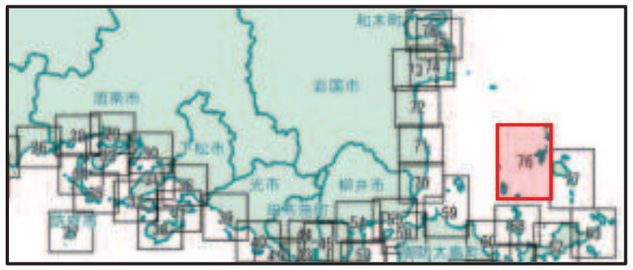
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 76

岩国市 7/8



【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

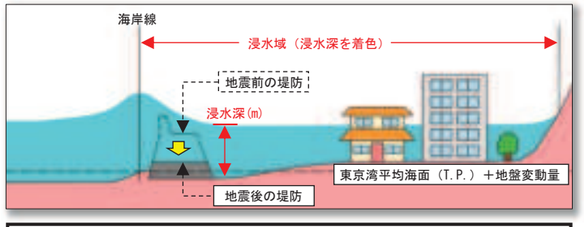
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



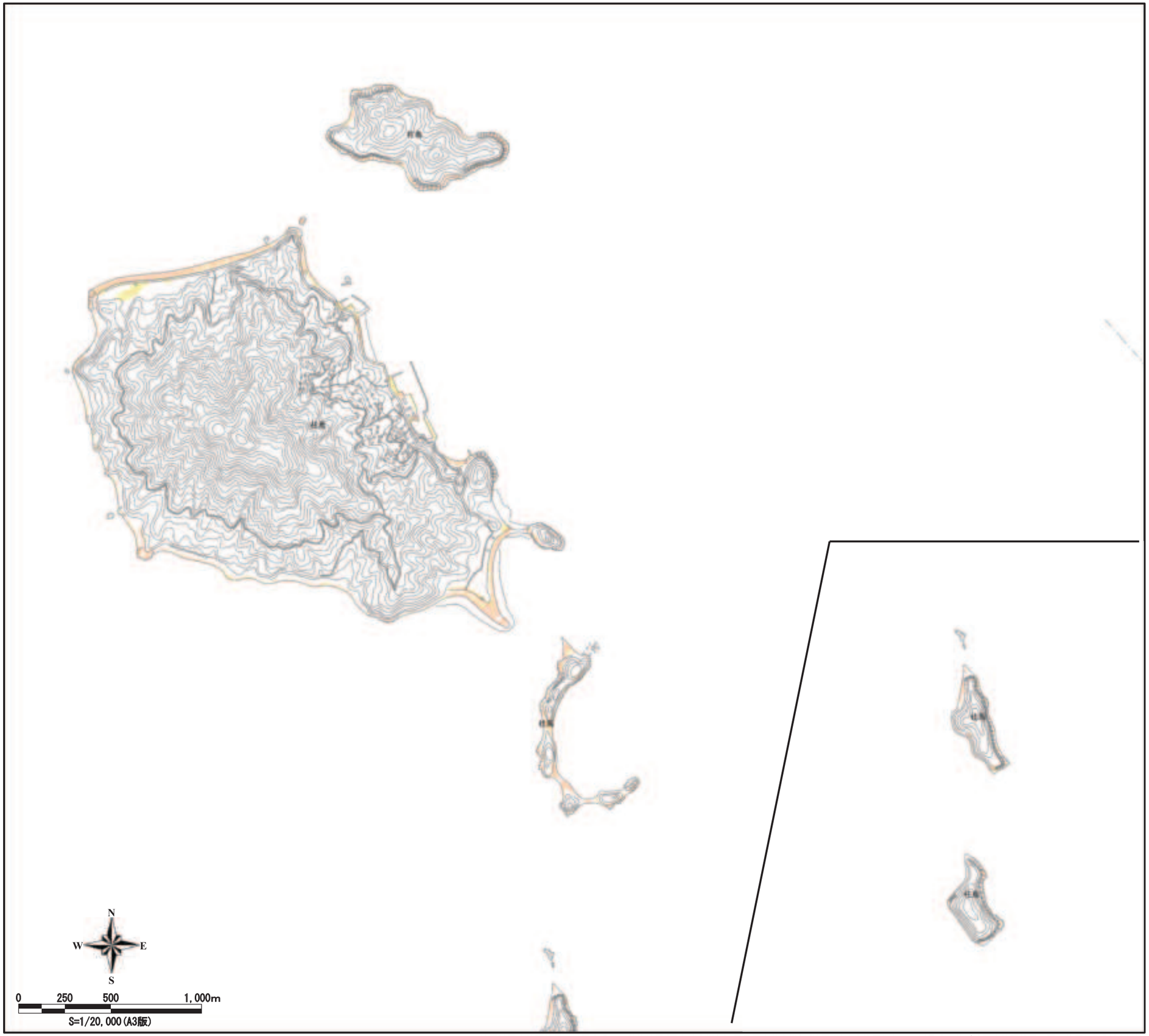
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

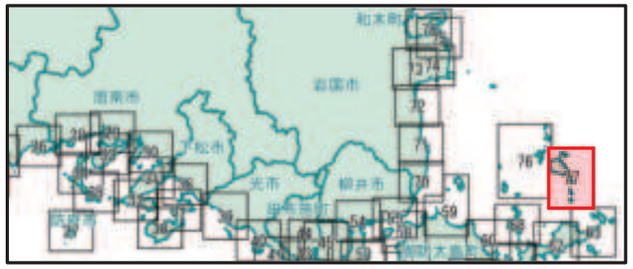
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 77

岩国市 8/8





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

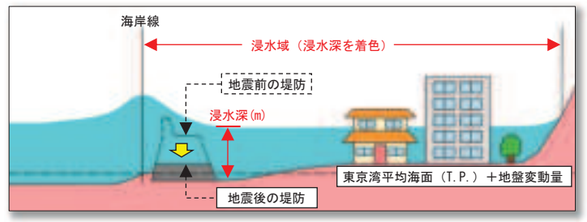
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



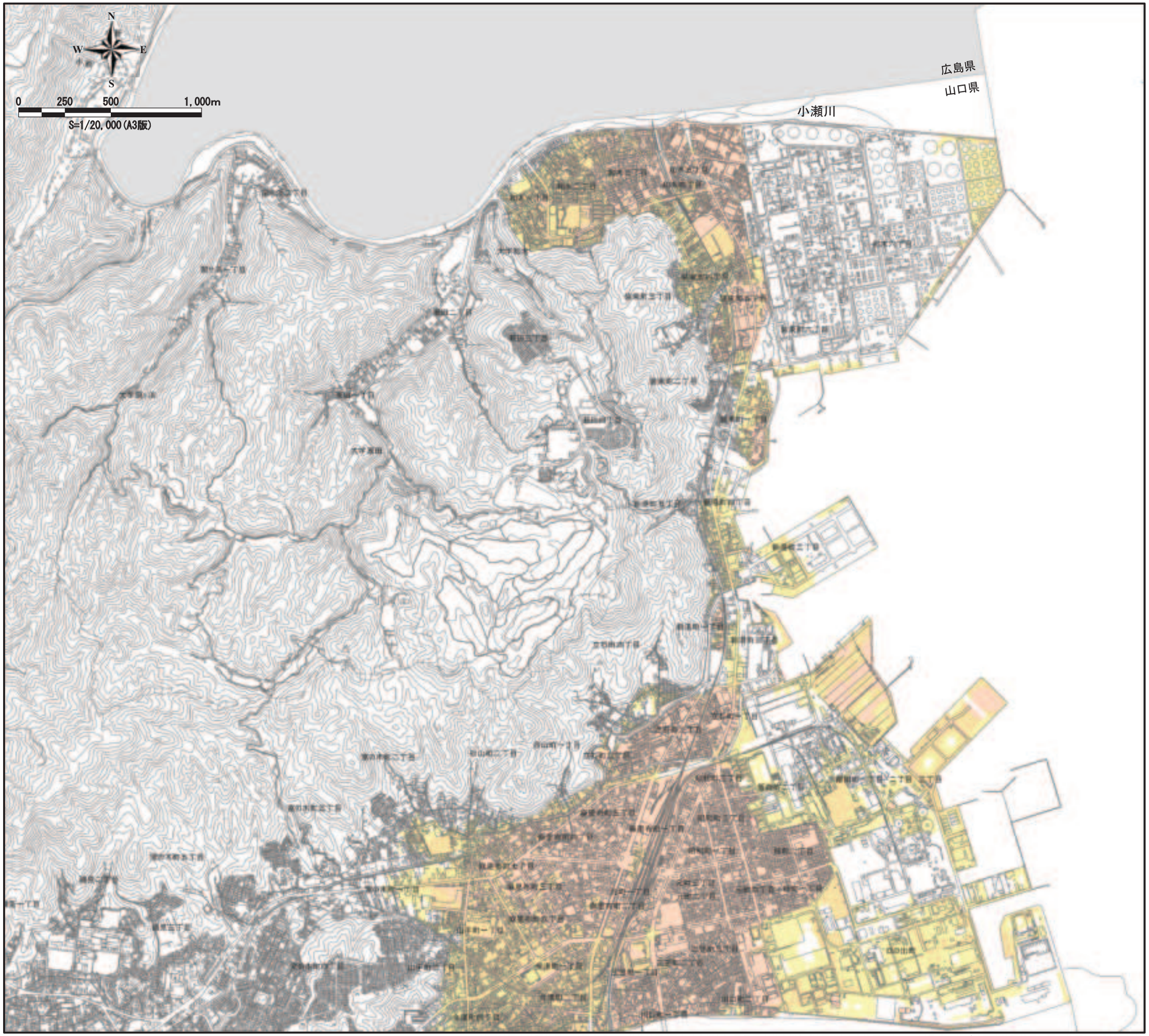
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

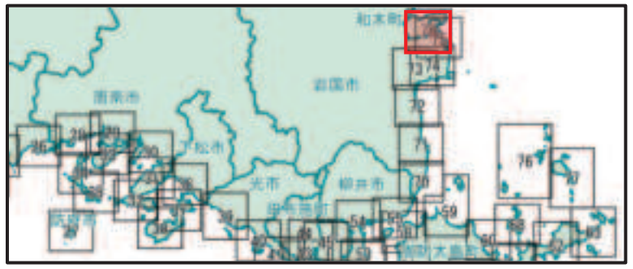
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 78

和木町 1/1





【留意事項】

○この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。

○「津波浸水想定図」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変化等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川や湖沼の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○今後、数値の精査や表記の改善等により、修正する可能性があります。

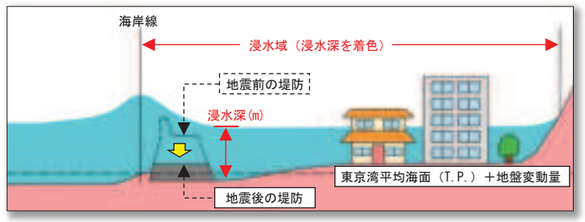
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

参考資料３

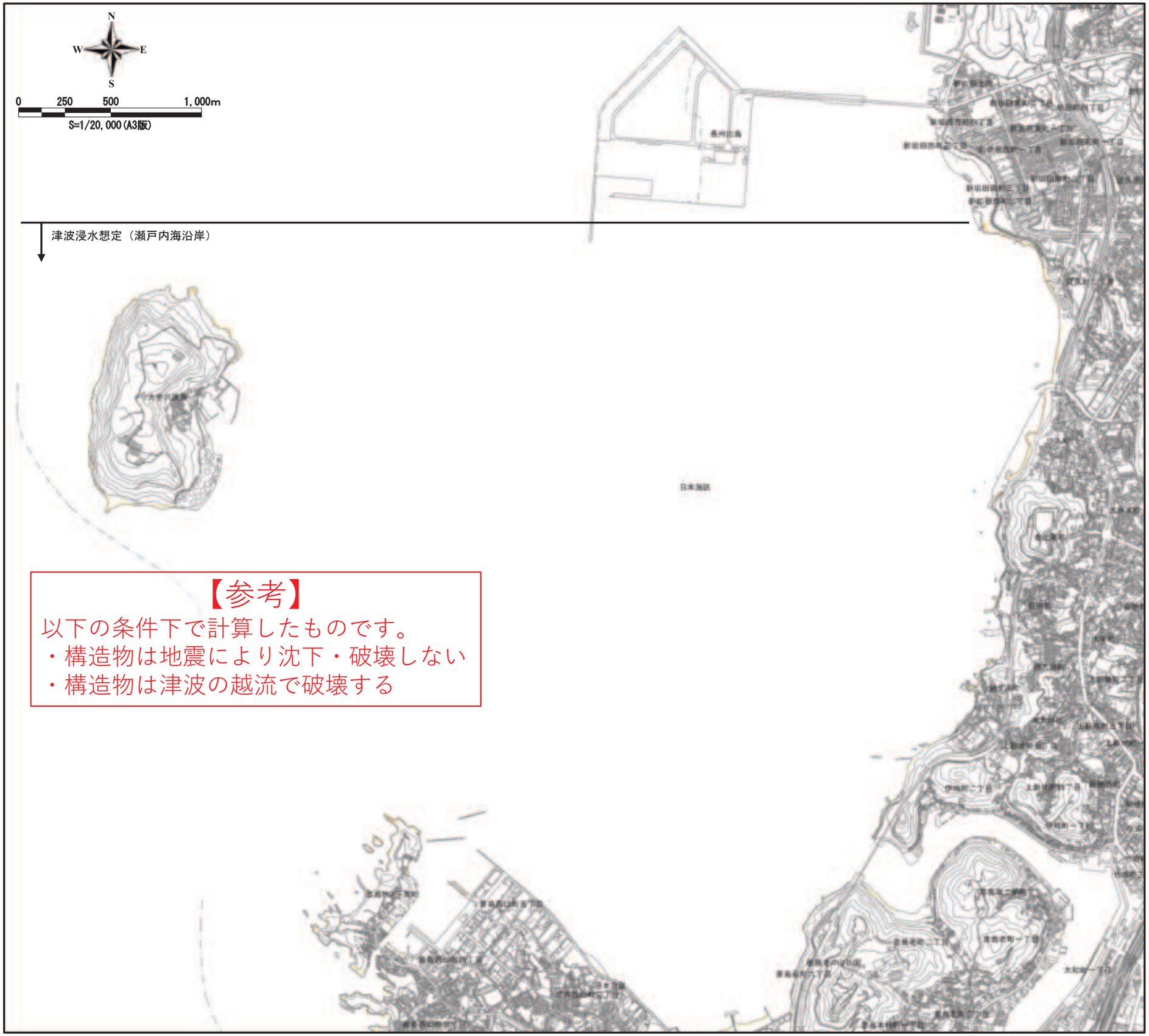
第7回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

【堤防が機能する条件】
津波浸水想定図
(瀬戸内海沿岸）（案）

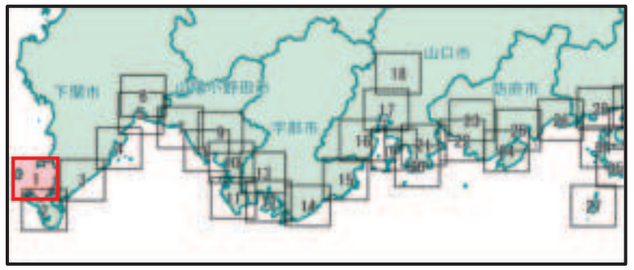
令和8年 2月27日

山口県津波浸水想定図 1

下関市 1/6



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

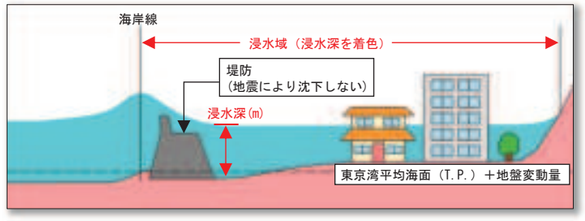
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



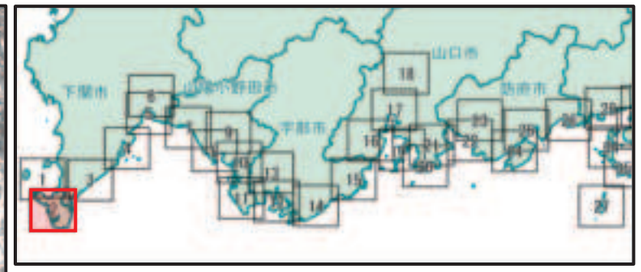
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 2

下関市 2/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

【参考】

以下の条件下で計算したものです。

・構造物は地震により沈下・破壊しない

・構造物は津波の越流で破壊する

N

W　E

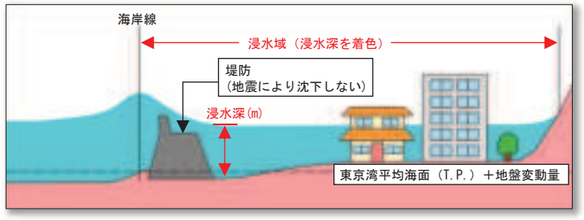
S

0　250　500　1,000m

S=1/20,000(A3版)

浸水深

5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

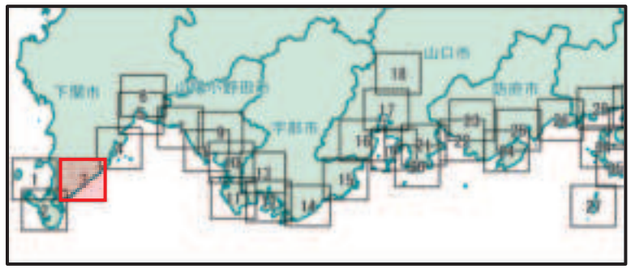
作 成 者：山　　口　　県

作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 3

下関市 3/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

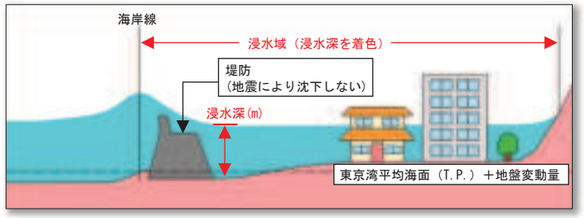
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



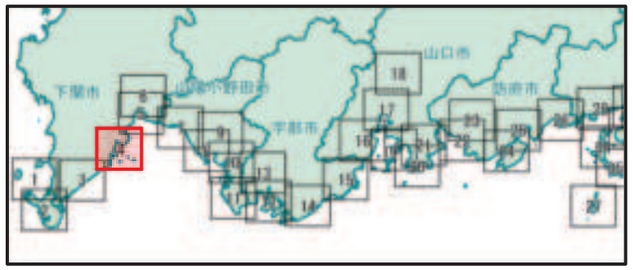
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 4

下関市 4/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

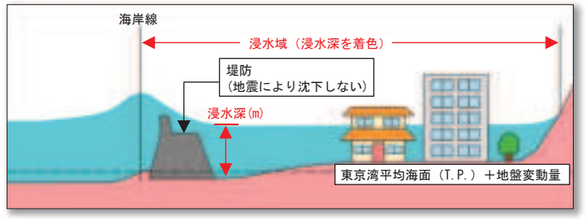
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



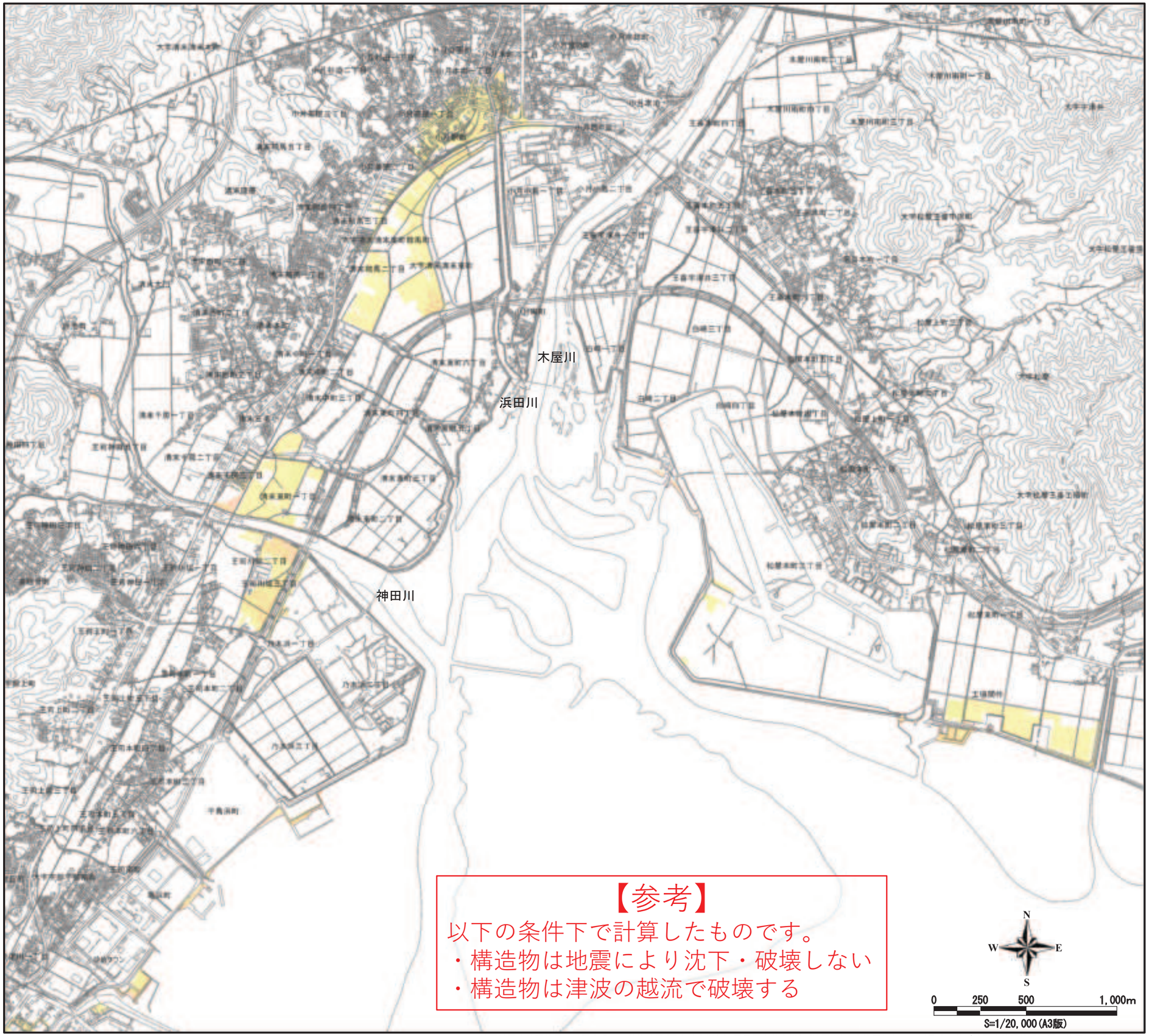
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

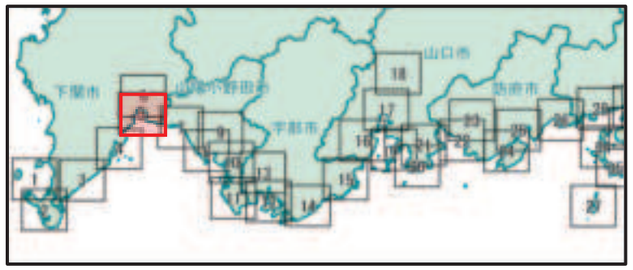
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 5

下関市 5/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

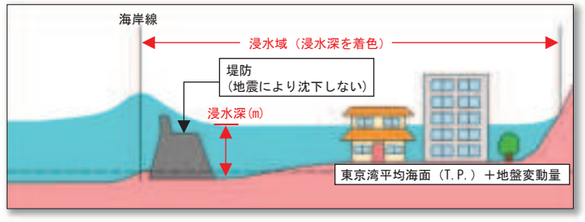
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



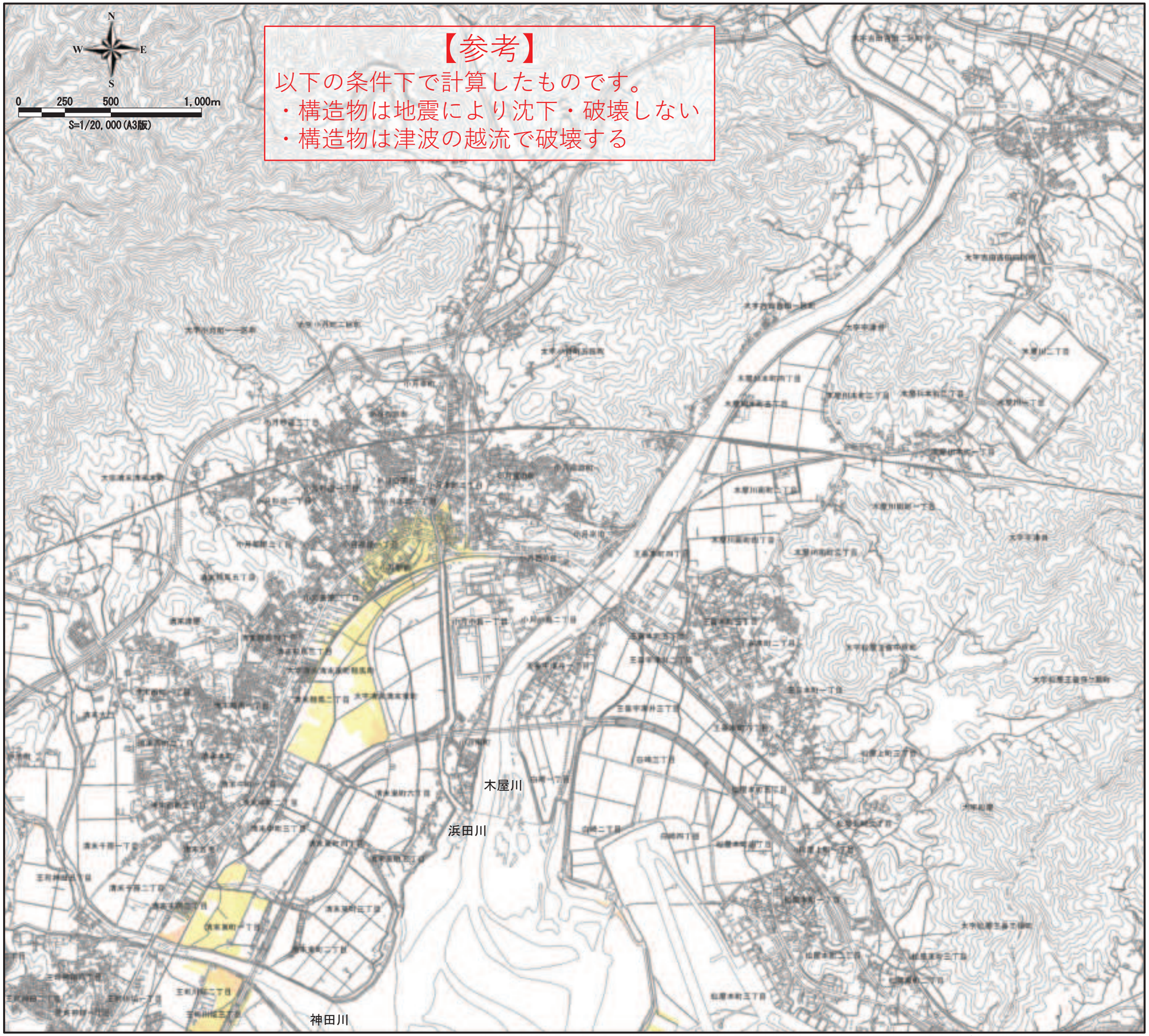
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

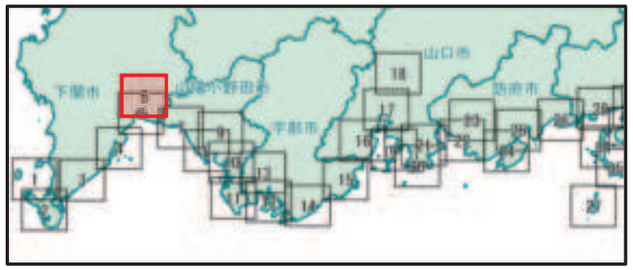
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 6

下関市 6/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

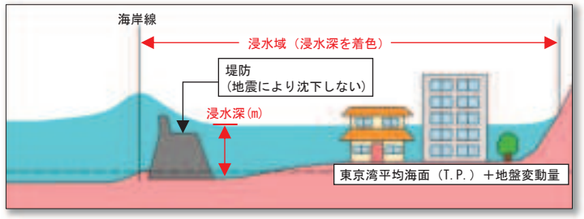
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



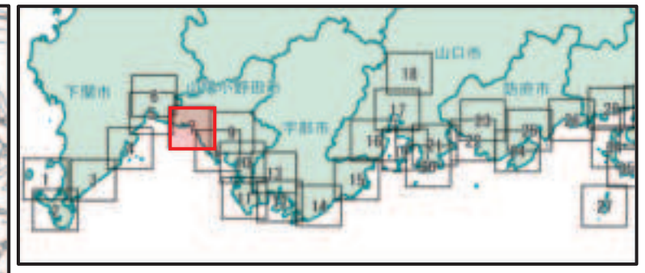
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 7

山陽小野田市 2/5



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

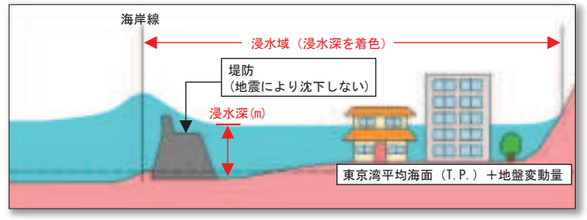
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m

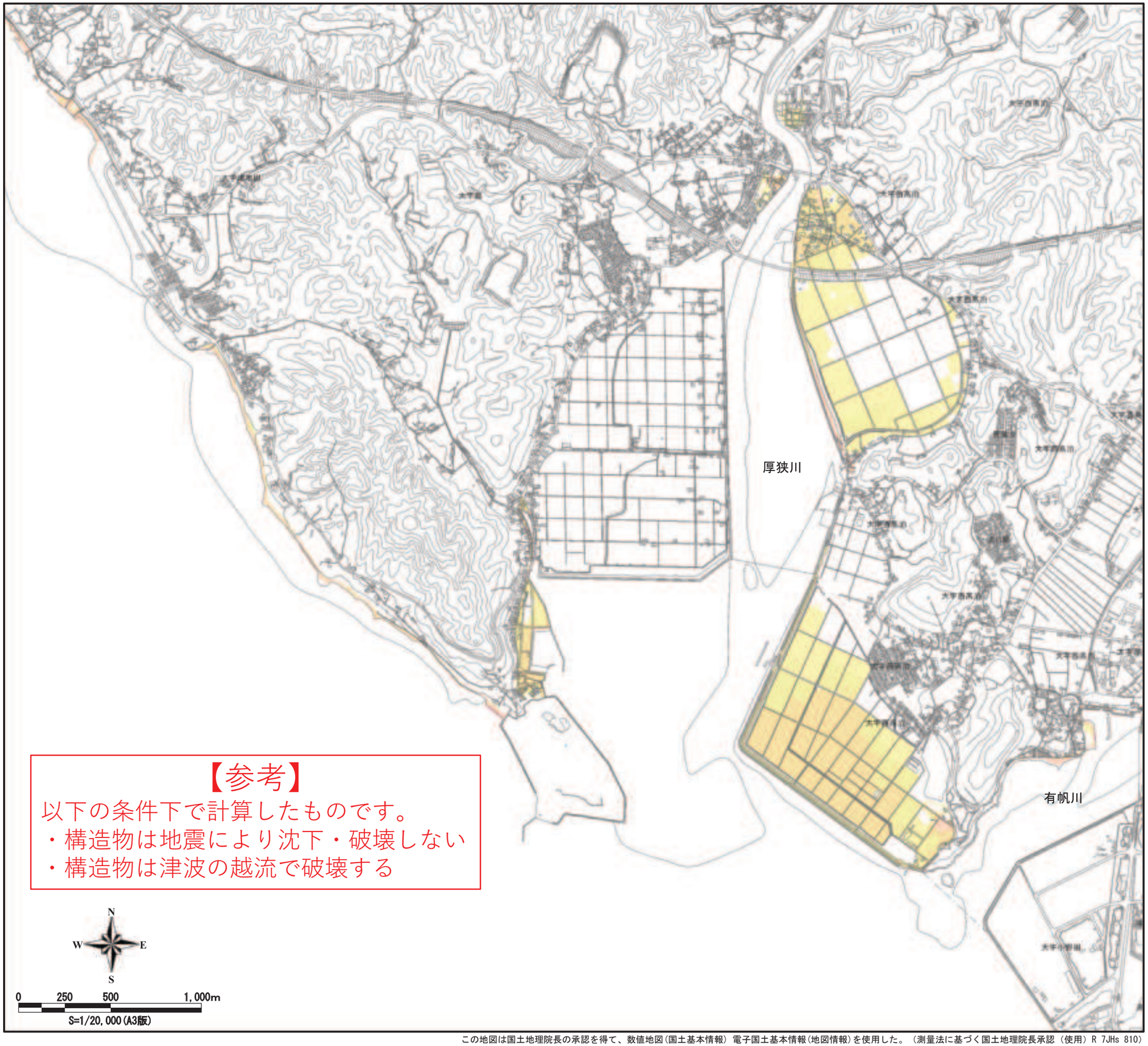
S=1/20,000(A3版)

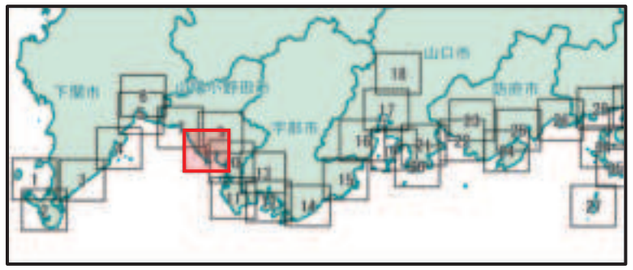
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 8

山陽小野田市 2/5





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

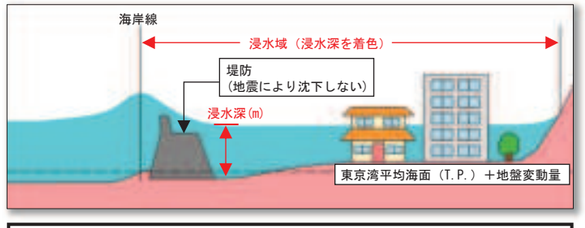
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



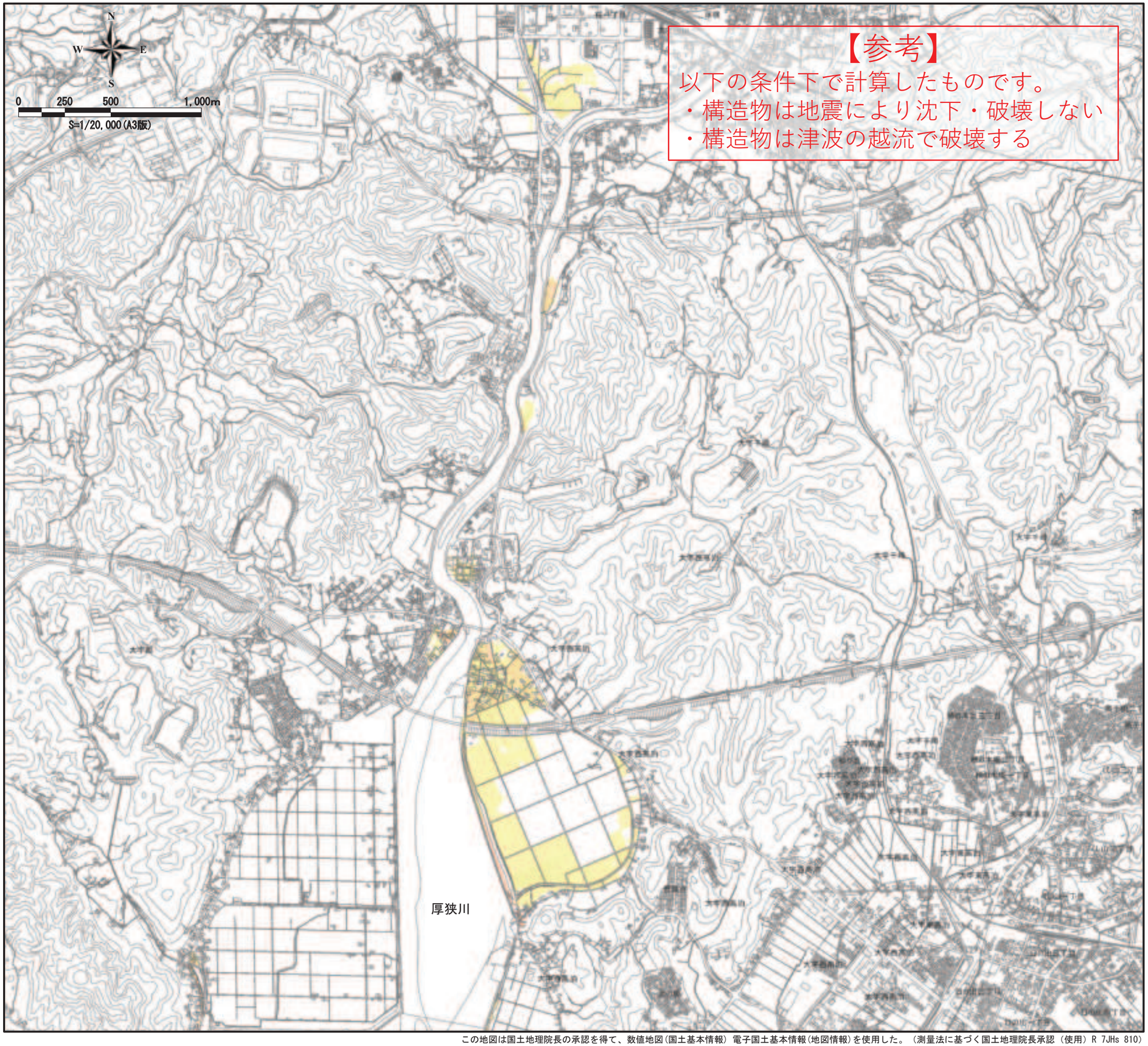
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

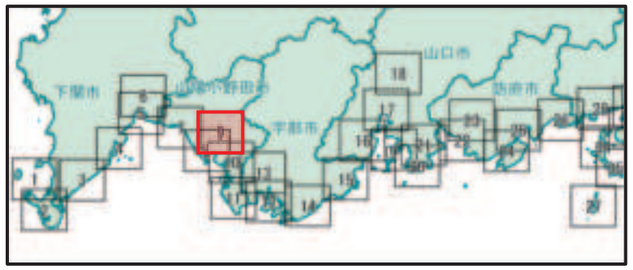
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 9

山陽小野田市 3/5





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

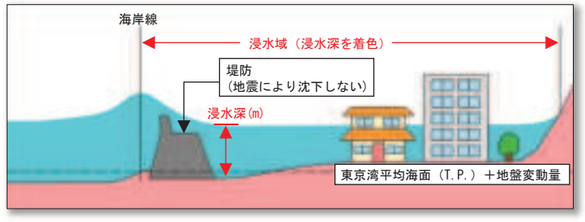
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



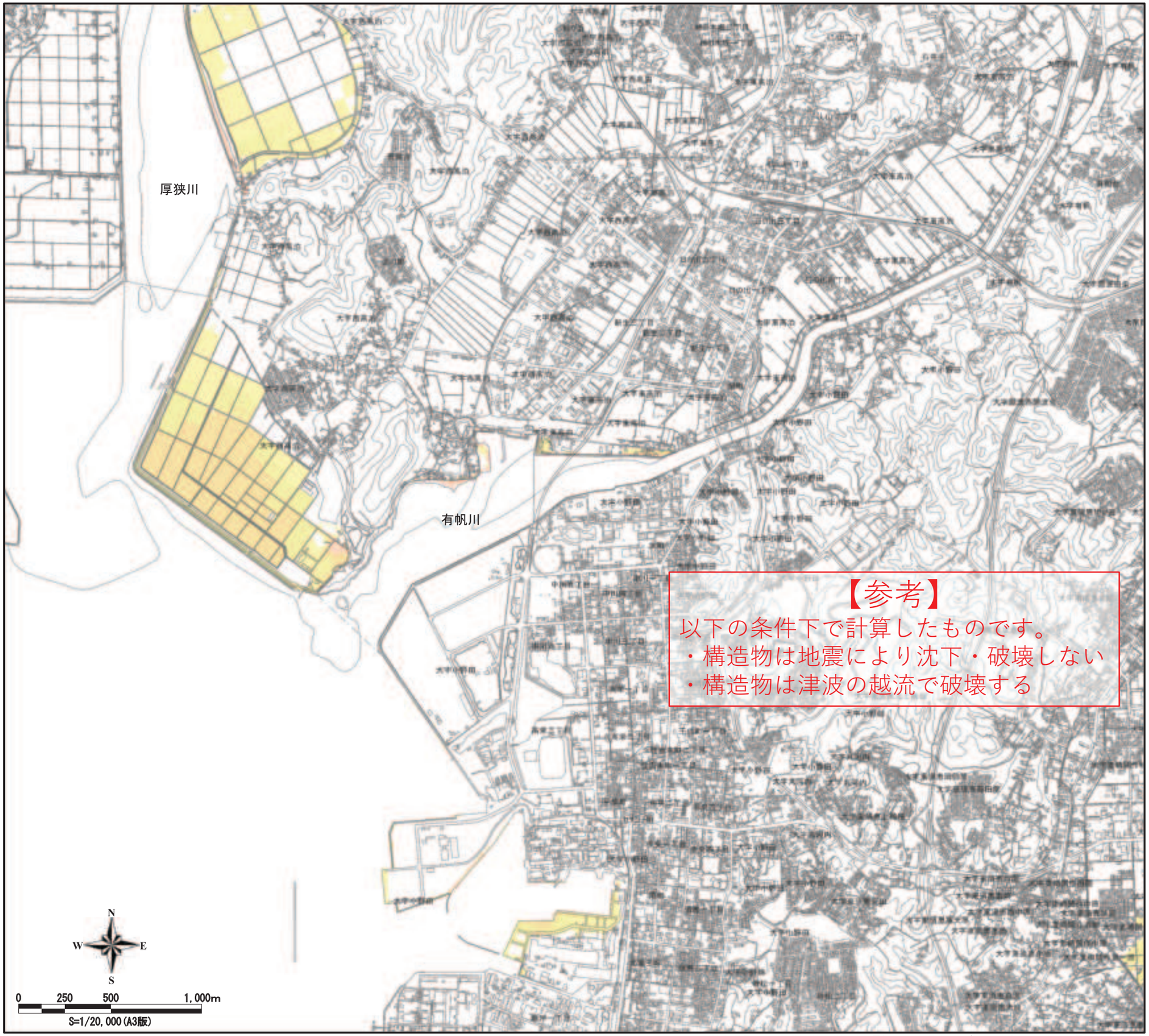
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

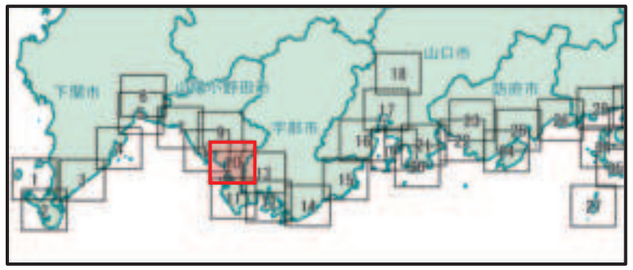
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 10

山陽小野田市 4/5





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

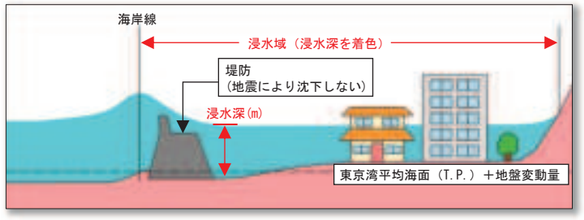
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



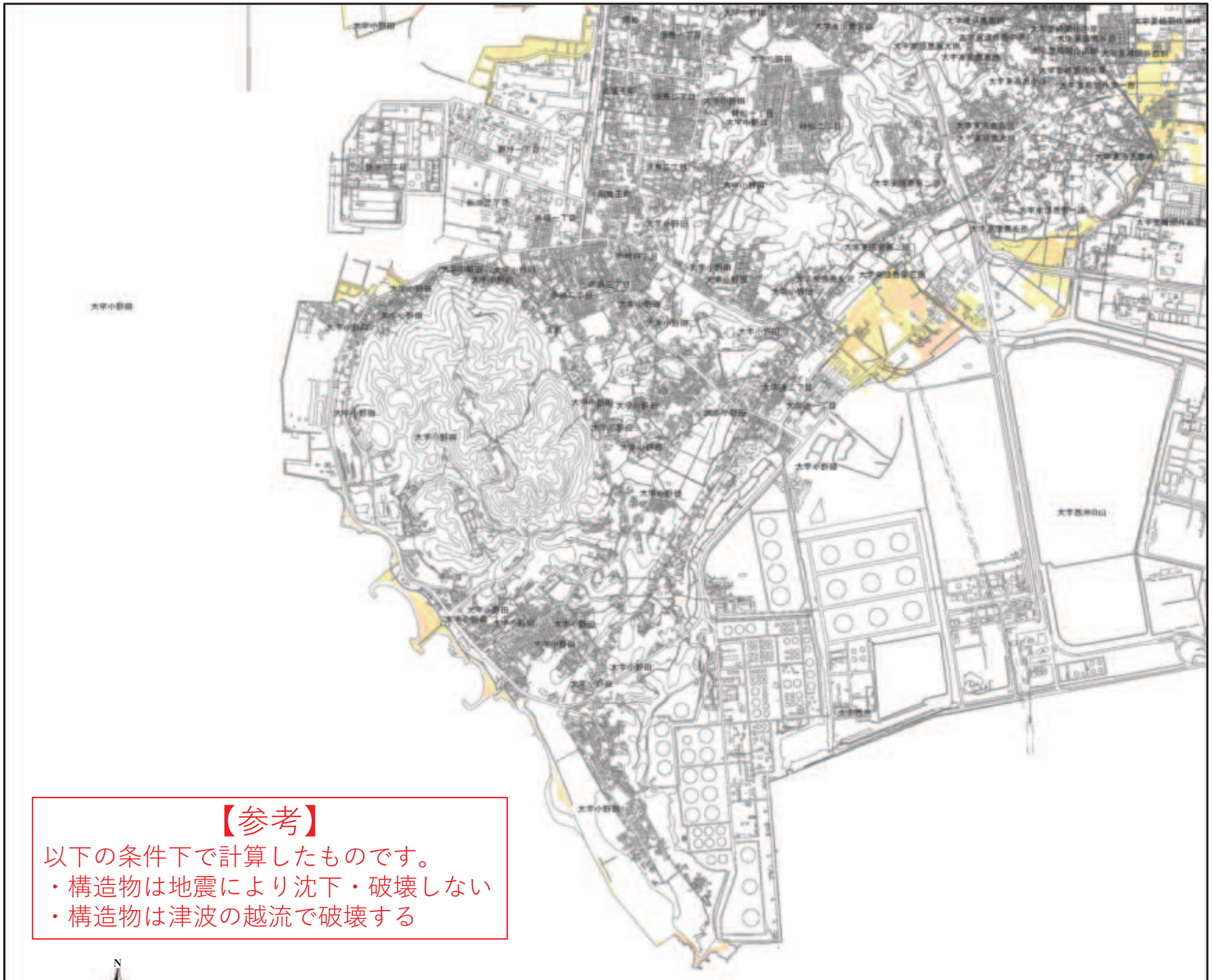
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

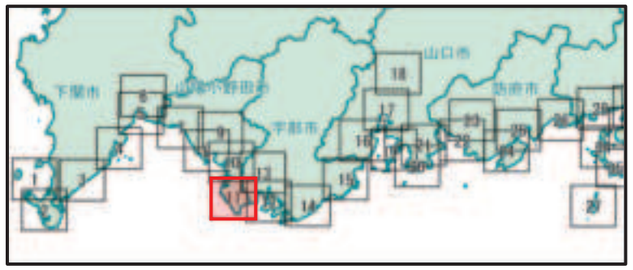
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 11

山陽小野田市 5/5





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

【参考】

以下の条件下で計算したものです。

・構造物は地震により沈下・破壊しない

・構造物は津波の越流で破壊する

N

W E

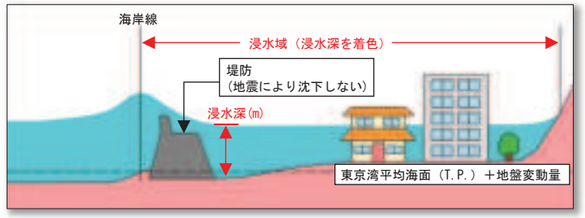
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満
- 0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

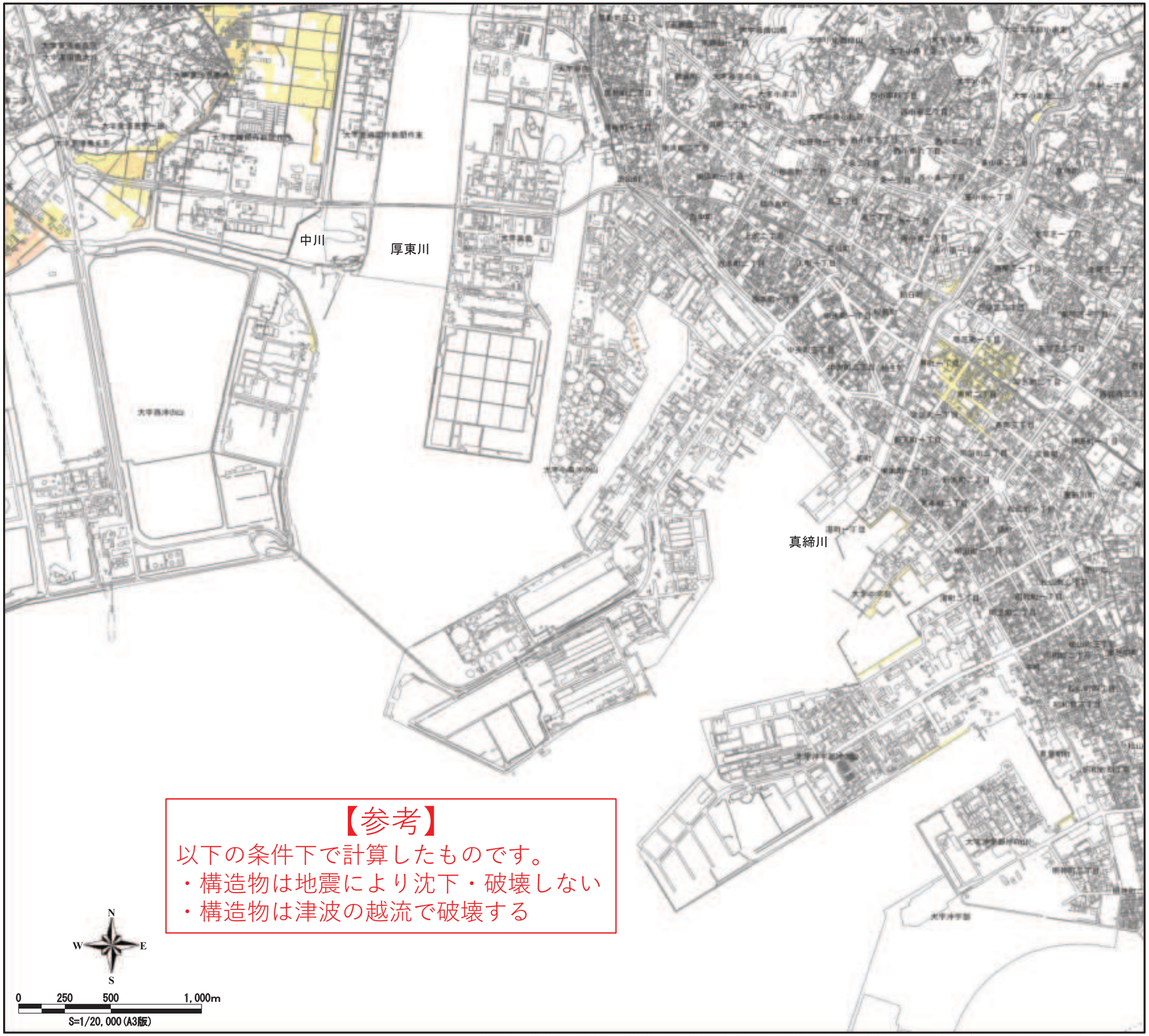
作 成 者：山　　口　　県

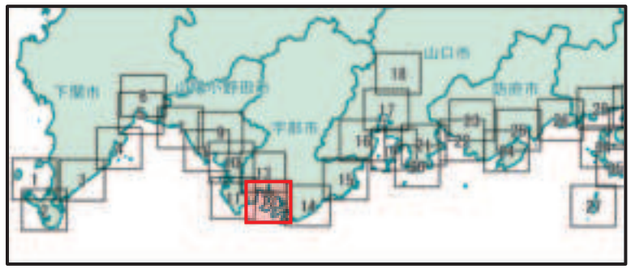
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 12

宇部市 1/4





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

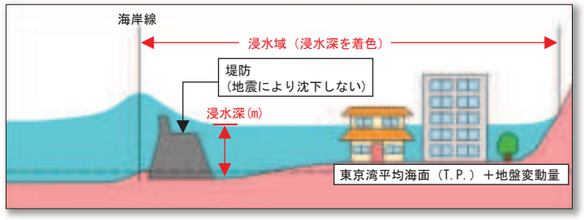
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

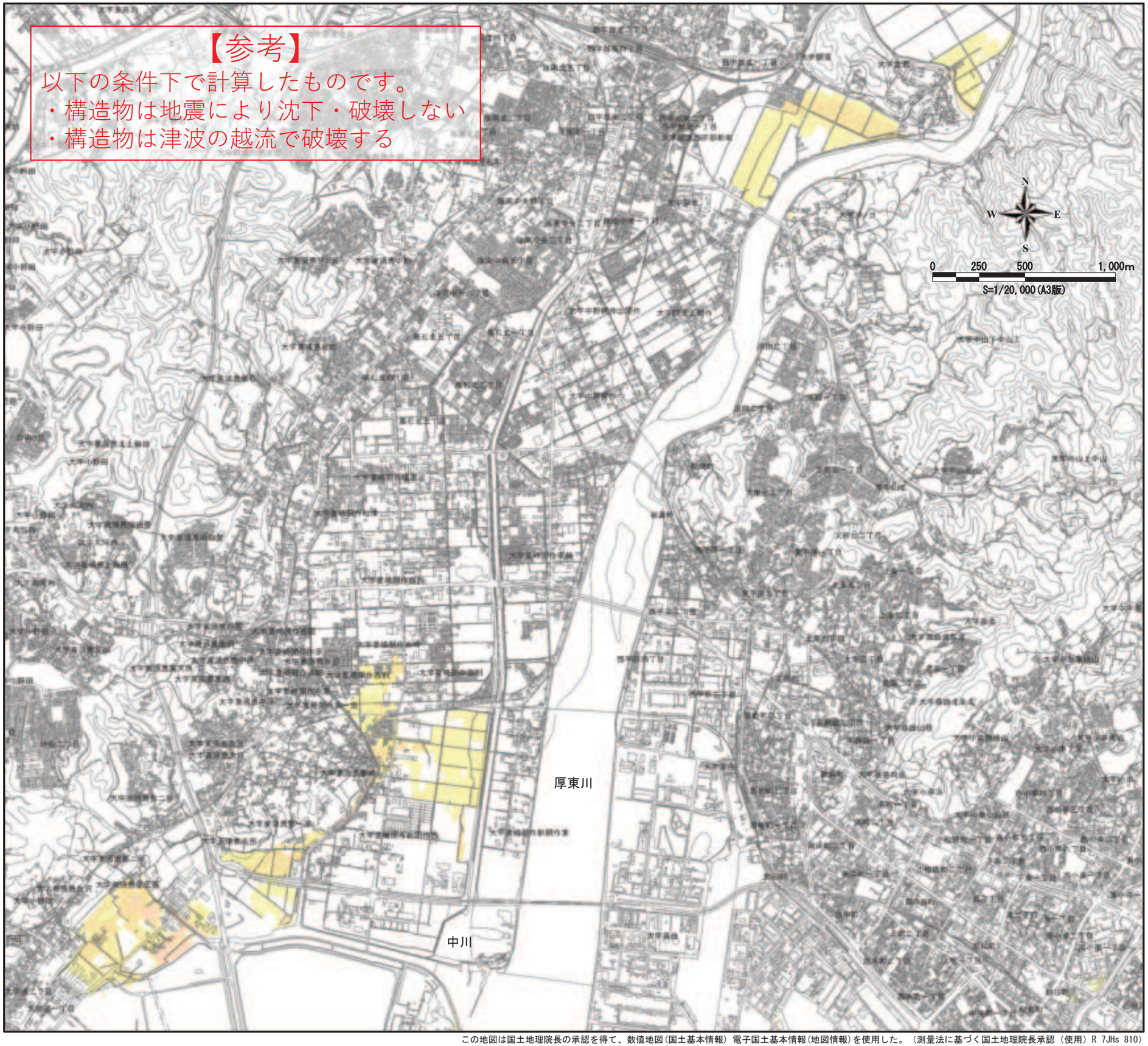
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

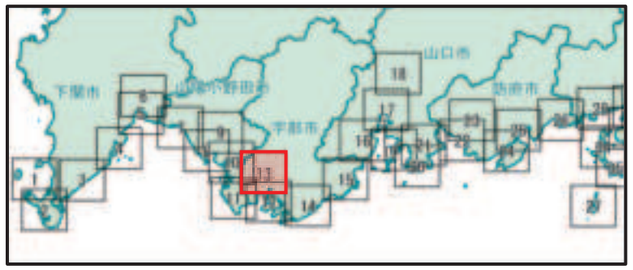
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 13

宇部市 2/4

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

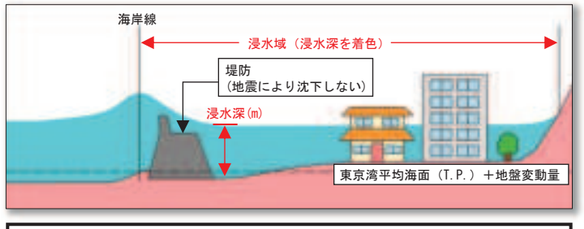
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



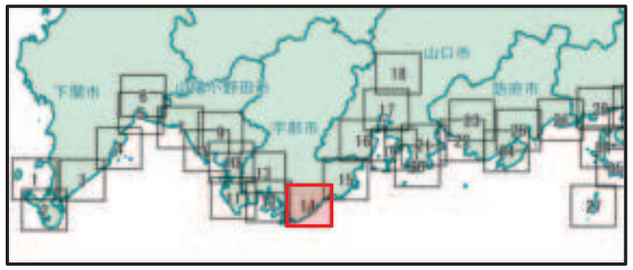
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 14

宇部市 3/4



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

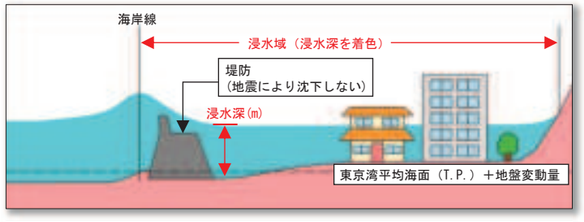
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

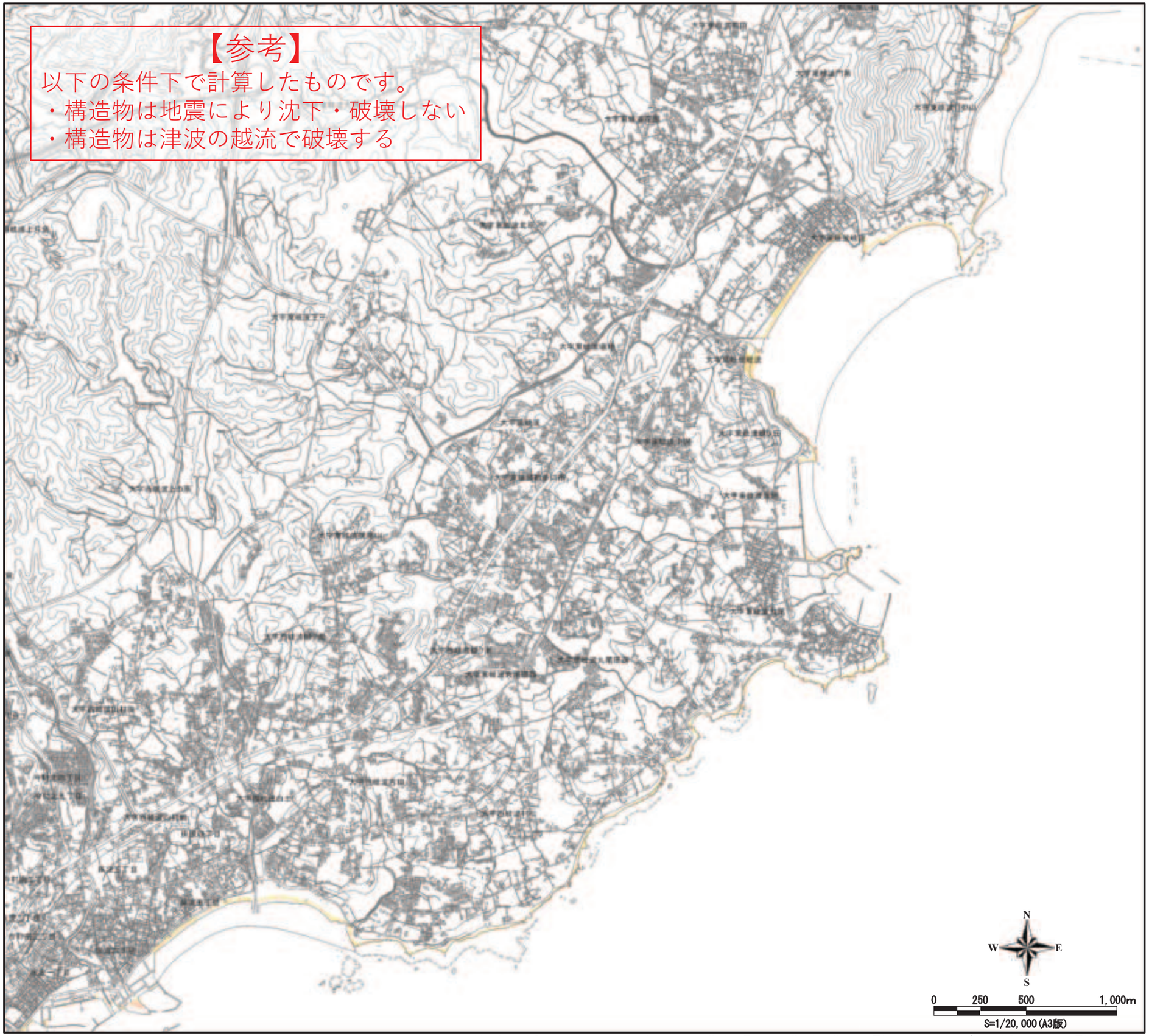
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

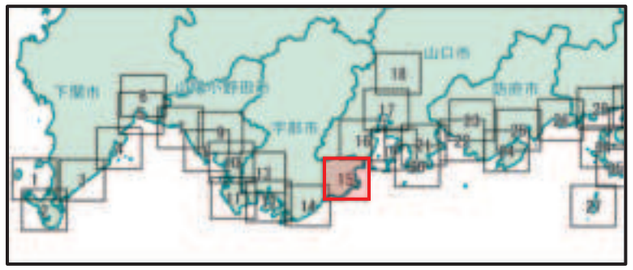
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 15

宇部市 4/4

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

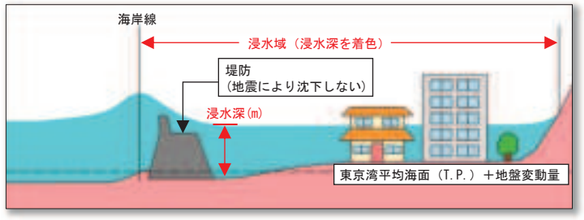
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



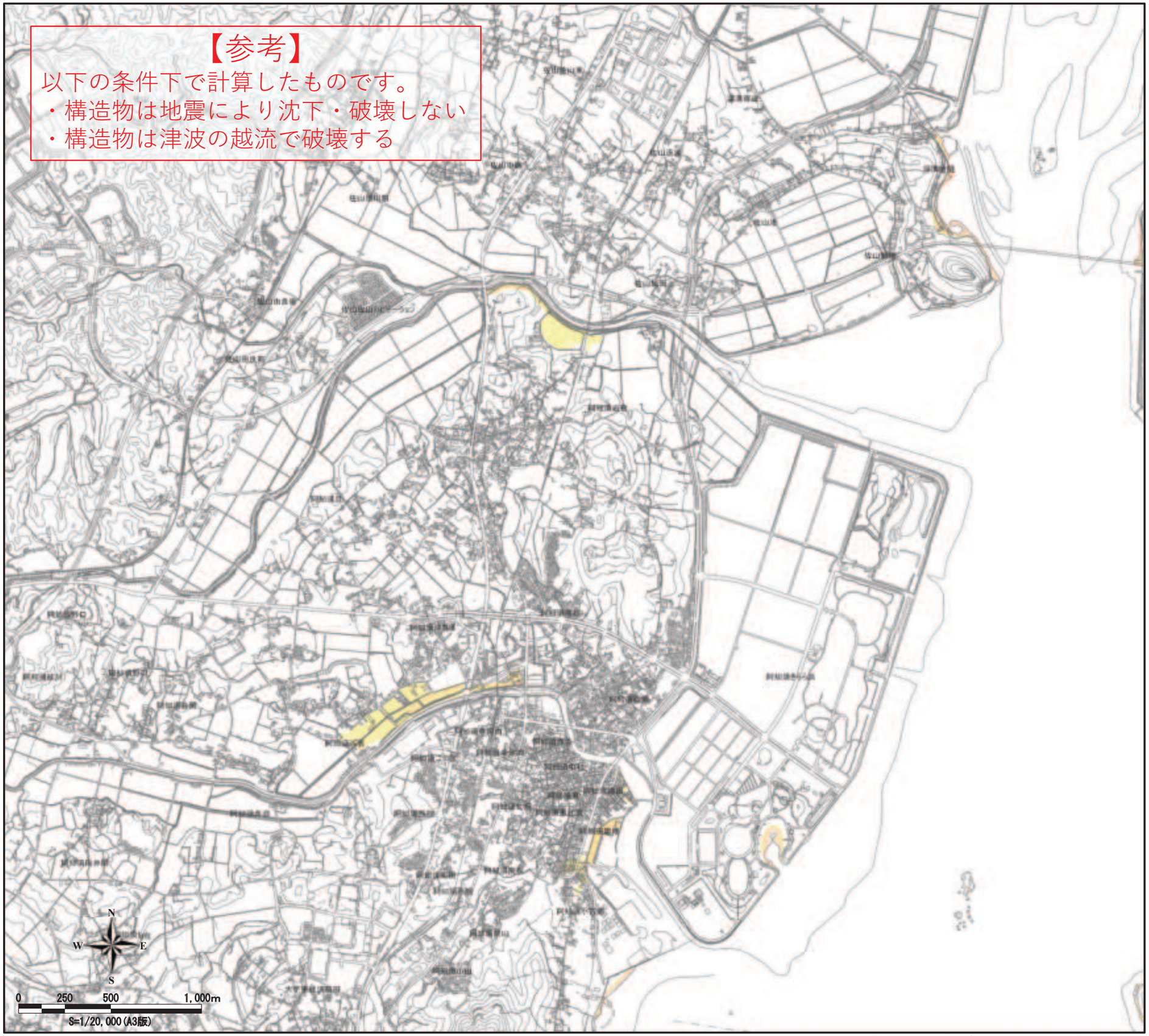
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

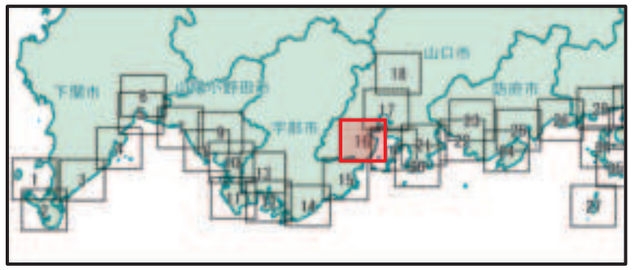
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 16

山口市 1/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

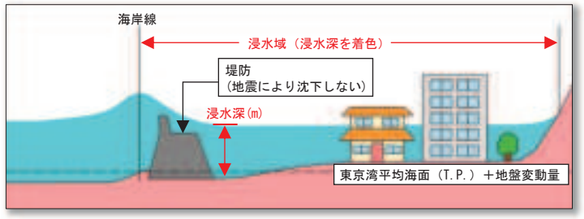
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



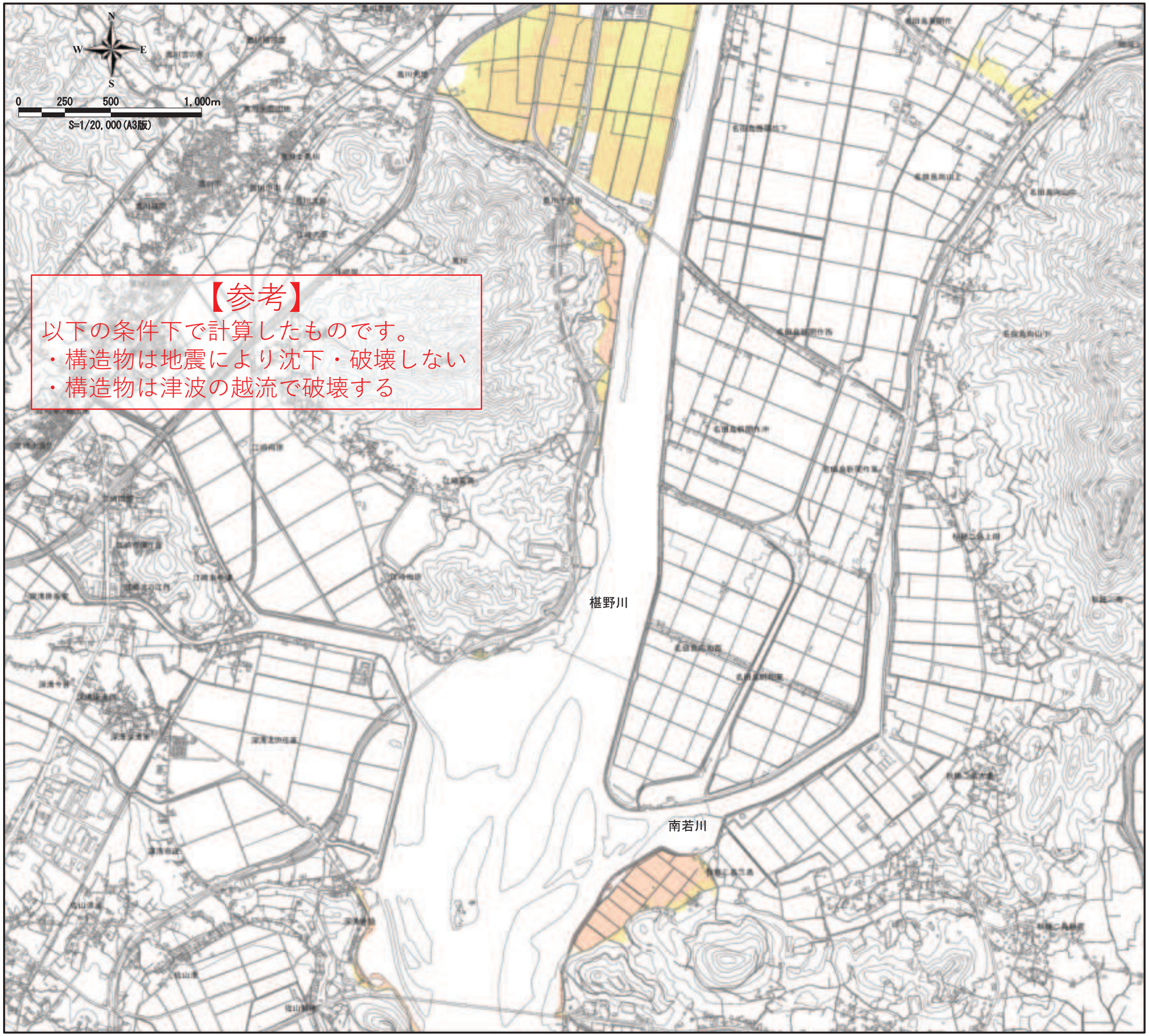
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

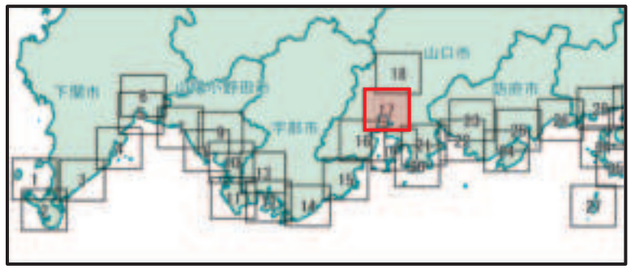
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 17

山口市 2/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

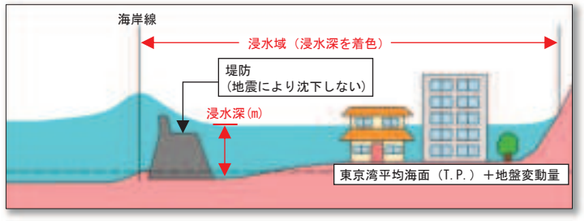
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



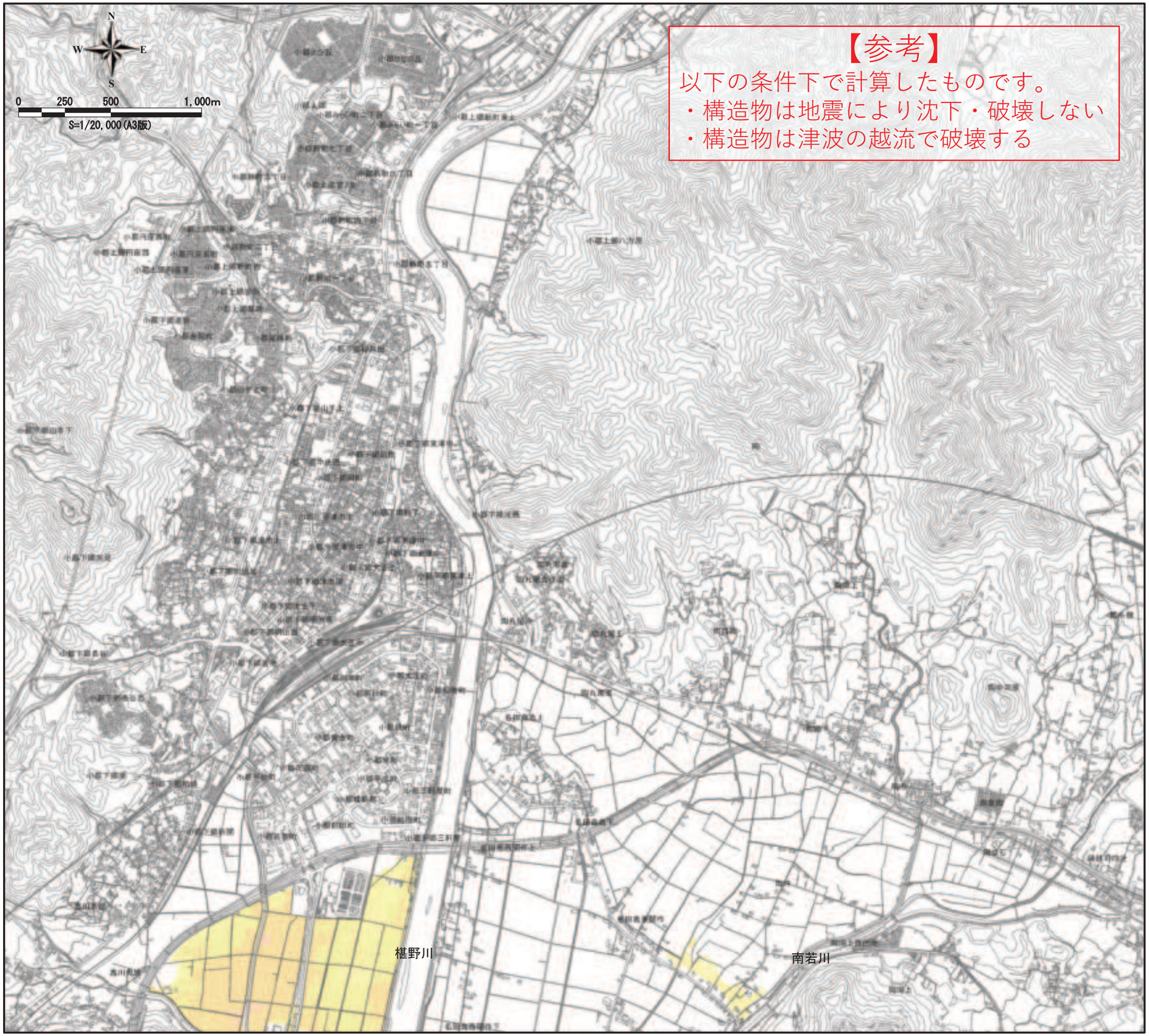
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

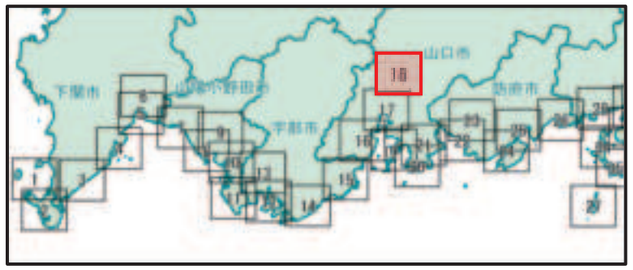
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 18

山口市 3/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

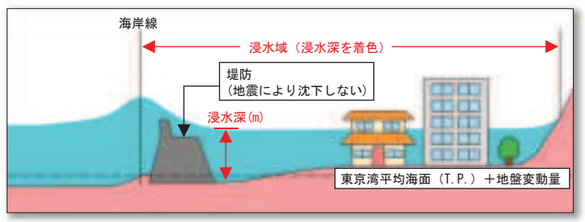
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



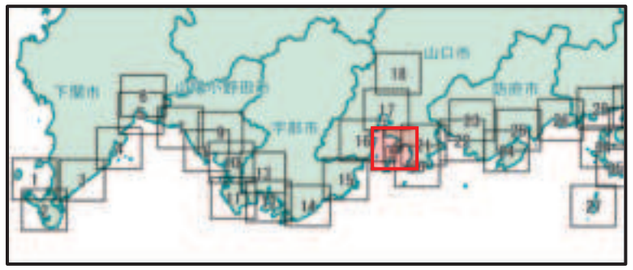
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 19

山口市 4/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

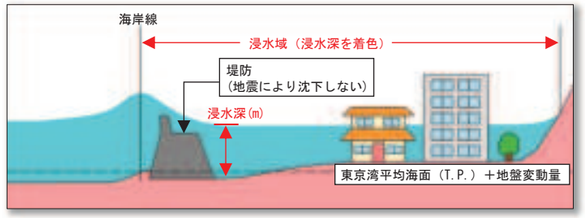
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



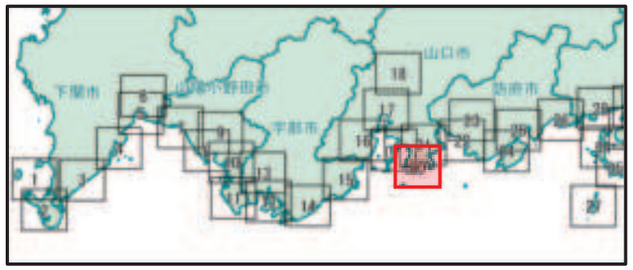
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 20

山口市 5/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

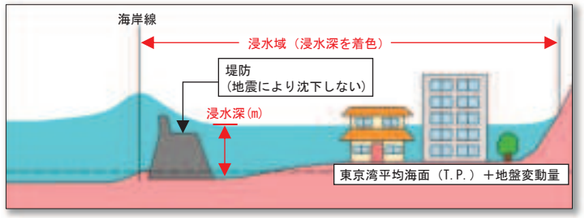
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

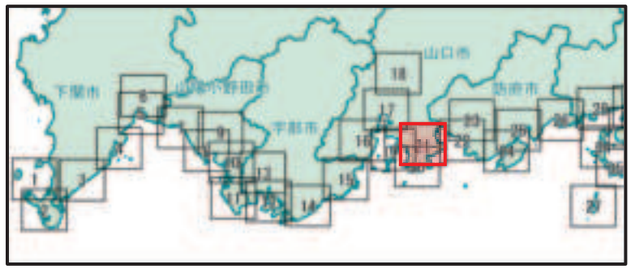
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 21

山口市 6/6

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

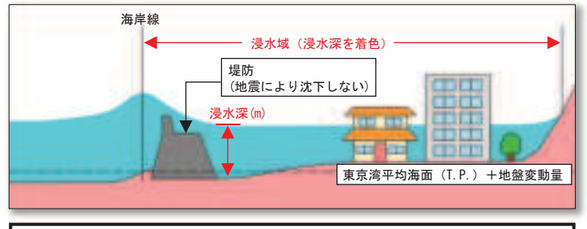
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



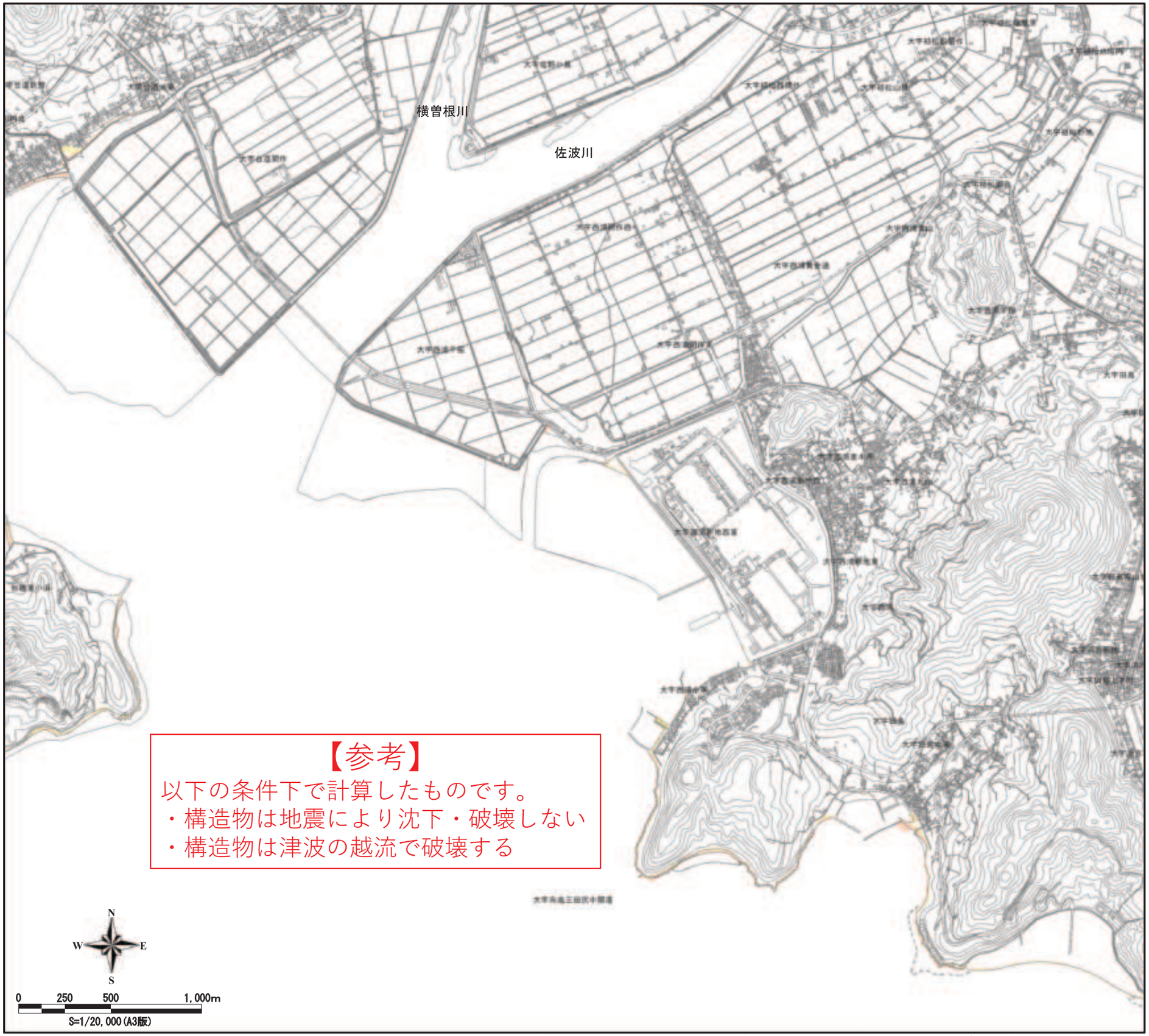
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

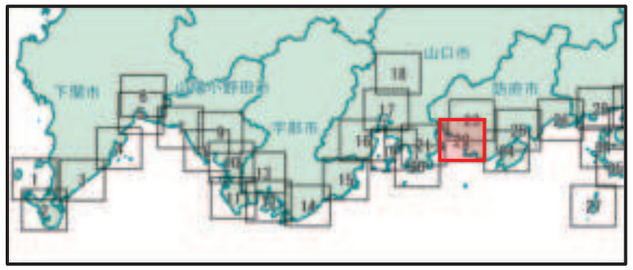
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 22

防府市 1/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

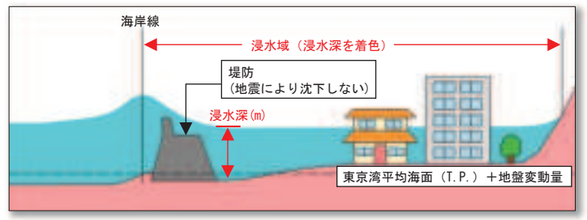
浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

0　250　500　1,000m

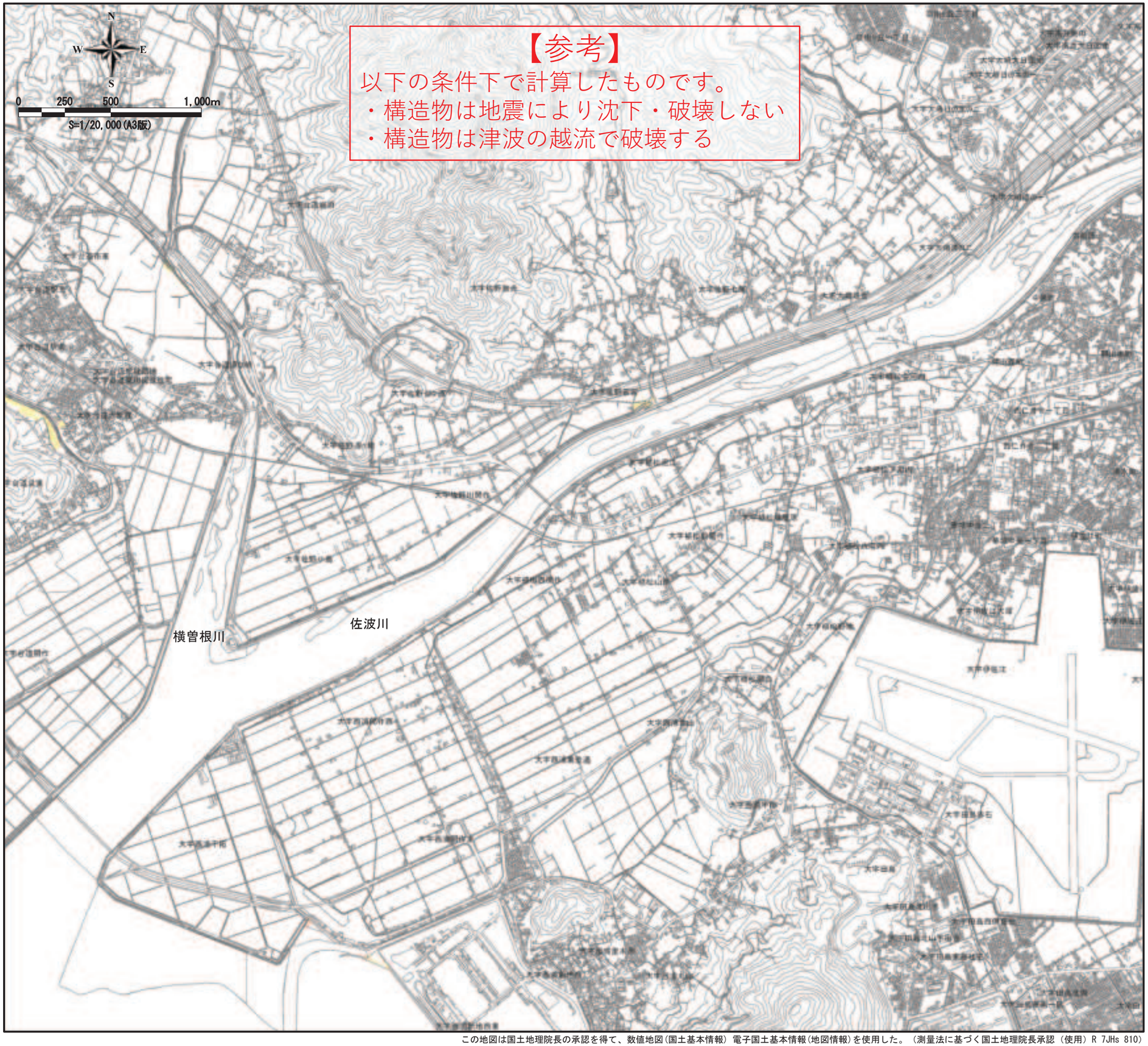
S=1/20,000(A3版)

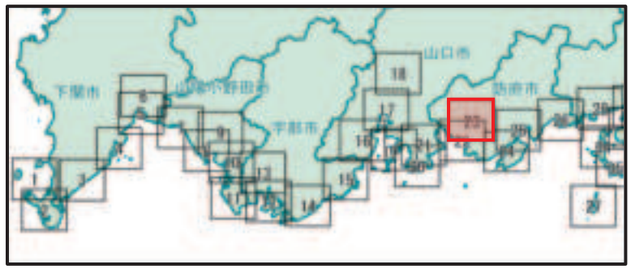
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 23

防府市 2/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

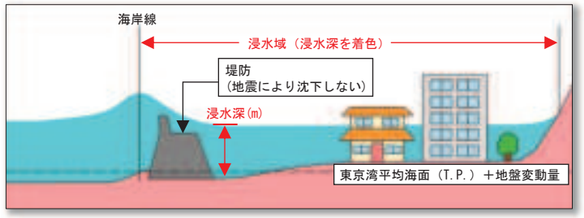
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



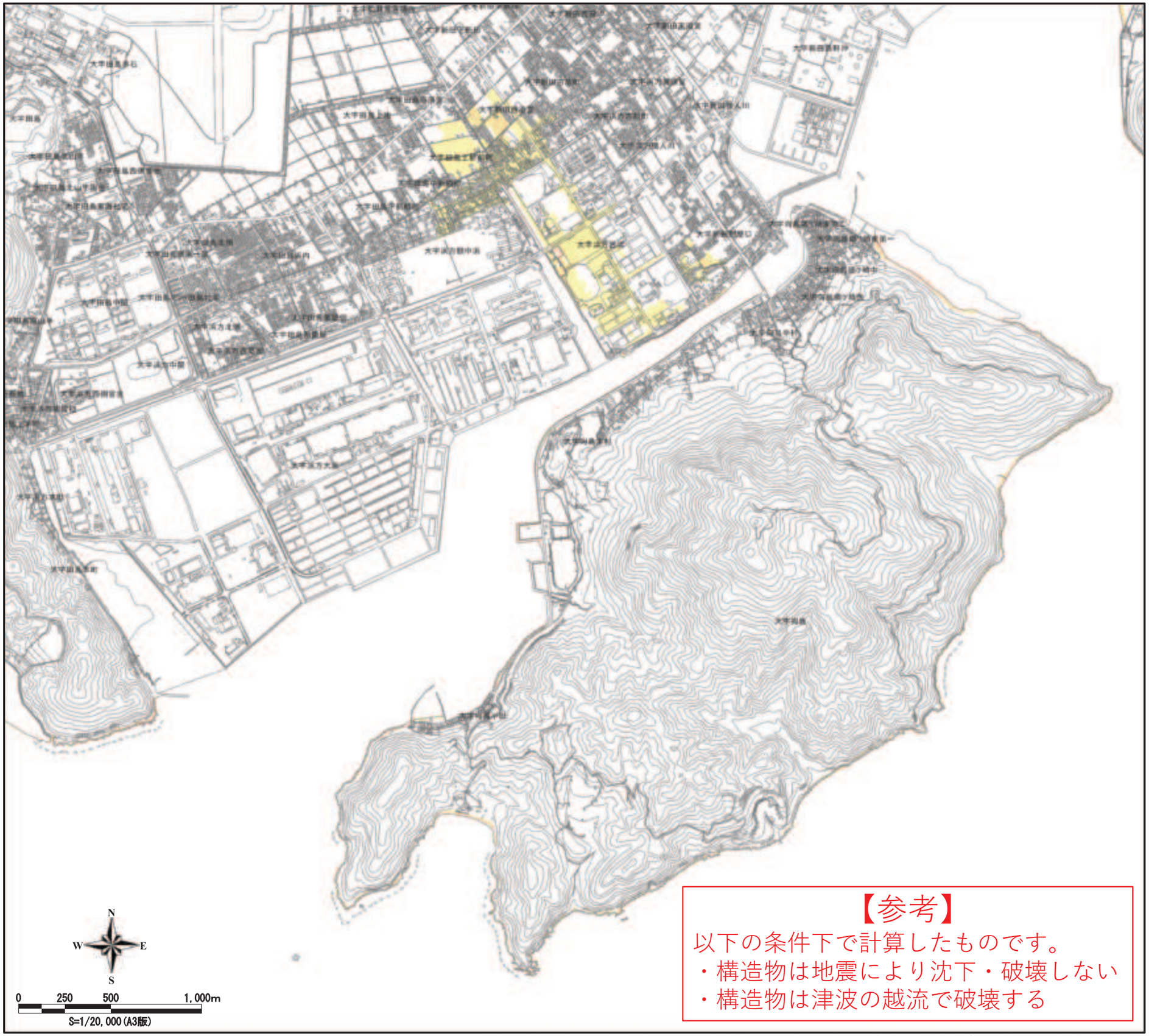
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

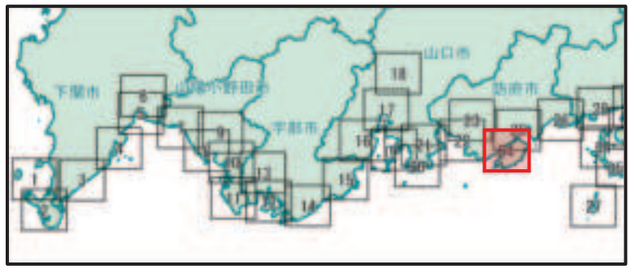
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 24

防府市 3/6



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

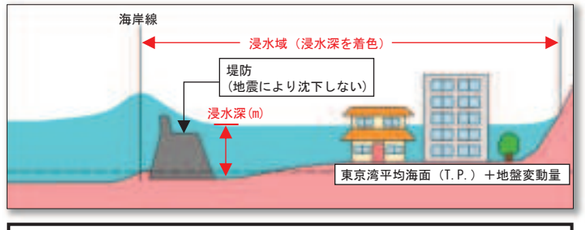
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



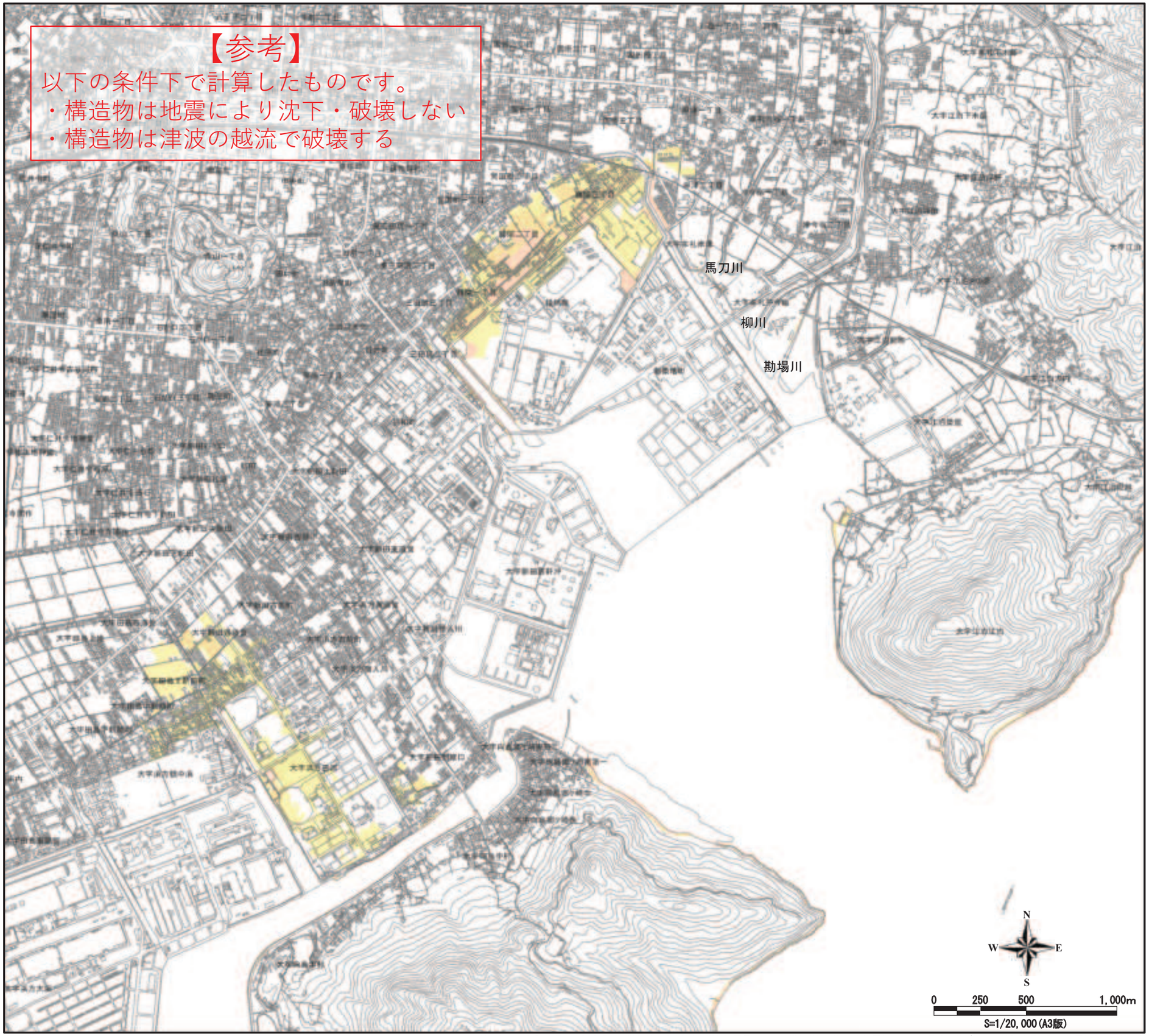
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

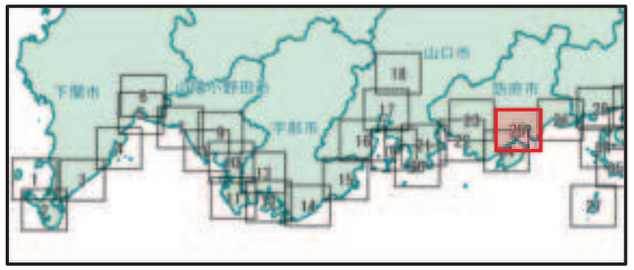
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 25

防府市 4/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

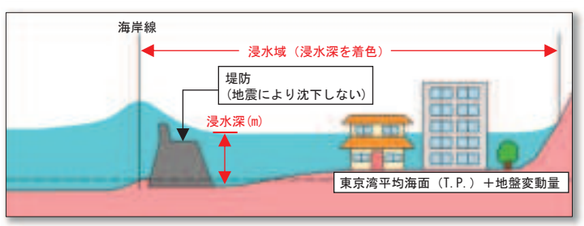
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



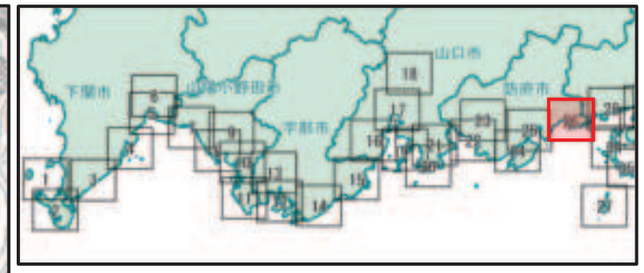
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 26

防府市 5/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

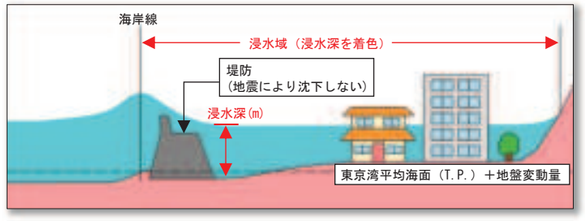
【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



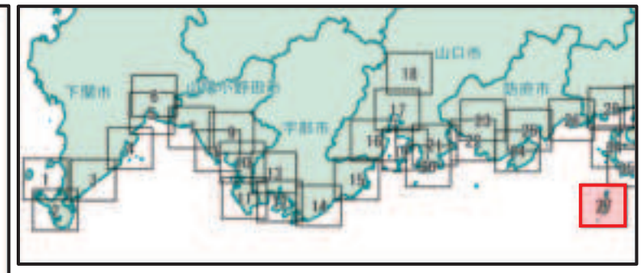
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 27

防府市 6/6



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

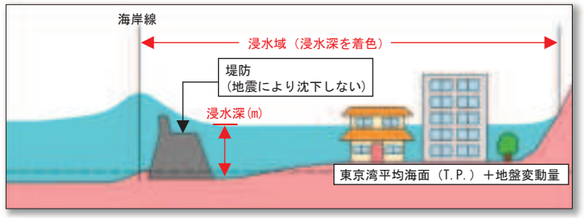
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



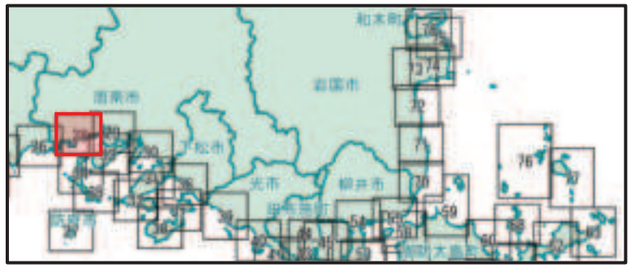
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 28

周南市 1/8



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

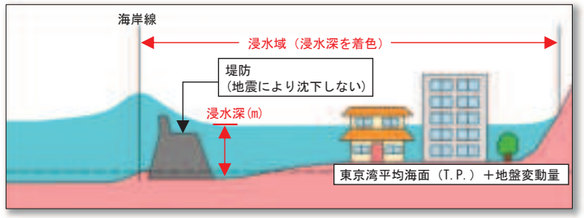
浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

浸水深
- 5.0m以上
- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満
- 0.01m以上0.3m未満



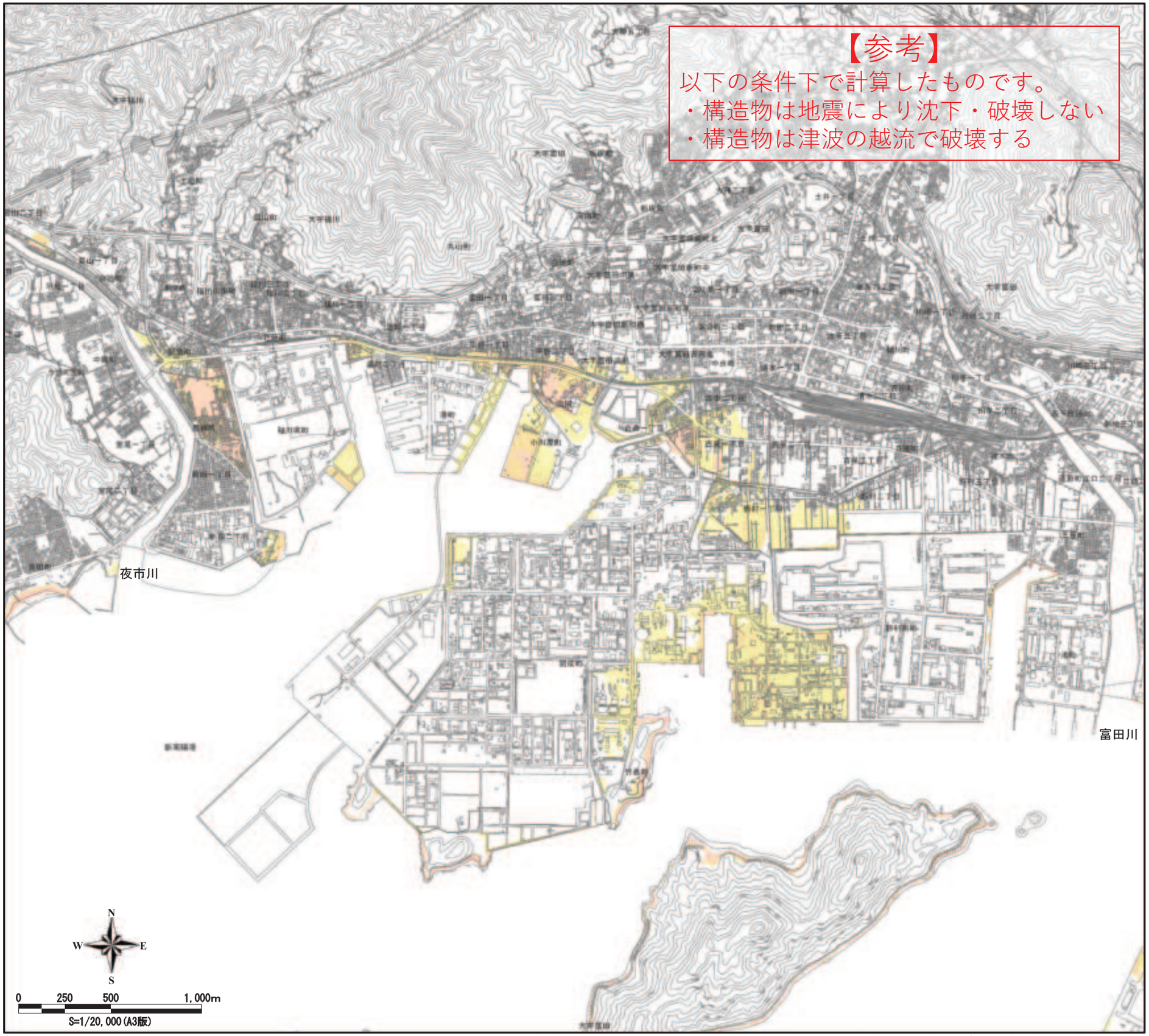
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

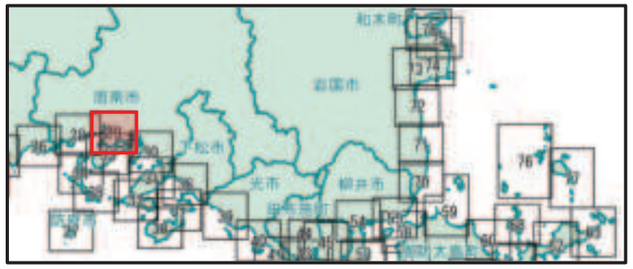
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 29

周南市 2/8





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

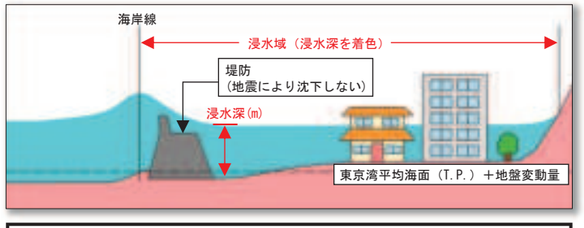
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



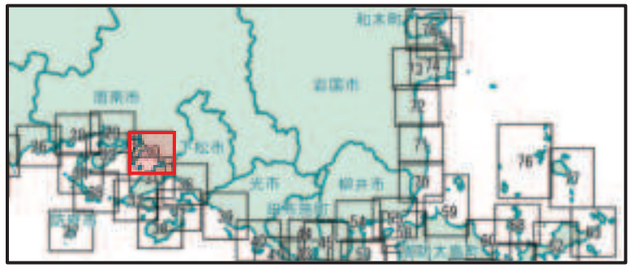
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 30

周南市 3/8



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

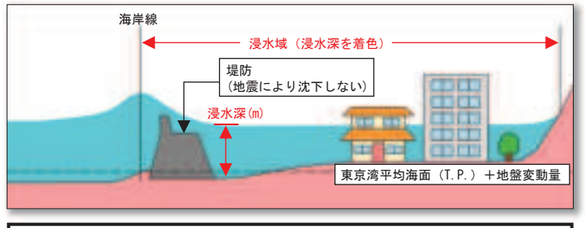
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

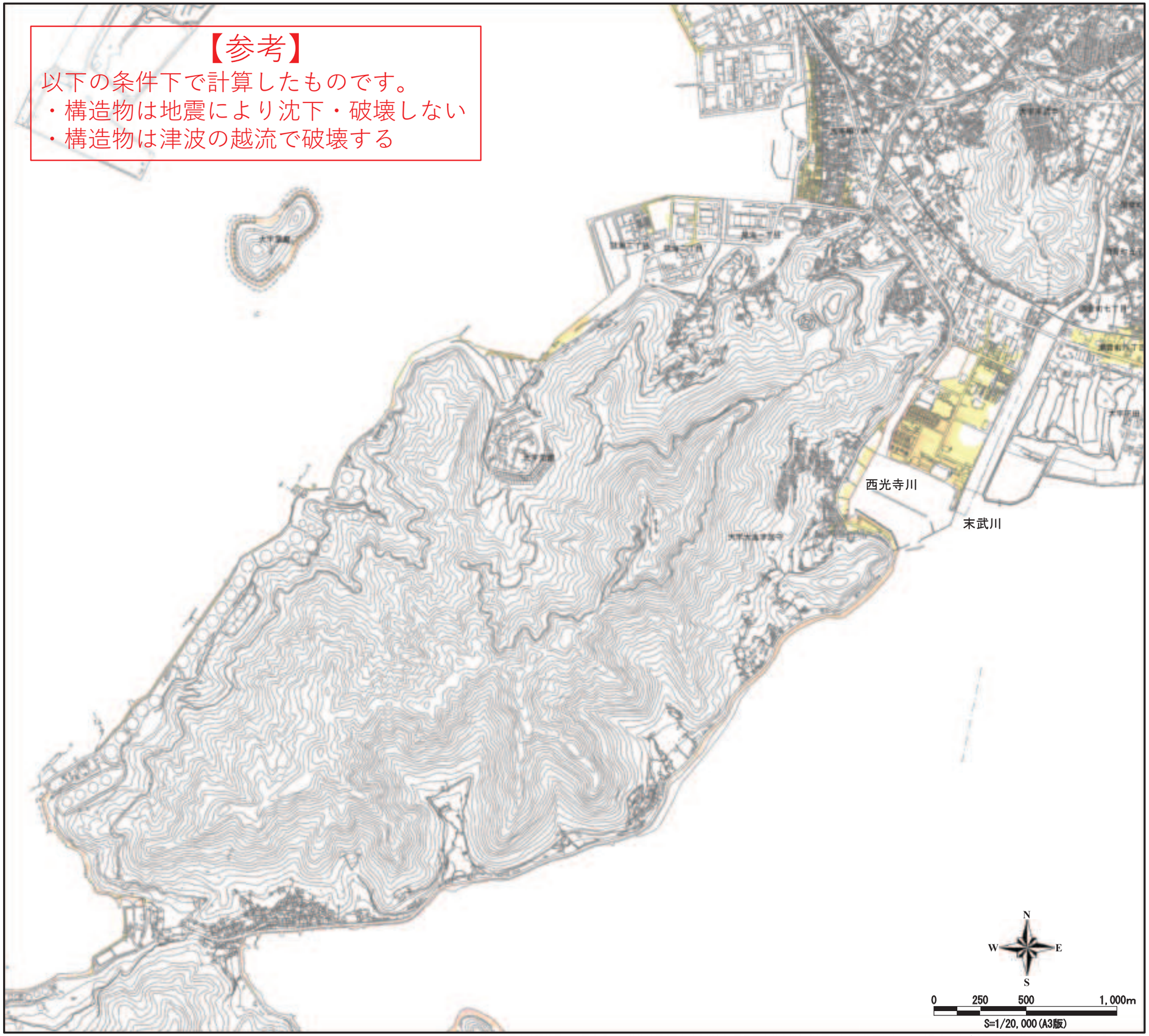
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

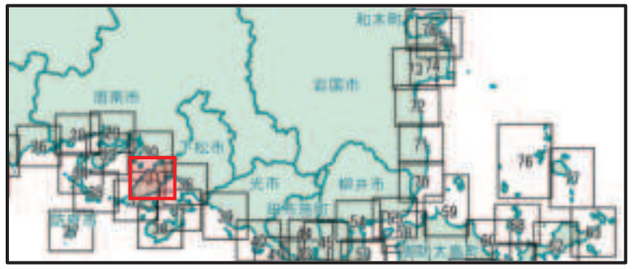
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 31

周南市 4/8

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

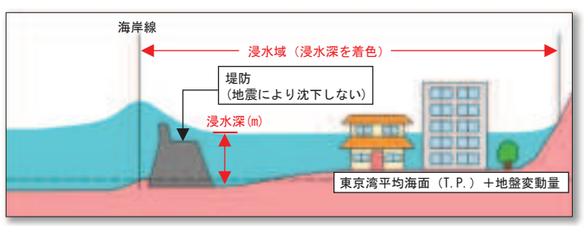
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



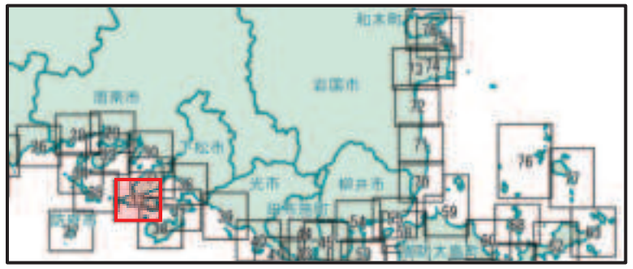
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 32

周南市 5/8



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

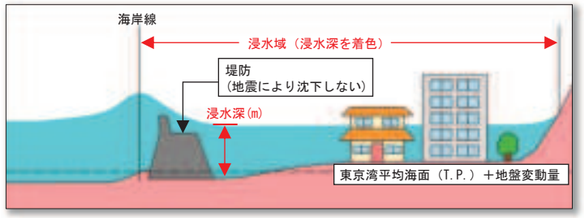
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



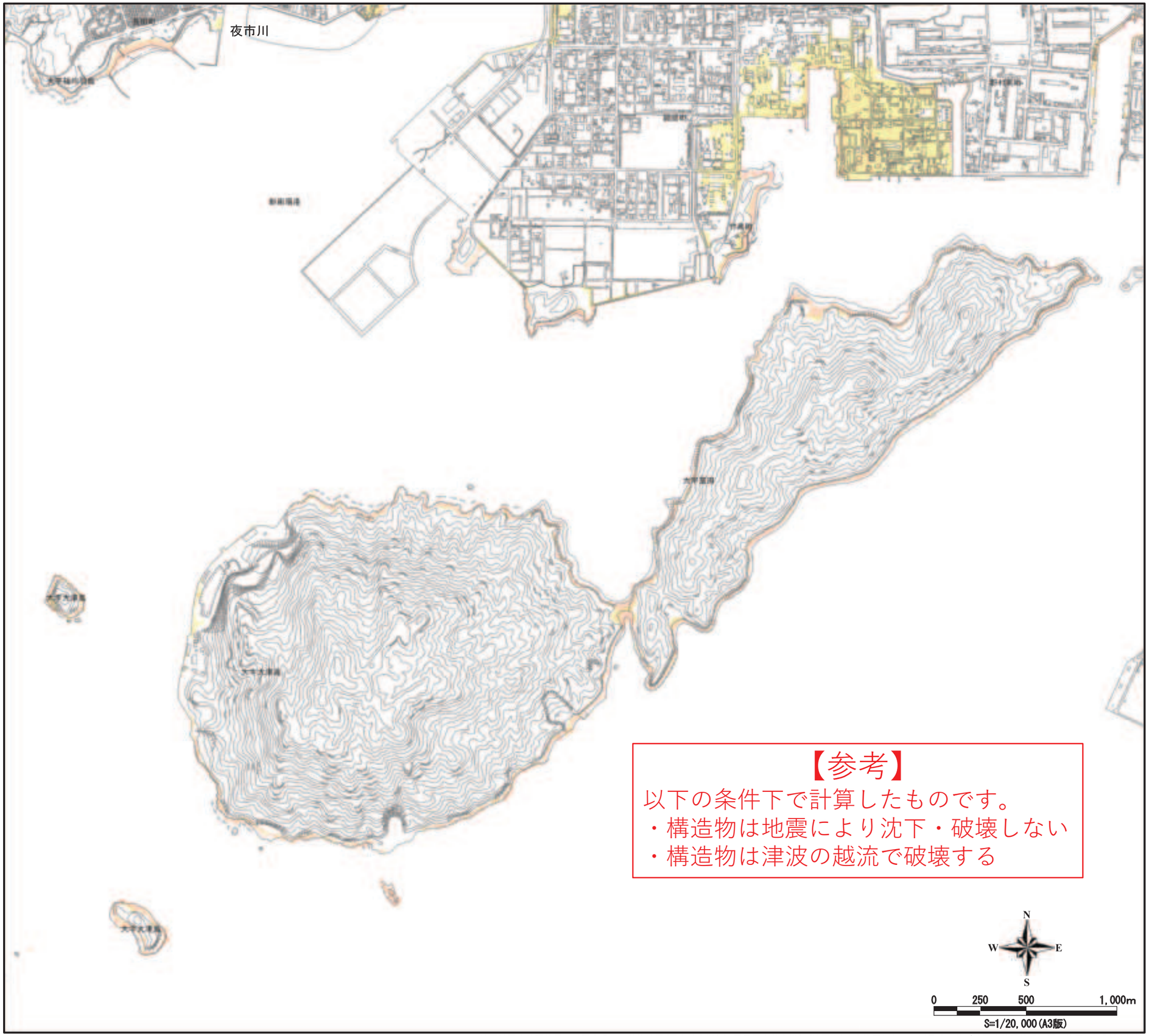
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

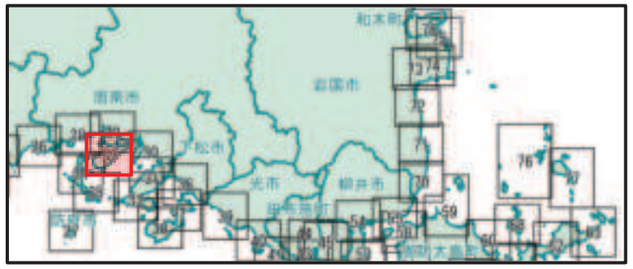
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 33

周南市 6/8





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

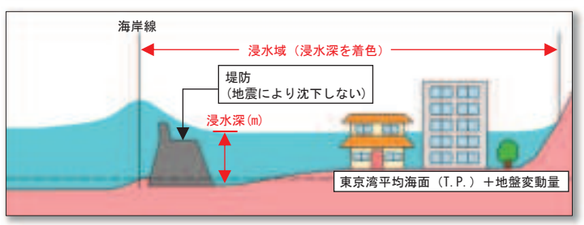
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

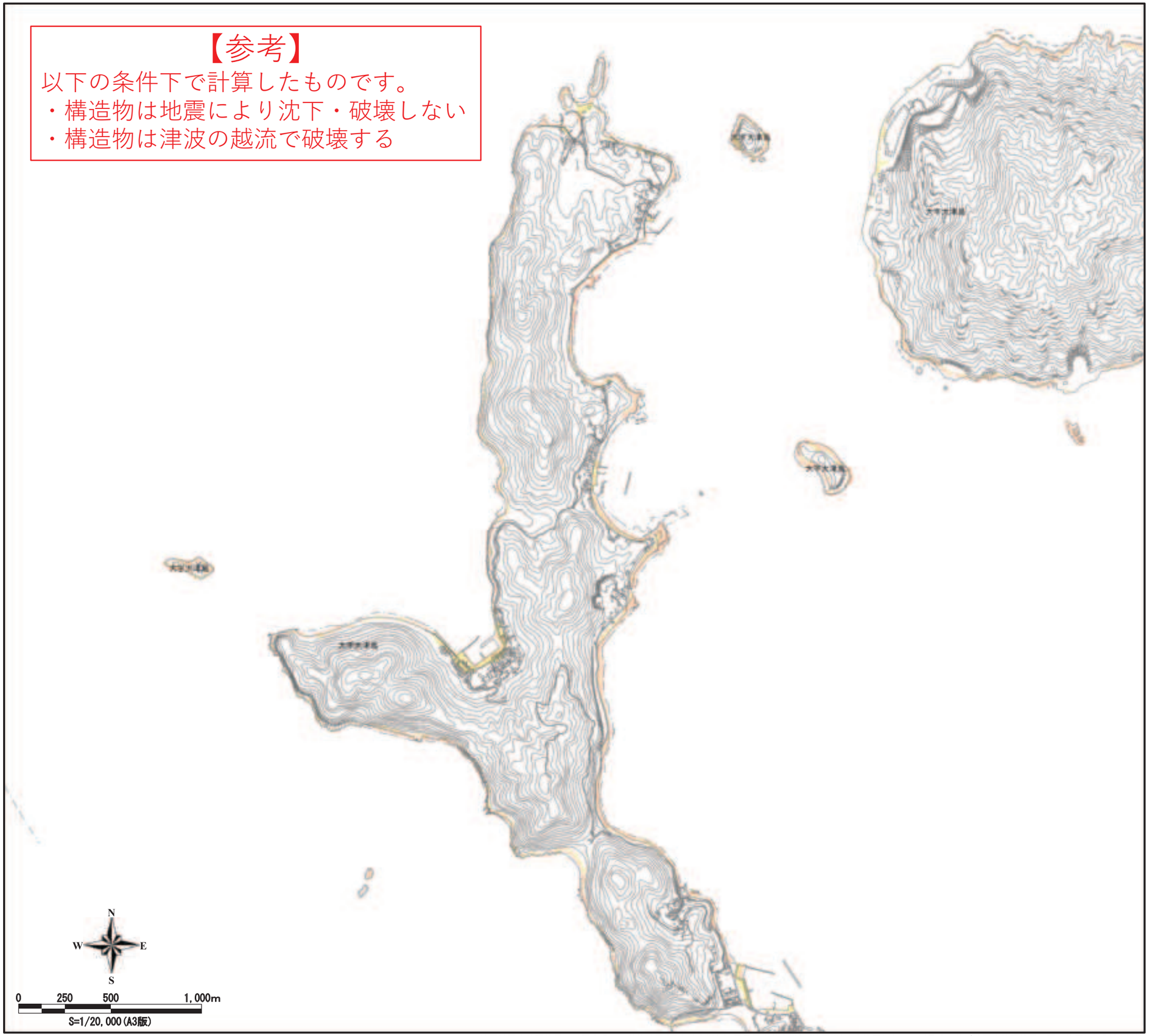
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

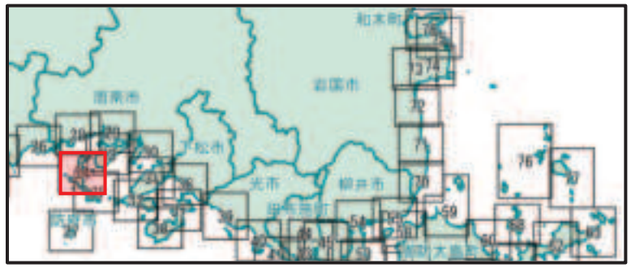
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 34

周南市 7/8

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

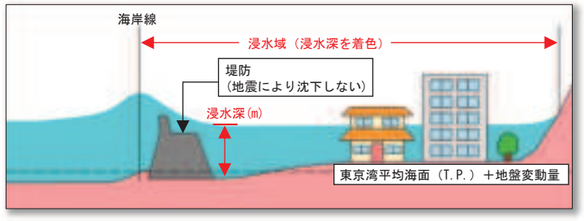
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



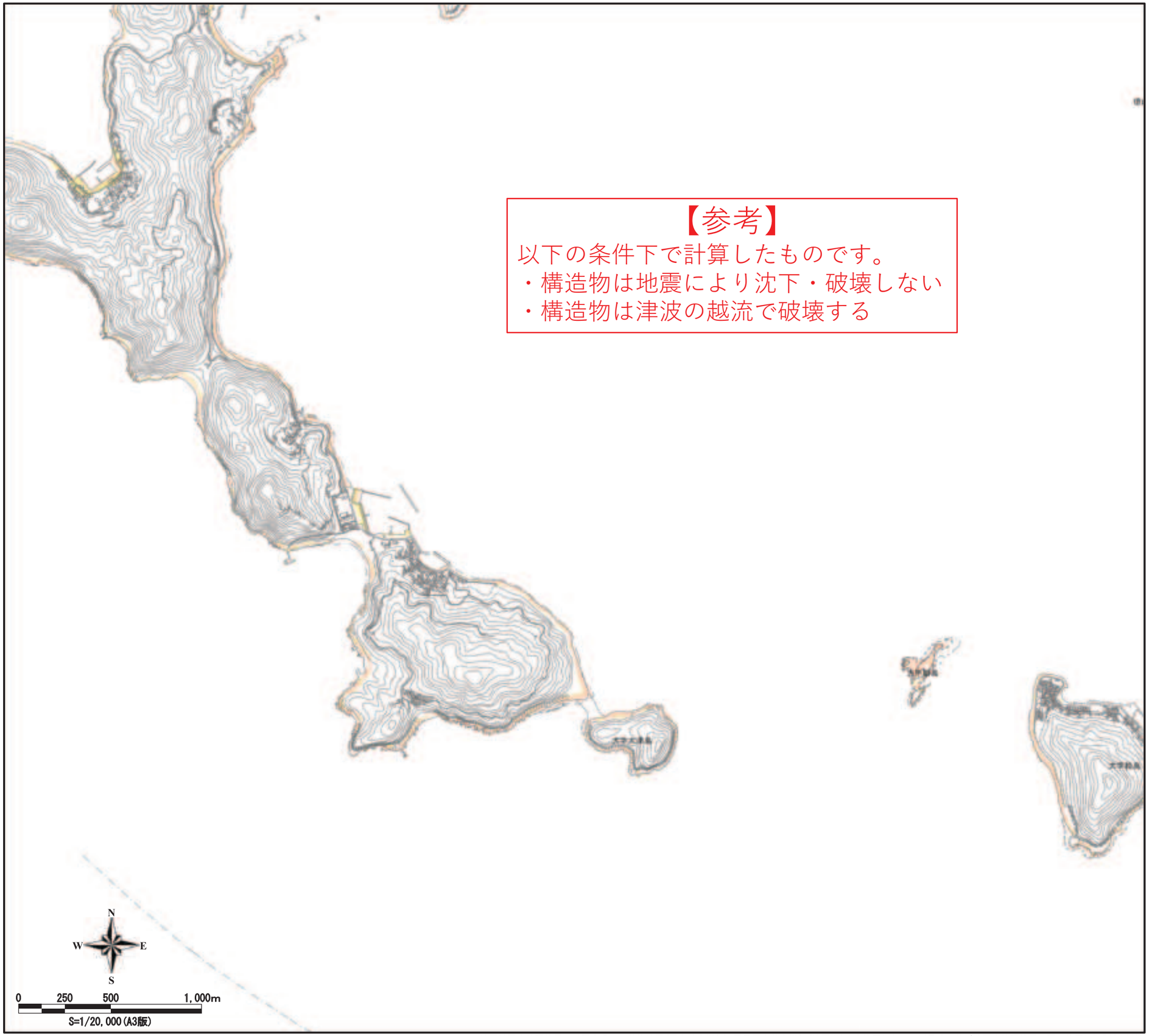
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

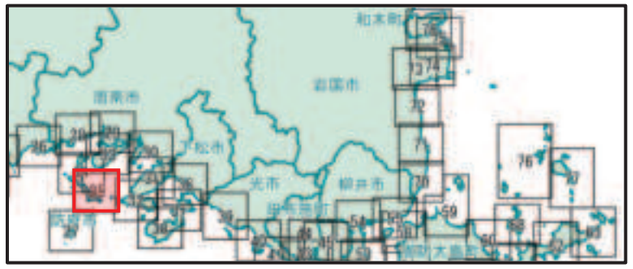
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 35

周南市 8/8





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

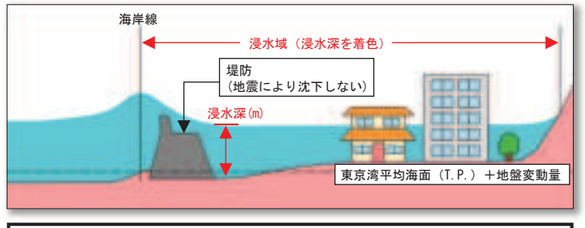
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



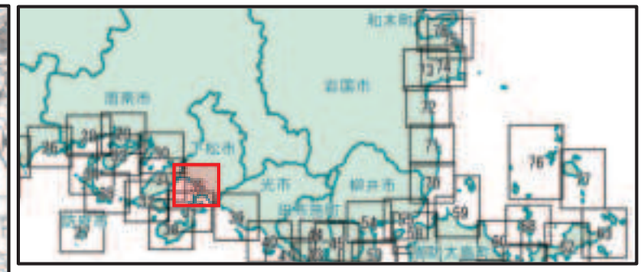
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

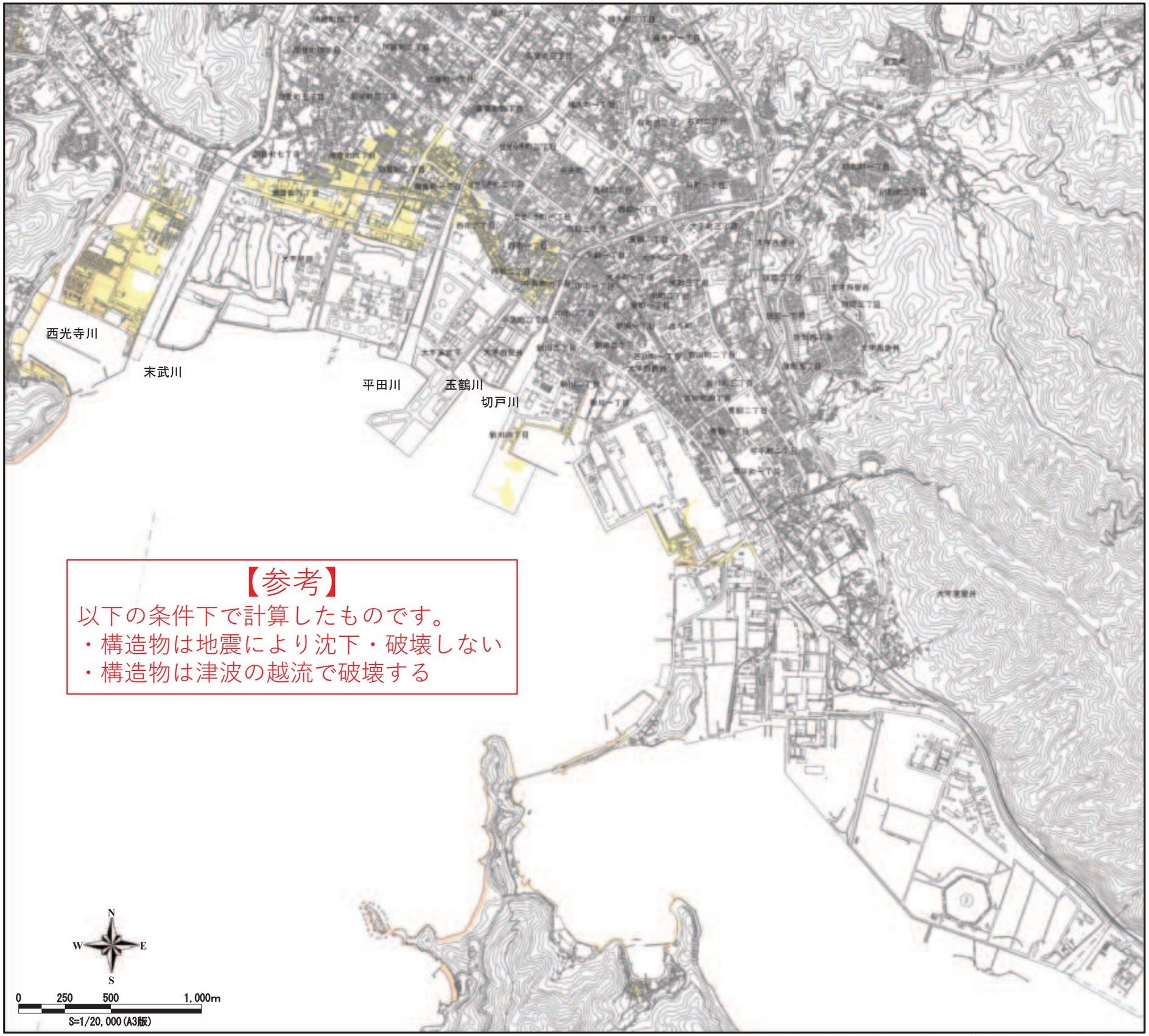
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 36

下松市 1/3





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

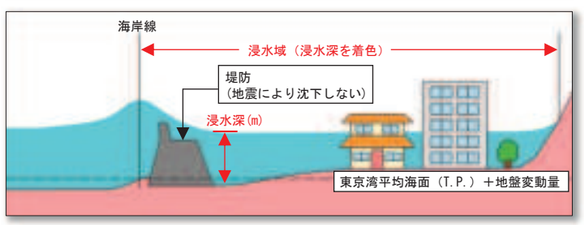
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

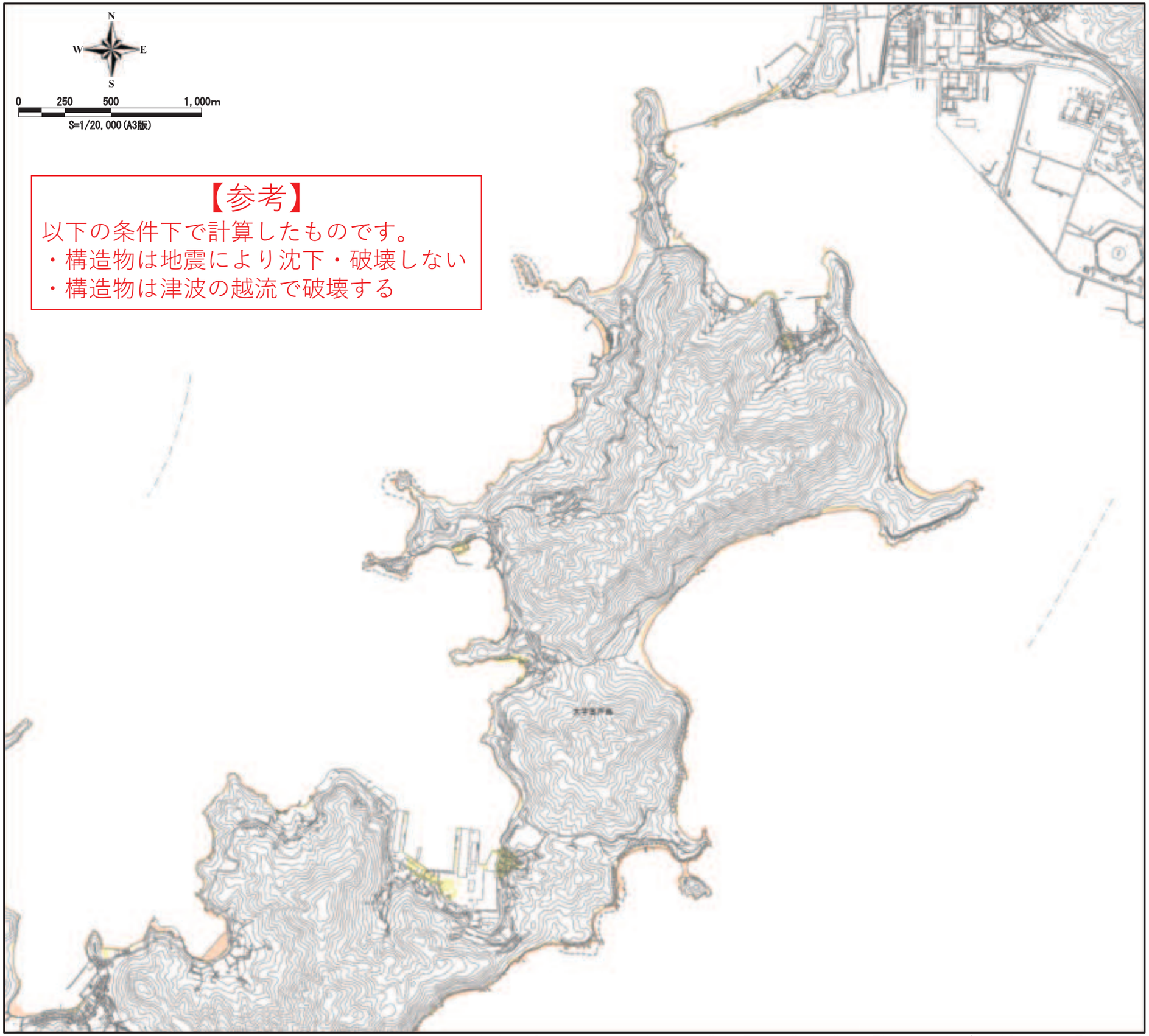
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

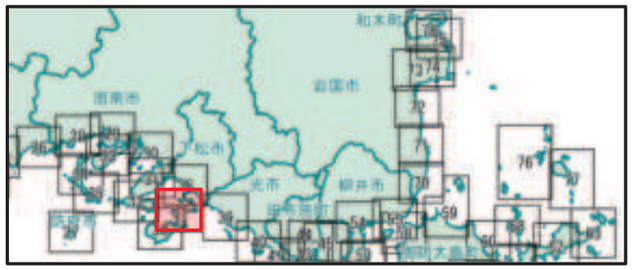
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 37

下松市 2/3

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

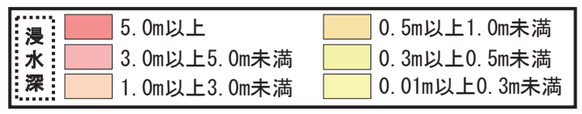
○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

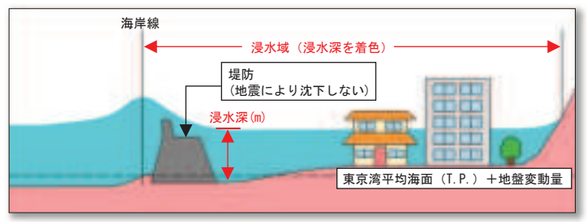
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ





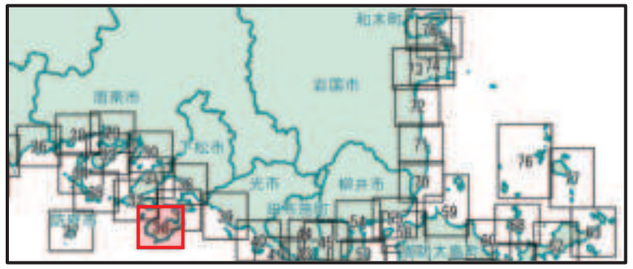
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 38

下松市 3/3



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

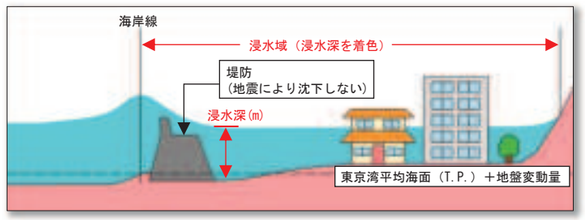
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



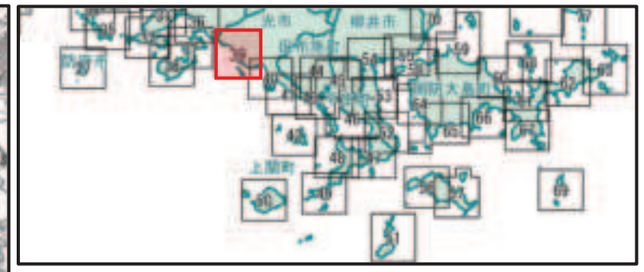
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

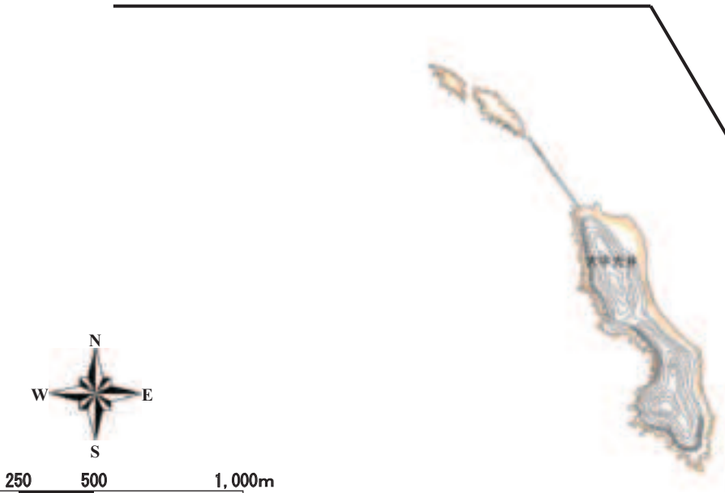
山口県津波浸水想定図 39

光市 1/4



島田川

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

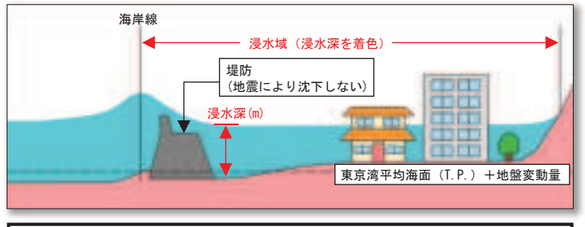
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



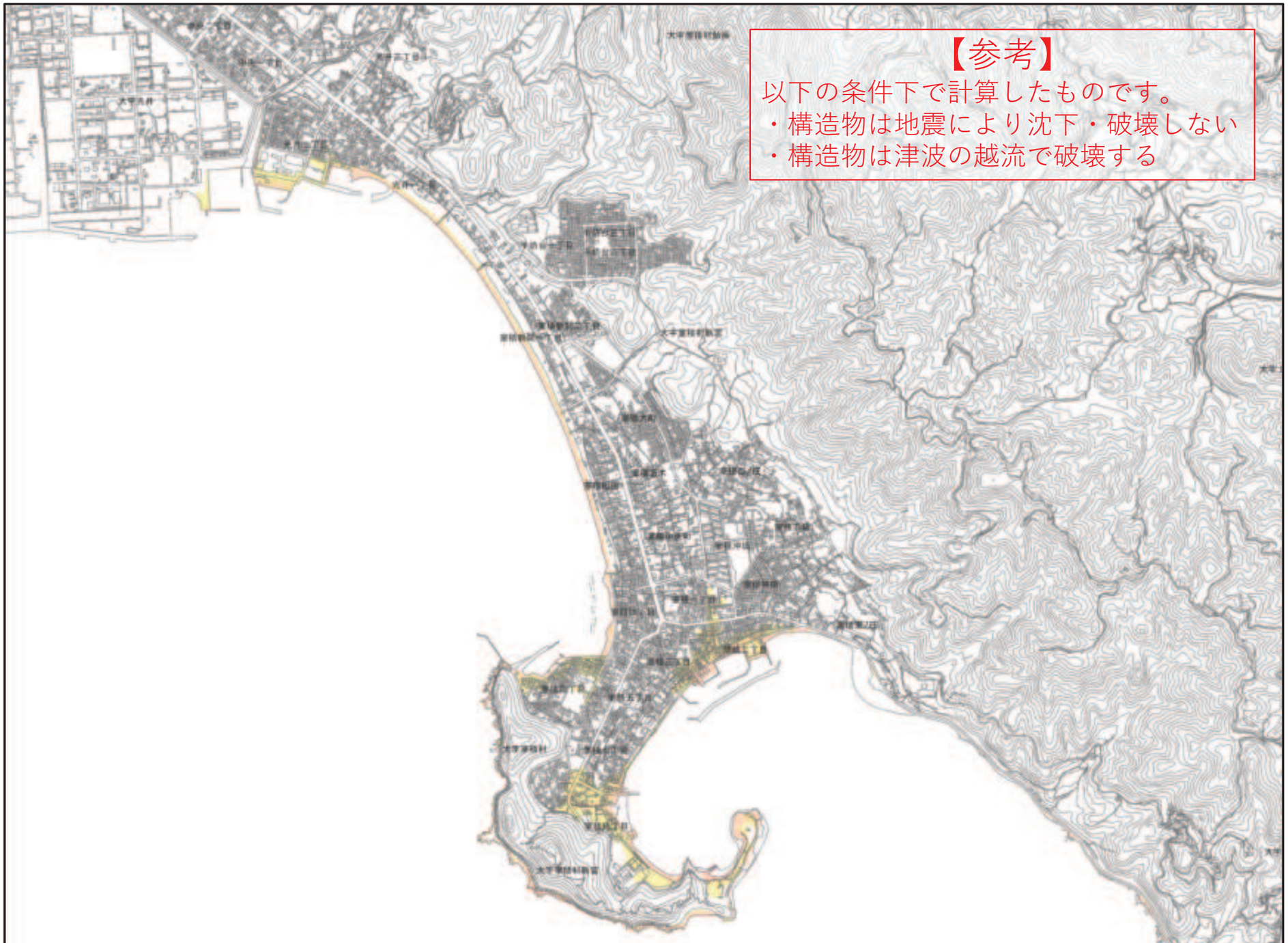
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

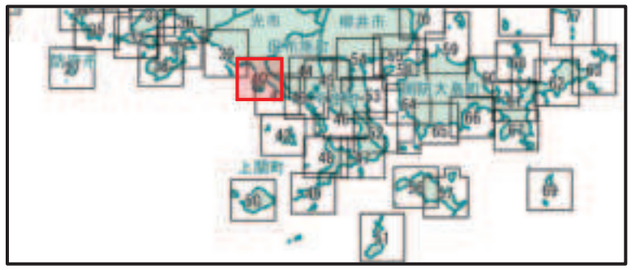
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 40

光市 2/4





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

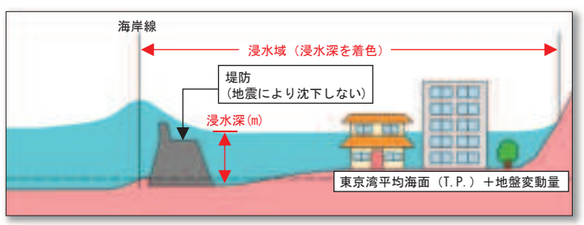
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



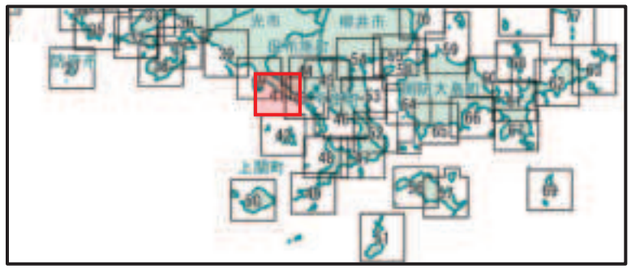
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 41

光市 3/4



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m
S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

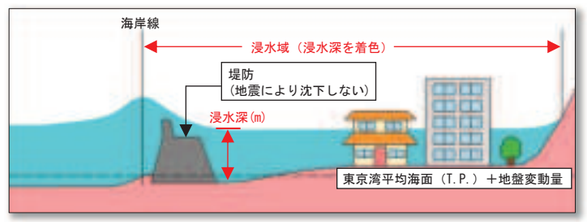
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



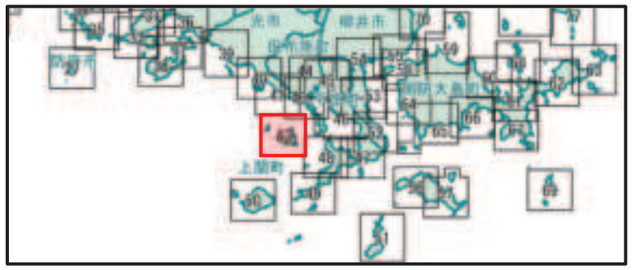
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

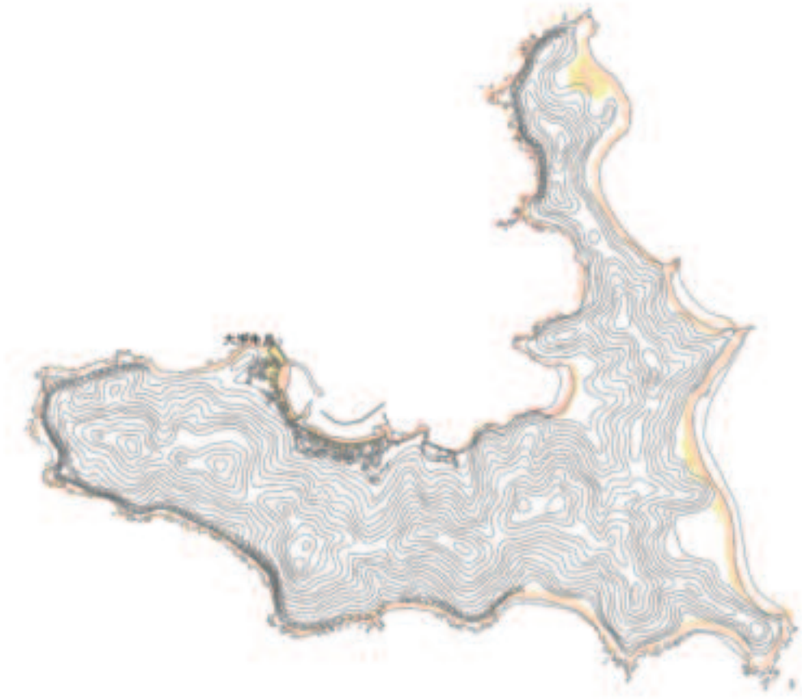
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 42

光市 4/4



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

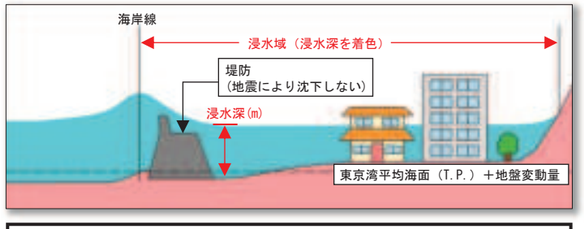
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深
- 5.0m以上
- 3.0m以上5.0m未満
- 1.0m以上3.0m未満
- 0.5m以上1.0m未満
- 0.3m以上0.5m未満
- 0.01m以上0.3m未満



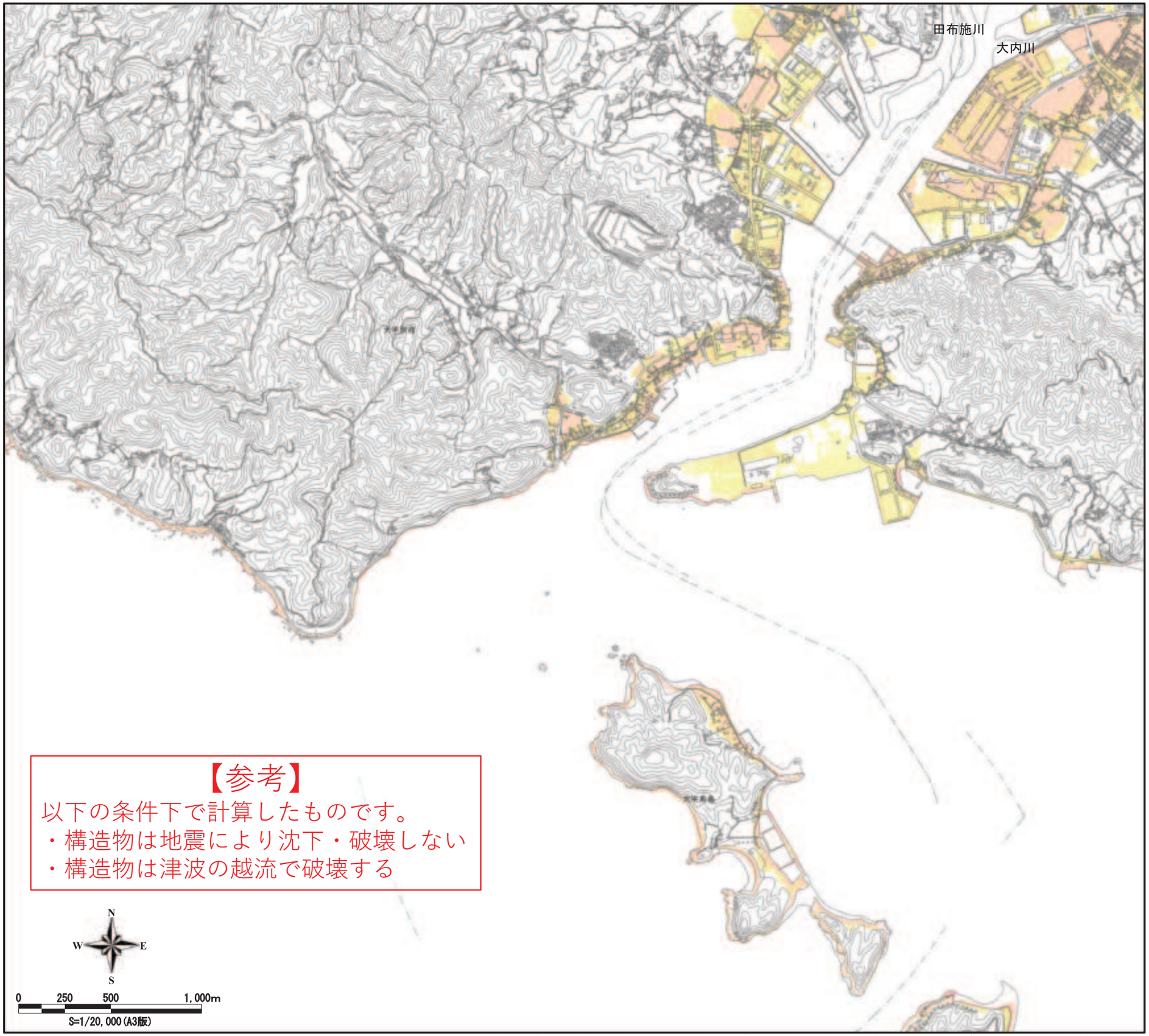
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

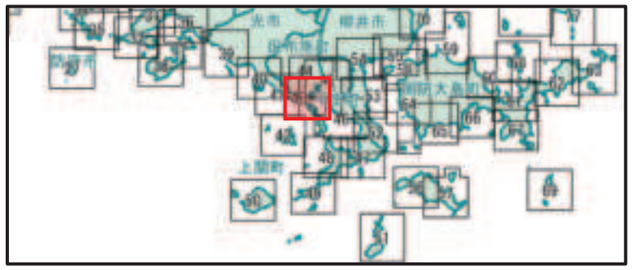
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 43

田布施町 1/2





【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

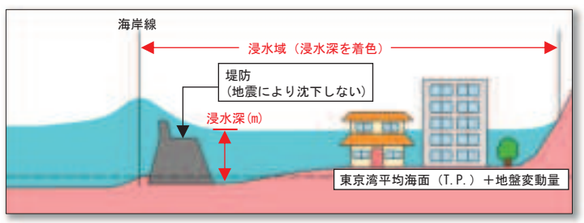
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



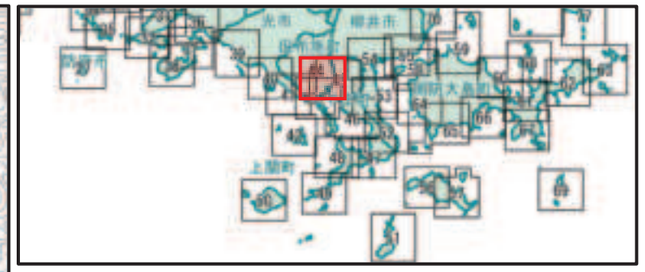
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 44

田布施町 2/2



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

田布施川

大内川

N
W
E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

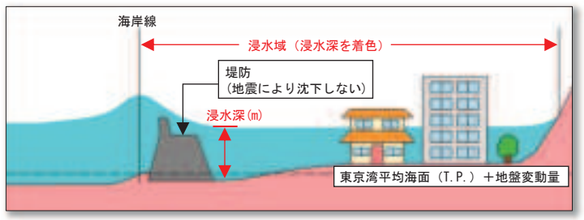
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



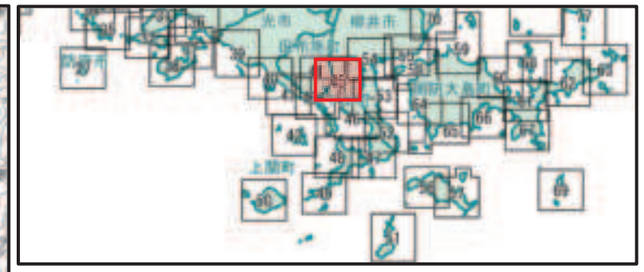
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

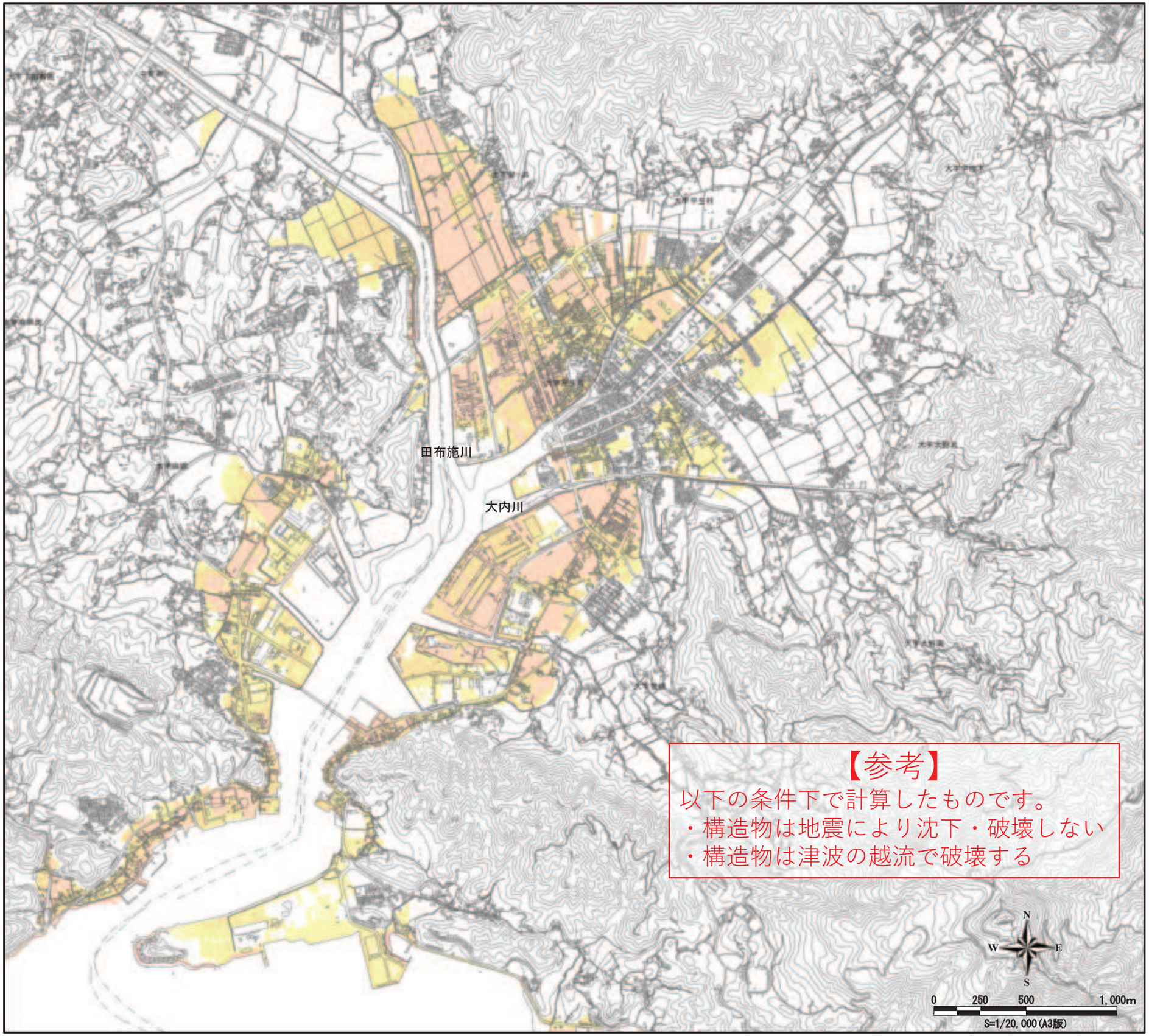
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 45

平生町 1/2





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

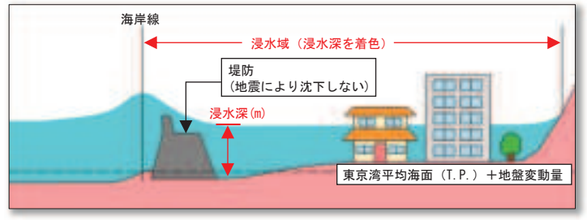
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



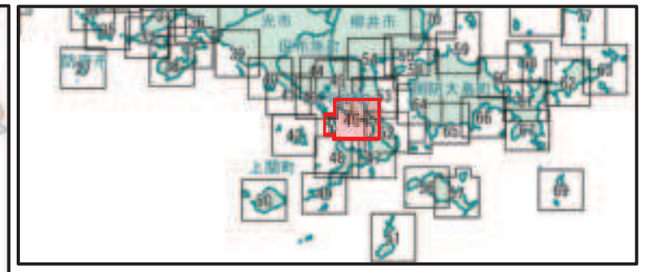
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 46

平生町 2/2



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

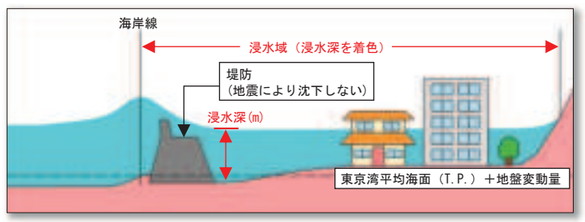
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



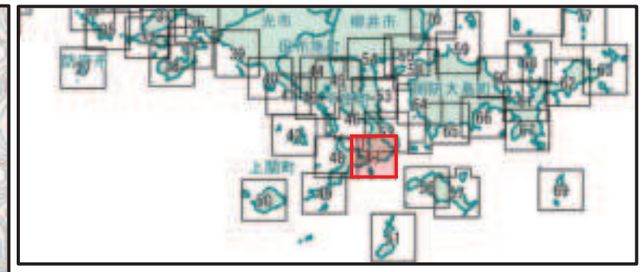
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 47

上関町 1/5



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

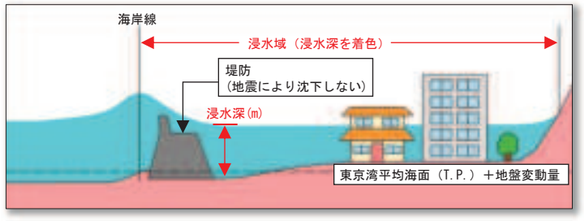
浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深

5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



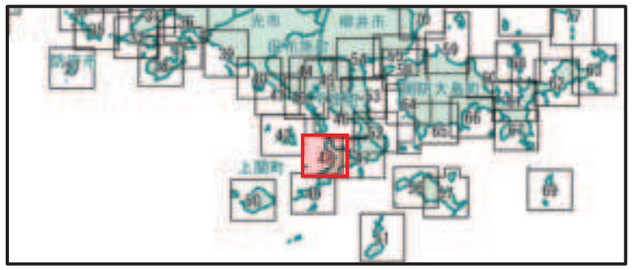
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 48

上関町 2/5



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m
S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

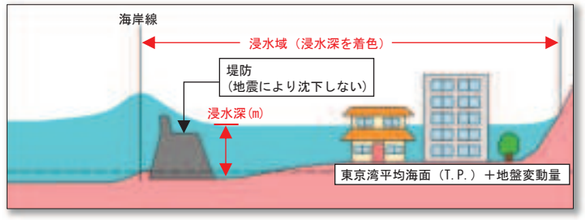
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



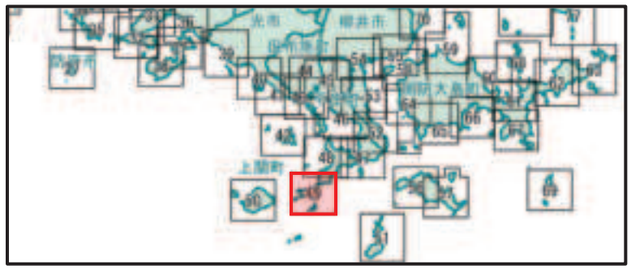
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 49

上関町 3/5



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

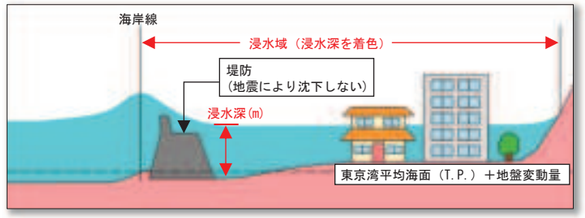
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

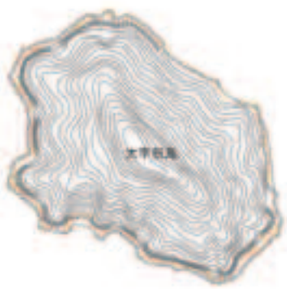
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

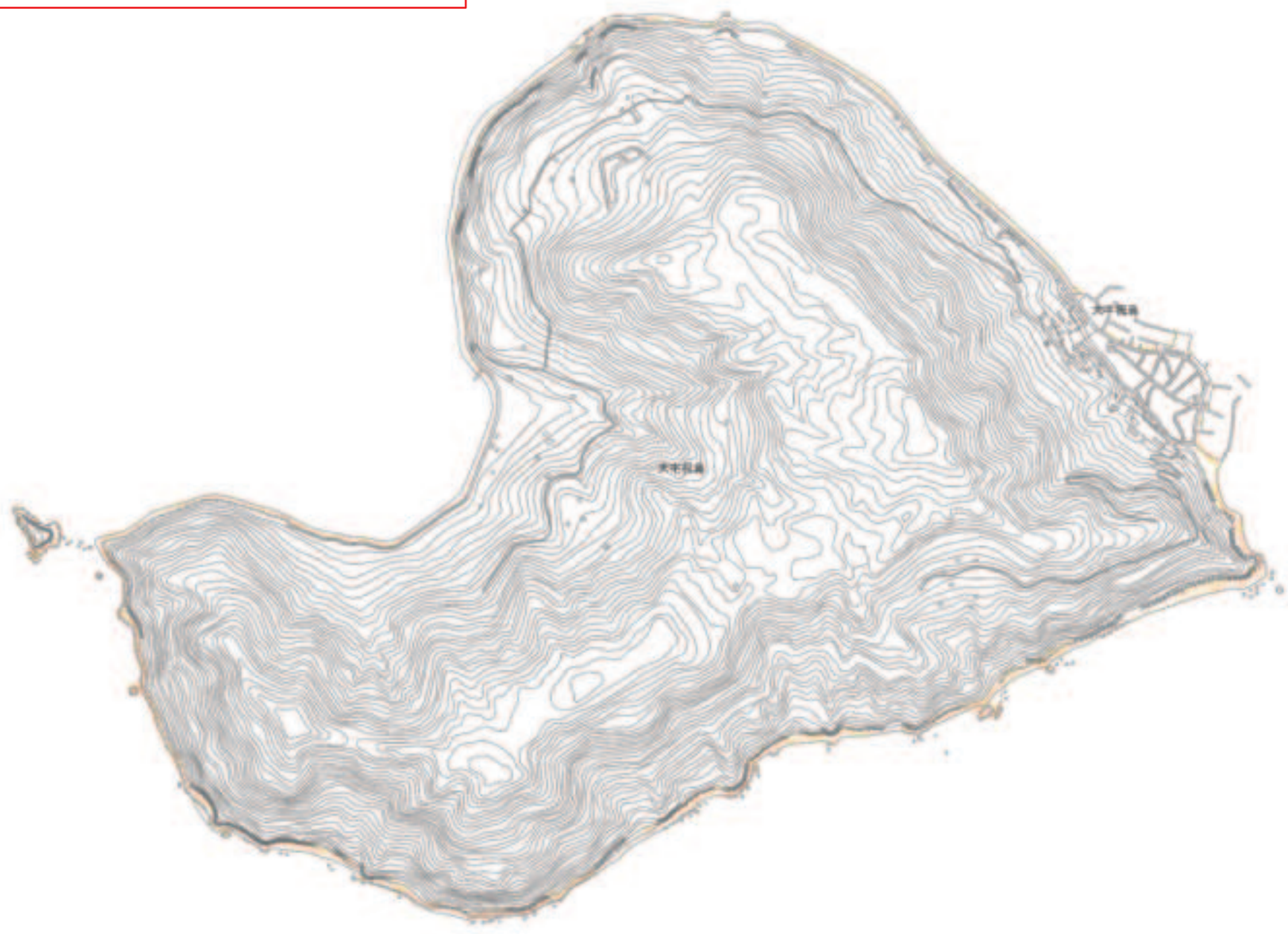
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

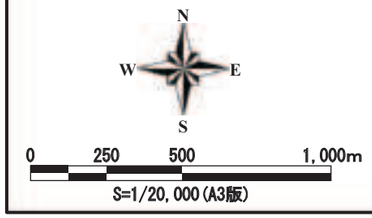
山口県津波浸水想定図 50

上関町 4/5

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する







【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

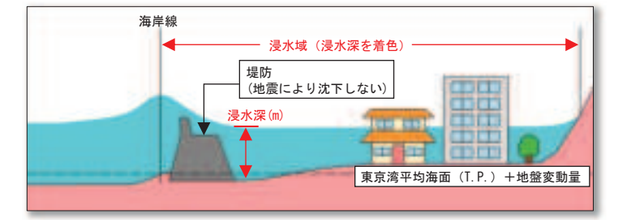
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 51

上関町 5/5

【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

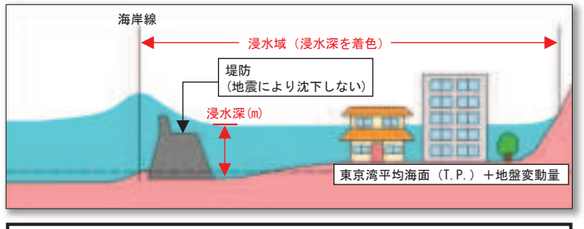
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



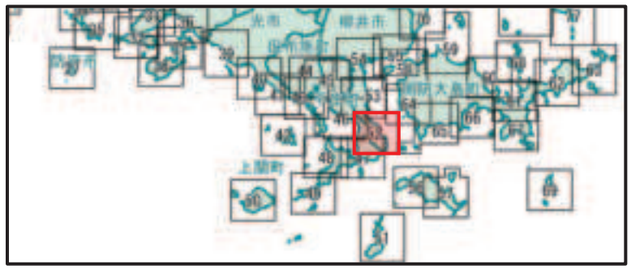
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 52

柳井市 1/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

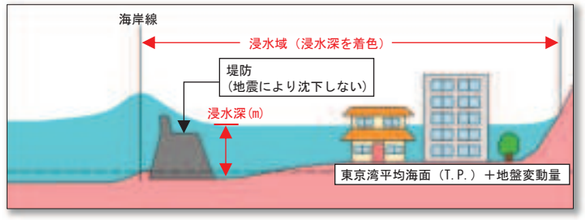
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



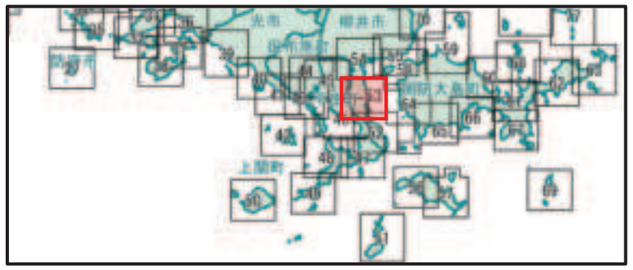
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 53

柳井市 2/6



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

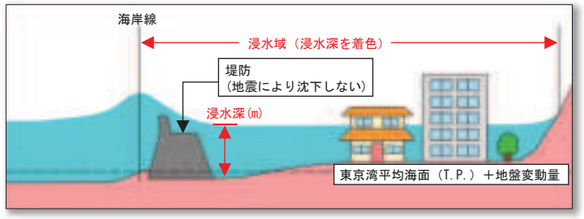
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



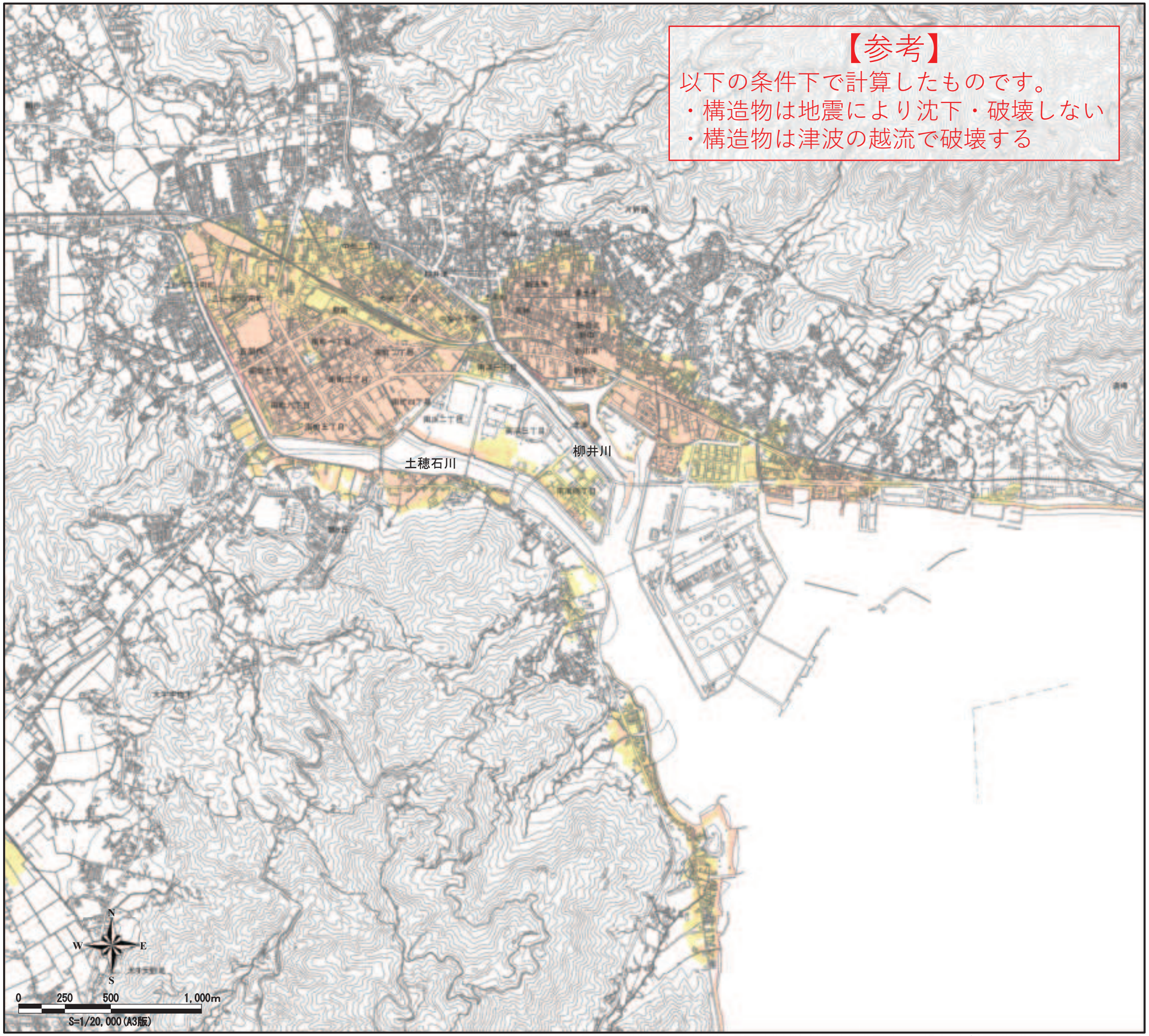
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

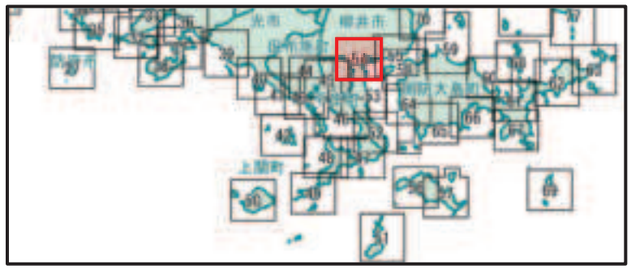
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 54

柳井市 3/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

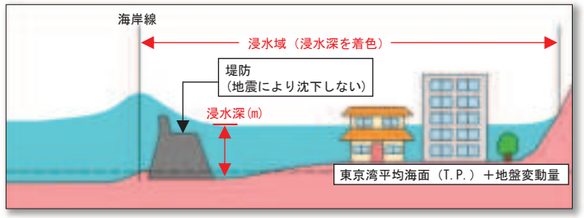
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



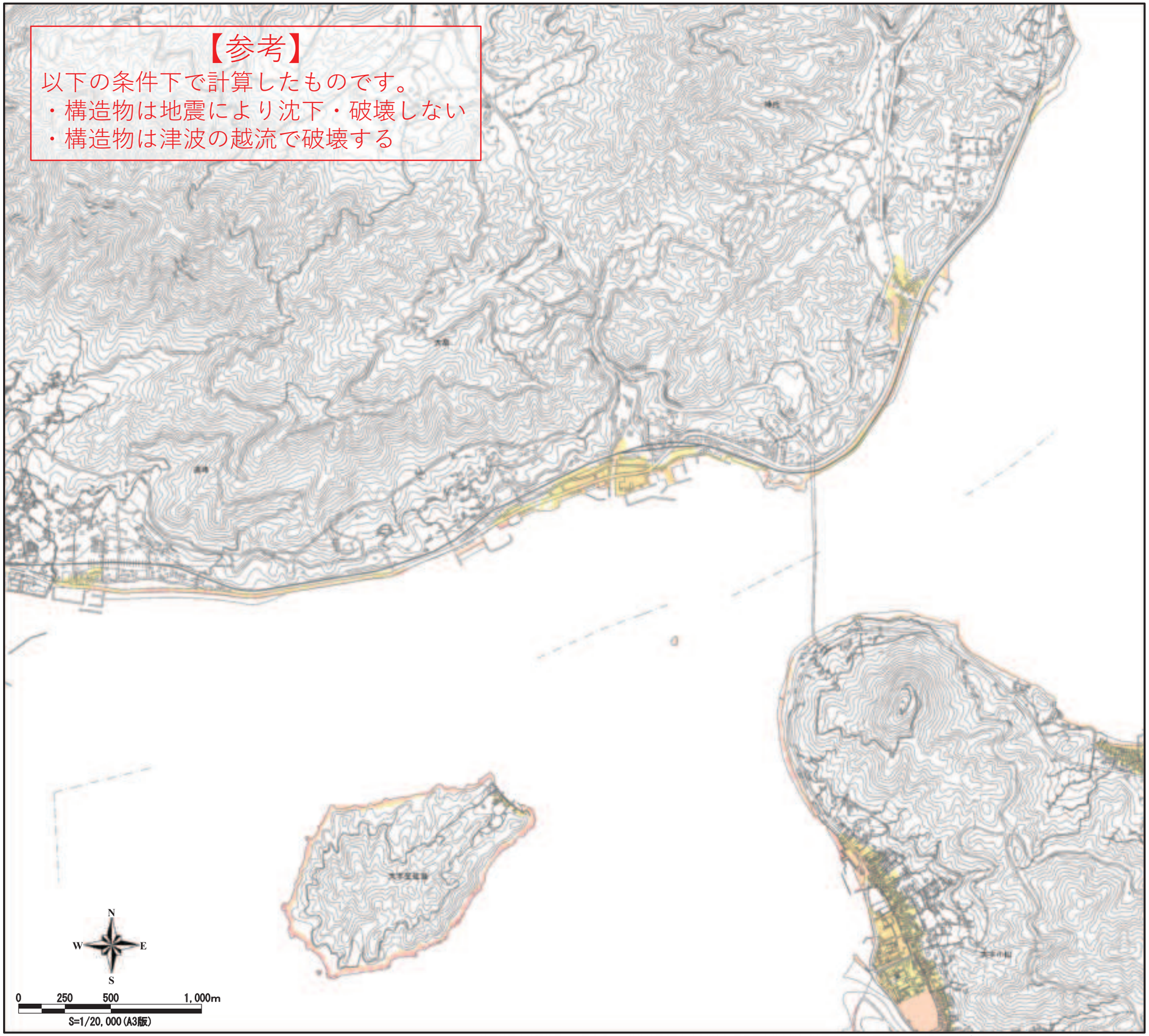
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

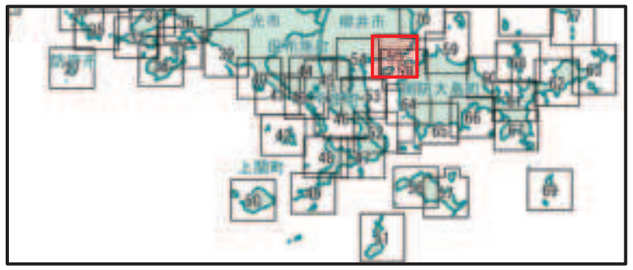
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 55

柳井市 4/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

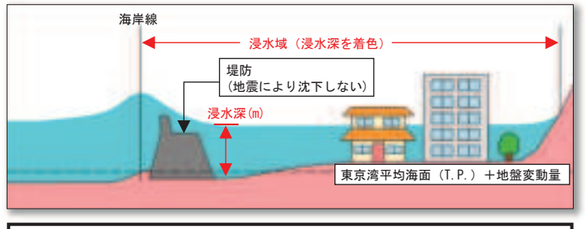
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



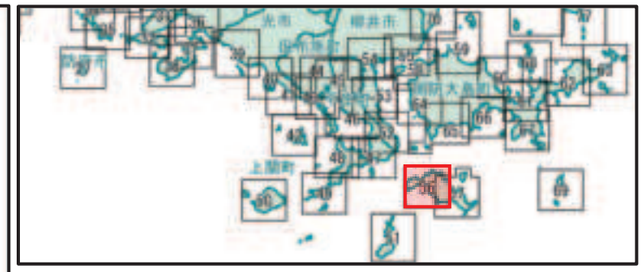
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

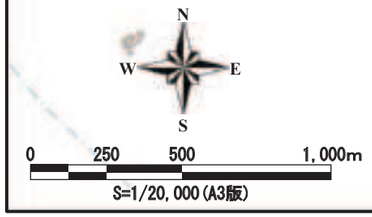
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 56

柳井市 5/6



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

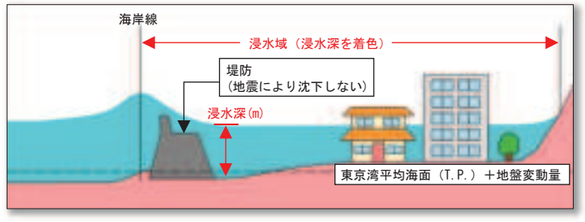
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



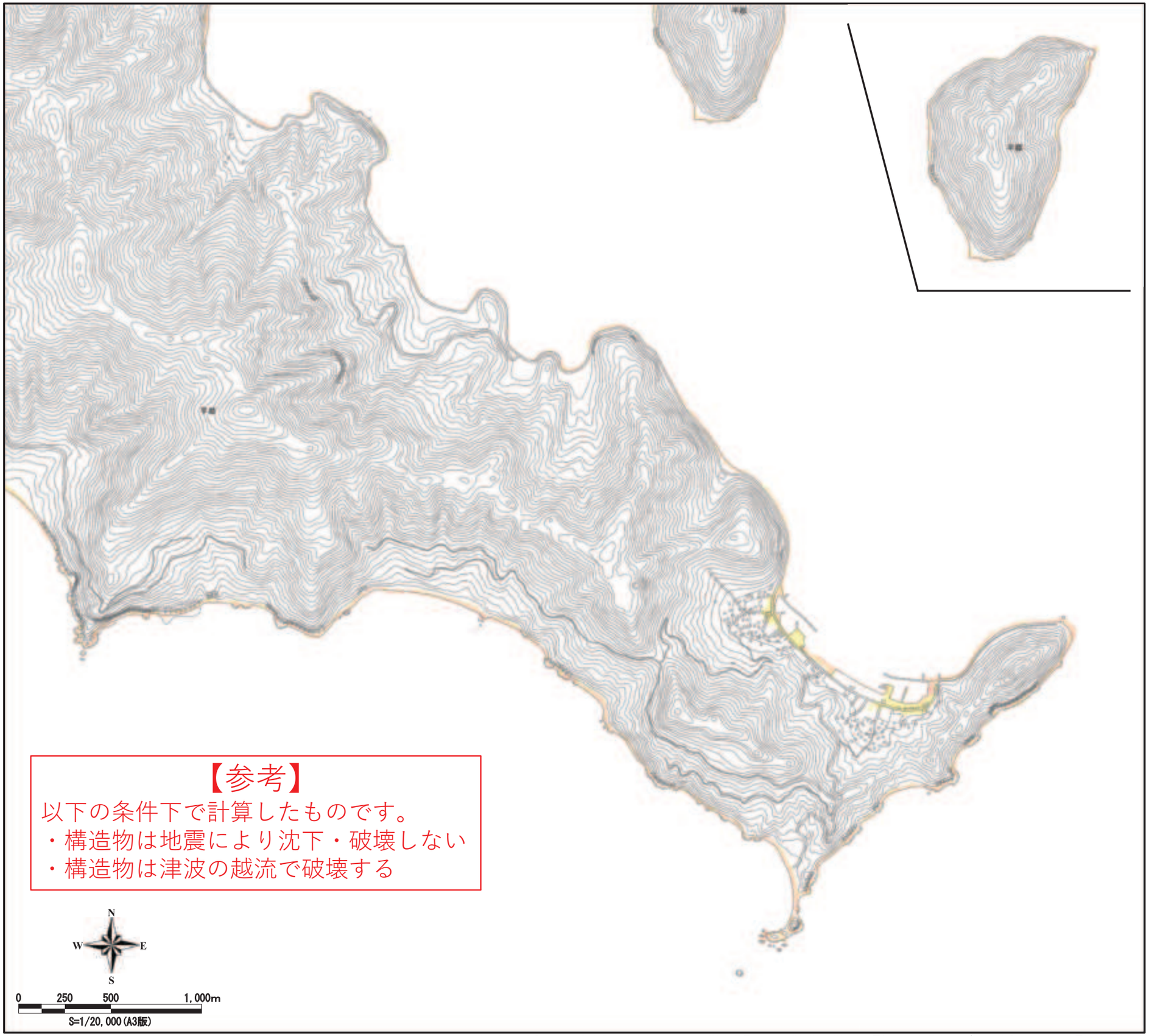
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

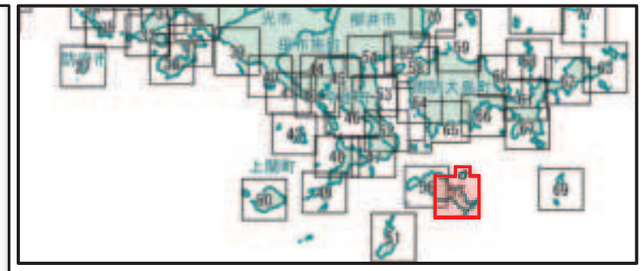
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 57

柳井市 6/6





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

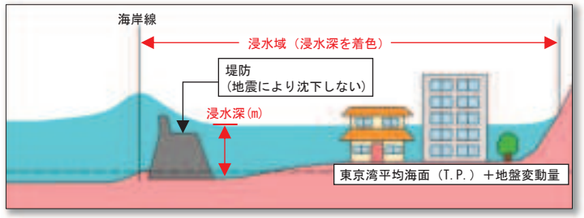
【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



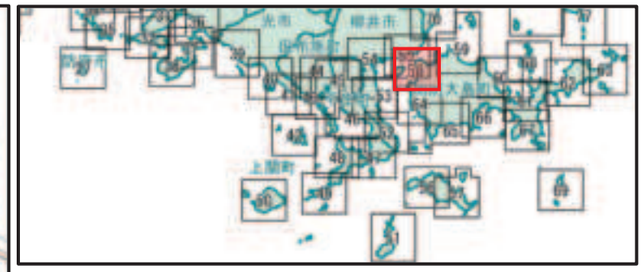
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 58

周防大島町 1/12



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

N
W E
S

0 250 500 1,000m
S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

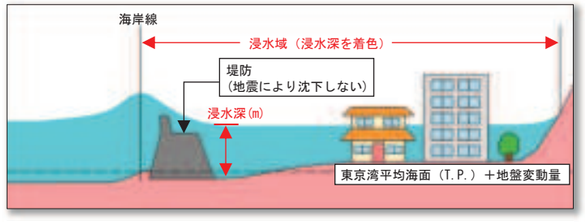
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



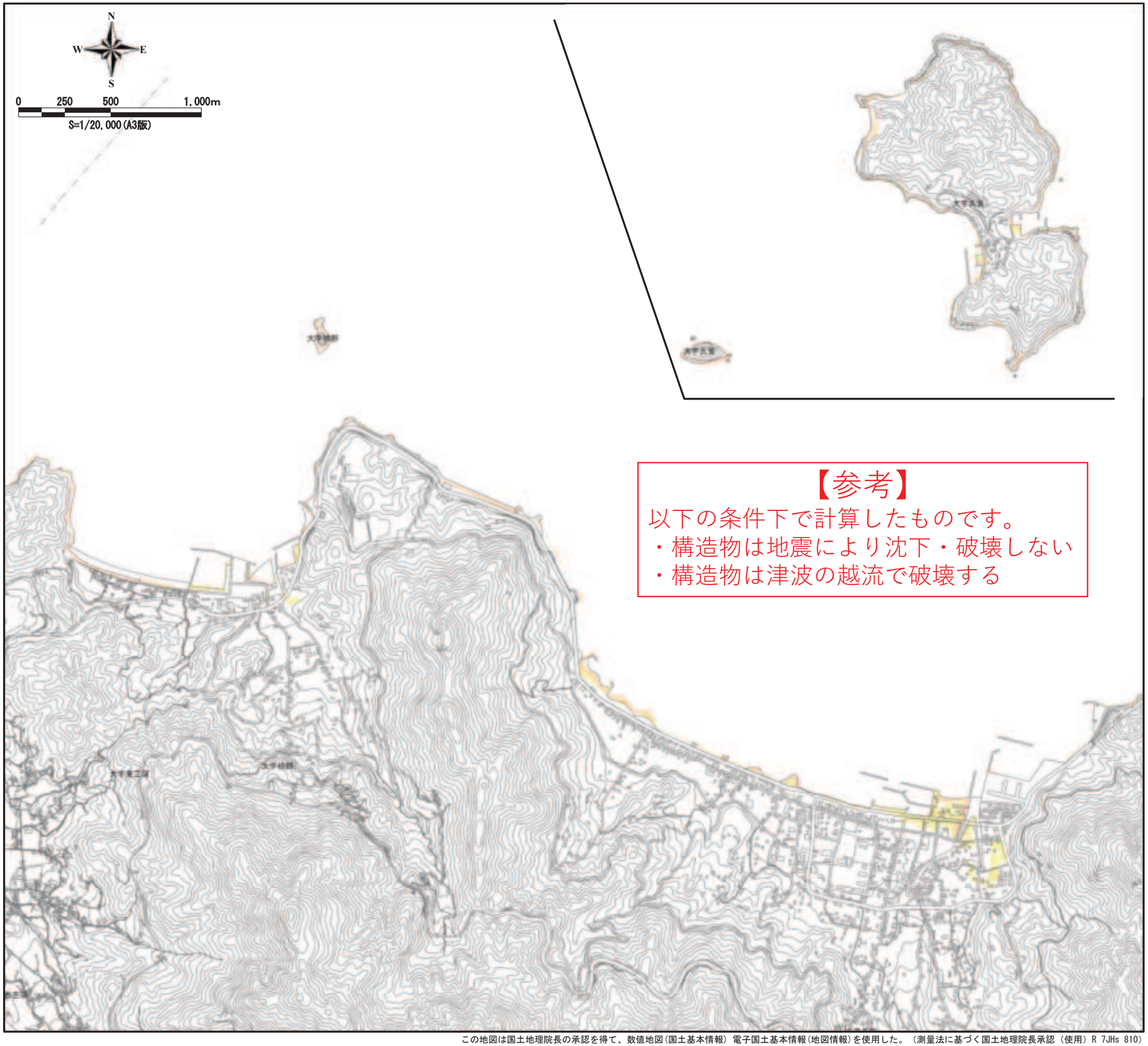
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

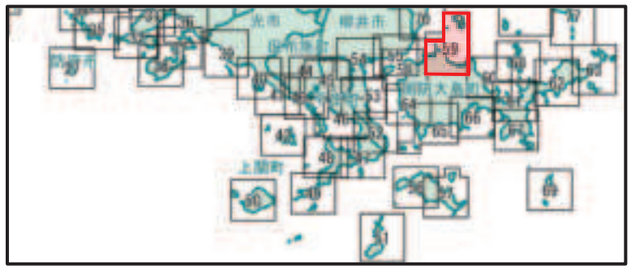
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 59

周防大島町 2/12



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

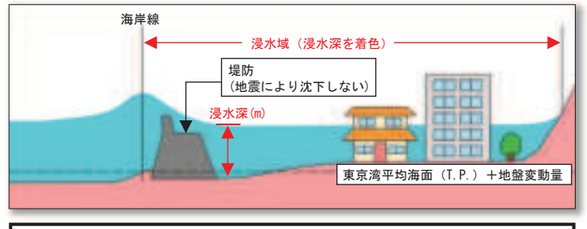
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



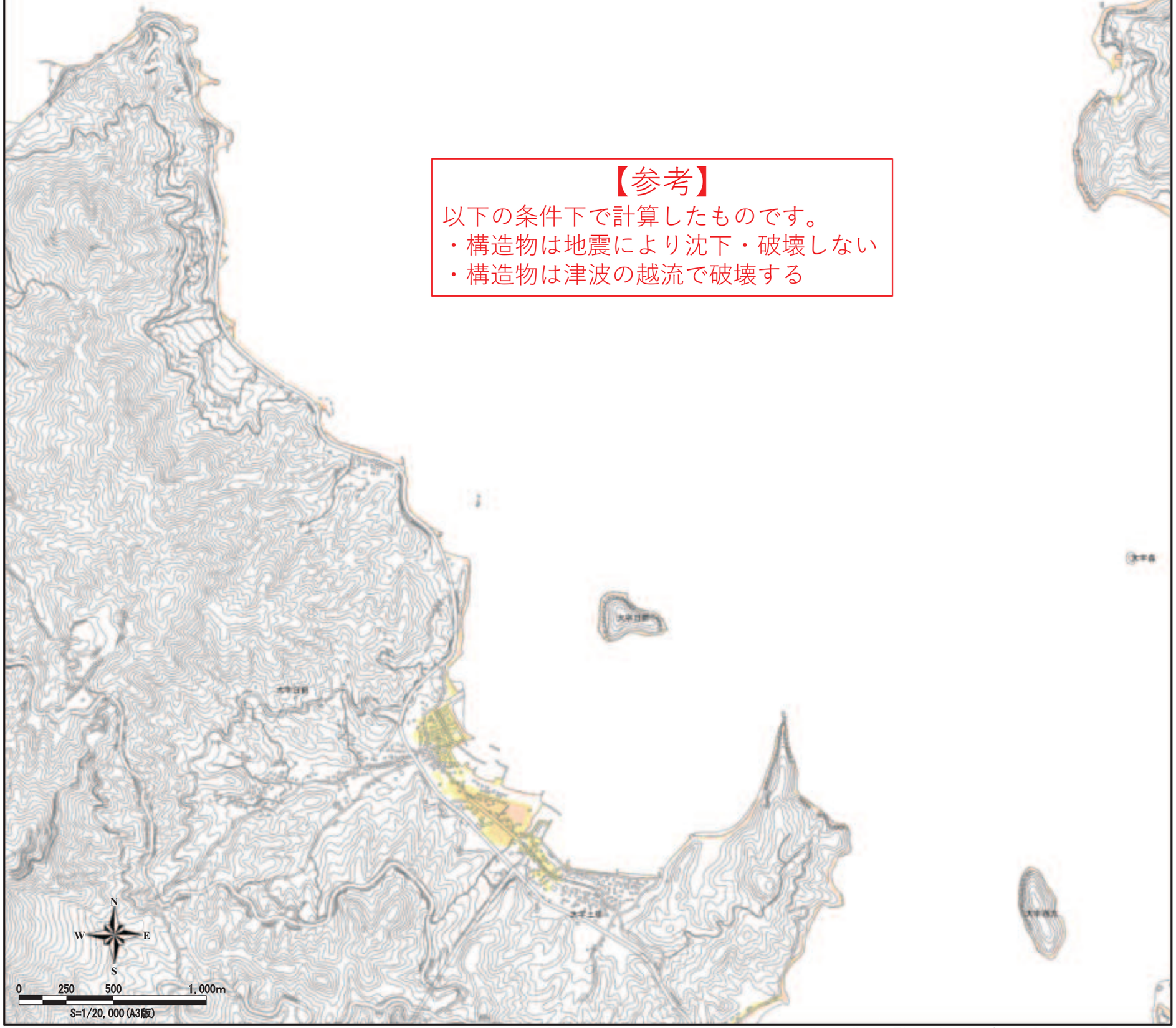
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

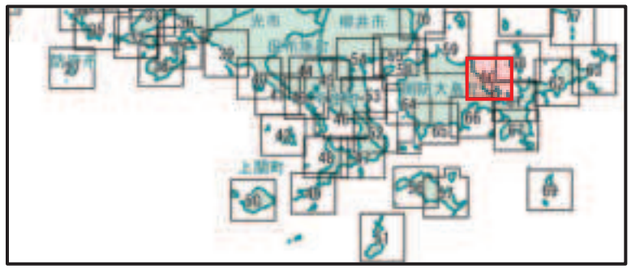
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 60

周防大島町 3/12





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

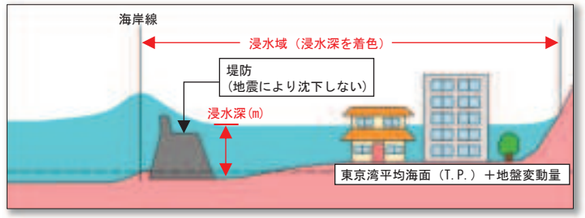
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



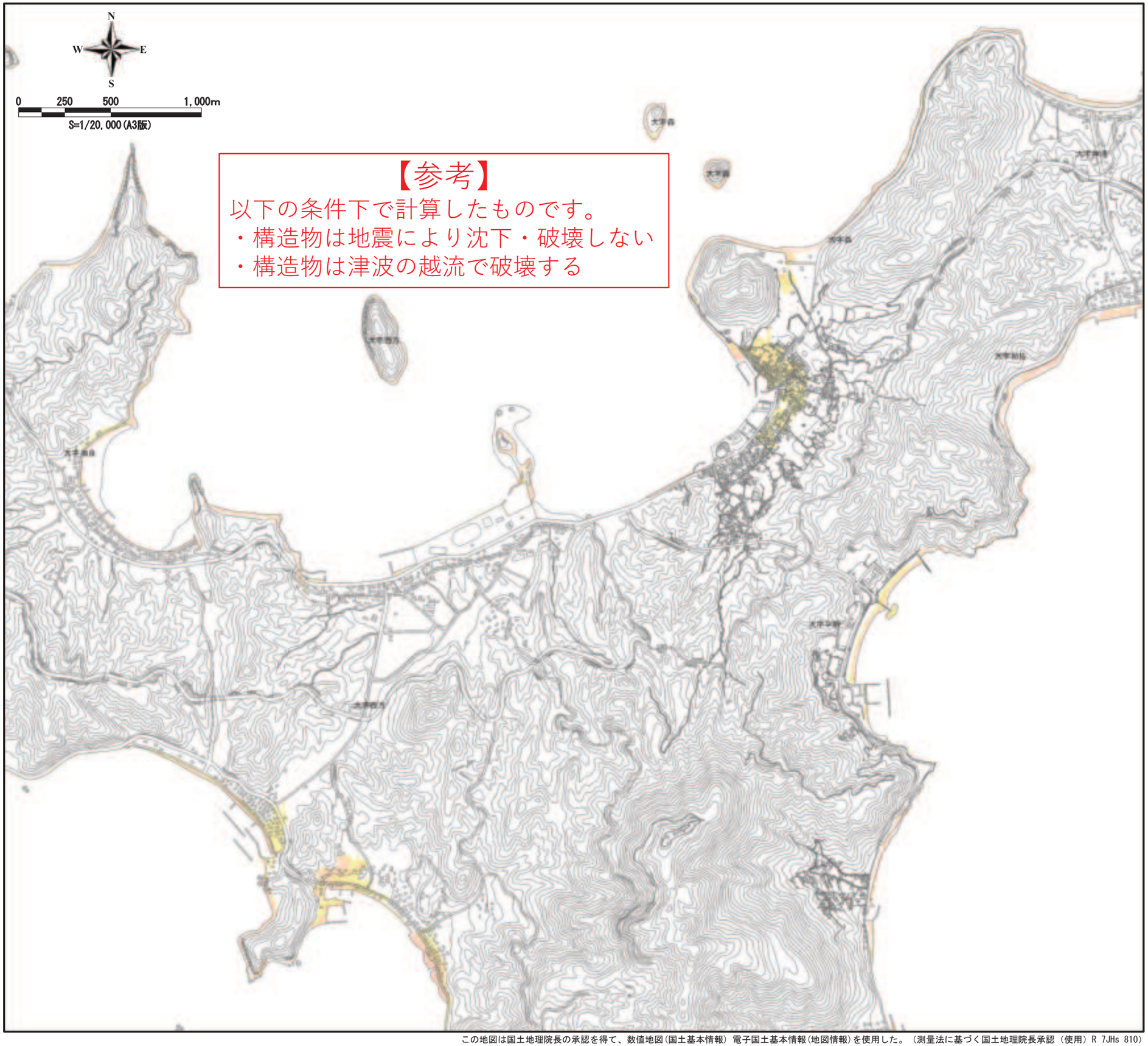
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

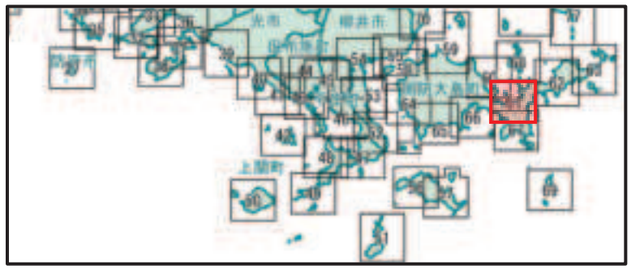
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 61

周防大島町 4/12





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

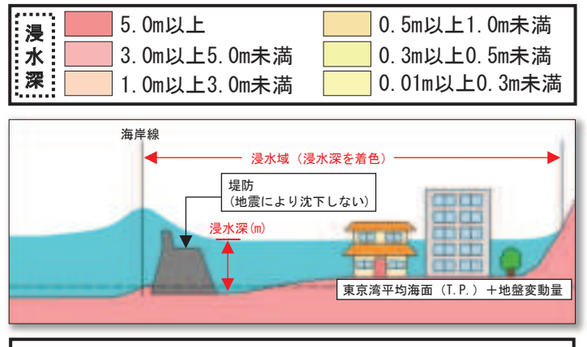
○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ



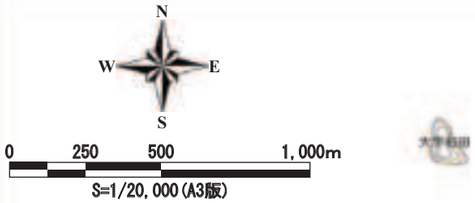
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

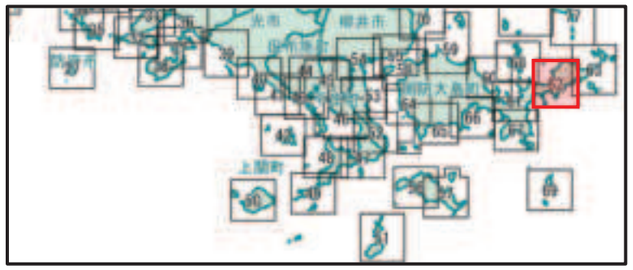
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 62

周防大島町 5/12



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

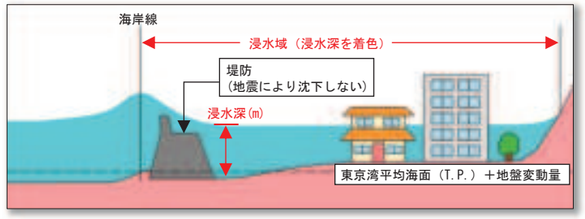
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



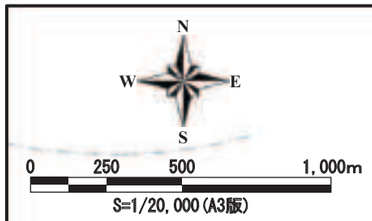
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

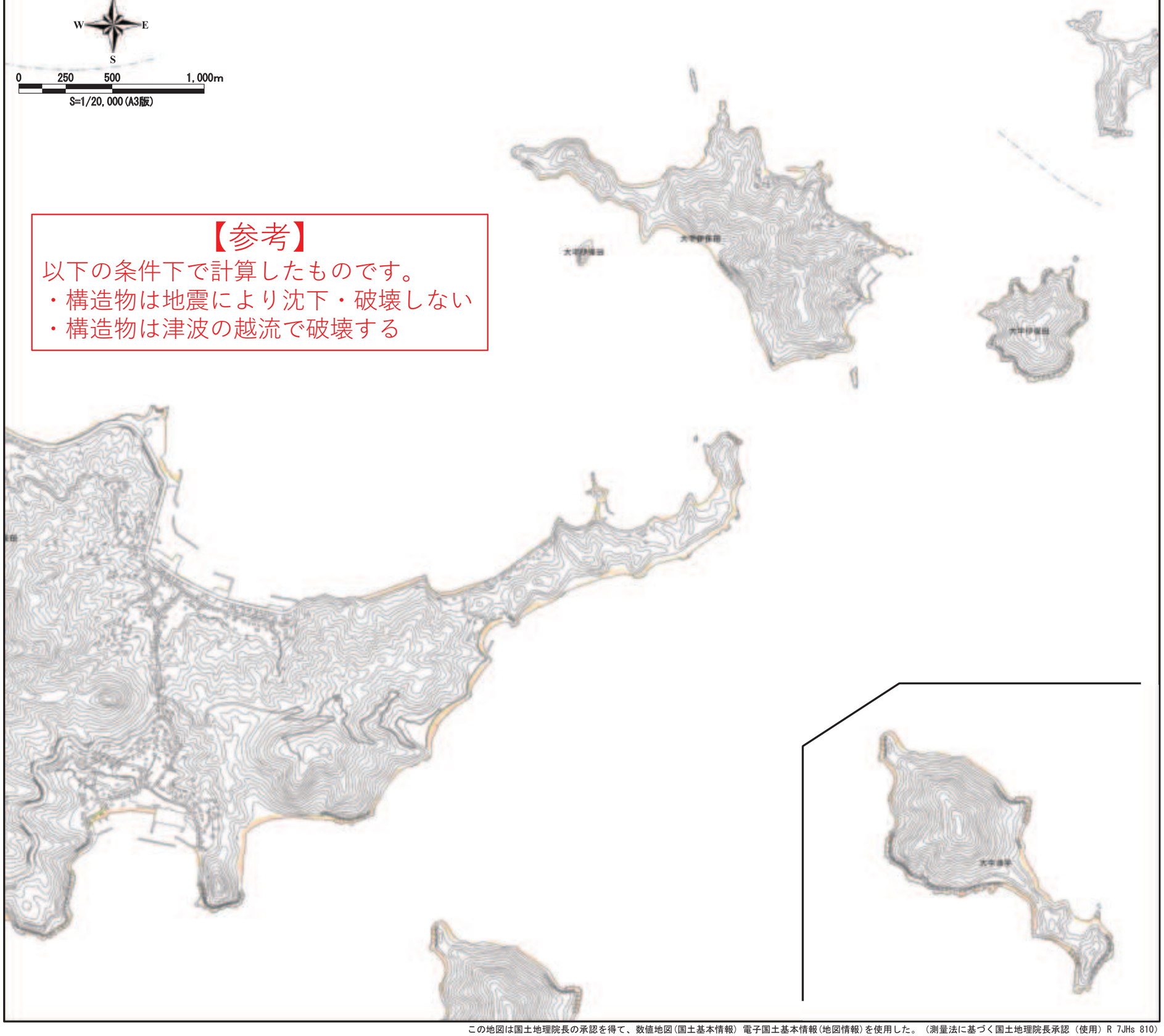
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

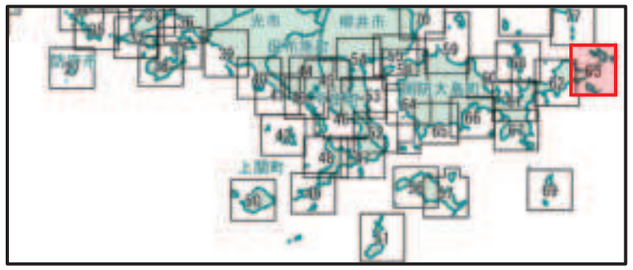
山口県津波浸水想定図 63

周防大島町 6/12



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

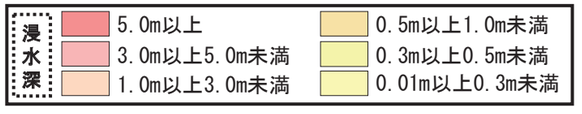
○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

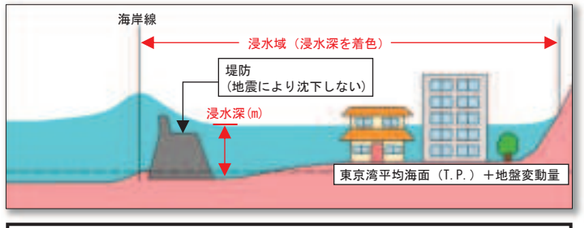
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ





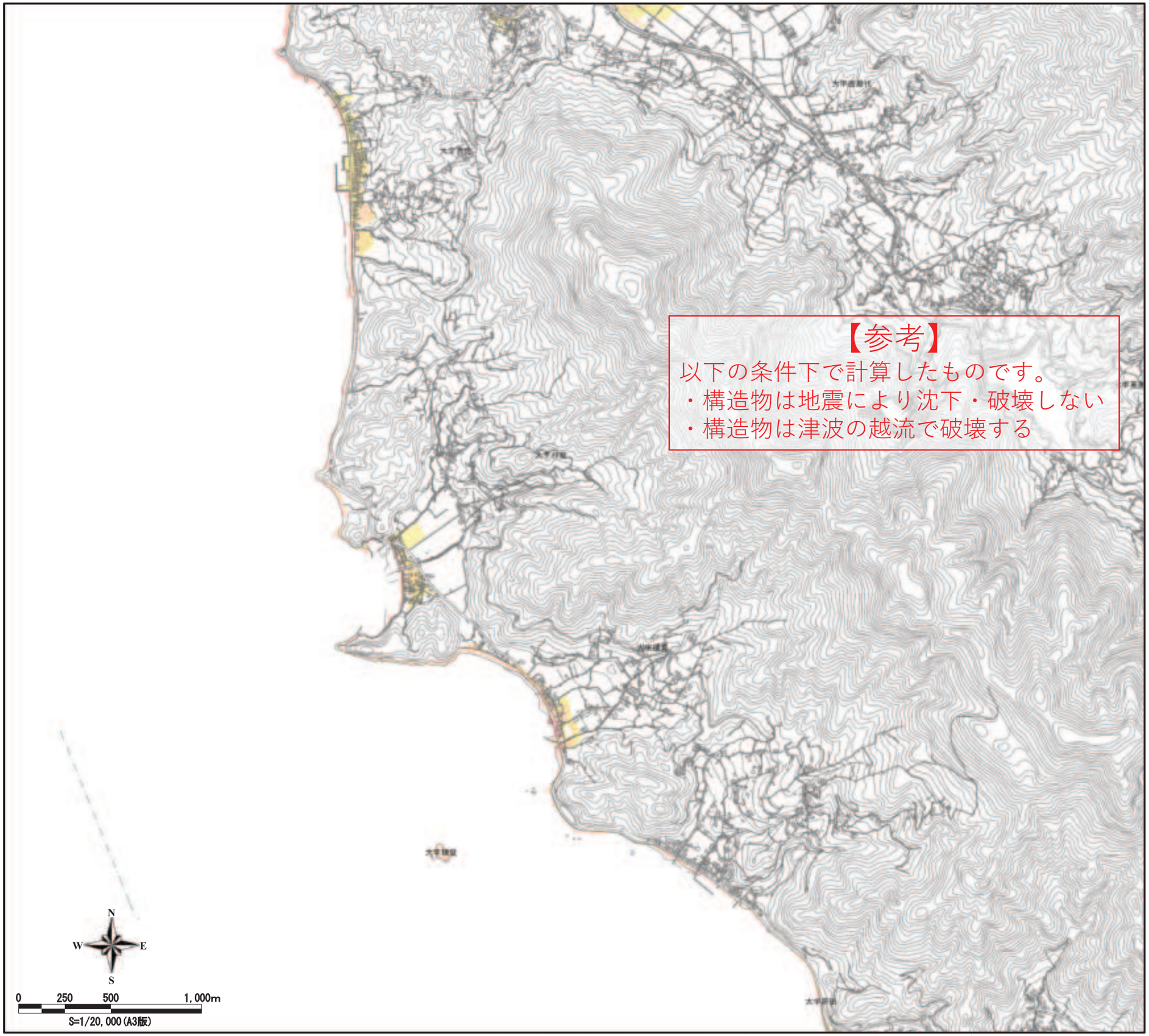
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

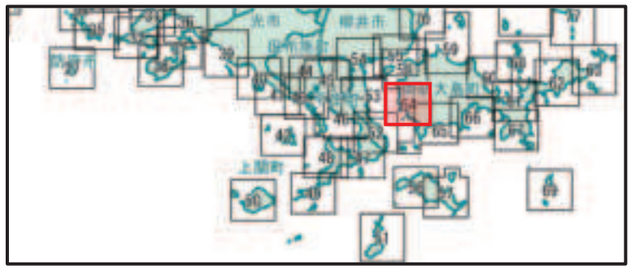
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 64

周防大島町 7/12





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

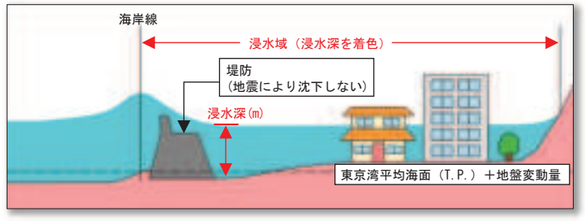
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



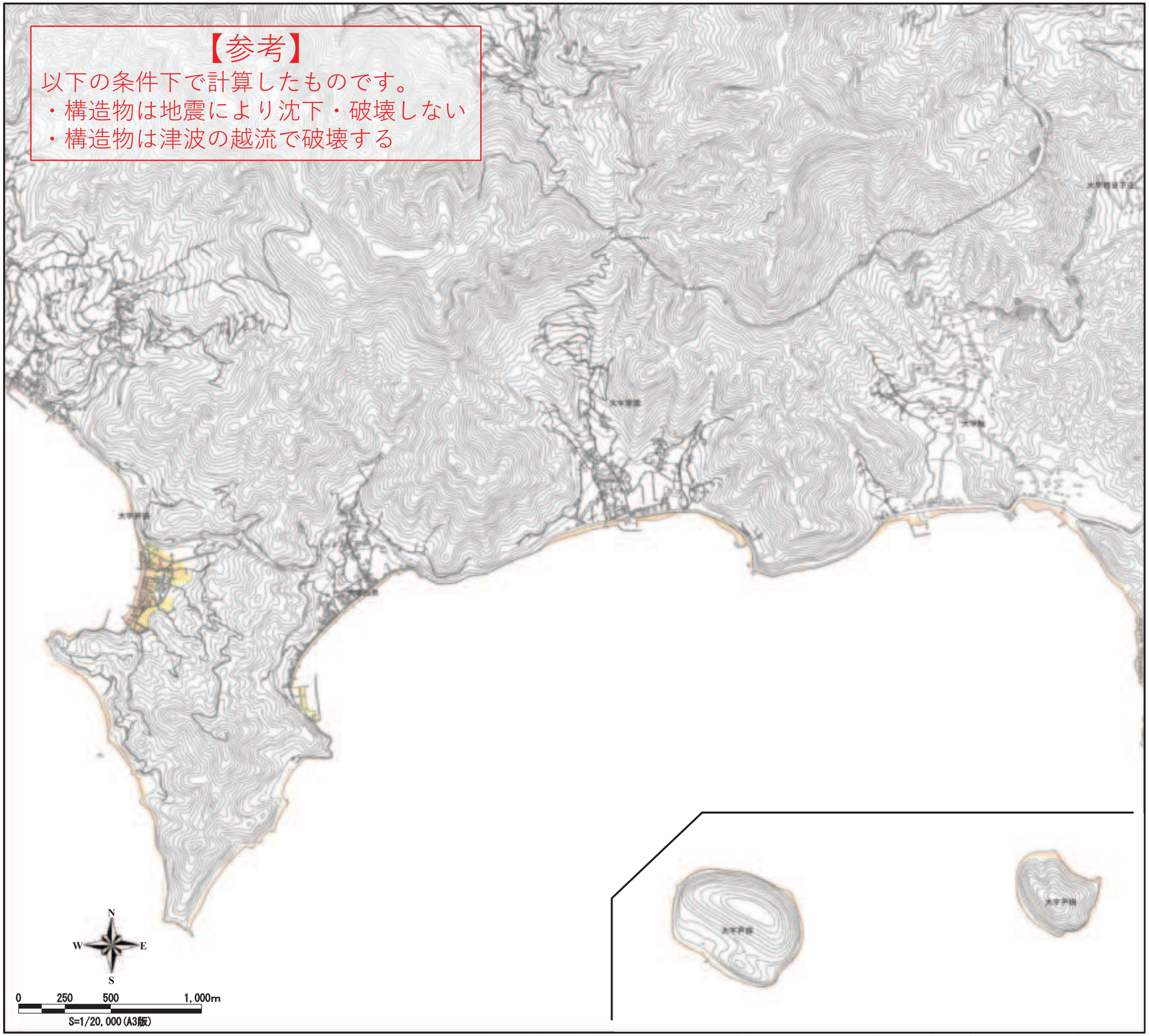
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

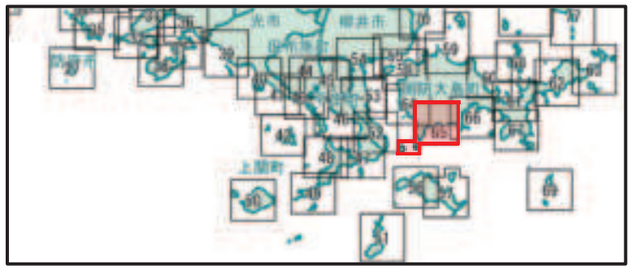
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 65

周防大島町 8/12





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

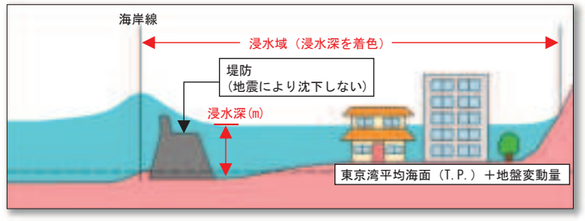
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



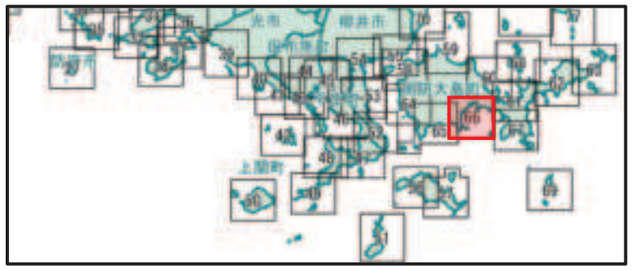
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 66

周防大島町 9/12



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

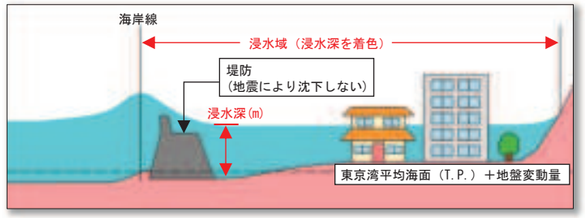
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



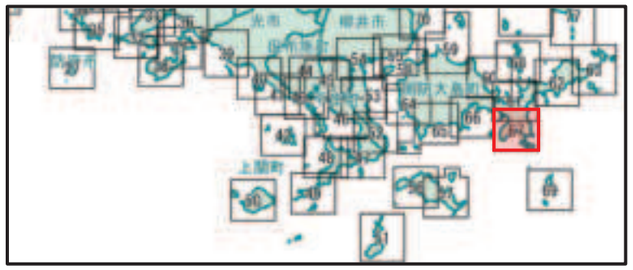
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 67

周防大島町 10/12



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

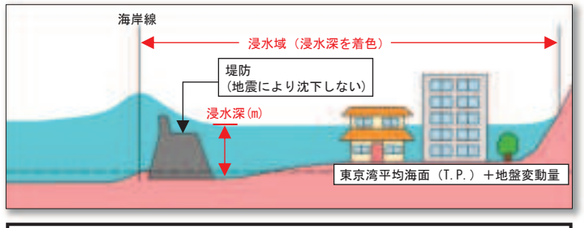
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



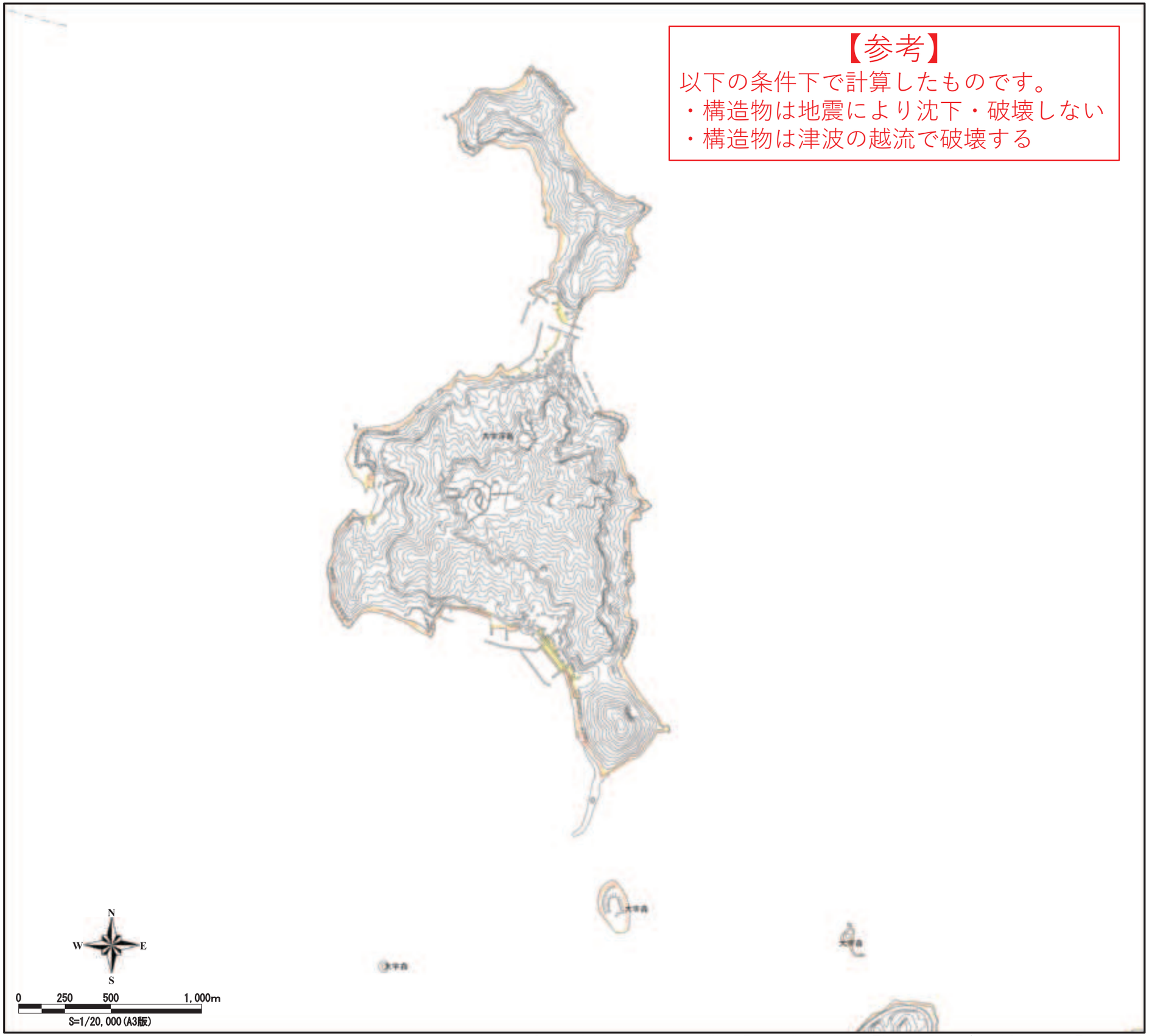
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

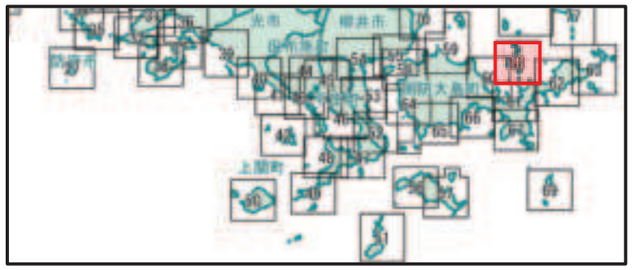
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 68

周防大島町 11/12





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

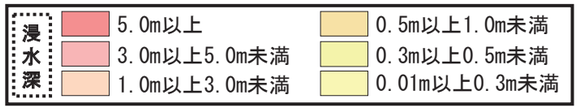
○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

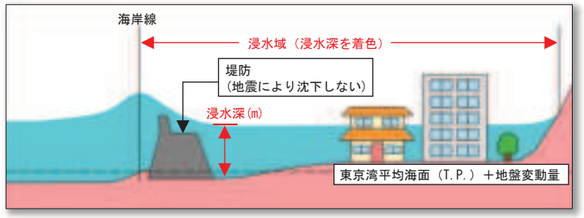
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ





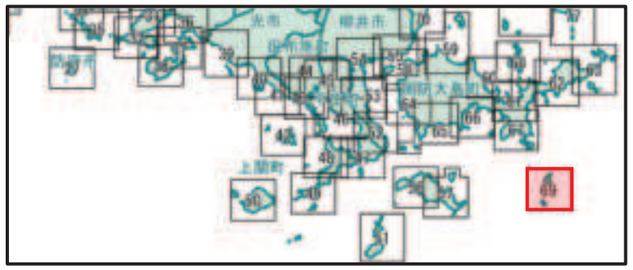
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

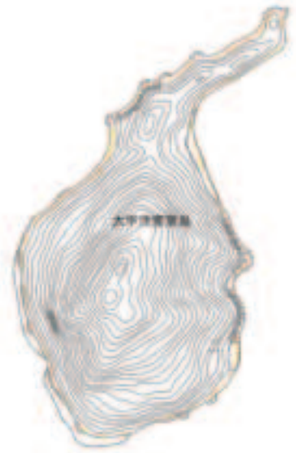
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 69

周防大島町 12/12





【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する

0　250　500　1,000m

S=1/20,000(A3版)

【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

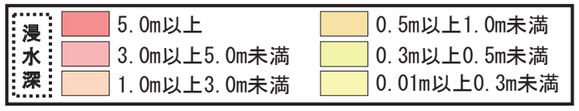
○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

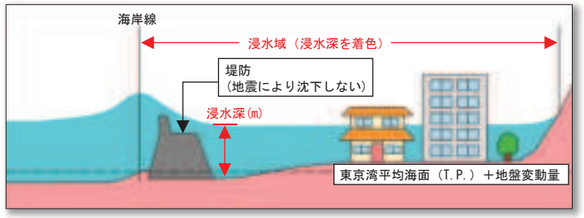
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ





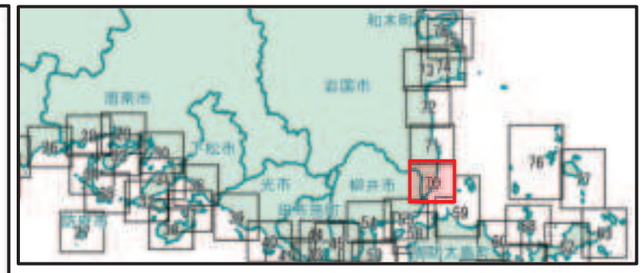
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 70

岩国市 1/8



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

【参考】

以下の条件下で計算したものです。

・構造物は地震により沈下・破壊しない

・構造物は津波の越流で破壊する

N

W E

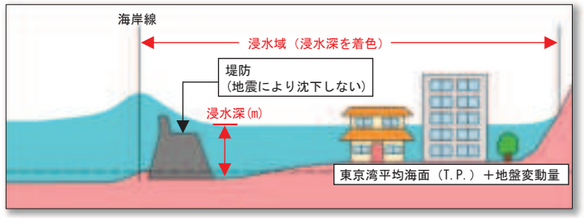
S

0 250 500 1,000m

S=1/20,000(A3版)

浸水深

5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

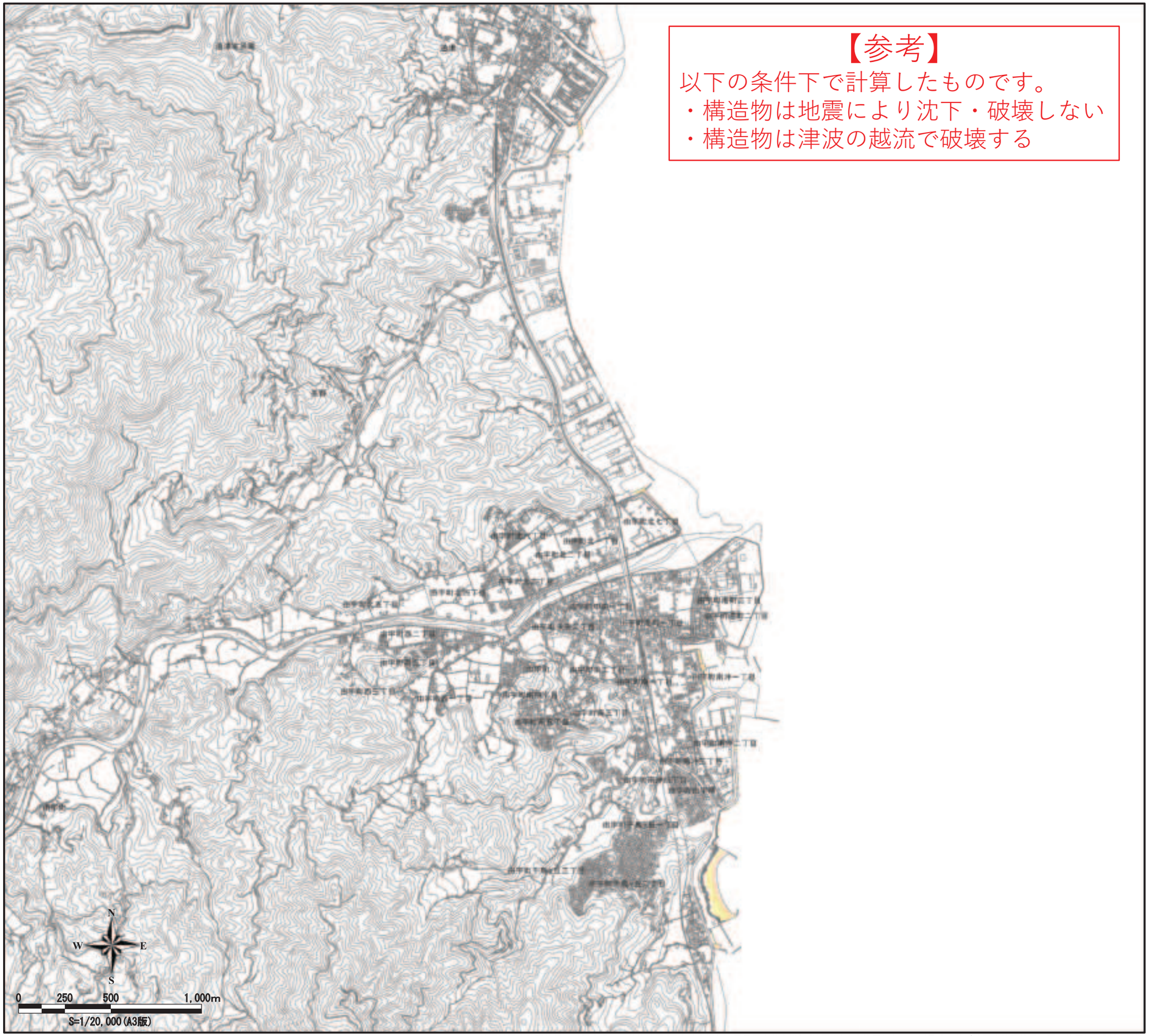
作 成 者：山　　口　　県

作成年月：令 和 8 年 3 月

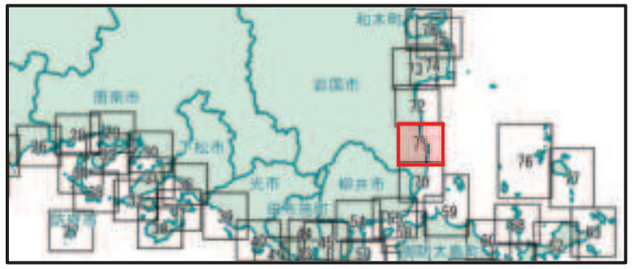
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 71

岩国市 2/8



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。
（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

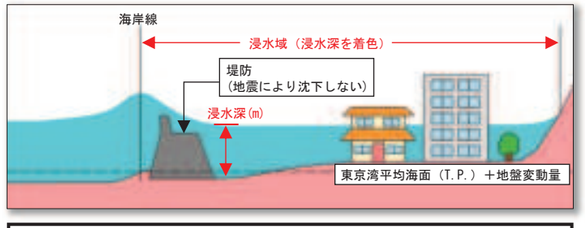
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



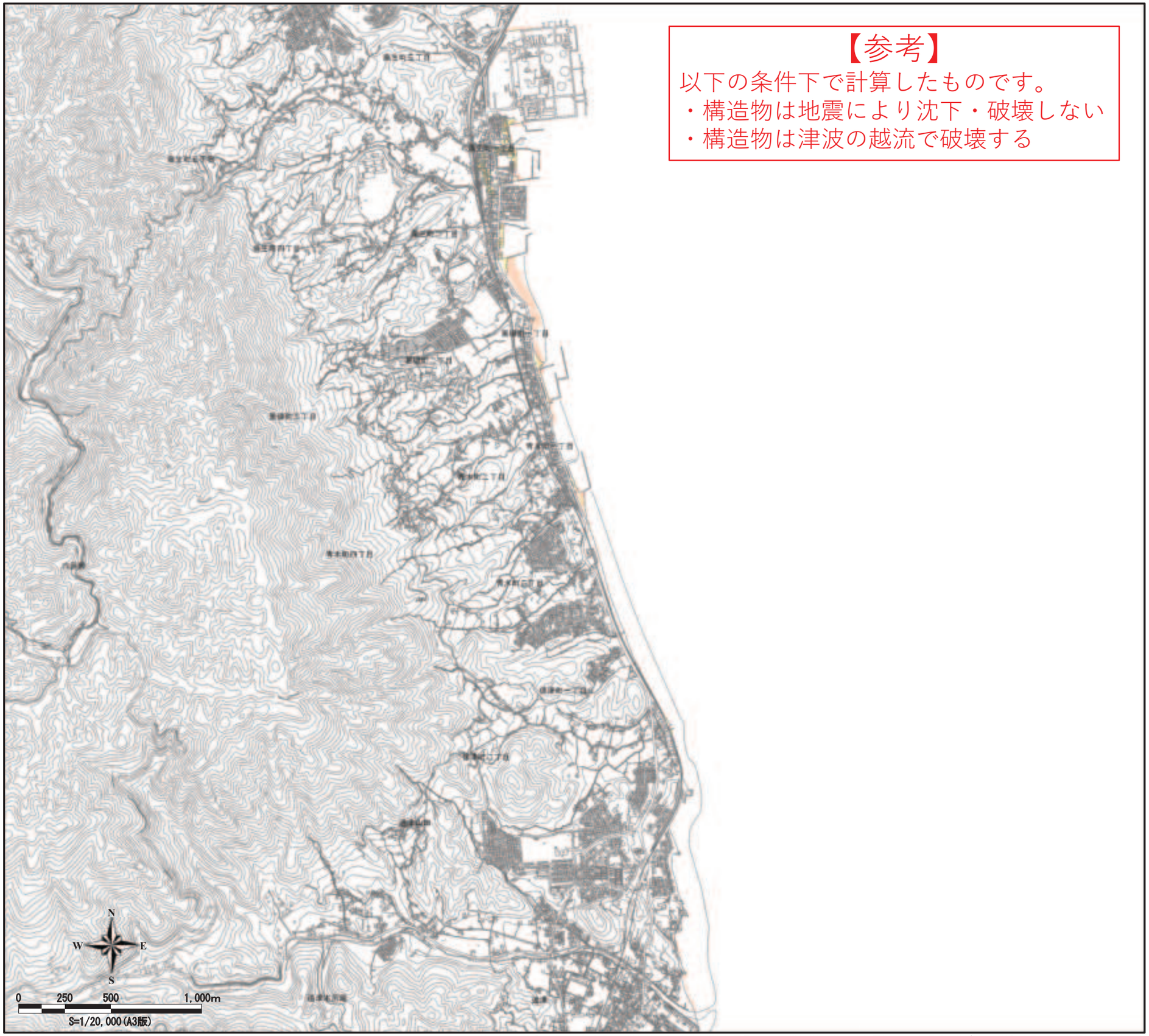
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

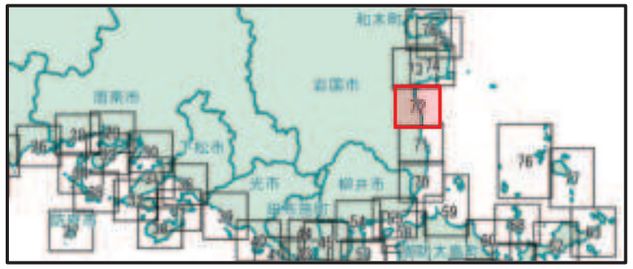
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 72

岩国市 3/8



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

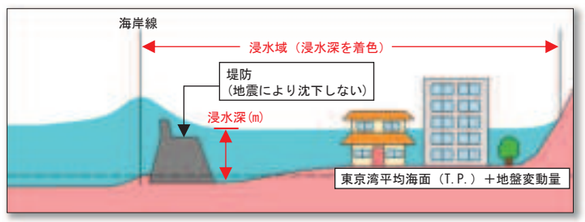
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



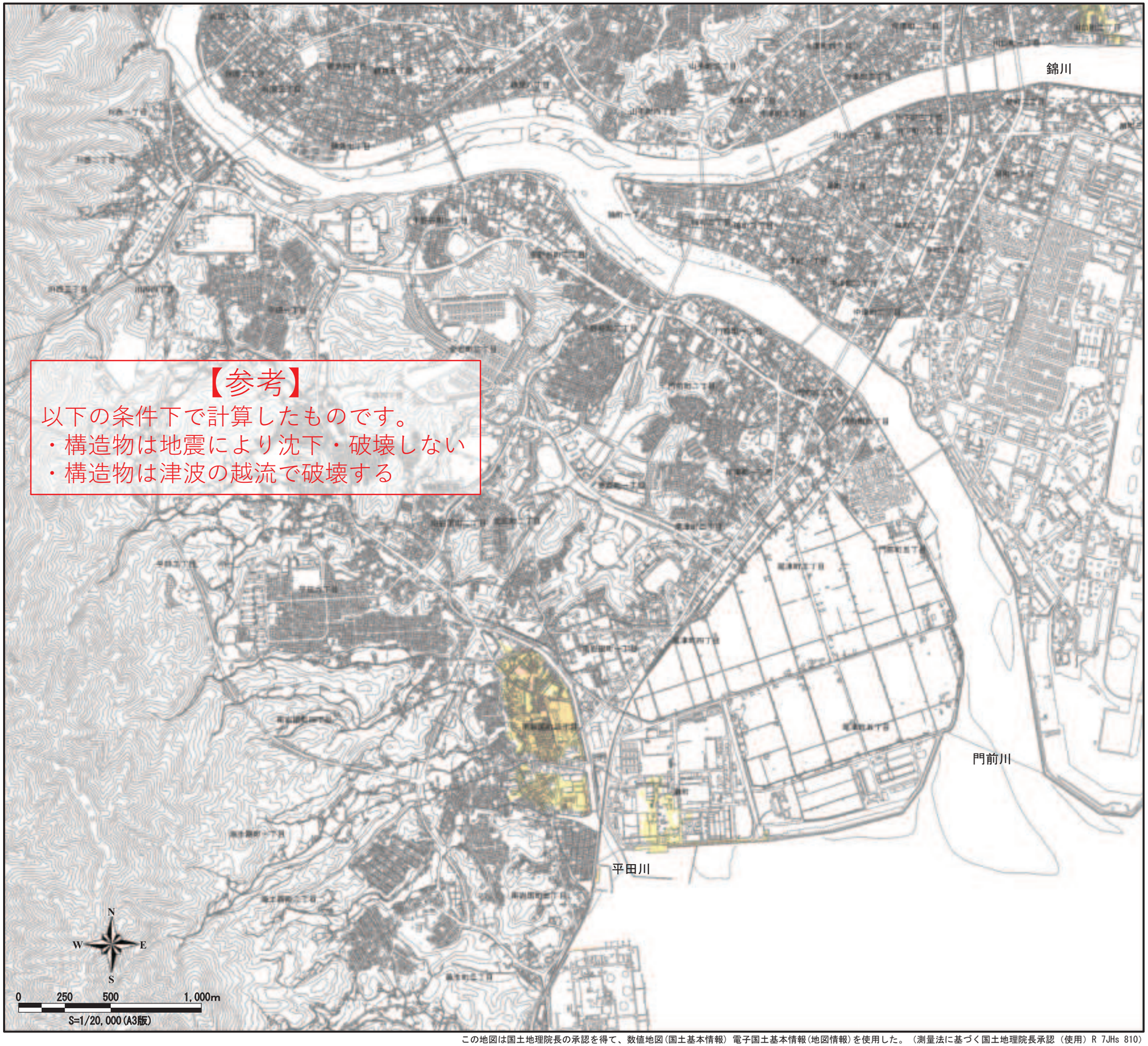
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

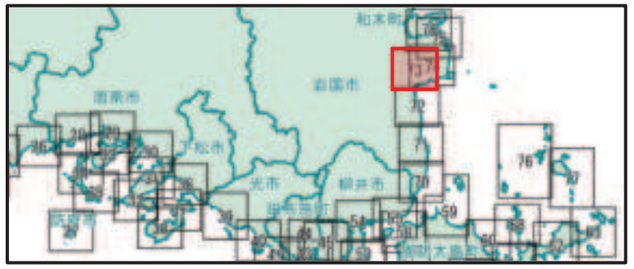
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 73

岩国市 4/8





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

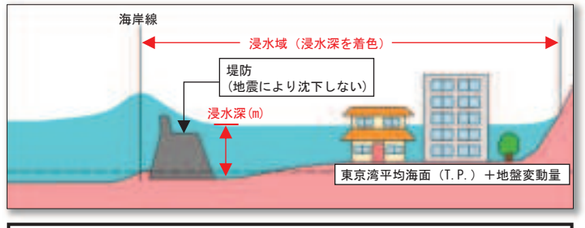
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



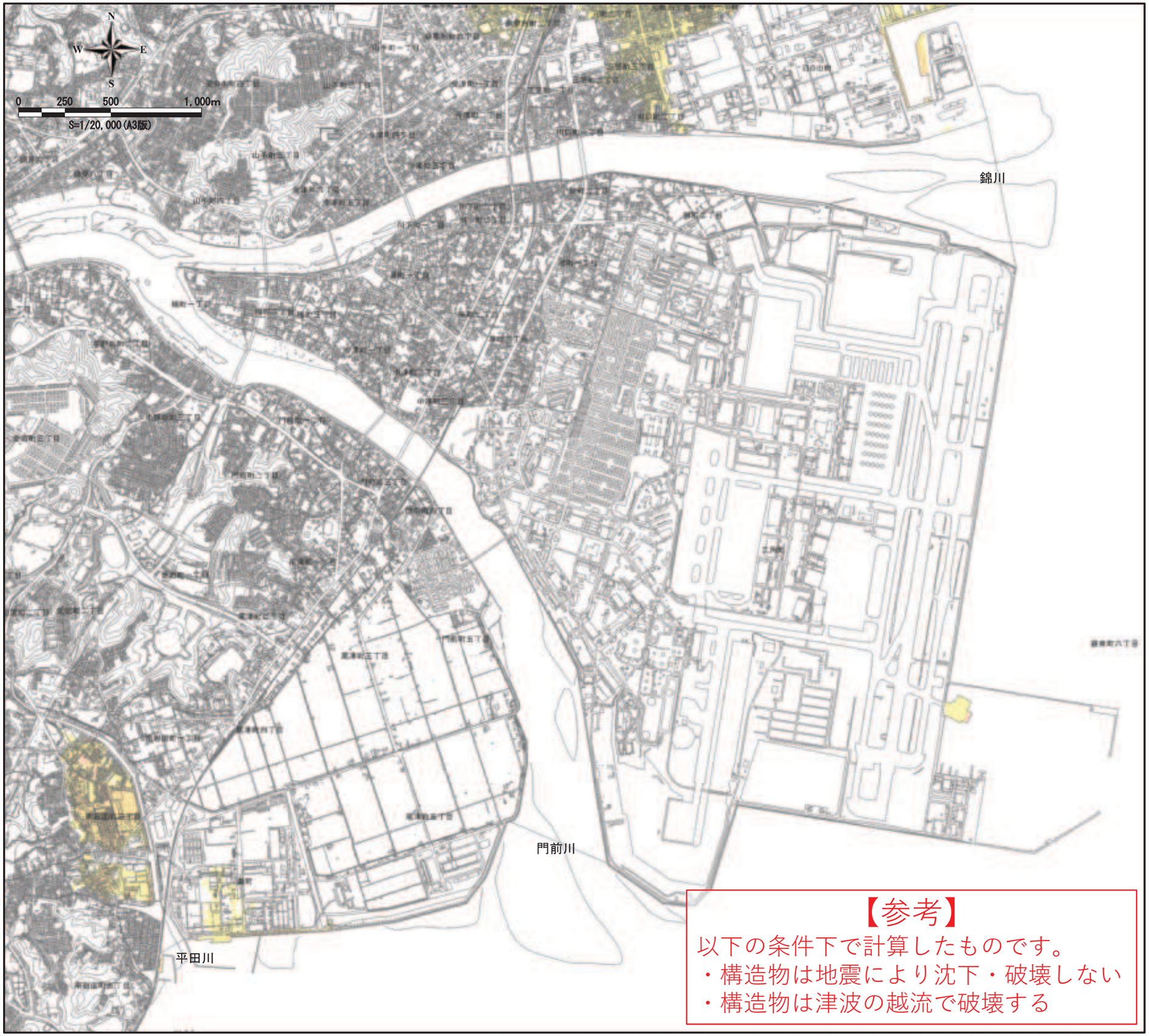
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

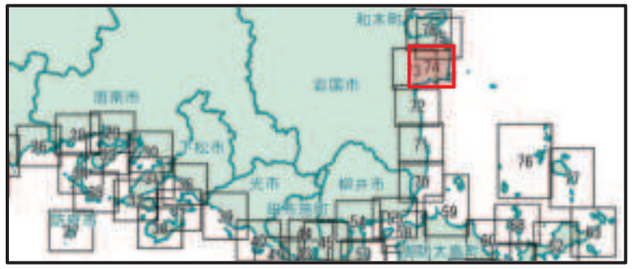
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 74

岩国市 5/8



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

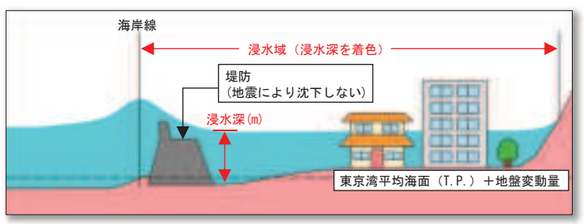
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深		
	5.0m以上	0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満	0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満	0.01m以上0.3m未満



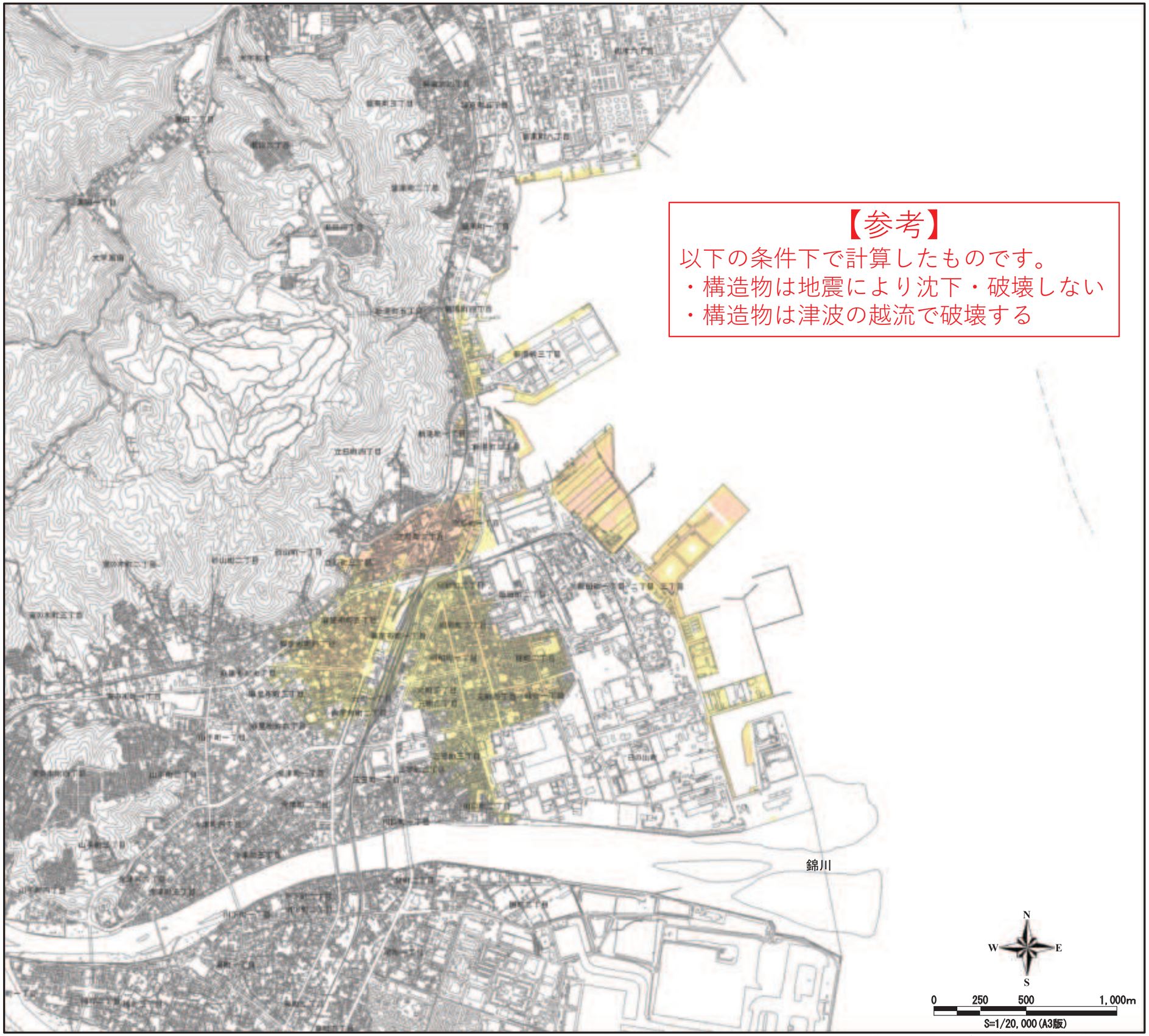
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

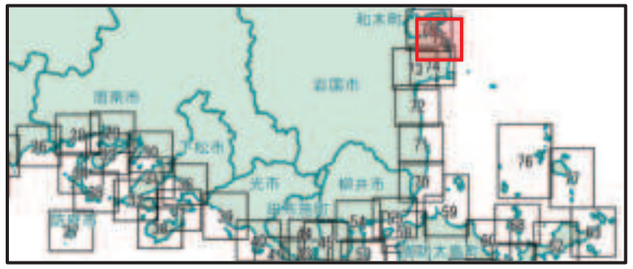
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 75

岩国市 6/8





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

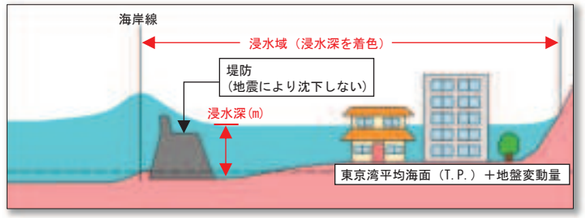
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



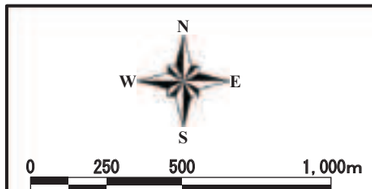
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

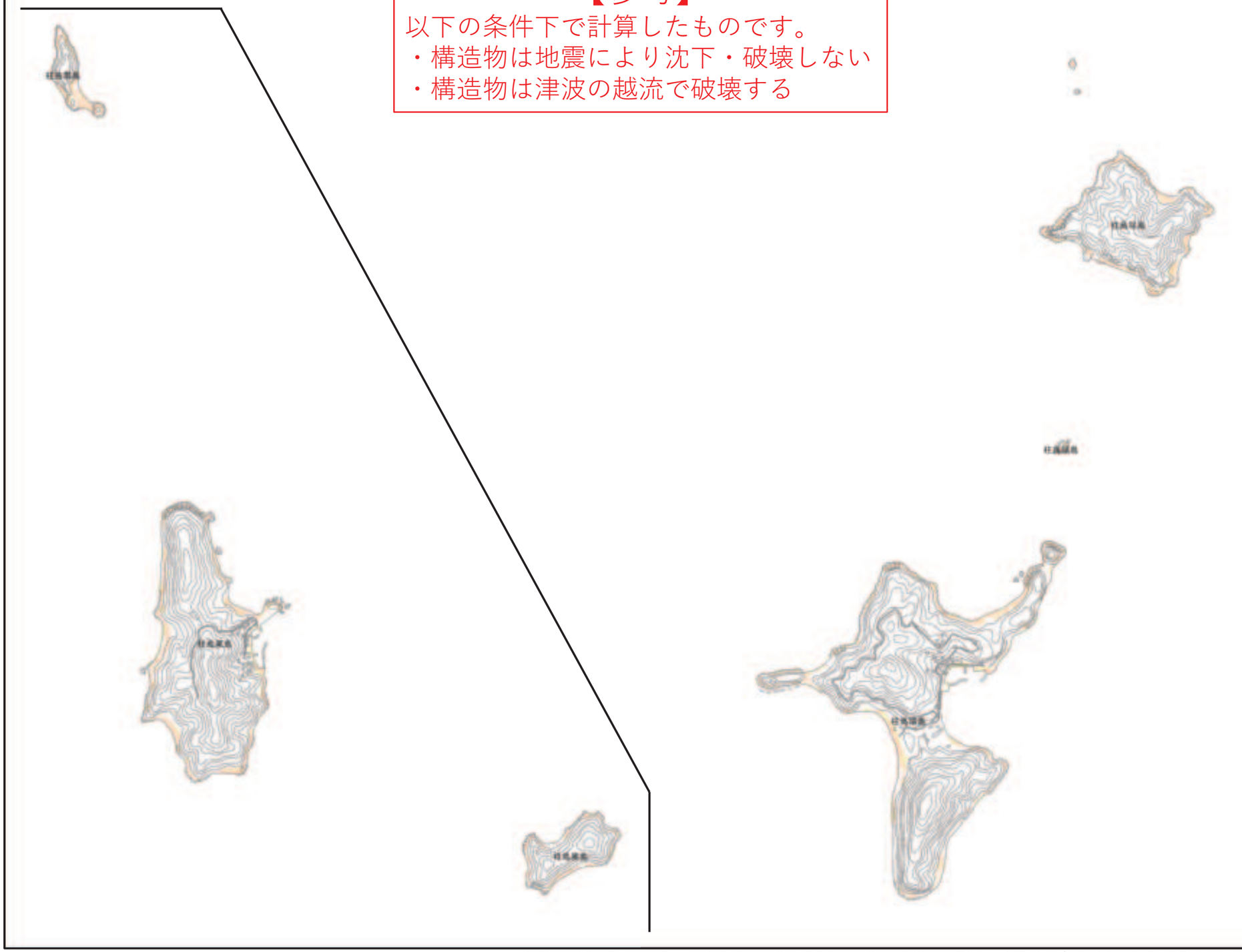
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

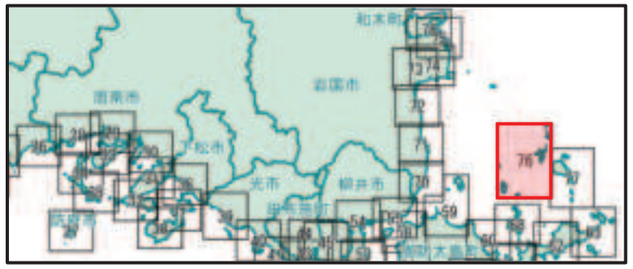
山口県津波浸水想定図 76

岩国市 7/8



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

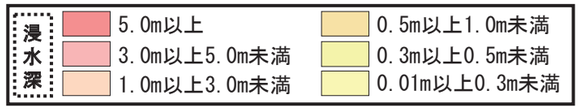
○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

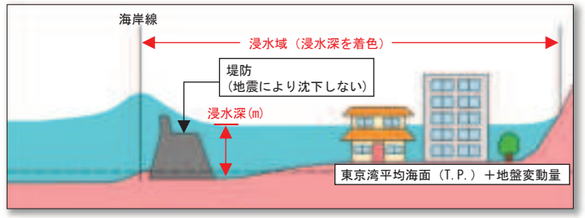
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ





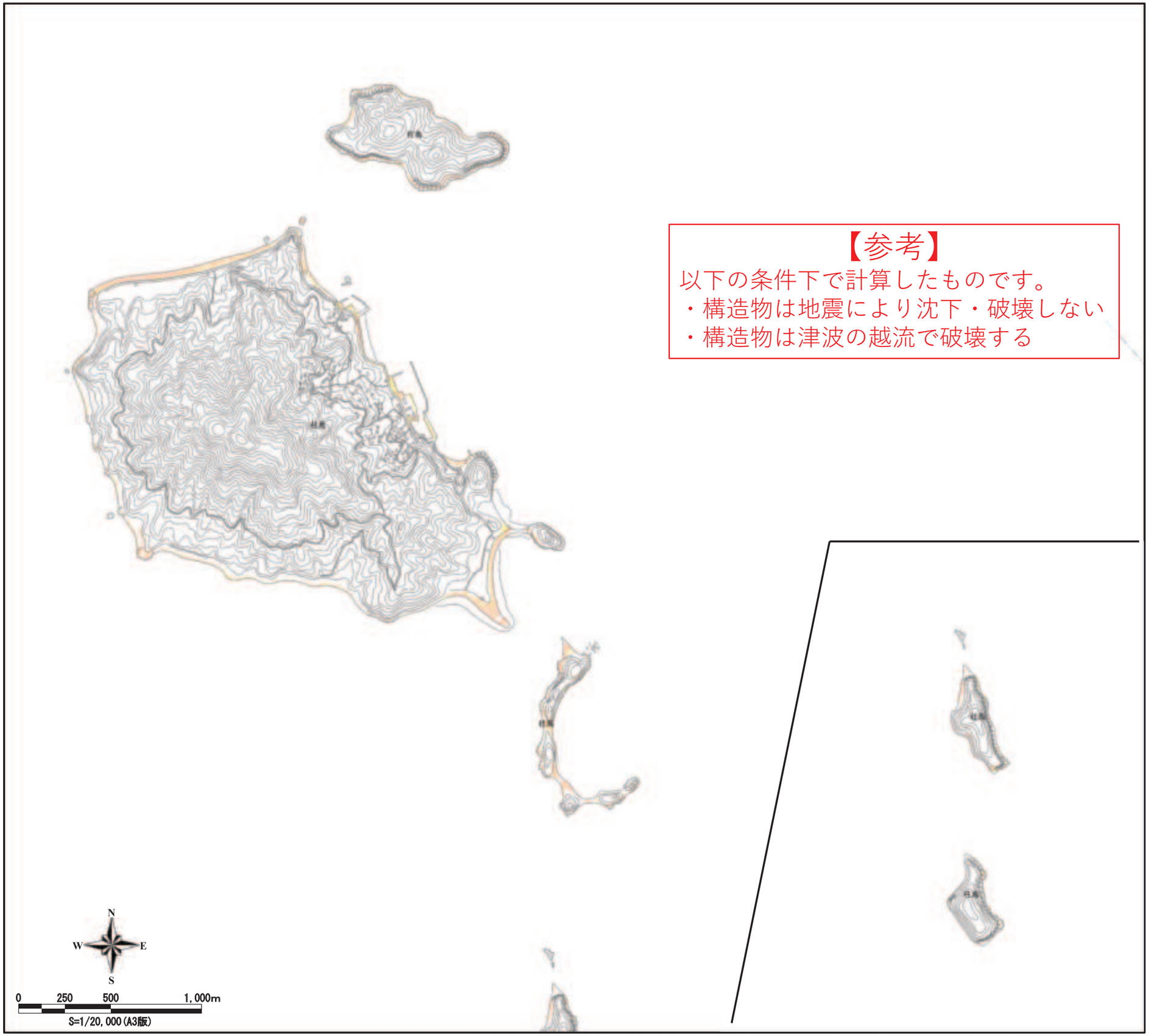
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

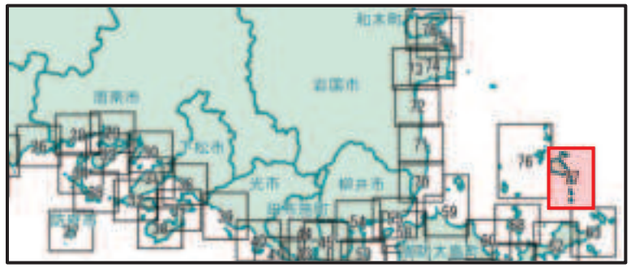
作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 77

岩国市 8/8





【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【 「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【 「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

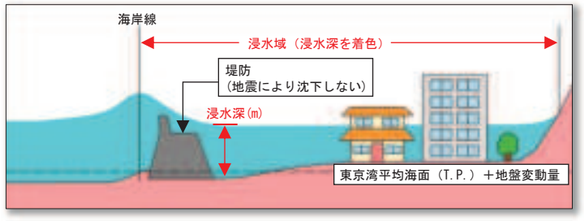
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



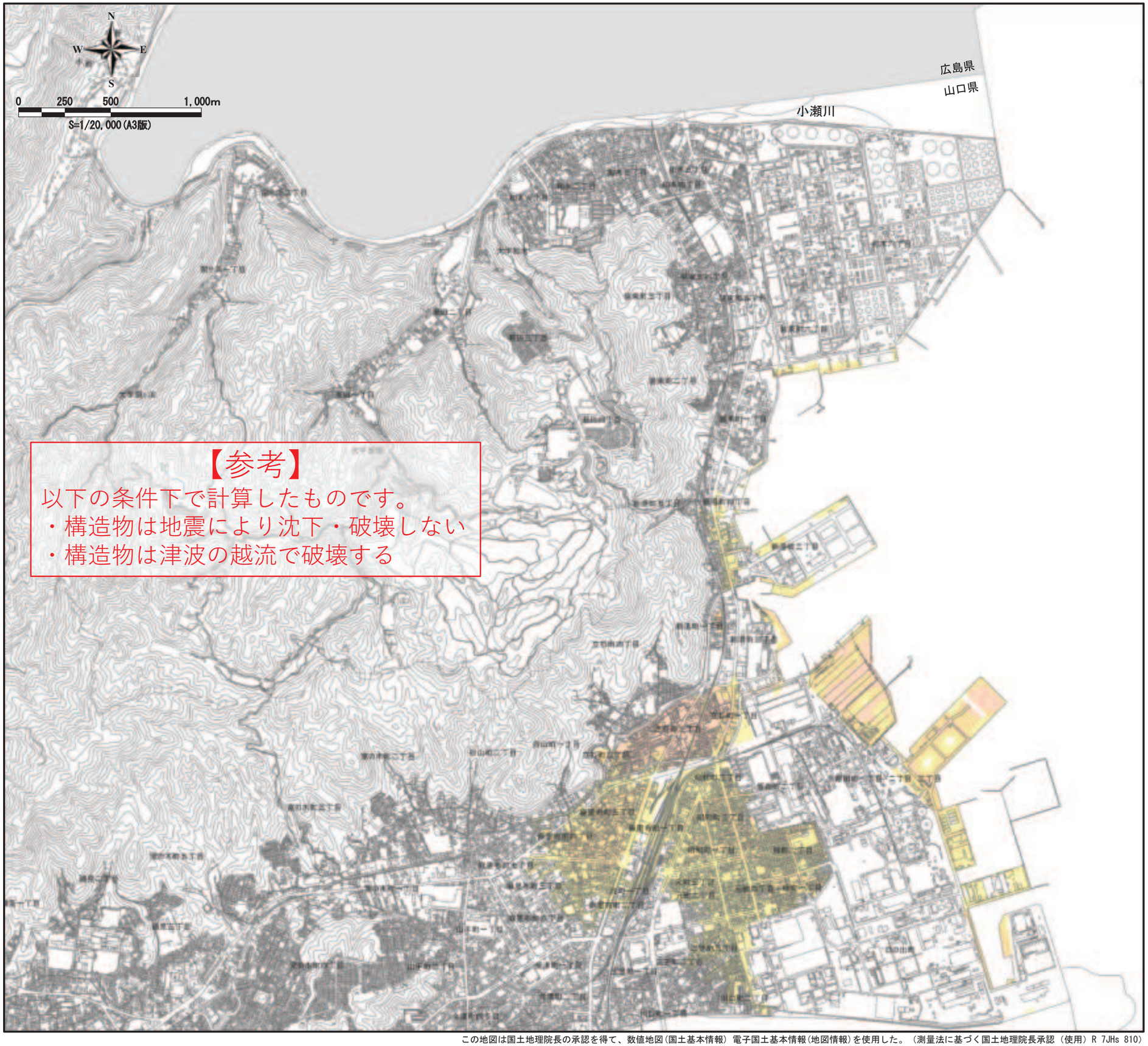
地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

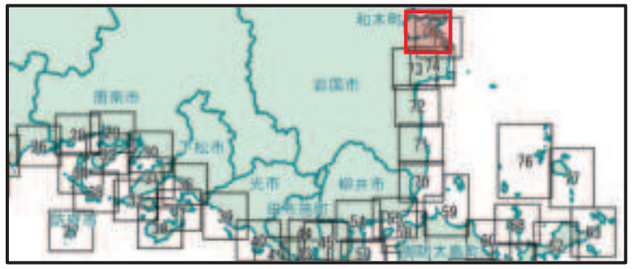
この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

山口県津波浸水想定図 78

和木町 1/1



【参考】
以下の条件下で計算したものです。
・構造物は地震により沈下・破壊しない
・構造物は津波の越流で破壊する



【留意事項】

○本資料は、堤防等の構造物が地震により沈下・破壊しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために計算したものです。

（注）実際の現実では、防潮堤等が破堤する場合や破堤しない場合があると考えられるため、仮に地震により沈下・破壊しなかった場合を参考値として計算したものです。

○避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している「津波浸水想定」である最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合の計算結果を用いる必要があります。

【「津波浸水想定」と同じ計算条件】

○最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と深さ（浸水深）を表したものです。

○計算時の潮位を朔望平均満潮位で計算したものです。

○津波が堤防等の構造物等を越流した場合、破壊するものとして計算したものです。

【「津波浸水想定」と異なる計算条件】

○耐震性能や液状化の評価結果にかかわらず、堤防等の構造物は、地震により沈下・破壊しないものとして計算したものです。

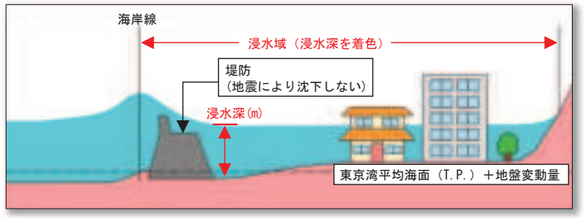
【用語の説明】

浸水想定について

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

浸水深			
	5.0m以上		0.5m以上1.0m未満
	3.0m以上5.0m未満		0.3m以上0.5m未満
	1.0m以上3.0m未満		0.01m以上0.3m未満



地域によっては、地震により堤防等が破壊され、津波が襲来する前に浸水が始まることがあります。

作 成 者：山　　口　　県
作成年月：令 和 8 年 3 月

この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 810）

資料４

第７回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

被害想定結果（案）
（建物・人的被害、ライフライン被害、経済被害）

令和8年2月27日

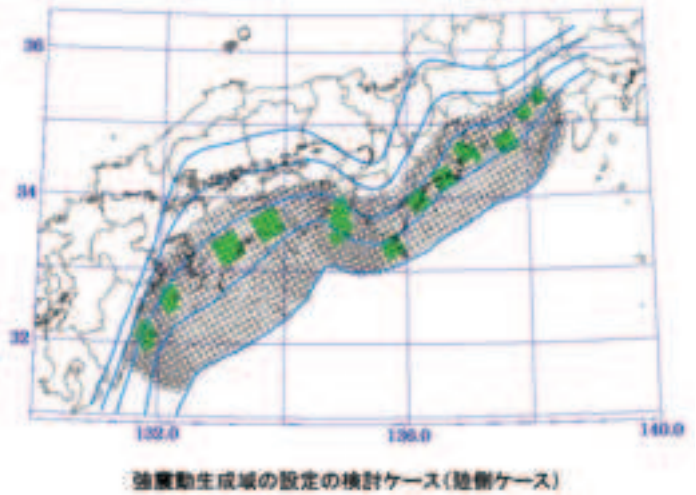
被害想定における
主な想定条件

被害想定における主な想定条件について

＜被害想定で対象とする地震＞

地震	地震規模	発生確率	備考
• 周防灘断層帯で想定する地震	M7.6程度	今後30年以内に2~4%	想定津波のうち最大津波高さとなる１地震を選定予定
• 南海トラフの巨大地震（**陸側ケース**）	M8～M9クラス	今後30年以内60%～90%程度以上	被害が最大となるケースを採用

出典：地震調査研究推進本部

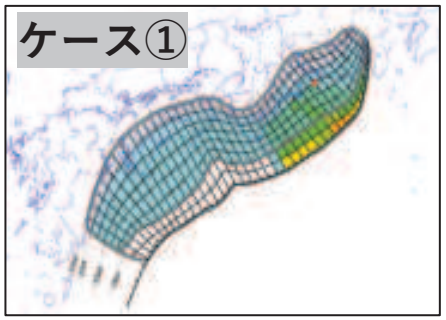


出典：南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ
（第一次報告）（平成２４年８月２９日発表）

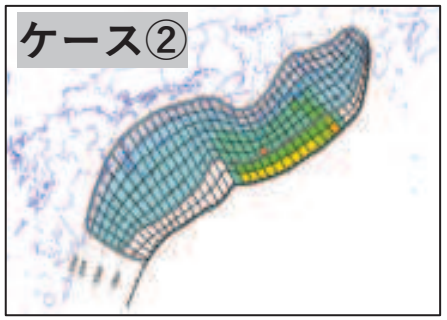
被害想定における主な想定条件について

＜被害想定で対象とする津波＞

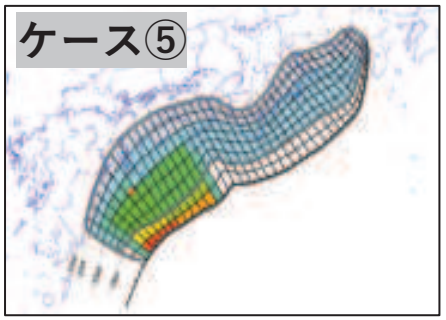
- 瀬戸内海沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される**５つの津波断層モデル**を選定
- 各ケースで計算を実施し、**各被害項目において被害が最大となるケースを採用**



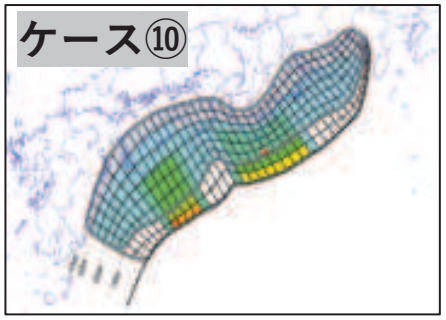
「駿河湾～紀伊半島沖」に大すべり域



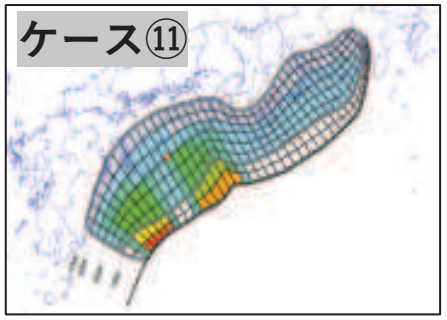
「紀伊半島沖」に大すべり域



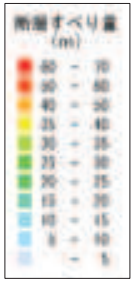
「四国沖～九州沖」に大すべり域

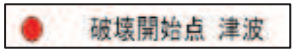


「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に大すべり域



「室戸岬沖」と「日向灘」に大すべり域





出典：
内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」（二次報告）

被害想定における主な想定条件について

＜調査結果の算定単位＞

算定の単位は以下のとおり

区分	算定単位
人口集中地区（DID地区）	**125mメッシュ**
上記以外	250mメッシュ

- 項目によっては市町、個別（箇所別）等の単位で想定
- **津波のハザード計算は最小単位として５ｍメッシュで想定**

＜被害想定結果のアウトプットについて＞

- 県単位
- 市町単位
- **旧市町村単位**

被害想定における主な想定条件について

＜地震発生時の想定シーン（想定時間帯）＞

時間帯により異なる人の活動状況や火気器具の使用状況を考慮するため、以下の４種類の想定シーンを設定。

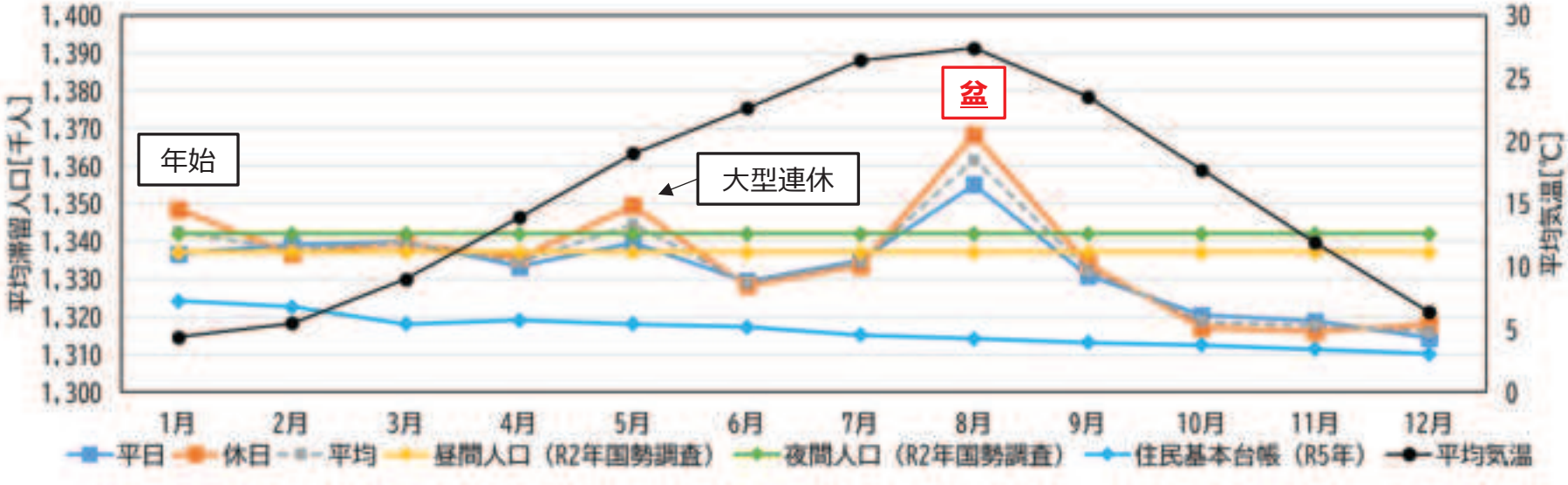
想定時間帯	想定シーン
①冬・深夜（5時）	多くの人が自宅で就寝中。建物倒壊からの逃げ遅れが想定されるシナリオ（兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と同様の時間帯）。
②夏・昼（12時）	日中の社会活動が盛んな時間帯。多くの人が自宅以外の場所で被災するシナリオ。
③冬・夕方（18時）	火気使用が最も多いため出火危険が高く、地震火災が多く発生する
④盆・夜（盆20時）※特異日	観光や帰省で滞留人口が多くなるシーン

被害想定における主な想定条件について

＜特異日について＞

ソフトバンク株式会社の人流統計サービス
「全国うごき統計」の滞在人口調査のデータを利用

（概要）
・携帯電話基地局から取得した位置情報を活用
・位置情報と統計データ補正により、任意のメッシュ区間・エリア（都道府県／市区町村）単位で集計可能



被害想定における主な想定条件について

＜火災被害における条件について＞

内閣府の被害想定及び山口県の気象状況を踏まえて設定

被害想定	発災季節・時間	風速
前回	• 冬･深夜 5 時 • 夏･昼 12 時 • 冬･夕方 18 時	3m/ｓ（阪神・淡路大震災時） 15m/ｓ（関東大震災時）
今回	• 冬･深夜 5 時 • 夏･昼 12 時 • 冬･夕方 18 時	3m/s（平均風速＋2σ：2.97m/s）※ 8m/s（最大風速＋2σ：7.86m/s）※ 15m/ｓ（関東大震災時） ※山口県の2023年1月～2024年1月の風速

被害想定における主な想定条件について

＜避難速度について＞

内閣府の被害想定を踏まえ、**平野部・傾斜部・健常者・避難行動要支援者及び同行者について、それぞれの歩行速度を設定**

単位：時速km/h（括弧内は秒速m/s）

	健常者	避難行動要支援者同行※2	全体
全体	2.43（0.68）	1.69（0.47）	2.24（0.62）
平野部※1	2.72（0.76）	1.89（0.53）	2.51（0.70）
傾斜部※1	1.73（0.48）	1.20（0.33）	1.59（0.44）

※平野部=勾配5%未満、傾斜部=勾配5%以上

※1：平野部は全体平均の1.12倍、傾斜部は全体平均の0.71倍に設定
※2：健常者の避難速度と避難行動要支援者同行の避難速度は、東日本大震災の実績から8：2の人数割合であったとして全体平均より設定。

出典：南海トラフ巨大地震の被害想定項目及び手法の概要（令和７年３月）

建物被害想定結果（案）

建物被害（入力データ）

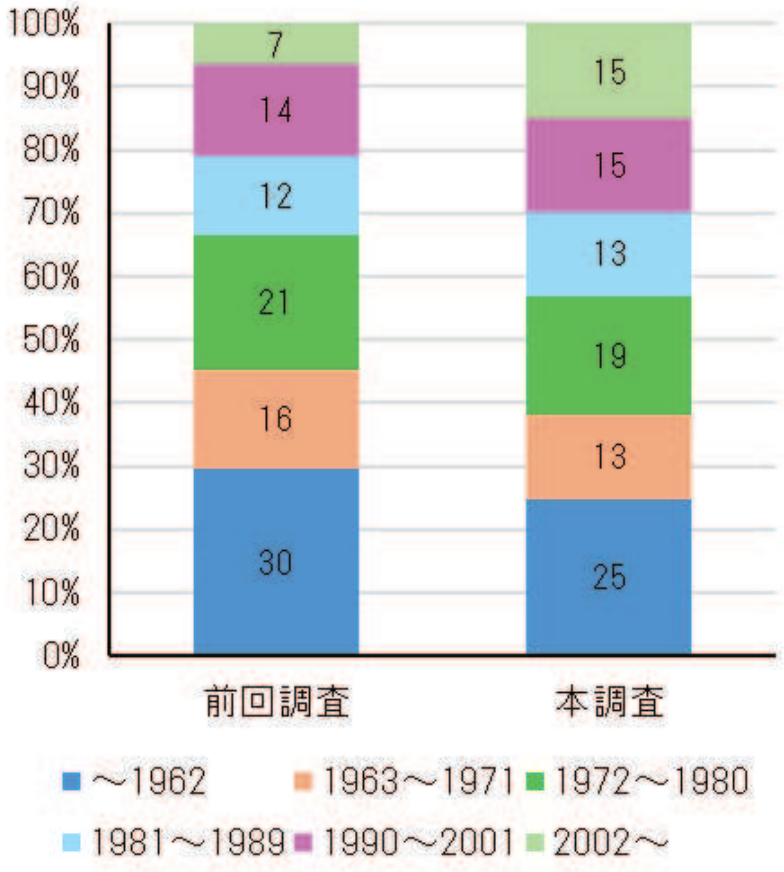
- 建物棟数（構造別建物棟数、現19市町集計）

市町	棟数（棟）					
	本調査			前回調査		
	木造	非木造	木+非木	木造	非木造	木+非木
下関市	121,927	17,636	139,563	102,048	33,262	135,310
宇部市	58,206	20,376	78,582	87,372	29,851	117,223
山口市	99,232	17,611	116,843	79,552	36,382	115,934
萩市	41,361	5,895	47,256	40,990	7,364	48,354
防府市	36,754	19,437	56,191	34,396	22,952	57,348
下松市	22,417	8,637	31,054	21,709	10,290	31,999
岩国市	77,785	20,274	98,059	83,980	23,692	107,672
光市	24,320	8,881	33,201	24,933	9,410	34,343
長門市	26,282	4,905	31,187	28,491	5,745	34,236
柳井市	25,267	4,316	29,583	45,431	12,126	57,557
美祢市	22,928	5,807	28,735	22,594	6,452	29,046
周南市	50,788	20,525	71,313	51,401	23,645	75,046
山陽小野田市	35,578	8,798	44,376	34,871	9,993	44,864
周防大島町	34,095	2,290	36,385	18,236	1,564	19,800
和木町	2,454	1,355	3,809	2,395	3,147	5,542
上関町	3,881	616	4,497	3,842	934	4,776
田布施町	9,735	2,223	11,958	9,634	2,421	12,055
平生町	9,649	2,043	11,692	9,783	1,994	11,777
阿武町	4,167	633	4,800	4,584	754	5,338
合計	706,826	172,258	879,084	706,242	241,978	948,220

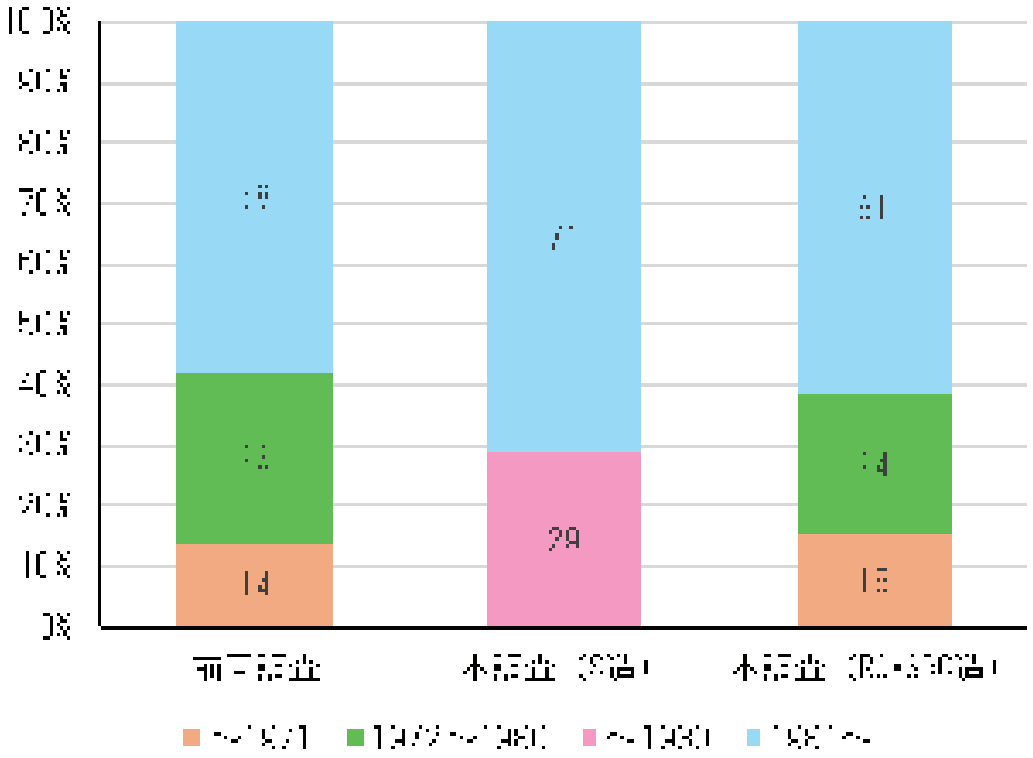
建物被害（入力データ）

- 建物棟数（建築年代別区分割合、現19市町集計）

【木造】

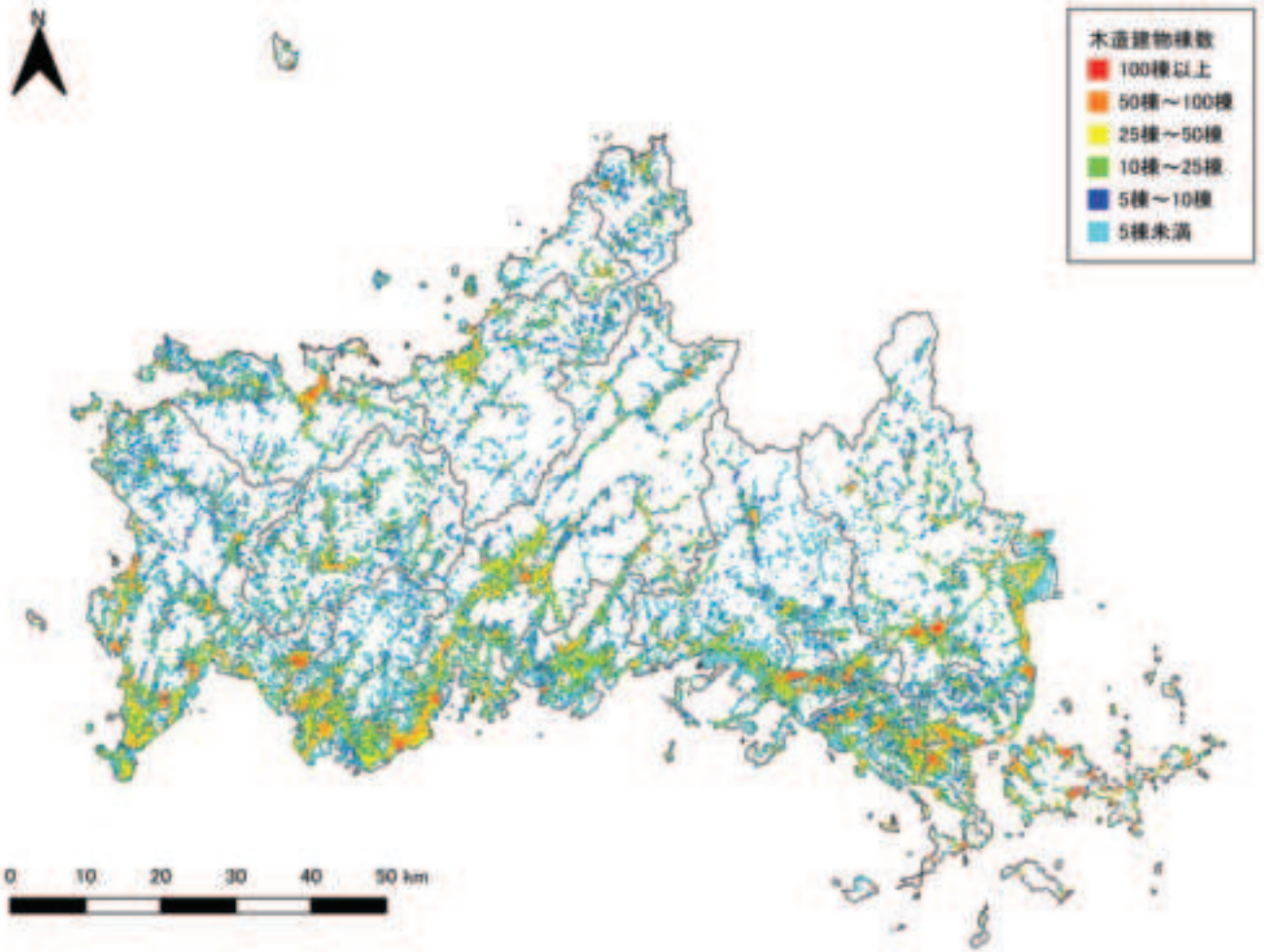


【非木造】



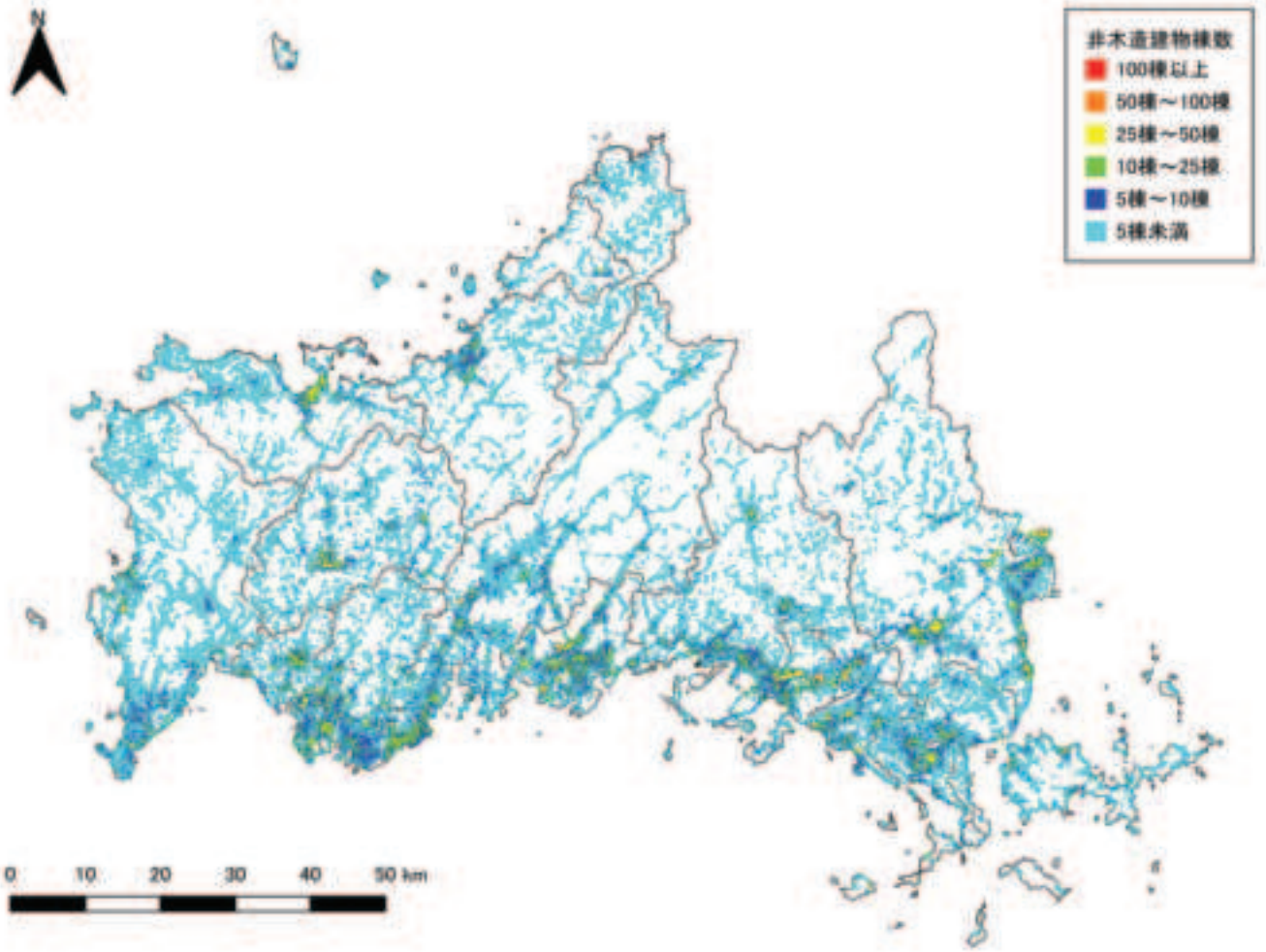
建物被害（入力データ）

- 木造建物棟数分布（現19市町集計）



建物被害（入力データ）

- 非木造建物棟数分布（現19市町集計）



建物被害（揺れ、液状化、土砂災害、津波、火災）

- 市町別総括表（全壊棟数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数＋焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	0	83	0	227	309	0	2	0	13	15	324	0	324
宇部市	0	371	0	414	785	0	6	0	81	86	871	0	871
山口市	0	98	0	312	409	0	1	0	41	42	451	0	451
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	120	258	0	5	0	33	38	296	0	296
下松市	0	13	0	6	19	0	*0	0	1	2	21	0	21
岩国市	190	800	16	1,229	2,236	88	12	4	260	364	2,600	204	2,804
光市	0	284	*0	21	305	0	4	*0	2	7	312	0	312
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	577	859	27	1	*0	76	104	963	36	999
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	246	441	0	3	*0	57	60	501	0	501
山陽小野田市	0	62	0	1,008	1,069	0	1	0	134	135	1,204	0	1,204
周防大島町	38	578	4	349	969	4	2	*0	13	19	989	8	996
和木町	12	61	*0	128	201	13	1	*0	14	28	229	*0	229
上関町	1	8	1	34	44	*0	*0	*0	2	3	47	0	47
田布施町	4	127	1	43	174	1	1	*0	4	7	181	*0	181
平生町	1	96	1	362	460	*0	1	*0	40	42	502	*0	502
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

建物被害（揺れ、液状化、土砂災害、津波）

- 市町別総括表（半壊棟数）

【建物被害（全壊棟数＋焼失棟数）が最大となるケース】

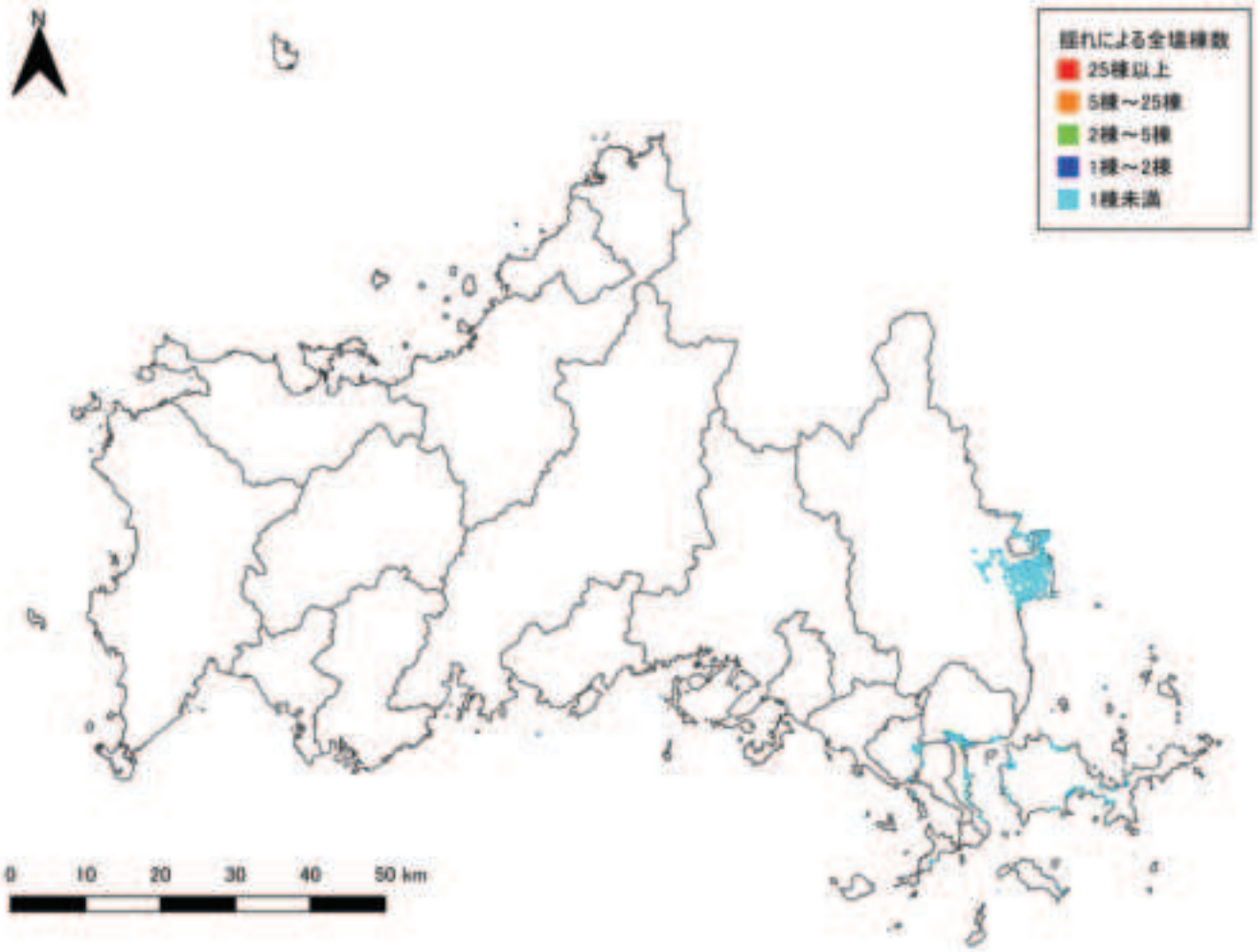
南海トラフ巨大地震：ケース1

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	0	176	0	898	1,073	0	45	0	170	215	1,288
宇部市	11	1,083	0	2,742	3,836	42	338	0	1,145	1,525	5,360
山口市	1	286	0	967	1,254	3	46	0	253	302	1,556
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	769	1,210	0	284	0	425	709	1,919
下松市	*0	42	0	261	304	1	22	0	112	135	439
岩国市	2,342	2,389	35	6,671	11,437	380	732	10	3,070	4,191	15,628
光市	6	875	*0	88	968	15	253	*0	21	289	1,258
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,511	3,772	102	70	*0	936	1,109	4,881
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,426	1,968	44	194	*0	720	958	2,926
山陽小野田市	0	201	0	2,756	2,957	0	45	0	838	883	3,840
周防大島町	950	1,289	9	1,976	4,224	50	114	1	188	353	4,576
和木町	162	161	*0	741	1,064	31	68	1	200	300	1,364
上関町	70	20	3	210	303	11	2	*0	31	44	347
田布施町	77	354	1	375	807	30	82	*0	104	217	1,024
平生町	117	321	2	1,704	2,143	40	70	*0	465	575	2,718
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

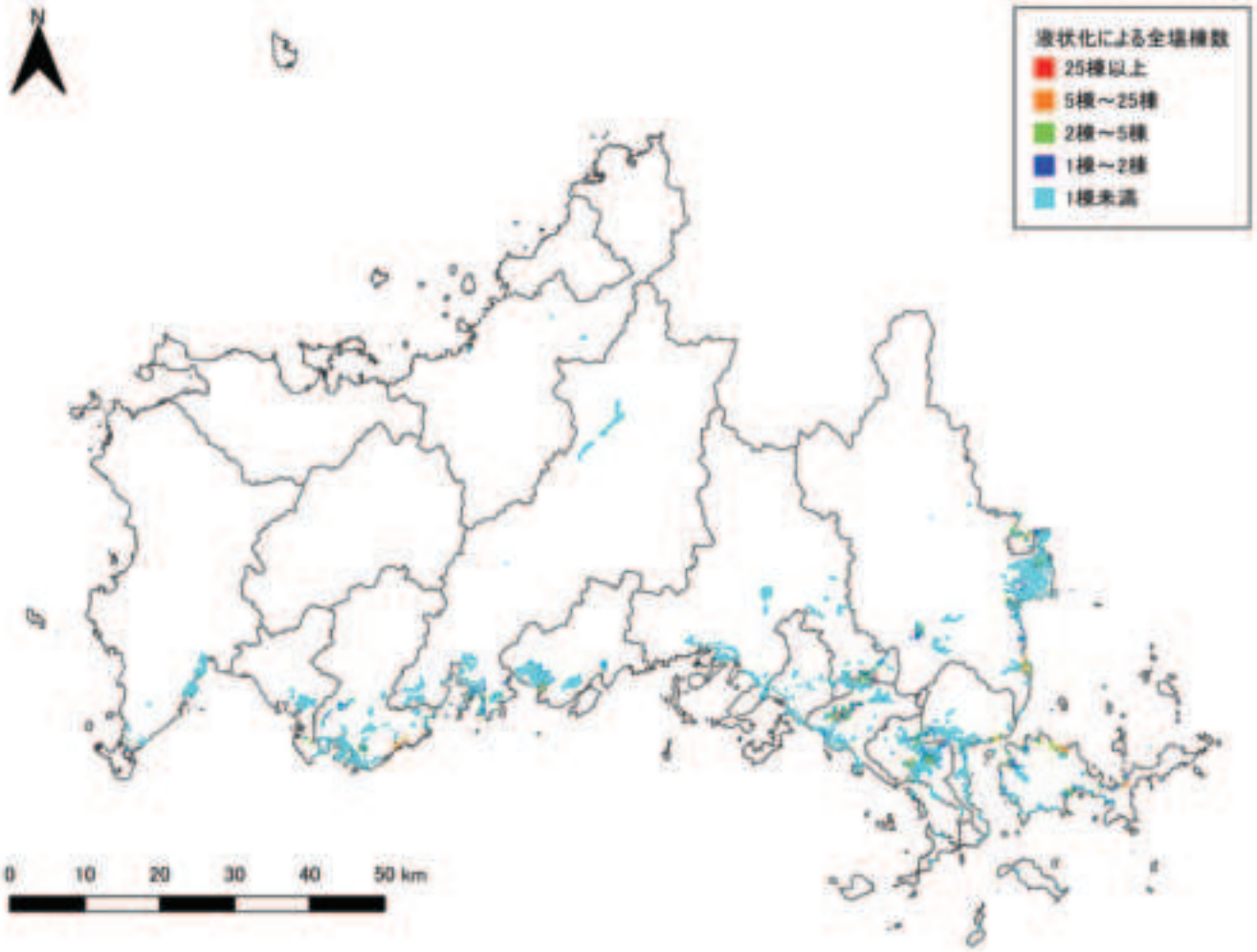
建物被害（揺れ）

- 全壊棟数分布（揺れ、南海トラフ巨大地震）



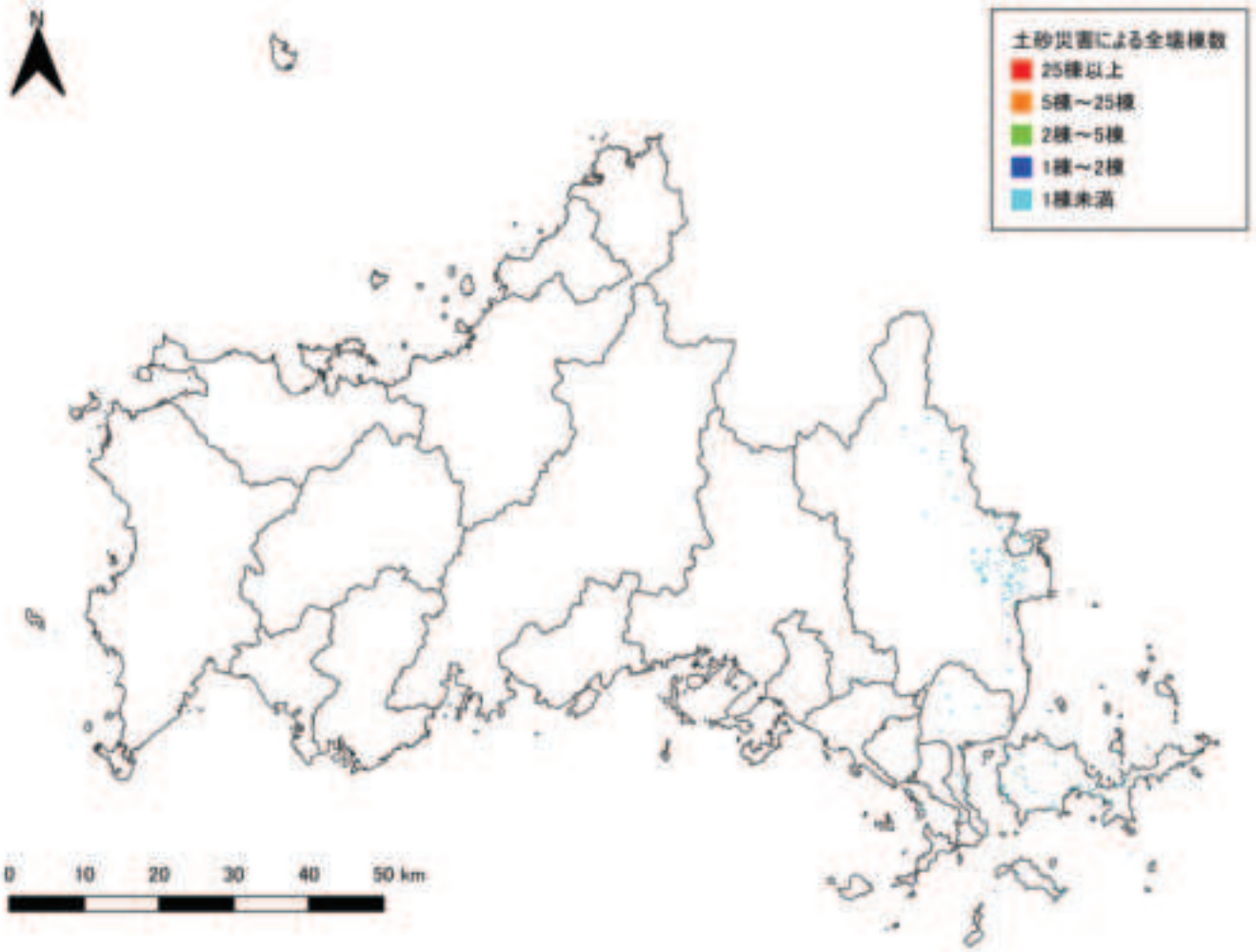
建物被害（液状化）

- 全壊棟数分布（液状化、南海トラフ巨大地震）



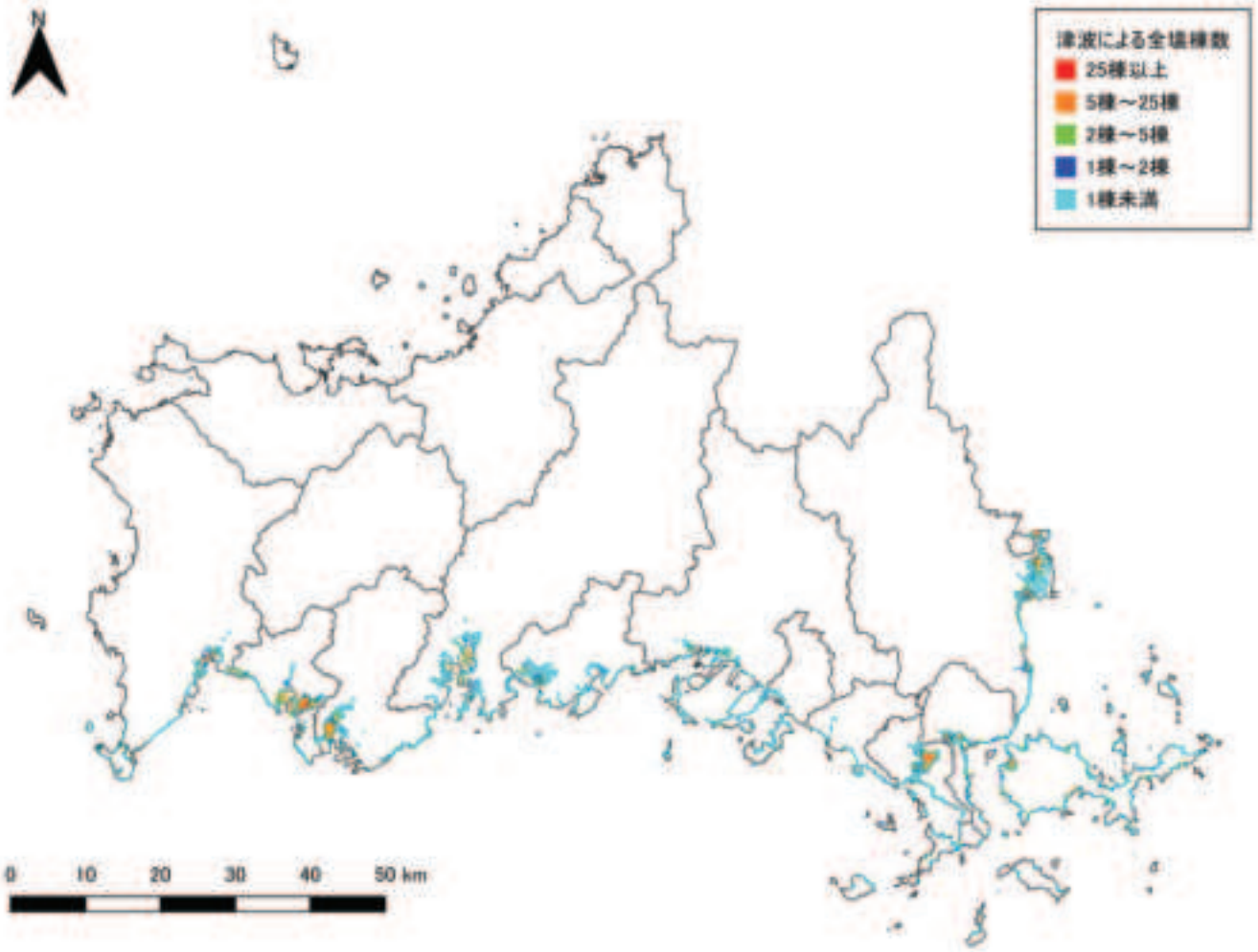
建物被害（土砂災害）

- 全壊棟数分布（土砂災害、南海トラフ巨大地震）



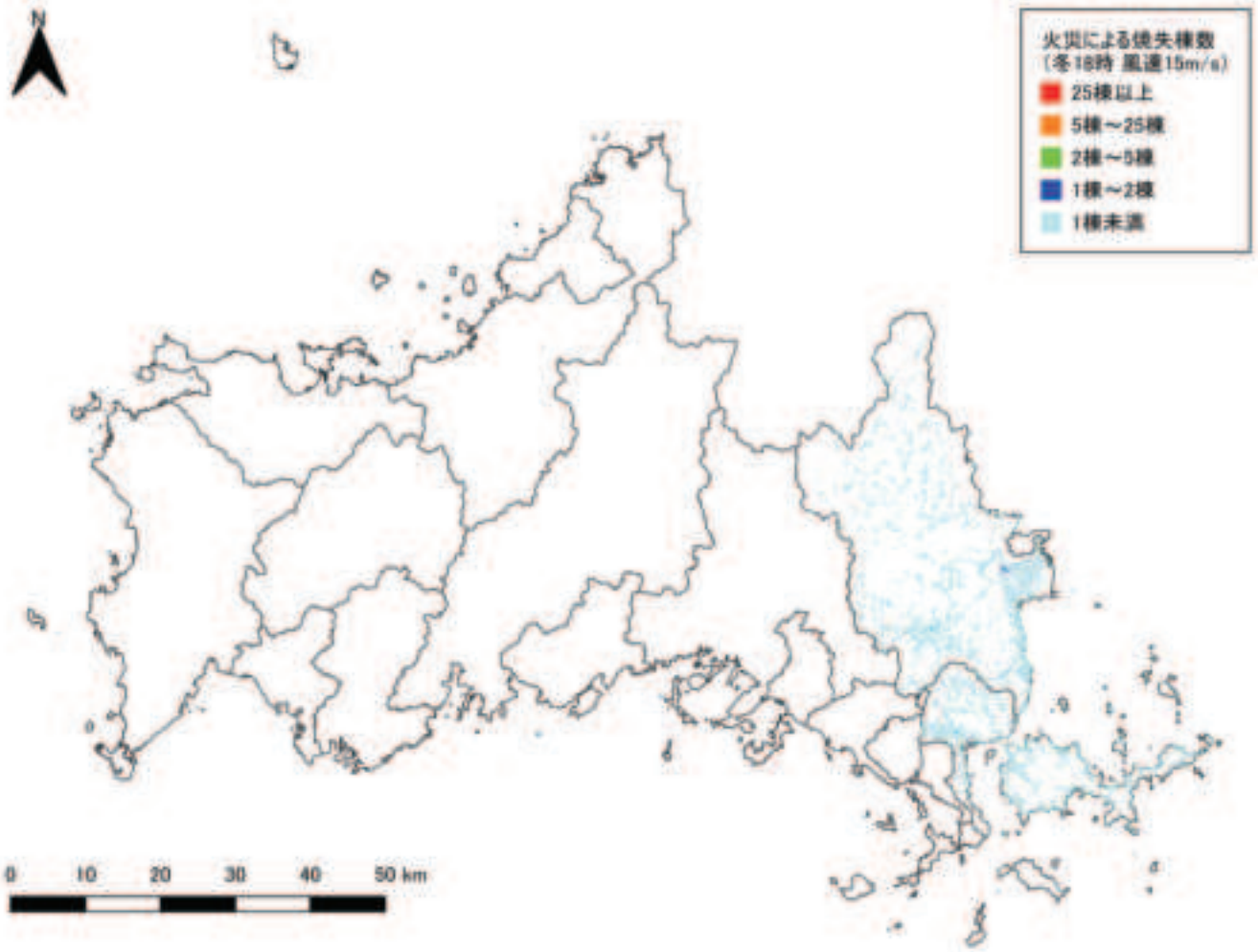
建物被害（津波）

- 全壊棟数分布（津波、南海トラフ巨大地震）



建物被害（火災）

- 焼失棟数分布（火災、南海トラフ巨大地震）



建物被害（揺れ、液状化、土砂災害、津波、火災）

- 市町別総括表（全壊棟数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数＋焼失棟数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	1	316	*0	15	332	*0	7	*0	1	9	341	0	341
宇部市	233	579	*0	105	917	58	9	*0	19	87	1,004	381	1,385
山口市	947	953	4	102	2,006	61	8	1	12	82	2,088	269	2,357
萩市	0	176	0	0	176	0	2	0	0	2	178	0	178
防府市	1,521	339	7	36	1,903	368	12	4	10	395	2,297	1,707	4,004
下松市	0	81	0	2	83	0	2	0	*0	2	85	*0	85
岩国市	0	40	0	129	169	0	*0	0	37	38	207	0	207
光市	0	407	0	5	412	0	6	0	1	7	419	0	419
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*
柳井市	0	65	0	64	129	0	*0	0	14	14	143	0	143
美祢市	0	3	*0	0	4	0	*0	*0	0	*0	4	0	4
周南市	5	313	3	36	357	19	6	1	10	35	392	47	439
山陽小野田市	4	191	*0	232	427	2	2	*0	28	33	459	35	495
周防大島町	0	17	0	65	82	0	*0	0	1	1	84	0	84
和木町	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1	6	0	6
上関町	0	*0	0	12	12	0	*0	0	1	1	13	0	13
田布施町	0	92	0	5	97	0	1	0	*0	1	98	0	98
平生町	0	4	0	72	76	0	*0	0	8	8	84	0	84
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

建物被害（揺れ、液状化、土砂災害、津波）

- 市町別総括表（半壊棟数）

【建物被害（全壊棟数＋焼失棟数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	57	1,019	*0	144	1,221	28	375	*0	16	419	1,640
宇部市	1,393	1,784	1	1,481	4,659	410	563	*0	582	1,554	6,213
山口市	2,195	3,597	8	555	6,356	319	473	1	157	950	7,306
萩市	0	487	0	0	487	0	90	0	0	90	576
防府市	4,118	1,124	13	167	5,422	850	711	8	102	1,670	7,093
下松市	12	260	0	12	284	64	115	0	5	184	468
岩国市	0	121	0	3,253	3,375	0	32	0	1,342	1,374	4,749
光市	1	1,229	0	56	1,286	28	377	0	13	418	1,705
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
柳井市	0	196	0	1,386	1,582	0	23	0	532	555	2,138
美祢市	5	10	*0	0	15	19	2	*0	0	21	36
周南市	271	941	6	654	1,872	307	363	2	311	982	2,854
山陽小野田市	141	617	*0	1,742	2,500	60	141	*0	480	681	3,181
周防大島町	0	42	0	345	387	0	3	0	22	25	412
和木町	0	0	0	260	260	0	0	0	77	77	337
上関町	0	*0	0	53	53	0	*0	0	8	8	61
田布施町	0	251	0	76	327	0	59	0	21	81	408
平生町	0	12	0	767	780	0	2	0	214	217	997
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170

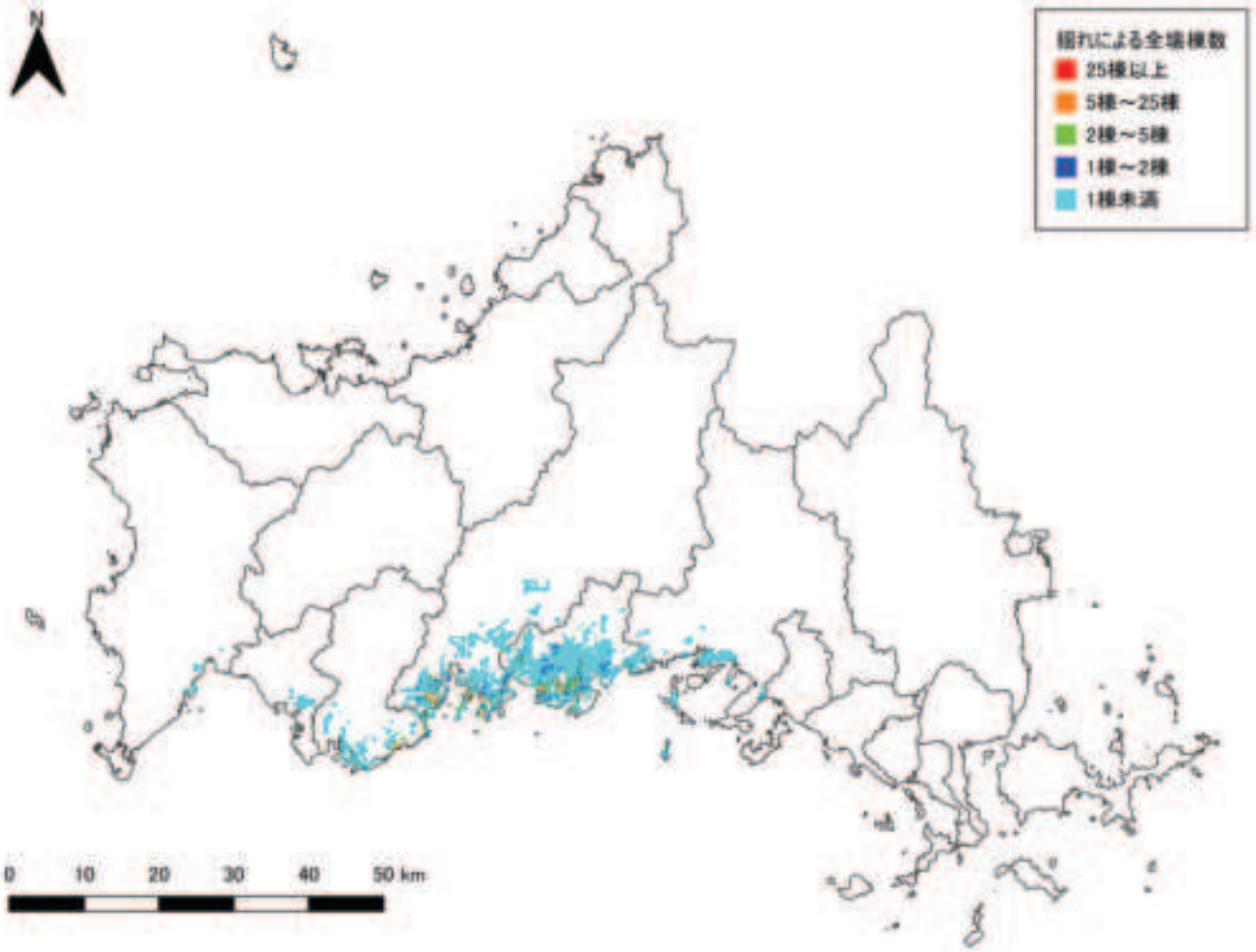
※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

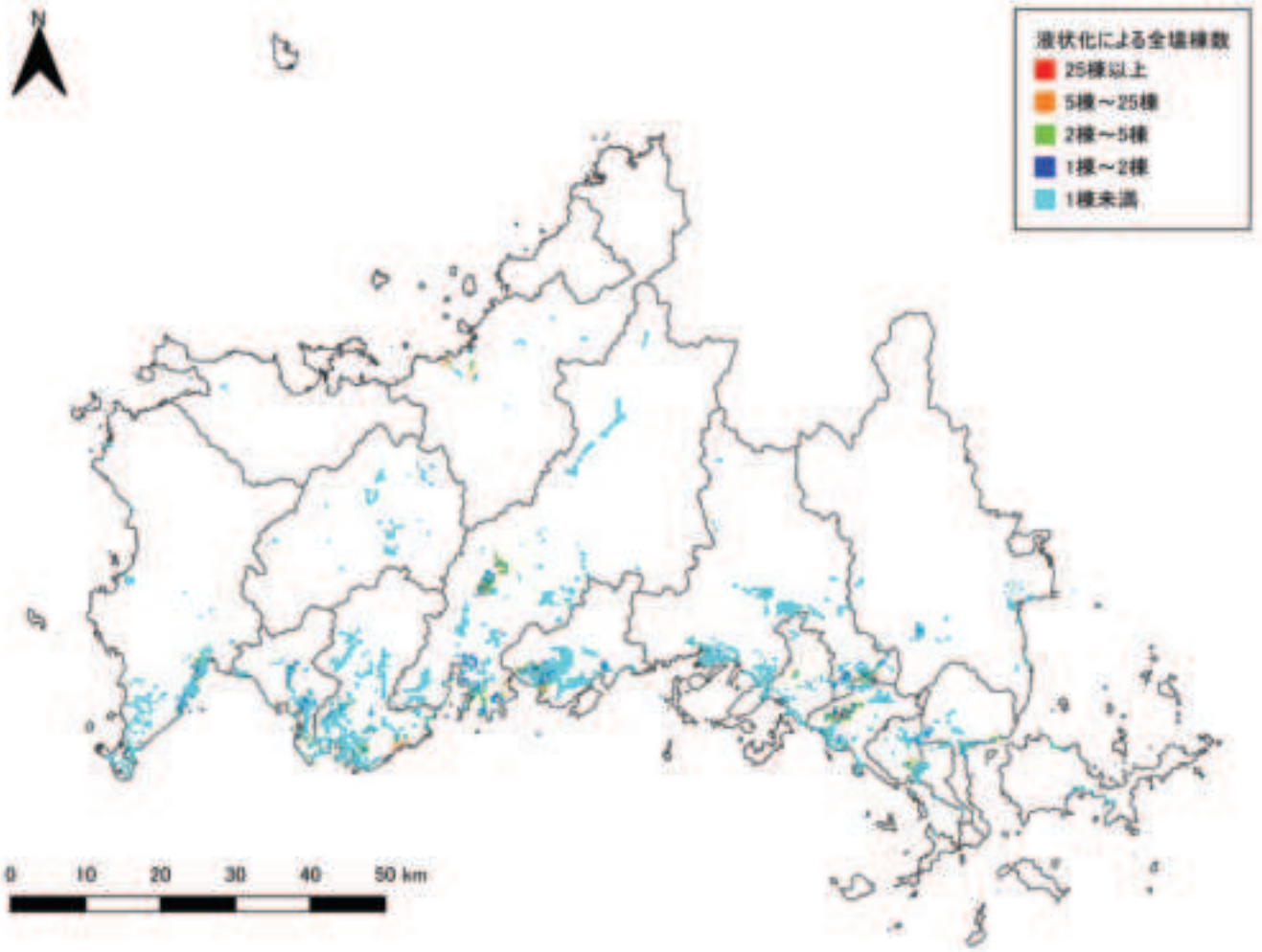
建物被害（揺れ）

- 全壊棟数分布（揺れ、周防灘断層帯主部区間）



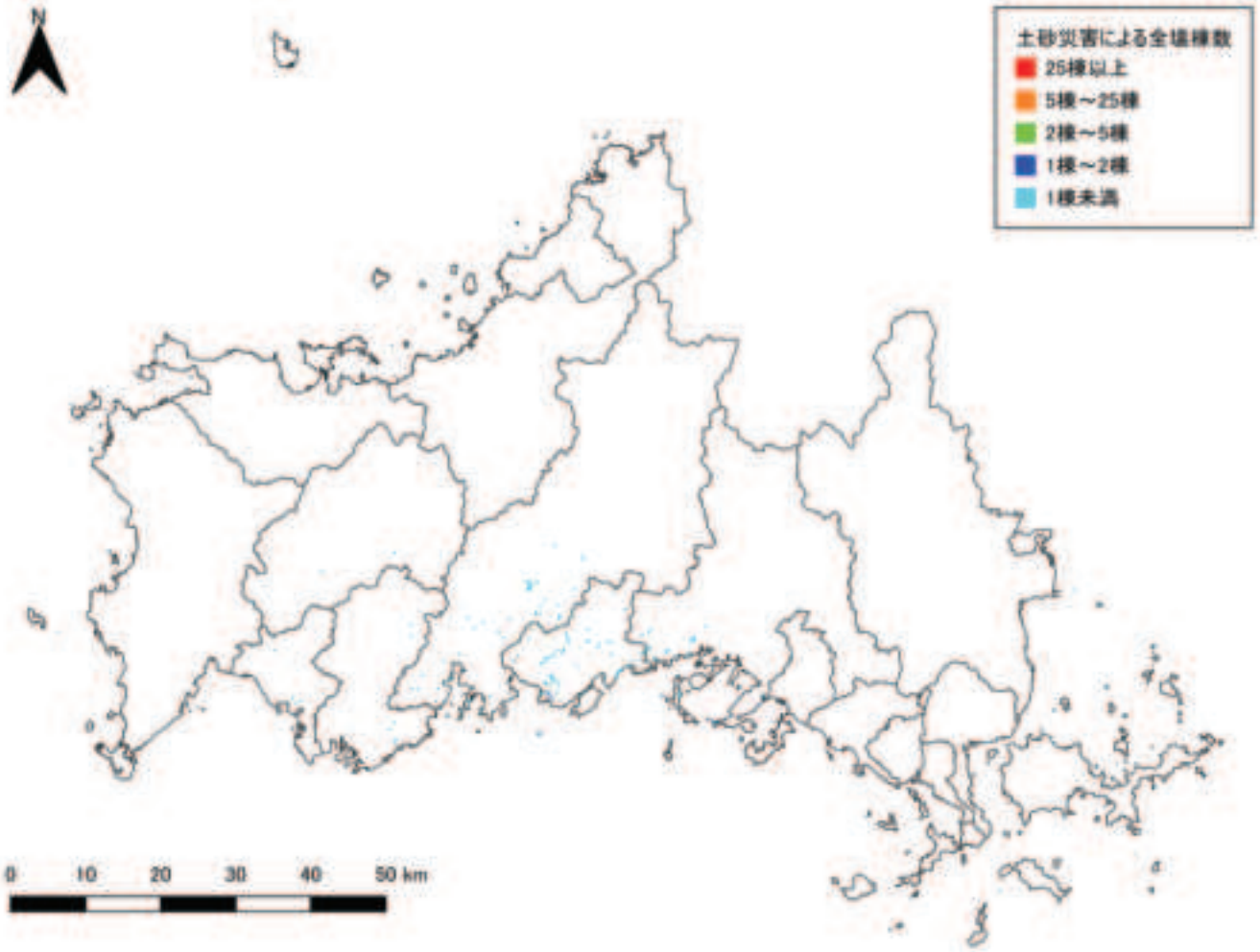
建物被害（液状化）

- 全壊棟数分布（液状化、周防灘断層帯主部区間）



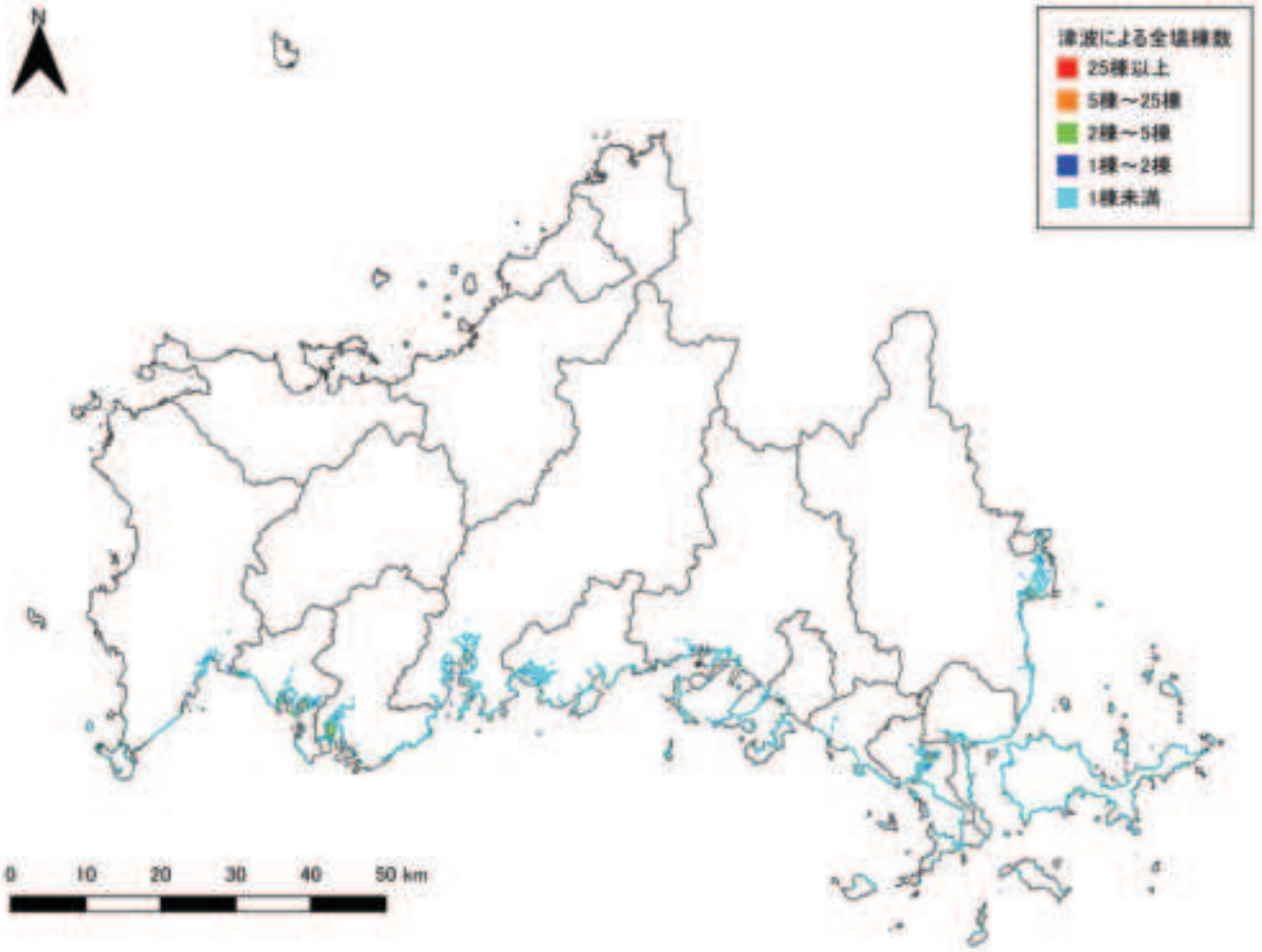
建物被害（土砂災害）

- 全壊棟数分布（土砂災害、周防灘断層帯主部区間）



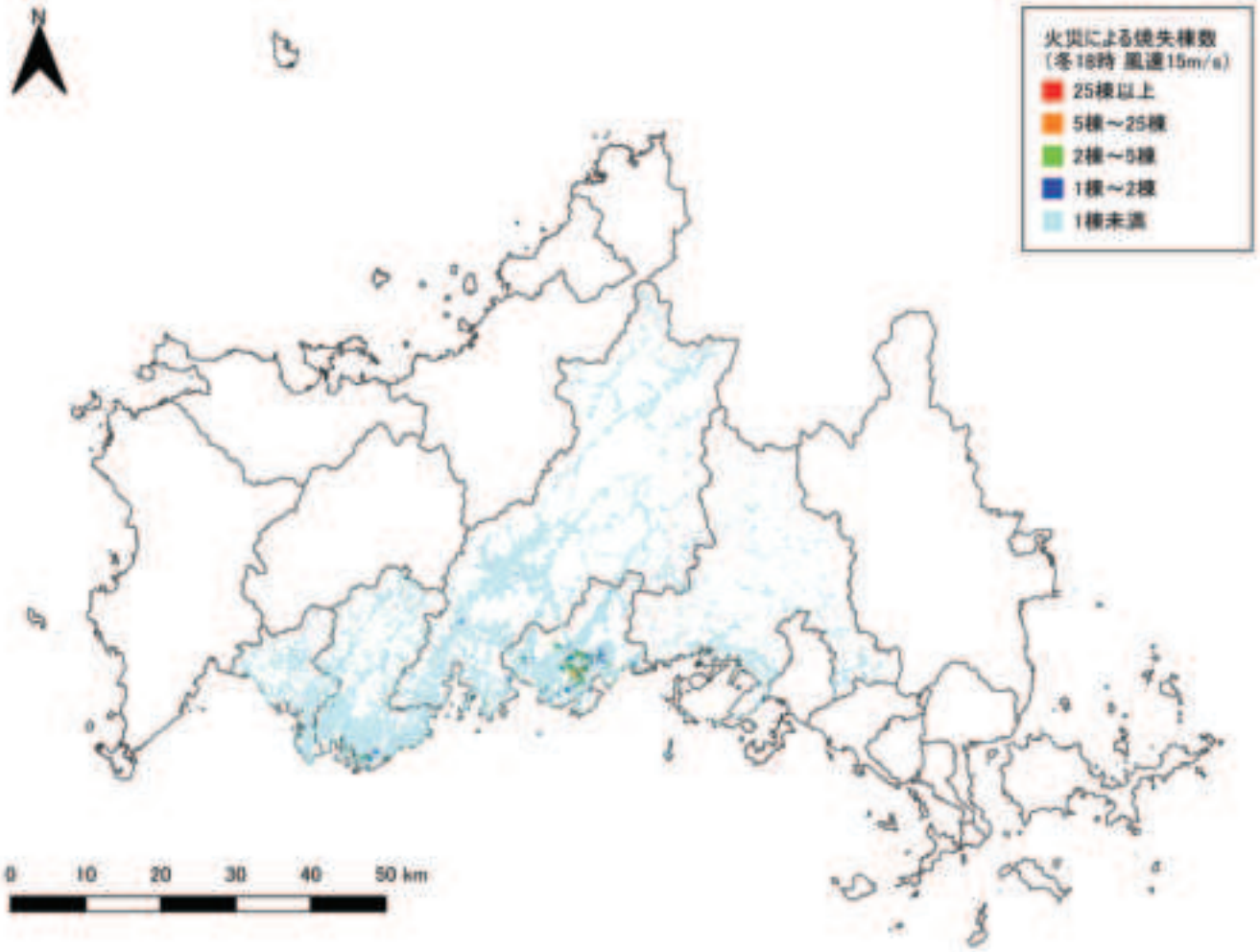
建物被害（津波）

- 全壊棟数分布（津波、周防灘断層帯主部区間）



建物被害（火災）

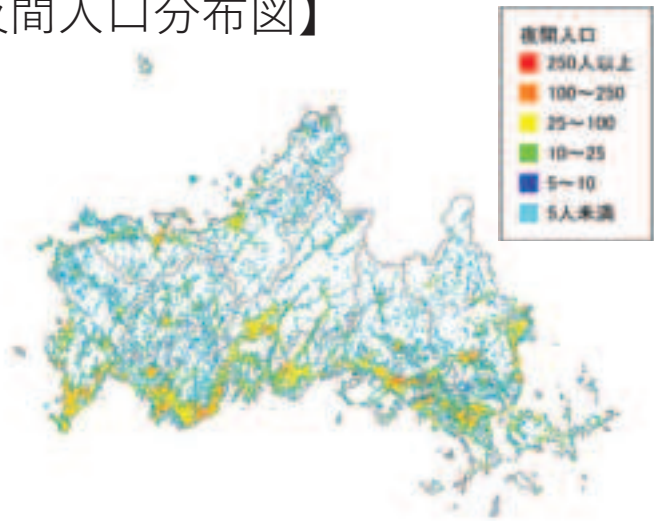
- 焼失棟数分布（火災、周防灘断層帯主部区間）



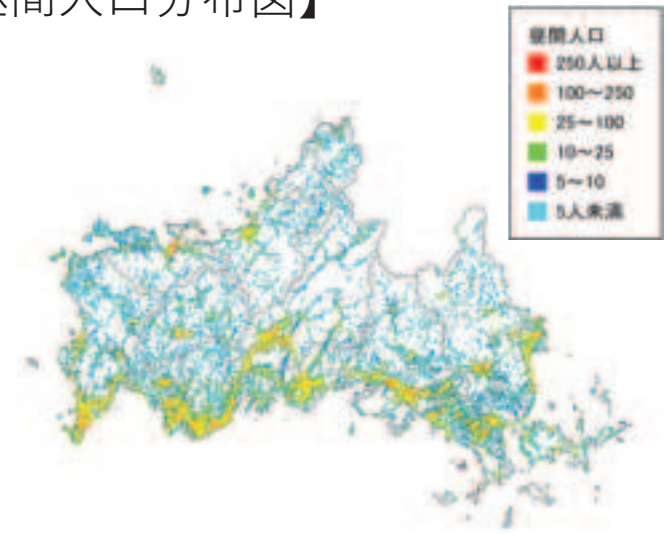
人的被害想定結果（案）

人的被害（入力データ）

【夜間人口分布図】



【昼間人口分布図】



【市町別昼間・夜間人口集計表】

（単位：人）

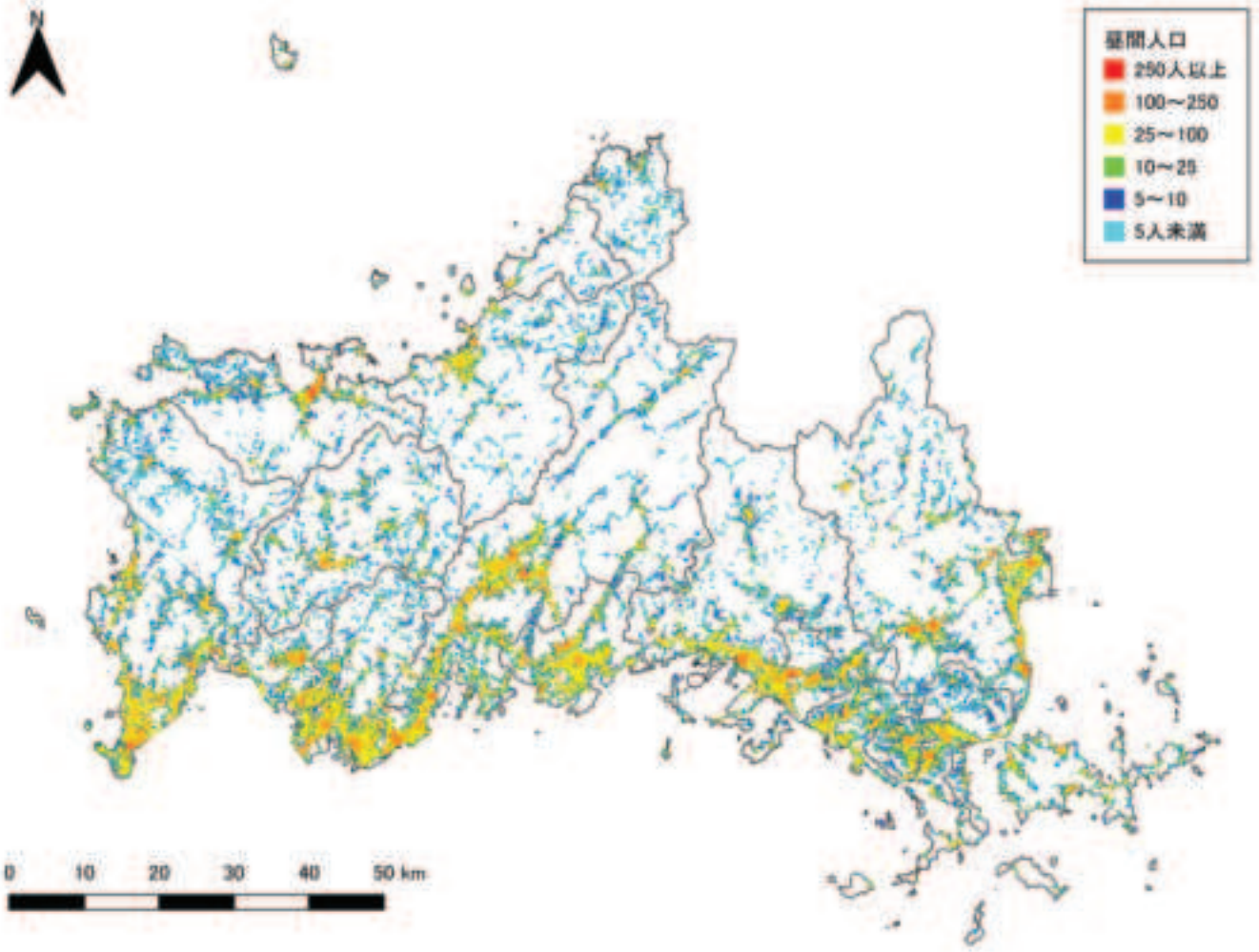
	本調査		前回調査		対前回調査比	
	夜間人口	昼間人口	夜間人口	昼間人口	夜間人口	昼間人口
下関市	255,085	251,527	280,947	276,979	0.91	0.91
宇部市	163,709	162,259	173,772	175,324	0.94	0.93
山口市	193,568	196,594	196,628	198,863	0.98	0.99
萩市	44,621	44,179	53,747	52,845	0.83	0.84
防府市	113,856	112,481	116,611	114,573	0.98	0.98
下松市	56,818	56,245	55,012	56,043	1.03	1.00
岩国市	129,420	127,557	143,857	141,322	0.90	0.90
光市	49,936	47,522	53,004	50,450	0.94	0.94
長門市	32,506	31,917	38,349	37,714	0.85	0.85
柳井市	31,110	31,822	34,730	35,913	0.90	0.89
美祢市	23,242	24,133	28,630	28,647	0.81	0.84
周南市	136,357	142,779	149,487	154,999	0.91	0.92
山陽小野田市	59,317	58,741	64,550	62,108	0.92	0.95
周防大島町	14,773	15,150	19,084	18,964	0.77	0.80
和木町	5,747	5,486	6,378	6,017	0.90	0.91
上関町	2,332	2,235	3,332	3,188	0.70	0.70
田布施町	14,190	12,815	15,986	14,017	0.89	0.91
平生町	11,731	10,797	13,491	12,550	0.87	0.86
阿武町	3,055	2,877	3,743	3,611	0.82	0.80
合計	1,341,373	1,337,116	1,451,338	1,444,127	0.92	0.93

赤字：前回調査時より増加

青字：前回調査時より減少

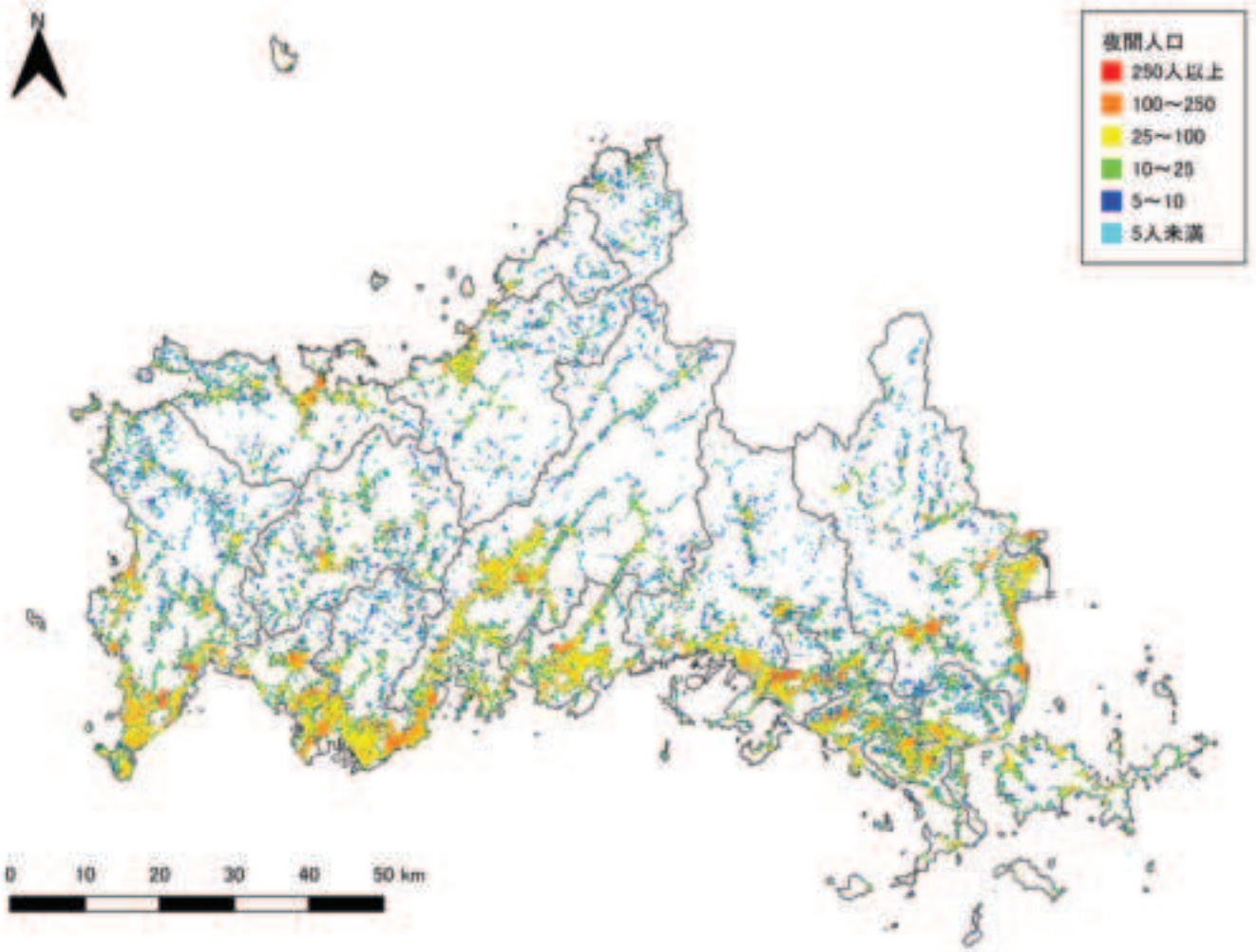
人的被害（入力データ）

- 県内の人口分布（昼間人口）



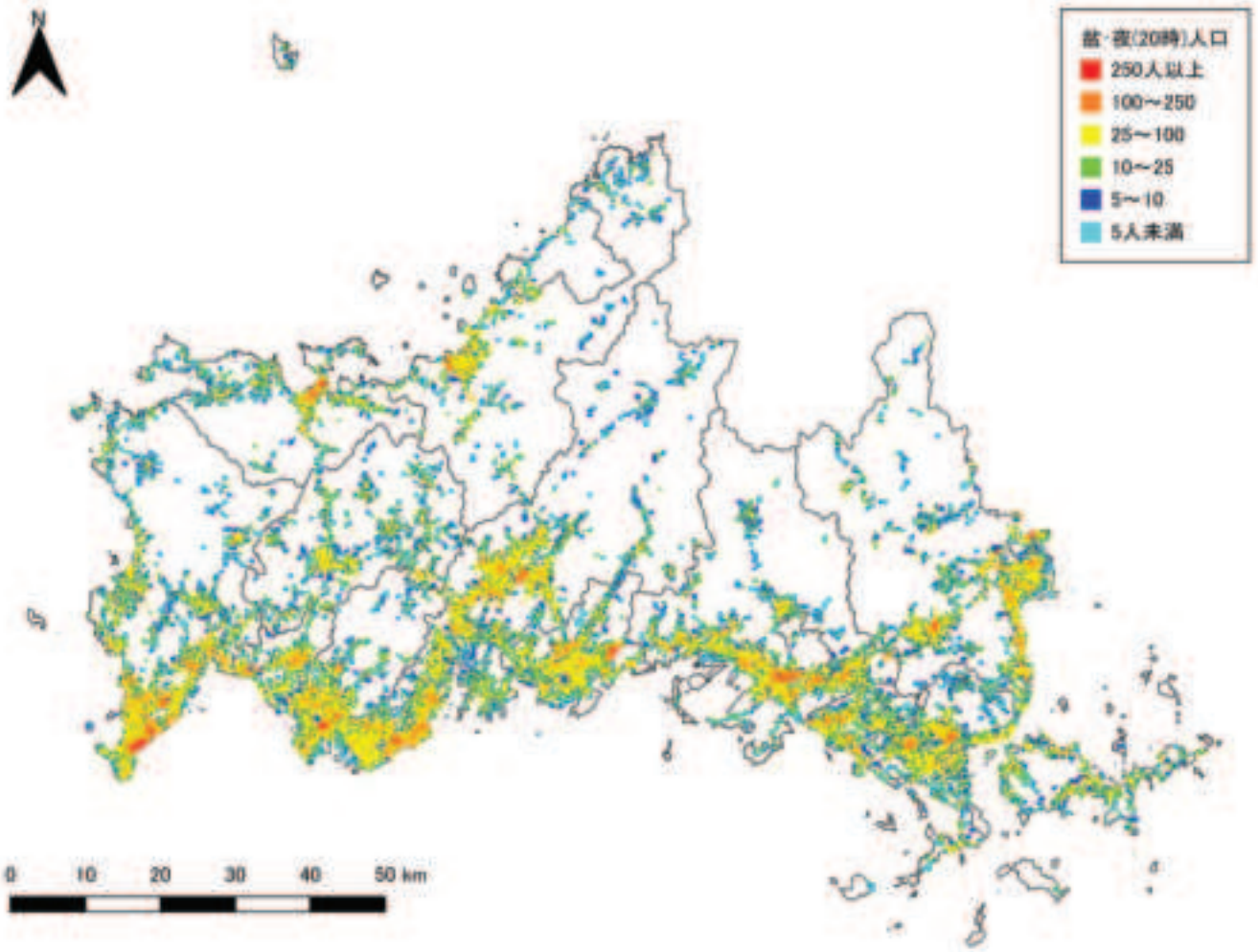
人的被害（入力データ）

- 県内の人口分布（夜間人口）



人的被害（入力データ）

- 県内の人口分布（人流データ：盆･夜）



人的被害

- 市町別総括表（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

【人的被害（各項目）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1,2,5,10,11、冬･深夜または盆･夜、風速15m/s

市町	死者（人）※1							負傷者（人）※2						重傷者（人）※2						自力脱出困難者※3
	原因別						合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒		土砂災害	火災	津波※4	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒		土砂災害	火災	津波※4	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒		土砂災害	火災	津波※4	その他		
下関市	*0	(*0)	0	*0	10	0	10	1	(1)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	26	0	26	13	(8)	0	*0	1	1	15	1	(1)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	14	0	14	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	51	0	51	3	(3)	0	*0	*0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	6	0	6	3	(3)	0	*0	*0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	13	(4)	2	*0	50	0	65	525	(79)	2	8	1	39	574	37	(17)	1	2	*0	15	56	58
光市	*0	(*0)	*0	*0	5	0	5	4	(4)	*0	*0	0	1	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8	(1)	*0	*0	59	0	67	483	(33)	*0	2	1	12	498	52	(7)	*0	*0	1	5	58	26
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	75	0	75	14	(7)	*0	*0	*0	1	15	1	(1)	*0	*0	*0	*0	1	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	28	0	28	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3	(*0)	*0	*0	47	0	50	169	(6)	*0	*0	*0	6	176	1	(1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	7	0	8	36	(4)	*0	*0	*0	2	38	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0	(*0)	*0	*0	10	0	10	12	(*0)	*0	*0	*0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	4	0	5	22	(4)	*0	*0	*0	1	24	1	(1)	*0	*0	0	1	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	82	0	82	75	(2)	*0	*0	*0	3	78	*0	(*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	26	(6)	2	*0	474	0	502	1,362	(156)	3	11	4	67	1,446	98	(31)	1	3	1	26	129	91

※1：「津波ケース5」の「冬･深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「津波ケース10」の「盆･夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「津波ケース1,2,5,10,11」の「盆･夜 風速15m/s」を設定したケース
※4：「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。
詳細は「人的被害（補足）」参照。
※5：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※6：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※7：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

人的被害

- 市町別総括表（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

【人的被害（各項目）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ・横ずれあり、冬･深夜または盆･夜、風速15m/s

市町	死者（人）※1							負傷者（人）※2							重傷者（人）※2							自力脱出困難者※3
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒		土砂災害	火災	津波※4	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒		土砂災害	火災	津波※4	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒		土砂災害	火災	津波※4	その他		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	7	0	8	71	(15)	*0	*0	2	16	89	2	(2)	*0	*0	1	6	9	0
宇部市	16	(4)	*0	*0	21	0	37	354	(74)	*0	15	2	67	437	26	(15)	*0	4	1	26	57	73
山口市	64	(6)	*0	*0	14	0	78	661	(99)	*0	12	*0	106	779	94	(20)	*0	3	*0	41	139	174
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	1	2	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	0
防府市	105	(19)	1	10	54	0	170	1,080	(246)	1	68	2	120	1,271	170	(54)	*0	19	1	47	237	462
下松市	*0	(*0)	0	*0	6	0	6	21	(8)	0	*0	*0	22	43	1	(1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	44	0	44	*0	(*0)	0	*0	5	4	9	*0	(*0)	0	*0	2	1	3	0
光市	*0	(*0)	0	*0	5	0	5	6	(4)	0	*0	*0	11	18	1	(1)	0	*0	*0	4	5	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	65	0	65	0	(0)	0	0	6	3	9	0	(0)	0	0	2	1	3	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	5	(2)	*0	*0	0	3	8	*0	(*0)	*0	*0	0	1	1	0
周南市	1	(1)	*0	*0	63	0	65	155	(33)	*0	2	2	54	213	6	(6)	*0	1	1	21	29	4
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	*0	26	0	27	37	(10)	*0	1	1	13	52	2	(2)	*0	*0	*0	5	8	1
周防大島町	0	(0)	0	0	55	0	55	0	(0)	0	0	3	*0	3	0	(0)	0	0	1	*0	1	0
和木町	0	(0)	0	0	2	0	2	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	12	0	12	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	1	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	76	0	76	*0	(*0)	0	*0	1	1	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	188	(32)	1	10	452	0	652	2,391	(491)	2	99	26	422	2,939	303	(103)	1	28	9	165	505	714

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬･深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「盆･夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬･深夜 風速15m/s」
※4：「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。
詳細は「人的被害（補足）」参照。
※5：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※6：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※7：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

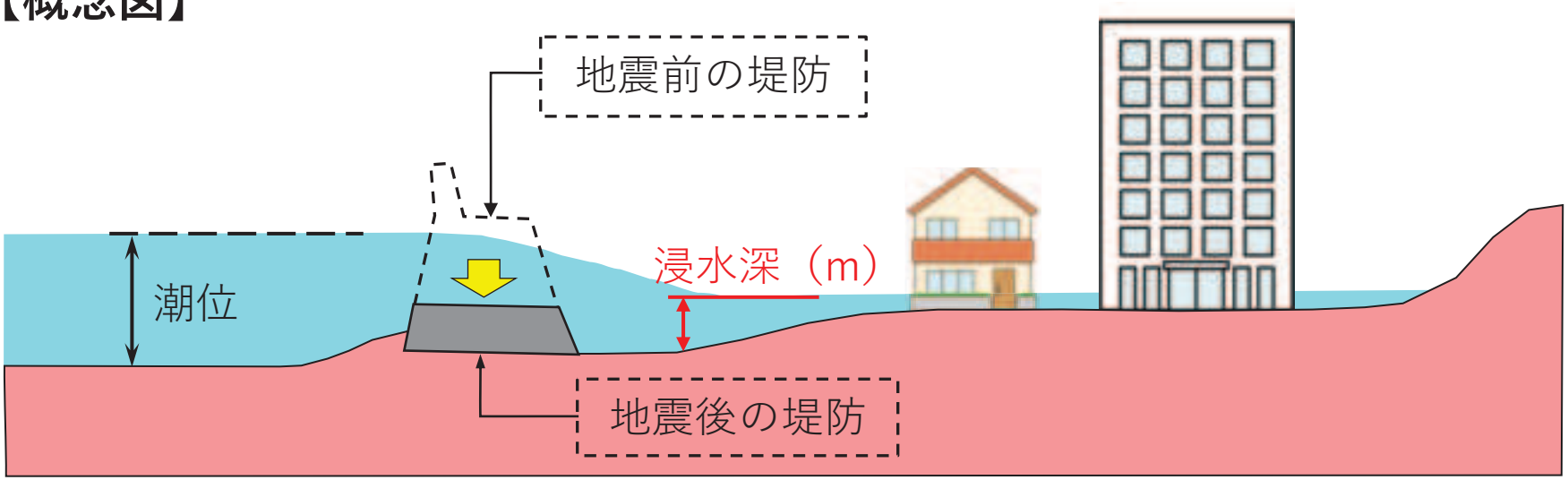
人的被害（補足）

- 「津波」による被災者について

地域によっては、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水の被害を受けることがある。

被害想定における「津波」による被災者については、上記状況による人数も含んでいる。

【概念図】



ライフライン被害想定結果（案）

ライフライン被害（上水道）

- 入力データ（市町別管種別延長）

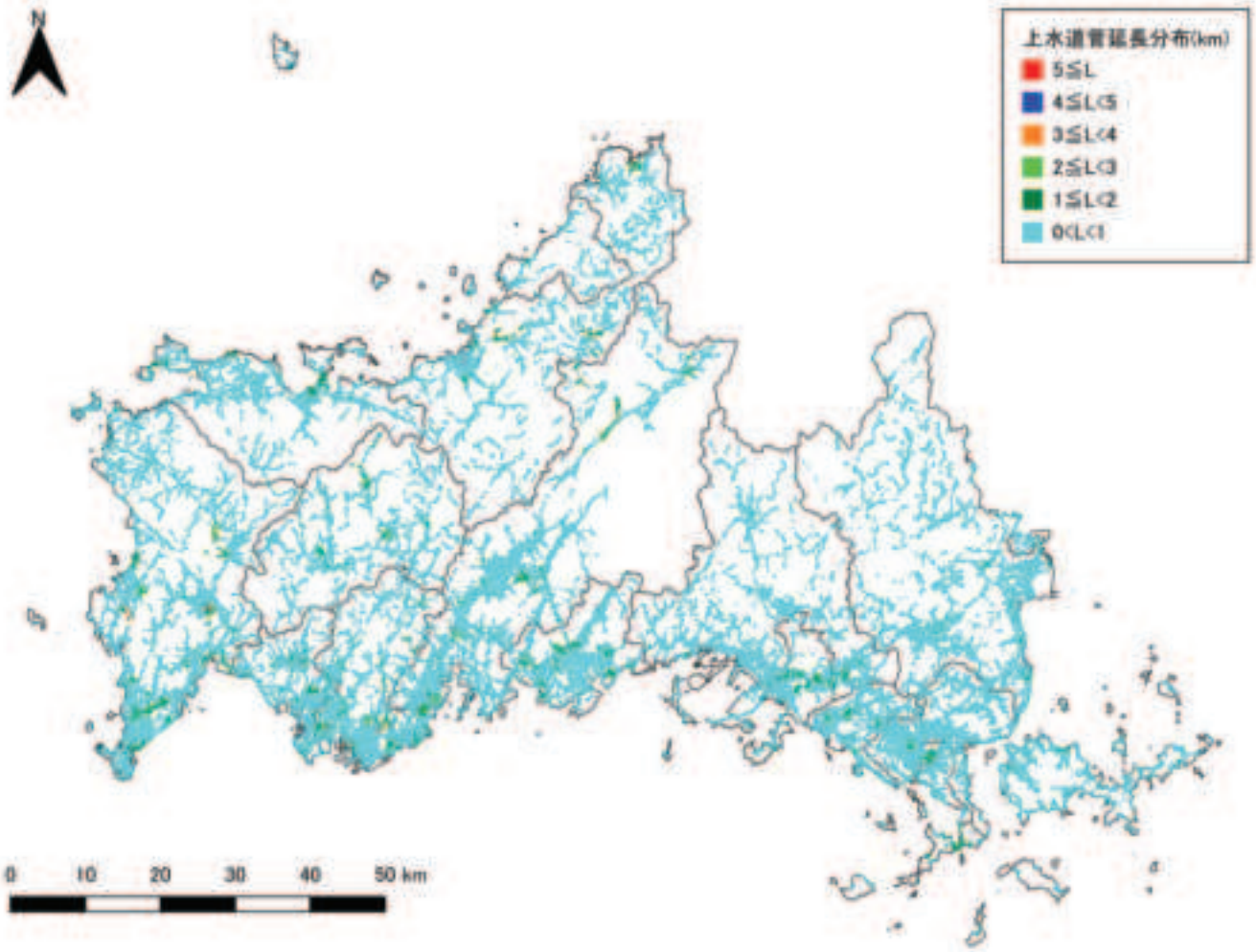
（単位：km）

市町名	ダクタイル鋳鉄管（耐震継手あり）	ダクタイル鋳鉄管（耐震継手なし）	鋳鉄管	鋼管	塩化ビニール管	石綿セメント管	その他	合計
下関市	113	877	38	13	635	*0	51	1,729
宇部市	212	358	40	21	527	0	0	1,157
山口市	114	639	*0	4	124	*0	440	1,322
萩市	*0	120	46	22	308	0	79	575
防府市	14	346	1	4	262	0	184	812
下松市	46	128	0	1	0	122	16	312
岩国市	0	200	67	15	449	*0	182	914
光市	33	88	9	1	97	0	123	350
長門市	6	64	4	4	270	0	113	462
柳井市	2	94	0	3	47	0	27	174
美祢市	27	120	29	4	320	1	49	550
周南市	0	164	13	11	284	0	373	845
山陽小野田市	19	188	32	14	136	0	40	431
周防大島町	23	38	0	68	217	0	0	346
和木町	0	9	0	0	9	1	0	18
上関町	0	14	0	*0	51	0	12	78
田布施町	2	46	1	2	81	*0	0	132
平生町	0	33	1	1	75	*0	0	110
阿武町	0	1	0	2	56	0	0	59
合計	611	3,528	282	191	3,949	124	1,691	10,376

※小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ライフライン被害（上水道）

- 入力データ（上水道管延長分布）



ライフライン被害（上水道）

- 市町別総括表（上水道_断水人口、復旧予測）

【上水道被害（断水人口）が最大となるケース】

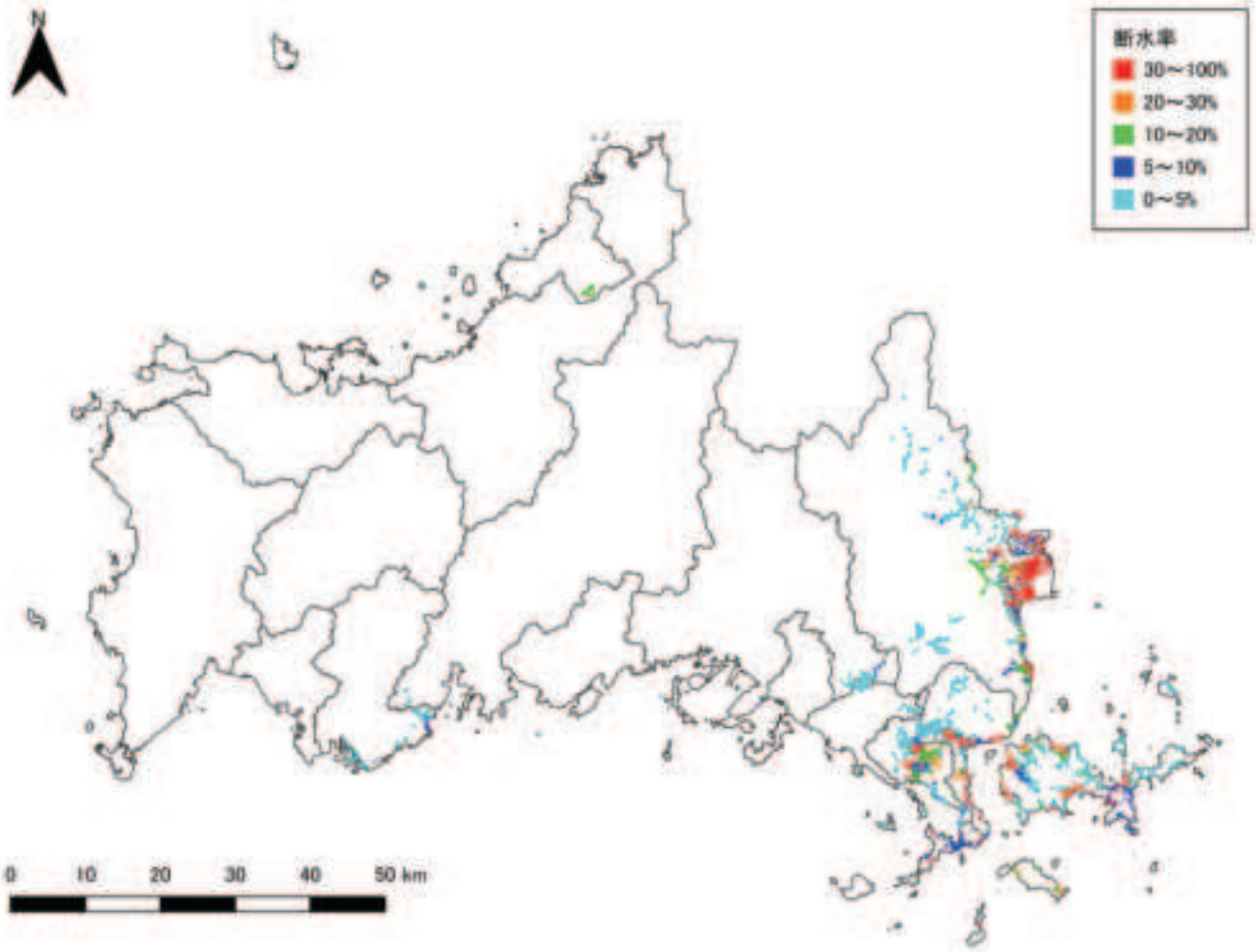
南海トラフ巨大地震：全ケース同一

市町	上水道											浄水場被害箇所数（箇所）
	総延長（km）	被害箇所数（箇所）	給水人口（人）	断水人口等（復旧予測）								
				被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
				断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	
下関市	1,729	0	255,058	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宇部市	1,157	1	162,780	32	*0.0	115	0.1	0	0.0	0	0.0	0
山口市	1,322	*0	193,961	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
萩市	575	0	44,627	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防府市	812	0	113,976	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
下松市	312	*0	55,798	1	*0.0	6	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
岩国市	914	103	129,183	63,668	49.3	35,918	27.8	5,540	4.3	0	0.0	0
光市	350	*0	49,777	3	*0.0	13	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
長門市	462	0	32,520	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
柳井市	173	12	30,834	6,885	22.3	3,865	12.5	1,706	5.5	0	0.0	0
美祢市	550	0	23,245	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周南市	845	*0	137,621	20	*0.0	53	*0.0	14	*0.0	0	0.0	0
山陽小野田市	431	0	60,130	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周防大島町	346	29	14,798	4,101	27.7	2,223	15.0	888	6.0	0	0.0	0
和木町	18	6	5,962	4,624	77.6	2,779	46.6	358	6.0	0	0.0	0
上関町	78	5	2,342	513	21.9	289	12.4	12	0.5	0	0.0	0
田布施町	132	9	14,419	3,296	22.9	1,843	12.8	865	6.0	0	0.0	0
平生町	110	7	11,975	2,436	20.3	1,392	11.6	60	0.5	0	0.0	0
阿武町	59	*0	3,052	14	0.5	22	0.7	3	0.1	0	0.0	0
合計	10,376	172	1,342,058	85,592	6.4	48,519	3.6	9,446	0.7	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

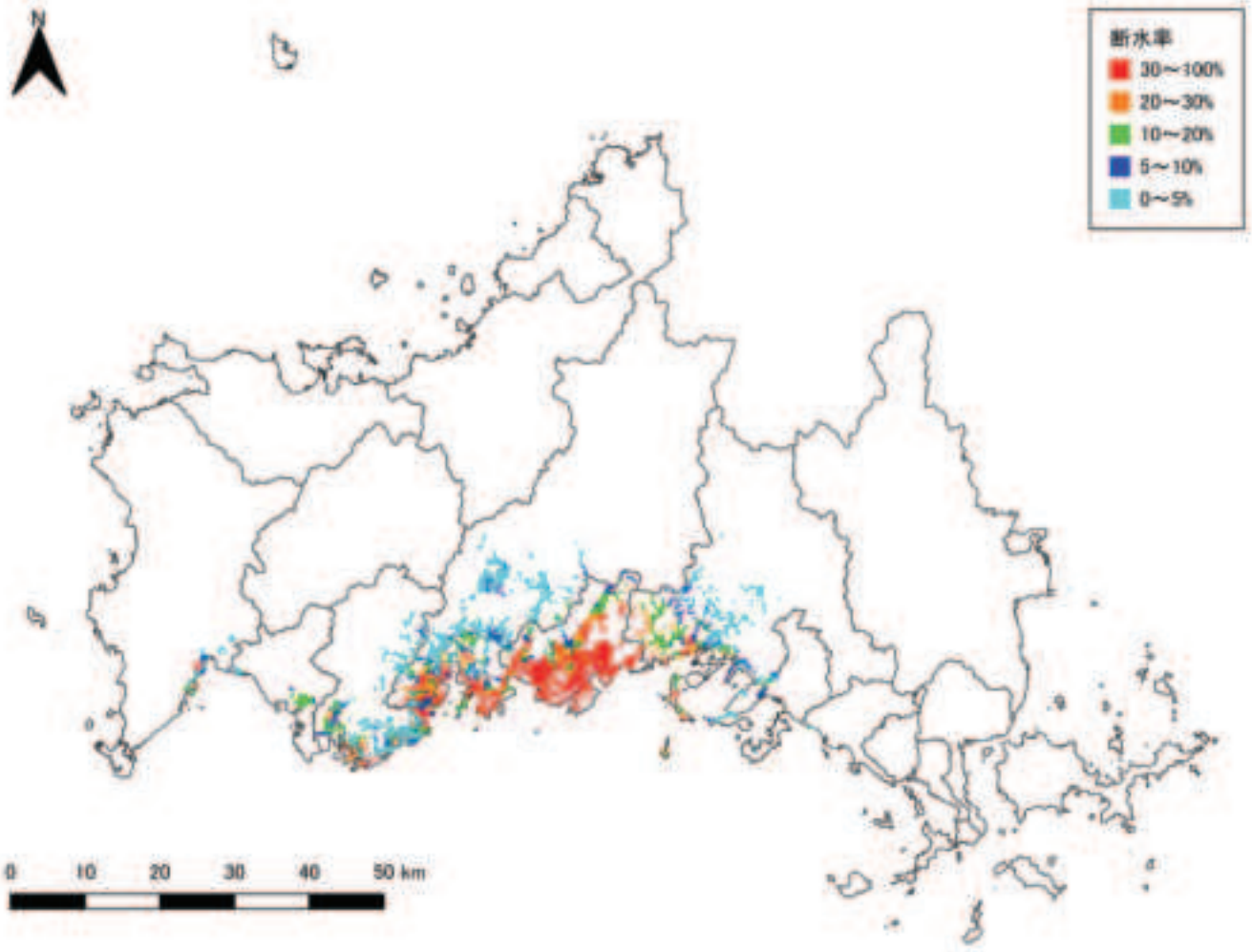
ライフライン被害（上水道）

- 断水率分布（被災直後、南海トラフ巨大地震）



ライフライン被害（上水道）

- 断水率分布（被災直後、周防灘断層帯主部区間）



ライフライン被害（上水道）

- 市町別総括表（上水道_断水人口、復旧予測）

【上水道被害（断水人口）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：全ケース同一

市町	上水道										浄水場被害箇所数（箇所）
	総延長（km）	被害箇所数（箇所）	給水人口（人）	断水人口等（復旧予測）							
				被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
				断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）	断水人口（人）	断水率（%）
下関市	1,729	1	255,058	84	*0.0	255	0.1	0	0.0	0	0.0	0
宇部市	1,157	47	162,780	20,014	12.3	12,658	7.8	786	0.5	0	0.0	0
山口市	1,322	86	193,961	21,141	10.9	15,419	7.9	1,659	0.9	0	0.0	0
萩市	575	0	44,627	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防府市	812	413	113,976	99,916	87.7	67,924	59.6	6,839	6.0	0	0.0	0
下松市	312	1	55,798	52	0.1	124	0.2	56	0.1	0	0.0	0
岩国市	914	0	129,183	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
光市	350	*0	49,777	*0	*0.0	1	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
長門市	462	0	32,520	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
柳井市	173	0	30,834	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
美祢市	550	0	23,245	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周南市	845	20	137,621	10,163	7.4	6,785	4.9	602	0.4	0	0.0	0
山陽小野田市	431	2	60,130	372	0.6	475	0.8	41	0.1	0	0.0	0
周防大島町	346	0	14,798	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
和木町	18	0	5,962	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
上関町	78	0	2,342	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
田布施町	132	0	14,419	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
平生町	110	0	11,975	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
阿武町	59	0	3,052	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	10,376	569	1,342,058	151,742	11.3	103,641	7.7	9,982	0.7	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（下水道）

- 入力データ（市町別管種別延長、下水道処理人口）

（単位：km）

市町	塩ビ管・陶管	その他の管	合計
下関市	594	396	990
宇部市	531	355	886
山口市	882	154	1,036
萩市	338	77	415
防府市	542	1	543
下松市	165	125	290
岩国市	231	172	403
光市	226	67	293
長門市	298	63	361
柳井市	148	19	167
美祢市	188	16	204
周南市	539	268	807
山陽小野田市	154	81	235
周防大島町	175	18	193
和木町	9	37	47
上関町	5	0	5
田布施町	64	7	71
平生町	90	4	93
阿武町	45	5	50
合計	5,224	1,865	7,089

※管きょ延長は流域下水道の延長を含む

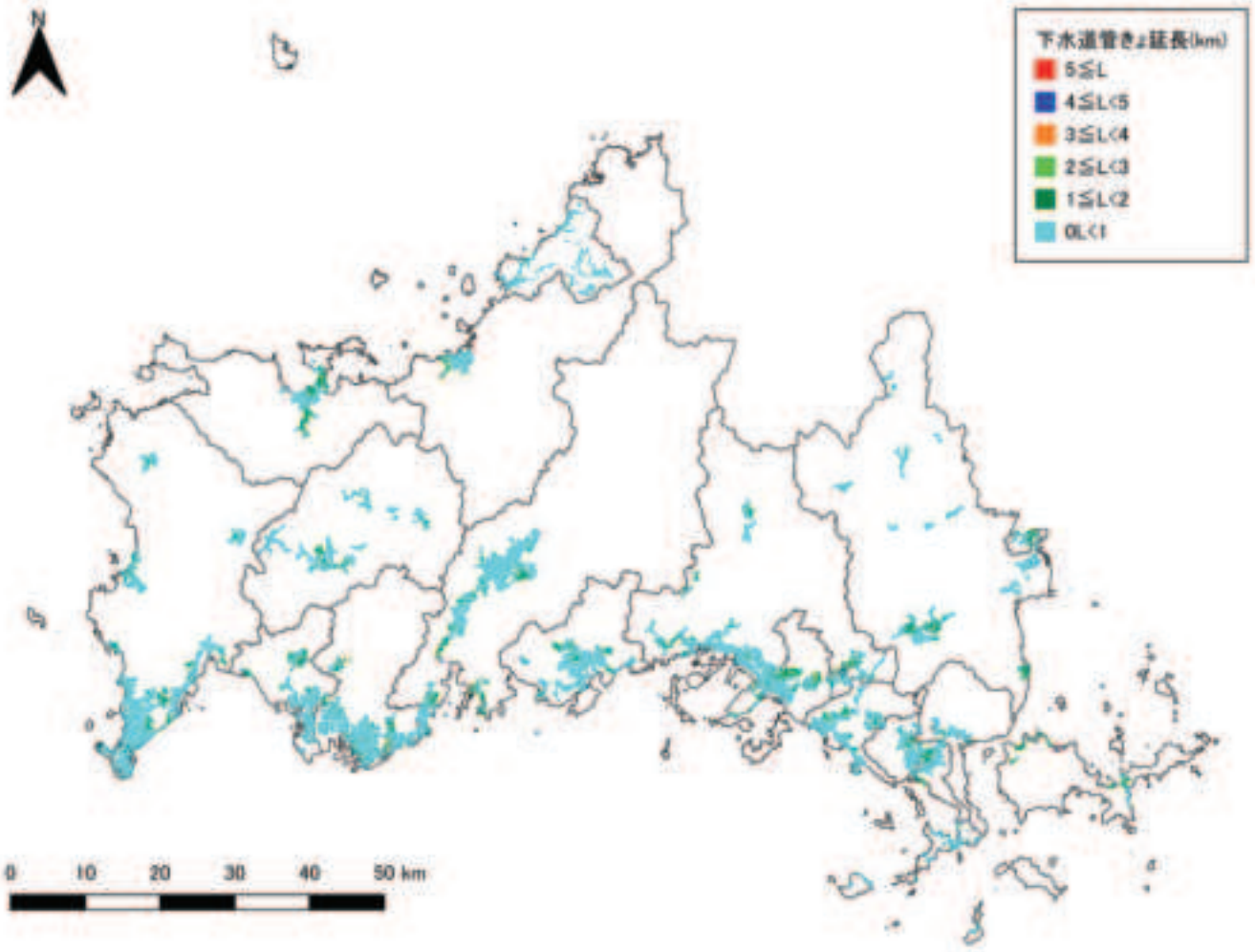
（単位：人）

市町	下水道 処理人口
下関市	196,689
宇部市	123,967
山口市	130,332
萩市	19,508
防府市	81,224
下松市	51,409
岩国市	47,399
光市	39,259
長門市	15,515
柳井市	9,646
美祢市	7,712
周南市	119,801
山陽小野田市	35,442
周防大島町	3,900
和木町	5,661
上関町	0
田布施町	6,890
平生町	6,796
阿武町	0
合計	901,150

※令和6年度末公共下水道現況調書より
処理区域人口を下水道処理人口とする。

ライフライン被害（下水道）

- 入力データ（下水道管きょ延長分布）



ライフライン被害（下水道）

- 市町別総括表（下水道_支障人口、復旧予測）

【下水道被害（支障人口）が最大となるケース】

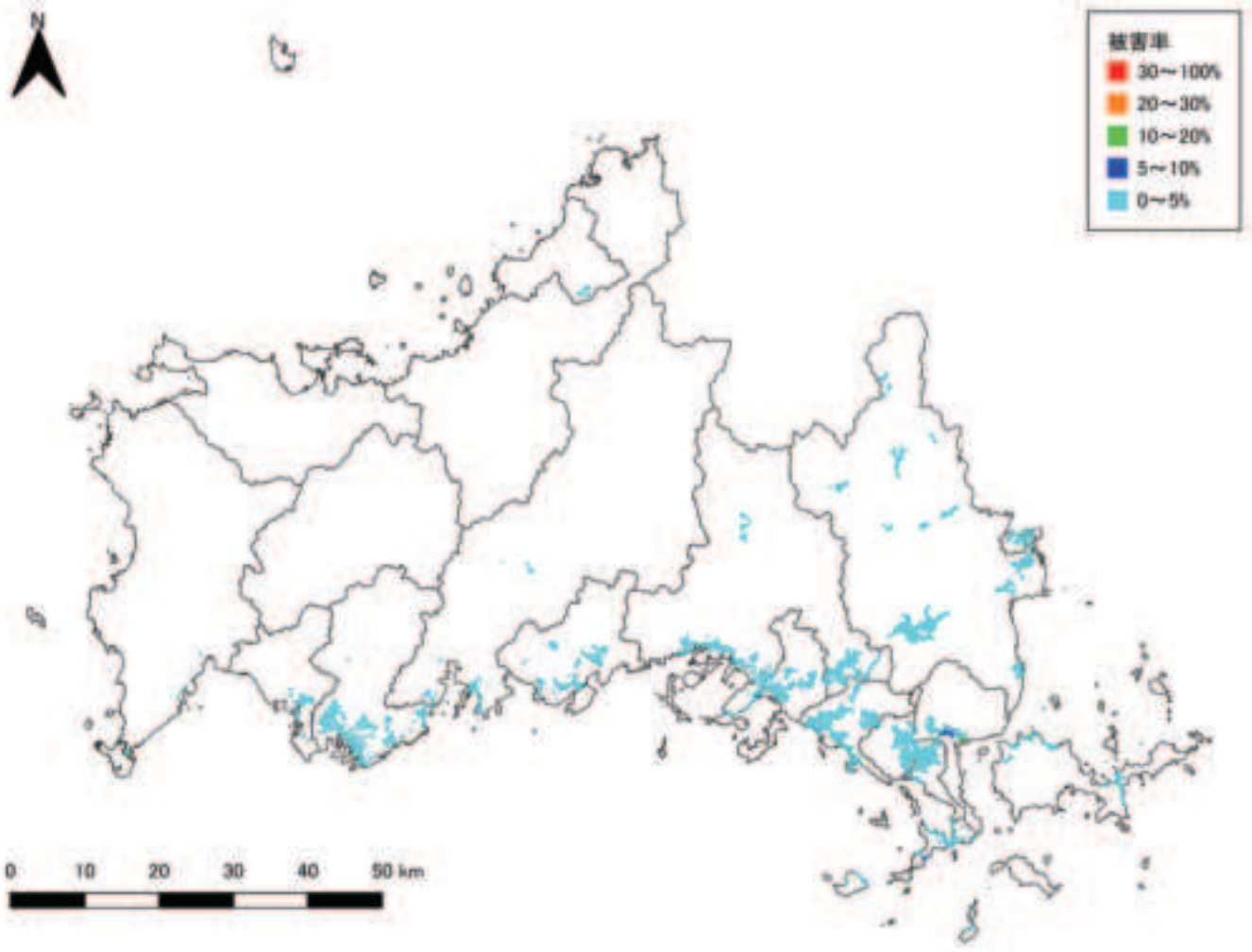
南海トラフ巨大地震：全ケース同一

市町	総延長（km）	被害延長（km）	被害率（%）	処理人口（人）	機能支障人口等（復旧予測）								処理場の被害箇所数（箇所）
					被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
					支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	
下関市	990	*0	*0.0	196,689	32	*0.0	31	*0.0	29	*0.0	0	0.0	0
宇部市	885	4	0.5	123,967	632	0.5	630	0.5	627	0.5	0	0.0	0
山口市	1,036	1	0.1	130,332	120	0.1	117	0.1	113	0.1	0	0.0	0
萩市	415	*0	*0.0	19,508	3	*0.0	2	*0.0	2	*0.0	0	0.0	0
防府市	543	2	0.3	81,224	267	0.3	266	0.3	263	0.3	0	0.0	0
下松市	290	2	0.5	51,409	267	0.5	266	0.5	264	0.5	0	0.0	0
岩国市	403	8	2.0	47,399	1,133	2.4	1,127	2.4	1,118	2.4	0	0.0	0
光市	293	3	1.0	39,259	395	1.0	392	1.0	389	1.0	0	0.0	0
長門市	361	0	0.0	15,515	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
柳井市	167	4	2.7	9,646	256	2.7	255	2.6	252	2.6	0	0.0	0
美祢市	204	0	0.0	7,712	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周南市	807	4	0.5	119,801	566	0.5	562	0.5	555	0.5	0	0.0	0
山陽小野田市	235	*0	0.1	35,442	52	0.1	51	0.1	50	0.1	0	0.0	0
周防大島町	193	6	3.1	3,900	66	1.7	63	1.6	60	1.5	0	0.0	0
和木町	40	1	2.8	5,661	158	2.8	157	2.8	155	2.7	0	0.0	0
上関町	5	*0	2.4	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
田布施町	71	2	2.1	6,890	147	2.1	146	2.1	144	2.1	0	0.0	0
平生町	93	2	2.2	6,796	148	2.2	147	2.2	145	2.1	0	0.0	0
阿武町	50	*0	0.1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	7,082	40	0.6	901,150	4,244	0.5	4,212	0.5	4,166	0.5	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（下水道）

- 被害率分布（被災直後、南海トラフ巨大地震）



ライフライン被害（下水道）

- 市町別総括表（下水道_支障人口、復旧予測）

【下水道被害（支障人口）が最大となるケース】

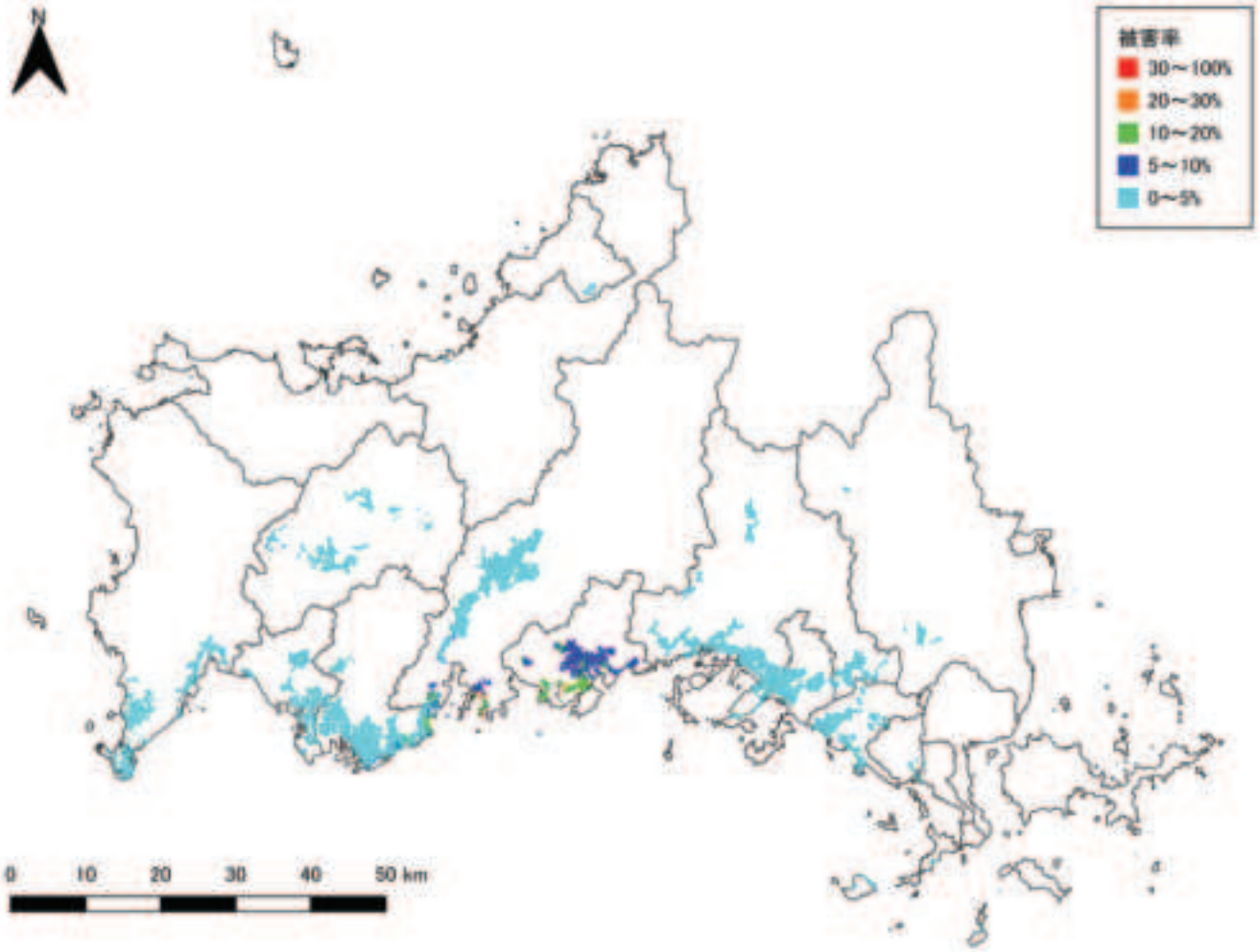
周防灘断層帯主部区間：全ケース同一

市町	総延長（km）	被害延長（km）	被害率（%）	処理人口（人）	機能支障人口等（復旧予測）								処理場の被害箇所数（箇所）
					被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
					支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	支障人口（人）	支障率（%）	
下関市	990	5	0.5	196,689	974	0.5	972	0.5	969	0.5	0	0.0	0
宇部市	885	22	2.4	123,967	3,071	2.5	3,068	2.5	3,062	2.5	0	0.0	0
山口市	1,036	27	2.6	130,332	2,900	2.2	2,895	2.2	2,883	2.2	0	0.0	0
萩市	415	*0	*0.0	19,508	10	*0.0	9	*0.0	8	*0.0	0	0.0	0
防府市	543	38	6.9	81,224	5,627	6.9	5,626	6.9	5,620	6.9	0	0.0	0
下松市	290	3	1.2	51,409	607	1.2	605	1.2	602	1.2	0	0.0	0
岩国市	403	*0	0.1	47,399	19	*0.0	16	*0.0	15	*0.0	0	0.0	0
光市	293	3	0.9	39,259	368	0.9	365	0.9	362	0.9	0	0.0	0
長門市	361	*0	*0.0	15,515	1	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	0
柳井市	167	0	0.0	9,646	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
美祢市	204	2	0.9	7,712	83	1.1	81	1.1	80	1.0	0	0.0	0
周南市	807	13	1.6	119,801	2,075	1.7	2,070	1.7	2,060	1.7	0	0.0	0
山陽小野田市	235	3	1.3	35,442	469	1.3	467	1.3	462	1.3	0	0.0	0
周防大島町	193	0	0.0	3,900	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
和木町	40	0	0.0	5,661	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
上関町	5	*0	0.2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
田布施町	71	*0	0.1	6,890	4	0.1	3	*0.0	2	*0.0	0	0.0	0
平生町	93	*0	0.1	6,796	6	0.1	5	0.1	5	0.1	0	0.0	0
阿武町	50	*0	0.1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	7,082	116	1.6	901,150	16,212	1.8	16,182	1.8	16,128	1.8	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（下水道）

- 被害率分布（被災直後、周防灘断層帯主部区間）



ライフライン被害（電力）

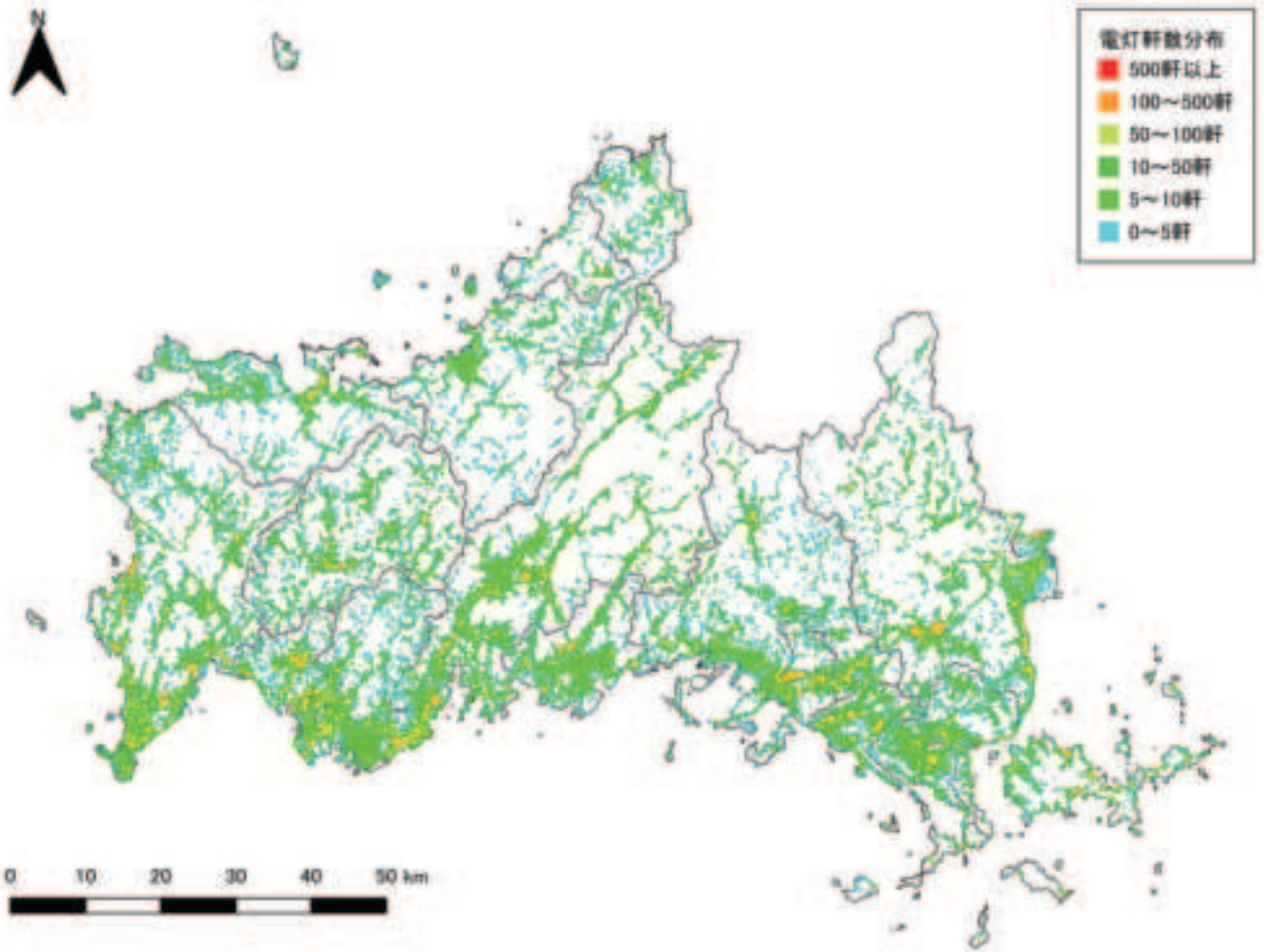
- 入力データ（電柱本数及び電灯軒数）

市町	電柱本数（本）	電灯軒数（軒）		
		架空配電	地中配電	合計
下関市	44,422	170,829	2,852	173,681
宇部市	25,754	87,169	542	87,711
山口市	47,810	136,360	863	137,222
萩市	22,124	34,926	324	35,250
防府市	23,267	65,772	417	66,189
下松市	10,619	36,629	283	36,912
岩国市	33,039	98,423	724	99,146
光市	11,353	39,161	303	39,464
長門市	14,601	23,050	214	23,264
柳井市	9,493	21,091	58	21,149
美祢市	10,483	32,630	204	32,835
周南市	24,386	84,114	651	84,765
山陽小野田市	14,543	49,225	306	49,531
周防大島町	11,676	25,940	71	26,012
和木町	1,287	3,876	29	3,906
上関町	1,443	3,206	9	3,215
田布施町	3,837	8,525	24	8,549
平生町	3,752	8,336	23	8,359
阿武町	2,247	3,548	33	3,581
合計	316,137	932,811	7,928	940,739

※中国電力(株)山口支社より収集した営業所ごとの電柱本数、2025.6時点の電灯軒数を基に作成
※営業所ごとの電柱本数と電灯軒数はメッシュごとの建物棟数によりメッシュへ配分し、市町で集計

ライフライン被害（電力）

- 入力データ（電灯軒数分布）



ライフライン被害（電力）

- 市町別総括表（電力_停電軒数、停電率）

【電力被害（停電軒数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1、冬・夕方、風速15m/s

市町	電柱			電灯					
					停電軒数				
	本数（本）	被害本数（本）	被害率（%）	電灯軒数（軒）	火災（軒）	揺れ（軒）	津波（軒）	計（軒）	停電率（%）
下関市	44,422	*0	*0.0	173,680	0	14	426	441	0.3
宇部市	25,754	*0	*0.0	87,711	0	232	615	847	1.0
山口市	47,810	*0	*0.0	137,222	0	143	457	600	0.4
萩市	22,124	*0	*0.0	35,251	0	26	0	26	0.1
防府市	23,267	*0	*0.0	66,188	0	133	216	349	0.5
下松市	10,619	*0	*0.0	36,912	0	146	24	170	0.5
岩国市	33,039	22	0.1	99,146	205	3,590	1,661	5,456	5.5
光市	11,353	*0	*0.0	39,464	0	219	46	264	0.7
長門市	14,601	0	0.0	23,264	0	0	0	0	0.0
柳井市	9,493	10	0.1	21,149	25	665	487	1,177	5.6
美祢市	10,482	*0	*0.0	32,835	0	*0	0	*0	*0.0
周南市	24,386	*0	*0.0	84,765	0	287	423	710	0.8
山陽小野田市	14,543	*0	*0.0	49,531	0	36	1,340	1,376	2.8
周防大島町	11,676	4	*0.0	26,011	5	725	292	1,022	3.9
和木町	1,287	2	0.1	3,906	*0	290	162	453	11.6
上関町	1,443	*0	*0.0	3,215	0	34	32	66	2.1
田布施町	3,837	*0	*0.0	8,549	*0	90	38	128	1.5
平生町	3,752	*0	*0.0	8,359	*0	59	299	358	4.3
阿武町	2,247	*0	*0.0	3,581	0	1	0	1	*0.0
合計	316,137	39	*0.0	940,739	236	6,689	6,518	13,443	1.4

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（電力）

- 市町別総括表（電力_停電復旧予測）

【電力被害（停電軒数）が最大となるケース】

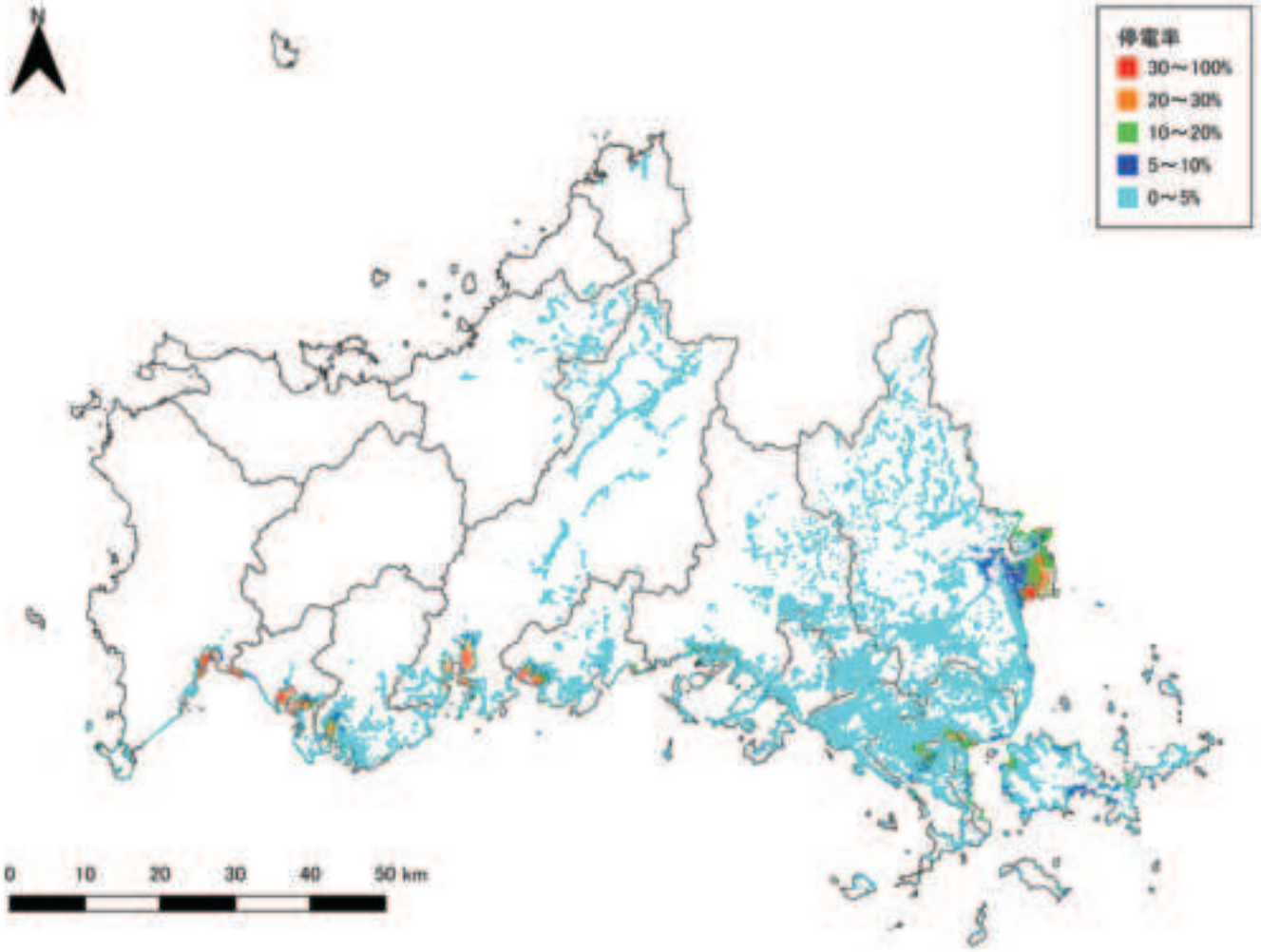
南海トラフ巨大地震：ケース1、冬・夕方、風速15m/s

市町	電灯軒数	直後				1日後		4日後		1週間後	
		停電軒数			停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）
		津波被害（軒）	津波以外の被害（軒）	計（軒）							
下関市	173,680	426	14	441	0.3	14	*0.0	0	0.0	0	0.0
宇部市	87,711	615	232	847	1.0	232	0.3	0	0.0	0	0.0
山口市	137,222	457	143	600	0.4	143	0.1	0	0.0	0	0.0
萩市	35,251	0	26	26	0.1	26	0.1	0	0.0	0	0.0
防府市	66,188	216	133	349	0.5	133	0.2	0	0.0	0	0.0
下松市	36,912	24	146	170	0.5	146	0.4	0	0.0	0	0.0
岩国市	99,146	1,661	3,795	5,456	5.5	3,795	3.8	0	0.0	0	0.0
光市	39,464	46	219	264	0.7	219	0.6	0	0.0	0	0.0
長門市	23,264	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
柳井市	21,149	487	690	1,177	5.6	690	3.3	0	0.0	0	0.0
美祢市	32,835	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	0	0.0
周南市	84,765	423	287	710	0.8	287	0.3	0	0.0	0	0.0
山陽小野田市	49,531	1,340	36	1,376	2.8	36	0.1	0	0.0	0	0.0
周防大島町	26,011	292	730	1,022	3.9	730	2.8	0	0.0	0	0.0
和木町	3,906	162	290	453	11.6	290	7.4	0	0.0	0	0.0
上関町	3,215	32	34	66	2.1	34	1.1	0	0.0	0	0.0
田布施町	8,549	38	90	128	1.5	90	1.0	0	0.0	0	0.0
平生町	8,359	299	59	358	4.3	59	0.7	0	0.0	0	0.0
阿武町	3,581	0	1	1	*0.0	1	*0.0	0	0.0	0	0.0
合計	940,739	6,518	6,925	13,443	1.4	6,925	0.7	0	0.0	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。
※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する停電軒数を応急復旧対象外として除いている。

ライフライン被害（電力）

- 停電率分布（被災直後、南海トラフ巨大地震）



ライフライン被害（電力）

- 市町別総括表（電力_停電軒数、停電率）

【電力被害（停電軒数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬･夕方、風速15m/s

市町	電柱			電灯					
					停電軒数				
	本数（本）	被害本数（本）	被害率（%）	電灯軒数（軒）	火災（軒）	揺れ（軒）	津波（軒）	計（軒）	停電率（%）
下関市	44,422	*0	*0.0	173,680	0	410	76	486	0.3
宇部市	25,754	22	0.1	87,711	425	2,469	187	3,081	3.5
山口市	47,810	82	0.2	137,222	317	3,614	166	4,096	3.0
萩市	22,124	*0	*0.0	35,251	0	8	0	8	*0.0
防府市	23,267	186	0.8	66,188	2,010	8,442	78	10,530	15.9
下松市	10,619	*0	*0.0	36,912	*0	204	12	216	0.6
岩国市	33,039	*0	*0.0	99,146	0	31	256	287	0.3
光市	11,353	*0	*0.0	39,464	0	173	24	197	0.5
長門市	14,601	*0	*0.0	23,264	0	2	0	2	*0.0
柳井市	9,493	0	0.0	21,149	0	0	72	72	0.3
美祢市	10,482	*0	*0.0	32,835	0	133	0	133	0.4
周南市	24,386	2	*0.0	84,765	56	914	100	1,070	1.3
山陽小野田市	14,543	1	*0.0	49,531	39	554	345	938	1.9
周防大島町	11,676	0	0.0	26,011	0	0	78	78	0.3
和木町	1,287	0	0.0	3,906	0	0	15	15	0.4
上関町	1,443	*0	*0.0	3,215	0	5	14	19	0.6
田布施町	3,837	*0	*0.0	8,549	0	4	6	10	0.1
平生町	3,752	*0	*0.0	8,359	0	4	67	71	0.9
阿武町	2,247	*0	*0.0	3,581	0	1	0	1	*0.0
合計	316,137	292	0.1	940,739	2,847	16,970	1,496	21,312	2.3

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（電力）

- 市町別総括表（電力_停電復旧予測）

【電力被害（停電軒数）が最大となるケース】

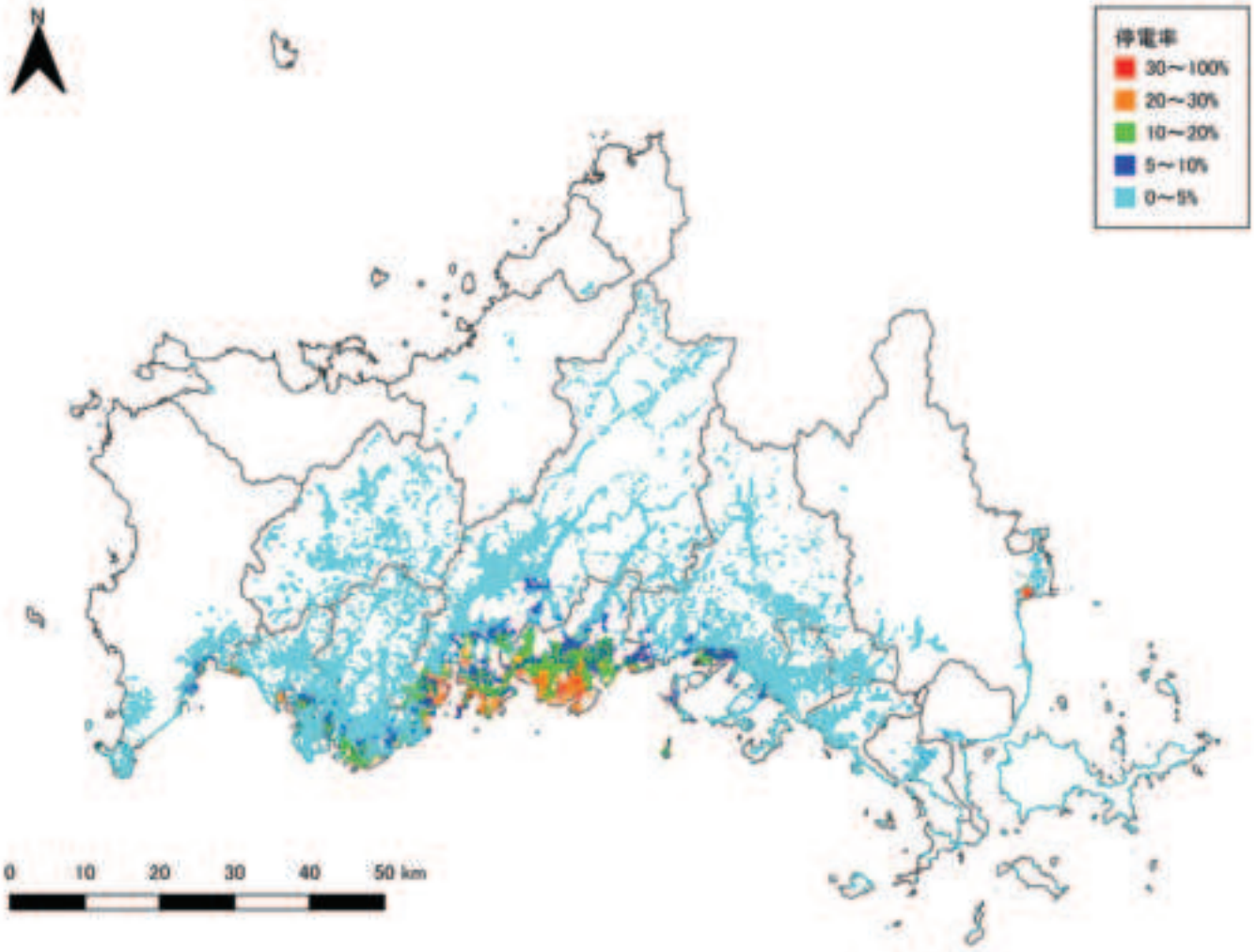
周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬･夕方、風速15m/s

市町	電灯軒数	直後				1日後		4日後		1週間後	
		停電軒数			停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）	停電軒数（軒）	停電率（%）
		津波被害（軒）	津波以外の被害（軒）	計（軒）							
下関市	173,680	76	410	486	0.3	410	0.2	0	0.0	0	0.0
宇部市	87,711	187	2,894	3,081	3.5	2,894	3.3	0	0.0	0	0.0
山口市	137,222	166	3,930	4,096	3.0	3,930	2.9	0	0.0	0	0.0
萩市	35,251	0	8	8	*0.0	8	*0.0	0	0.0	0	0.0
防府市	66,188	78	10,452	10,530	15.9	10,452	15.8	0	0.0	0	0.0
下松市	36,912	12	204	216	0.6	204	0.6	0	0.0	0	0.0
岩国市	99,146	256	31	287	0.3	31	*0.0	0	0.0	0	0.0
光市	39,464	24	173	197	0.5	173	0.4	0	0.0	0	0.0
長門市	23,264	0	2	2	*0.0	2	*0.0	0	0.0	0	0.0
柳井市	21,149	72	0	72	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
美祢市	32,835	0	133	133	0.4	133	0.4	0	0.0	0	0.0
周南市	84,765	100	970	1,070	1.3	970	1.1	0	0.0	0	0.0
山陽小野田市	49,531	345	593	938	1.9	593	1.2	0	0.0	0	0.0
周防大島町	26,011	78	0	78	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
和木町	3,906	15	0	15	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上関町	3,215	14	5	19	0.6	5	0.1	0	0.0	0	0.0
田布施町	8,549	6	4	10	0.1	4	*0.0	0	0.0	0	0.0
平生町	8,359	67	4	71	0.9	4	0.1	0	0.0	0	0.0
阿武町	3,581	0	1	1	*0.0	1	*0.0	0	0.0	0	0.0
合計	940,739	1,496	19,816	21,312	2.3	19,816	2.1	0	0.0	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。
※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する停電軒数を応急復旧対象外として除いている。

ライフライン被害（電力）

- 停電率分布（被災直後、周防灘断層帯主部区間）



ライフライン被害（通信）

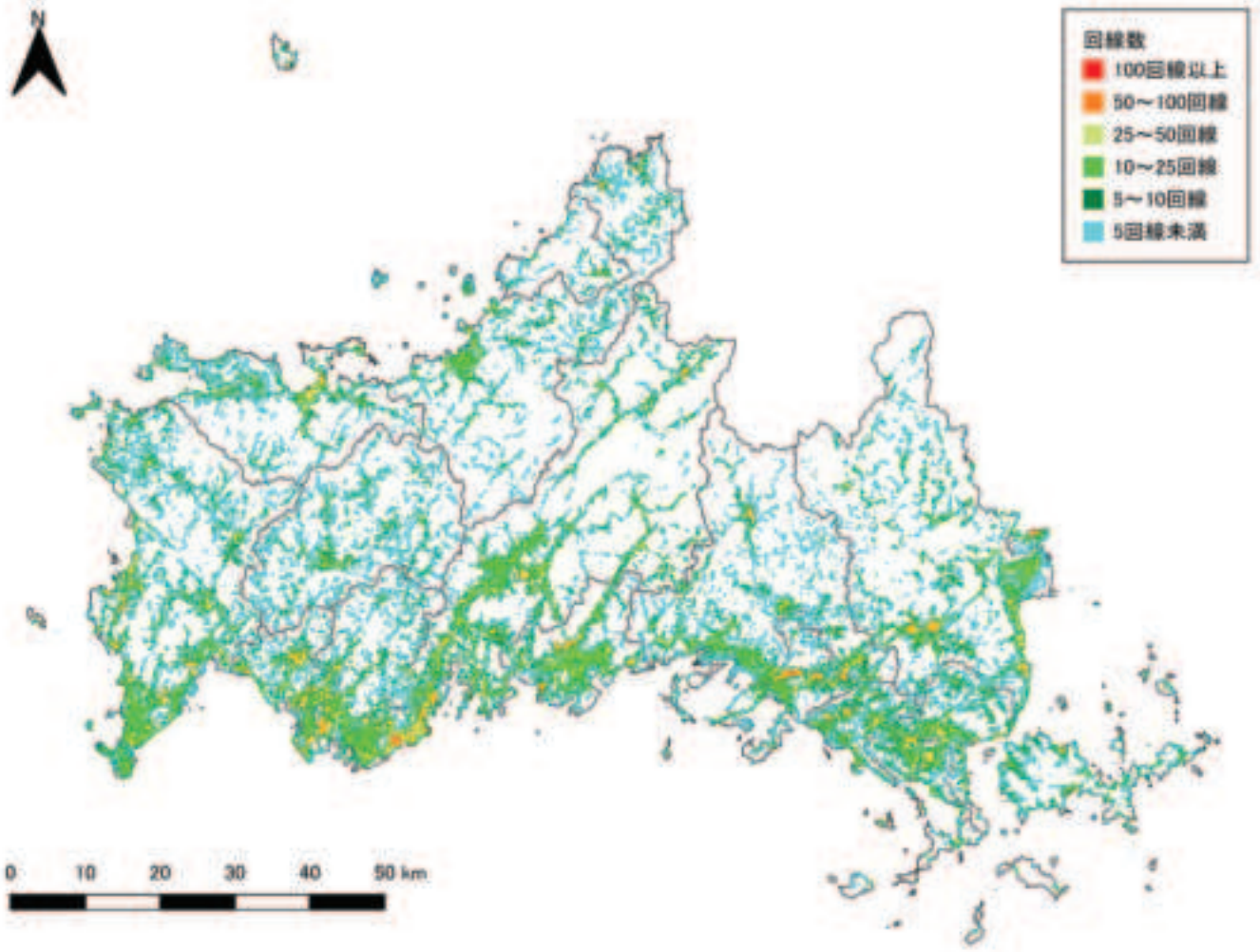
- 入力データ（電柱本数及び回線数）

市町	電柱本数（本）	回線数（回線）
下関市	32,780	67,686
宇部市	20,010	52,326
山口市	28,365	61,004
萩市	13,322	18,193
防府市	12,662	34,841
下松市	5,725	14,455
岩国市	20,533	38,309
光市	7,332	14,220
長門市	8,062	12,219
柳井市	6,309	11,497
美祢市	9,118	8,113
周南市	18,303	37,789
山陽小野田市	7,588	20,894
周防大島町	4,812	5,470
和木町	533	1,659
上関町	583	865
田布施町	3,461	5,468
平生町	2,066	3,933
阿武町	2,143	1,433
合計	203,707	410,374

※NTT西日本(株)山口支店より収集した営業所ごとの電柱本数と回線数をメッシュごとの建物棟数によりメッシュへ配分し、市町で集計

ライフライン被害（通信）

- 入力データ（固定電話回線数分布）



ライフライン被害（通信）

- 市町別総括表（通信_固定電話不通回線数）

【通信被害（固定電話不通回線数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1、冬・夕方、風速15m/s

市町	電柱			回線						
					不通回線					
	本数（本）	被害本数（本）	被害率（%）	回線数（回線）	火災（回線）	揺れ（回線）	津波（回線）	停電（回線）	計（回線）	不通率（%）
下関市	32,780	*0	*0.0	67,686	0	*0	116	129	246	0.4
宇部市	20,010	*0	*0.0	52,326	0	*0	329	442	772	1.5
山口市	28,365	*0	*0.0	61,004	0	*0	184	201	385	0.6
萩市	13,322	*0	*0.0	18,193	0	*0	0	14	14	0.1
防府市	12,662	*0	*0.0	34,841	0	*0	95	165	260	0.7
下松市	5,725	*0	*0.0	14,455	0	*0	3	66	70	0.5
岩国市	20,533	14	0.1	38,309	79	10	581	1,889	2,559	6.7
光市	7,332	*0	*0.0	14,220	0	*0	10	95	105	0.7
長門市	8,062	0	0.0	12,219	0	0	0	0	0	0.0
柳井市	6,309	6	0.1	11,497	14	4	254	548	820	7.1
美祢市	9,118	*0	*0.0	8,113	0	*0	0	*0	*0	*0.0
周南市	18,303	*0	*0.0	37,789	0	*0	160	287	447	1.2
山陽小野田市	7,588	*0	*0.0	20,894	0	*0	538	412	949	4.5
周防大島町	4,812	2	*0.0	5,470	1	1	54	210	266	4.9
和木町	533	1	0.1	1,659	*0	1	62	179	242	14.6
上関町	583	*0	*0.0	865	0	*0	7	18	24	2.8
田布施町	3,461	*0	*0.0	5,468	*0	*0	21	80	102	1.9
平生町	2,066	*0	*0.0	3,933	*0	*0	135	150	286	7.3
阿武町	2,143	*0	*0.0	1,433	0	*0	0	*0	*0	*0.0
合計	203,707	23	*0.0	410,374	94	16	2,551	4,885	7,546	1.8

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（通信）

- 市町別総括表（通信_固定電話不通回線復旧予測）

【通信被害（固定電話不通回線数）が最大となるケース】

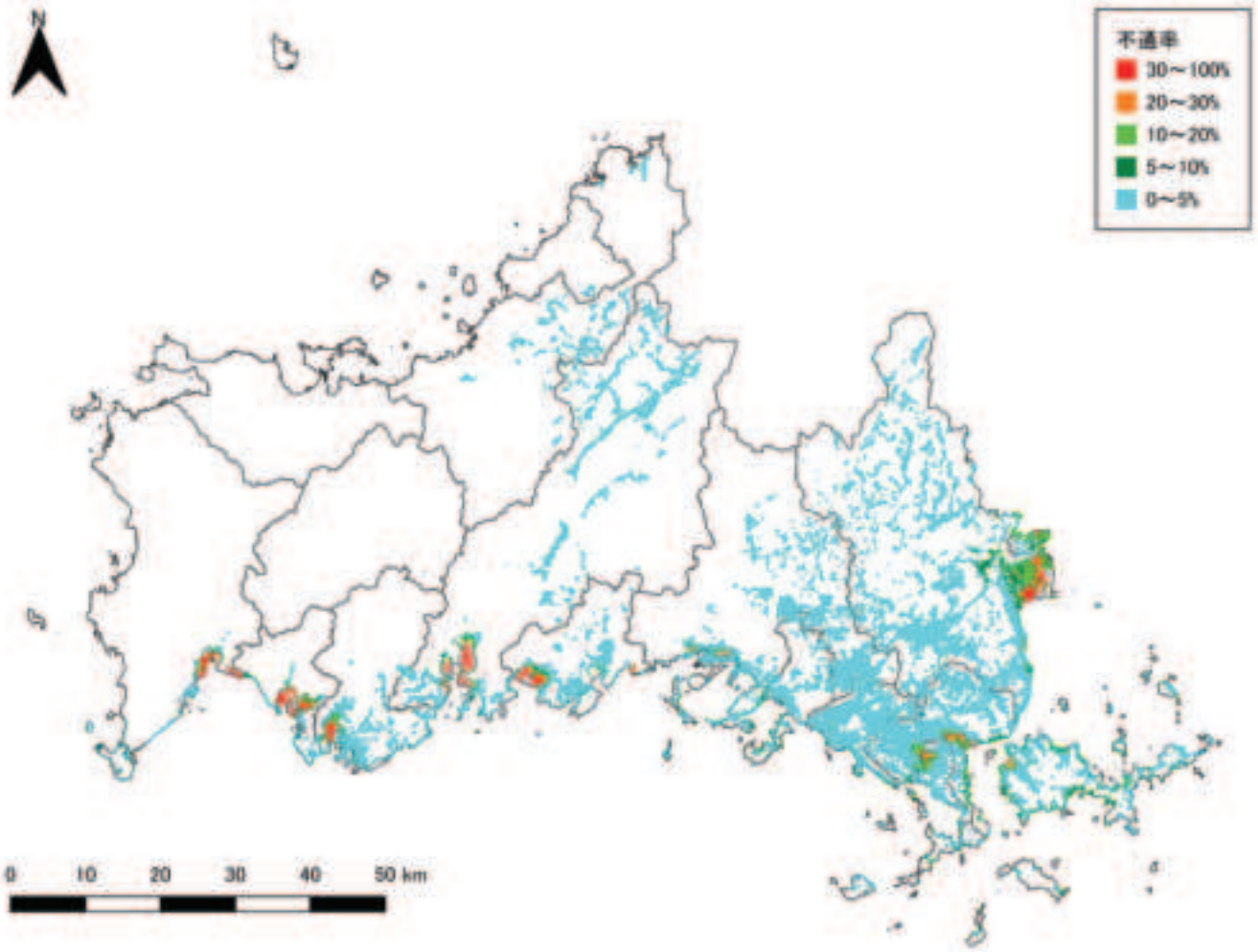
南海トラフ巨大地震：ケース1、冬・夕方、風速15m/s

市町	回線数	直後				1日後		1週間後		1ヶ月後	
		不通回線			不通率（%）	不通回線（回数）	不通率（%）	不通回線（回数）	不通率（%）	不通回線（回数）	不通率（%）
		津波被害（回線）	津波以外の被害（回線）	計（回線）							
下関市	67,686	116	129	246	0.4	129	0.2	129	0.2	0	0.0
宇部市	52,326	329	442	772	1.5	442	0.8	442	0.8	0	0.0
山口市	61,004	184	201	385	0.6	201	0.3	201	0.3	0	0.0
萩市	18,193	0	14	14	0.1	14	0.1	14	0.1	0	0.0
防府市	34,841	95	165	260	0.7	165	0.5	165	0.5	0	0.0
下松市	14,455	3	66	70	0.5	66	0.5	66	0.5	0	0.0
岩国市	38,309	581	1,977	2,559	6.7	1,977	5.2	1,977	5.2	0	0.0
光市	14,220	10	95	105	0.7	95	0.7	95	0.7	0	0.0
長門市	12,219	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
柳井市	11,497	254	566	820	7.1	566	4.9	566	4.9	0	0.0
美祢市	8,113	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0
周南市	37,789	160	287	447	1.2	287	0.8	287	0.8	0	0.0
山陽小野田市	20,894	538	412	949	4.5	412	2.0	412	2.0	0	0.0
周防大島町	5,470	54	212	266	4.9	212	3.9	212	3.9	0	0.0
和木町	1,659	62	180	242	14.6	180	10.9	180	10.9	0	0.0
上関町	865	7	18	24	2.8	18	2.0	18	2.0	0	0.0
田布施町	5,468	21	80	102	1.9	80	1.5	80	1.5	0	0.0
平生町	3,933	135	150	286	7.3	150	3.8	150	3.8	0	0.0
阿武町	1,433	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0
合計	410,374	2,551	4,995	7,546	1.8	4,995	1.2	4,995	1.2	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。
※1日後以降の停電軒数は，津波による建物全壊した需要家数に相当する不通回線数を応急復旧対象外として除いている。

ライフライン被害（通信）

- 固定電話不通率分布（被災直後、南海トラフ巨大地震）



ライフライン被害（通信）

- 市町別総括表（通信_携帯電話不通エリア数）

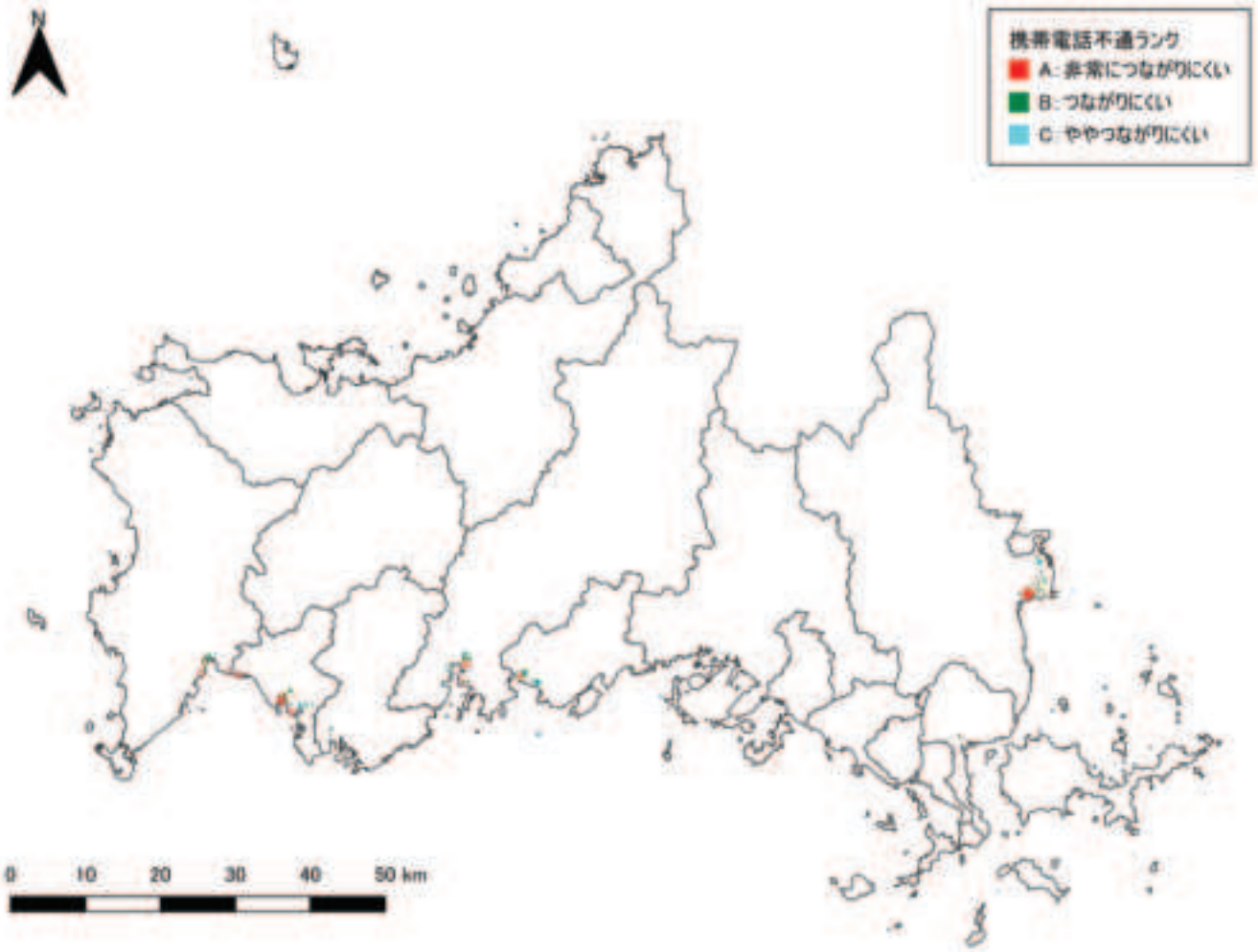
【通信被害（携帯電話不通エリア数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1、冬･夕方、風速15m/s

市町	エリア数	不通エリア数			
		ランクA	ランクB	ランクC	合計
下関市	7,421	11	6	13	30
宇部市	4,044	1	1	4	6
山口市	6,380	14	10	17	41
萩市	3,320	0	0	0	0
防府市	2,877	5	11	14	30
下松市	1,283	0	0	0	0
岩国市	5,287	68	59	73	200
光市	1,577	0	0	0	0
長門市	2,049	0	0	0	0
柳井市	1,405	6	6	8	20
美祢市	2,513	0	0	0	0
周南市	5,134	2	3	5	10
山陽小野田市	1,738	28	16	22	66
周防大島町	1,013	0	0	0	0
和木町	134	0	0	0	0
上関町	134	0	0	0	0
田布施町	607	0	0	0	0
平生町	384	0	0	1	1
阿武町	395	0	0	0	0
合計	47,695	135	112	157	404

ライフライン被害（通信）

- 携帯電話不通ランク分布（被災直後、南海トラフ巨大地震）



ライフライン被害（通信）

- 市町別総括表（通信_固定電話不通回線数）

【通信被害（固定電話不通回線数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬･夕方、風速15m/s

市町	電柱			回線						
					不通回線					
	本数（本）	被害本数（本）	被害率（%）	回線数（回線）	火災（回線）	揺れ（回線）	津波（回線）	停電（回線）	計（回線）	不通率（%）
下関市	32,780	*0	*0.0	67,686	0	*0	8	181	190	0.3
宇部市	20,010	17	0.1	52,326	254	17	83	1,813	2,167	4.1
山口市	28,365	51	0.2	61,004	141	44	60	1,810	2,054	3.4
萩市	13,322	*0	*0.0	18,193	0	*0	0	4	4	*0.0
防府市	12,662	101	0.8	34,841	1,058	110	29	5,277	6,474	18.6
下松市	5,725	*0	*0.0	14,455	*0	*0	1	85	86	0.6
岩国市	20,533	*0	*0.0	38,309	0	*0	65	98	163	0.4
光市	7,332	*0	*0.0	14,220	0	*0	3	71	74	0.5
長門市	8,062	*0	*0.0	12,219	0	*0	0	1	1	*0.0
柳井市	6,309	0	0.0	11,497	0	0	30	38	68	0.6
美祢市	9,118	*0	*0.0	8,113	0	*0	0	33	33	0.4
周南市	18,303	2	*0.0	37,789	25	1	24	475	525	1.4
山陽小野田市	7,588	1	*0.0	20,894	17	1	122	372	512	2.5
周防大島町	4,812	0	0.0	5,470	0	0	10	16	26	0.5
和木町	533	0	0.0	1,659	0	0	3	6	9	0.5
上関町	583	*0	*0.0	865	0	*0	3	5	8	0.9
田布施町	3,461	*0	*0.0	5,468	0	*0	2	7	9	0.2
平生町	2,066	*0	*0.0	3,933	0	*0	27	33	60	1.5
阿武町	2,143	*0	*0.0	1,433	0	*0	0	*0	*0	*0.0
合計	203,707	172	0.1	410,374	1,494	173	469	10,325	12,461	3.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

ライフライン被害（通信）

- 市町別総括表（通信_固定電話不通回線復旧予測）

【通信被害（固定電話不通回線数）が最大となるケース】

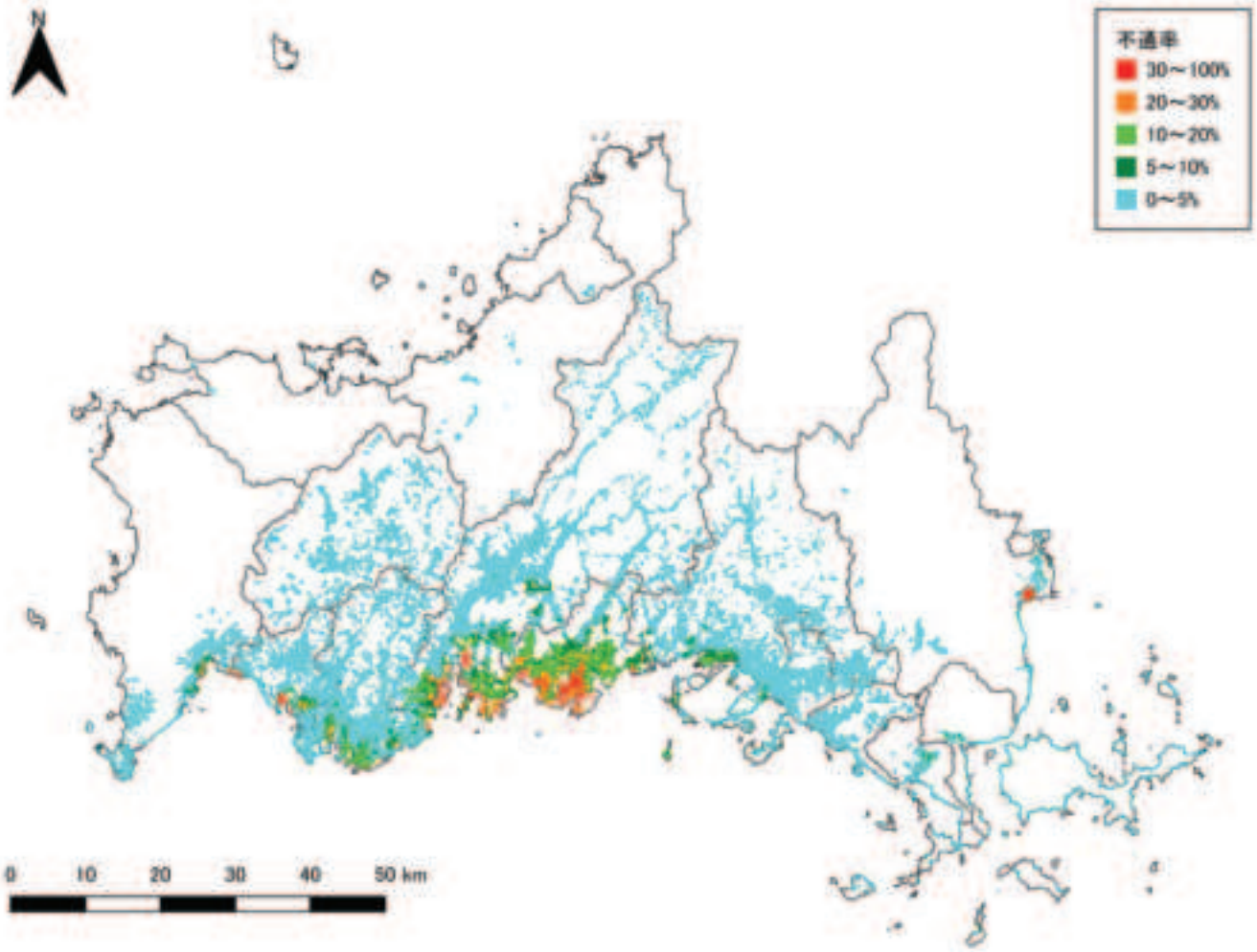
周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬･夕方、風速15m/s

市町	回線数	直後				1日後		1週間後		1ヶ月後	
		不通回線			不通率（%）	不通回線（回数）	不通率（%）	不通回線（回数）	不通率（%）	不通回線（回数）	不通率（%）
		津波被害（回線）	津波以外の被害（回線）	計（回線）							
下関市	67,686	8	182	190	0.3	182	0.3	182	0.3	0	0.0
宇部市	52,326	83	2,084	2,167	4.1	2,084	4.0	2,084	4.0	0	0.0
山口市	61,004	60	1,994	2,054	3.4	1,994	3.3	1,994	3.3	0	0.0
萩市	18,193	0	4	4	*0.0	4	*0.0	4	*0.0	0	0.0
防府市	34,841	29	6,445	6,474	18.6	6,445	18.5	6,445	18.5	0	0.0
下松市	14,455	1	85	86	0.6	85	0.6	85	0.6	0	0.0
岩国市	38,309	65	98	163	0.4	98	0.3	98	0.3	0	0.0
光市	14,220	3	71	74	0.5	71	0.5	71	0.5	0	0.0
長門市	12,219	0	1	1	*0.0	1	*0.0	1	*0.0	0	0.0
柳井市	11,497	30	38	68	0.6	38	0.3	38	0.3	0	0.0
美祢市	8,113	0	33	33	0.4	33	0.4	33	0.4	0	0.0
周南市	37,789	24	501	525	1.4	501	1.3	501	1.3	0	0.0
山陽小野田市	20,894	122	390	512	2.5	390	1.9	390	1.9	0	0.0
周防大島町	5,470	10	16	26	0.5	16	0.3	16	0.3	0	0.0
和木町	1,659	3	6	9	0.5	6	0.4	6	0.4	0	0.0
上関町	865	3	5	8	0.9	5	0.6	5	0.6	0	0.0
田布施町	5,468	2	7	9	0.2	7	0.1	7	0.1	0	0.0
平生町	3,933	27	33	60	1.5	33	0.8	33	0.8	0	0.0
阿武町	1,433	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0
合計	410,374	469	11,992	12,461	3.0	11,992	2.9	11,992	2.9	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。
※1日後以降の停電軒数は，津波による建物全壊した需要家数に相当する不通回線数を応急復旧対象外として除いている。

ライフライン被害（通信）

- 固定電話不通率分布（被災直後、周防灘断層帯主部区間）



ライフライン被害（通信）

- 市町別総括表（通信_携帯電話不通エリア数）

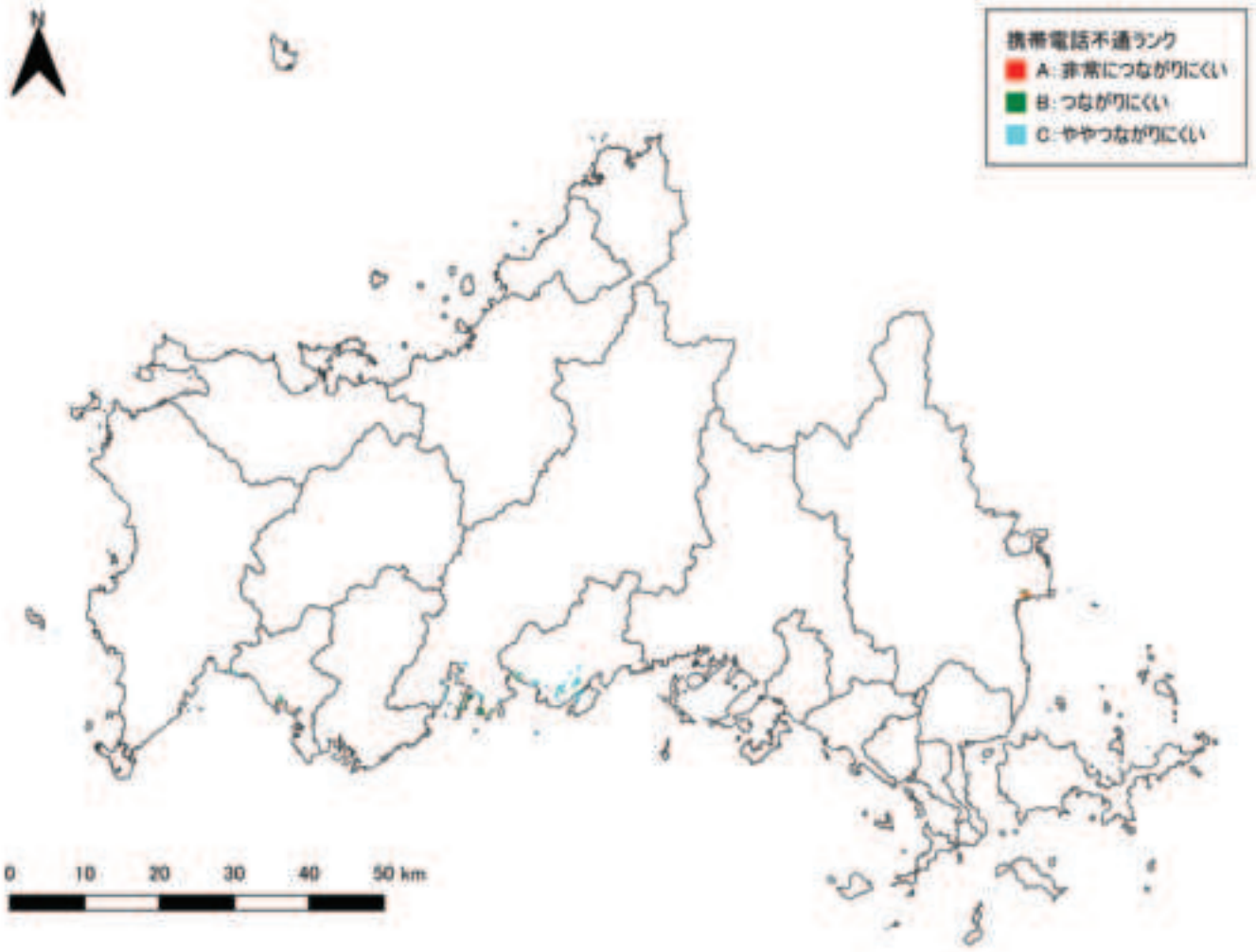
【通信被害（携帯電話不通エリア数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬･夕方、風速15m/s

市町	エリア数	不通エリア数			
		ランクA	ランクB	ランクC	合計
下関市	7,421	0	1	1	2
宇部市	4,044	0	0	3	3
山口市	6,380	5	16	36	57
萩市	3,320	0	0	0	0
防府市	2,877	4	21	189	214
下松市	1,283	0	0	0	0
岩国市	5,287	13	10	3	26
光市	1,577	0	0	0	0
長門市	2,049	0	0	0	0
柳井市	1,405	0	0	0	0
美祢市	2,513	0	0	0	0
周南市	5,134	0	1	0	1
山陽小野田市	1,738	3	4	10	17
周防大島町	1,013	0	0	0	0
和木町	134	0	0	0	0
上関町	134	0	0	0	0
田布施町	607	0	0	0	0
平生町	384	0	0	0	0
阿武町	395	0	0	0	0
合計	47,695	25	53	242	320

ライフライン被害（通信）

- 携帯電話不通ランク分布（被災直後、周防灘断層帯主部区間）



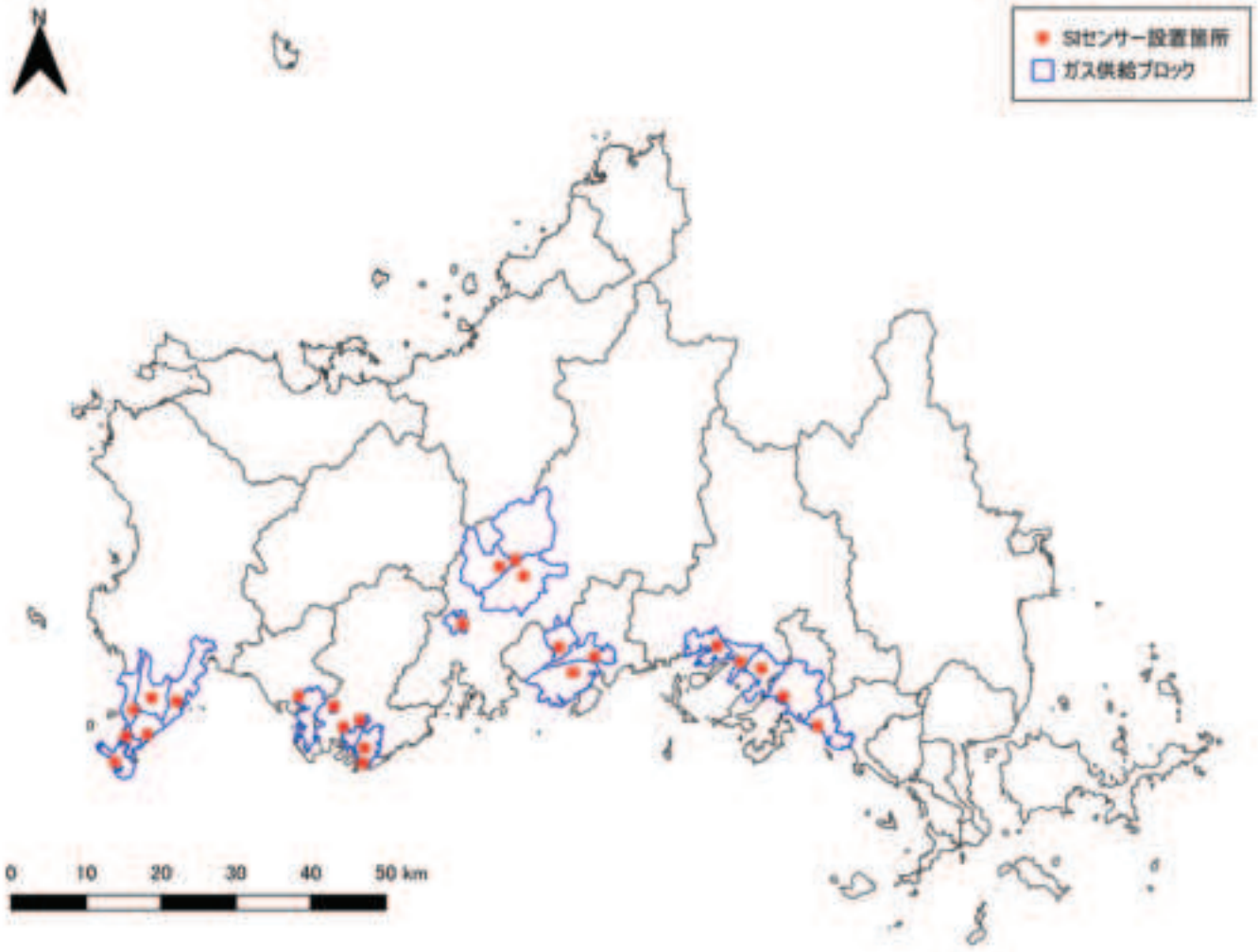
ライフライン被害（ガス）

- 入力データ（ガス供給世帯数）

単位ブロック名称	供給世帯数（世帯）
下関No.1（彦島）ブロック	5,730
下関No.2（西）ブロック	7,695
下関No.3（東）ブロック	12,184
下関No.4（北）ブロック	10,175
下関No.5（勝山）ブロック	11,920
下関No.6（長府）ブロック	9,516
宇部No.1（小野田）ブロック	5,831
宇部No.2（宇部西）ブロック	4,672
宇部No.3（宇部東）ブロック	7,935
宇部No.4（宇部厚南）ブロック	290
山口No.1（宮野・大殿）ブロック	7,693
山口No.2（朝田・吉敷）ブロック	10,181
山口No.3（大内・平川）ブロック	8,524
山口No.4（小郡・新山口）ブロック	1,188
防府No.1（右田）ブロック	1,369
防府No.2（佐波）ブロック	7,109
防府No.3（田島）ブロック	9,603
徳山No.1（新南陽）ブロック	5,013
徳山No.2（徳山西）ブロック	8,776
徳山No.3（徳山東）ブロック	11,478
徳山No.4（下松）ブロック	7,989
徳山No.5（光）ブロック	1,711
合計	156,582

ライフライン被害（ガス）

- 入力データ（ガス供給ブロックとSIセンサー位置）



ライフライン被害（ガス）

- 供給ブロック別総括表（ガス_供給停止戸数）

【ガス被害（供給停止戸数）が最大となるケース】

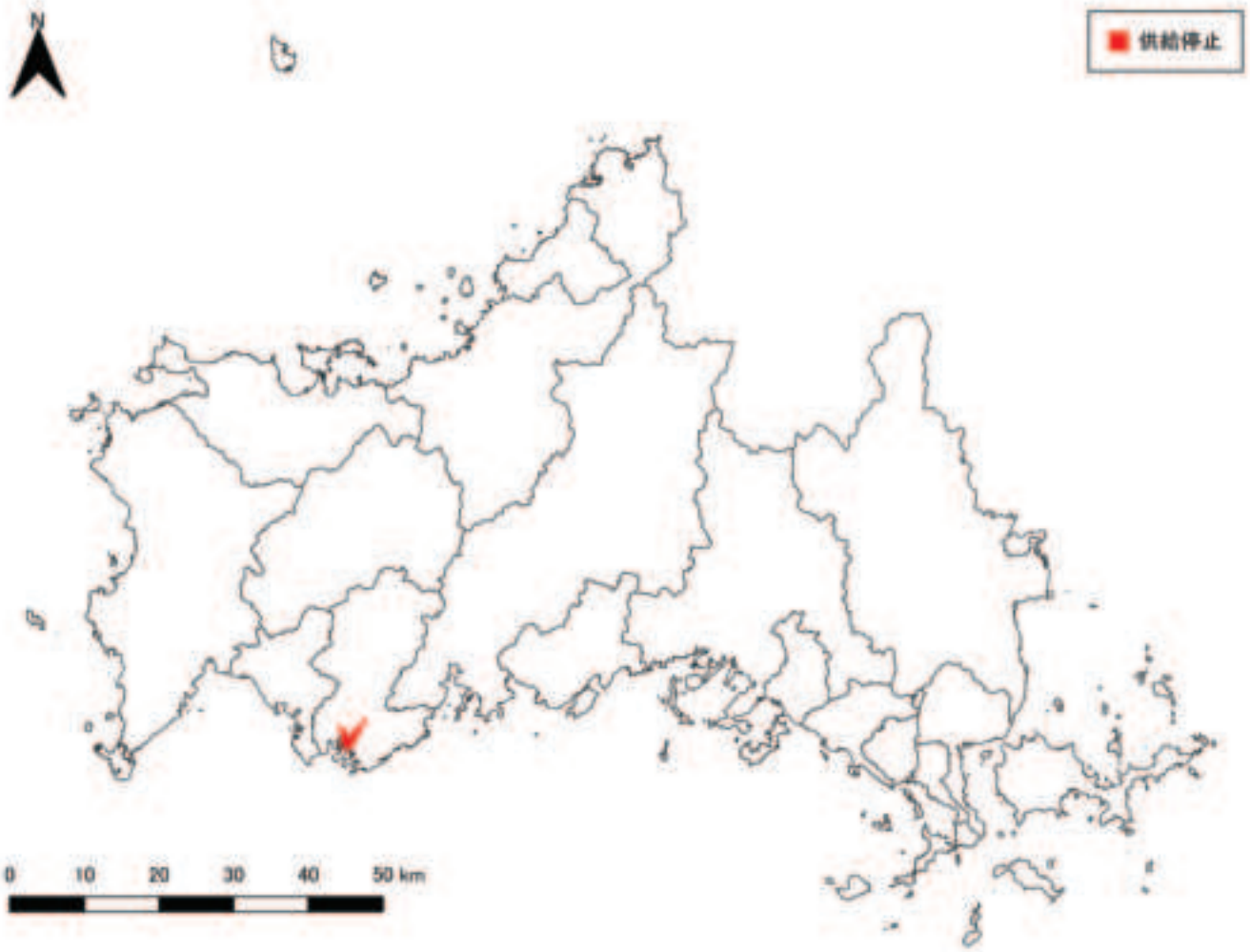
南海トラフ巨大地震：ケース1、冬･夕方、風速15m/s

単位ブロック名称	供給戸数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（%）
下関No.1（彦島）ブロック	5,730	0	0.0
下関No.2（西）ブロック	7,695	0	0.0
下関No.3（東）ブロック	12,184	0	0.0
下関No.4（北）ブロック	10,175	0	0.0
下関No.5（勝山）ブロック	11,920	0	0.0
下関No.6（長府）ブロック	9,516	0	0.0
宇部No.1（小野田）ブロック	5,831	0	0.0
宇部No.2（宇部西）ブロック	4,672	4,672	100.0
宇部No.3（宇部東）ブロック	7,935	0	0.0
宇部No.4（宇部厚南）ブロック	290	0	0.0
山口No.1（宮野・大殿）ブロック	7,693	0	0.0
山口No.2（朝田・吉敷）ブロック	10,181	0	0.0
山口No.3（大内・平川）ブロック	8,524	0	0.0
山口No.4（小郡・新山口）ブロック	1,188	0	0.0
防府No.1（右田）ブロック	1,369	0	0.0
防府No.2（佐波）ブロック	7,109	0	0.0
防府No.3（田島）ブロック	9,603	0	0.0
徳山No.1（新南陽）ブロック	5,013	0	0.0
徳山No.2（徳山西）ブロック	8,776	0	0.0
徳山No.3（徳山東）ブロック	11,478	0	0.0
徳山No.4（下松）ブロック	7,989	0	0.0
徳山No.5（光）ブロック	1,711	0	0.0
合計	156,582	4,672	3.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

ライフライン被害（ガス）

- 供給停止ブロック位置（被災直後、南海トラフ巨大地震）



ライフライン被害（ガス）

- 供給ブロック別総括表（ガス_供給停止戸数）

【ガス被害（供給停止戸数）が最大となるケース】

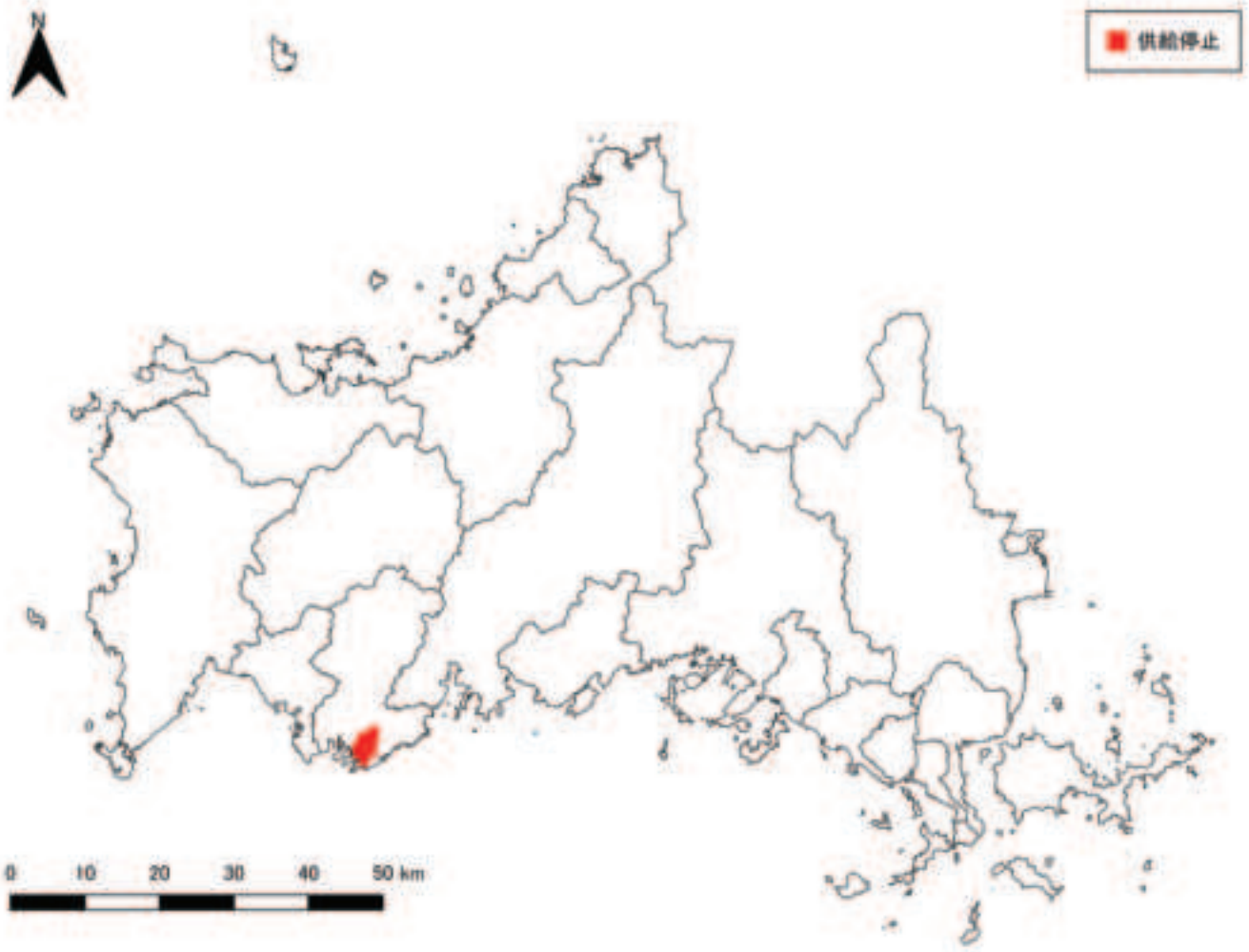
周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬･夕方、風速15m/s

単位ブロック名称	供給戸数（戸）	供給停止戸数（戸）	供給停止率（%）
下関No.1（彦島）ブロック	5,730	0	0.0
下関No.2（西）ブロック	7,695	0	0.0
下関No.3（東）ブロック	12,184	0	0.0
下関No.4（北）ブロック	10,175	0	0.0
下関No.5（勝山）ブロック	11,920	0	0.0
下関No.6（長府）ブロック	9,516	0	0.0
宇部No.1（小野田）ブロック	5,831	0	0.0
宇部No.2（宇部西）ブロック	4,672	0	0.0
宇部No.3（宇部東）ブロック	7,935	7,935	100.0
宇部No.4（宇部厚南）ブロック	290	0	0.0
山口No.1（宮野・大殿）ブロック	7,693	0	0.0
山口No.2（朝田・吉敷）ブロック	10,181	0	0.0
山口No.3（大内・平川）ブロック	8,524	0	0.0
山口No.4（小郡・新山口）ブロック	1,188	0	0.0
防府No.1（右田）ブロック	1,369	0	0.0
防府No.2（佐波）ブロック	7,109	0	0.0
防府No.3（田島）ブロック	9,603	0	0.0
徳山No.1（新南陽）ブロック	5,013	0	0.0
徳山No.2（徳山西）ブロック	8,776	0	0.0
徳山No.3（徳山東）ブロック	11,478	0	0.0
徳山No.4（下松）ブロック	7,989	0	0.0
徳山No.5（光）ブロック	1,711	0	0.0
合計	156,582	7,935	5.1

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

ライフライン被害（ガス）

- 供給停止ブロック位置（被災直後、周防灘断層帯主部区間）



交通施設被害想定結果（案）

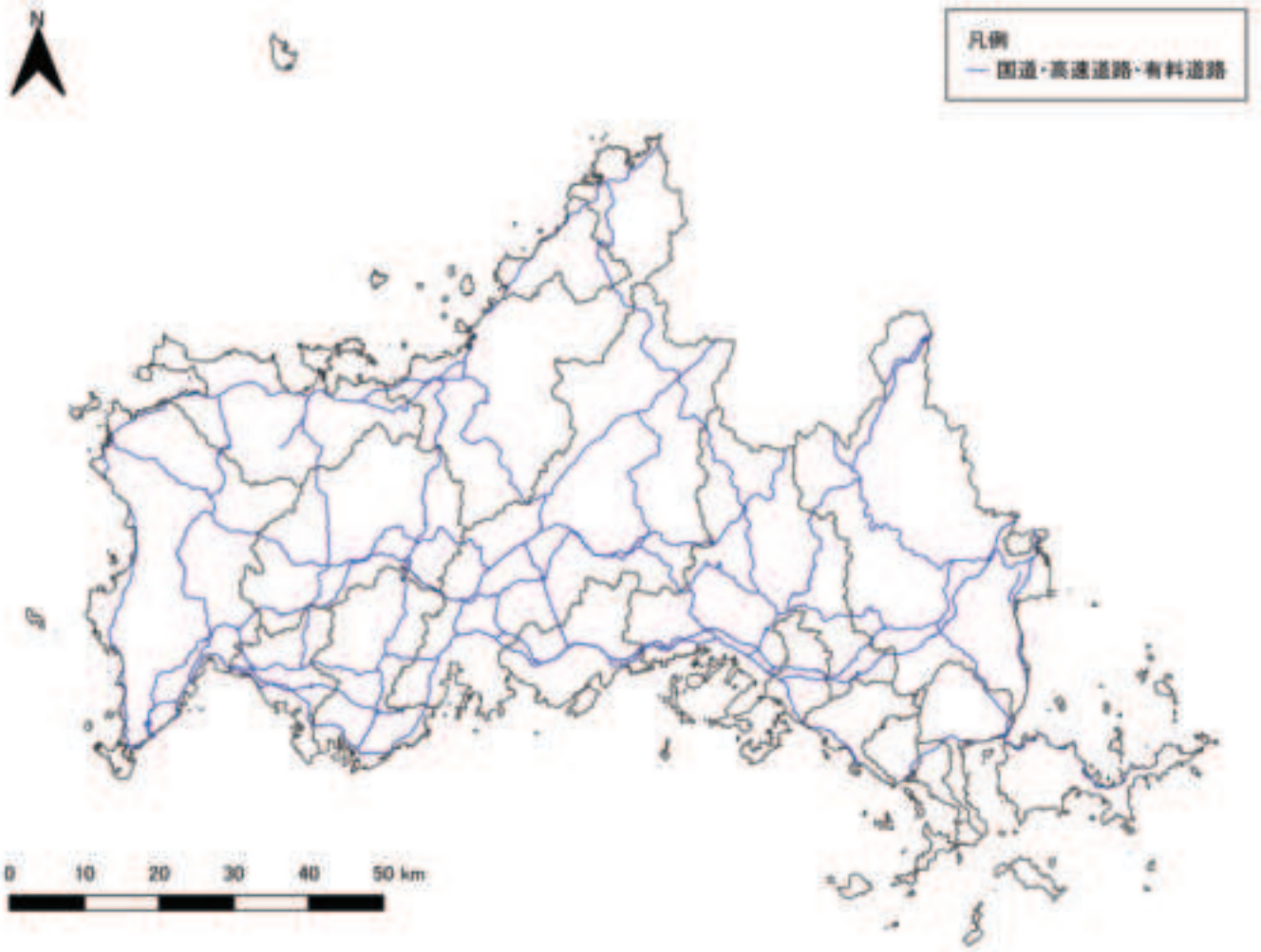
交通施設被害（道路）

- 入力データ（道路延長）

国道・高速道路・有料道路（km）	国道・高速道路・有料道路以外の道路（km）	合計
2,376	16,066	18,442

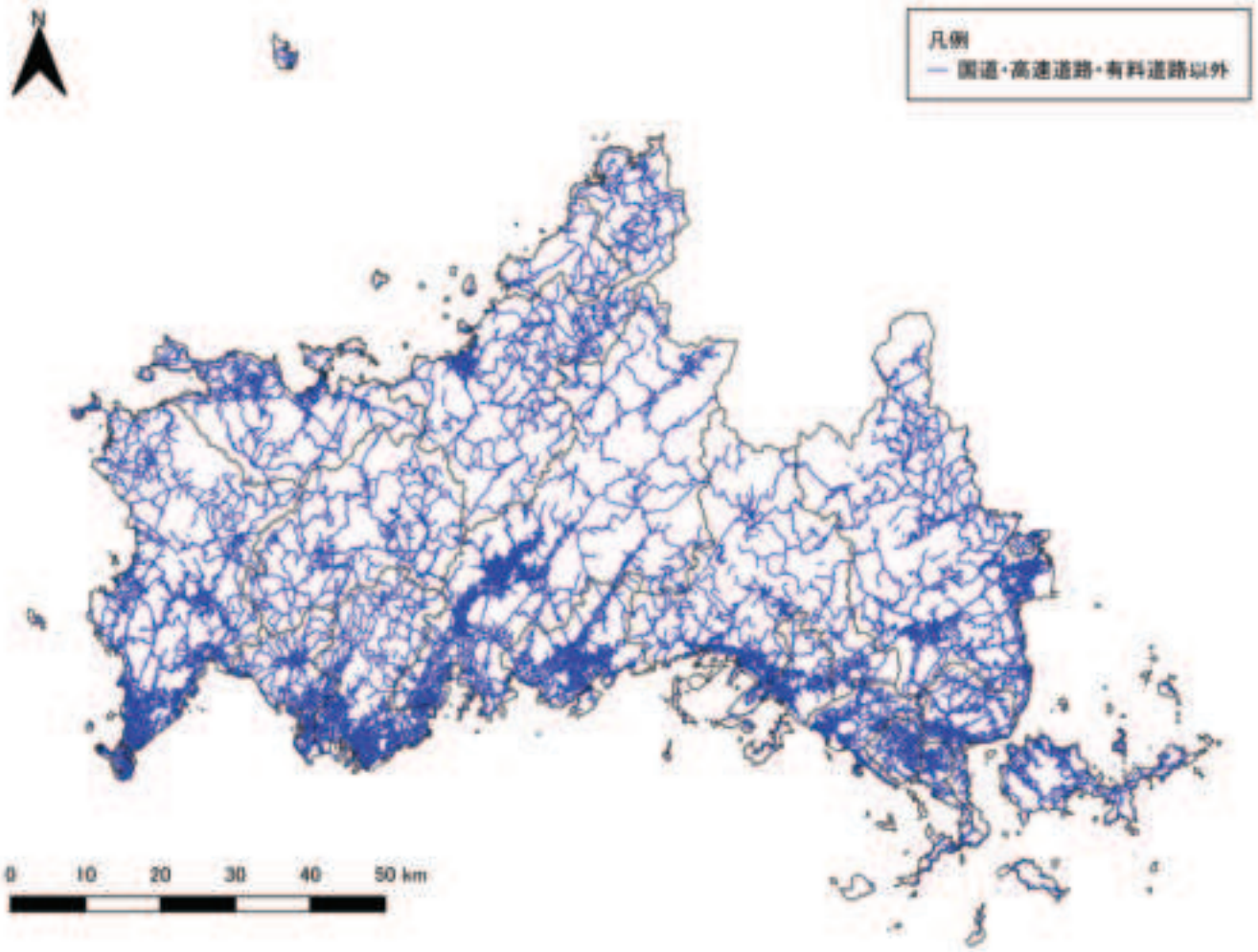
交通施設被害（道路）

- 入力データ（国道・高速道路・有料道路位置）



交通施設被害（道路）

- 入力データ（国道・高速道路・有料道路以外の道路位置）



交通施設被害（道路）

- 市町別総括表（道路被害箇所）

【道路被害（被害箇所数）が最大となるケース】

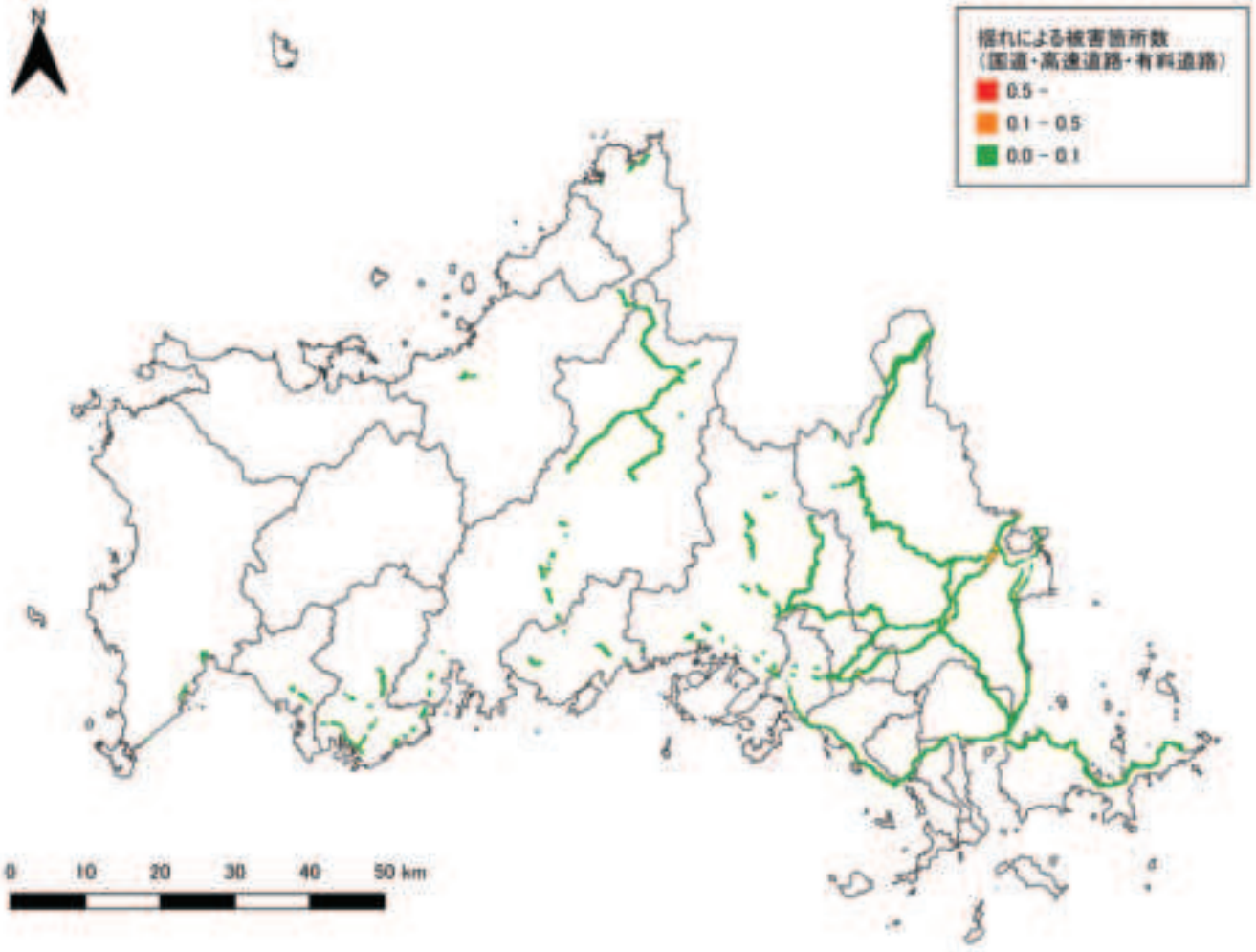
南海トラフ巨大地震：ケース1

市町	道路延長(km)			被害個所数(箇所)						
	国道等	その他	合計	国道等			その他			合計
				非浸水域	浸水域	小計	非浸水域	浸水域	小計	
下関市	325	2,290	2,616	*0	5	5	*0	6	6	11
宇部市	136	1,283	1,419	1	2	3	10	9	18	22
山口市	446	2,262	2,708	3	*0	4	10	12	22	26
萩市	154	1,306	1,460	*0	0	*0	4	0	4	4
防府市	106	884	990	*0	*0	*0	4	10	14	15
下松市	52	378	430	*0	0	*0	4	*0	5	6
岩国市	292	1,945	2,237	16	3	19	58	19	77	96
光市	24	527	550	1	*0	1	11	*0	11	12
長門市	96	780	876	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	27	519	547	2	1	4	17	6	24	27
美祢市	200	721	921	0	0	0	*0	0	*0	*0
周南市	323	1,341	1,664	5	*0	5	13	3	16	21
山陽小野田市	108	570	678	*0	2	2	*0	11	12	14
周防大島町	44	496	540	5	*0	5	24	3	26	32
和木町	1	52	53	*0	*0	*0	2	2	4	4
上関町	0	92	92	0	0	0	4	*0	5	5
田布施町	7	265	272	*0	*0	*0	8	*0	9	10
平生町	5	181	186	*0	*0	*0	6	4	10	11
阿武町	30	173	203	0	0	0	*0	0	*0	*0
合計	2,376	16,066	18,442	37	17	53	176	87	263	316

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

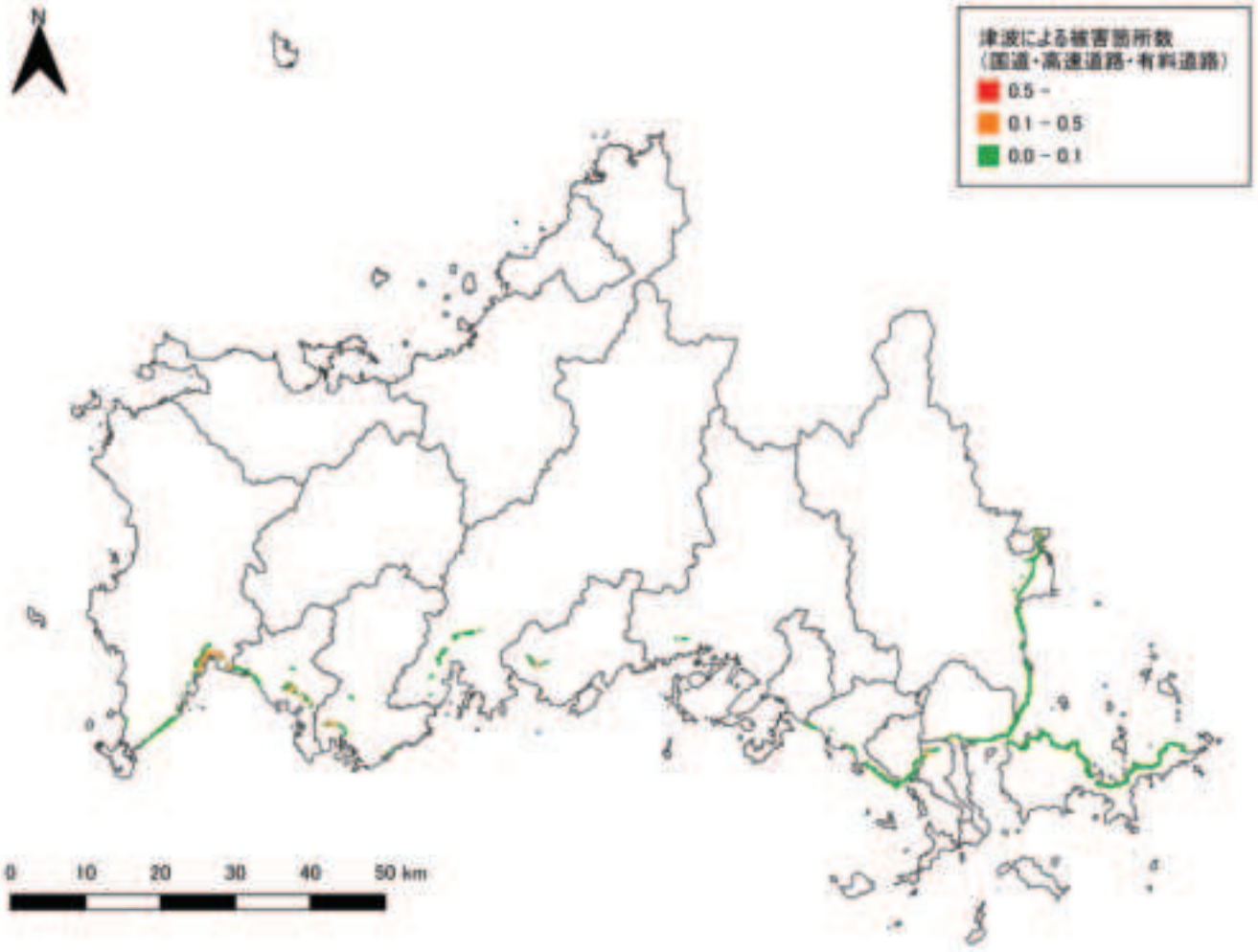
交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（南海トラフ巨大地震）
（国道・高速道路・有料道路、非浸水域）



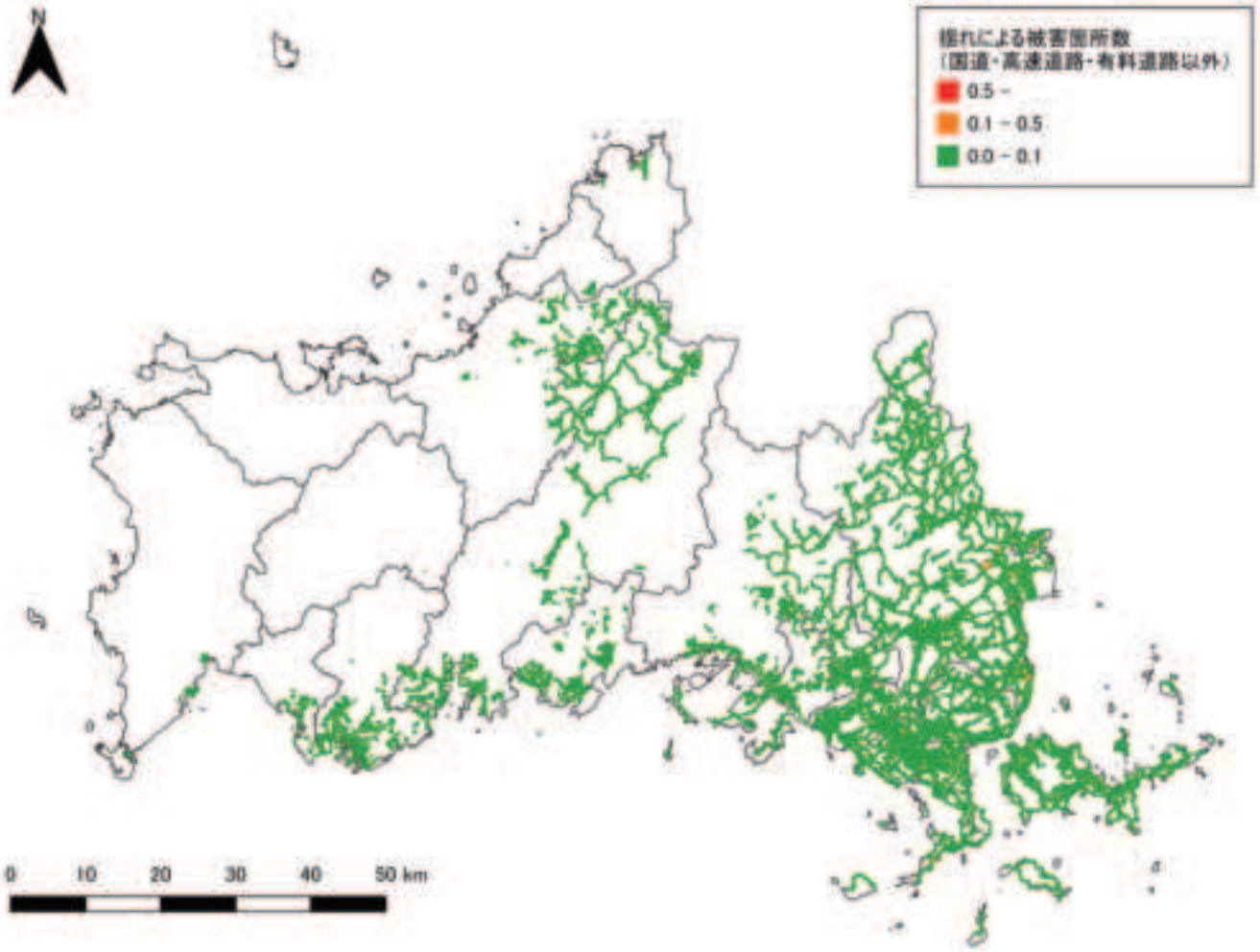
交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（南海トラフ巨大地震）
（国道・高速道路・有料道路、浸水域）



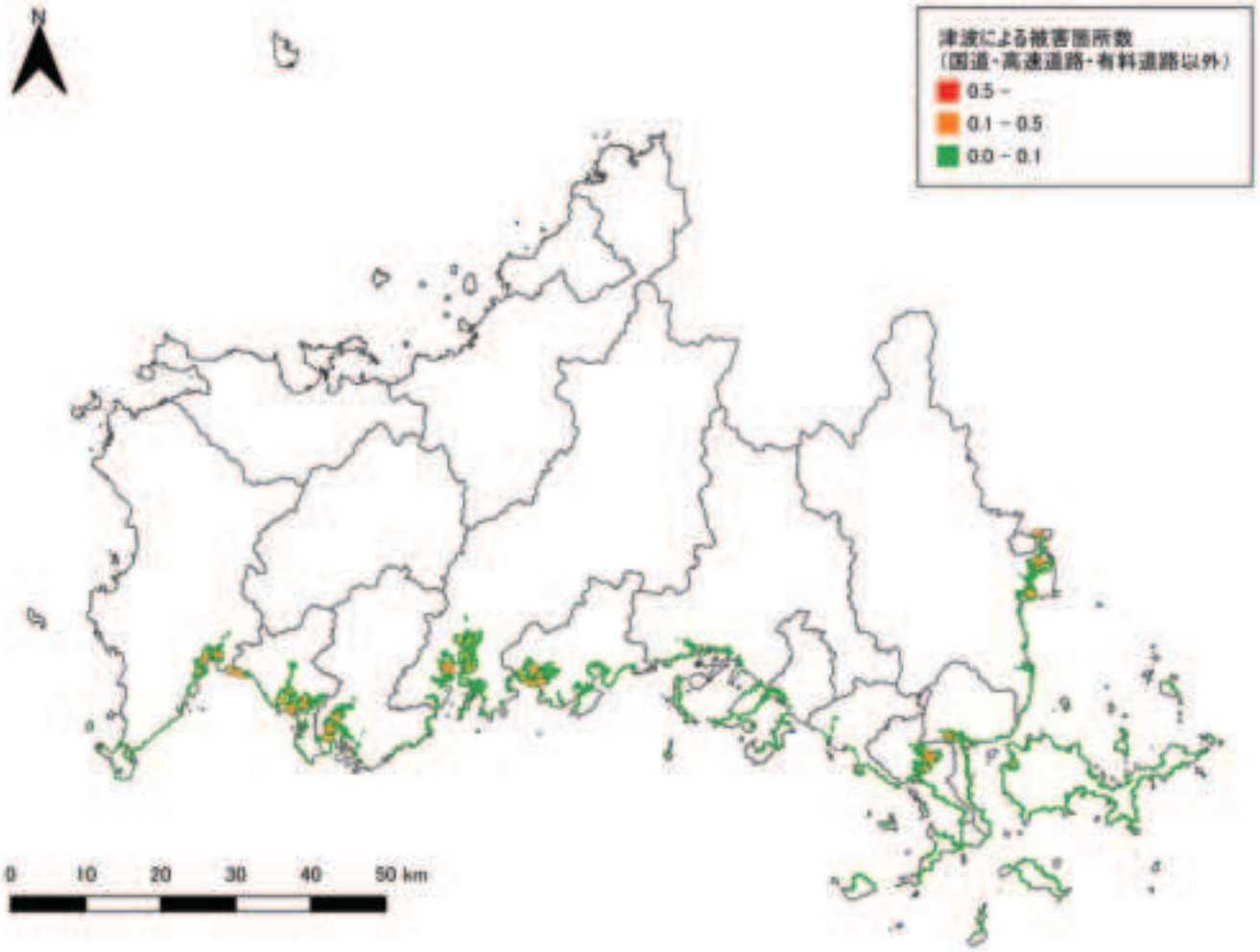
交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（南海トラフ巨大地震）
（国道・高速道路・有料道路以外、非浸水域）



交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（南海トラフ巨大地震）
（国道・高速道路・有料道路以外、浸水域）



交通施設被害（道路）

- 市町別総括表（道路被害箇所）

【道路被害（被害箇所数）が最大となるケース】

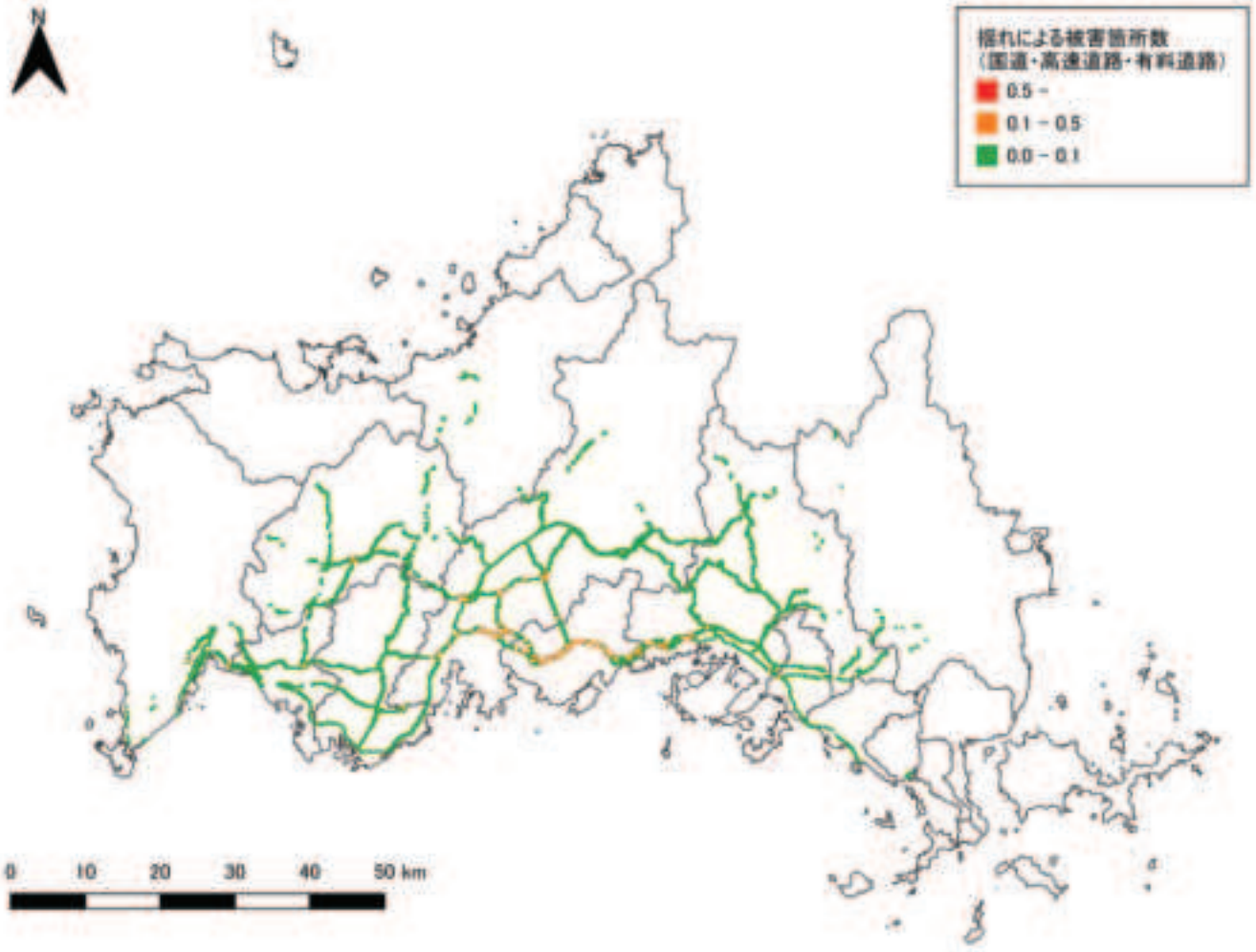
周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	道路延長(km)			被害個所数(箇所)						
	国道等	その他	合計	国道等			その他			合計
				非浸水域	浸水域	小計	非浸水域	浸水域	小計	
下関市	325	2,290	2,616	5	1	6	14	1	16	22
宇部市	136	1,283	1,419	11	*0	12	52	4	56	68
山口市	446	2,262	2,708	29	*0	29	79	8	88	117
萩市	154	1,306	1,460	*0	0	*0	*0	0	*0	1
防府市	106	884	990	17	*0	17	59	7	66	82
下松市	52	378	430	3	0	3	10	*0	10	13
岩国市	292	1,945	2,237	*0	*0	1	1	8	9	10
光市	24	527	550	*0	*0	*0	7	*0	7	8
長門市	96	780	876	0	0	0	*0	0	*0	*0
柳井市	27	519	547	0	*0	*0	0	2	2	3
美祢市	200	721	921	7	0	7	10	0	10	16
周南市	323	1,341	1,664	17	*0	17	38	1	39	56
山陽小野田市	108	570	678	4	1	5	11	7	18	24
周防大島町	44	496	540	0	*0	*0	0	*0	*0	*0
和木町	1	52	53	0	*0	*0	0	*0	*0	*0
上関町	0	92	92	0	0	0	*0	*0	*0	*0
田布施町	7	265	272	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0
平生町	5	181	186	0	*0	*0	*0	1	1	1
阿武町	30	173	203	0	0	0	*0	0	*0	*0
合計	2,376	16,066	18,442	93	5	99	285	41	326	424

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

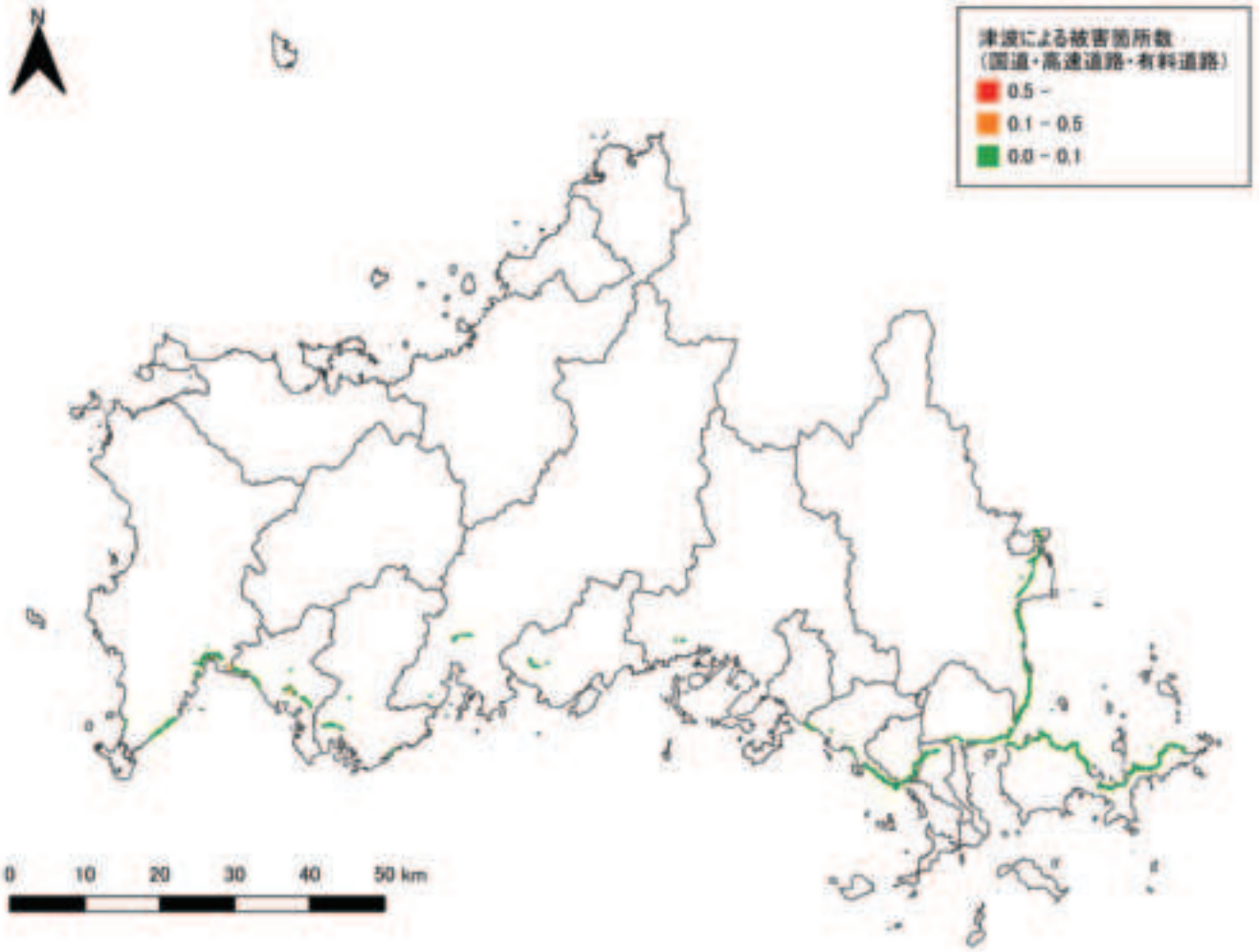
交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（周防灘断層帯主部区間）
（国道・高速道路・有料道路、非浸水域）



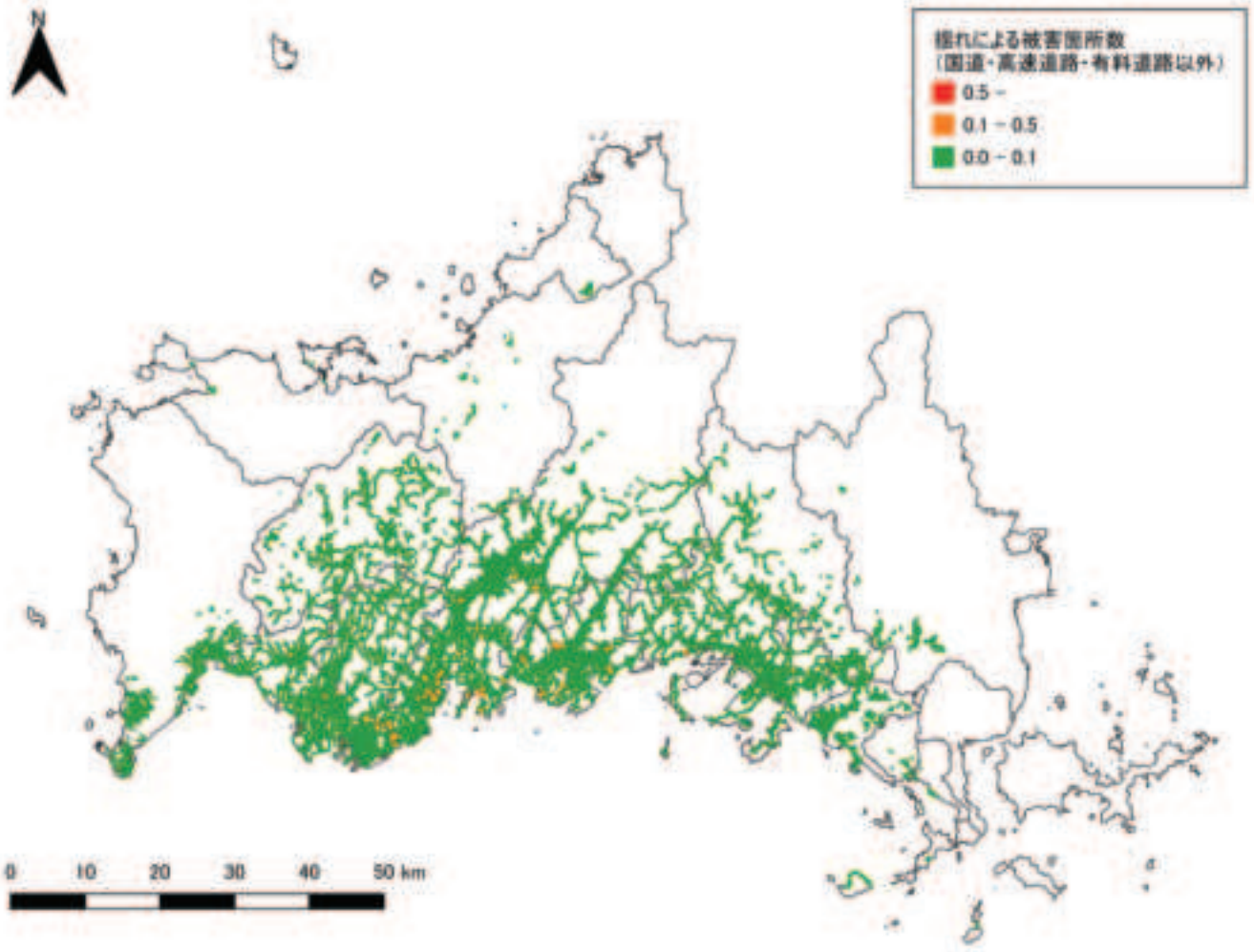
交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（周防灘断層帯主部区間）
（国道・高速道路・有料道路、浸水域）



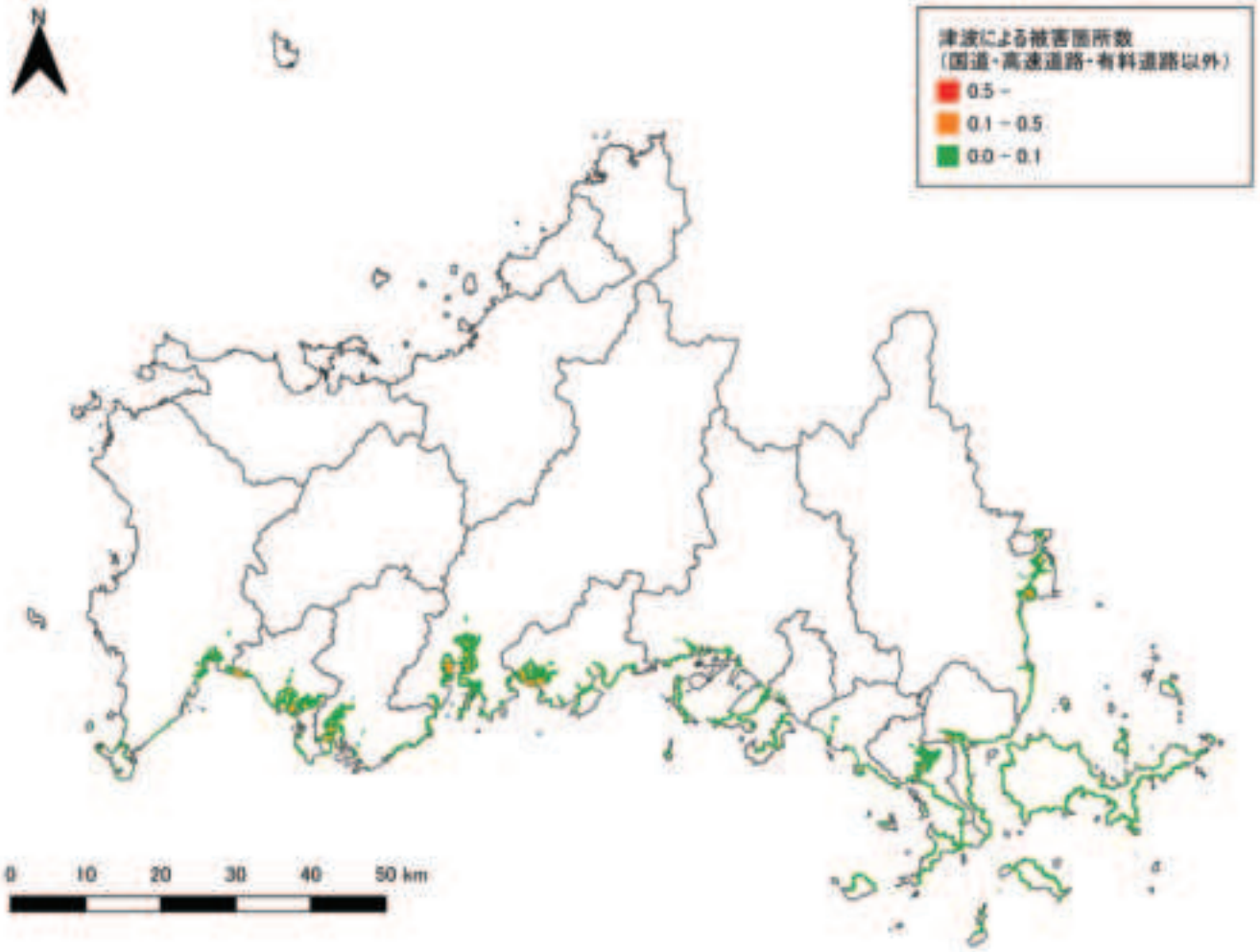
交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（周防灘断層帯主部区間）
（国道・高速道路・有料道路以外、非浸水域）



交通施設被害（道路）

- 道路の被害箇所数分布（周防灘断層帯主部区間）
（国道・高速道路・有料道路以外、浸水域）



交通施設被害（鉄道）

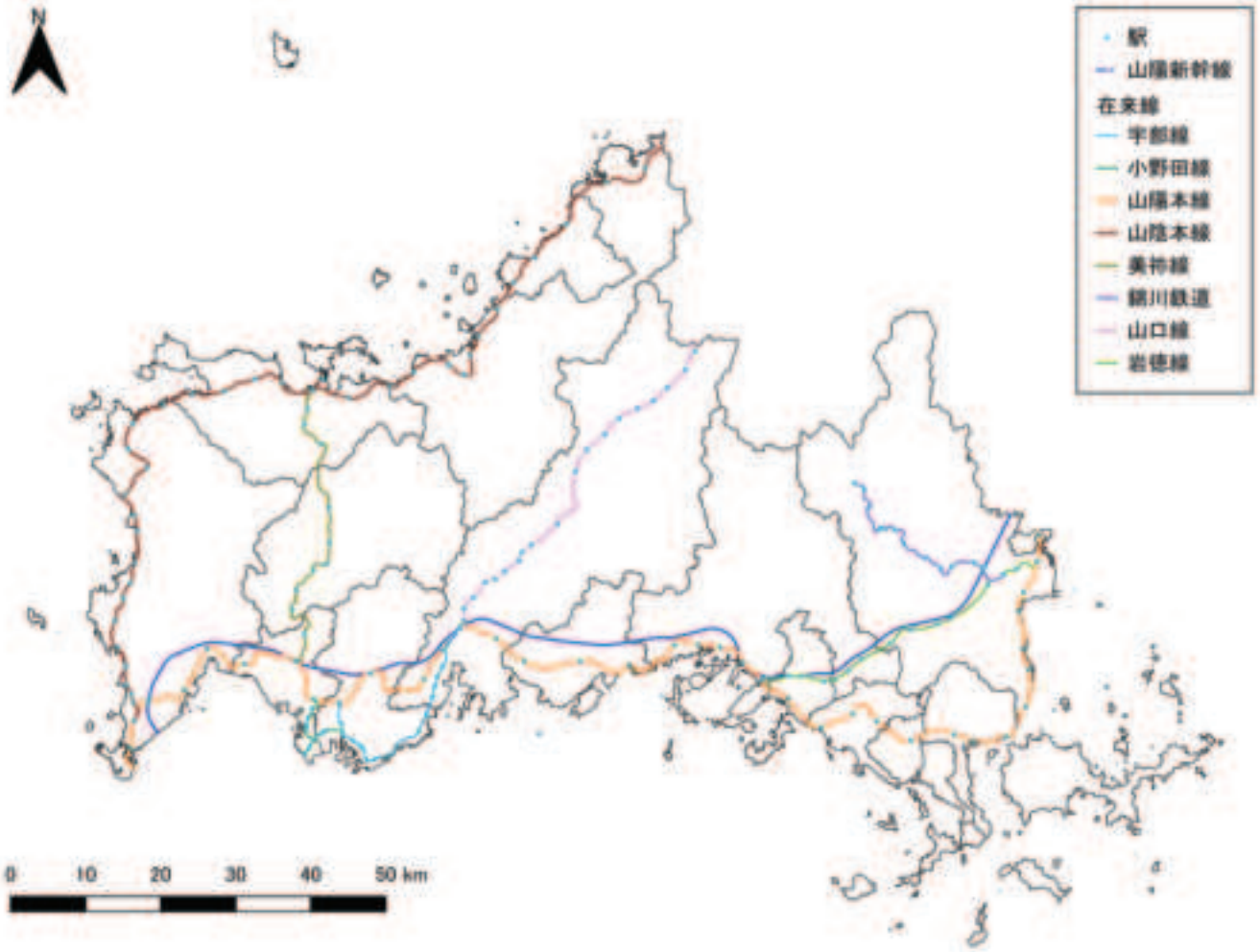
- 入力データ（鉄道延長）

（単位：km）

新幹線	在来線	合計
140	573	713

交通施設被害（鉄道）

- 入力データ（鉄道位置）



交通施設被害（鉄道）

- 市町別総括表（鉄道被害箇所）

【鉄道被害（被害箇所数）が最大となるケース】
南海トラフ巨大地震：ケース5

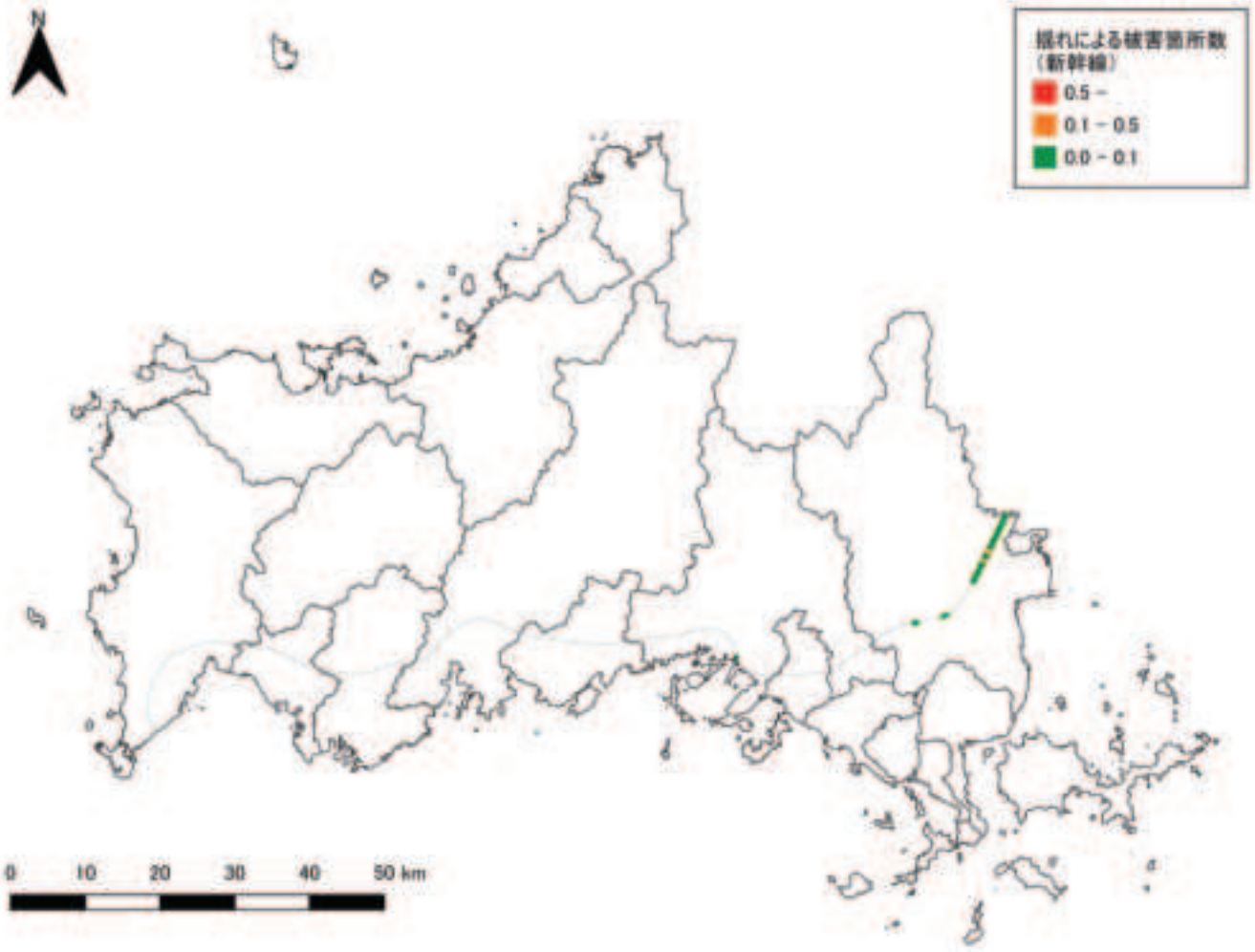
（単位：箇所）

市町名	被害箇所			
	新幹線		在来線等	
	揺れ	津波	揺れ	津波
下関市	0	0	54	41
宇部市	0	0	1	0
山口市	0	0	6	0
萩市	0	0	0	0
防府市	0	0	6	7
下松市	0	0	1	5
岩国市	3	0	21	4
光市	0	0	24	3
長門市	0	0	0	0
柳井市	0	0	0	0
美祢市	0	0	0	0
周南市	*0	*0	0	0
山陽小野田市	0	0	0	0
周防大島町	0	0	0	0
和木町	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0
阿武町	0	0	0	0
合計	3	0	113	59

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

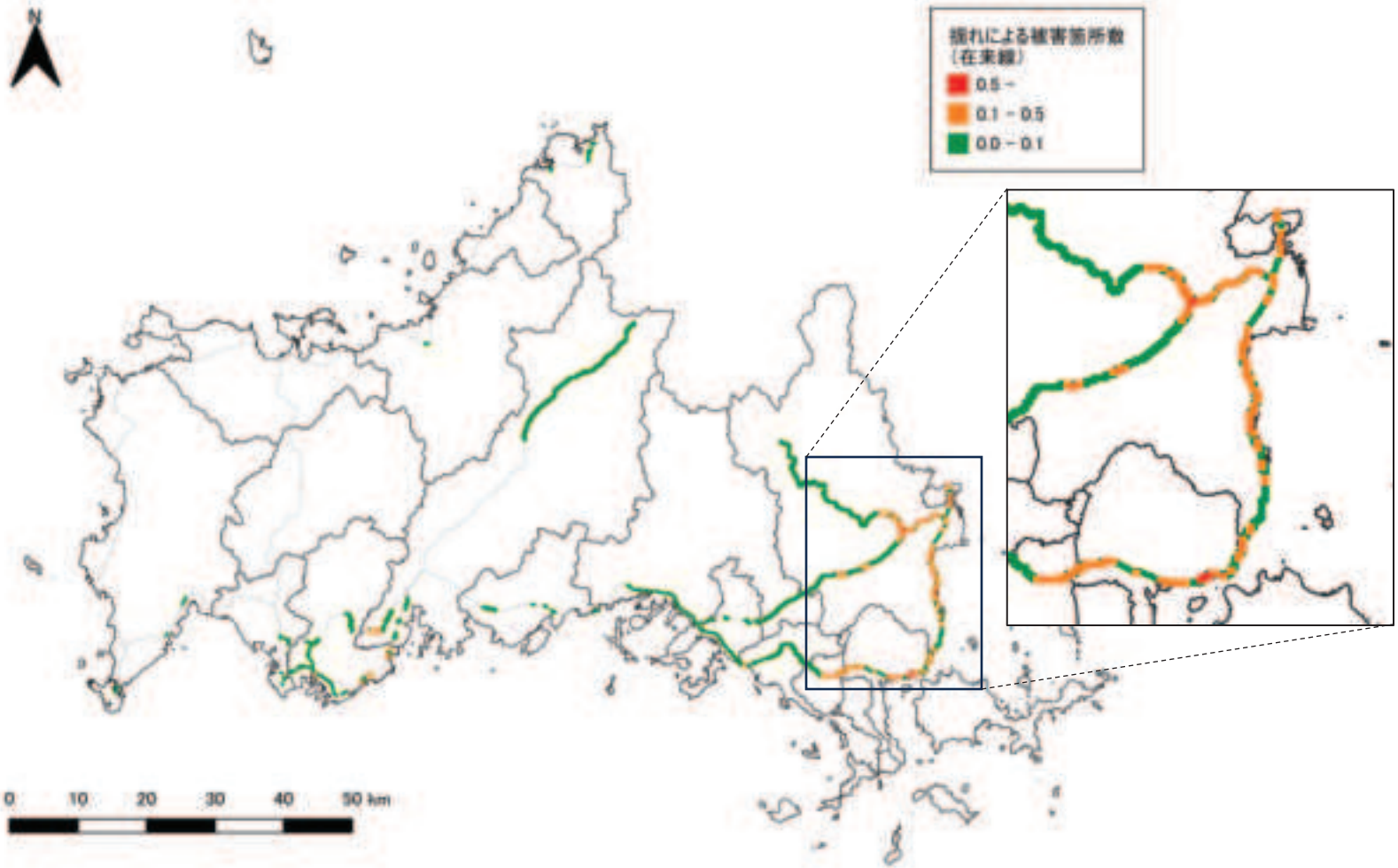
交通施設被害（鉄道）

- 被害箇所分布（揺れ、新幹線、南海トラフ巨大地震）



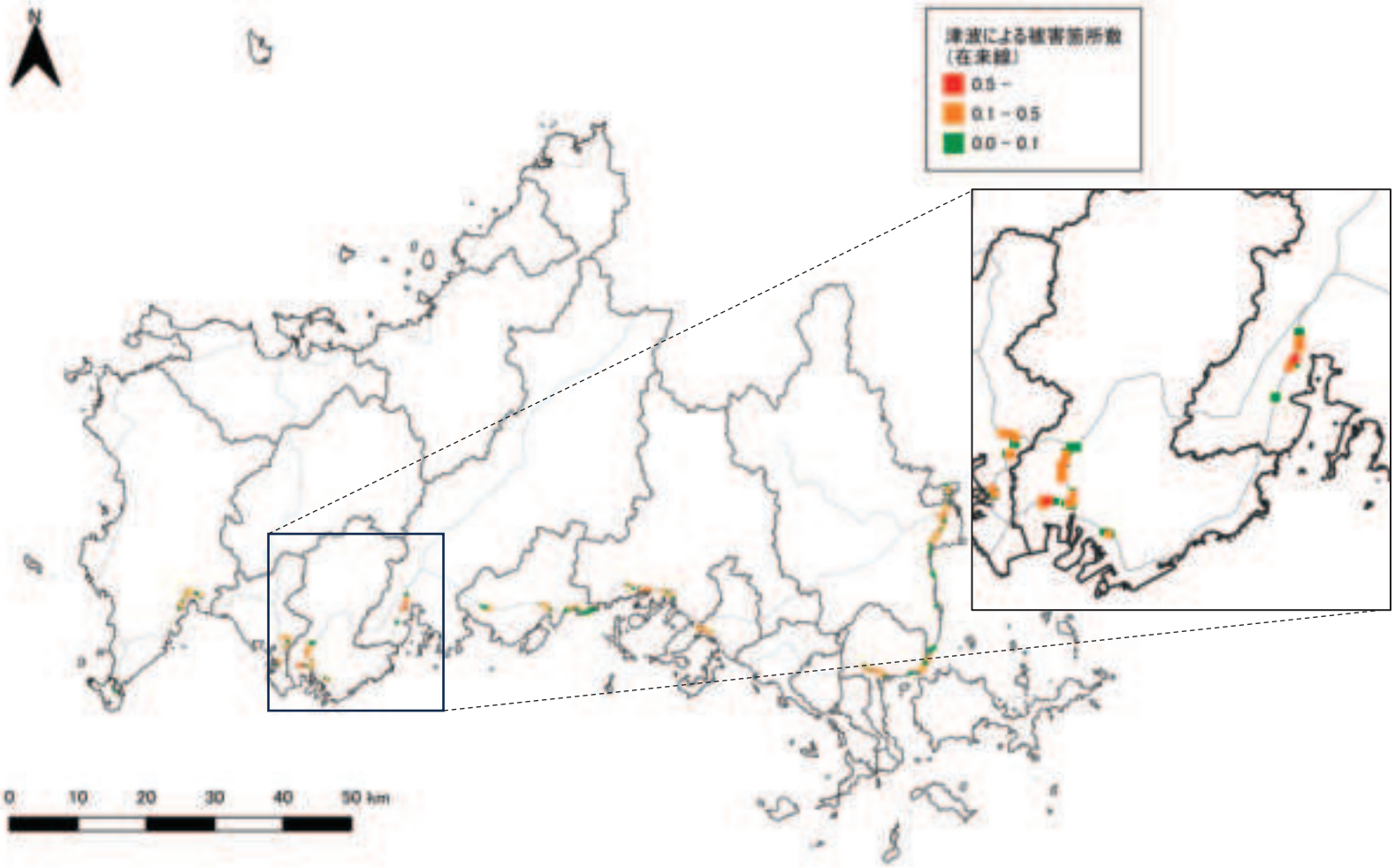
交通施設被害（鉄道）

- 被害箇所分布（揺れ、在来線、南海トラフ巨大地震）



交通施設被害（鉄道）

- 被害箇所分布（津波、在来線、南海トラフ巨大地震）



交通施設被害（鉄道）

- 市町別総括表（鉄道被害箇所）

【鉄道被害（被害箇所数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

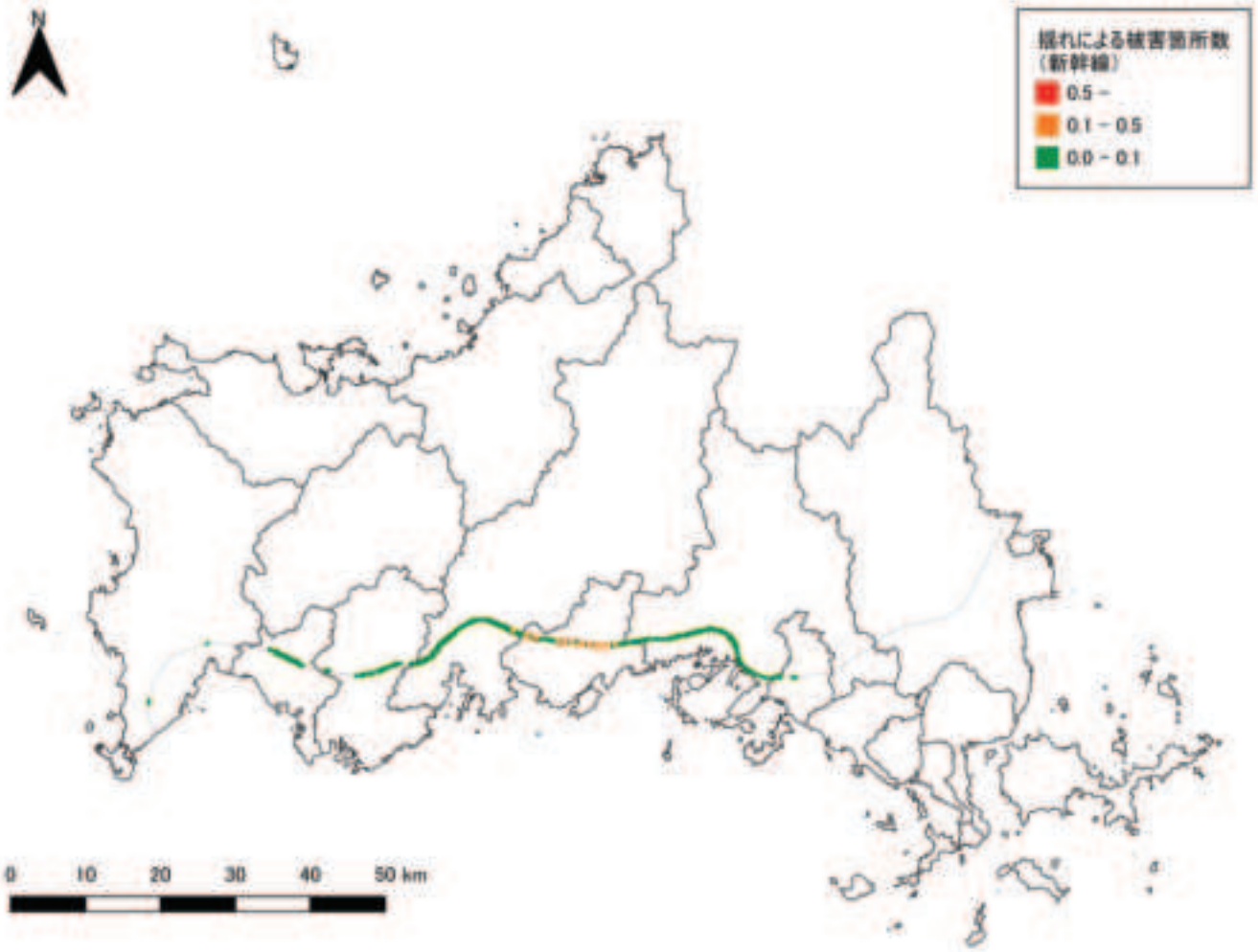
（単位：箇所）

市町	被害箇所			
	新幹線		在来線等	
	揺れ	津波	揺れ	津波
下関市	*0	0	138	13
宇部市	2	0	1	0
山口市	4	0	18	0
萩市	0	0	7	0
防府市	5	0	47	3
下松市	*0	0	7	3
岩国市	0	0	8	1
光市	0	0	0	1
長門市	0	0	0	0
柳井市	0	0	0	0
美祢市	0	0	0	0
周南市	6	0	0	0
山陽小野田市	1	0	0	0
周防大島町	0	0	0	0
和木町	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0
阿武町	0	0	0	0
合計	19	0	227	21

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

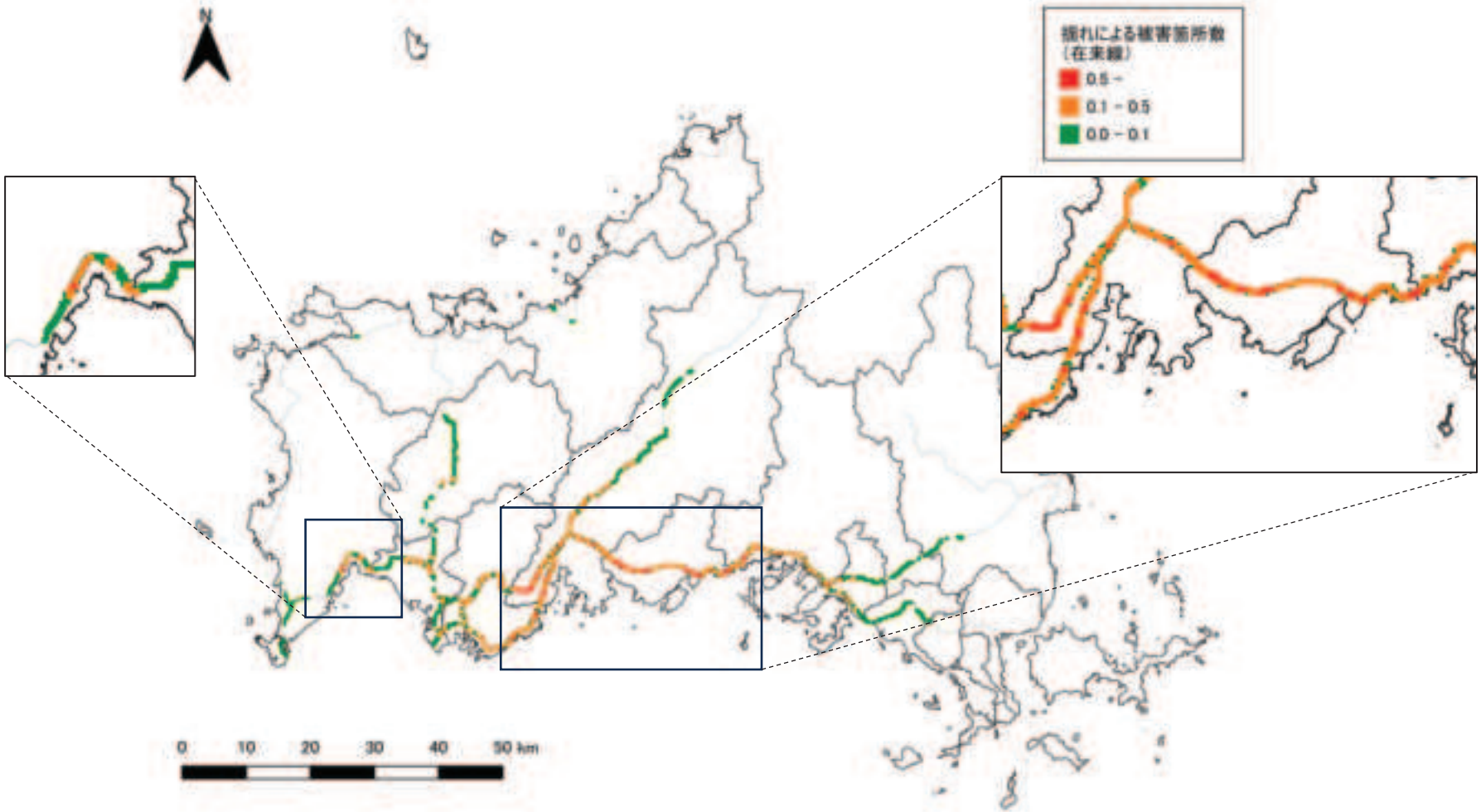
交通施設被害（鉄道）

- 被害箇所分布（揺れ、新幹線、周防灘断層帯主部区間）



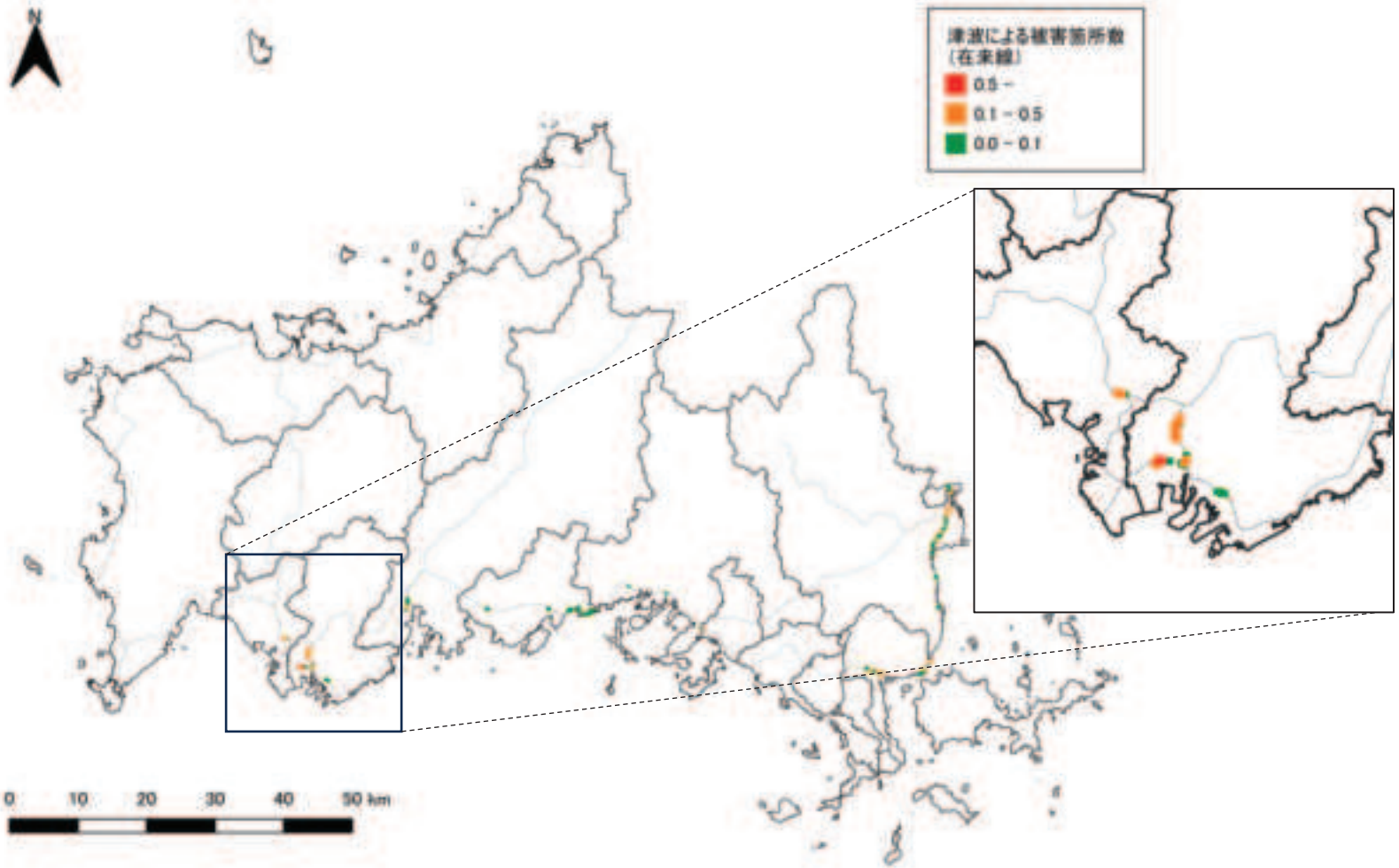
交通施設被害（鉄道）

- 被害箇所分布（揺れ、在来線、周防灘断層帯主部区間）



交通施設被害（鉄道）

- 被害箇所分布（津波、在来線、周防灘断層帯主部区間）



生活支障想定結果（案）

生活支障（避難者）

- 市町別被害総括表（避難者）

【避難者数が最大となるケース（現市町）】

南海トラフ巨大地震：ケース11

（単位：人）

現市町	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外
下関市	14,268	9,469	5,028	4,799	1,851	1,407	747	444	1,851	555	295	1,295
宇部市	36,340	23,568	11,572	12,772	17,323	11,635	5,713	5,688	17,321	5,196	2,551	12,125
山口市	9,539	6,321	2,743	3,218	2,765	2,260	981	505	2,765	829	360	1,935
萩市	30	18	11	12	30	15	9	15	30	9	6	21
防府市	17,271	11,436	5,421	5,835	4,783	3,837	1,819	945	4,783	1,435	680	3,348
下松市	8,193	5,435	2,511	2,758	1,173	893	413	279	1,173	352	163	821
岩国市	66,308	42,601	22,749	23,707	61,714	45,886	24,503	15,828	61,975	18,592	9,928	43,382
光市	9,326	5,889	3,033	3,437	6,929	4,264	2,196	2,665	6,929	2,079	1,071	4,850
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	14,569	9,559	5,181	5,011	7,829	6,121	3,318	1,708	7,817	2,345	1,271	5,472
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	22,633	14,846	7,052	7,787	8,255	5,972	2,836	2,283	8,256	2,477	1,177	5,779
山陽小野田市	16,062	10,692	5,485	5,370	4,920	4,331	2,222	590	4,920	1,476	757	3,444
周防大島町	10,476	6,937	5,050	3,539	3,778	3,110	2,264	668	3,721	1,116	813	2,605
和木町	5,529	3,597	1,662	1,933	3,205	2,367	1,093	838	3,227	968	447	2,259
上関町	1,882	1,254	1,058	629	217	188	158	29	212	64	54	148
田布施町	4,934	3,153	1,728	1,782	3,499	2,328	1,276	1,171	3,498	1,049	575	2,449
平生町	8,360	5,516	2,951	2,844	3,840	3,109	1,664	730	3,811	1,143	612	2,668
阿武町	1	1	*0	*0	2	1	1	1	1	*0	*0	1
合計	245,720	160,290	83,233	85,433	132,110	97,723	51,212	34,387	132,290	39,687	20,758	92,603

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

生活支障（避難者）

- 市町別被害総括表（避難者）

【避難者数が最大となるケース（現市町）】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

（単位：人）

現市町	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外
下関市	22,723	14,014	7,441	8,709	19,041	10,326	5,483	8,715	19,039	5,712	3,033	13,327
宇部市	63,556	39,445	19,367	24,112	52,943	30,124	14,791	22,820	52,991	15,897	7,805	37,094
山口市	66,747	40,502	17,578	26,245	65,963	35,365	15,348	30,599	65,947	19,784	8,586	46,163
萩市	2,306	1,384	840	923	2,306	1,153	700	1,153	2,306	692	420	1,614
防府市	58,633	35,679	16,912	22,954	63,714	37,108	17,589	26,606	64,040	19,212	9,106	44,828
下松市	6,388	3,936	1,818	2,452	5,492	3,005	1,388	2,487	5,486	1,646	760	3,840
岩国市	29,758	19,768	10,556	9,990	5,898	4,884	2,608	1,014	5,898	1,769	945	4,129
光市	12,869	7,894	4,066	4,975	14,882	9,284	4,781	5,599	14,882	4,465	2,299	10,418
長門市	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	*0	1
柳井市	8,791	5,833	3,161	2,958	1,683	1,351	732	332	1,683	505	274	1,178
美祢市	73	44	24	29	73	37	20	37	73	22	12	51
周南市	28,341	17,728	8,421	10,612	23,463	14,061	6,679	9,402	23,272	6,982	3,316	16,290
山陽小野田市	14,816	9,703	4,978	5,114	7,843	6,010	3,083	1,833	7,834	2,350	1,206	5,484
周防大島町	6,311	4,206	3,062	2,105	142	120	87	22	142	43	31	100
和木町	3,244	2,162	999	1,081	348	313	145	35	348	104	48	243
上関町	1,743	1,162	981	581	26	23	20	3	26	8	7	18
田布施町	2,776	1,770	970	1,006	1,368	747	409	621	1,368	410	225	958
平生町	6,570	4,378	2,342	2,193	714	626	335	88	714	214	115	500
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	335,650	209,610	103,517	126,040	265,900	154,540	74,199	111,360	266,050	79,815	38,188	186,240

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

生活支障（帰宅困難者）

- 入力データ（市町毎の距離別外出数）

市町	外出者数					
	10km以下	10km～20km	20km～30km	30km～40km	40km以上	合計
下関市	117,555	3,511	2,907	397	2,711	127,081
宇部市	77,366	0	1,807	5,773	1,036	85,982
山口市	88,374	7,201	2,027	8,161	3,007	108,770
萩市	18,739	530	1,415	107	493	21,284
防府市	49,073	6,757	1,839	1,301	705	59,675
下松市	26,239	421	827	552	569	28,608
岩国市	56,210	0	3,199	1,845	1,779	63,033
光市	18,109	3,414	63	563	226	22,375
長門市	13,682	0	1,022	215	710	15,629
柳井市	12,624	1,014	1,948	19	306	15,911
美祢市	8,203	815	2,364	955	77	12,414
周南市	62,592	3,341	4,041	2,553	1,783	74,310
山陽小野田市	27,232	550	1,752	820	375	30,729
周防大島町	4,841	257	494	112	108	5,812
和木町	2,450	133	14	42	112	2,751
上関町	510	199	22	23	13	767
田布施町	5,128	295	414	4	45	5,886
平生町	3,677	472	270	1	39	4,459
阿武町	815	392	0	31	17	1,255
合計	593,419	29,302	26,425	23,474	14,111	686,731

生活支障（帰宅困難者）

- 市町別被害総括表（帰宅困難者）

【帰宅困難者数が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：全ケース同一

市町	最大震度	外出者	帰宅困難者		滞留者	
		人数（人）	人数（人）	率（%）	人数（人）	率（%）
下関市	5弱	127,081	4,261	3.4	5,849	4.6
宇部市	5強	85,982	7,911	9.2	8,483	9.9
山口市	5強	108,770	15,818	14.5	16,839	15.5
萩市	5弱	21,284	1,834	8.6	2,104	9.9
防府市	5弱	59,675	7,423	12.4	7,714	12.9
下松市	5強	28,608	1,980	6.9	2,208	7.7
岩国市	6弱	63,033	4,386	7.0	6,823	10.8
光市	5強	22,375	2,591	11.6	2,719	12.2
長門市	4	15,629	0	0.0	0	0.0
柳井市	6強	15,911	2,571	16.2	2,733	17.2
美祢市	5弱	12,414	3,948	31.8	4,002	32.2
周南市	5強	74,310	9,263	12.5	10,367	14.0
山陽小野田市	5弱	30,729	3,091	10.1	3,378	11.0
周防大島町	6弱	5,812	694	12.0	766	13.2
和木町	6弱	2,751	71	2.6	289	10.5
上関町	6弱	767	127	16.6	138	18.1
田布施町	6弱	5,886	616	10.5	642	10.9
平生町	6弱	4,459	393	8.8	412	9.2
阿武町	5強	1,255	130	10.4	141	11.3
合計		686,731	67,113	9.8	75,614	11.0

生活支障（帰宅困難者）

- 市町別被害総括表（帰宅困難者）

【帰宅困難者数が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：全ケース同一

市町	最大震度	外出者	帰宅困難者		滞留者	
		人数（人）	人数（人）	率（%）	人数（人）	率（%）
下関市	6弱	127,081	4,261	3.4	5,849	4.6
宇部市	6強	85,982	7,911	9.2	8,483	9.9
山口市	7	108,770	15,818	14.5	16,839	15.5
萩市	5弱	21,284	1,834	8.6	2,104	9.9
防府市	7	59,675	7,423	12.4	7,714	12.9
下松市	5強	28,608	1,980	6.9	2,208	7.7
岩国市	5弱	63,033	4,386	7.0	6,823	10.8
光市	5強	22,375	2,591	11.6	2,719	12.2
長門市	5弱	15,629	1,842	11.8	1,895	12.1
柳井市	4	15,911	0	0.0	0	0.0
美祢市	5強	12,414	3,948	31.8	4,002	32.2
周南市	6弱	74,310	9,263	12.5	10,367	14.0
山陽小野田市	6弱	30,729	3,091	10.1	3,378	11.0
周防大島町	4	5,812	0	0.0	0	0.0
和木町	4	2,751	0	0.0	0	0.0
上関町	5弱	767	127	16.6	138	18.1
田布施町	5弱	5,886	616	10.5	642	10.9
平生町	5弱	4,459	393	8.8	412	9.2
阿武町	5弱	1,255	130	10.4	141	11.3
合計		686,731	65,618	9.6	73,718	10.7

生活支障（物資需要量）

- 市町別被害総括表（物資需要量）

【物資需要量（発災当日）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース11

市町	発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月		
	食糧需要（万食）	給水需要（万トン）	生活必需品需要（万枚）	食糧需要（万食）	給水需要（万トン）	生活必需品需要（万枚）	食糧需要（万食）	給水需要（万トン）	生活必需品需要（万枚）
下関市	3.4	2.8	1.9	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
宇部市	8.5	7.1	4.7	4.2	3.5	2.3	1.9	1.6	1.0
山口市	2.3	1.9	1.3	0.8	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2
萩市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
防府市	4.1	3.4	2.3	1.4	1.2	0.8	0.5	0.4	0.3
下松市	2.0	1.6	1.1	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
岩国市	15.3	17.3	8.5	16.5	14.5	9.2	6.7	5.8	3.7
光市	2.1	1.8	1.2	1.5	1.3	0.9	0.7	0.6	0.4
長門市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柳井市	3.4	3.2	1.9	2.2	1.9	1.2	0.8	0.7	0.5
美祢市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周南市	5.3	4.5	3.0	2.1	1.8	1.2	0.9	0.7	0.5
山陽小野田市	3.8	3.2	2.1	1.6	1.3	0.9	0.5	0.4	0.3
周防大島町	2.5	2.5	1.4	1.1	1.1	0.6	0.4	0.4	0.2
和木町	1.3	1.1	0.7	0.9	0.8	0.5	0.3	0.3	0.2
上関町	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
田布施町	1.1	1.1	0.6	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2
平生町	2.0	1.8	1.1	1.1	1.0	0.6	0.4	0.3	0.2
阿武町	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
合計	57.7	53.7	32.1	35.2	30.4	19.5	14.3	12.2	7.9

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

生活支障（物資需要量）

- 市町別被害総括表（物資需要量）

【物資需要量（発災当日）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月		
	食糧需要（万食）	給水需要（万トン）	生活必需品需要（万枚）	食糧需要（万食）	給水需要（万トン）	生活必需品需要（万枚）	食糧需要（万食）	給水需要（万トン）	生活必需品需要（万枚）
下関市	5.0	4.3	2.8	3.7	3.1	2.1	2.1	1.7	1.1
宇部市	14.2	13.1	7.9	10.8	9.3	6.0	5.7	4.8	3.2
山口市	14.6	13.4	8.1	12.7	10.9	7.1	7.1	6.0	4.0
萩市	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
防府市	12.8	18.4	7.1	13.4	12.3	7.4	6.9	5.9	3.8
下松市	1.4	1.2	0.8	1.1	0.9	0.6	0.6	0.5	0.3
岩国市	7.1	5.9	4.0	1.8	1.5	1.0	0.6	0.5	0.4
光市	2.8	2.4	1.6	3.3	2.8	1.9	1.6	1.3	0.9
長門市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
柳井市	2.1	1.7	1.2	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
美祢市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
周南市	6.4	6.5	3.5	5.1	4.5	2.8	2.5	2.1	1.4
山陽小野田市	3.5	3.0	1.9	2.2	1.8	1.2	0.8	0.7	0.5
周防大島町	1.5	1.3	0.8	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
和木町	0.8	0.6	0.4	0.1	0.1	0.1	*0.0	*0.0	*0.0
上関町	0.4	0.3	0.2	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
田布施町	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
平生町	1.6	1.3	0.9	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	*0.0
阿武町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	75.5	74.5	41.9	55.6	48.5	30.9	28.7	24.2	16.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

生活支障（仮設トイレ需要量）

- 市町別被害総括表（仮設トイレ需要量）

【仮設トイレ需要量（発災当日）が最大となるケース】
南海トラフ巨大地震：ケース11

市町	発災当日・1日後		1週間後		1ヶ月	
	必要基数（基）	必要容量（万・）	必要基数（基）	必要容量（万・）	必要基数（基）	必要容量（万・）
下関市	94.7	3.4	14.1	0.5	5.6	0.2
宇部市	235.7	8.5	116.4	4.2	52.0	1.9
山口市	63.2	2.3	22.6	0.8	8.3	0.3
萩市	0.2	*0.0	0.2	*0.0	0.1	*0.0
防府市	114.4	4.1	38.4	1.4	14.3	0.5
下松市	54.3	2.0	8.9	0.3	3.5	0.1
岩国市	426.0	15.3	458.9	16.5	185.9	6.7
光市	58.9	2.1	42.6	1.5	20.8	0.7
長門市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柳井市	95.6	3.4	61.2	2.2	23.5	0.8
美祢市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周南市	148.5	5.3	59.7	2.1	24.8	0.9
山陽小野田市	106.9	3.8	43.3	1.6	14.8	0.5
周防大島町	69.4	2.5	31.1	1.1	11.2	0.4
和木町	36.0	1.3	23.7	0.9	9.7	0.3
上関町	12.5	0.5	1.9	0.1	0.6	*0.0
田布施町	31.5	1.1	23.3	0.8	10.5	0.4
平生町	55.2	2.0	31.1	1.1	11.4	0.4
阿武町	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
合計	1602.9	57.7	977.2	35.2	396.9	14.3

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、
「*0.0」で表示している。

生活支障（仮設トイレ需要量）

- 市町別被害総括表（仮設トイレ需要量）

【仮設トイレ需要量（発災当日）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	発災当日・1日後		1週間後		1ヶ月	
	必要基数（基）	必要容量（万・）	必要基数（基）	必要容量（万・）	必要基数（基）	必要容量（万・）
下関市	140.1	5.0	103.3	3.7	57.1	2.1
宇部市	394.5	14.2	301.2	10.8	159.0	5.7
山口市	405.0	14.6	353.7	12.7	197.8	7.1
萩市	13.8	0.5	11.5	0.4	6.9	0.2
防府市	356.8	12.8	371.1	13.4	192.1	6.9
下松市	39.4	1.4	30.1	1.1	16.5	0.6
岩国市	197.7	7.1	48.8	1.8	17.7	0.6
光市	78.9	2.8	92.8	3.3	44.6	1.6
長門市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
柳井市	58.3	2.1	13.5	0.5	5.0	0.2
美祢市	0.4	*0.0	0.4	*0.0	0.2	*0.0
周南市	177.3	6.4	140.6	5.1	69.8	2.5
山陽小野田市	97.0	3.5	60.1	2.2	23.5	0.8
周防大島町	42.1	1.5	1.2	*0.0	0.4	*0.0
和木町	21.6	0.8	3.1	0.1	1.0	*0.0
上関町	11.6	0.4	0.2	*0.0	0.1	*0.0
田布施町	17.7	0.6	7.5	0.3	4.1	0.1
平生町	43.8	1.6	6.3	0.2	2.1	0.1
阿武町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2096.1	75.5	1545.4	55.6	798.2	28.7

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

生活支障（医療機能支障）

- 医療ブロック別被害総括表（医療機能支障）

【転院数が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース11

（単位：人）

市町	空床数	冬･深夜			夏･昼			冬･夕方			盆･夜		
		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足	
			入院	外来		入院	外来		入院	外来		入院	外来
岩国	420	19	237	−416	19	212	−431	19	218	−366	19	211	−416
柳井	274	0	180	−293	0	171	−476	0	180	−323	0	146	−619
周南	534	*0	500	352	*0	505	339	*0	505	350	*0	506	351
山口･防府	819	0	717	518	0	721	520	0	721	521	0	721	521
宇部･小野田	1,240	0	1,230	701	0	1,230	686	0	1,230	697	0	1,230	698
下関	1,000	0	702	317	0	703	317	0	703	318	0	702	318
長門	112	0	112	92	0	112	92	0	112	92	0	112	92
萩	188	1	130	52	1	130	53	1	130	52	1	130	53
合計	4,590	20	3,810	1,320	20	3,790	1,100	20	3,800	1,340	20	3,760	998

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0はでない場合）は、「*0」で表示している。

生活支障（医療機能支障）

- 医療ブロック別被害総括表（医療機能支障）

【転院数が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

（単位：人）

市町	空床数	冬･深夜			夏･昼			冬･夕方			盆･夜		
		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足	
			入院	外来		入院	外来		入院	外来		入院	外来
岩国	420	10	275	133	10	279	138	10	278	136	10	278	136
柳井	274	1	190	87	1	203	95	1	201	93	1	205	93
周南	534	0	513	280	0	509	86	0	484	158	0	486	157
山口･防府	819	0	491	−1,010	0	498	−1,040	0	433	−985	0	418	−1,080
宇部･小野田	1,240	1	1,110	262	1	1,100	161	1	1,070	207	1	1,080	211
下関	1,000	68	617	266	68	616	222	68	613	248	68	611	201
長門	112	*0	78	64	*0	78	64	*0	78	64	*0	78	64
萩	188	40	86	35	40	86	35	40	85	34	40	85	34
合計	4,590	120	3,360	114	120	3,370	−244	120	3,250	−45	120	3,240	−178

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

生活支障（災害関連死）

- 市町別被害総括表（災害関連死）

【災害関連死者数が最大となるケース（現市町）】

南海トラフ巨大地震：ケース11

（単位：人）

市町	災害関連死者	
	最小	最大
下関市	38	76
宇部市	94	189
山口市	25	51
萩市	*0	*0
防府市	46	91
下松市	22	43
岩国市	170	341
光市	24	47
長門市	0	0
柳井市	38	76
美祢市	0	0
周南市	59	119
山陽小野田市	43	86
周防大島町	28	55
和木町	14	29
上関町	5	10
田布施町	13	25
平生町	22	44
阿武町	*0	*0
合計	641	1,282

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

生活支障（災害関連死）

- 市町別被害総括表（災害関連死）

【災害関連死者数が最大となるケース（現市町）】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

（単位：人）

市町	災害関連死者	
	最小	最大
下関市	56	112
宇部市	158	316
山口市	162	324
萩市	6	11
防府市	143	285
下松市	16	31
岩国市	79	158
光市	32	63
長門市	*0	*0
柳井市	23	47
美祢市	*0	*0
周南市	71	142
山陽小野田市	39	78
周防大島町	17	34
和木町	9	17
上関町	5	9
田布施町	7	14
平生町	18	35
阿武町	0	0
合計	838	1,677

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

その他施設等被害想定結果（案）

その他施設等被害（石油コンビナート）

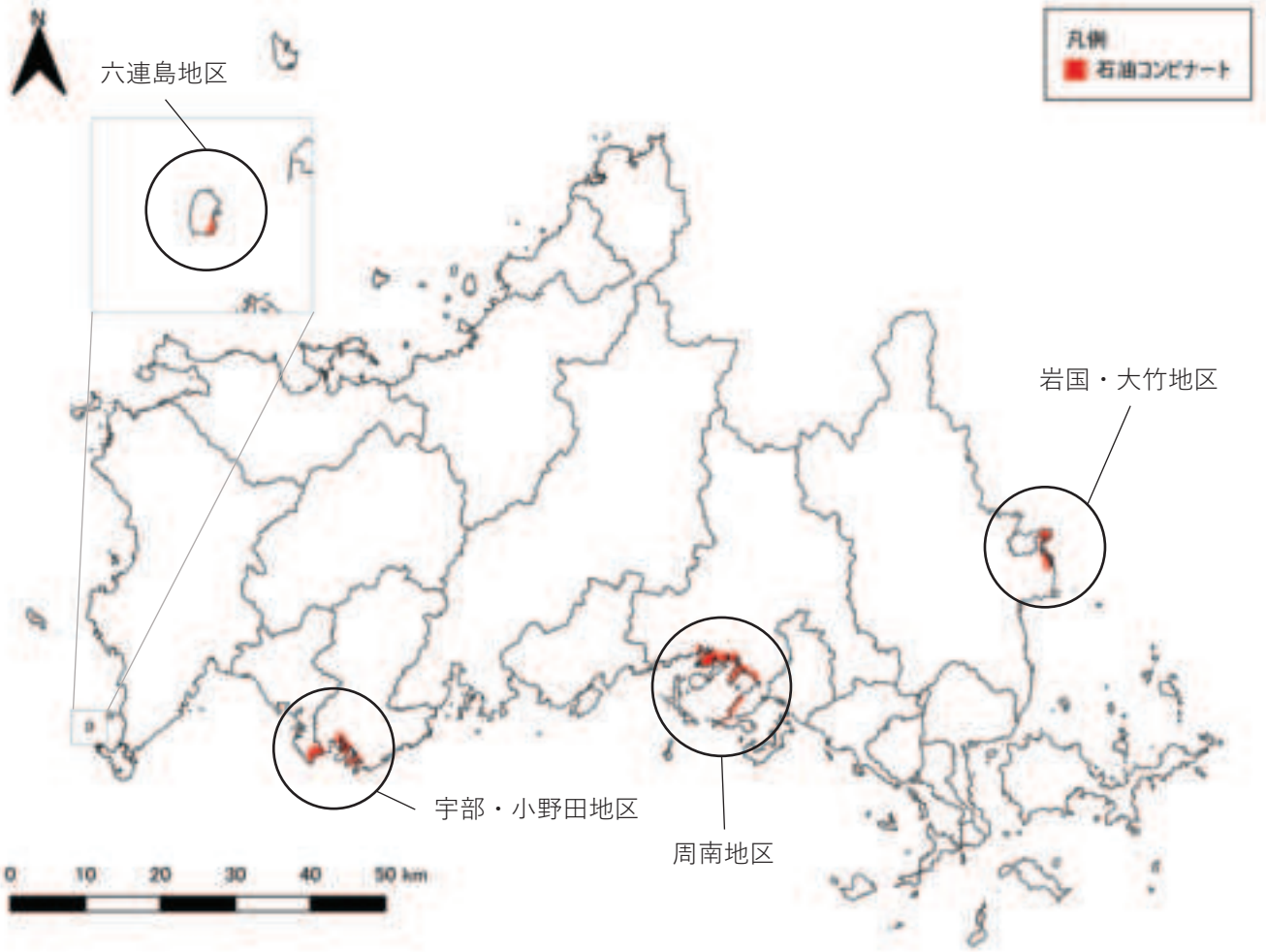
- 入力データ（地区ごとの危険物数）

（単位：箇所）

危険物の種類	岩国・大竹地区	周南地区	宇部・小野田地区	六連島地区	合計
製造所	27	73	22	0	122
屋内貯蔵所	24	116	38	1	179
屋外タンク貯蔵所	356	846	311	20	1,533
屋内タンク貯蔵所	0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所	0	2	0	0	2
移動タンク貯蔵所	1	0	10	0	11
屋外貯蔵所	11	172	9	0	192
給油取扱所	1	3	0	0	4
移送取扱所	11	47	3	1	62
一般取扱所	66	285	124	3	478
合計	497	1,544	517	25	2,583

その他施設等被害（石油コンビナート）

- 入力データ（石油コンビナート位置）



その他施設等被害（石油コンビナート）

- 地区別被害総括表（石油コンビナート）

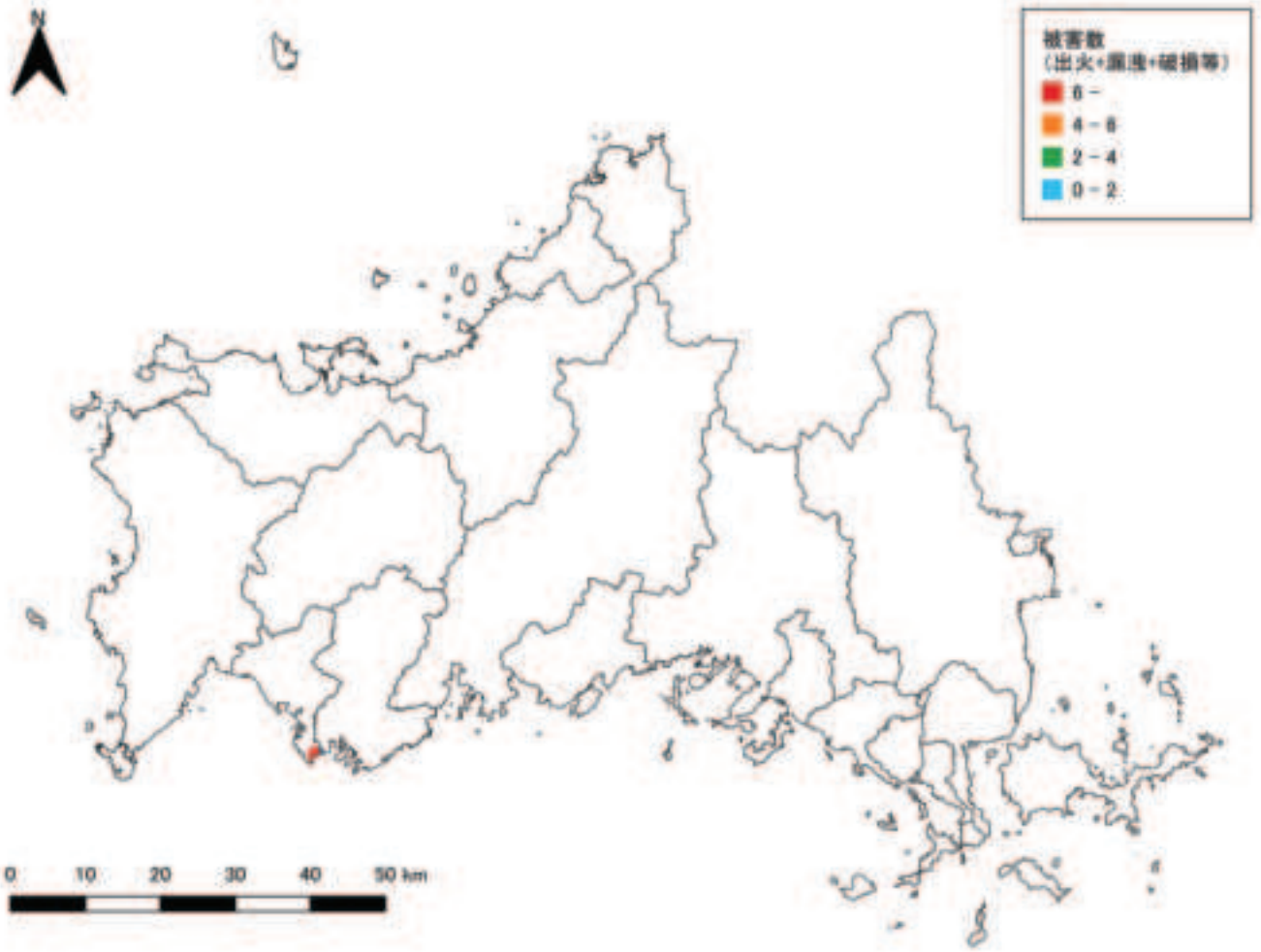
【石油コンビナート被害（被害箇所数）が最大となるケース】
南海トラフ巨大地震：全ケース同一

地区名	施設数	被害箇所数			
		出火	漏洩	破損等	計
岩国・大竹地区	497	0	0	0	0
周南地区	1,544	0	0	0	0
宇部・小野田地区	517	*0	*0	16	17
六連島地区	25	0	0	0	0
合計	2,583	*0	*0	16	17

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、
「*0」で表示している。

その他施設等被害（石油コンビナート）

- 被害箇所分布（南海トラフ巨大地震）



その他施設等被害（石油コンビナート）

- 地区別被害総括表（石油コンビナート）

【石油コンビナート被害（被害箇所数）が最大となるケース】

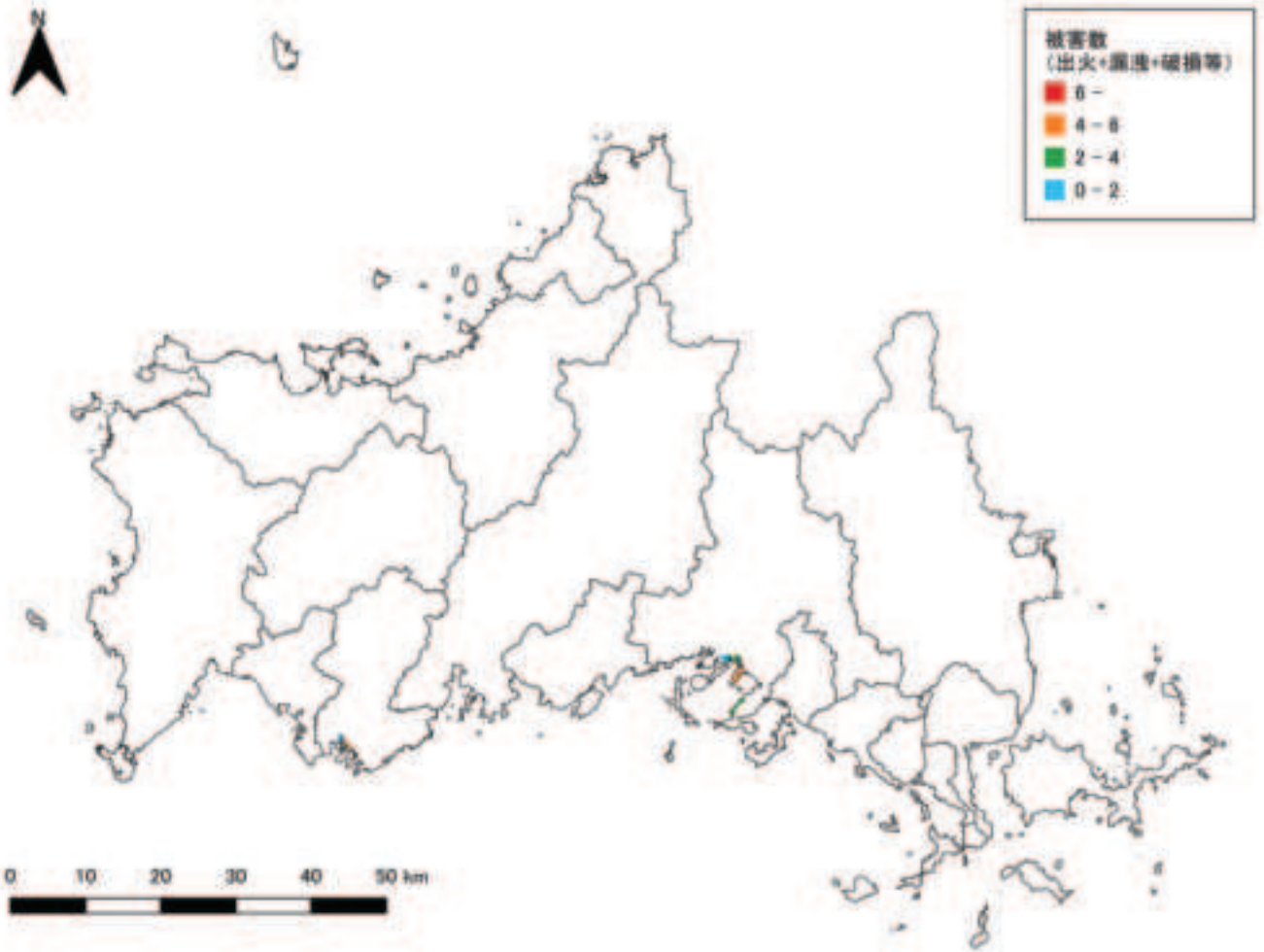
周防灘断層帯主部区間：全ケース同一

地区名	施設数	被害箇所数			
		出火	漏洩	破損等	計
岩国・大竹地区	497	0	*0	3	4
周南地区	1,544	*0	1	19	20
宇部・小野田地区	517	0	*0	5	6
六連島地区	25	0	0	0	0
合計	2,583	*0	2	28	30

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、
「*0」で表示している。

その他施設等被害（石油コンビナート）

- 被害箇所分布（周防灘断層帯主部区間）



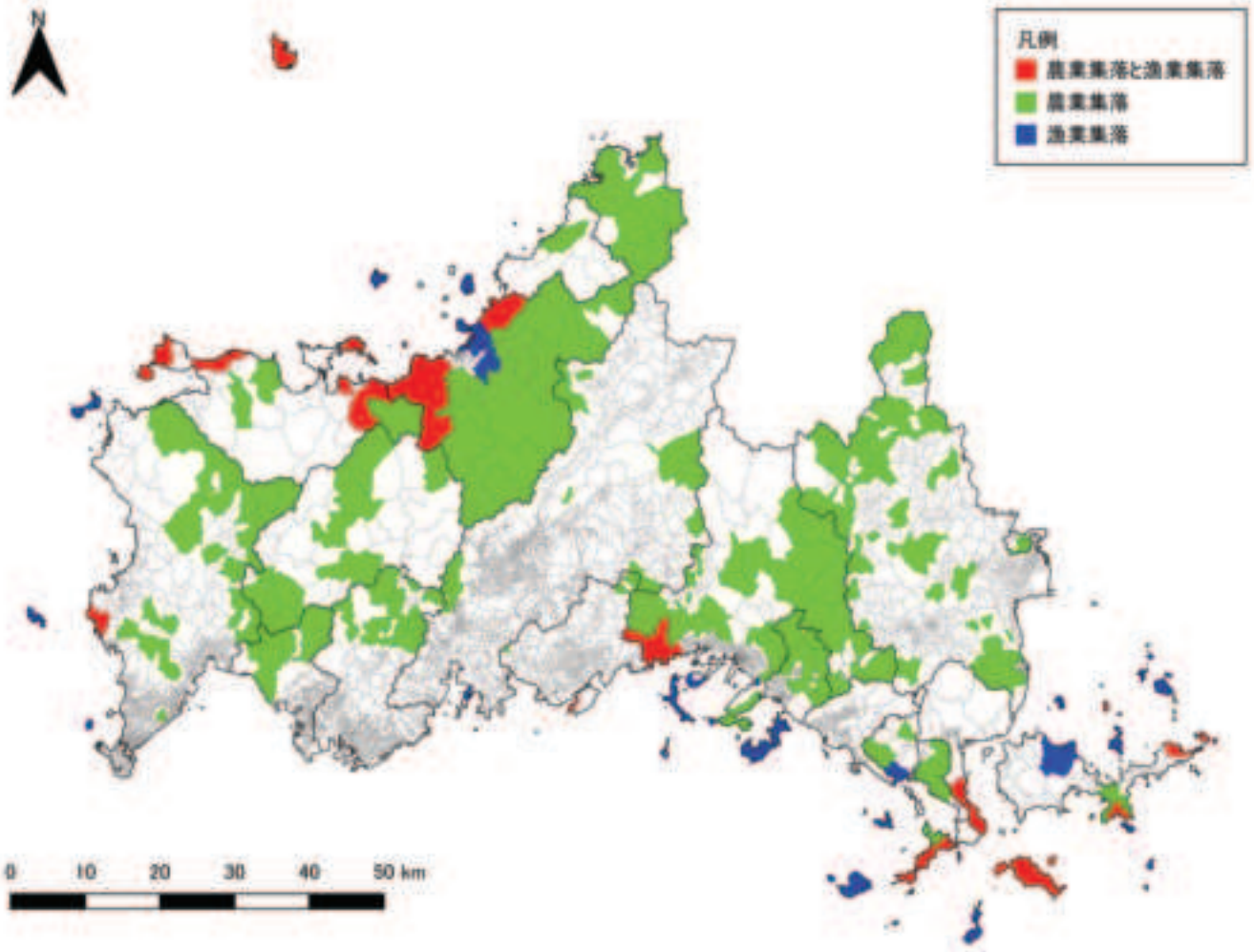
その他施設等被害（孤立集落）

- 入力データ（孤立可能性のある集落数および世帯数）

孤立する可能性のある集落					
農家		漁家		合計	
集落	世帯	集落	世帯	集落	世帯
512	12,145	94	11,633	606	23,778

その他施設等被害（孤立集落）

- 入力データ（孤立可能性のある集落位置）



その他施設等被害（孤立集落）

- 市町別被害総括表（孤立集落）

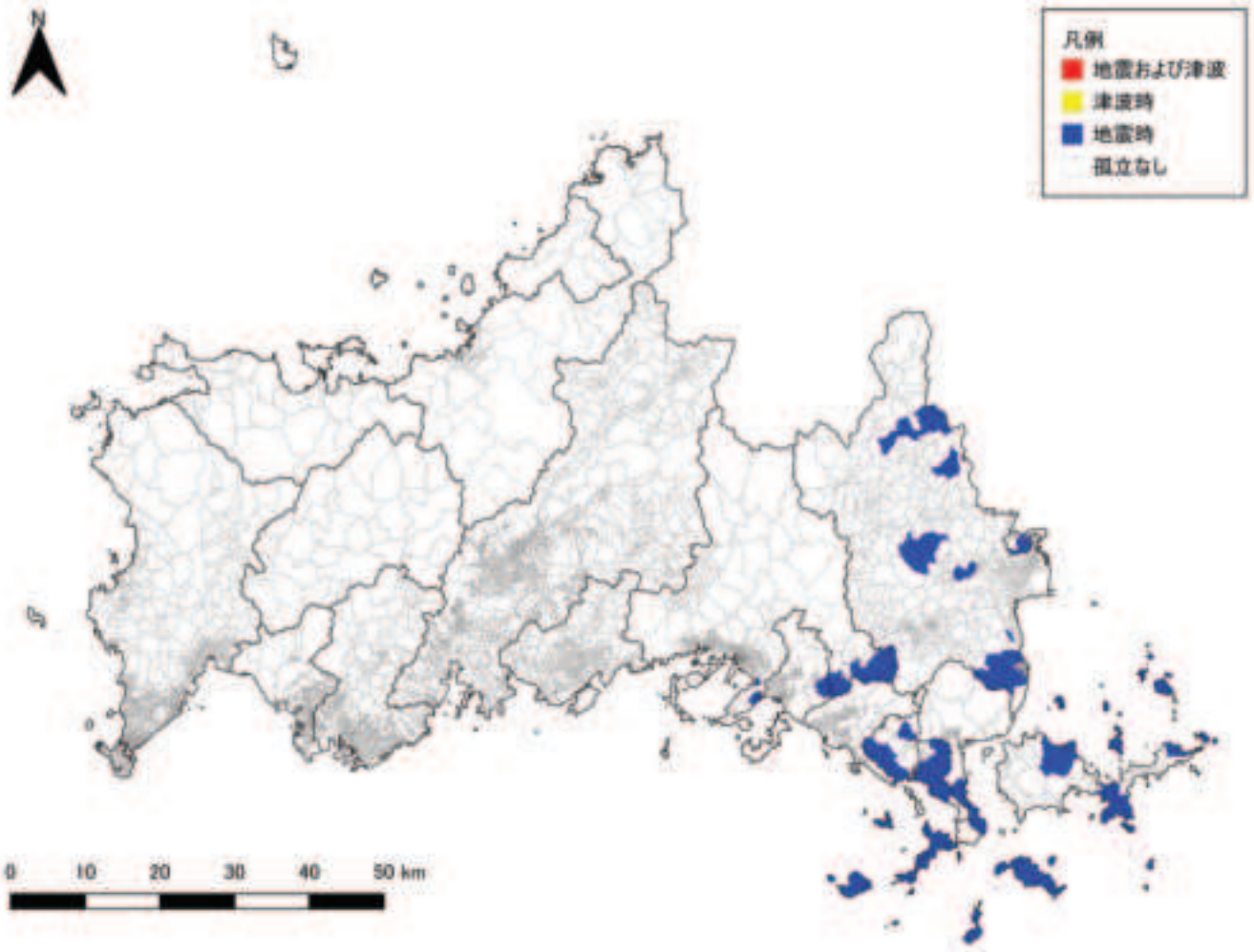
【孤立集落数が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：全ケース同一

市町	孤立集落					
	農家		漁家		合計	
	集落数	世帯数	集落数	世帯数	集落数	世帯数
下関市	0	0	0	0	0	0
宇部市	0	0	0	0	0	0
山口市	0	0	0	0	0	0
萩市	0	0	0	0	0	0
防府市	0	0	0	0	0	0
下松市	4	260	0	0	4	260
岩国市	18	408	4	250	22	658
光市	0	0	1	82	1	82
長門市	0	0	0	0	0	0
柳井市	20	343	4	485	24	828
美祢市	0	0	0	0	0	0
周南市	7	510	1	1,248	8	1,758
山陽小野田市	0	0	0	0	0	0
周防大島町	8	264	9	596	17	860
和木町	1	9	0	0	1	9
上関町	15	499	13	858	28	1,357
田布施町	2	204	1	162	3	366
平生町	12	203	0	0	12	203
阿武町	0	0	0	0	0	0
合計	87	2,700	33	3,681	120	6,381

その他施設等被害（孤立集落）

- 孤立する可能性のある集落位置（南海トラフ巨大地震）



その他施設等被害（孤立集落）

- 市町別被害総括表（孤立集落）

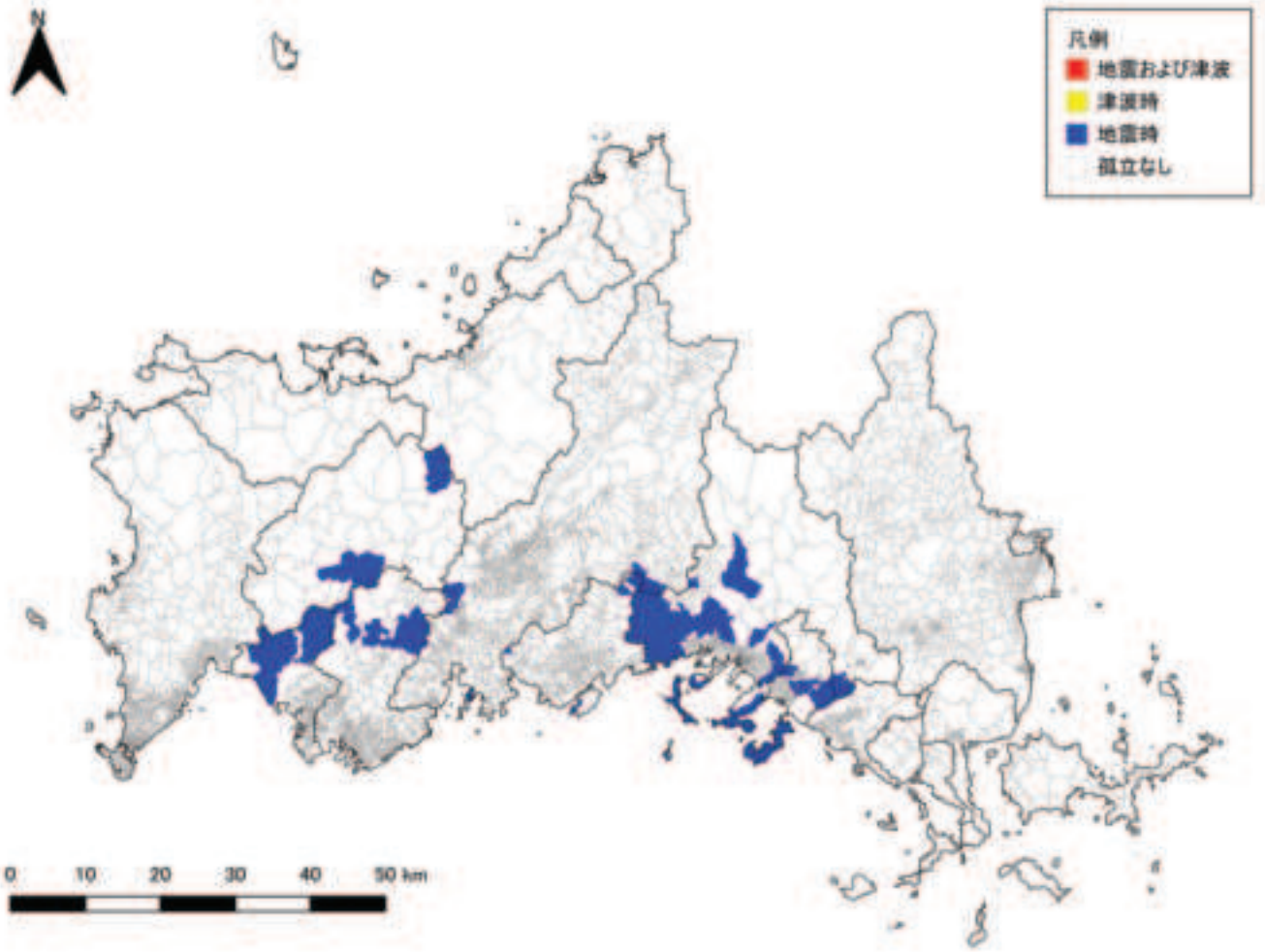
【孤立集落数が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：全ケース同一

市町	孤立集落					
	農家		漁家		合計	
	集落数	世帯数	集落数	世帯数	集落数	世帯数
下関市	0	0	0	0	0	0
宇部市	11	199	0	0	11	199
山口市	5	9	1	188	6	197
萩市	0	0	0	0	0	0
防府市	4	119	2	187	6	306
下松市	8	529	3	367	11	896
岩国市	0	0	0	0	0	0
光市	0	0	0	0	0	0
長門市	0	0	0	0	0	0
柳井市	0	0	0	0	0	0
美祢市	2	19	0	0	2	19
周南市	36	1,342	8	1,847	44	3,189
山陽小野田市	12	128	0	0	12	128
周防大島町	0	0	0	0	0	0
和木町	0	0	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0	0	0
阿武町	0	0	0	0	0	0
合計	78	2,345	14	2,589	92	4,934

その他施設等被害（孤立集落）

- 孤立する可能性のある集落位置（周防灘断層帯主部区間）



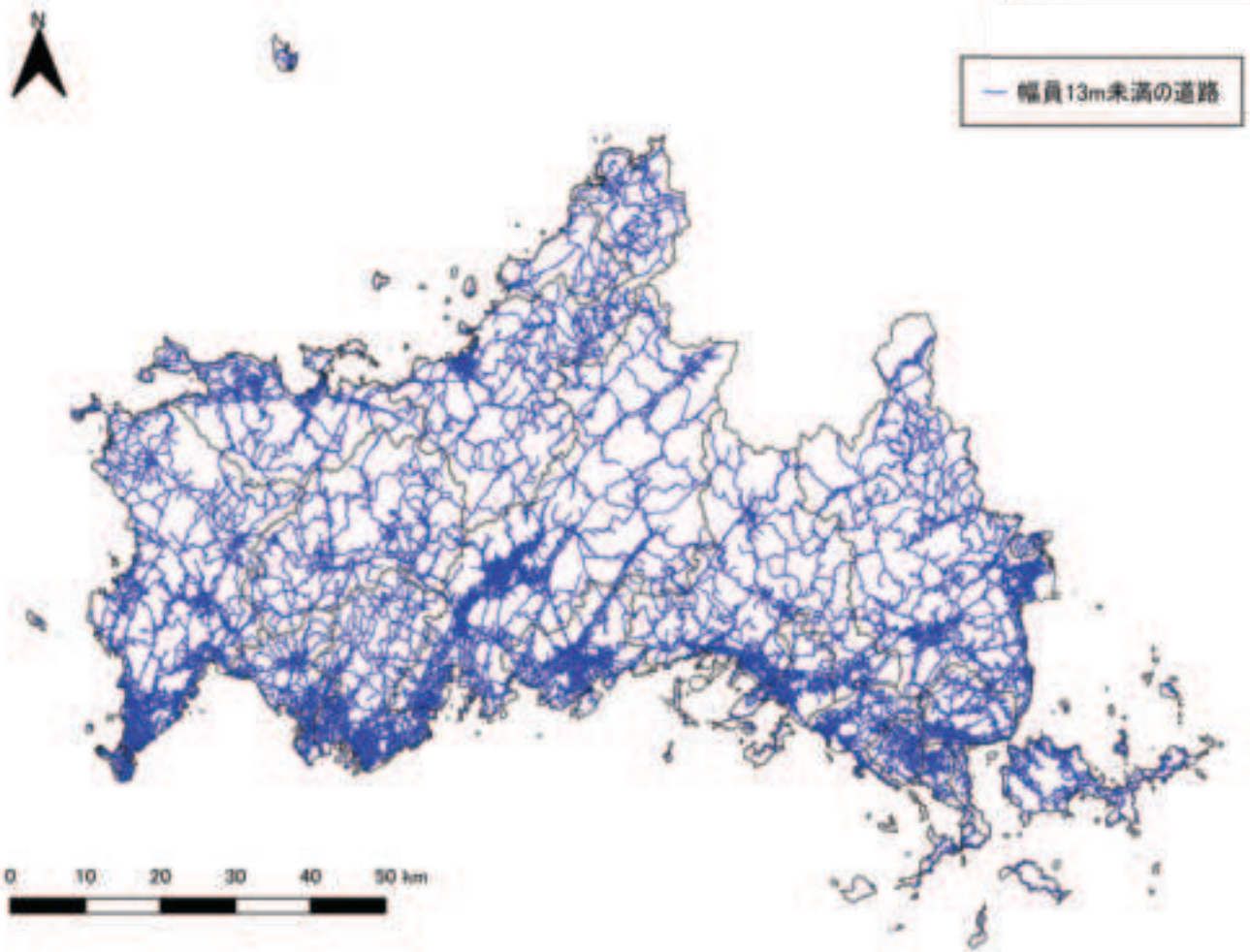
その他施設等被害（道路閉塞）

- 入力データ（市町毎の幅員13m未満の道路延長）

市町	道路幅員別延長(km)			
	3m未満	3～5.5m	5.5～13m	合計
下関市	103	1,585	903	2,591
宇部市	36	841	505	1,382
山口市	209	1,467	1,028	2,704
萩市	165	877	417	1,459
防府市	48	595	342	984
下松市	17	234	175	427
岩国市	104	1,450	675	2,230
光市	14	354	172	540
長門市	99	462	316	876
柳井市	22	353	171	546
美祢市	51	461	400	912
周南市	14	986	657	1,658
山陽小野田市	22	398	251	671
周防大島町	26	334	181	540
和木町	2	32	18	53
上関町	8	51	34	92
田布施町	3	190	79	272
平生町	6	122	57	186
阿武町	21	84	97	203
合計	971	10,878	6,478	18,327

その他施設等被害（道路閉塞）

- 入力データ（市町毎の幅員13m未満の道路位置）



その他施設等被害（道路閉塞）

- 市町別被害総括表（道路閉塞）

【道路閉塞率が最大となるケース】

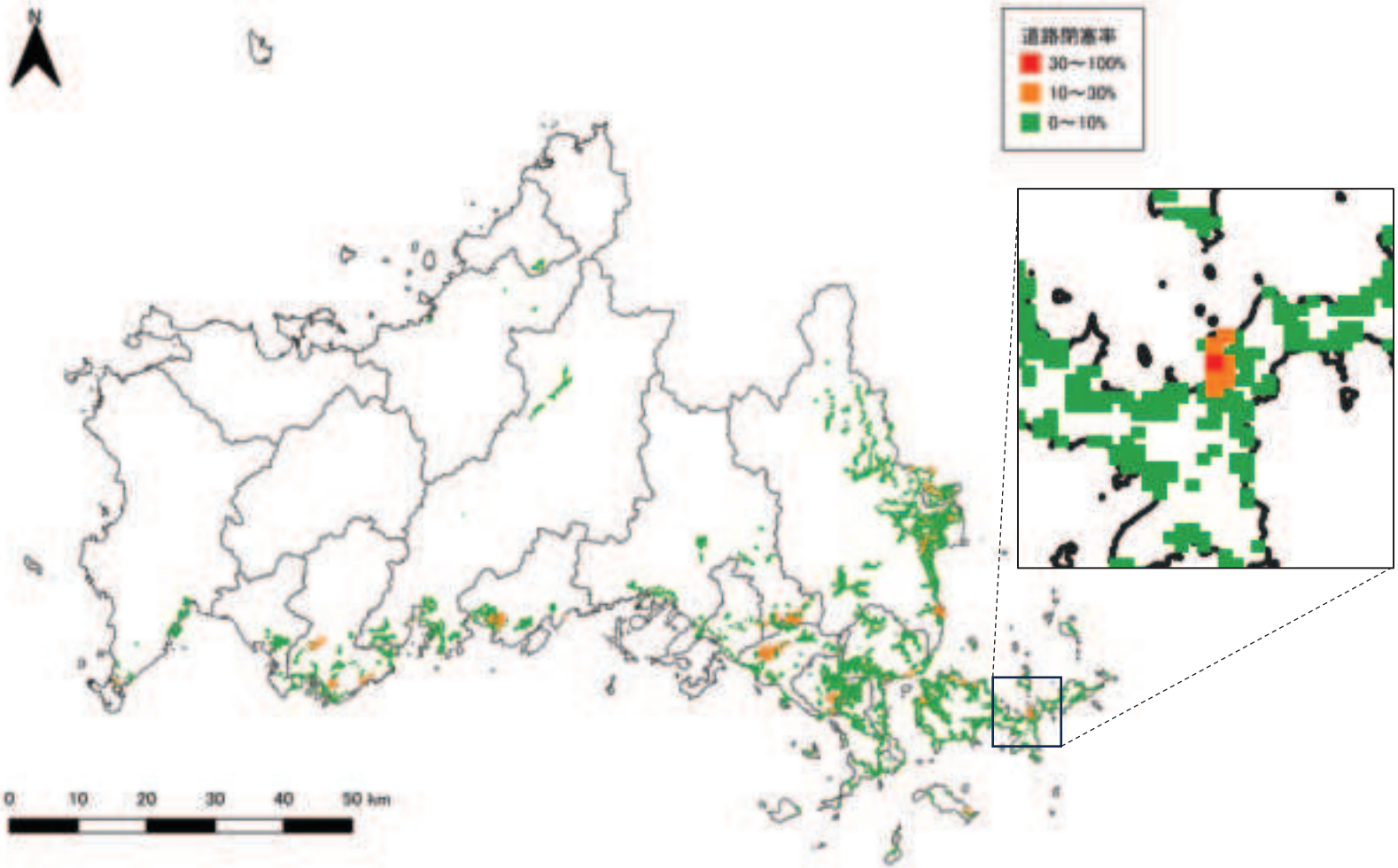
南海トラフ巨大地震：全ケース同一

市町	道路リンク閉塞率の割合						
	0%	0～2%	2～5%	5～10%	10～20%	20～50%	50%超
下関市	96.4%	3.3%	0.1%	0.2%	0.1%	*0.0%	0.0%
宇部市	86.0%	10.0%	0.6%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
山口市	95.8%	2.3%	1.4%	0.4%	*0.0%	0.0%	0.0%
萩市	99.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
防府市	87.9%	5.3%	1.7%	4.3%	0.5%	0.3%	0.0%
下松市	87.4%	12.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩国市	64.1%	22.7%	8.5%	3.6%	0.9%	0.1%	0.0%
光市	64.2%	21.5%	5.9%	4.9%	3.5%	0.0%	0.0%
長門市	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
柳井市	49.7%	37.0%	8.3%	4.1%	0.9%	0.0%	0.0%
美祢市	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
周南市	89.8%	7.4%	1.3%	0.9%	0.7%	0.0%	0.0%
山陽小野田市	91.8%	6.9%	0.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
周防大島町	38.3%	52.4%	5.7%	1.6%	1.5%	0.4%	0.0%
和木町	23.0%	51.6%	10.7%	9.8%	4.9%	0.0%	0.0%
上関町	62.5%	33.6%	1.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
田布施町	62.9%	25.7%	5.4%	3.0%	1.8%	1.2%	0.0%
平生町	41.2%	40.7%	16.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
阿武町	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	85.6%	10.1%	2.3%	1.4%	0.5%	0.1%	0.0%

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、
「*0.0」で表示している。

その他施設等被害（道路閉塞）

- 道路閉塞率分布（南海トラフ巨大地震）



その他施設等被害（道路閉塞）

- 市町別被害総括表（道路閉塞）

【道路閉塞率が最大となるケース】

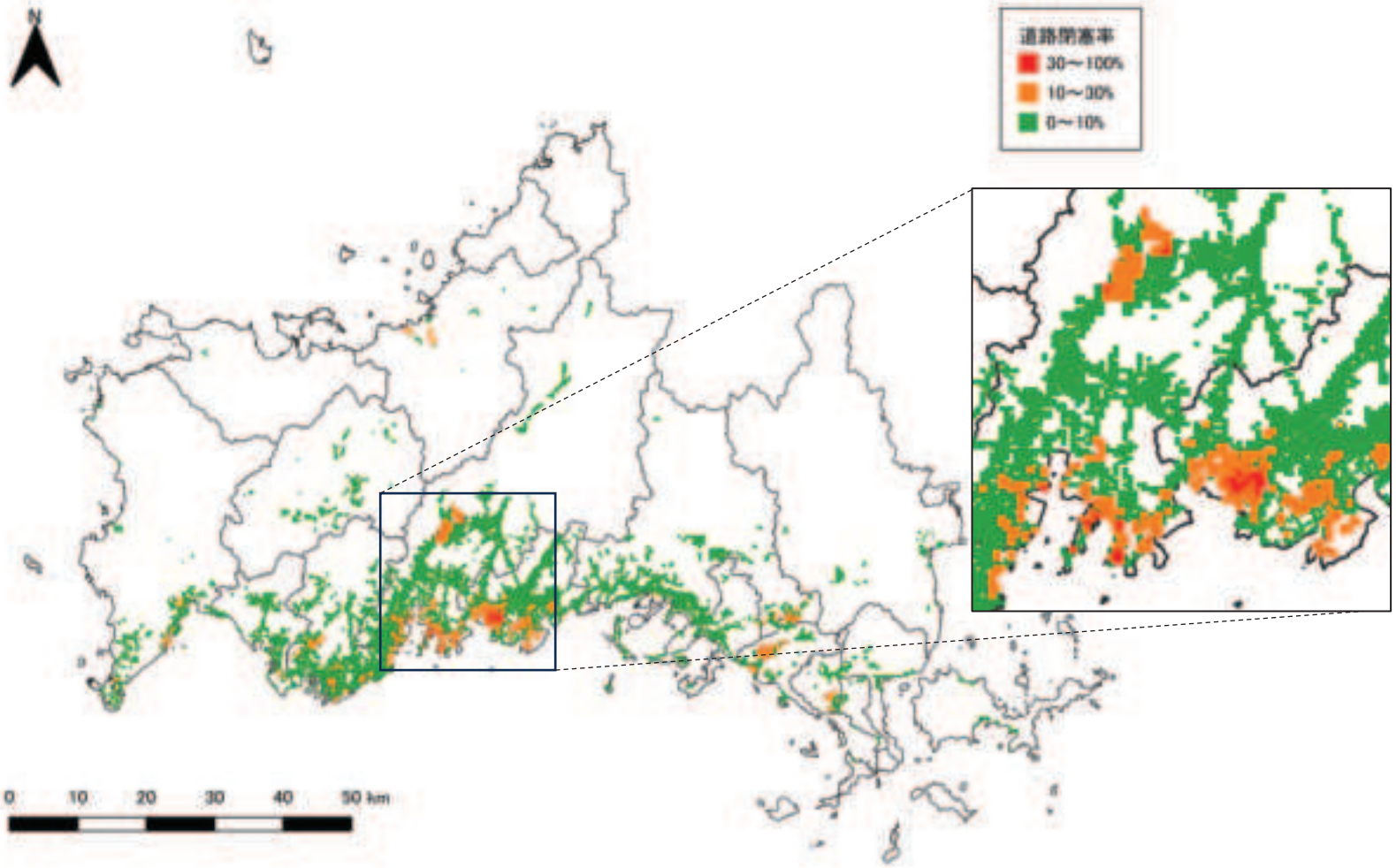
周防灘断層帯主部区間：全ケース同一

市町	道路リンク閉塞率の割合						
	0%	0～2%	2～5%	5～10%	10～20%	20～50%	50%超
下関市	85.7%	10.4%	2.2%	1.0%	0.7%	0.1%	0.0%
宇部市	38.7%	49.2%	5.2%	3.4%	3.1%	0.4%	0.0%
山口市	54.6%	32.9%	3.4%	3.3%	4.7%	1.1%	0.0%
萩市	98.1%	0.7%	0.4%	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%
防府市	11.6%	33.8%	26.5%	13.5%	10.1%	4.1%	0.3%
下松市	59.0%	36.7%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
岩国市	97.9%	1.8%	0.3%	*0.0%	*0.0%	0.0%	0.0%
光市	63.1%	21.3%	5.4%	3.8%	6.3%	0.1%	0.0%
長門市	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
柳井市	89.0%	8.4%	2.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
美祢市	91.1%	8.9%	*0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
周南市	54.0%	40.0%	3.4%	1.9%	0.7%	0.1%	0.0%
山陽小野田市	65.2%	28.4%	4.7%	1.2%	0.5%	0.0%	0.0%
周防大島町	97.2%	2.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
和木町	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上関町	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
田布施町	82.8%	11.9%	1.9%	0.4%	2.1%	0.9%	0.0%
平生町	90.9%	8.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
阿武町	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	73.0%	19.2%	3.5%	2.0%	1.9%	0.4%	*0.0%

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、
「*0.0」で表示している。

その他施設等被害（道路閉塞）

- 道路閉塞率分布（周防灘断層帯）



経済被害想定結果（案）

直接経済被害額

- 市町別直接経済被害額

【直接経済被害額が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

項目	被害額（兆円）	備考
家計部門	0.8	住宅、家財
産業及び公共部門	0.4	非住宅、償却資産、在庫資産
ライフライン	＊0.0	電力、通信、ガス、上水道、下水道
交通施設	0.3	道路、鉄道、港湾
その他	0.3	その他土木施設、農地、災害廃棄物
合計	1.9	

※1：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

※2：0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

直接経済被害額

- 市町別直接経済被害額

【直接経済被害額が最大となるケース】
周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

項目	被害額（兆円）	備考
家計部門	0.7	住宅、家財
産業及び公共部門	0.7	非住宅、償却資産、在庫資産
ライフライン	＊0.0	電力、通信、ガス、上水道、下水道
交通施設	＊0.4	道路、鉄道、港湾
その他	＊0.3	その他土木施設、農地、災害廃棄物
合計	2.2	

※1：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

※2：0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0.0」で表示している。

防災・減災対策の効果（案）

防災・減災対策の効果

【津波・建物倒壊による死者数が最大となるケース】
南海トラフ巨大地震：ケース5、冬･深夜、風速15m/s

〈津波からの早期避難による軽減〉
・推計した避難の開始時期の条件については、地震発生後すぐに避難する早期避難者の割合を20%と設定しているが、県民の津波に対する防災意識の向上が図られ、早期避難者の割合が100%（地震発生後全員がすぐに避難を開始する）となることで被害を軽減することができる。

◆早期避難率100%時の死者数⇒ 474人から134人に減少【約72%減】

※この場合でも、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達より早く浸水が発生することによる被害は発生
※「堤防が機能する場合」（R7.3に内閣府が公表した「南海トラフ巨大地震に係る新たな被害想定」での条件設定）での早期避難率100％時の死者数は０人となる。

〈建物の耐震化促進等による軽減〉
・県内の住宅について、旧耐震基準の建物の建て替えや耐震化により、耐震性を強化し全ての建物の耐震化率を100%まで向上させるとともに、家具等の転倒・落下防止対策を100%実施した場合、以下のように被害が軽減される。

◆建物倒壊等による死者数　⇒　26人から　0人に減少【100%減】
◆建物倒壊等による負傷者数⇒1,362人から 93人に減少【約93%減】

参考資料４

第7回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

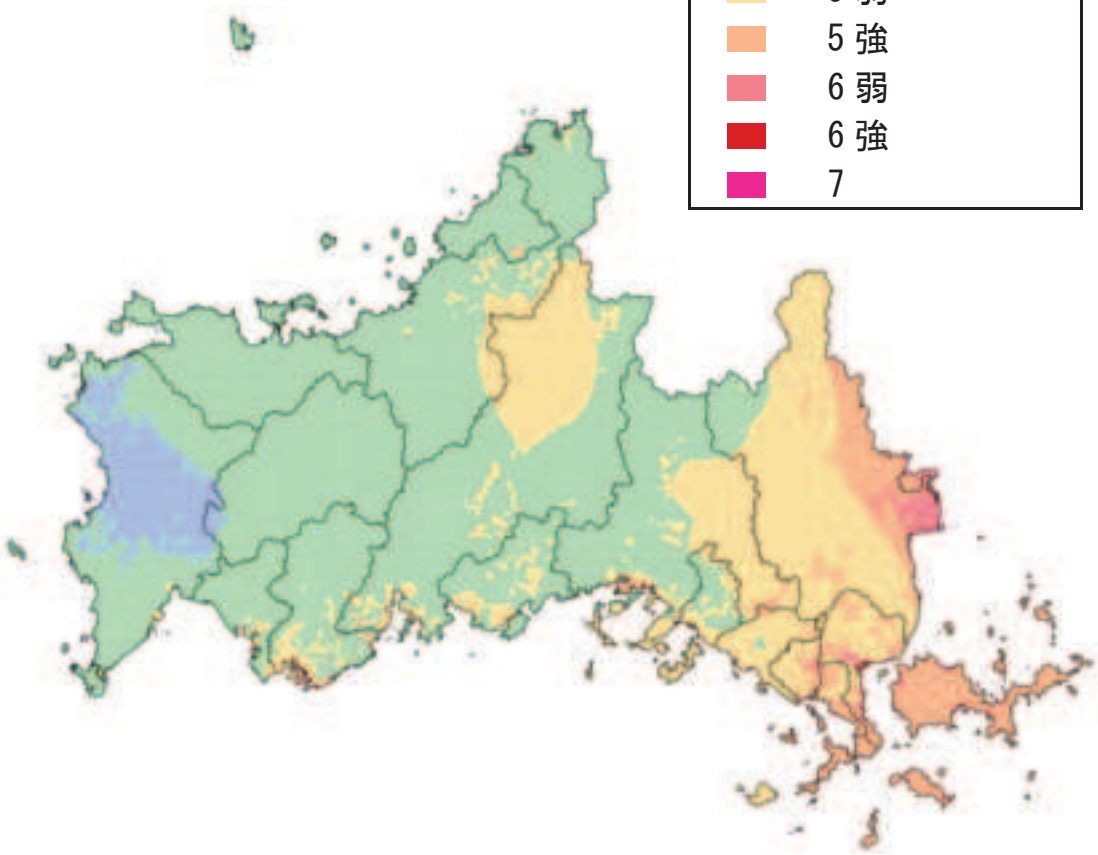
令和8年 2月27日

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 地震動予測結果（南海トラフ巨大地震）

市町村名	最大震度		
	本調査（R7県見直し）	R6国被害想定	前回調査（H26山口県）
下関市	5弱(4.7)	5弱	5弱
宇部市	5強(5.3)	5強	5強
山口市	5強(5.0)	5強	5強
萩市	5弱(4.8)	5弱	5弱
防府市	5弱(4.9)	5強	5強
下松市	5強(5.2)	5強	5強
岩国市	6弱(5.9)	6弱	6弱
光市	5強(5.4)	6弱	5強
長門市	4(4.4)	5弱	5弱
柳井市	6強(6.0)	6弱	6強
美祢市	5弱(4.5)	5弱	5弱
周南市	5強(5.3)	6弱	5強
山陽小野田市	5弱(4.8)	5強	5弱
周防大島町	6弱(5.7)	6弱	6弱
和木町	6弱(5.7)	6弱	6弱
上関町	6弱(5.6)	6弱	6弱
田布施町	6弱(5.7)	6弱	6弱
平生町	6弱(5.7)	6弱	6弱
阿武町	5強(5.4)	5強	5強

※　（　）内は計測震度

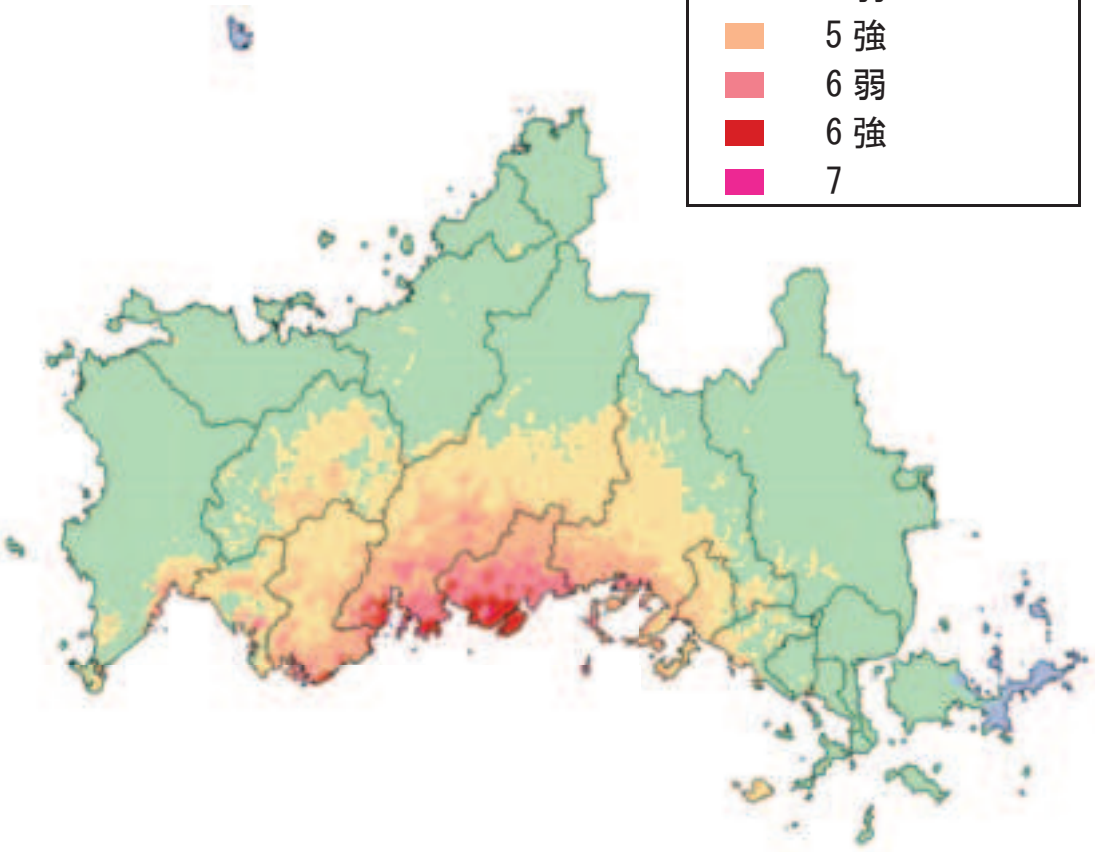


地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 地震動予測結果（周防灘断層帯）

市町村名	最大震度	
	本調査（R7県見直し）	前回調査（H26山口県）
下関市	6弱(5.8)	5強
宇部市	6強(6.3)	6強
山口市	7(7.3)	6強
萩市	5弱(4.8)	5弱
防府市	7(6.6)	6強
下松市	5強(5.4)	6弱
岩国市	5弱(4.8)	4
光市	5強(5.2)	5強
長門市	5弱(4.6)	5弱
柳井市	4(4.4)	5弱
美祢市	5強(5.2)	5強
周南市	6弱(5.9)	6弱
山陽小野田市	6弱(5.5)	5強
周防大島町	4(4.3)	4
和木町	4(4.1)	4
上関町	5弱(4.7)	5強
田布施町	5弱(4.7)	5弱
平生町	5弱(4.7)	5弱
阿武町	5弱(4.6)	4

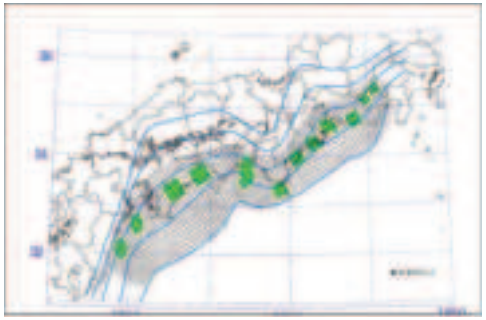
※　(　)内は計測震度



地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

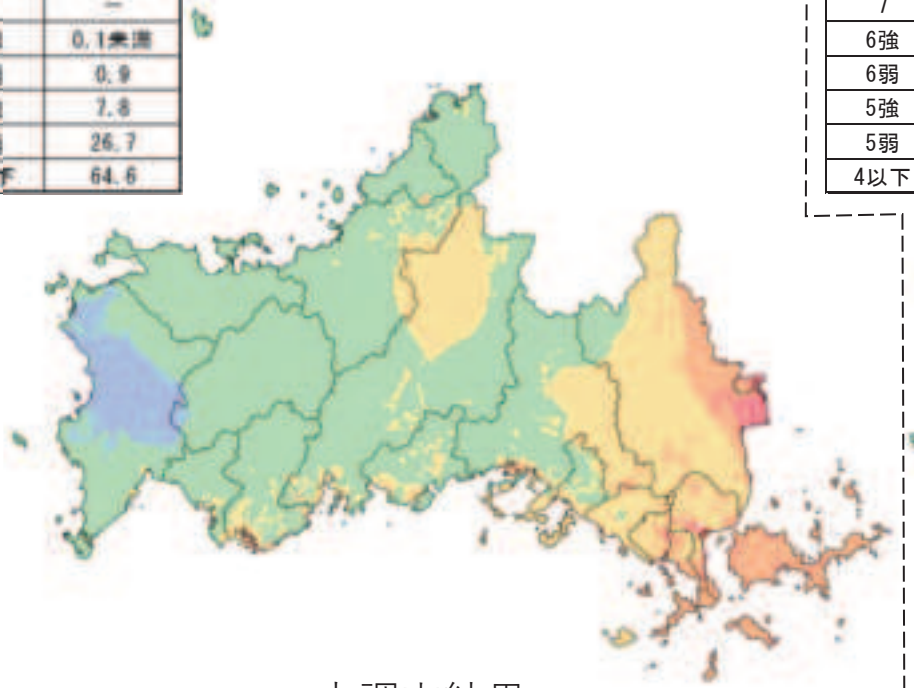
- 地震動予測結果

①南海トラフ巨大地震（陸側ケース）



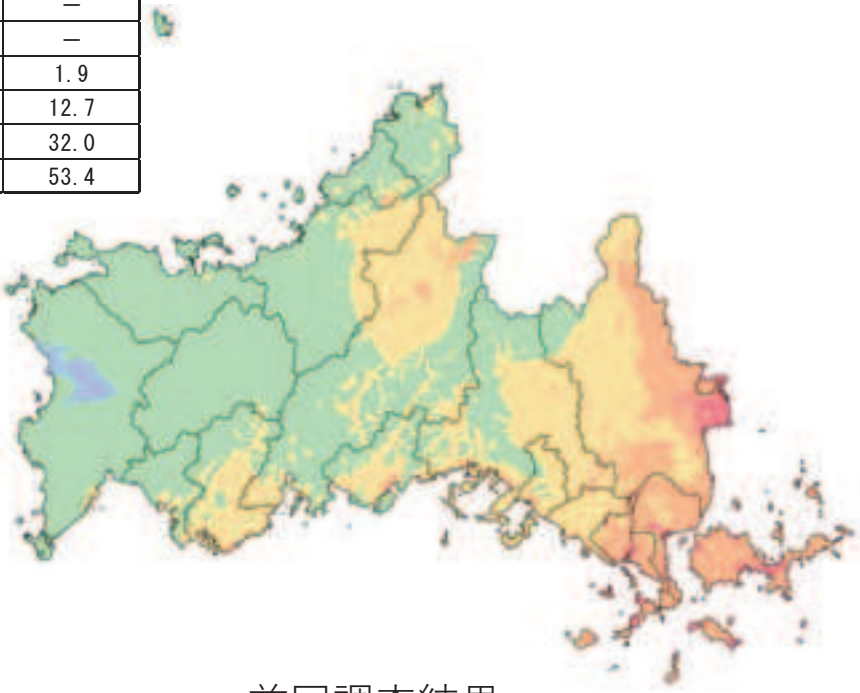
【凡例】
震源域
強震動生成域
〈震度階〉
2
3
4
5弱
5強
6弱
6強
7

震度	面積率(%)
7	—
6強	0.1未満
6弱	0.9
5強	7.8
5弱	26.7
4以下	64.6



本調査結果

震度	面積率(%)
7	—
6強	—
6弱	1.9
5強	12.7
5弱	32.0
4以下	53.4

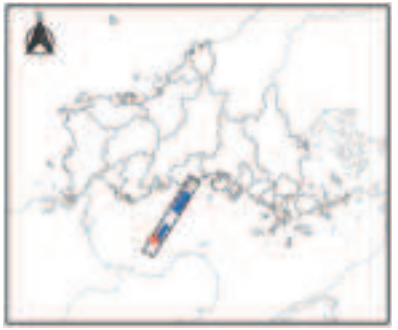


前回調査結果

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 地震動予測結果

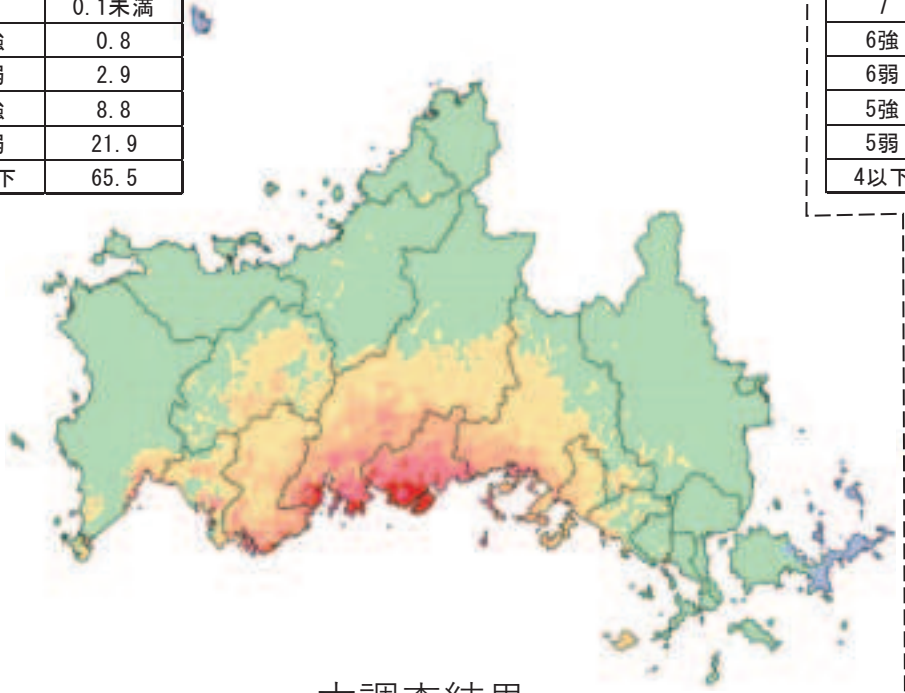
②周防灘断層帯_主部区間(南から破壊開始)



【凡例】
- 境界（市町）
- 境界（県）
- ★ 破壊開始点
- 断層
- 強震動生成域

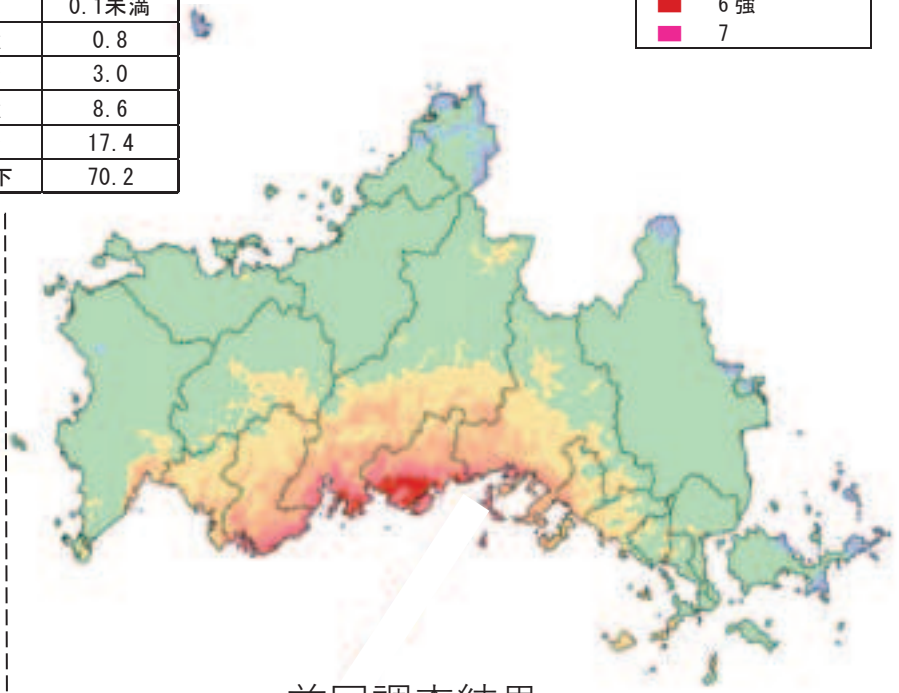
〈震度階〉
- 2
- 3
- 4
- 5弱
- 5強
- 6弱
- 6強
- 7

震度	面積率(%)
7	0.1未満
6強	0.8
6弱	2.9
5強	8.8
5弱	21.9
4以下	65.5



本調査結果

震度	面積率(%)
7	0.1未満
6強	0.8
6弱	3.0
5強	8.6
5弱	17.4
4以下	70.2



前回調査結果

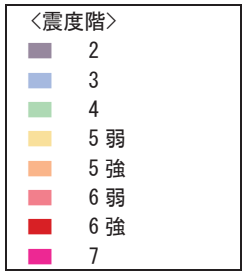
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

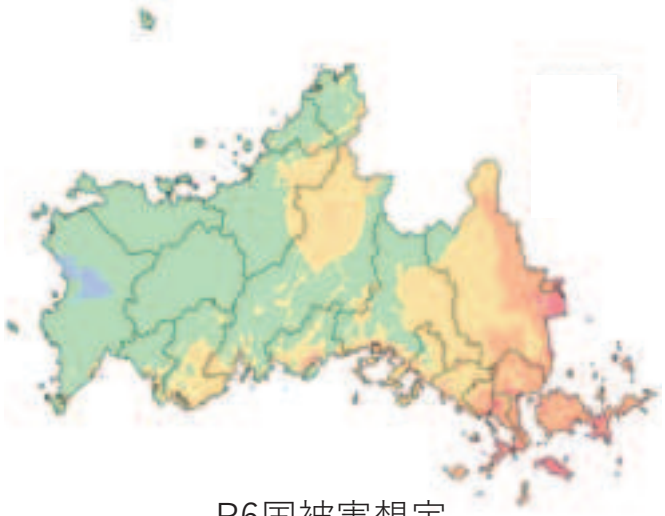
- 地震動予測結果

①南海トラフ巨大地震(陸側ケース)

市町村名	最大震度		
	本調査（R7県見直し）	R6国被害想定	前回調査（H26山口県）
下関市	5弱(4.7)	5弱	5弱
宇部市	5強(5.3)	5強	5強
山口市	5強(5.0)	5強	5強
萩市	5弱(4.8)	5弱	5弱
防府市	5弱(4.9)	5強	5強
下松市	5強(5.2)	5強	5強
岩国市	6弱(5.9)	6弱	6弱
光市	5強(5.4)	6弱	5強
長門市	4(4.4)	5弱	5弱
柳井市	6強(6.0)	6弱	6強
美祢市	5弱(4.5)	5弱	5弱
周南市	5強(5.3)	6弱	5強
山陽小野田市	5弱(4.8)	5強	5弱
周防大島町	6弱(5.7)	6弱	6弱
和木町	6弱(5.7)	6弱	6弱
上関町	6弱(5.6)	6弱	6弱
田布施町	6弱(5.7)	6弱	6弱
平生町	6弱(5.7)	6弱	6弱
阿武町	5強(5.4)	5強	5強

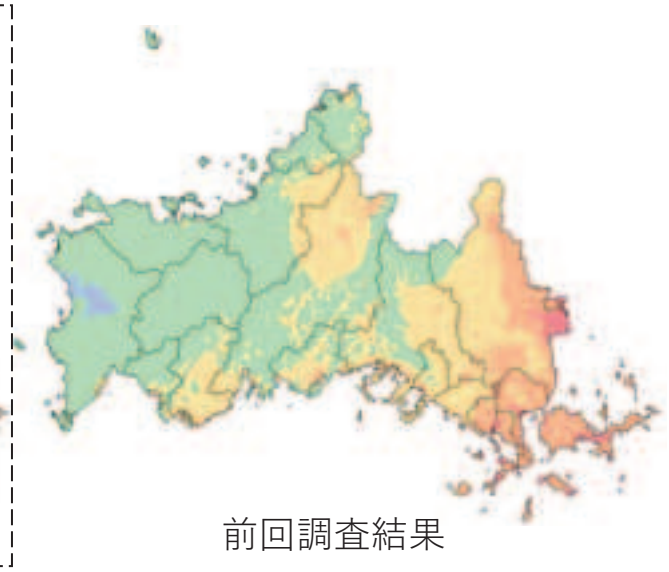
※　(　)内は計測震度





R6国被害想定

本調査結果



前回調査結果

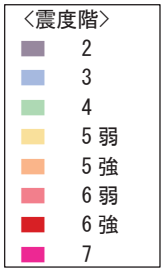
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

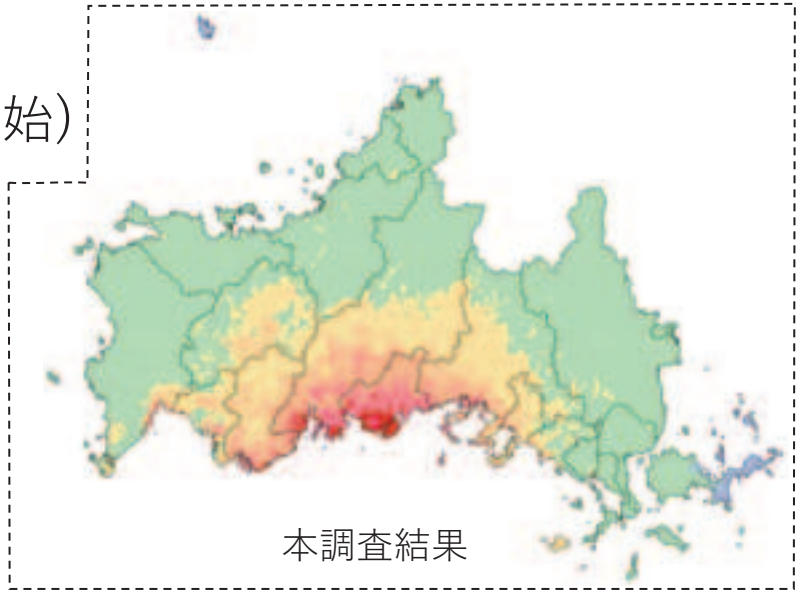
- 地震動予測結果

②周防灘断層帯_主部区間(南から破壊開始)

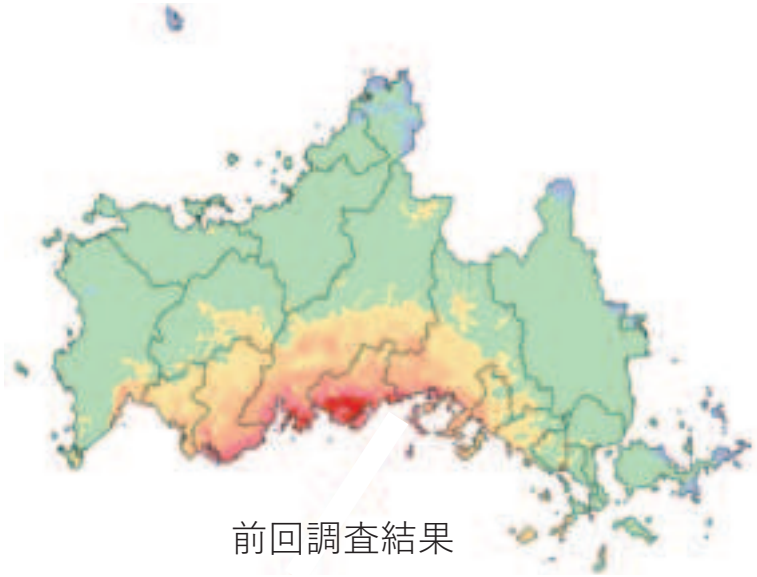
市町村名	最大震度	
	本調査（R7県見直し）	前回調査（H26山口県）
下関市	6弱(5.8)	5強
宇部市	6強(6.3)	6強
山口市	7(7.3)	6強
萩市	5弱(4.8)	5弱
防府市	7(6.6)	6強
下松市	5強(5.4)	6弱
岩国市	5弱(4.8)	4
光市	5強(5.2)	5強
長門市	5弱(4.6)	5弱
柳井市	4(4.4)	5弱
美祢市	5強(5.2)	5強
周南市	6弱(5.9)	6弱
山陽小野田市	6弱(5.5)	5強
周防大島町	4(4.3)	4
和木町	4(4.1)	4
上関町	5弱(4.7)	5強
田布施町	5弱(4.7)	5弱
平生町	5弱(4.7)	5弱
阿武町	5弱(4.6)	4

※　(　)内は計測震度





本調査結果



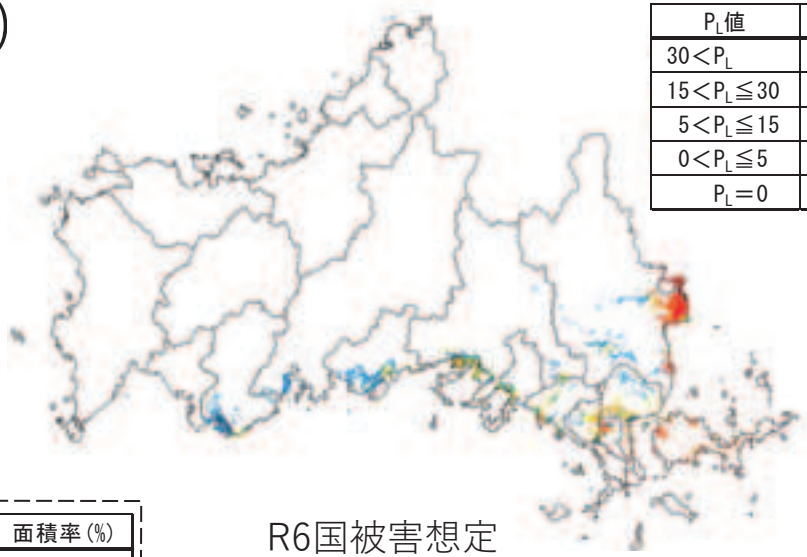
前回調査結果

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 液状化危険度予測結果(P_L値)

①南海トラフ巨大地震(陸側ケース)

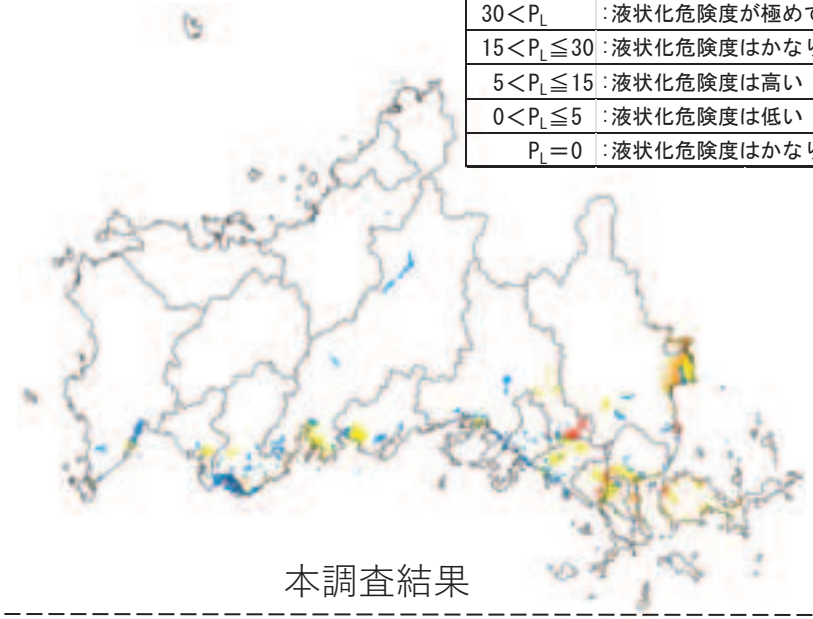
〈液状化危険度〉
- 30<PL
- 15<PL≦30
- 5<PL≦15
- 0<PL≦5
- PL=0
- 対象外



P_L値	面積率(%)
$30<P_L$	0.6
$15<P_L\leqq30$	0.5
$5<P_L\leqq15$	0.6
$0<P_L\leqq5$	1.4
$P_L=0$	96.9

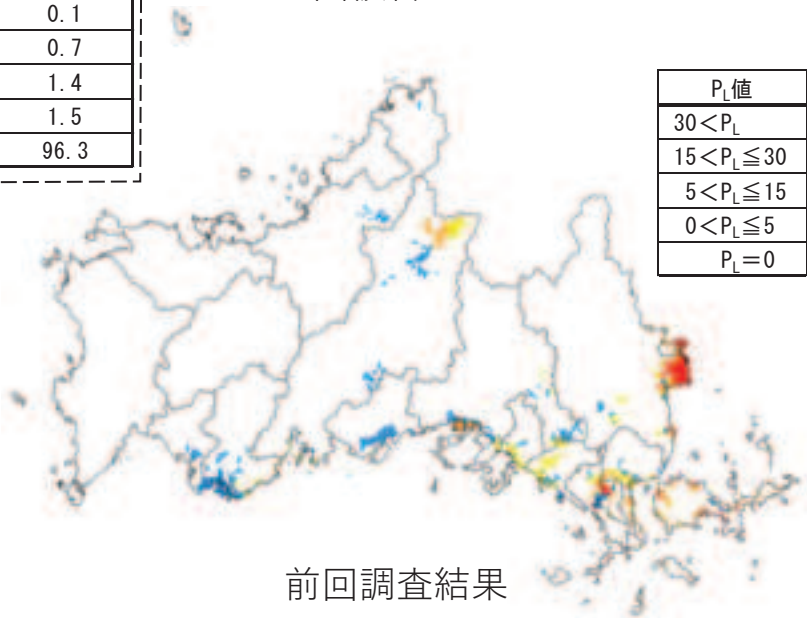
R6国被害想定

P_L値		面積率(%)
$30<P_L$	:液状化危険度が極めて高い	0.1
$15<P_L\leqq30$	:液状化危険度はかなり高い	0.7
$5<P_L\leqq15$	:液状化危険度は高い	1.4
$0<P_L\leqq5$	:液状化危険度は低い	1.5
$P_L=0$	:液状化危険度はかなり低い	96.3



本調査結果

P_L値	面積率(%)
$30<P_L$	0.6
$15<P_L\leqq30$	1.0
$5<P_L\leqq15$	1.0
$0<P_L\leqq5$	2.0
$P_L=0$	95.5

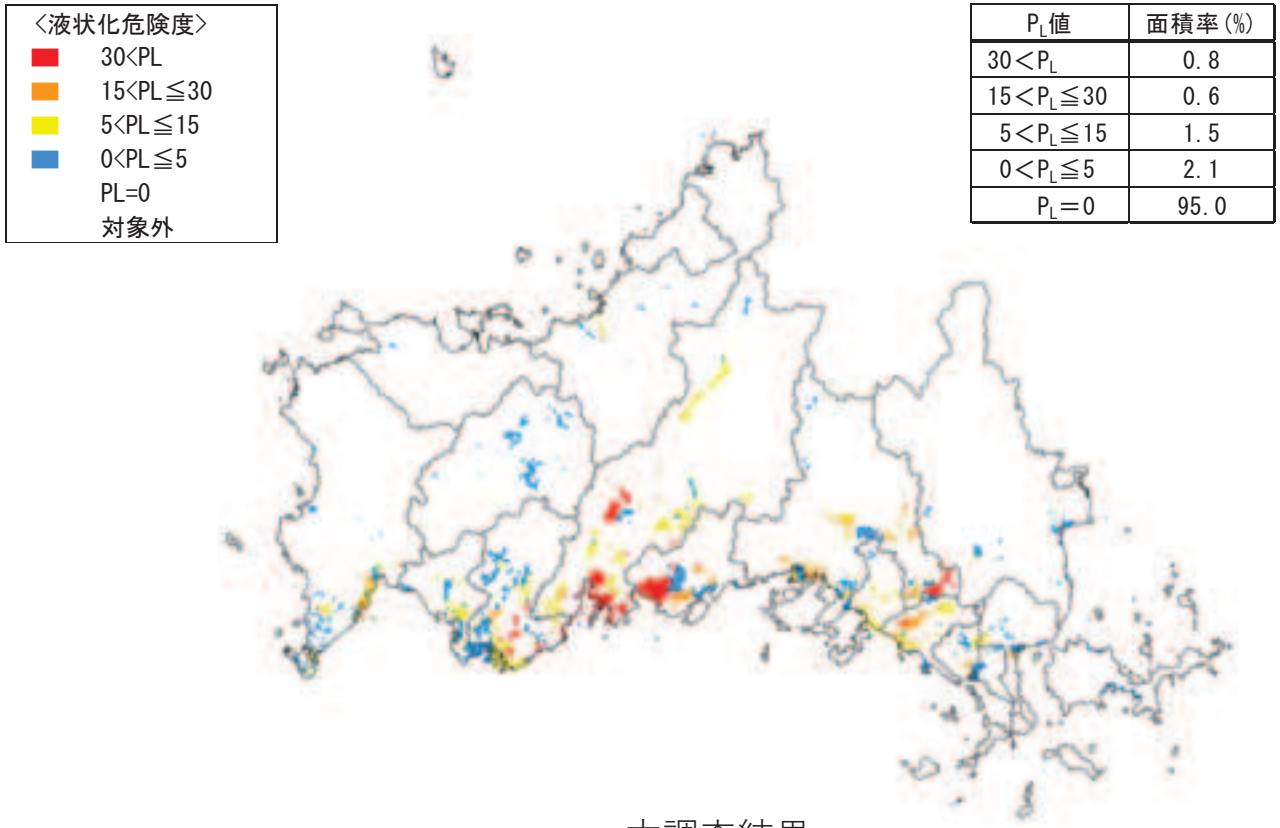


前回調査結果

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 液状化危険度予測結果(P_L値)

②周防灘断層帯_主部区間（南から破壊開始）



P_L値	面積率(%)
$30<P_L$	0.8
$15<P_L\leqq30$	0.6
$5<P_L\leqq15$	1.5
$0<P_L\leqq5$	2.1
$P_L=0$	95.0

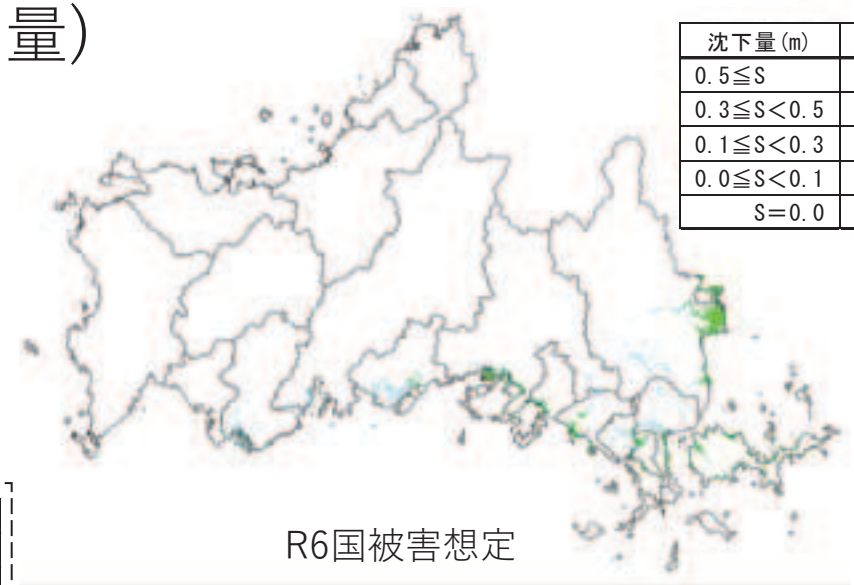
本調査結果

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 液状化危険度予測結果(沈下量)

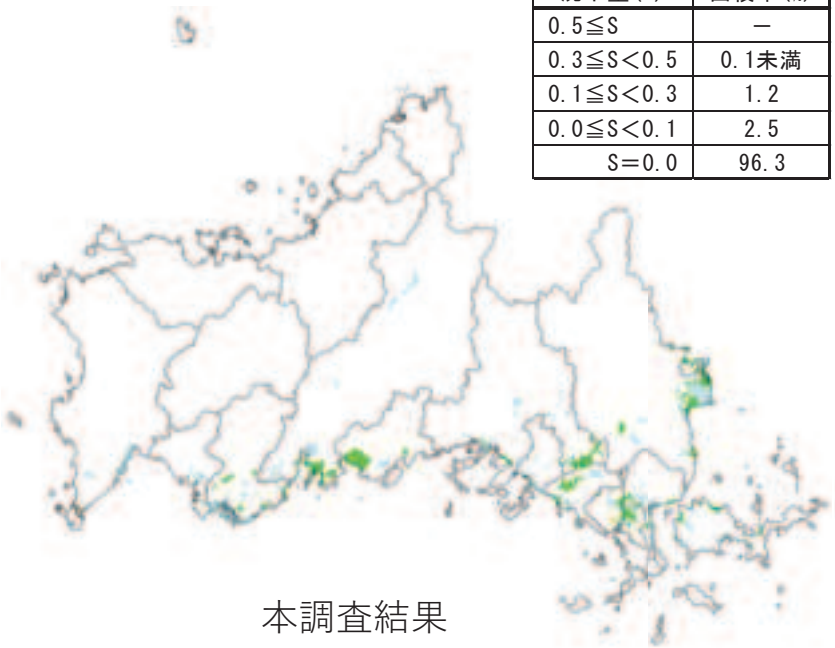
①南海トラフ巨大地震(陸側ケース)

〈沈下量〉
- 0.5≦S
- 0.3≦S<0.5
- 0.1≦S<0.3
- 0<S<0.1
- S=0
- 対象外



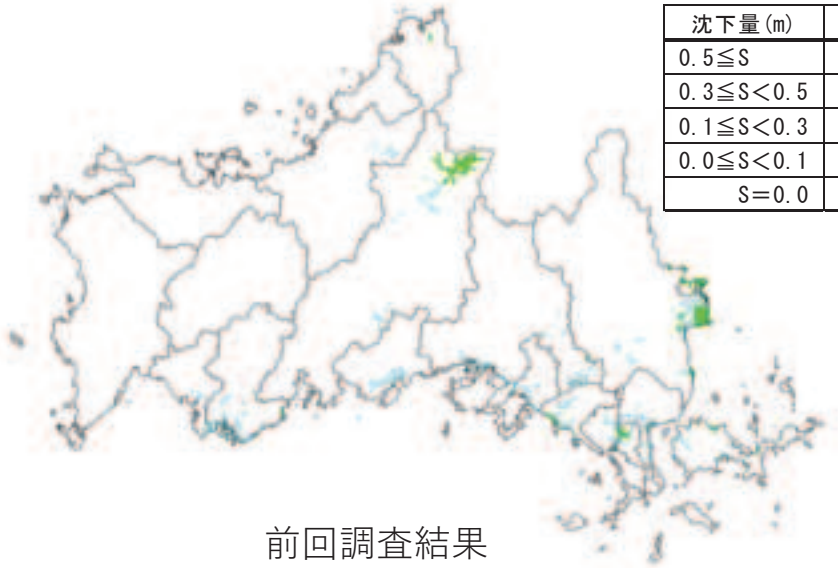
沈下量(m)	面積率(%)
0.5≦S	—
0.3≦S＜0.5	0.1未満
0.1≦S＜0.3	0.9
0.0≦S＜0.1	2.2
S＝0.0	96.9

R6国被害想定



沈下量(m)	面積率(%)
0.5≦S	—
0.3≦S＜0.5	0.1未満
0.1≦S＜0.3	1.2
0.0≦S＜0.1	2.5
S＝0.0	96.3

本調査結果



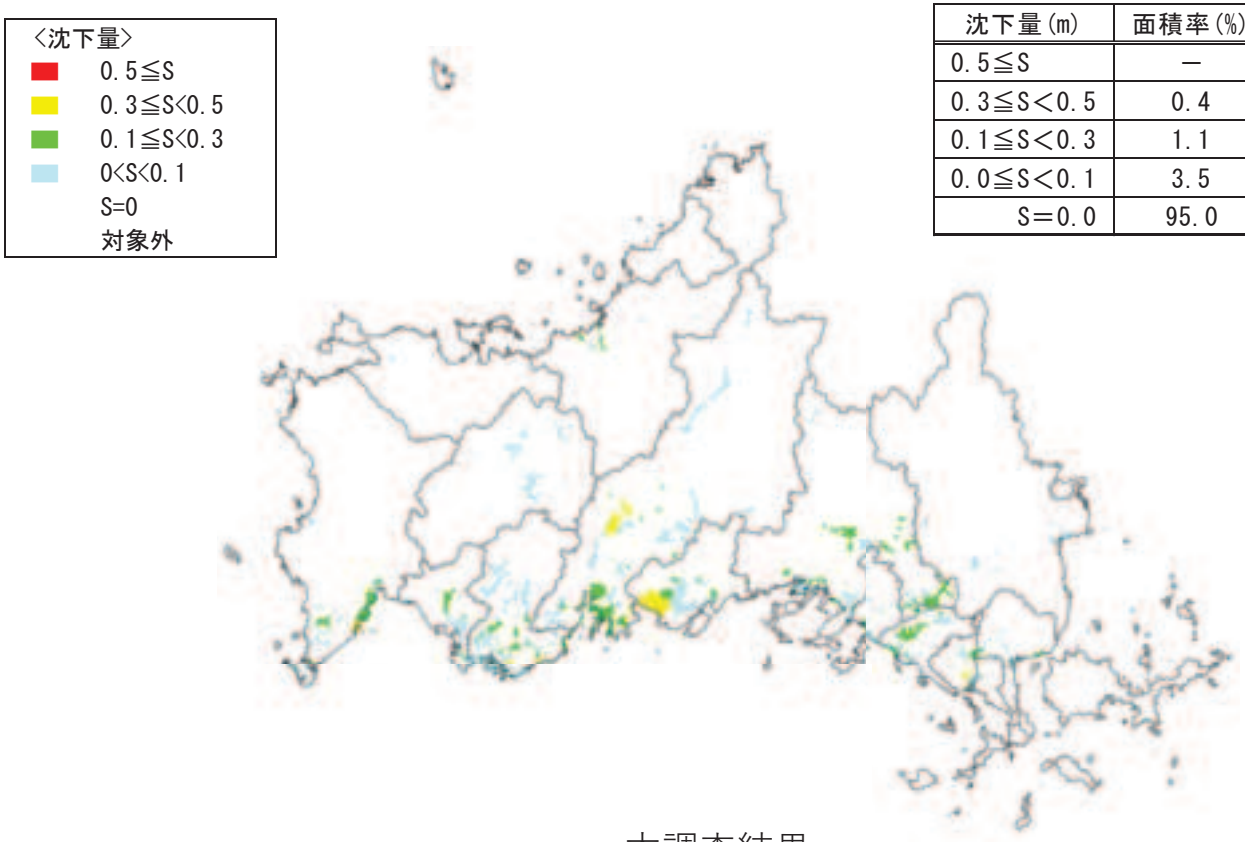
沈下量(m)	面積率(%)
0.5≦S	—
0.3≦S＜0.5	—
0.1≦S＜0.3	0.8
0.0≦S＜0.1	3.7
S＝0.0	95.5

前回調査結果

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 液状化危険度予測結果(沈下量)

②周防灘断層帯_主部区間（南から破壊開始）



沈下量(m)	面積率(%)
0.5≦S	－
0.3≦S＜0.5	0.4
0.1≦S＜0.3	1.1
0.0≦S＜0.1	3.5
S＝0.0	95.0

本調査結果

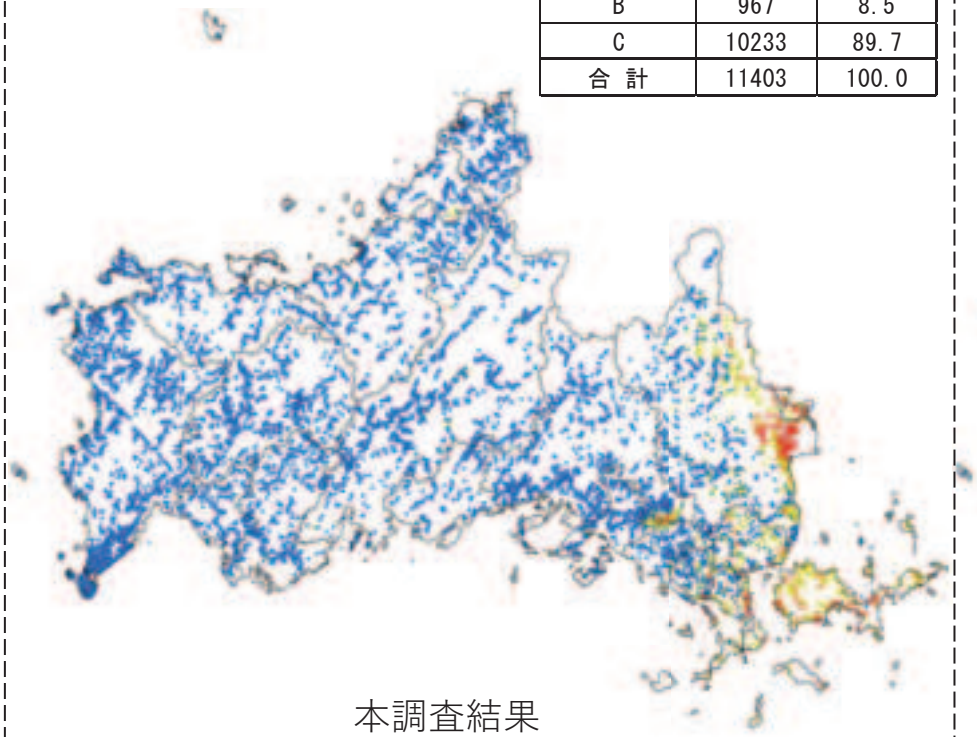
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 急傾斜地危険度予測結果（1_急傾斜地崩壊危険箇所）

①南海トラフ巨大地震(陸側ケース)

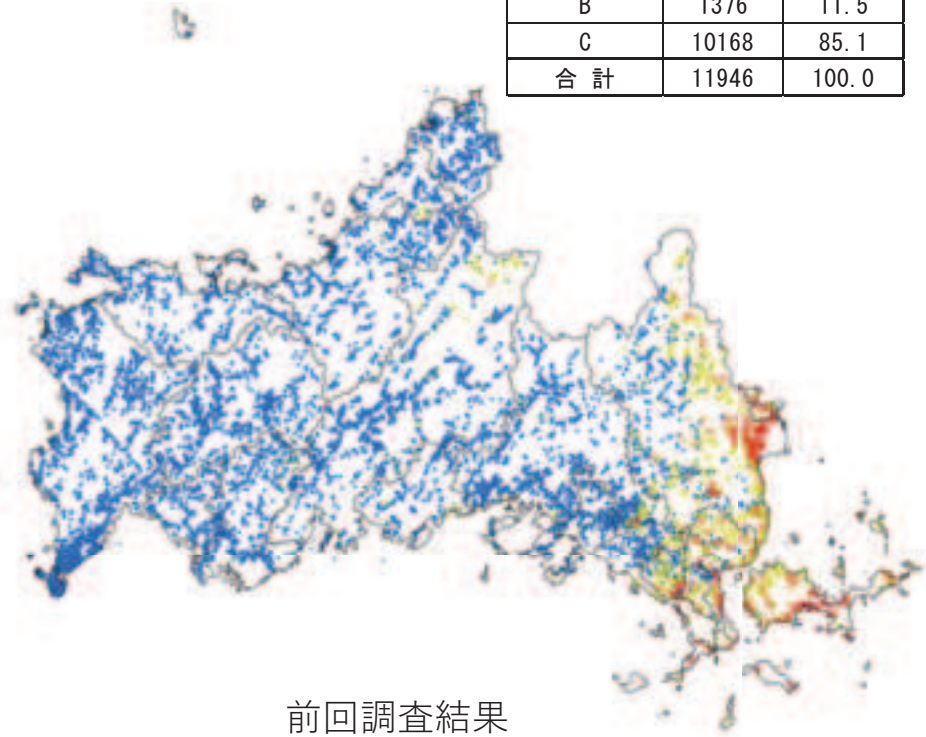
〈危険度ランク〉
- 危険度：A
- 危険度：B
- 危険度：C

危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	203	1.8
B	967	8.5
C	10233	89.7
合 計	11403	100.0



本調査結果

危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	402	3.4
B	1376	11.5
C	10168	85.1
合 計	11946	100.0



前回調査結果

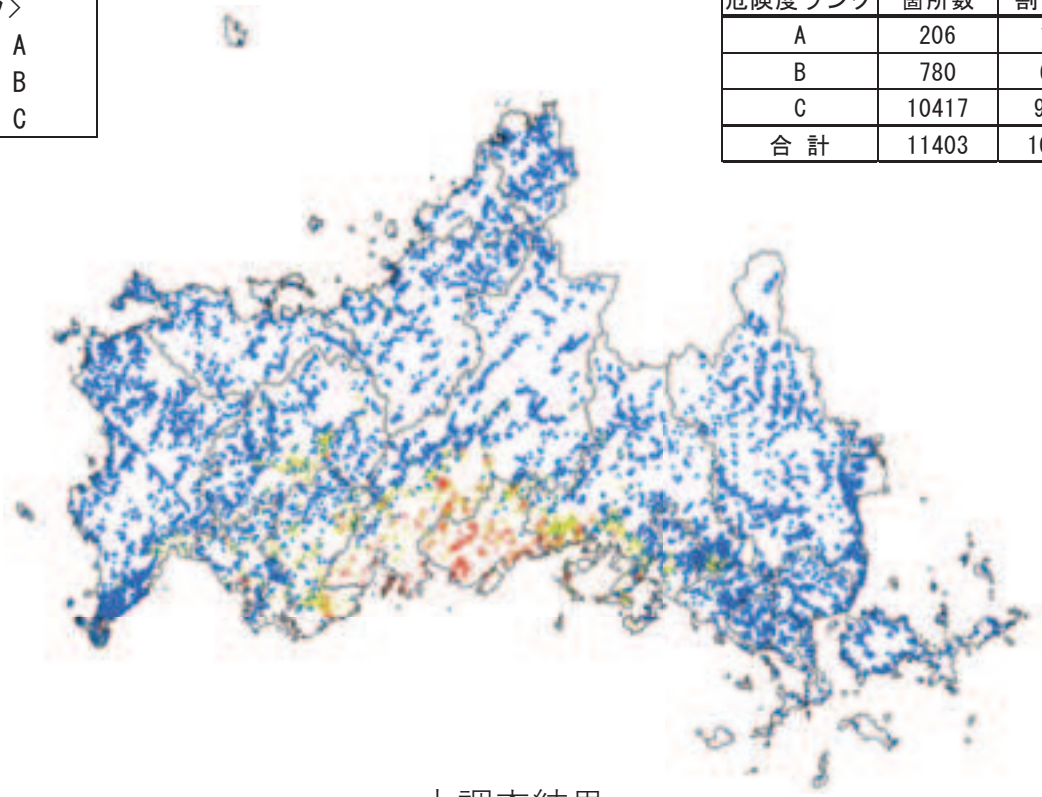
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 急傾斜地危険度予測結果（1_急傾斜地崩壊危険箇所）

②周防灘断層帯_主部区間(南から破壊開始)

〈危険度ランク〉
- 危険度：A
- 危険度：B
- 危険度：C

危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	206	1.8
B	780	6.8
C	10417	91.4
合 計	11403	100.0

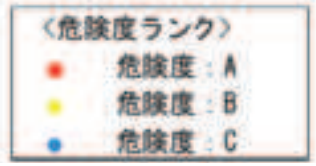


本調査結果

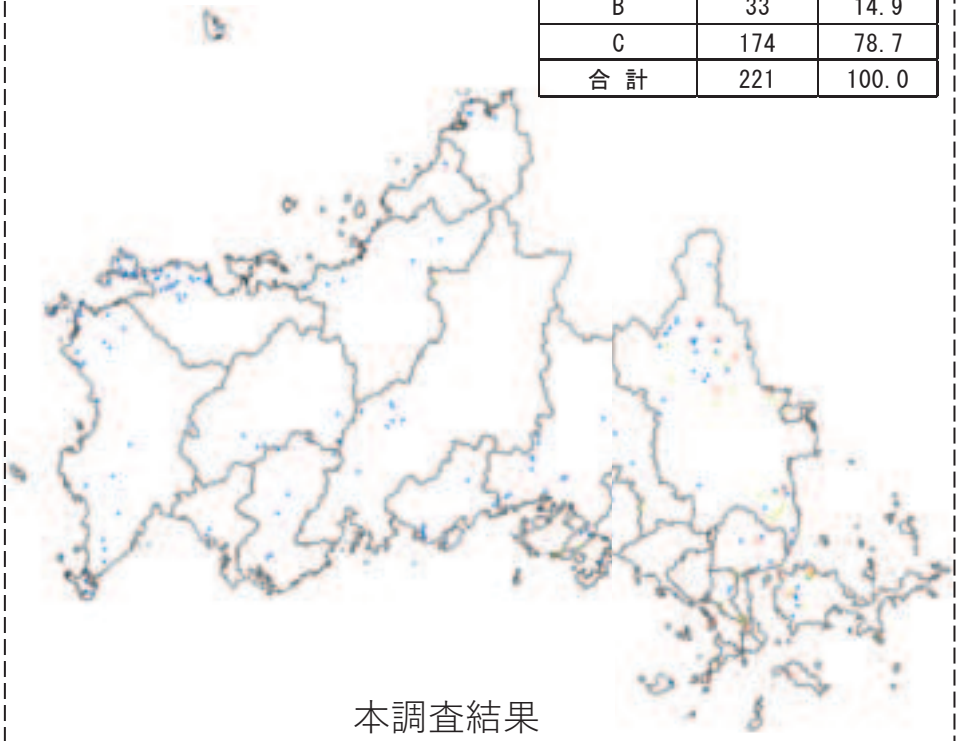
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 急傾斜地危険度予測結果（2_地すべり危険箇所）

①南海トラフ巨大地震(陸側ケース)

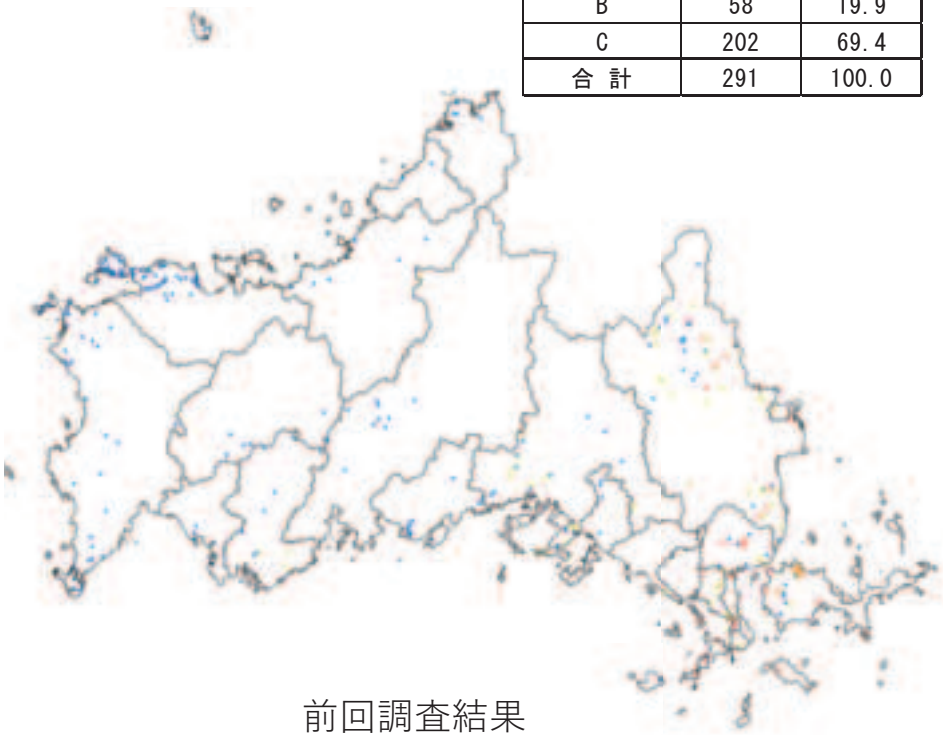


危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	14	6.4
B	33	14.9
C	174	78.7
合 計	221	100.0



本調査結果

危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	31	10.7
B	58	19.9
C	202	69.4
合 計	291	100.0

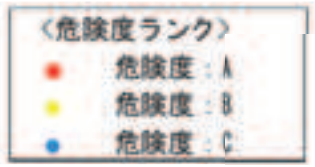


前回調査結果

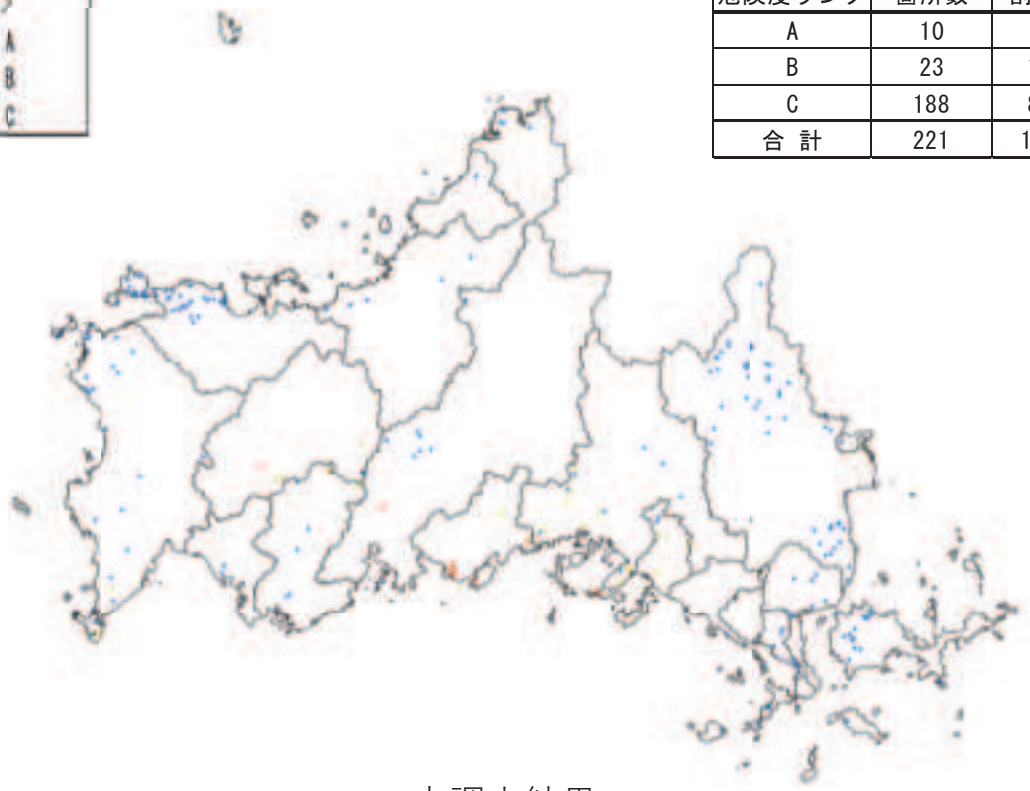
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 急傾斜地危険度予測結果（2_地すべり危険箇所）

②周防灘断層帯_主部区間(南から破壊開始)



危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	10	4.5
B	23	10.4
C	188	85.1
合 計	221	100.0



本調査結果

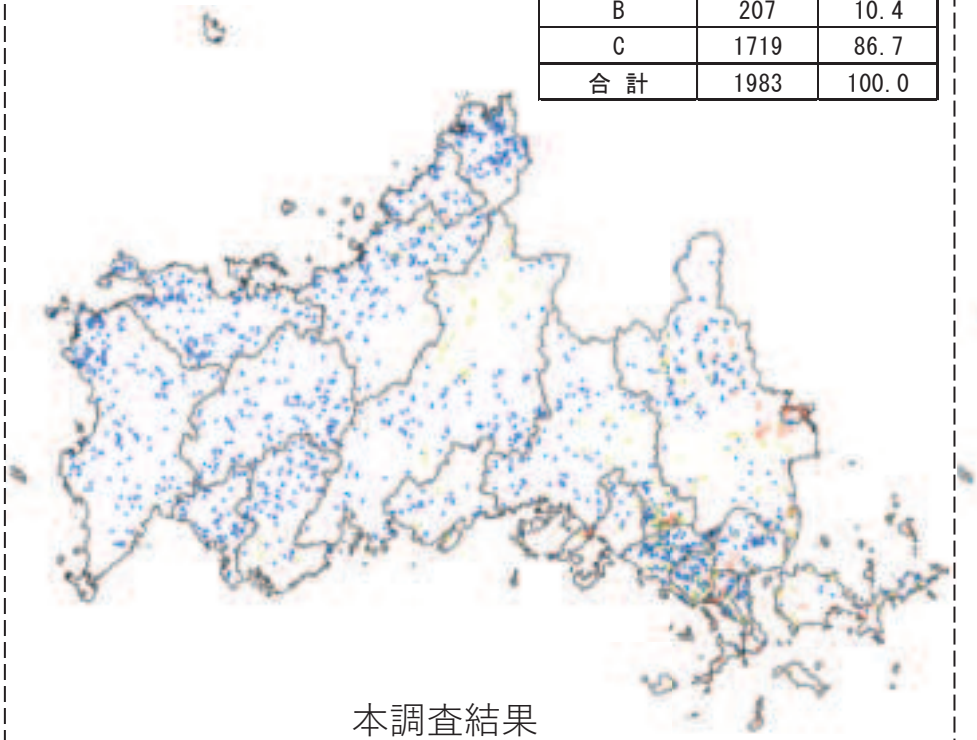
地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 急傾斜地危険度予測結果（3_山腹崩壊危険地区）

①南海トラフ巨大地震(陸側ケース)

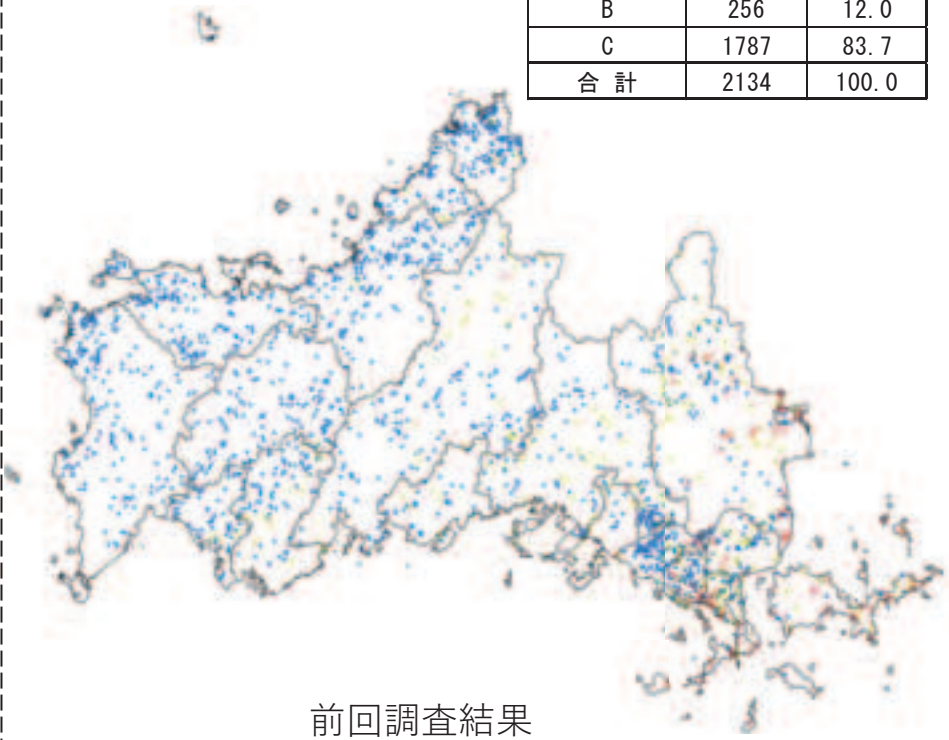
〈危険度ランク〉
危険度：A
危険度：B
危険度：C

危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	57	2.9
B	207	10.4
C	1719	86.7
合 計	1983	100.0



本調査結果

危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	91	4.3
B	256	12.0
C	1787	83.7
合 計	2134	100.0

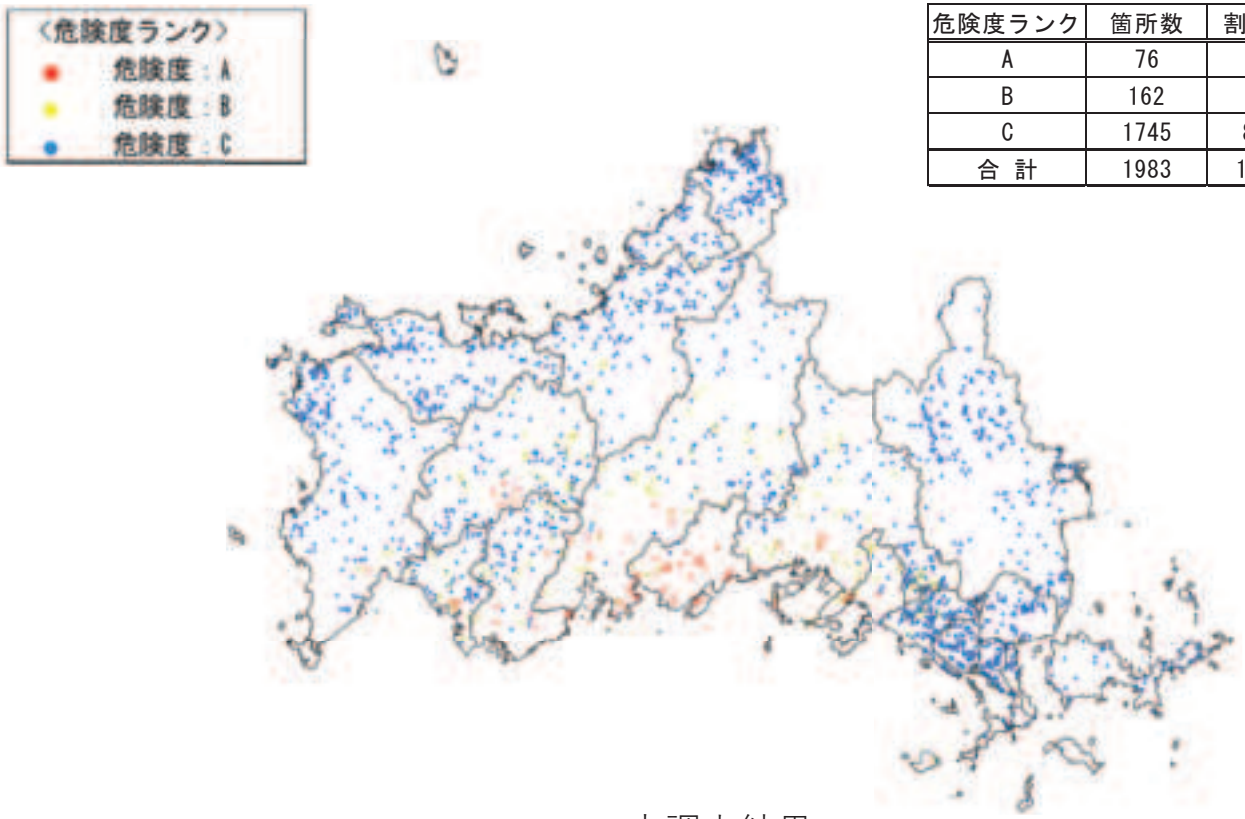


前回調査結果

地震動及び液状化、急傾斜地予測の結果

- 急傾斜地危険度予測結果（3_山腹崩壊危険地区）

②周防灘断層帯_主部区間(南から破壊開始)



危険度ランク	箇所数	割合(%)
A	76	3.8
B	162	8.2
C	1745	88.0
合 計	1983	100.0

本調査結果

参考資料５

第７回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

津波浸水想定の結果

令和8年2月27日

浸水面積・浸水範囲

本資料では、最大包絡（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯）の浸水面積の集計結果と、浸水範囲の全体図を示す。
今回調査の浸水範囲の詳細は**津波浸水想定図**を参照のこと。

【浸水面積】前回調査計算結果との比較

南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯　最大包絡

今回調査　本調査（地震後堤防）の浸水面積（ヘクタール）

市町名	浸水面積（ヘクタール）［浸水深毎］					
	1cm以上	30cm以上	1m以上	2m以上	5m以上	10m以上
下関市	658	559	415	226	*	-
宇部市	746	634	386	76	-	-
山口市	1736	1565	1156	490	-	-
防府市	1140	991	713	331	*	-
下松市	193	122	47	23	-	-
岩国市	1695	1486	991	307	*	-
光市	107	79	46	27	-	-
柳井市	519	457	277	79	-	-
周南市	621	483	275	95	-	-
山陽小野田市	934	854	701	447	-	-
周防大島町	549	444	257	96	-	-
和木町	76	66	35	2	-	-
上関町	160	147	112	55	-	-
田布施町	190	162	72	12	-	-
平生町	445	376	198	40	-	-
合計	9768	8425	5681	2304	*	-

＊：1ha以下の浸水有、-：浸水なし　浸水面積は四捨五入で表示しているため、合計が合わない場合がある。

【浸水面積】前回調査計算結果との比較

南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯　最大包絡

前回調査　前回調査（山口県H25）の浸水深毎の浸水面積（ヘクタール）

市町名	浸水面積（ヘクタール）［浸水深毎］					
	1cm以上	30cm以上	1m以上	2m以上	5m以上	10m以上
下関市	637	554	445	243	4	-
宇部市	610	536	309	61	-	-
山口市	1666	1491	1101	489	-	-
防府市	1030	912	701	323	-	-
下松市	90	52	24	11	-	-
岩国市	1573	1377	876	252	-	-
光市	82	59	35	16	-	-
柳井市	474	406	217	45	-	-
周南市	494	364	169	34	-	-
山陽小野田市	830	768	612	405	*	-
周防大島町	455	367	204	68	-	-
和木町	71	56	20	3	-	-
上関町	117	105	75	30	-	-
田布施町	157	128	50	7	-	-
平生町	373	291	133	19	-	-
合計	8659	7466	4971	2006	4	-

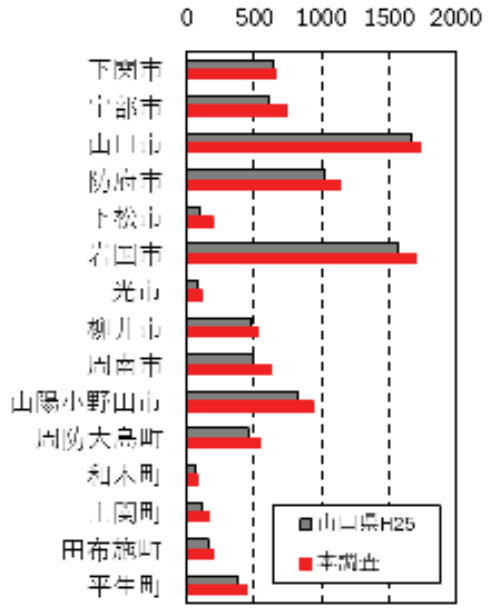
＊：1ha以下の浸水有、-：浸水なし　浸水面積は四捨五入で表示しているため、合計が合わない場合がある。

【浸水面積】前回調査計算結果との比較

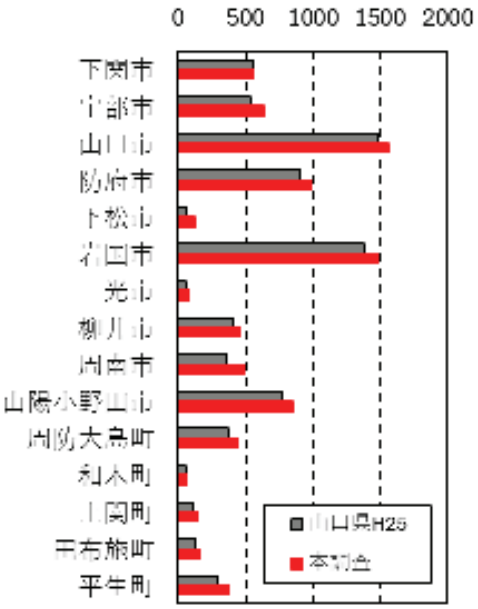
南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯　最大包絡

前回調査および本調査の浸水面積比較［浸水深別］（ヘクタール）

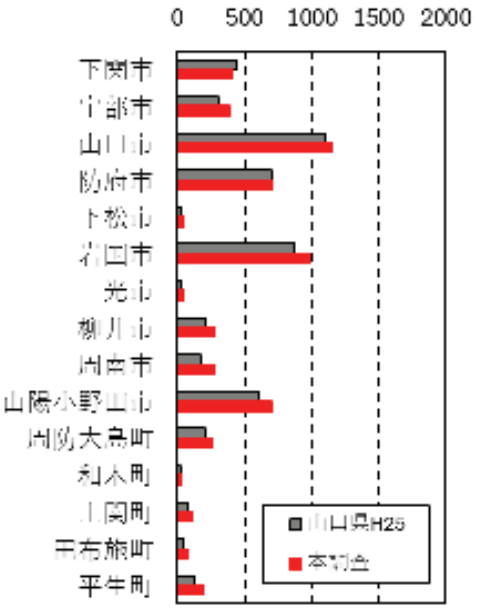
浸水面積 1cm以上



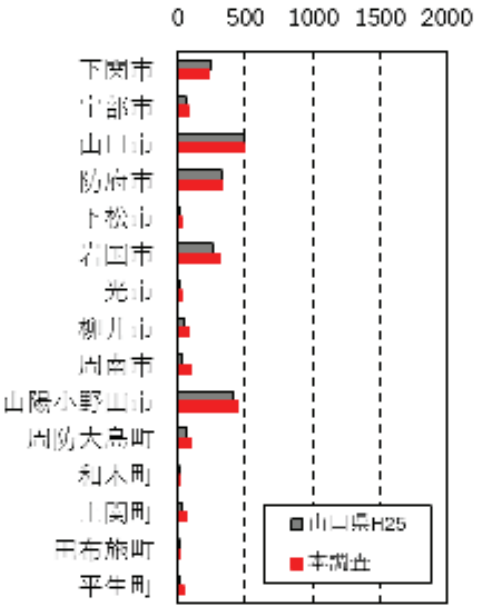
浸水面積 30cm以上



浸水面積 1m以上



浸水面積 2m以上



【浸水面積】各調査結果との比較

南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯　最大包絡

浸水面積比較　各調査の浸水面積比較（浸水深30cm以上）（ヘクタール）

市町名	浸水深30cm以上の浸水面積（ヘクタール）			
	内閣府H24※1	内閣府R7※2	前回調査	今回調査
下関市	200	310	554	559
宇部市	20	50	536	634
山口市	170	140	1491	1565
防府市	70	140	912	991
下松市	60	80	52	122
岩国市	50	90	1377	1486
光市	40	90	59	79
柳井市	90	430	406	457
周南市	280	350	364	483
山陽小野田市	60	50	768	854
周防大島町	140	310	367	444
和木町	-	*	56	66
上関町	60	160	105	147
田布施町	30	110	128	162
平生町	30	140	291	376
合計	1300	2450	7466	8425

※１：南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/kento_wg/index.html

※２：内閣府（H24）
：南海トラフの巨大地震モデル検討会（第2次報告）
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/model/

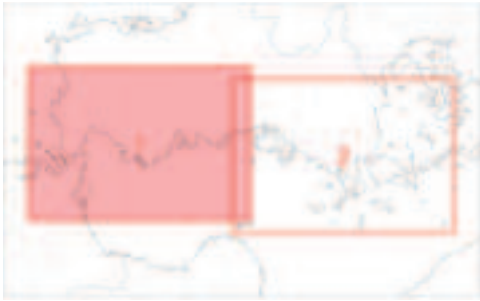
＊：1ha以下の浸水有、-：浸水なし　浸水面積は四捨五入で表示しているため、合計が合わない場合がある。

【浸水範囲】前回調査計算結果との比較

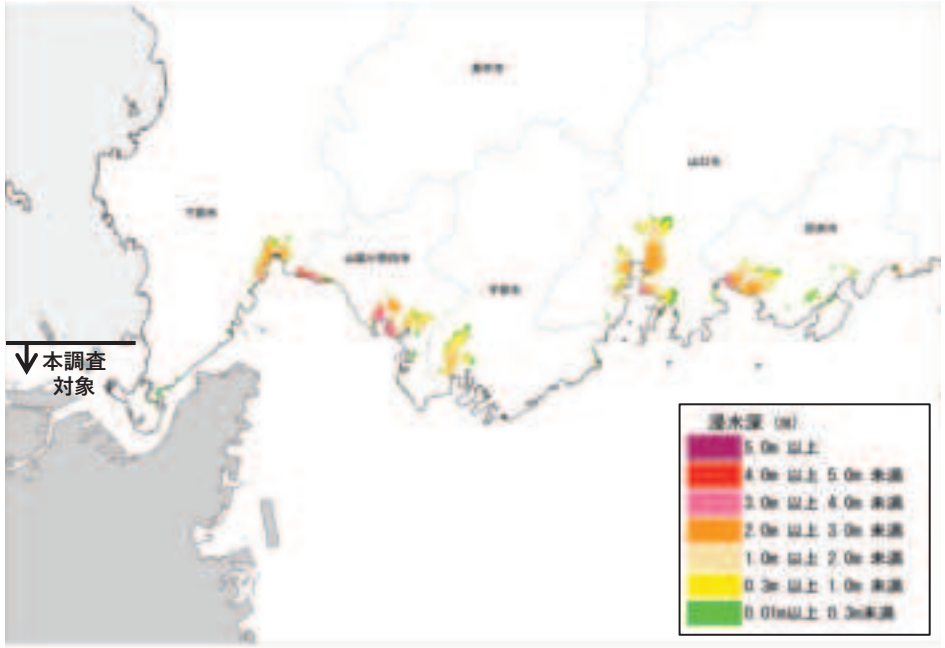
最大包絡（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯）（1/2）

堤防モデル：地震後堤防

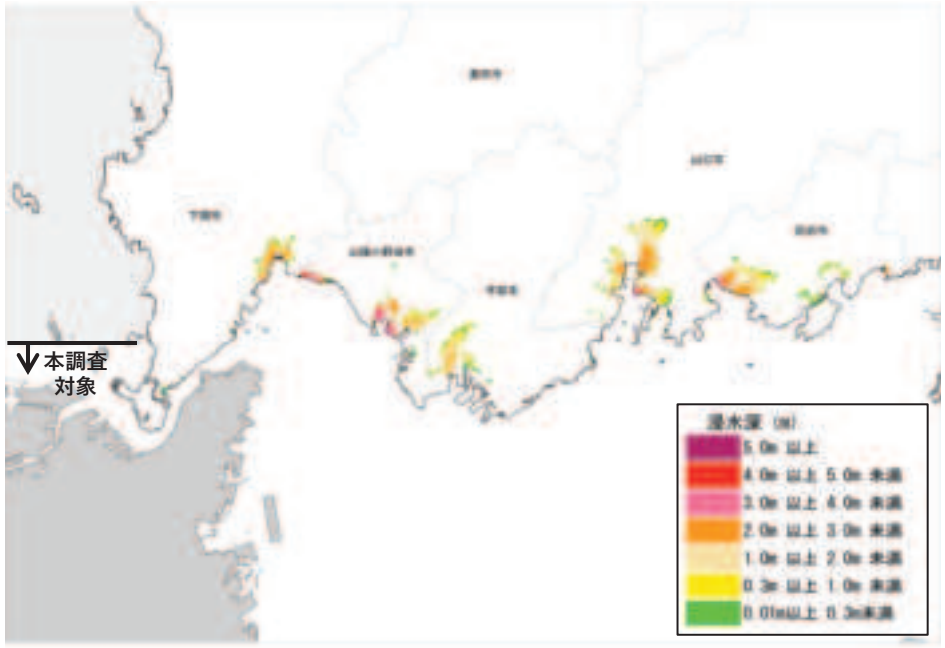
今回調査の詳細は津波浸水想定図を参照のこと。



前回調査



今回調査
（堤防モデル：地震後堤防）

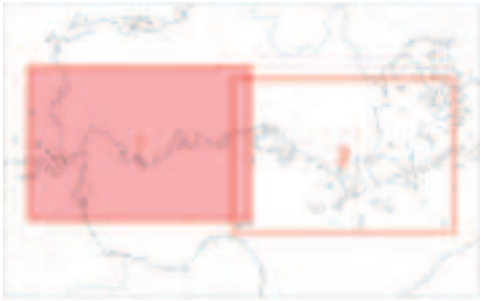


【浸水範囲】前回調査計算結果との比較

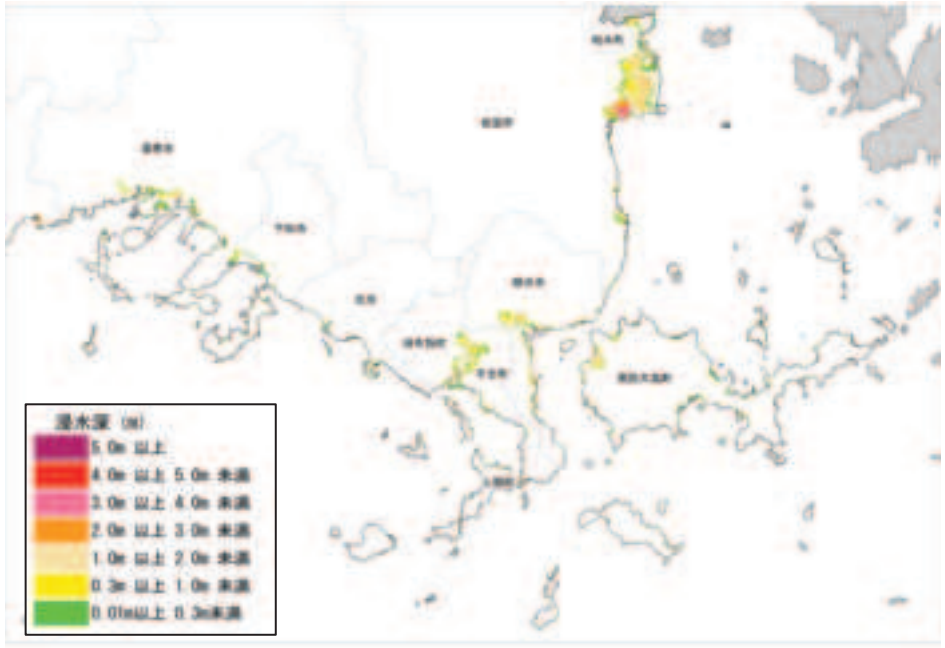
最大包絡（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯）（2/2）

堤防モデル：地震後堤防

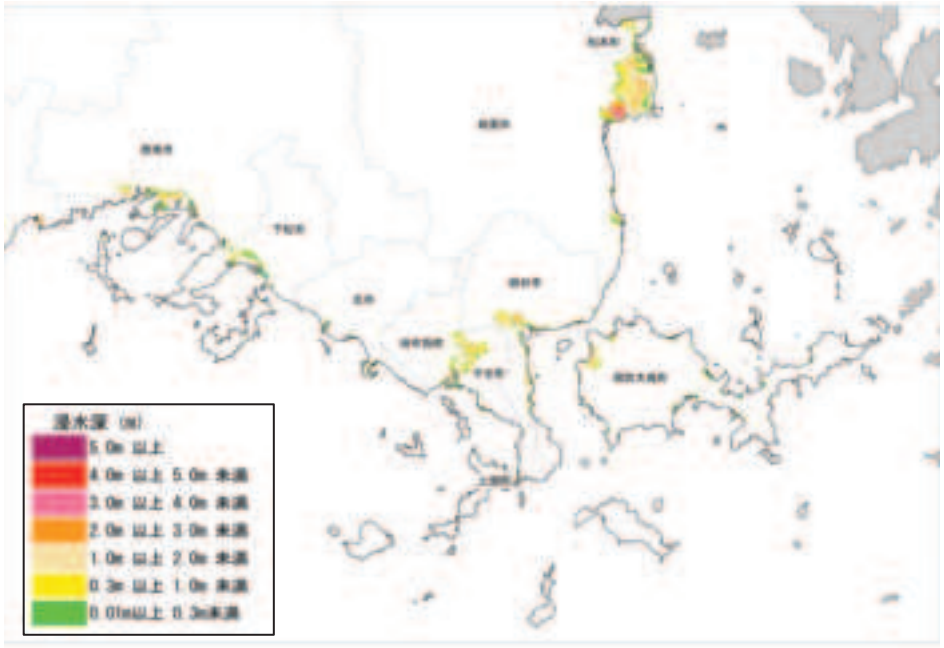
今回調査の詳細は津波浸水想定図を参照のこと。



前回調査



今回調査
（堤防モデル：地震後堤防）

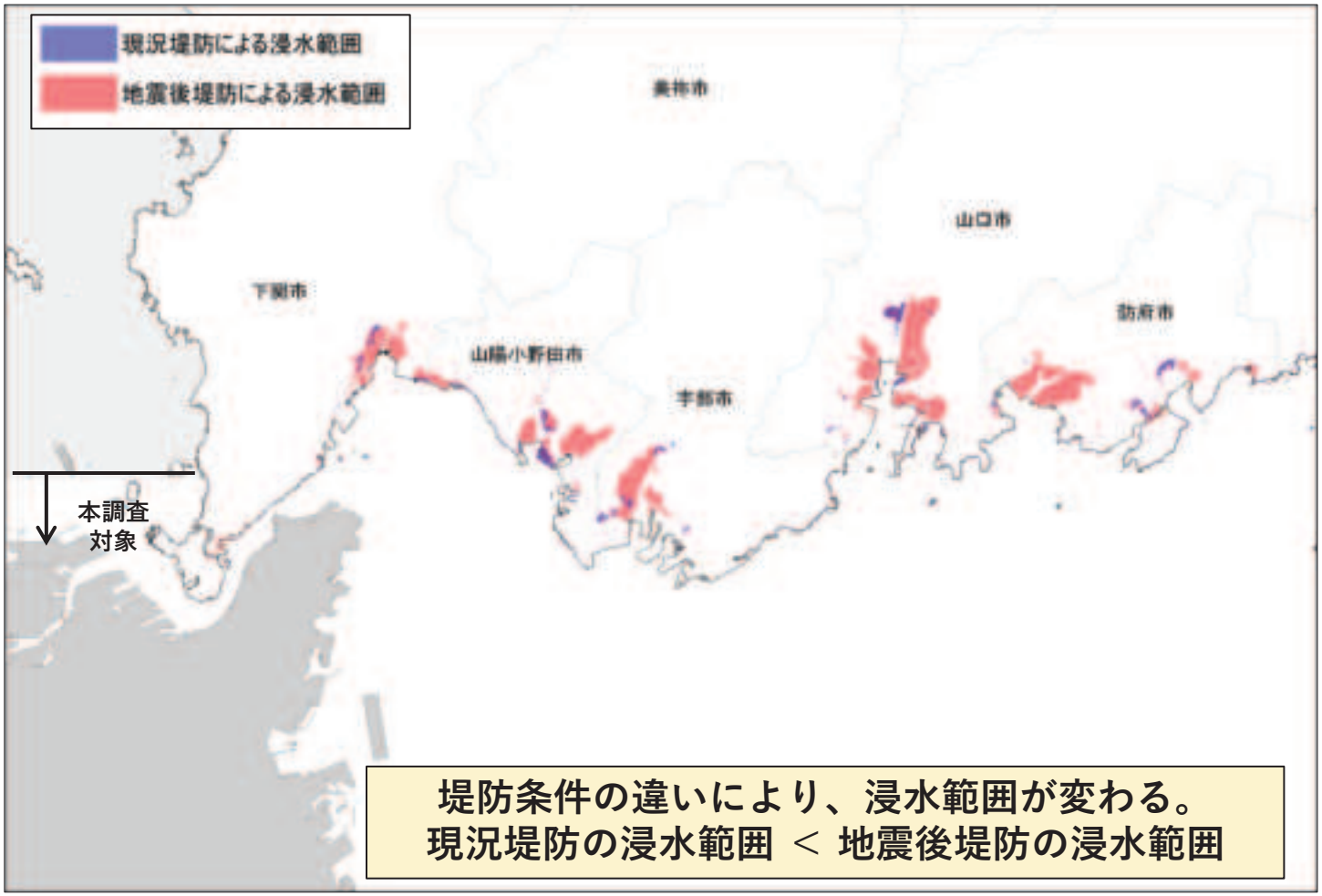


堤防条件の違いによる計算結果の比較
浸水面積・浸水範囲

【浸水範囲】堤防条件の違いによる計算結果の比較

最大包絡（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯）（1/2）

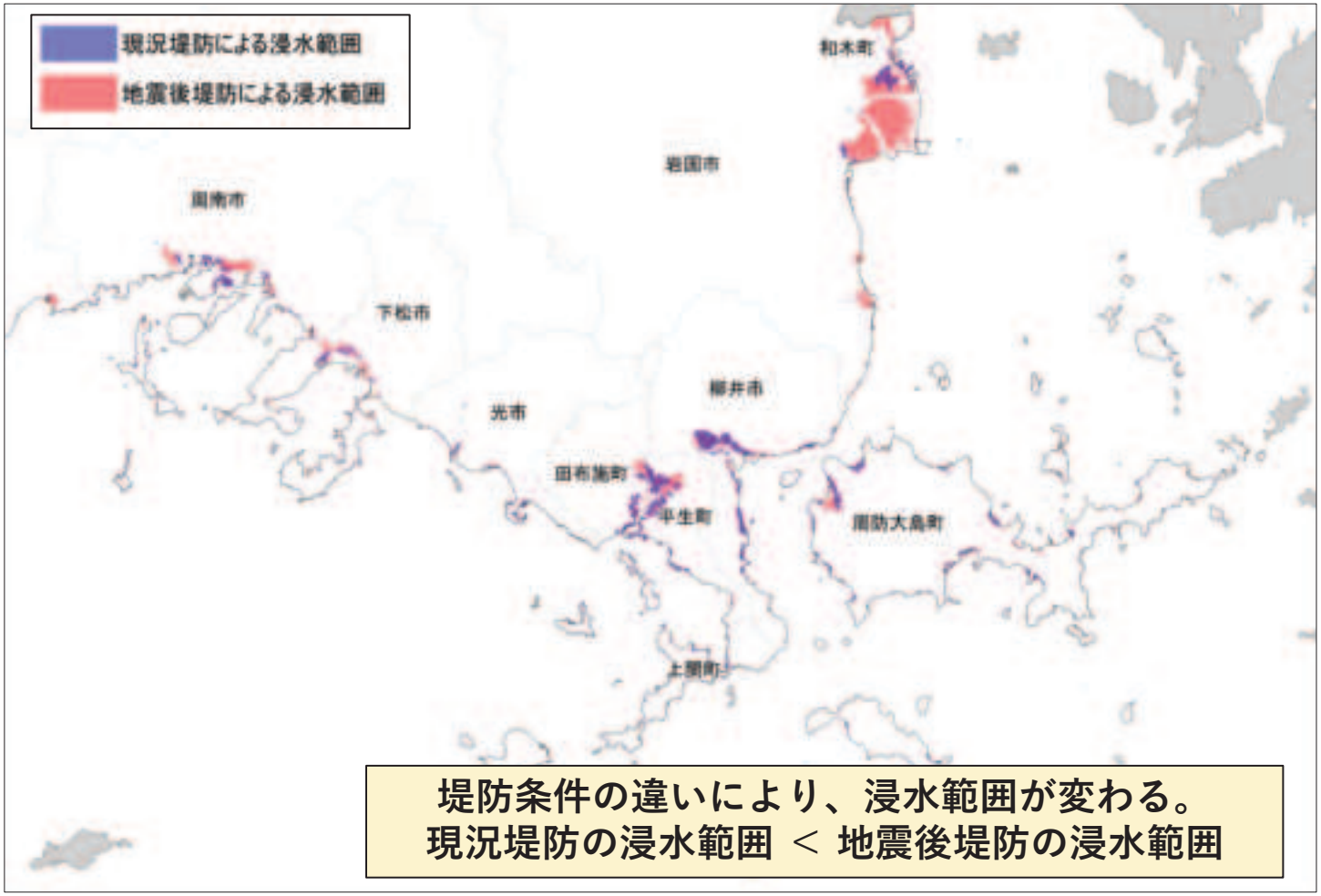
堤防条件の違いにより、浸水範囲が異なる。



【浸水範囲】堤防条件の違いによる計算結果の比較

最大包絡（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯）（2/2）

堤防条件の違いにより、浸水範囲が異なる。



【浸水面積】現況堤防条件による計算結果

南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯　最大包絡

今回調査　本調査（現況堤防）の浸水面積（ヘクタール）

市町名	浸水面積（ヘクタール）［浸水深毎］					
	1cm以上	30cm以上	1m以上	2m以上	5m以上	10m以上
下関市	91	41	10	3	-	-
宇部市	117	56	11	1	-	-
山口市	203	163	46	16	-	-
防府市	157	95	42	17	-	-
下松市	104	67	43	23	-	-
岩国市	259	179	61	16	-	-
光市	97	75	46	26	-	-
柳井市	457	394	225	65	-	-
周南市	351	233	107	45	-	-
山陽小野田市	176	108	17	5	-	-
周防大島町	397	323	187	78	-	-
和木町	1	*	*	*	-	-
上関町	152	142	111	54	-	-
田布施町	126	95	34	9	-	-
平生町	334	264	126	21	-	-
合計	3021	2235	1067	378	-	-

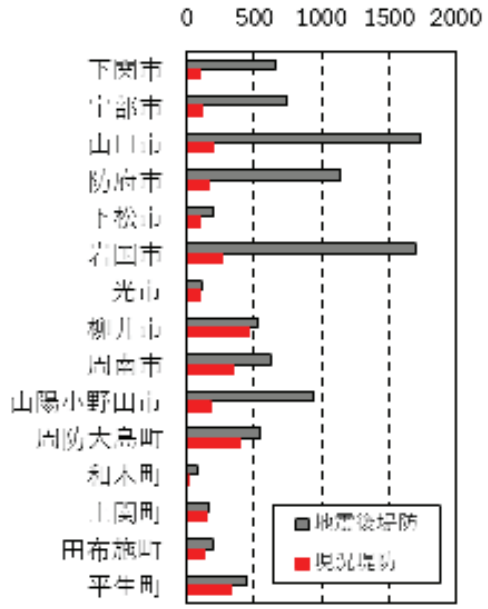
＊：1ha以下の浸水有、-：浸水なし　浸水面積は四捨五入で表示しているため、合計が合わない場合がある。

【浸水面積】堤防条件の違いによる計算結果の比較

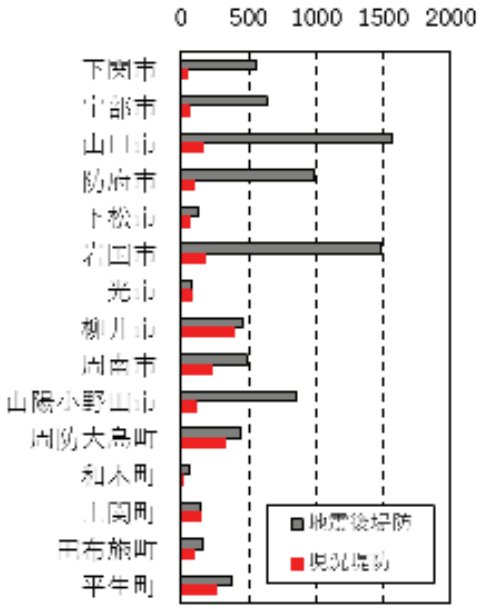
南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯　最大包絡

現況堤防・地震後堤防の結果比較［浸水深別］（ヘクタール）

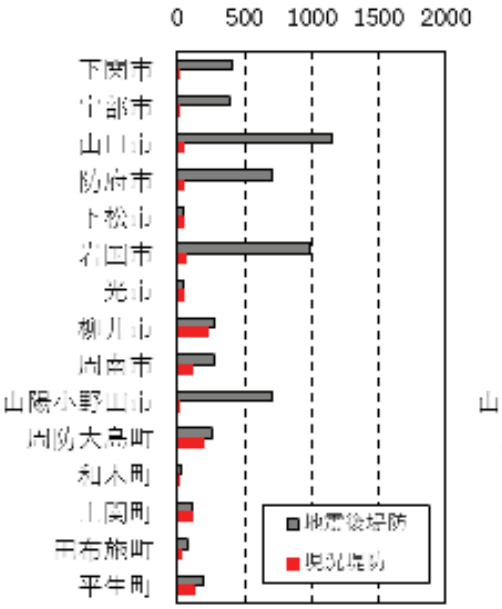
浸水面積 1cm以上



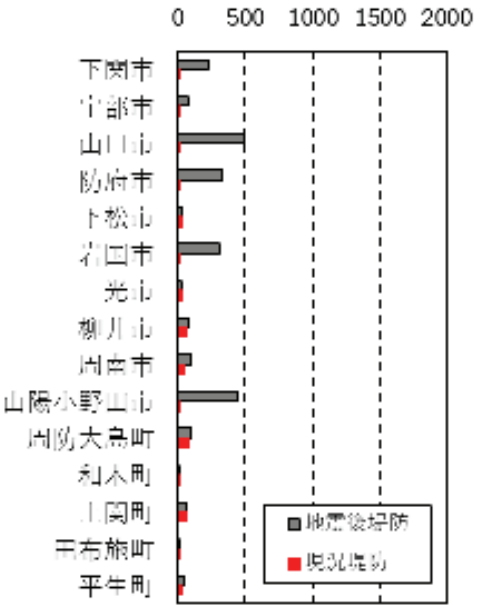
浸水面積 30cm以上



浸水面積 1m以上



浸水面積 2m以上



沿岸の津波高さ

【最高津波水位】南海トラフ巨大地震

海岸線から沖合約30m地点における最高津波水位（１/２）

前回調査

今回調査

【最高津波水位】南海トラフ巨大地震

海岸線から沖合約30m地点における最高津波水位（２/２）

前回調査

今回調査

【最高津波水位】南海トラフ巨大地震

海岸線から沖合約30m地点における最高津波水位

市町	代表地点名	最高津波水位(m) 前回 最高津波水位（m）	最高津波水位(m) 前回 うち津波波高(m)	最高津波水位(m) 今回 最高津波水位（m）	最高津波水位(m) 今回 うち津波波高(m)	最高津波水位(m) 差分 最高津波水位（m）	最高津波水位(m) 差分 うち津波波高(m)	最高津波水位到達時間（分） 前回	最高津波水位到達時間（分） 今回	最高津波水位到達時間（分） 差分	市町における最大津波水位(m) 前回	市町における最大津波水位(m) 今回	市町における最大津波水位(m) 差分	初期潮位
下関市	下関漁港	1.5	0.5	1.5	0.4	0.0	-0.1	652	642	-10	3.8	3.5	-0.3	1.04
	下関港（岬之町）	2.4	1.3	2.4	1.3	0.0	0.0	251	254	3				
	下関港（長府）	3.8	1.9	3.5	1.7	-0.3	-0.2	245	249	4				1.81
宇部市	宇部港	2.9	1.0	2.8	1.0	-0.1	0.0	389	387	-2	3.2	2.9	-0.3	
	丸尾港	3.2	1.6	2.9	1.3	-0.3	-0.3	306	314	8				
山口市	相原漁港	2.5	0.9	2.6	1.0	0.1	0.1	337	335	-2	3.2	3.0	-0.2	
	秋穂漁港(秋穂地区)	3.1	1.5	3.0	1.4	-0.1	-0.1	367	310	-57				
	秋穂漁港(大海地区)	3.2	1.6	3.0	1.4	-0.2	-0.2	308	312	4				
防府市	西浦漁港	2.7	1.1	2.7	1.1	0.0	0.0	142	310	168	3.1	3.2	0.1	1.58
	三田尻中関港(中関地区)	3.0	1.4	2.5	1.0	-0.5	-0.4	307	308	1				
	三田尻中関港(三田尻地区)	2.8	1.2	2.8	1.2	0.0	0.0	126	126	0				
	富海漁港	3.1	1.5	3.2	1.6	0.1	0.1	133	133	0				
下松市	徳山下松港(下松市地区)	3.2	1.5	3.3	1.7	0.1	0.2	130	131	1	3.2	3.3	0.1	
岩国市	由宇港	2.8	0.9	2.7	0.9	-0.1	0.0	418	419	1	3.0	3.0	0.0	1.81
	岩国港	3.0	1.2	3.0	1.2	0.0	0.0	223	223	0				
光市	徳山下松港(光地区)	3.5	1.8	3.7	2.2	0.2	0.4	123	123	0	3.6	3.7	0.1	
	光漁港	3.6	2.0	3.6	2.0	0.0	0.0	116	117	1				
柳井市	柳井港	3.8	2.2	3.6	2.1	-0.2	-0.1	174	176	2	3.8	3.6	-0.2	1.58
周南市	福川漁港	3.5	1.9	3.5	1.9	0.0	0.0	139	139	0	3.5	3.5	0.0	
	徳山下松港(徳山地区)	3.5	1.9	3.4	1.8	-0.1	-0.1	143	143	0				
山陽小野田市	埴生漁港	3.7	1.8	3.6	1.8	-0.1	0.0	251	250	-1	3.7	3.6	-0.1	1.81
	小野田港	3.4	1.6	3.3	1.5	-0.1	-0.1	245	248	3				
周防大島町	久賀港	2.8	1.2	2.8	1.2	0.0	0.0	417	181	-236	3.7	3.6	-0.1	1.58
	白木港	2.8	1.2	2.8	1.3	0.0	0.1	426	197	-229				
	伊保田港	2.6	1.0	2.6	1.0	0.0	0.0	197	197	0				
	安下庄港	3.3	1.7	3.1	1.6	-0.2	-0.1	169	170	1				
	小松港	3.7	2.1	3.6	2.0	-0.1	-0.1	173	174	1				
和木町	小瀬川河口	3.0	1.2	3.0	1.2	0.0	0.0	218	220	2	3.0	3.0	0.0	1.81
上関町	室津港	3.6	2.0	3.6	2.0	0.0	0.0	128	128	0	3.6	3.6	0.0	1.58
田布施町	尾津漁港	3.4	1.7	3.3	1.8	-0.1	0.1	124	123	-1	3.4	3.3	-0.1	
平生町	平生港	3.8	2.1	3.0	1.4	-0.8	-0.7	128	127	-1	3.8	3.0	-0.8	

【最高津波水位】周防灘断層帯

海岸線から沖合約30m地点における津波の水位（１/２）

前回調査

今回調査

【最高津波水位】周防灘断層帯

海岸線から沖合約30m地点における津波の水位（２/２）

前回調査

今回調査

【最高津波水位】周防灘断層帯

海岸線から沖合約30m地点における最高津波水位

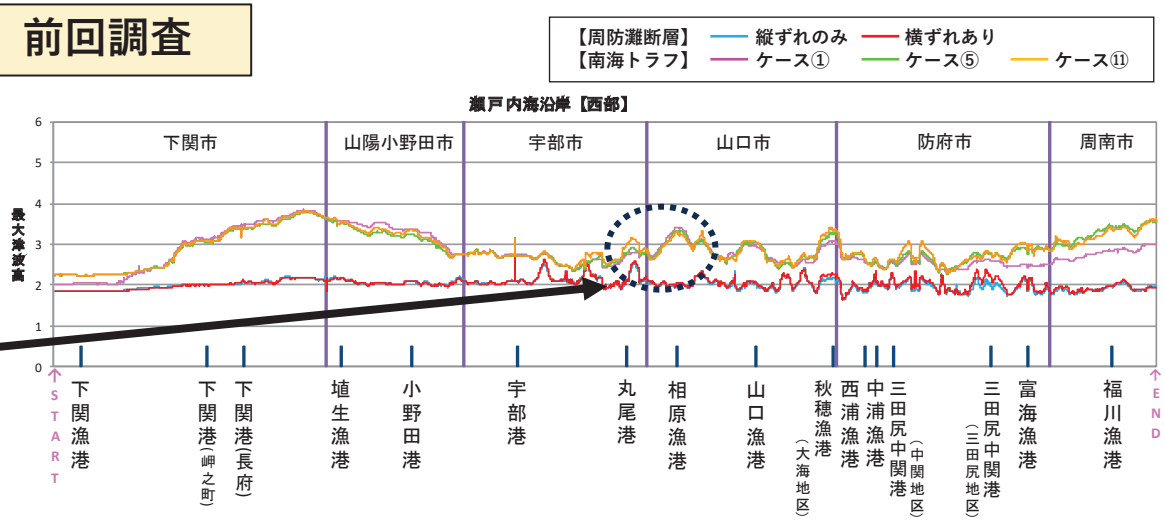
市町	代表地点名	最高津波水位(m) 前回 最高津波水位（m）	最高津波水位(m) 前回 うち津波波高(m)	最高津波水位(m) 今回 最高津波水位（m）	最高津波水位(m) 今回 うち津波波高(m)	最高津波水位(m) 差分 最高津波水位（m）	最高津波水位(m) 差分 うち津波波高(m)	最高津波水位到達時間（分） 前回	最高津波水位到達時間（分） 今回	最高津波水位到達時間（分） 差分	市町における最大津波水位(m) 前回	市町における最大津波水位(m) 今回	市町における最大津波水位(m) 差分	初期潮位
下関市	下関漁港	1.2	0.2	1.2	0.1	0.0	-0.1	95	97	2	2.4	2.3	-0.1	1.04
	下関港（岬之町）	1.5	0.4	1.4	0.3	-0.1	-0.1	66	66	0				
	下関港（長府）	2.4	0.5	2.3	0.5	-0.1	0.0	57	60	3				1.81
宇部市	宇部港	3.1	1.3	2.6	0.8	-0.5	-0.5	35	36	1	3.1	2.6	-0.5	
	丸尾港	3.0	1.4	2.6	1.0	-0.4	-0.4	61	25	-36				1.58
山口市	相原漁港	2.0	0.4	1.8	0.3	-0.2	-0.1	77	80	3	2.8	2.7	-0.1	
	秋穂漁港(秋穂地区)	2.6	1.0	2.7	1.1	0.1	0.1	24	24	0				
	秋穂漁港(大海地区)	2.8	1.2	2.5	1.0	-0.3	-0.2	20	21	1				
防府市	西浦漁港	2.3	0.7	2.0	0.5	-0.3	-0.2	49	13	-36	2.9	2.2	-0.7	
	三田尻中関港(中関地区)	2.9	1.3	2.1	0.5	-0.8	-0.8	49	8	-41				
	三田尻中関港(三田尻地区)	2.9	1.3	2.2	0.6	-0.7	-0.7	26	26	0				
	富海漁港	2.8	1.2	2.2	0.6	-0.6	-0.6	53	54	1				
下松市	徳山下松港(下松市地区)	2.9	1.3	2.1	0.6	-0.8	-0.7	50	51	1	2.9	2.1	-0.8	
岩国市	由宇港	1.9	0.1	2.0	0.2	0.1	0.1	156	232	76	1.9	2.0	0.1	1.81
	岩国港	1.9	0.1	2.0	0.2	0.1	0.1	159	250	91				
光市	徳山下松港(光地区)	2.4	0.8	2.5	0.9	0.1	0.1	76	75	-1	2.5	2.5	0.0	
	光漁港	2.5	0.9	2.4	0.8	-0.1	-0.1	65	56	-9				
柳井市	柳井港	2.0	0.4	2.1	0.5	0.1	0.1	150	151	1	2.0	2.1	0.1	1.58
周南市	福川漁港	2.1	0.5	2.3	0.8	0.2	0.3	40	181	141	2.4	2.3	-0.1	
	徳山下松港(徳山地区)	2.4	0.8	2.2	0.6	-0.2	-0.2	51	40	-11				
山陽小野田市	埴生漁港	2.4	0.5	2.4	0.6	0.0	0.1	93	93	0	2.4	2.4	0.0	1.81
	小野田港	2.3	0.5	2.3	0.5	0.0	0.0	84	112	28				
周防大島町	久賀港	1.8	0.2	1.7	0.2	-0.1	0.0	121	121	0	2.1	2.0	-0.1	1.58
	白木港	1.8	0.2	1.8	0.2	0.0	0.0	176	218	42				
	伊保田港	1.8	0.2	1.7	0.2	-0.1	0.0	119	203	84				
	安下庄港	2.1	0.5	2.0	0.4	-0.1	-0.1	128	128	0				
	小松港	1.9	0.3	1.9	0.3	0.0	0.0	152	148	-4				
和木町	小瀬川河口	1.9	0.1	2.0	0.1	0.1	0.0	163	251	88	1.9	2.0	0.1	1.81
上関町	室津港	2.1	0.5	2.1	0.5	0.0	0.0	63	52	-11	2.1	2.1	0.0	1.58
田布施町	尾津漁港	2.2	0.5	2.2	0.6	0.0	0.1	64	65	1	2.2	2.2	0.0	
平生町	平生港	2.3	0.7	2.1	0.6	-0.2	-0.1	66	66	0	2.3	2.1	-0.2	

【沿岸の津波高さ】前回調査計算結果との比較

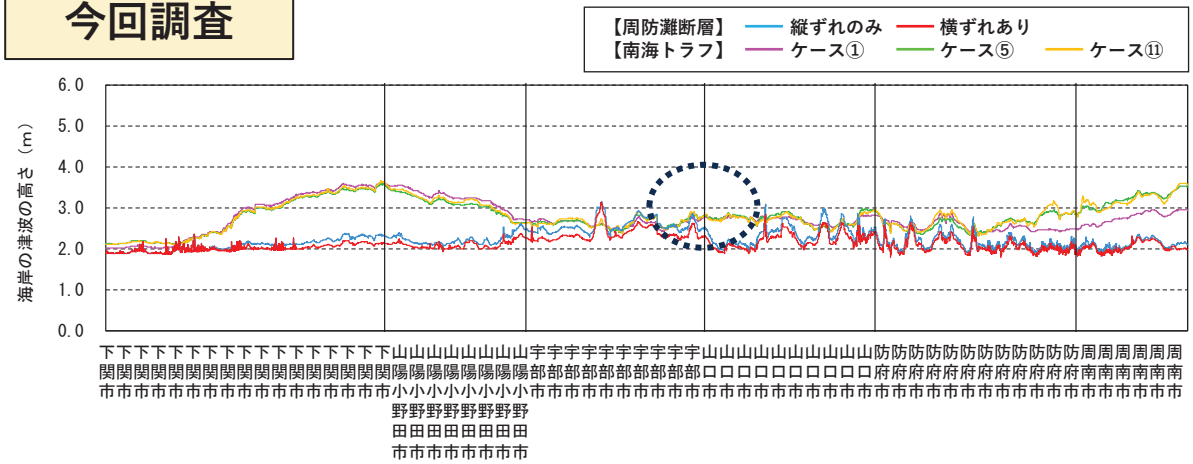
沿岸の津波高さ（1/3）

丸尾港～相原漁港周辺で、前回調査の津波高の方が高いことが確認できる。この要因を丸尾港および相原漁港を例に次頁以降に示す。

前回調査



今回調査

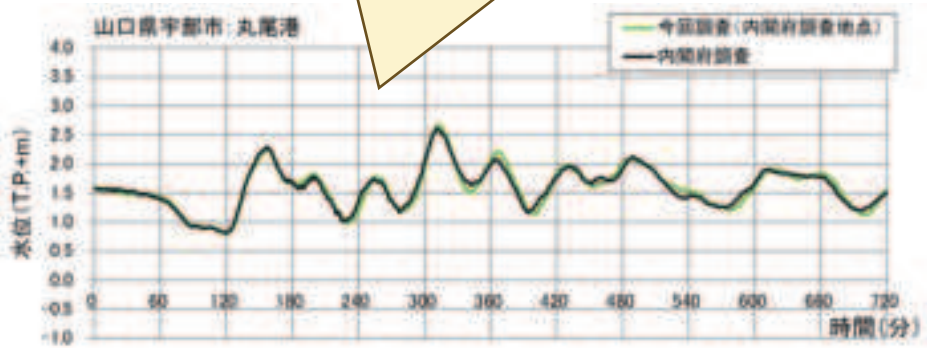


時刻歴波形による比較（丸尾港）

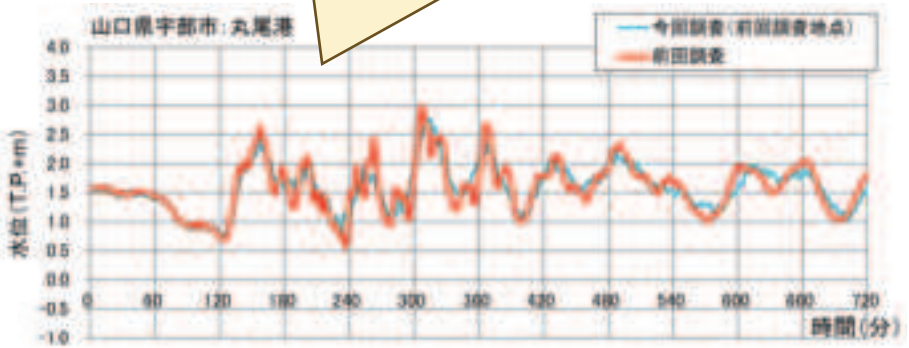
波形出力地点

今回の計算結果は、国の結果とは整合的であるが、前回調査の結果とはやや異なる。

内閣府調査の波形取得位置で
算出した波形同士の比較



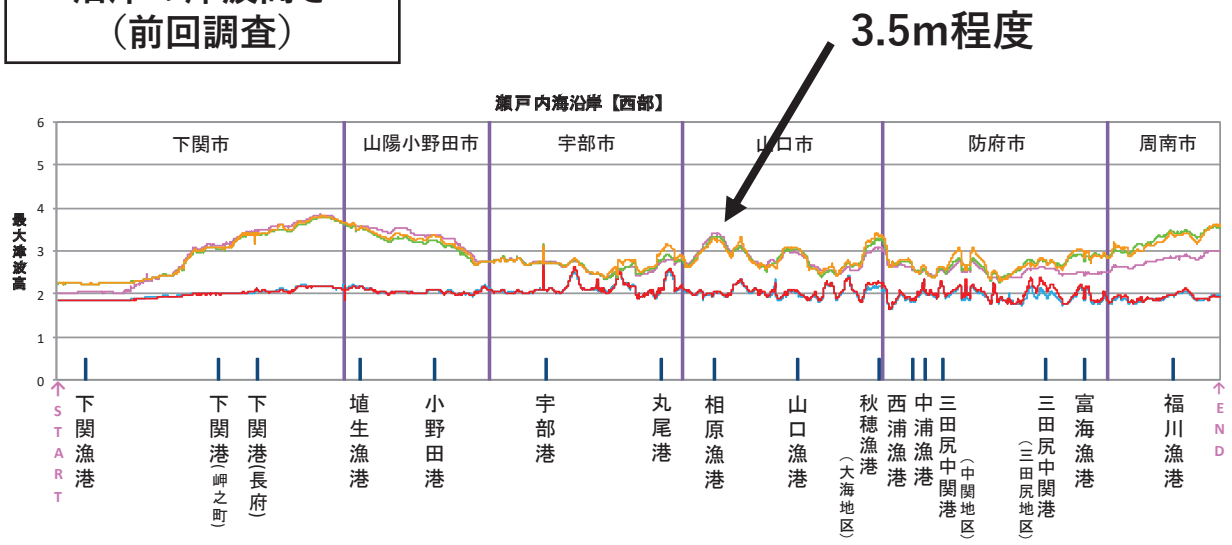
前回調査の波形取得位置で
算出した波形同士の比較



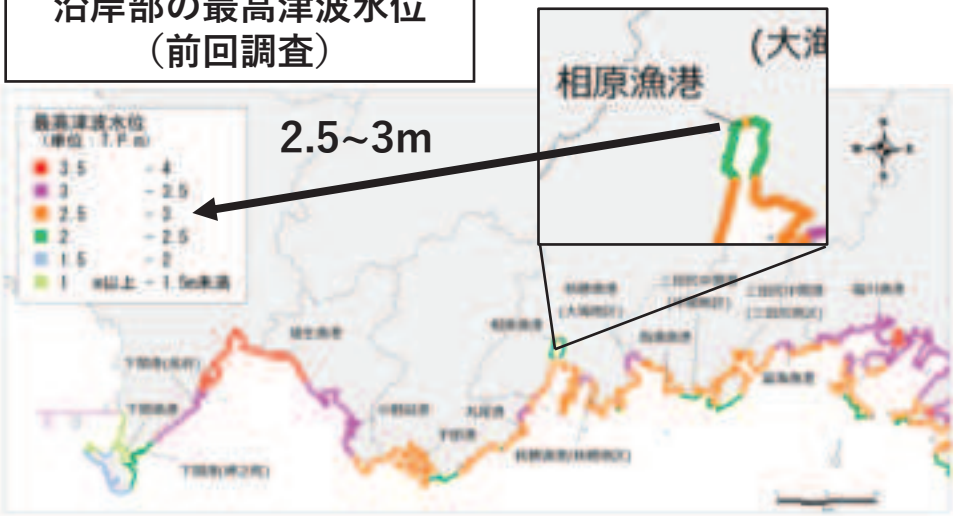
今回調査は最大の水位が生じる南海トラフケース10である。
前回調査のケースは不明である。

時刻歴波形（相原漁港）

沿岸の津波高さ
（前回調査）

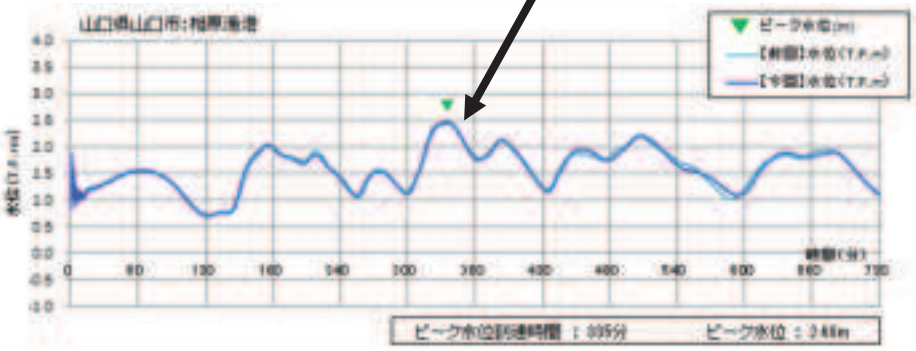


沿岸部の最高津波水位
（前回調査）



相原漁港での時刻歴波形

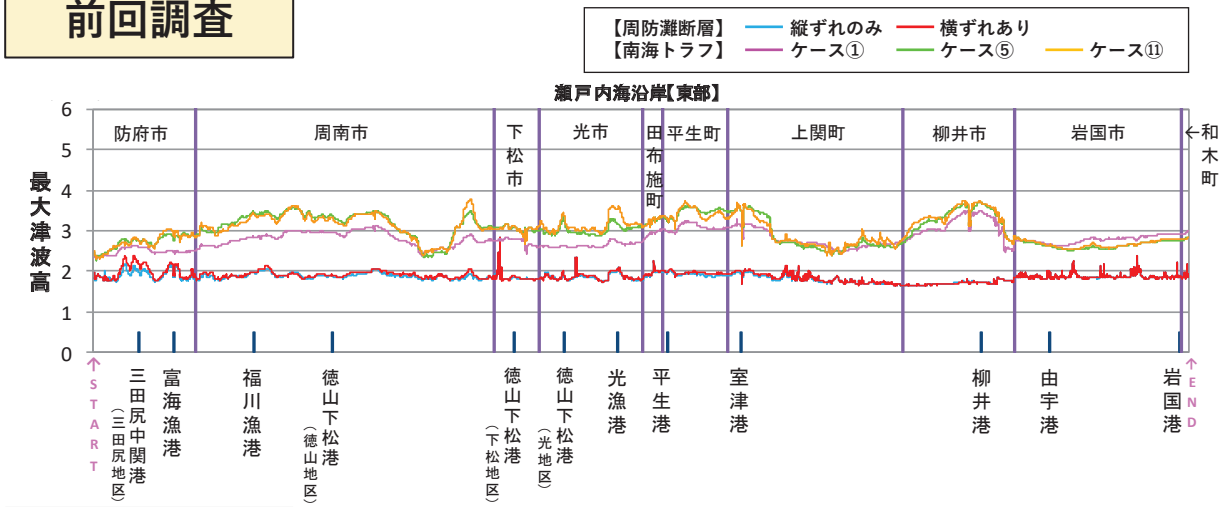
相原漁港の時刻歴波形は、最大2.5m程度の水位を示している。



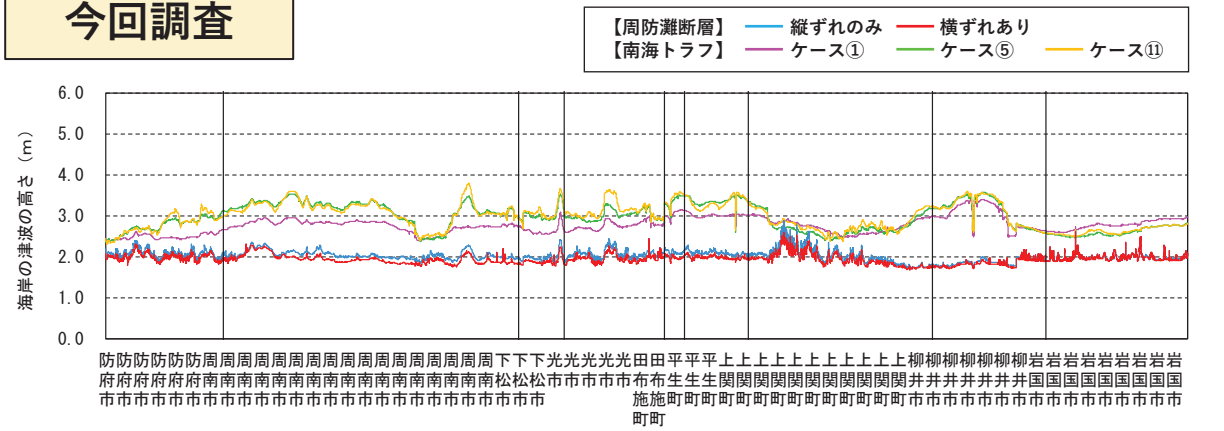
【沿岸の津波高さ】前回調査計算結果との比較

沿岸の津波高さ（2/3）

前回調査



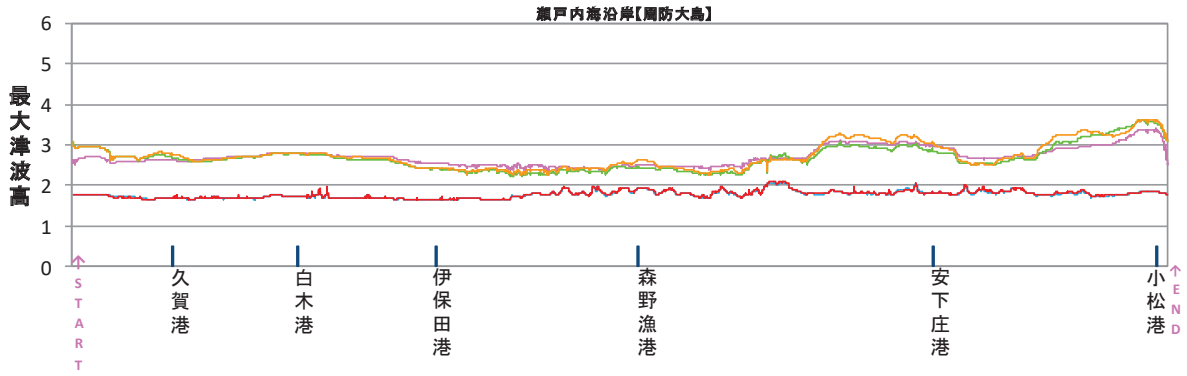
今回調査



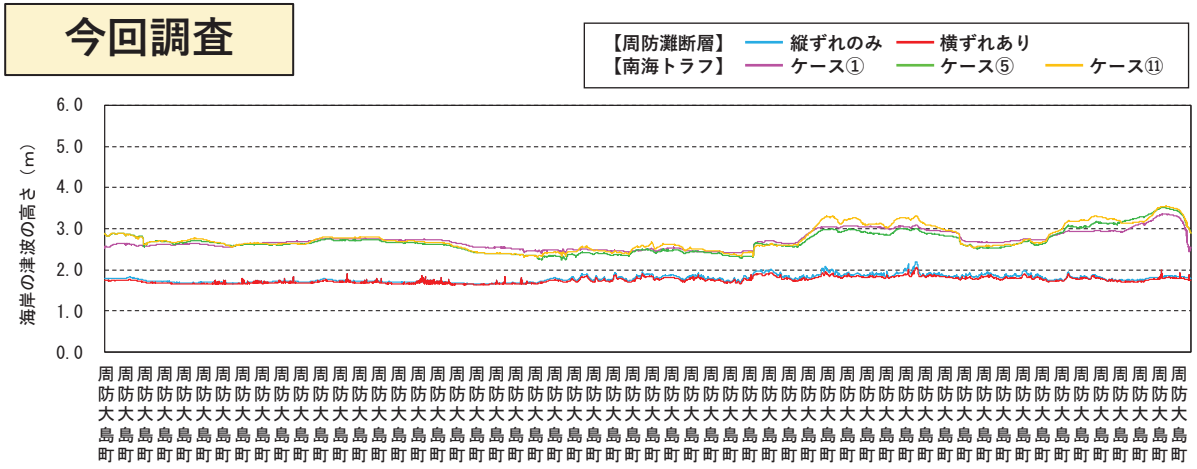
【沿岸の津波高さ】前回調査計算結果との比較

沿岸の津波高さ（3/3）

前回調査



今回調査



主要地点の時系列変動
（＋30cmおよび＋1mの海面変動時間）

海面変動時間の算出方法の変更について

- 国の想定に合わせて海面変動が生じる時間の算出方法を変更した。
- 今回調査では、海面変動が＋30cmおよび＋1mとなる時間（分）を算出した。

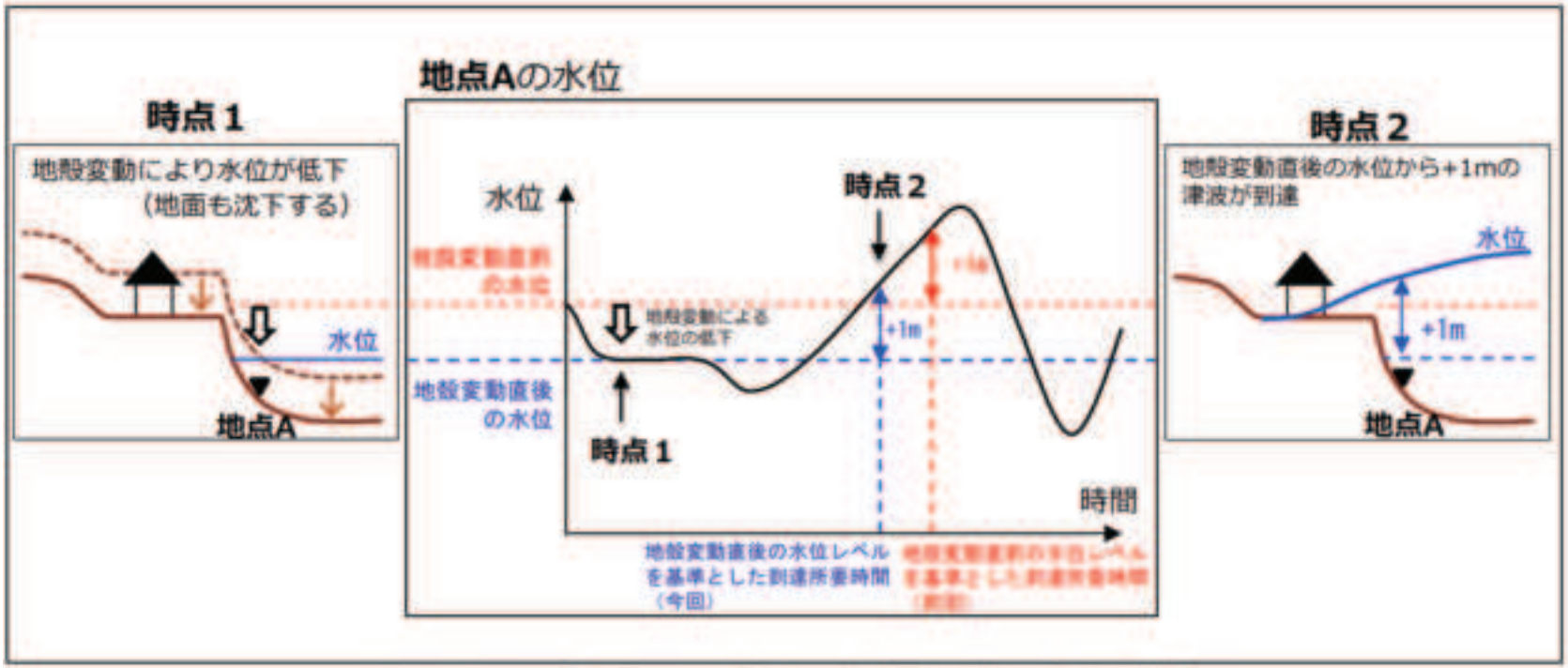


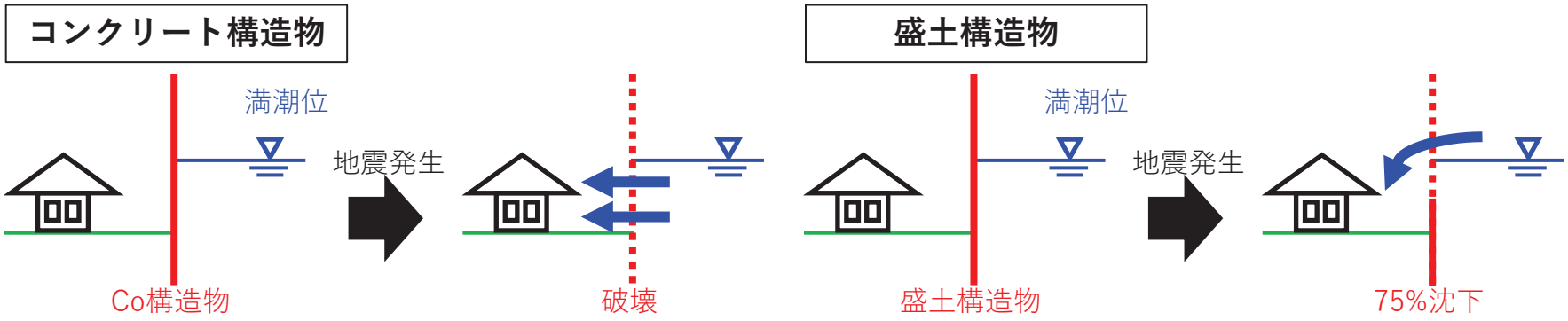
図3.12　沿岸における津波到達時間の計測方法の精査

内閣府（R7）：南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会　地震モデル報告書 図表集より抜粋
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/kento_wg/index.html

海面変動時間に関する留意点

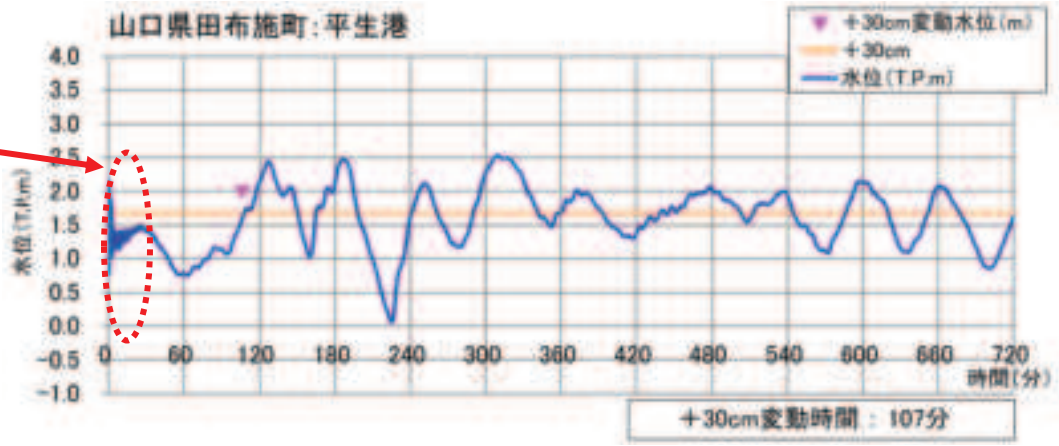
・津波による海面変動が＋30cmおよび＋1mに達する前に、地震により堤防が破壊・沈下することで、即時に浸水が生じるリスクがある。
・即時に生じる浸水は津波による海面変動時間として評価しない。

地震発生時の堤防の破壊状況



例：平生港における水位変動

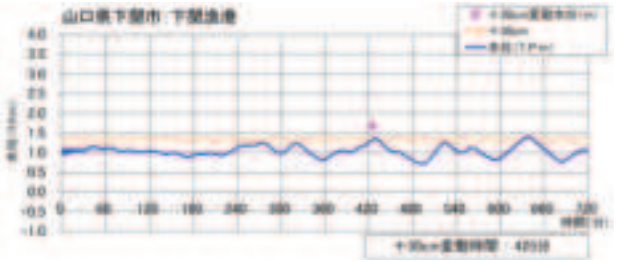
地震後の堤防の破壊・沈下によって津波到達よりも早く浸水が発生し、水位変動が生じている。

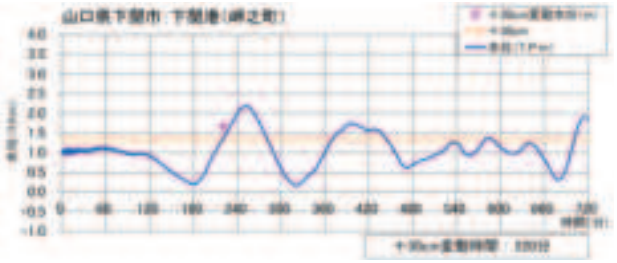


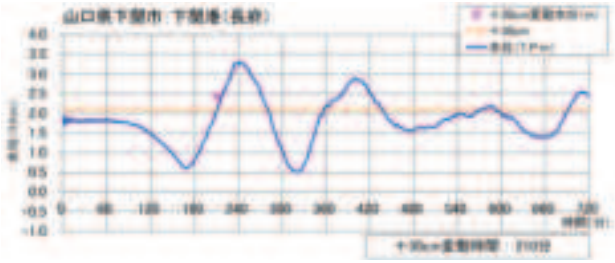
【時系列波形】 ＋30cm変動時間

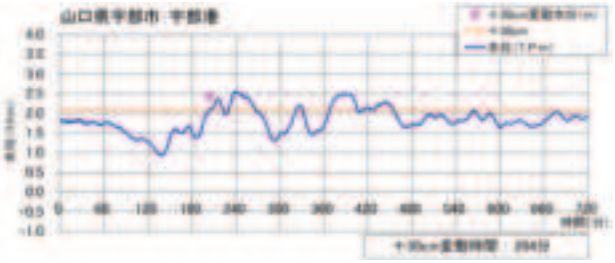
南海トラフ巨大地震（30cm変動時間最短ケース） （1/4）

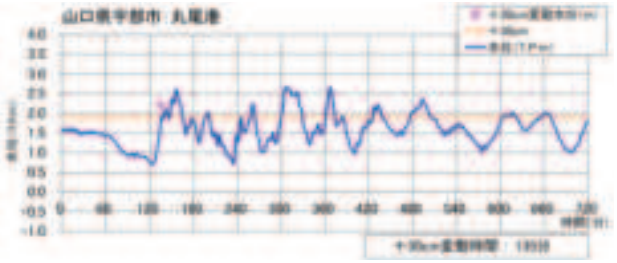
主要地点の位置

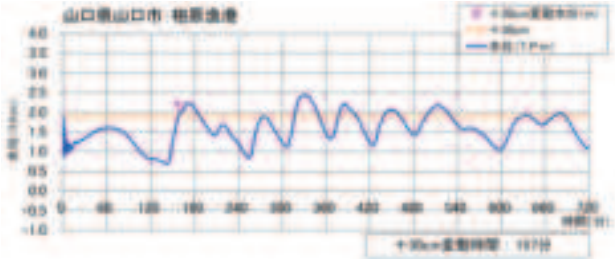


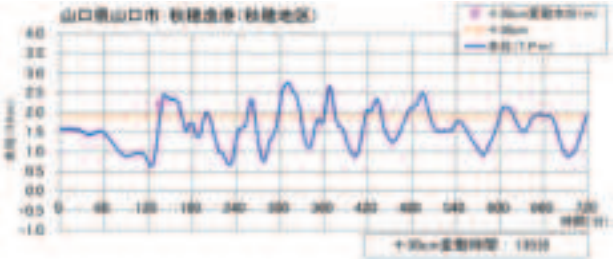


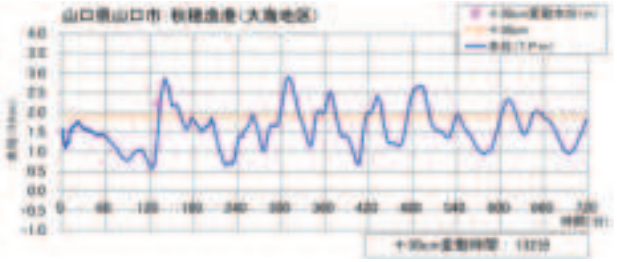








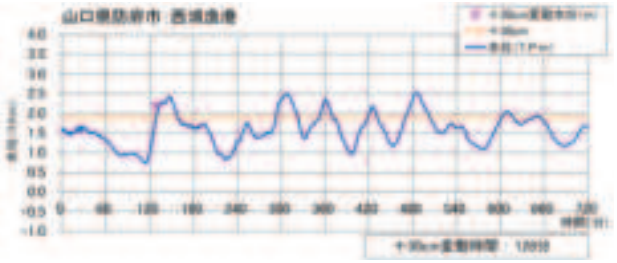


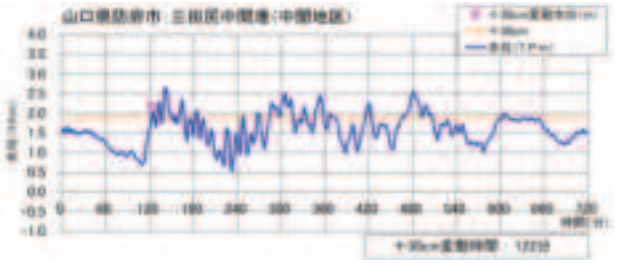


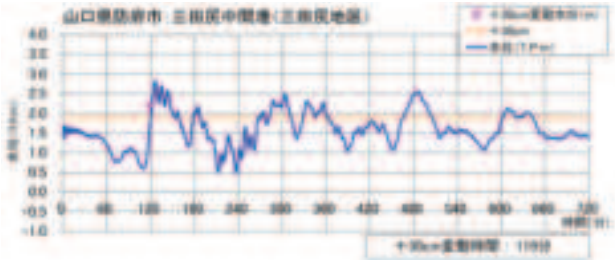
【時系列波形】＋30cm変動時間

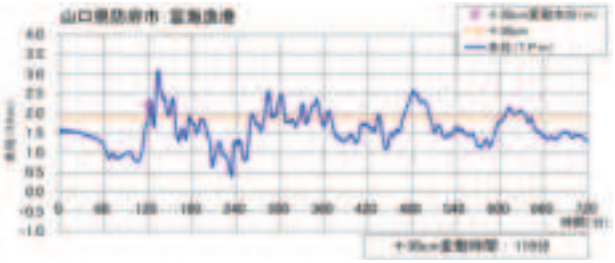
南海トラフ巨大地震（30cm変動時間最短ケース）（2/4）

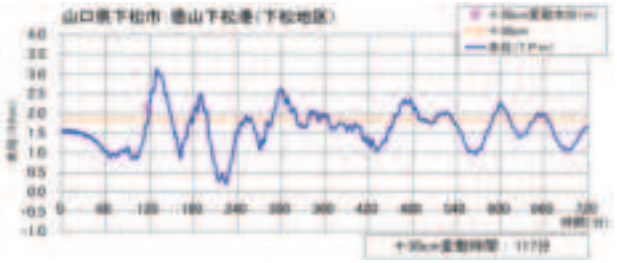
主要地点の位置

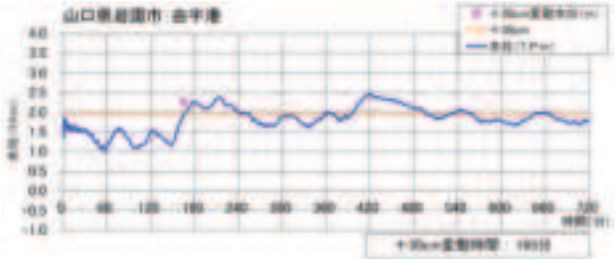


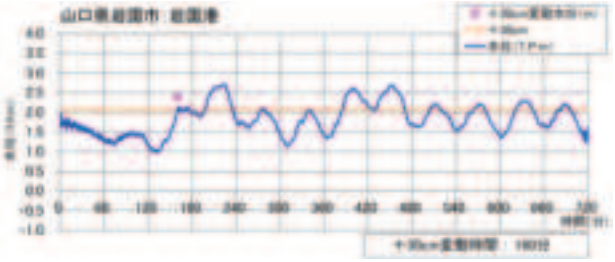


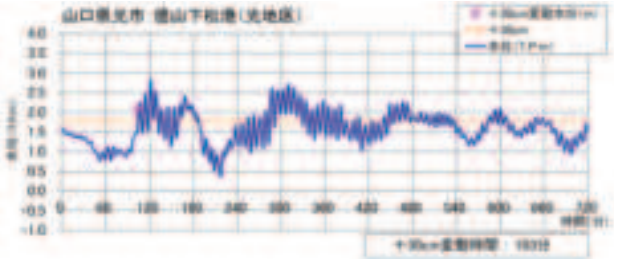








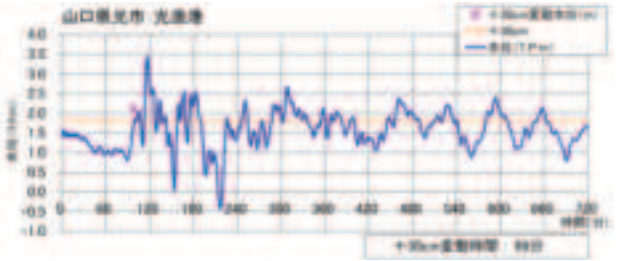


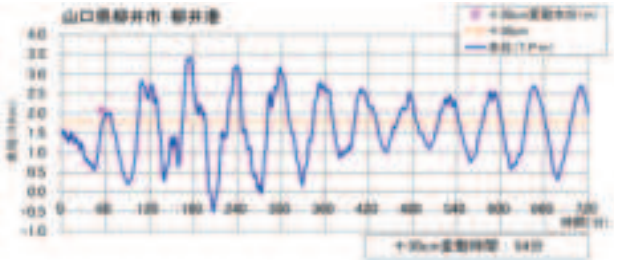


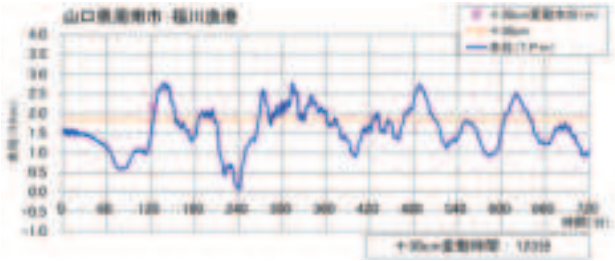
【時系列波形】＋30cm変動時間

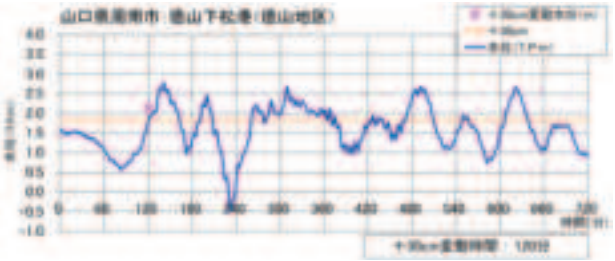
南海トラフ巨大地震（30cm変動時間最短ケース）（3/4）

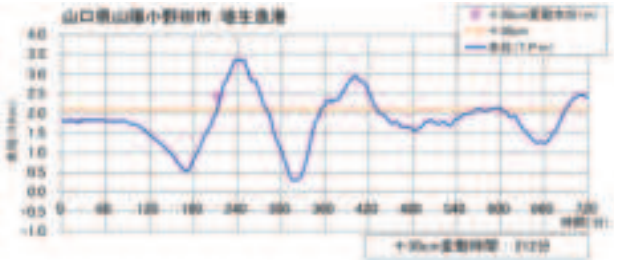
主要地点の位置

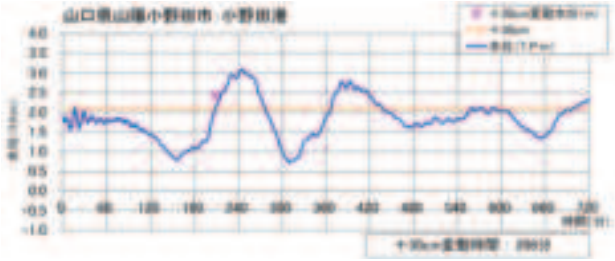


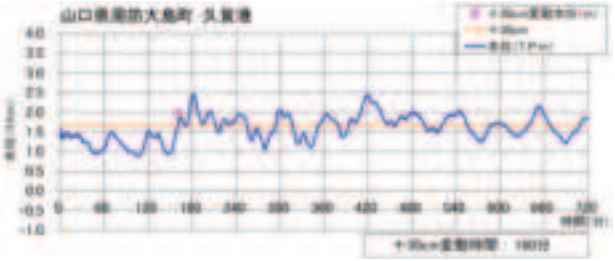


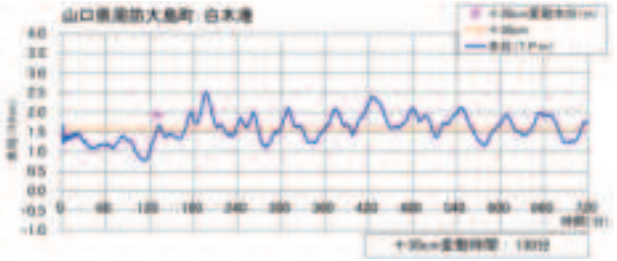








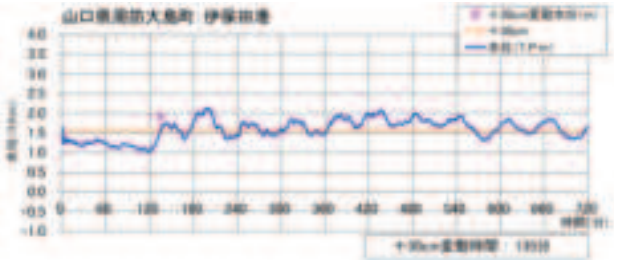


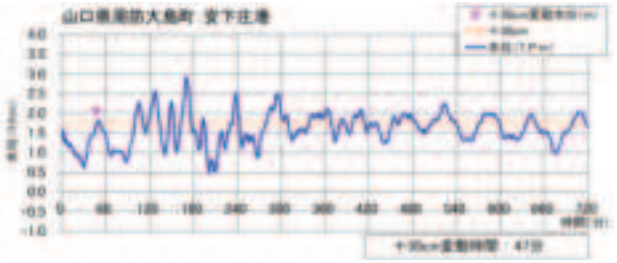


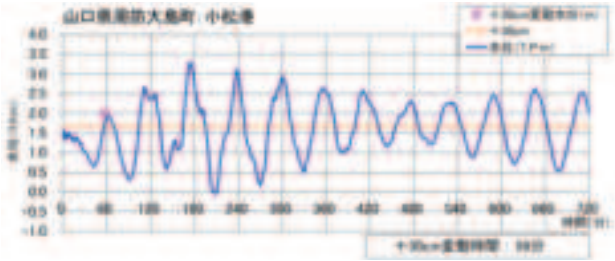
【時系列波形】＋30cm変動時間

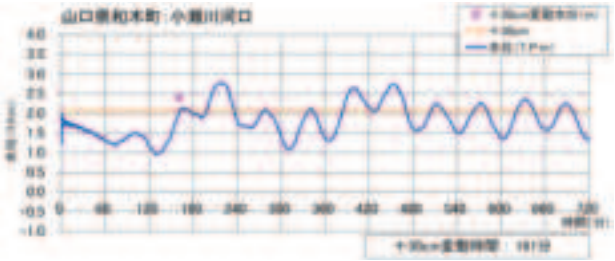
南海トラフ巨大地震（30cm変動時間最短ケース）（4/4）

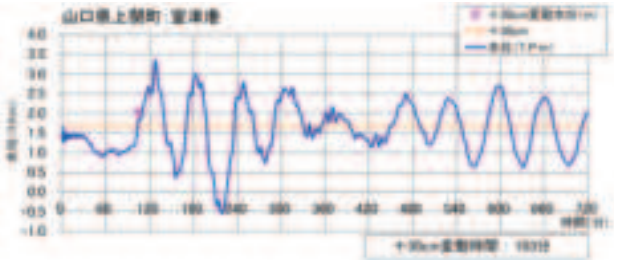
主要地点の位置

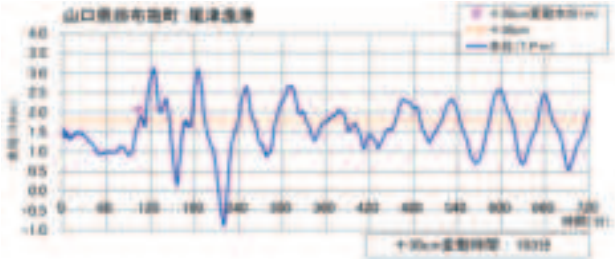


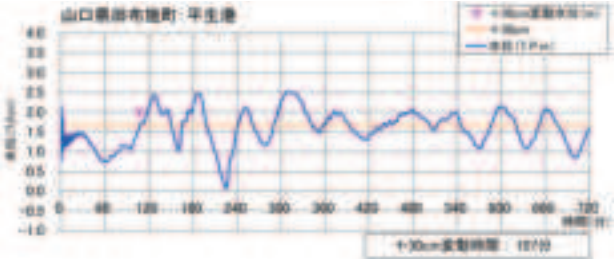










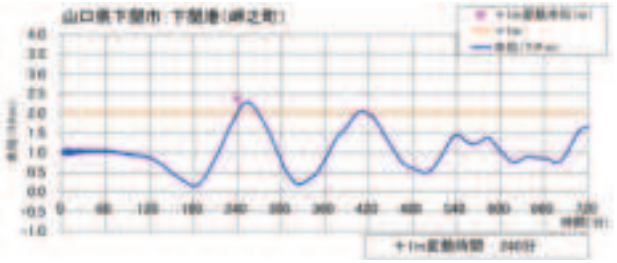


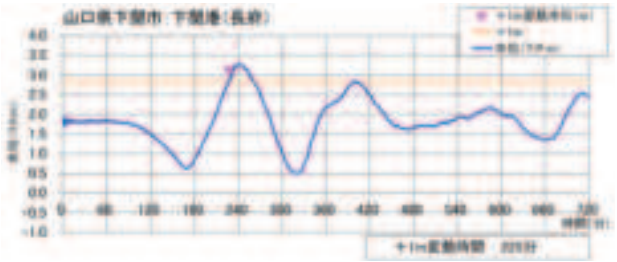
【時系列波形】＋1m変動時間

南海トラフ巨大地震（1m変動時間最短ケース）（1/4）

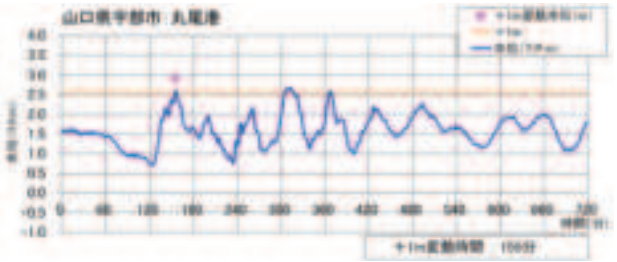
主要地点の位置

下関漁港
＋1mの変動なし



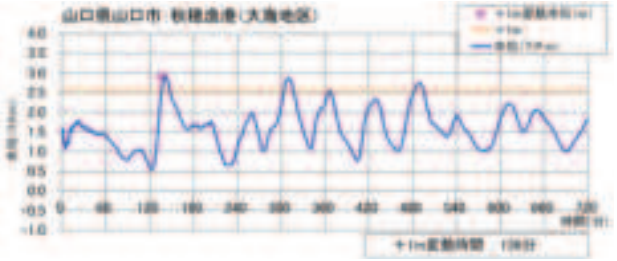


宇部港
＋1mの変動なし



相原漁港
＋1mの変動なし

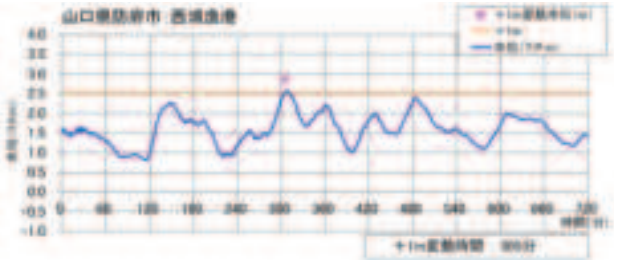
秋穂漁港（秋穂地区）
＋1mの変動なし

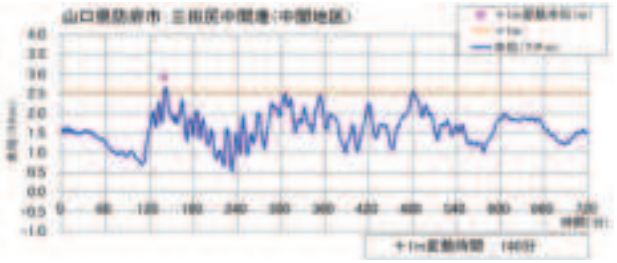


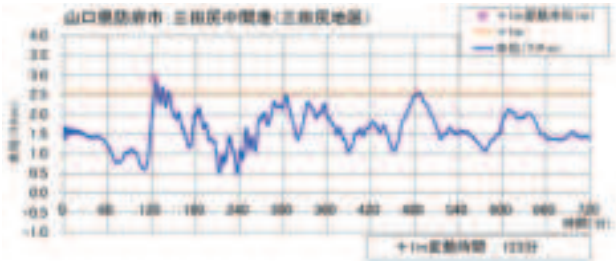
【時系列波形】＋1m変動時間

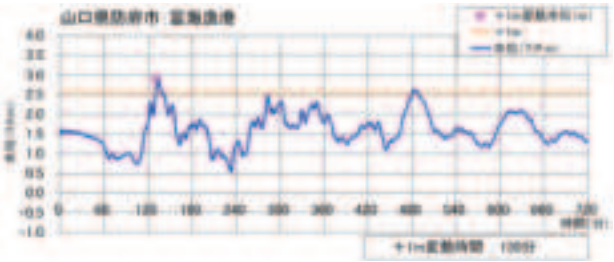
南海トラフ巨大地震（1m変動時間最短ケース）（2/4）

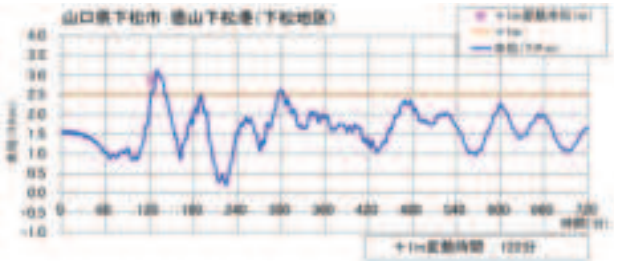
主要地点の位置

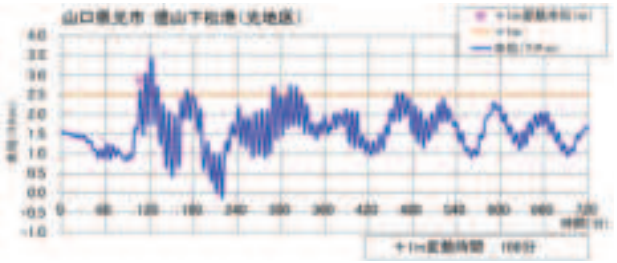












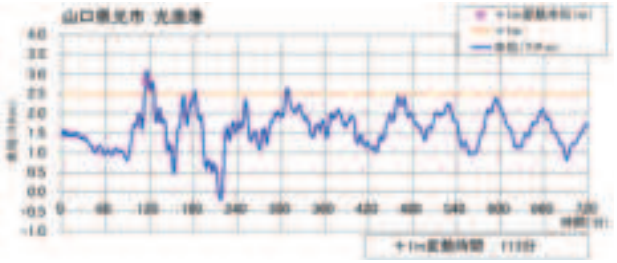
由宇港
＋1mの変動なし

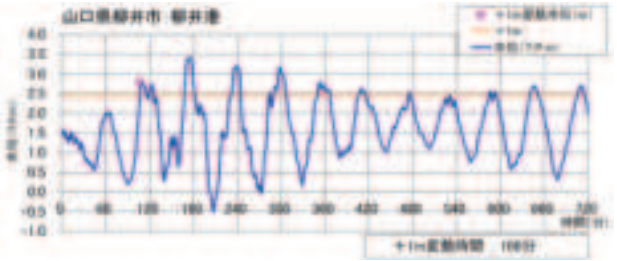
岩国港
＋1mの変動なし

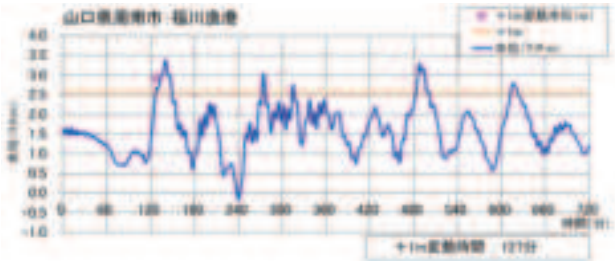
【時系列波形】＋1m変動時間

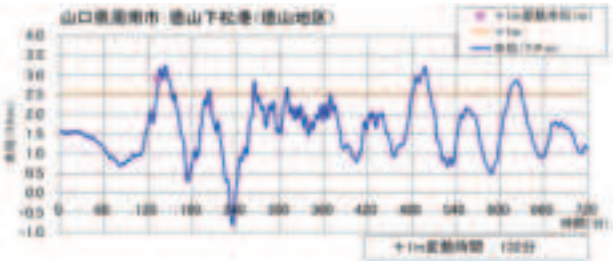
南海トラフ巨大地震（1m変動時間最短ケース）（3/4）

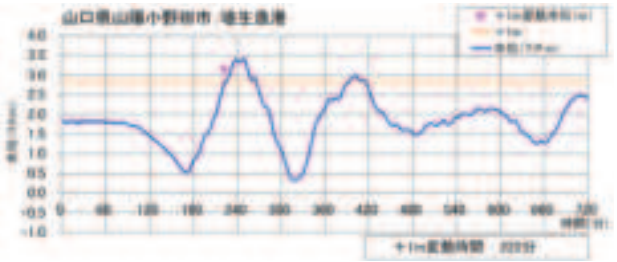
主要地点の位置

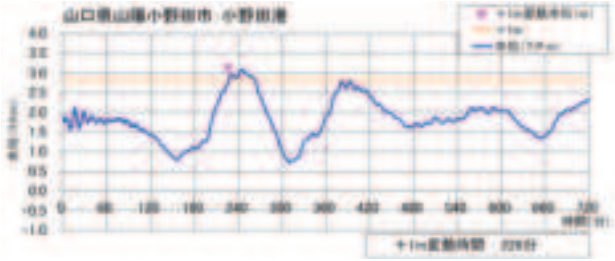


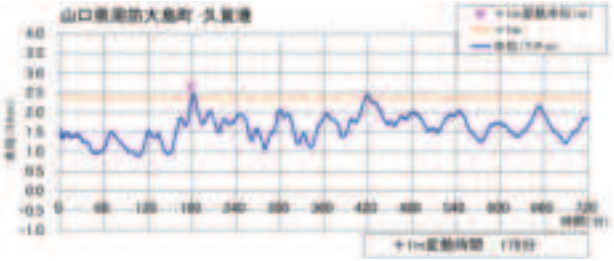


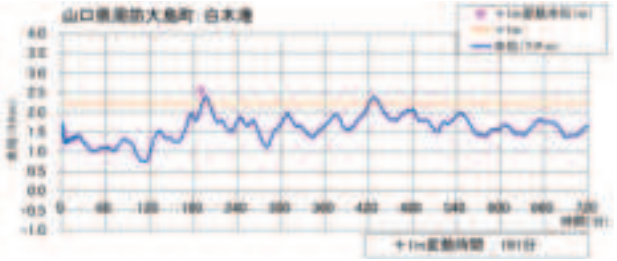










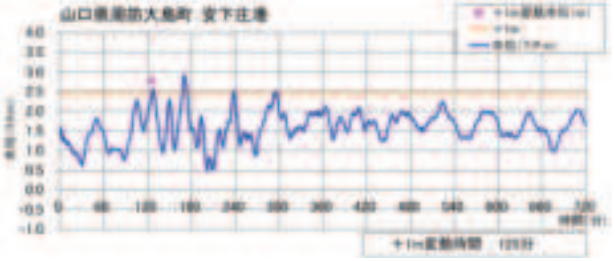


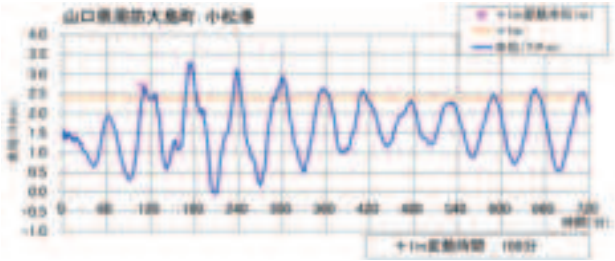
【時系列波形】＋1m変動時間

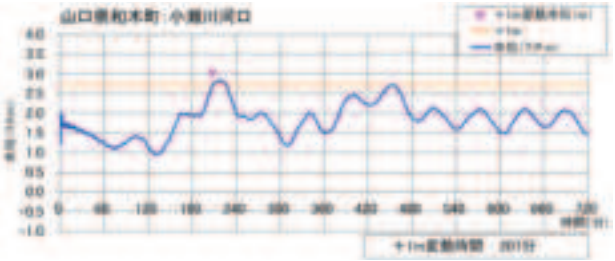
南海トラフ巨大地震（1m変動時間最短ケース）（4/4）

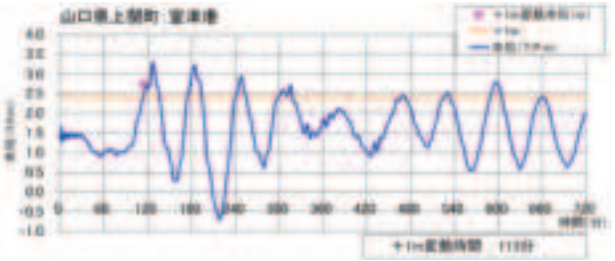
主要地点の位置

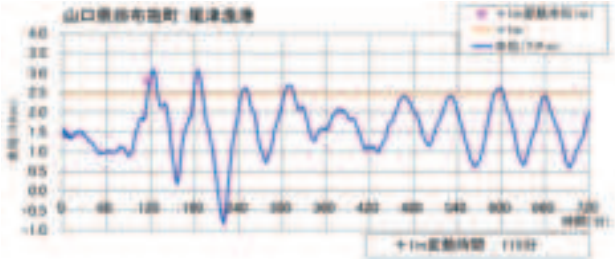
伊保田港
＋1mの変動なし

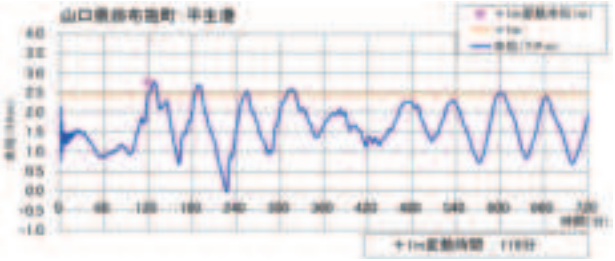












海面変動時間：南海トラフ巨大地震

主要地点の時系列変動から算出した海面変動の時間

市町	代表地点名	【前回】 ＋20cm変動時間（分）	＋30cm変動時間（分）	＋1m変動時間（分）
下関市	下関漁港	273	425	-
	下関港（岬之町）	126	220	240
	下関港（長府）	105	210	225
宇部市	宇部港	82	204	-
	丸尾港	66	135	155
山口市	相原漁港	75	157	-
	秋穂漁港(秋穂地区)	63	135	302
	秋穂漁港(大海地区)	59	132	136
防府市	西浦漁港	50	128	305
	三田尻中関港(中関地区)	48	122	140
	三田尻中関港(三田尻地区)	51	119	123
	富海漁港	43	119	130
下松市	徳山下松港(下松市地区)	44	117	122
岩国市	由宇港	33	165	-
	岩国港	32	160	210
光市	徳山下松港(光地区)	35	103	106
	光漁港	34	98	113
柳井市	柳井港	18	54	106
周南市	福川漁港	45	123	127
	徳山下松港(徳山地区)	47	120	132
山陽小野田市	埴生漁港	107	212	222
	小野田港	100	208	226
周防大島町	久賀港	40	160	178
	白木港	24	130	191
	伊保田港	105	135	-
	安下庄港	46	47	125
	小松港	25	56	108
和木町	小瀬川河口	31	161	207
上関町	室津港	32	103	113
田布施町	尾津漁港	35	103	115
平生町	平生港	38	107	119

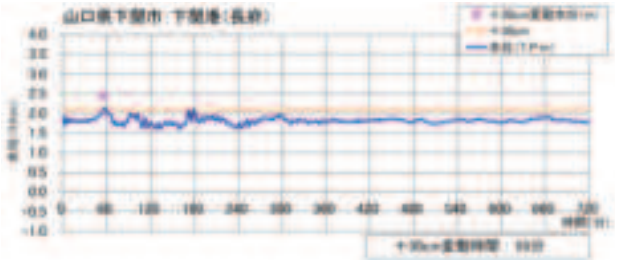
【時系列波形】＋30cm変動時間

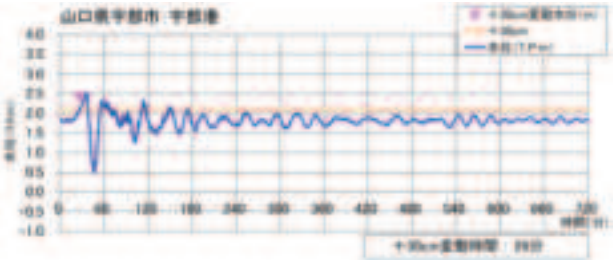
周防灘断層帯（30cm変動時間最短ケース）（1/4）

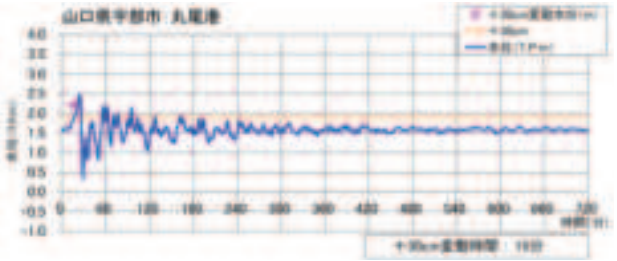
主要地点の位置

下関漁港
＋30cmの変動なし

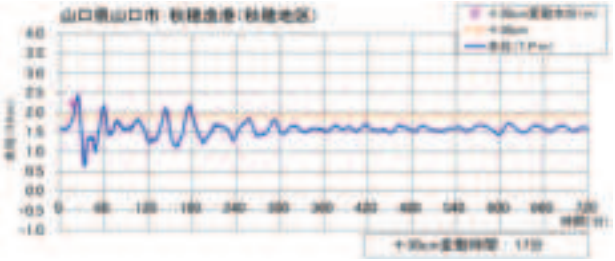
下関港（岬之町）
＋30cmの変動なし

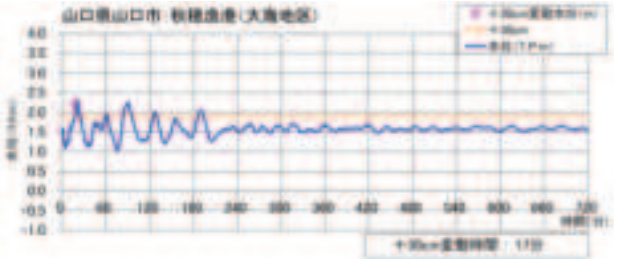






相原漁港
＋30cmの変動なし

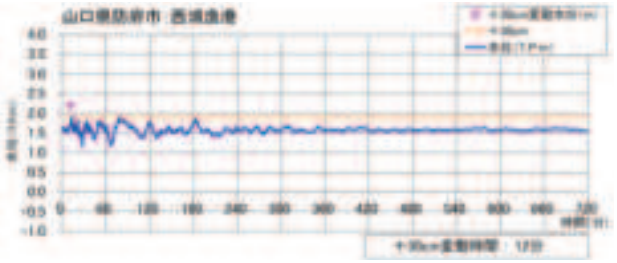


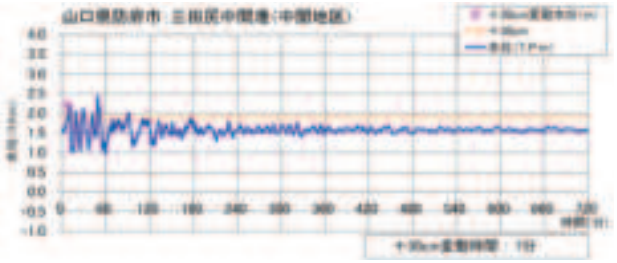


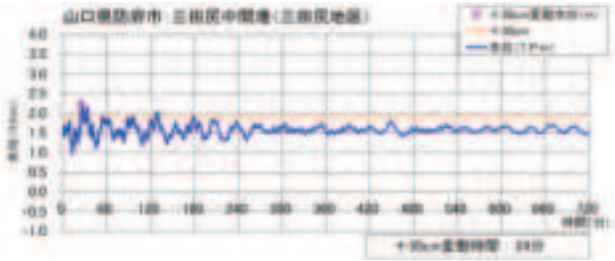
【時系列波形】＋30cm変動時間

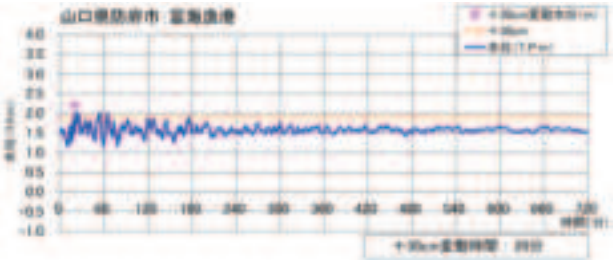
周防灘断層帯（30cm変動時間最短ケース）（2/4）

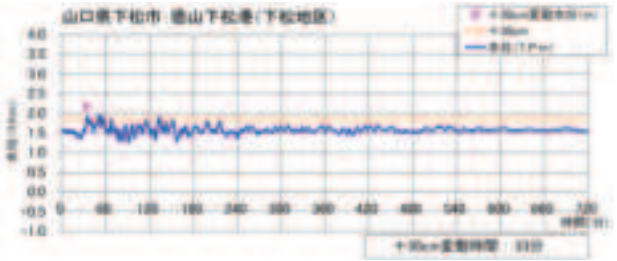
主要地点の位置

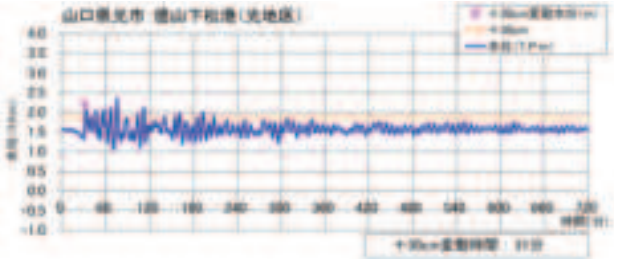












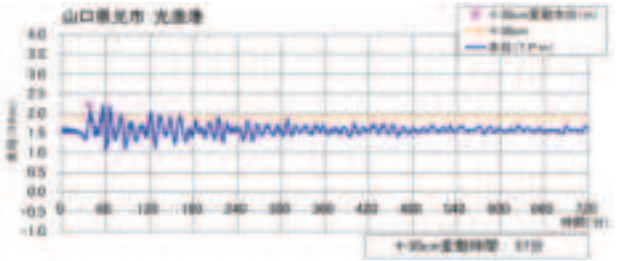
由宇港
＋30cmの変動なし

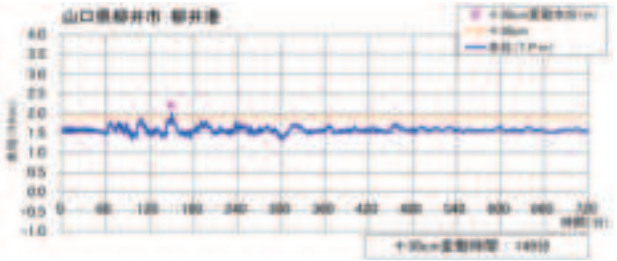
岩国港
＋30cmの変動なし

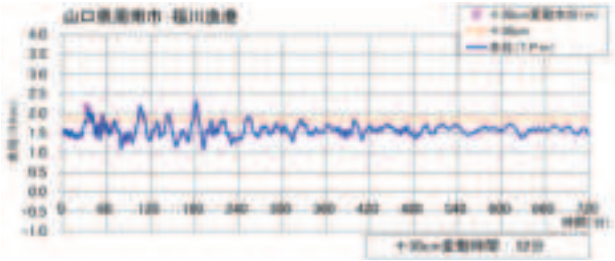
【時系列波形】＋30cm変動時間

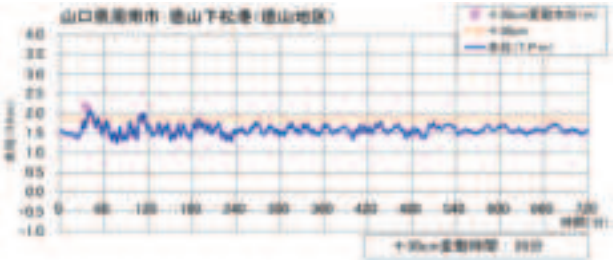
周防灘断層帯（30cm変動時間最短ケース）（3/4）

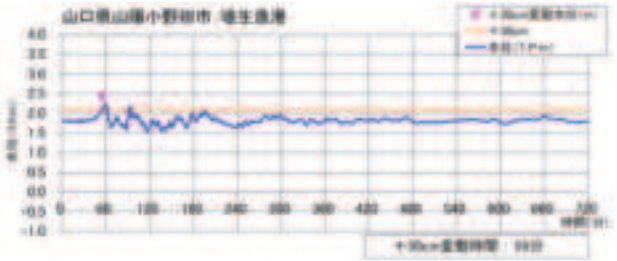
主要地点の位置

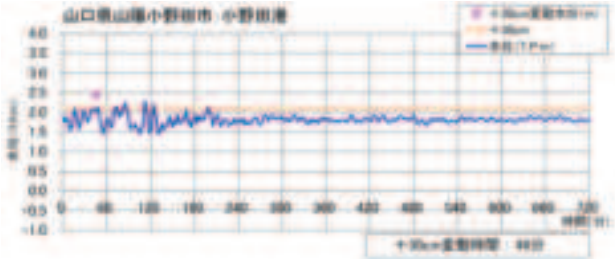












久賀港
＋30cmの変動なし

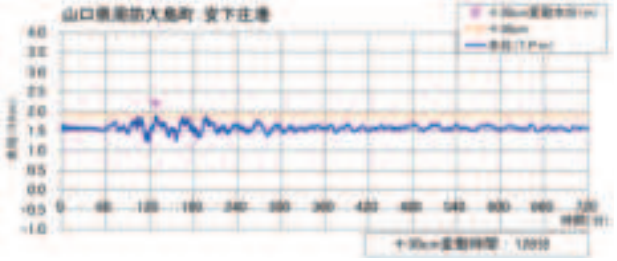
白木港
＋30cmの変動なし

【時系列波形】＋30cm変動時間

周防灘断層帯（30cm変動時間最短ケース）（4/4）

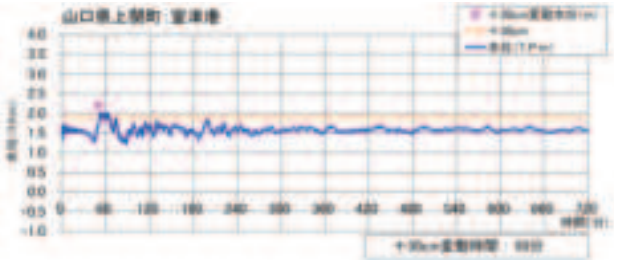
主要地点の位置

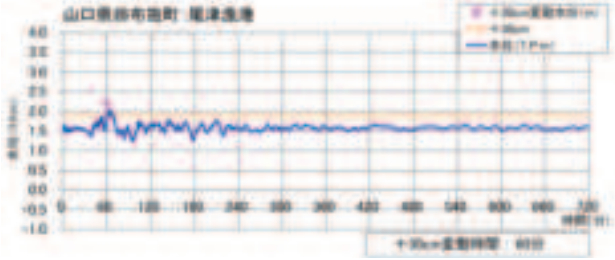
伊保田港
＋30cmの変動なし

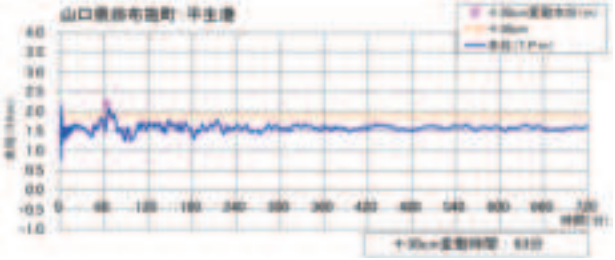


小松港
＋30cmの変動なし

小瀬川河口
＋30cmの変動なし







海面変動時間：周防灘断層帯

主要地点の時系列変動から算出した海面変動の時間

市町	代表地点名	【前回】 ＋20cm変動時間（分）	＋30cm変動時間（分）	＋1m変動時間（分）
下関市	下関漁港	-	-	-
	下関港（岬之町）	63	-	-
	下関港（長府）	54	55	-
宇部市	宇部港	26	26	-
	丸尾港	12	15	-
山口市	相原漁港	0	-	-
	秋穂漁港(秋穂地区)	13	17	-
	秋穂漁港(大海地区)	11	17	-
防府市	西浦漁港	0	12	-
	三田尻中関港(中関地区)	0	7	-
	三田尻中関港(三田尻地区)	0	24	-
	富海漁港	8	20	-
下松市	徳山下松港(下松市地区)	20	33	-
岩国市	由宇港	-	-	-
	岩国港	-	-	-
光市	徳山下松港(光地区)	23	31	-
	光漁港	26	37	-
柳井市	柳井港	65	149	-
周南市	福川漁港	14	32	-
	徳山下松港(徳山地区)	18	35	-
山陽小野田市	埴生漁港	55	55	-
	小野田港	16	46	-
周防大島町	久賀港	-	-	-
	白木港	-	-	-
	伊保田港	-	-	-
	安下庄港	97	128	-
	小松港	147	-	-
和木町	小瀬川河口	-	-	-
上関町	室津港	35	50	-
田布施町	尾津漁港	34	60	-
平生町	平生港	35	63	-

参考資料６

第７回
山口県地震・津波防災対策検討委員会

津波浸水想定の手法等

令和8年2月27日

本資料の内容

➢計算条件

１．計算条件（潮位、津波断層モデル、平水流量等）

➢計算モデル

本資料で示す計算に用いた計算モデル

１．計算対象範囲
２．地形モデル
３．粗度モデル
４．堤防モデル

→ ①山口県全域の全体図
→ ②前回調査※と比較した際の特徴的な変更点の拡大図

➢山口県における堤防の耐震性調査の実施状況

※ 前回調査：「平成25年度 地震・津波被害想定設定業務委託 第1工区」
以後、前回調査とは「平成25年度 地震・津波被害想定設定業務委託 第1工区」を指す。

今回調査の計算条件

計算条件

前回調査との整合性を鑑みて、下記のとおりの計算条件を設定する。

前回調査および今回調査の計算条件

項目	前回調査	今回調査
想定地震	南海トラフ最大クラス※ （ケース①、②、⑤、⑩、⑪） 周防灘断層帯	南海トラフ最大クラス （ケース①、②、⑤、⑩、⑪） 周防灘断層帯
地殻変動量	考慮（陸域隆起なし）	
計算メッシュサイズ	1280m、 640m、 320m、 160m、 80m、 40m、20m、10mのネスティング	**2430m、810m、270m、90m、 30m、10m、5mのネスティング**
最小計算メッシュサイズ	10m	**10m、5m**
初期潮位（T.P.）	1.04m、1.58m、1.81m	
再現計算時間	12時間	

※ 内閣府（H24）：南海トラフの巨大地震モデル検討会（第2次報告）
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/model/
断層モデルについての詳細は「計算条件（津波断層モデル）」にて示す。

計算条件

計算パターン

・以下のパターンを設定し、計算を行った。

・各パターンの計算結果および前回調査の結果を比較した。

計算条件

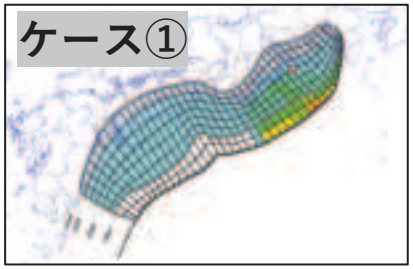
	パターン①	パターン②
最小 メッシュサイズ	10m、5m	10m、5m
施設設定条件	堤防高：**地震後高** 越流破堤あり	堤防高：**現況高** 越流破堤あり
備考	津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.11 に準拠	内閣府2025の施設設定 に準拠

計算条件（津波断層モデル）

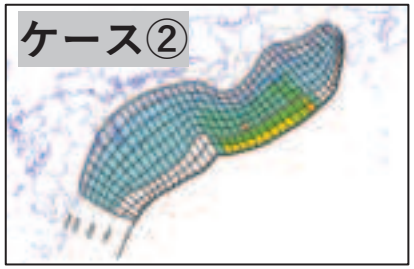
南海トラフ巨大地震：手引きに則った津波断層モデル

- 前回調査では、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会（二次報告）」（以降、内閣府[2012]）の11ケースの試算結果を基に、瀬戸内海沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される**５つの津波断層モデル**を選定した。
- 2025年に内閣府の津波浸水想定が更新された（以降、内閣府[2025]）。
- 内閣府[2012]から内閣府[2025]にかけて津波断層モデルは変更されておらず、津波発生に係る外力の変更はない。

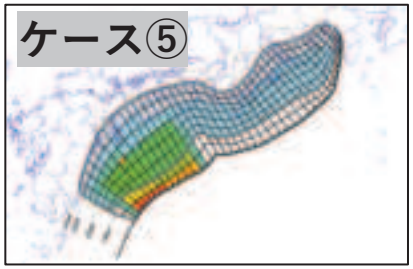
➡したがって、南海トラフ巨大地震は、**今回も同じ津波断層モデルを使用する。**



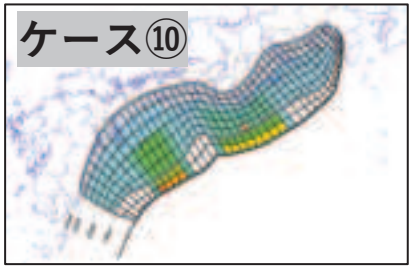
「駿河湾～紀伊半島沖」に大すべり域



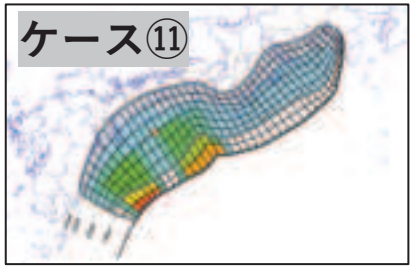
「紀伊半島沖」に大すべり域



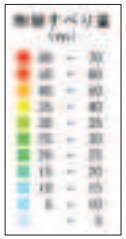
「四国沖～九州沖」に大すべり域



「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に大すべり域



「室戸岬沖」と「日向灘」に大すべり域



出典：
内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」（二次報告）

試算条件（津波断層モデル）

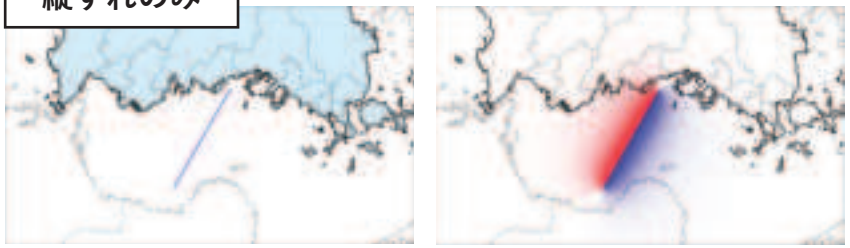
周防灘断層帯：山口県独自モデル

周防灘断層帯の津波断層パラメータ

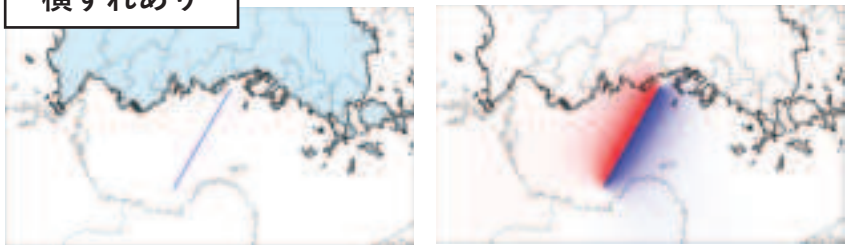
	すべり量の設定	地震の規模 M	断層の位置		上端深さd(km)	断層の向き			断層の大きさ		
			緯度（°）	経度（°）		走向（°）	傾斜角（°）	すべり角λ（°）	長さL (km)	幅 W(km)	すべり量 D(m)
前回調査	縦ずれのみ	7.6	34.00	131.63	0	210	90	90	44	15	1.80
	横ずれあり	7.6	34.00	131.63	0	210	90	150	44	15	3.70
今回調査	縦ずれのみ	7.6	34.01	131.64	0	210	70	90	44	16	1.80
	横ずれあり	7.6	34.01	131.64	0	210	70	155	44	16	3.44

前回調査

縦ずれのみ

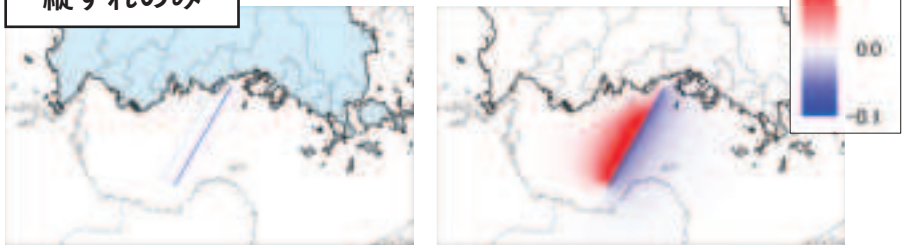


横ずれあり

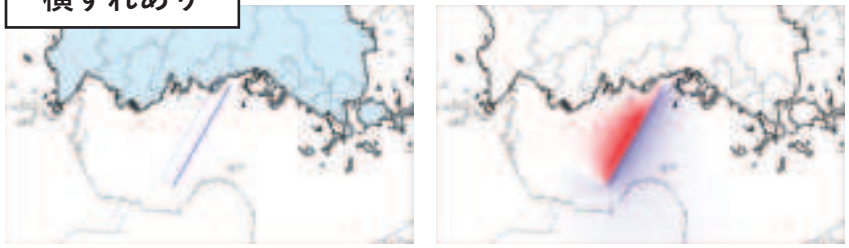


今回調査

縦ずれのみ



横ずれあり



計算条件（初期潮位）

計算範囲の設定

前回調査では、山口県の海岸保全施設等の設計に用いる朔望平均満潮位を基に、潮位を設定した。

➡**検討委員会の意見や、山口県の海岸保全基本計画の変更に係る技術検討会での朔望平均満潮位の検討結果を踏まえ、今回調査での潮位を設定**

初期潮位（今回調査、10mメッシュ領域）

計算条件（初期潮位）

【参考】第３回海岸保全基本計画変更に係る技術検討会（令和7年2月19日）の検討内容（抜粋）

気候変動を踏まえた計画外力の検討方針　【第１回検討会資料の再掲】 20

■気候変動を踏まえた計画外力の検討方針

▶ 第1回山口県海岸保全基本計画の変更に係る技術検討会において了承をいただいた、山口県沿岸における気候変動を踏まえた計画外力の検討方針を以下に示す。

項目	「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方提言　令和2年7月」本文の抜粋内容	外力設定に関する方針
気候変動シナリオ（海岸保全の目標）	気候変動を踏まえた海岸保全の基本的な方針（本文P12、4） 海岸保全の目標は、2℃上昇相当（RCP2.6）を前提としつつ、広域的・総合的な視点からの取組は、平均海面水位が2100年に1m程度上昇する予測（4℃上昇相当（RCP8.5））も考慮し、長期的視点から関連する分野とも連携することが重要である。	・2℃上昇相当を基本とする。
目標とする年		・2100年を目標とする。
海面水位（朔望平均満潮位）	高潮対策・津波対策（本文P.15.(1)） 平均海面水位は徐々に上昇し、その影響は継続して作用し、計画高潮位にも設計津波の水位にも影響する。長期的に、平均海面水位は上昇し、数百年単位で元に戻ることがないと予測されることから、ハード対策とソフト対策を組み合わせ、今後整備・更新していく海岸保全施設（堤防、護岸、離岸堤等）については、手戻りのないように整備・更新時点における最新の朔望平均満潮位に、施設の耐用年数の間に将来的に予測される平均海面水位の上昇量を加味するべきである。	・現行計画値に将来予測される平均海面水位の上昇量を加える。 ・朔望平均満潮位は、現行計画値を踏襲する。 ・海面上昇量は、「日本の気候変動2020」の2℃上昇シナリオの[illegible]値0.39mとする。
潮位偏差（計画高潮位）	高潮対策・津波対策（本文P.15.(1)） 潮位偏差や高波は、台風や低気圧が発生[illegible]デル）を対象にし想定した極値が生起するかはわからない[illegible]の長期変化量の予測は平均海面水位の上昇量に比べて不確実性が高いが施設設計への影響は大きい。今後、研究成果の蓄積を踏まえ、最新の研究成果やd4PDF等による気候予測結果を活用し、将来的に予測される潮位偏差や波浪を推算し対策を検討すべきである。	[illegible]の波浪推算結果の統計値から設定。 ・潮位偏差の設定に用いる想定台風での波浪推算値との比較も行い、統計値が妥当か確認。
波浪（設計波）		
津波	今後は気候変動を踏まえた高潮・津波に係る海岸保全及び他分野との連携について、具体的な対応を図るべきである。	・山口県地震・津波防災対策検討委員会報告書のL1津波水位に、目標とする2100年の平均海面水位の上昇量を加算して設定

・朔望平均満潮位は現行計画値を踏襲する。

出典：第３回 山口県海岸保全基本計画変更に係る技術検討会

計算条件（初期潮位）

【参考】第３回海岸保全基本計画変更に係る技術検討会（令和7年2月19日）の検討内容（抜粋）

気候変動を踏まえた計画外力の検討結果　29

■気候変動を踏まえた設計高潮位

- 前述までの高潮推算結果を踏まえて、気候変動を踏まえた設計高潮位を設定した。
- 気候変動を踏まえた設計高潮位は、現行の設計高潮位に対して、南沿岸では0.46m～0.57m程度、北沿岸では0.43m～0.47m程度上昇することが想定される。

気候変動を踏まえた設計高潮位

ゾーン名		現行計画の設計高潮位			気候変動を踏まえた設計高潮位				
		朔望平均満潮位※1 (T.P.m)	潮位偏差 (m)	設計高潮位 (T.P.m)	朔望平均満潮位※1 (T.P.m)	海面上昇量 (m)	気候変動考慮 潮位偏差(m)	気候変動考慮 変化倍率※2	気候変動を踏まえた設計高潮位(T.P.m)
山口南沿岸	豊関南	1.04～1.88 (吉母～下関)	0.97～2.54	2.01～4.42	1.04～1.88 (吉母～下関)	0.39	1.04～2.72 [+0.07～+0.16]	1.07	2.47～4.99 [+0.46～+0.31]
	宇部	1.62～1.80 (埴生～丸尾)	2.10～2.60	3.72～4.40	1.62～1.80 (埴生～丸尾)	0.39	2.25～2.78 [+0.15～+0.18]	1.07	4.26～4.97 [+0.16～+0.31]
	山口	1.54～1.62 (山口～三田尻)	2.20～2.50	3.76～4.12	1.54～1.62 (山口～三田尻)	0.39	2.35～2.68 [+0.15～+0.18]	1.07	4.30～4.69 [+0.16～+0.31]
	周南	1.47～1.52 (徳山～光)	2.13～2.41	3.60～3.90	1.47～1.52 (徳山～光)	0.39	2.28～2.58 [+0.15～+0.17]	1.07	4.14～4.46 [+0.16～+0.34]
	柳井	1.42～1.53 (平生～久賀)	1.40～2.40	2.80～3.93	1.42～1.53 (平生～久賀)	0.39	1.50～2.57 [+0.13～+0.17]	1.07	3.37～4.49 [+0.49～+0.34]
	岩国	1.71～1.80 (柱島～岩国)	1.60～1.95	3.31～3.70	1.71～1.80 (柱島～岩国)	0.39	1.71～2.09 [+0.11～+0.14]	1.07	3.81～4.23 [+0.30～+0.31]
山口北沿岸	豊関北	0.88～1.04 (室津下～阿川)	0.91～0.97	1.79～2.01	0.88～1.04 (室津下～阿川)	0.39	0.97～1.04 [+0.09～+0.07]	1.07	2.24～2.47 [+0.45～+0.46]
	長門	0.85～0.88 (大浦～野波瀬)	0.80～0.84	1.65～1.70	0.85～0.88 (大浦～野波瀬)	0.39	0.86～0.90 [+0.08]	1.07	2.10～2.17 [+0.43～+0.47]
	萩	0.58～0.75 (三見～見島)	0.71～0.90	1.18～1.68	0.58～0.75 (三見～見島)	0.39	0.76～0.96 [+0.09～+0.06]	1.07	1.73～2.10 [+0.44～+0.41]

※1：朔望平均満潮位は、「海岸・河川事業における設計潮位（瀬戸内海沿岸）について,2003年」、「日本海沿岸の潮位基準の改訂について,2008年」から設定

※2：[ ]の数値は、現行計画値からの差分

※3：現行台風経路時の将来変化倍率（平均値）

朔望平均満潮位は、「海岸・河川事業における設計潮位（瀬戸内海沿岸）について,2003年」、「日本海沿岸の潮位基準の改訂について,2008年」から設定。

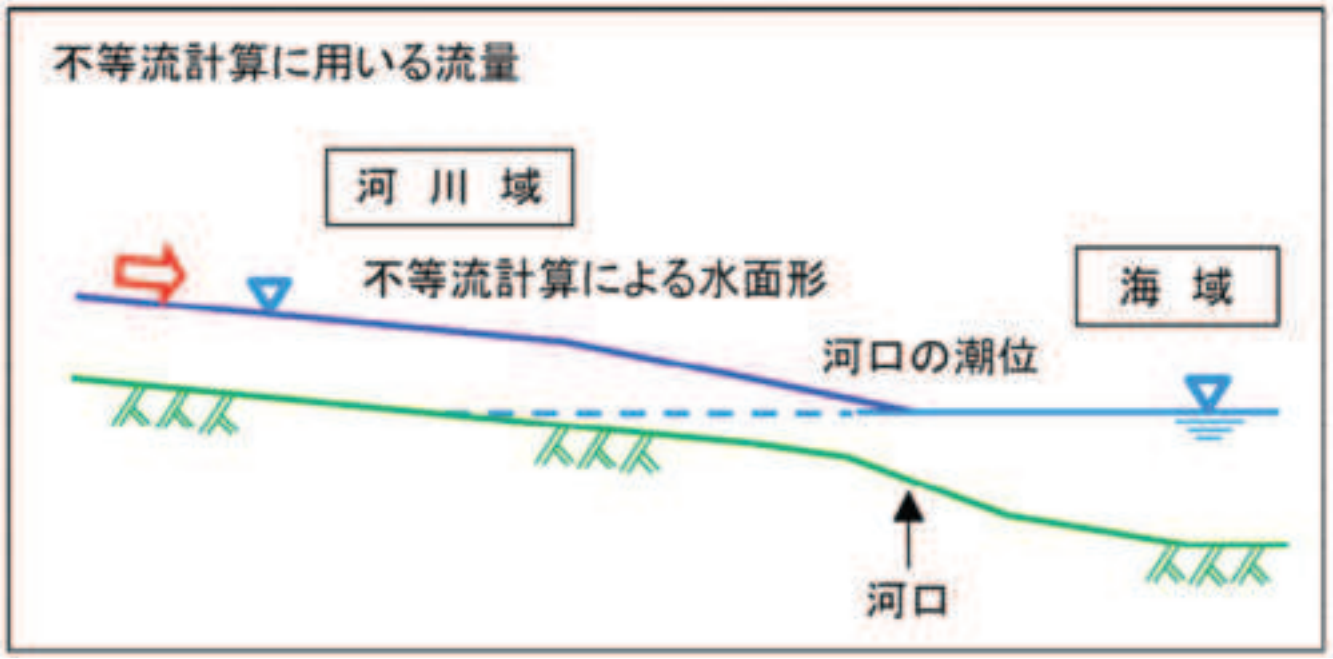
出典：第３回 山口県海岸保全基本計画変更に係る技術検討会

計算条件（河川平水流量）

河川平水流量の設定

・検討委員会での意見等を踏まえて、河川遡上を考慮すべきと判断された河川は、河川流量のデータを収集し河川平水流量を設定した。

・設定した平水流量を用いて不等流計算を実施し、津波浸水予測計算における河道内初期水位の設定を行った。



不等流計算による河川の初期水位の設定

計算条件（河川平水流量）

河川平水流量を設定する河川

・検討委員会での意見等を踏まえて選定した山口県内の31河川に対し、平水流量を設定し、不等流計算を実施した。

河川平水流量を設定する河川

NO	等級	水系	河川	上流端流量		NO	等級	水系	河川	上流端流量
1	1級河川	佐波川水系	佐波川	7.73		17	2級河川	富田川水系	富田川	10.92
2			横曽根川	0.29		18		西光寺川水系	西光寺川	0.63
3		小瀬川水系	小瀬川	6.16		19		末武川水系	末武川	2.82
4	2級河川	神田川水系	神田川	0.59		20		平田川水系	平田川（新南陽）	0.75
5		浜田川水系	浜田川	0.13		21		玉鶴川水系	玉鶴川	0.01
6		木屋川水系	木屋川	13.50		22		切戸川水系	切戸川	2.73
7		厚狭川水系	厚狭川	5.91		23		島田川水系	島田川	7.57
8		有帆川水系	有帆川	1.10		24		田布施川水系	田布施川	2.43
9		厚東川水系	厚東川	12.43		25		大内川水系	大内川	0.42
10			中川	0.44		26		土穂石川水系	土穂石川	0.18
11		真締川水系	真締川	0.38		27		柳井川水系	柳井川	0.36
12		椹野川水系	椹野川	6.89		28		平田川水系	平田川（岩国）	0.87
13		南若川水系	南若川	0.80		29		錦川水系	錦川（今津川）	15.07※
14		馬刀水系	馬刀川	0.37		30			錦川（前門川）	
15		柳川水系	柳川	0.33		31	準用河川	勘場川水系	勘場川	0.03
16		夜市川水系	夜市川	13.23						

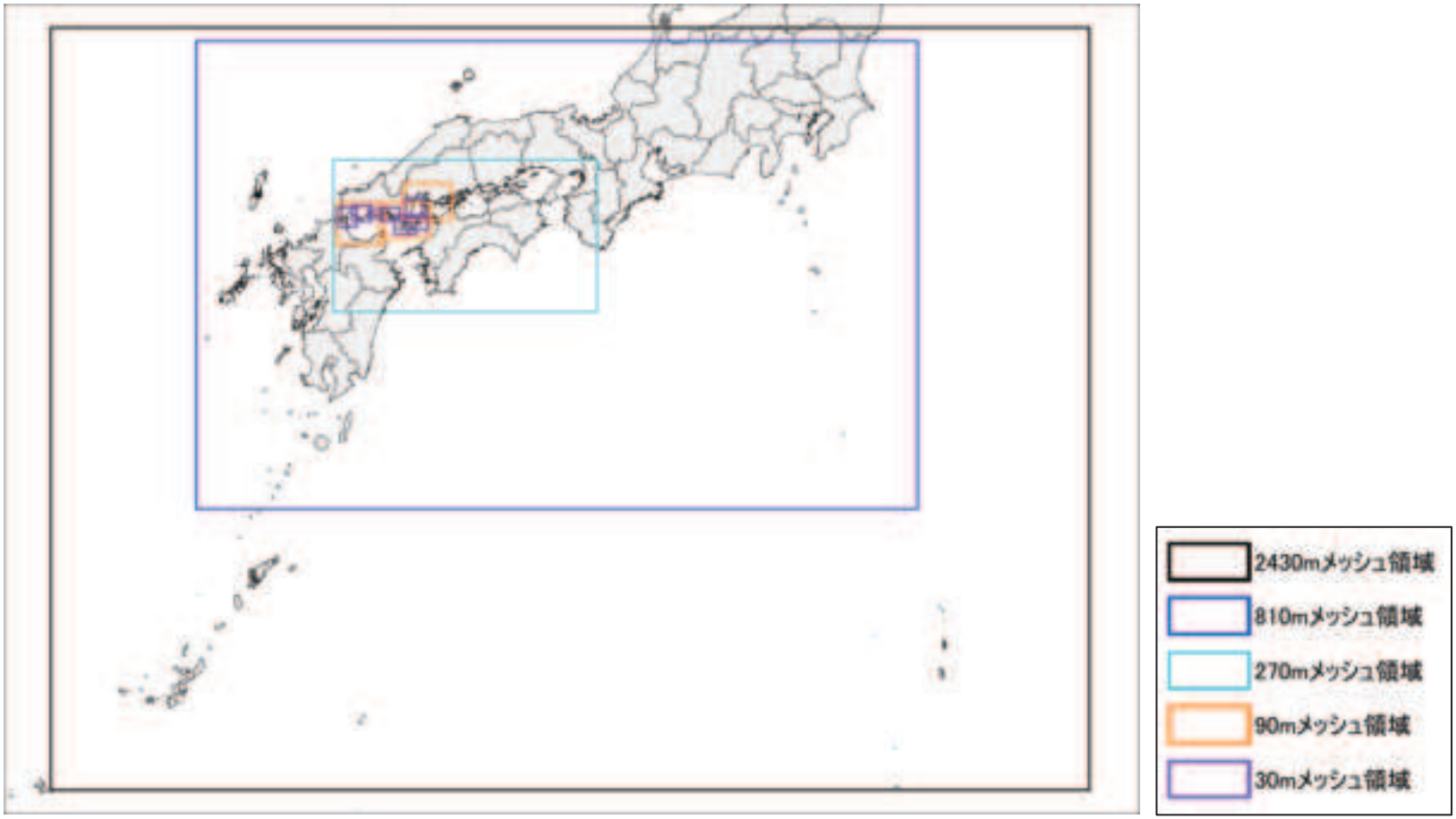
※今津川および門前川の合流部の上流にて設定

計算モデル

計算対象範囲

計算範囲の設定

2430m、810m、270m、90m、30m、10m、5mの計算範囲を設定

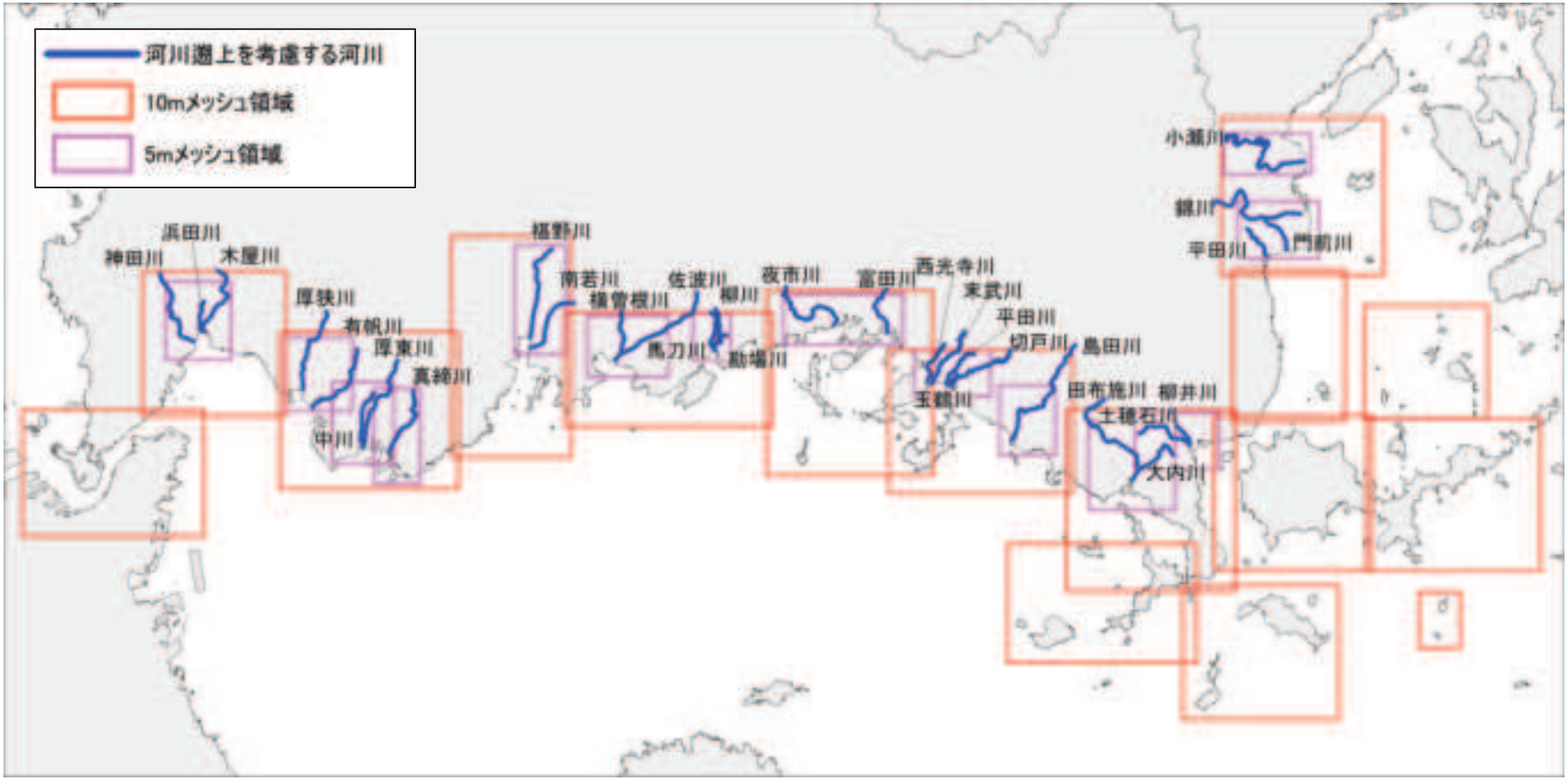


計算範囲（30m、90m、270m、810m、2430mメッシュ領域）

計算対象範囲

計算範囲の設定

前回調査では最小メッシュサイズは10mであった。今回、**津波の河川遡上を考慮する河川が位置する範囲は、最小メッシュサイズを5m**を設定する。

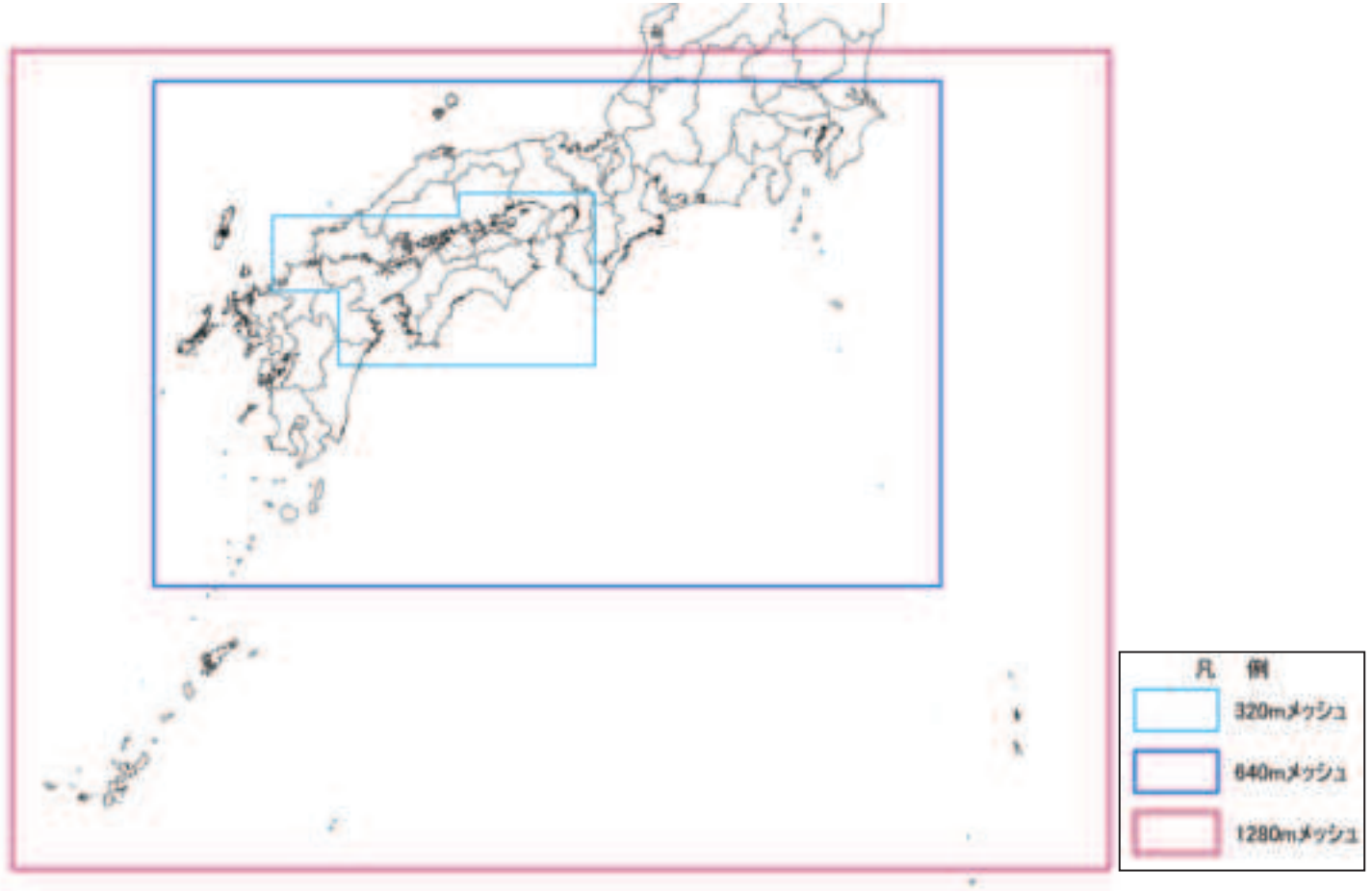


計算範囲（5m、10mメッシュ領域）

【前回調査】計算対象範囲

前回調査の計算範囲の設定

1280m、640m、320m、160m、80m、40m、20m、10mの計算範囲を設定

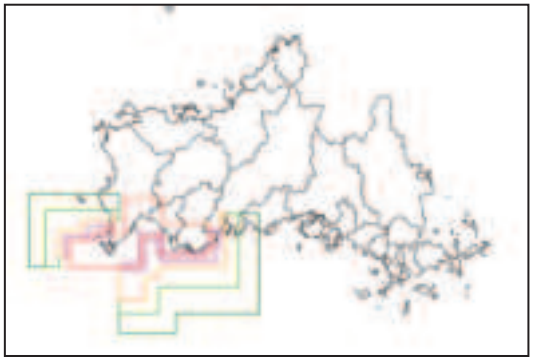


計算範囲（320m、640m、1280mメッシュ領域）

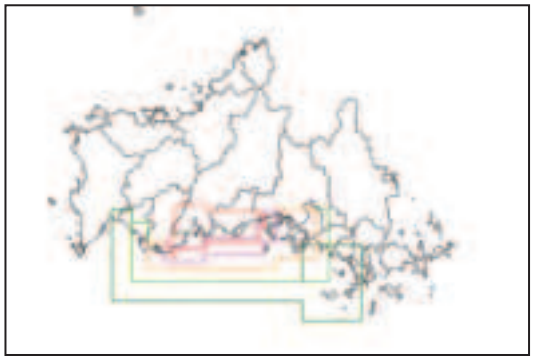
【前回調査】計算対象範囲

前回調査の計算範囲の設定

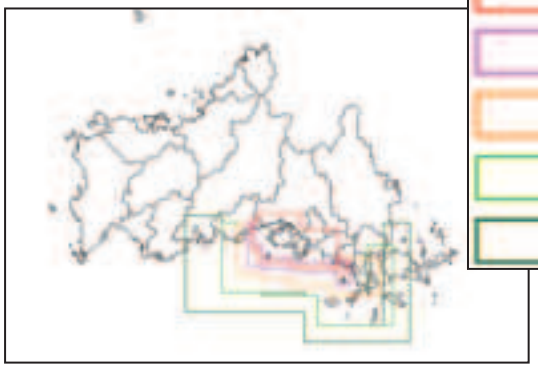
最小メッシュサイズ10mの範囲を取り囲むように、10m以上のメッシュサイズの範囲が設定されている。**今回調査の設定と大きく異なる。**



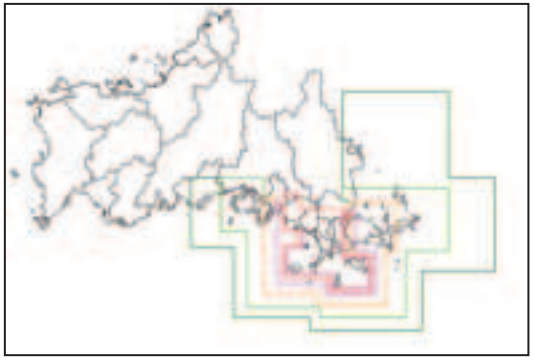
沿岸領域１



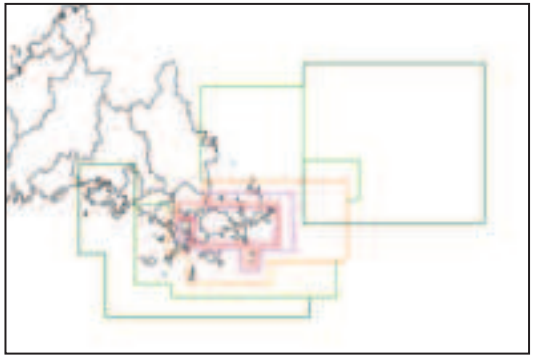
沿岸領域２



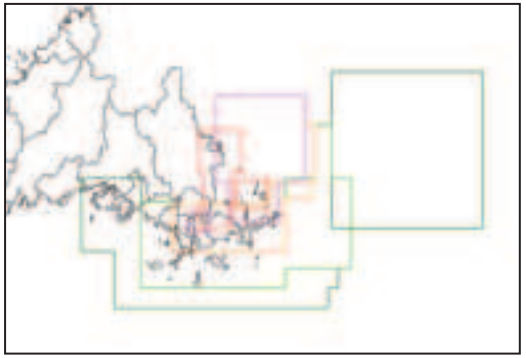
沿岸領域３



沿岸領域４



沿岸領域５



沿岸領域６

計算範囲（10m、20m、40m、80m、160mメッシュ領域）

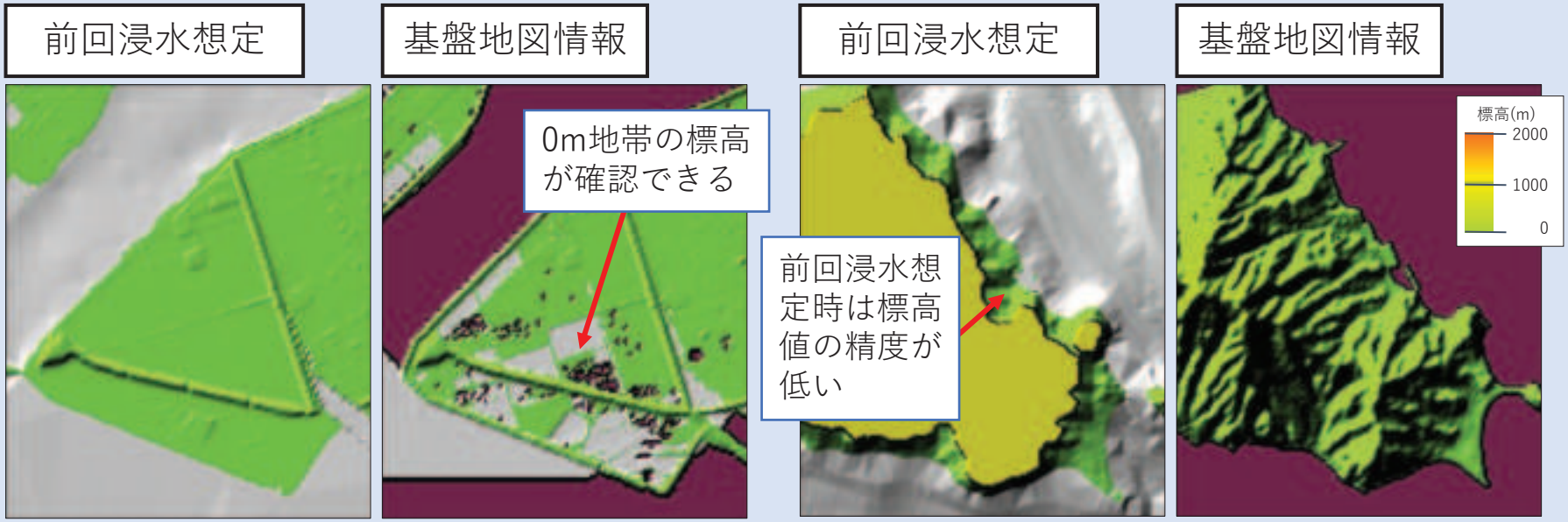
計算モデル（地形）

地形データの更新方法

前回調査の地形データに対し、以下のデータを用いてデータの更新

・国土地理院基盤地図情報 5m メッシュデータ
・各自治体および中国地方整備局より提供を受けたデータ

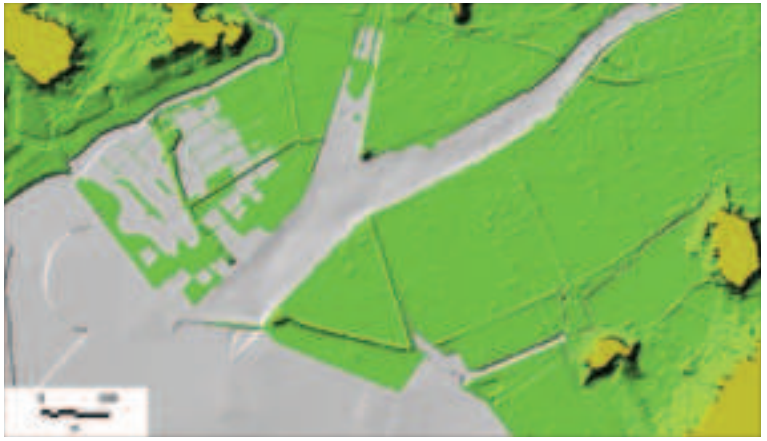
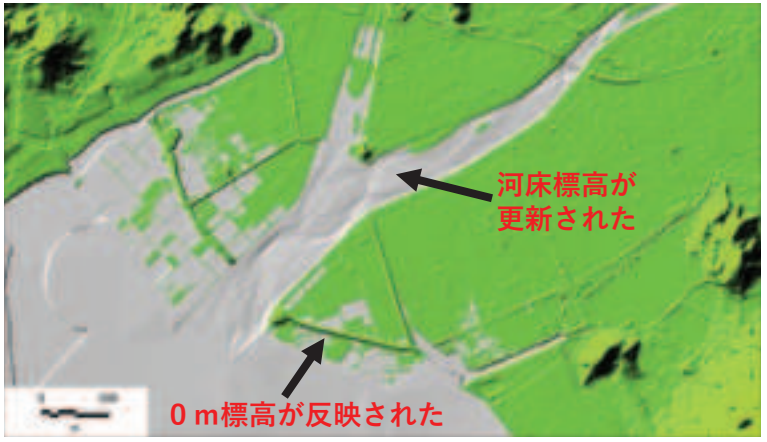
前回浸水想定および基盤地図情報の地形データの比較



計算モデル（地形）

地形データの更新事例

最新のデータに基づき、地形データを更新

	下関市周辺	佐波川周辺
前回浸水想定		
今回浸水想定		

計算モデル（地形）

地形データの更新　全体図

地形データ（5mメッシュ領域）

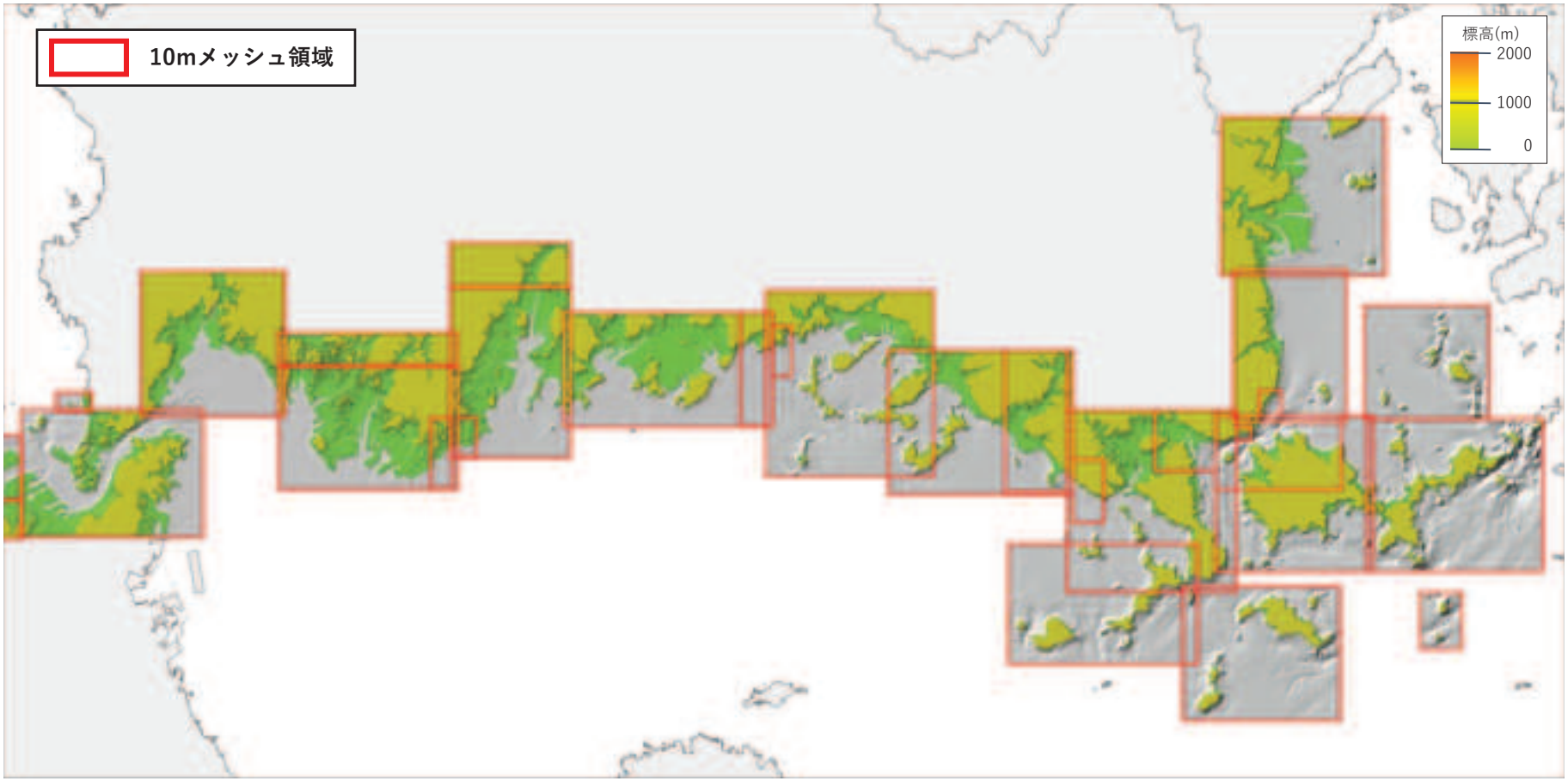
計算モデル（地形）

地形データの更新　全体図

地形データ（10mメッシュ領域）

計算モデル（地形）

【参考】前回調査の地形データ(10mメッシュ領域)



地形データ（10mメッシュ領域）

計算モデル（地形）

前回調査の地形データとの比較（差分）　全体図

標高差分＝今回－前回

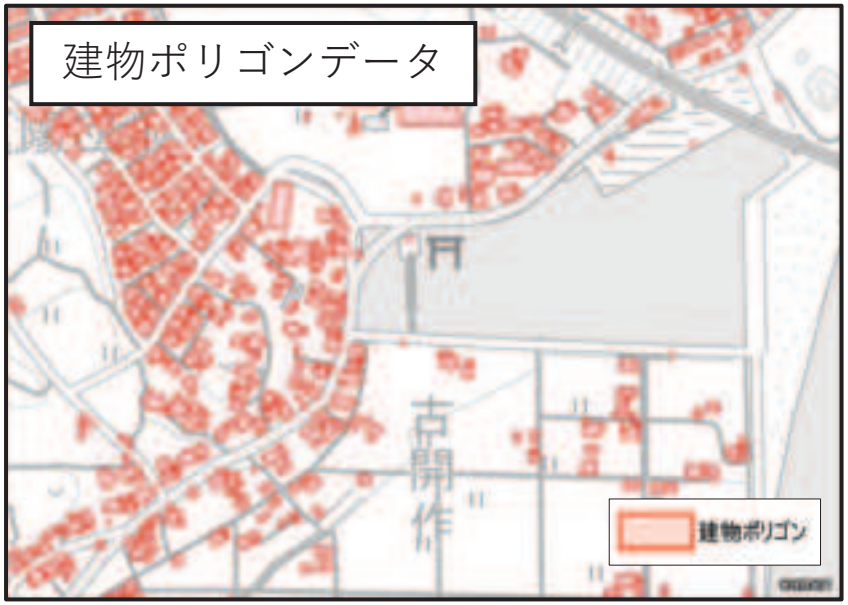
地形データ（10mメッシュ領域）

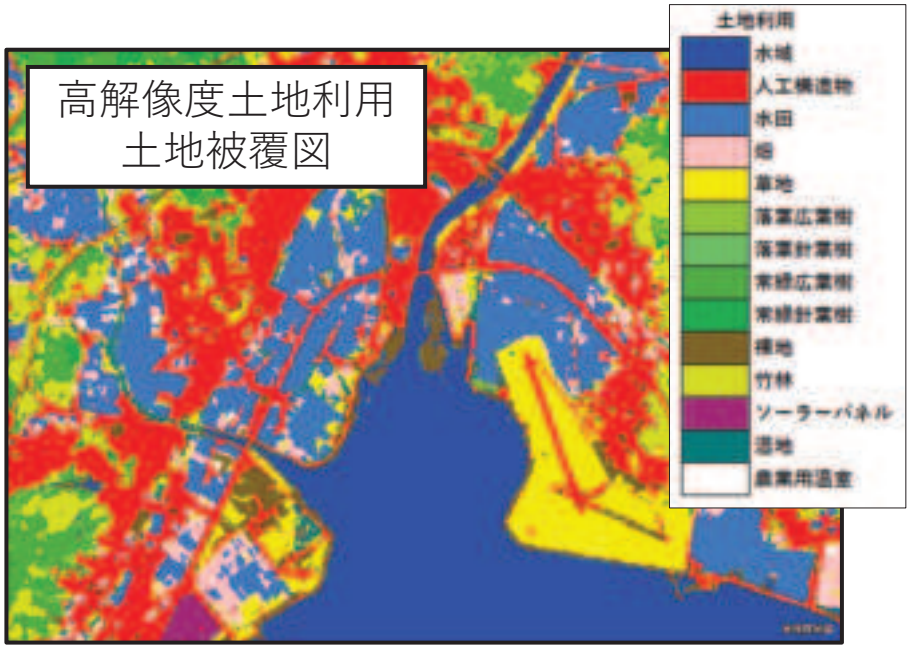
計算モデル（粗度）

粗度データ

建物ポリゴンデータを用いて、1メッシュあたりの建物占有率に応じた粗度係数を与えることで、より現況に近い建物用地を再現（収集データは以下のとおり）

- **基盤地図情報（基本項目）**
  - 建物ポリゴンデータを整理し、建物占有率の算出に使用
- **高解像度土地利用土地被覆図**
  - 建物用地以外の粗度係数の設定に使用
  - 公開元：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 地球観測研究センター(EORC)



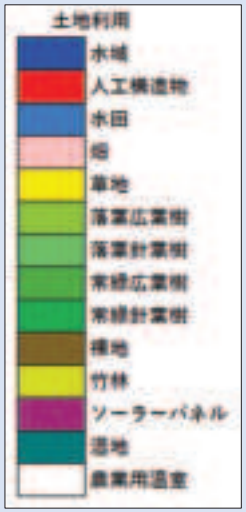


計算モデル（粗度）

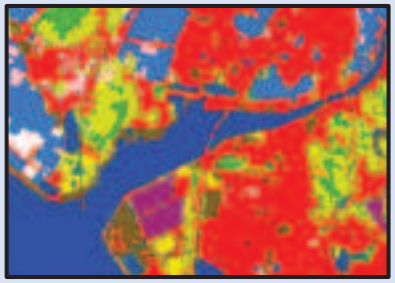
粗度データ

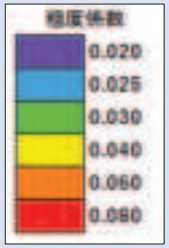
建物ポリゴンデータを用いて、1メッシュあたりの建物占有率に応じた粗度係数を与えることで、より現況に近い建物用地を再現

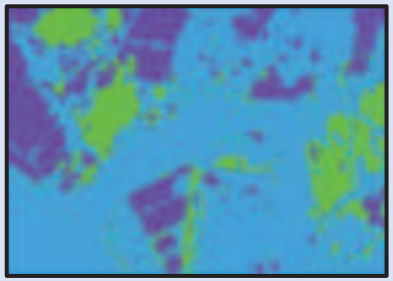
高解像度土地利用被覆図

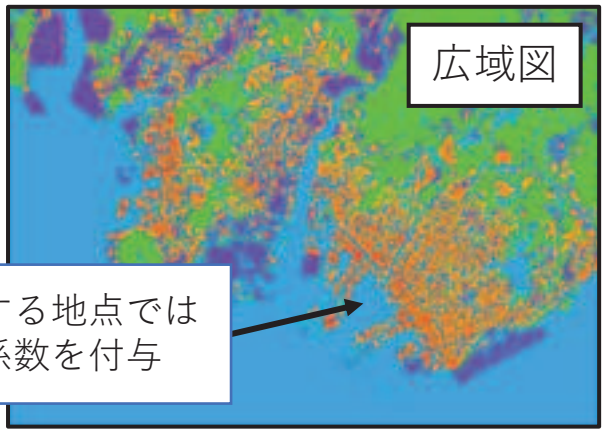


小谷ほか(1998)に
従い人工構造物以外
に粗度係数を付与

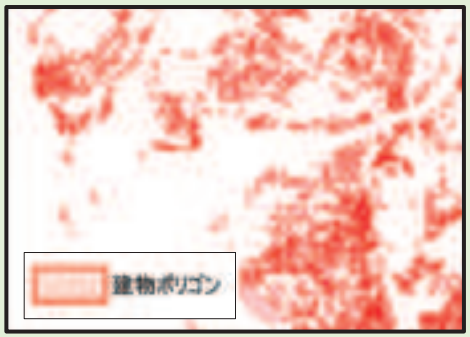




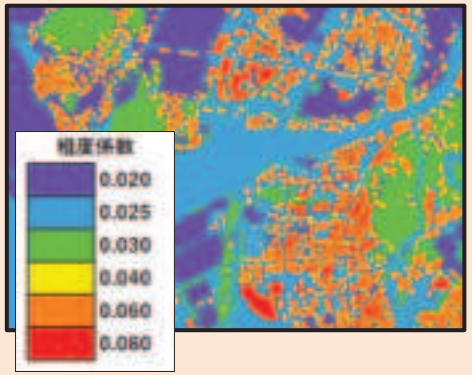




建物ポリゴン



粗度係数



計算モデル（粗度）

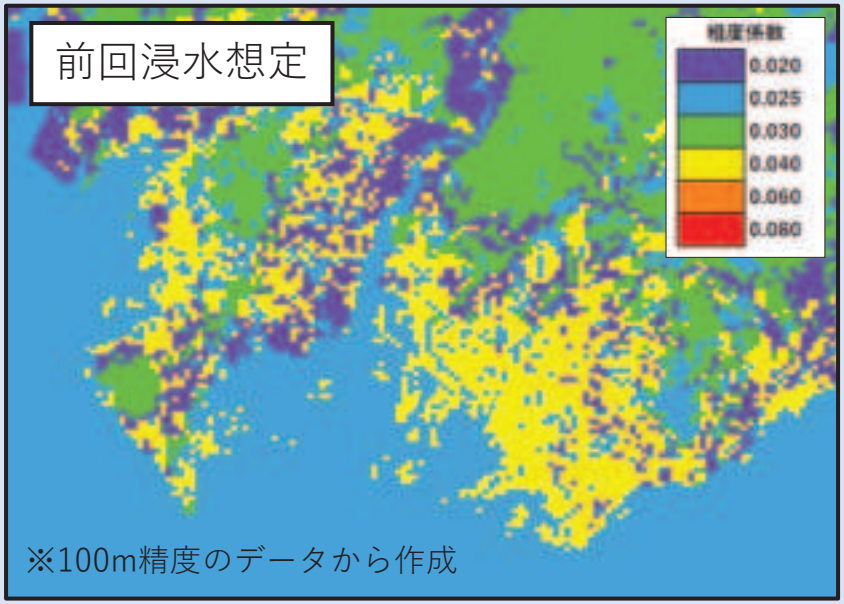
前回および今回調査の粗度データの比較

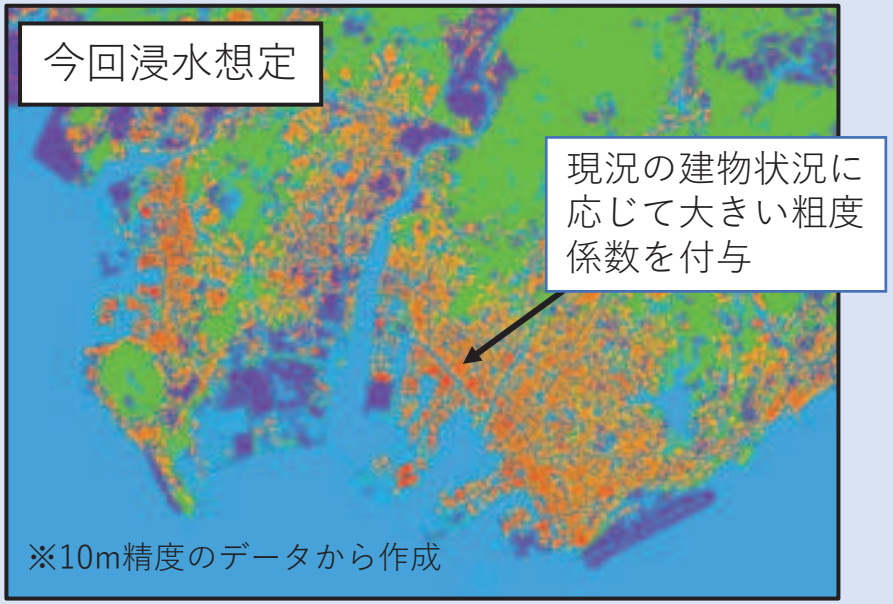
収集データにより粗度データを整理することで、以下が反映される。

・**建物用地：**前回調査では、小谷ほか(1998)における低密度居住地（粗度0.040、図中の黄色）が顕著だが、今回調査では、中密度居住地（粗度0.060、図中の橙色）および高密度居住地（粗度0.080、図中の赤色）についても反映

・**建物用地以外：**最新のデータに更新

粗度データの比較（山陽小野田市・宇部市周辺）





計算モデル（粗度）

粗度データの更新　全体図

粗度データ（5mメッシュ領域）

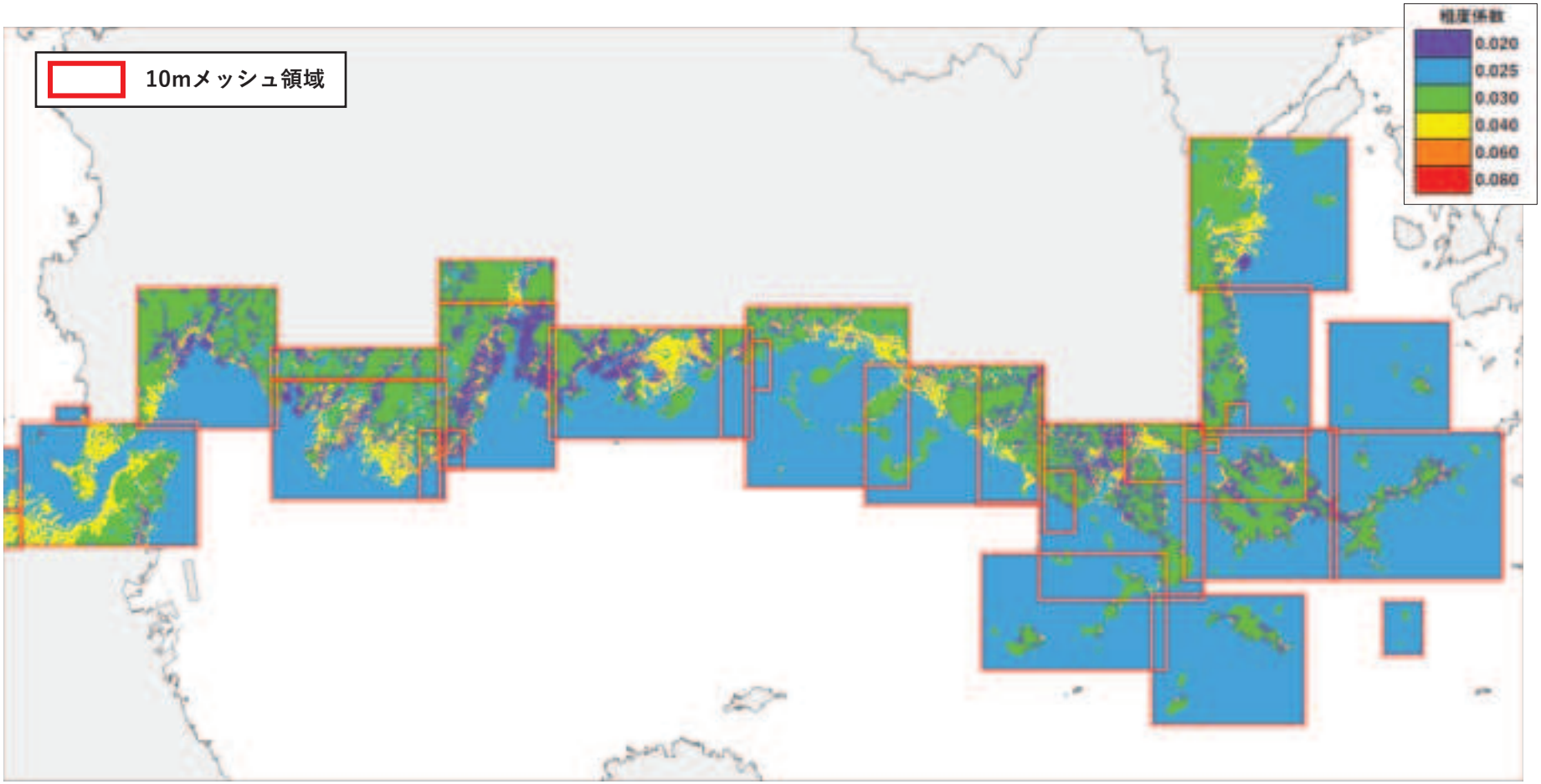
計算モデル（粗度）

粗度データの更新　全体図

粗度データ（10mメッシュ領域）

計算モデル（粗度）

【参考】前回調査の粗度データ(10mメッシュ領域)



粗度データ（10mメッシュ領域）

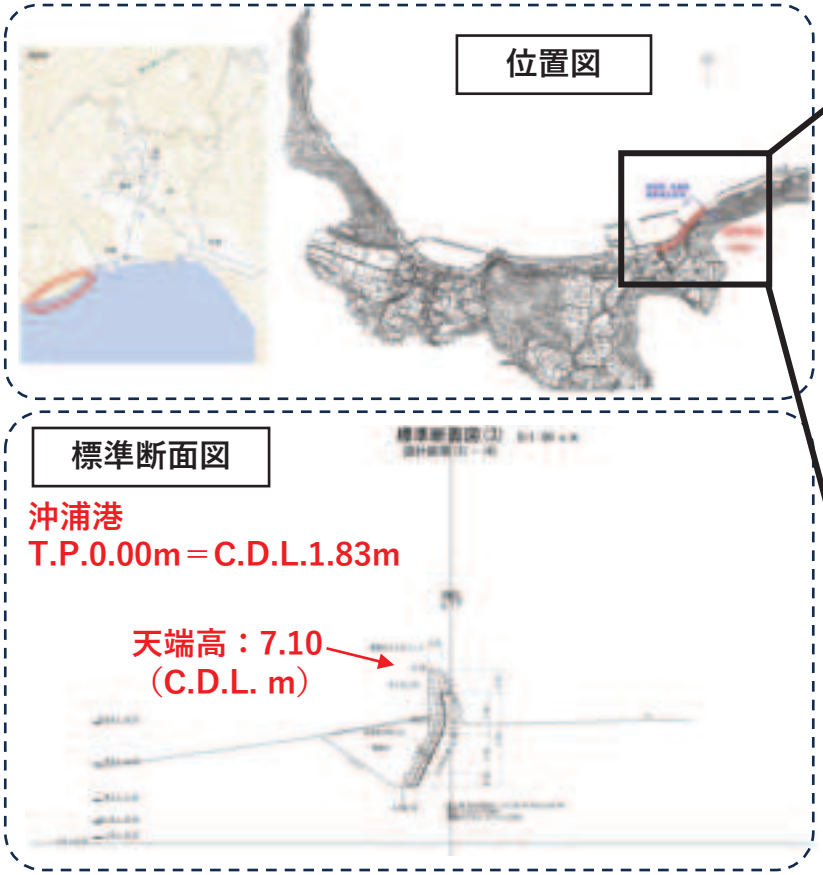
計算モデル（堤防）

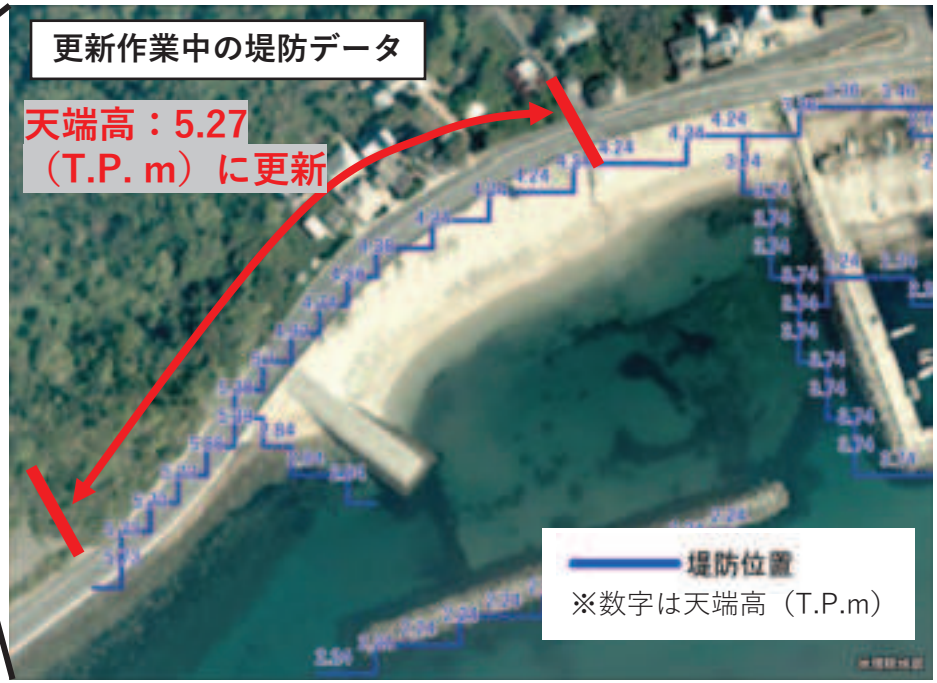
現況堤防データの更新

各管理者から提供を受けた報告書や図面をもとに堤防天端高を更新

例：秋防潮堤（周防大島町）

天端高：6.00（C.D.L. m）⇒天端高：7.10（C.D.L. m）に嵩上げ

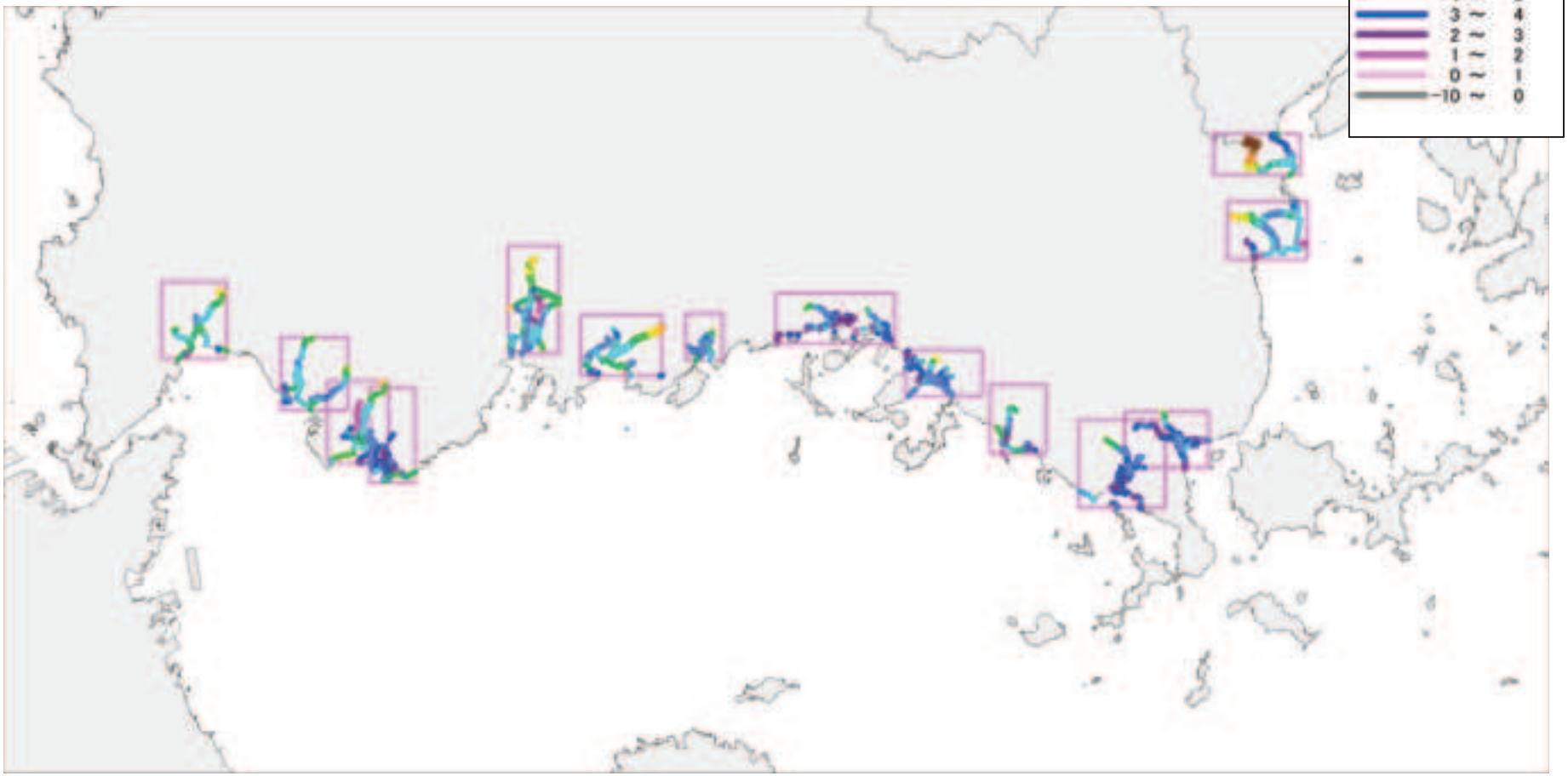




出典：提供を受けた台帳等から抜粋

計算モデル（堤防）

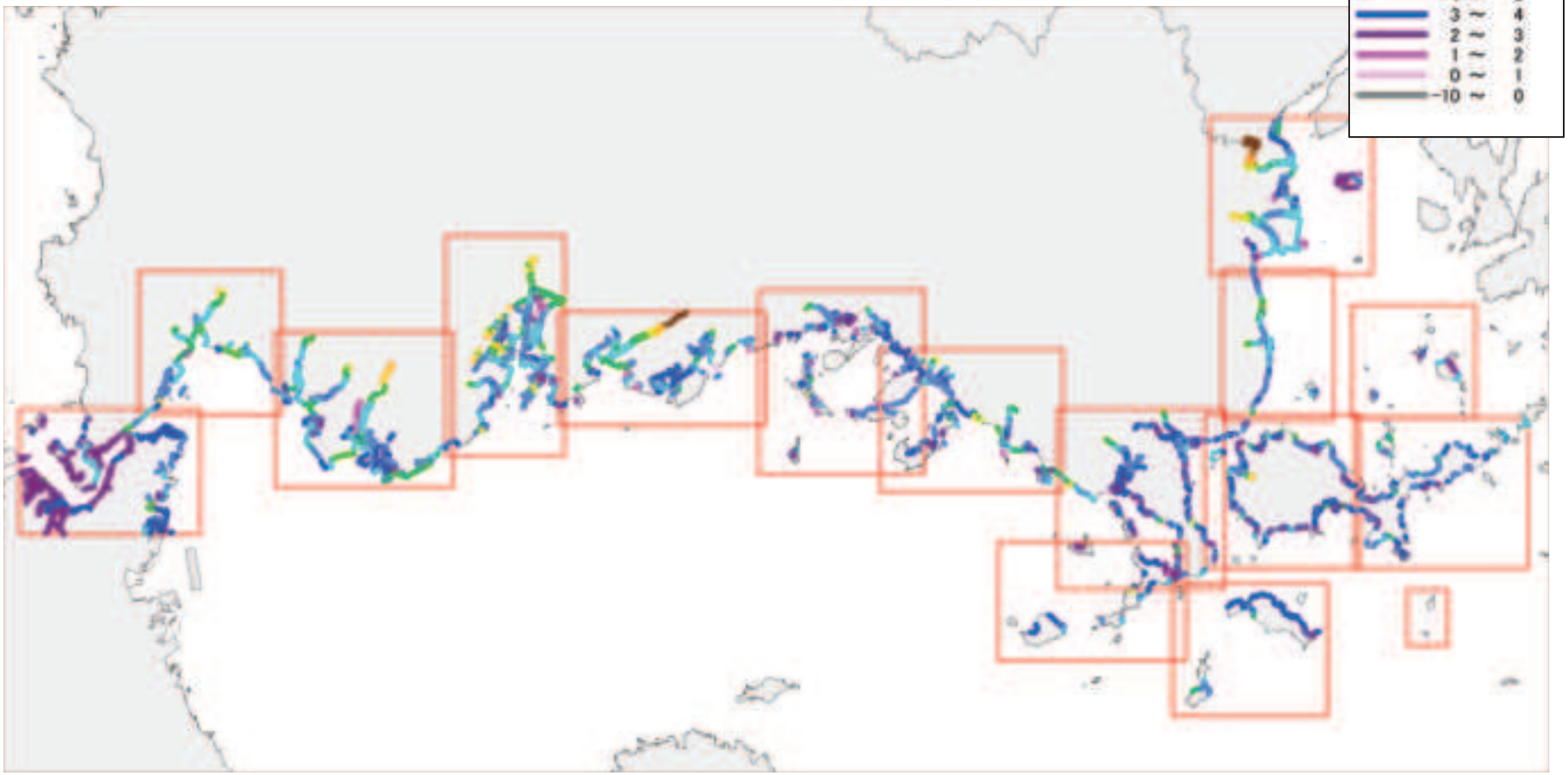
堤防データの更新　全体図　現況高



堤防データ（5mメッシュ領域）

計算モデル（堤防）

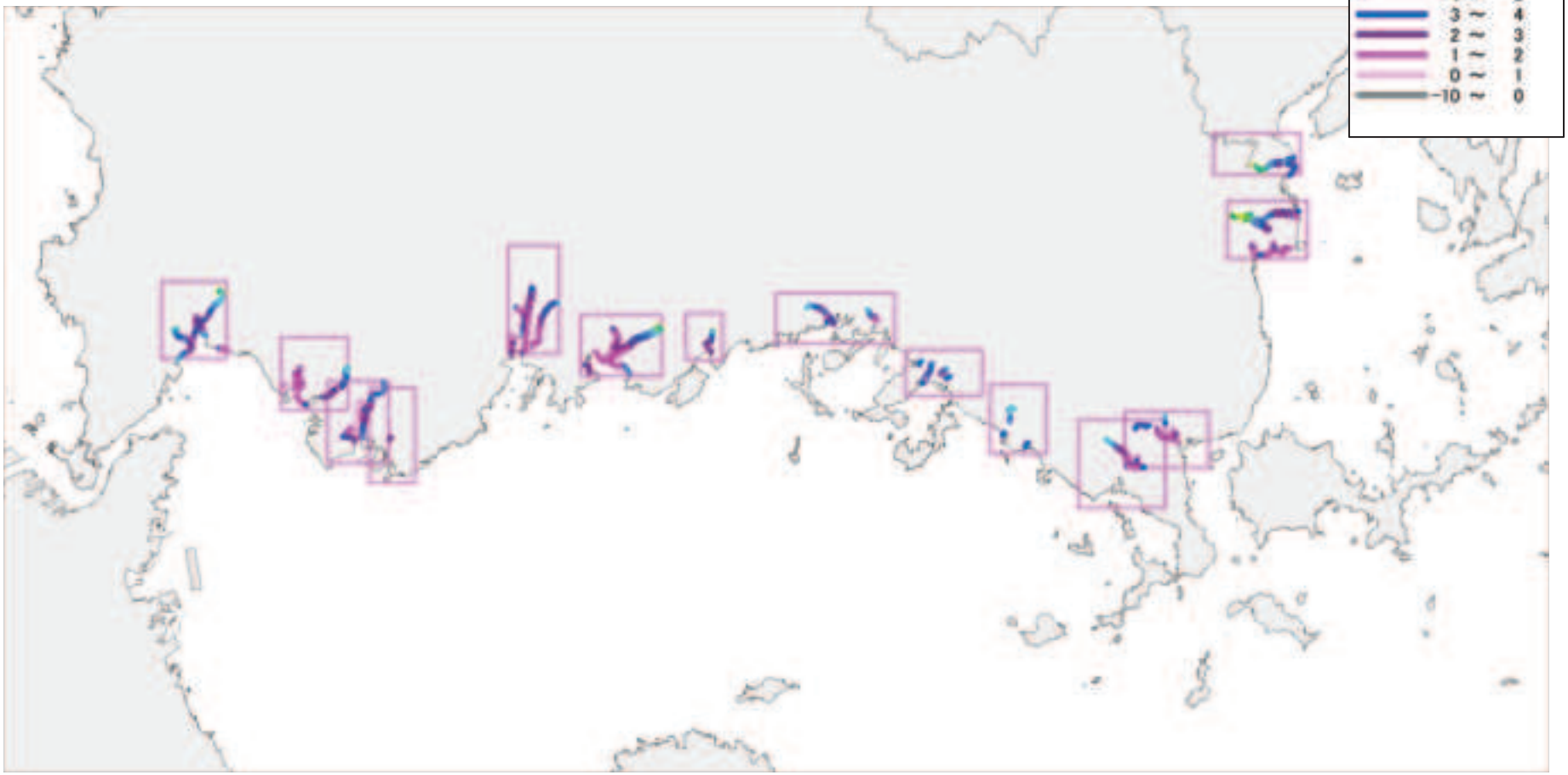
堤防データの更新　全体図　現況高



堤防データ（10mメッシュ領域）

計算モデル（堤防）

堤防データの更新　全体図　地震後高



堤防データ（5mメッシュ領域）

計算モデル（堤防）

堤防データの更新　全体図　地震後高

堤防データ（10mメッシュ領域）

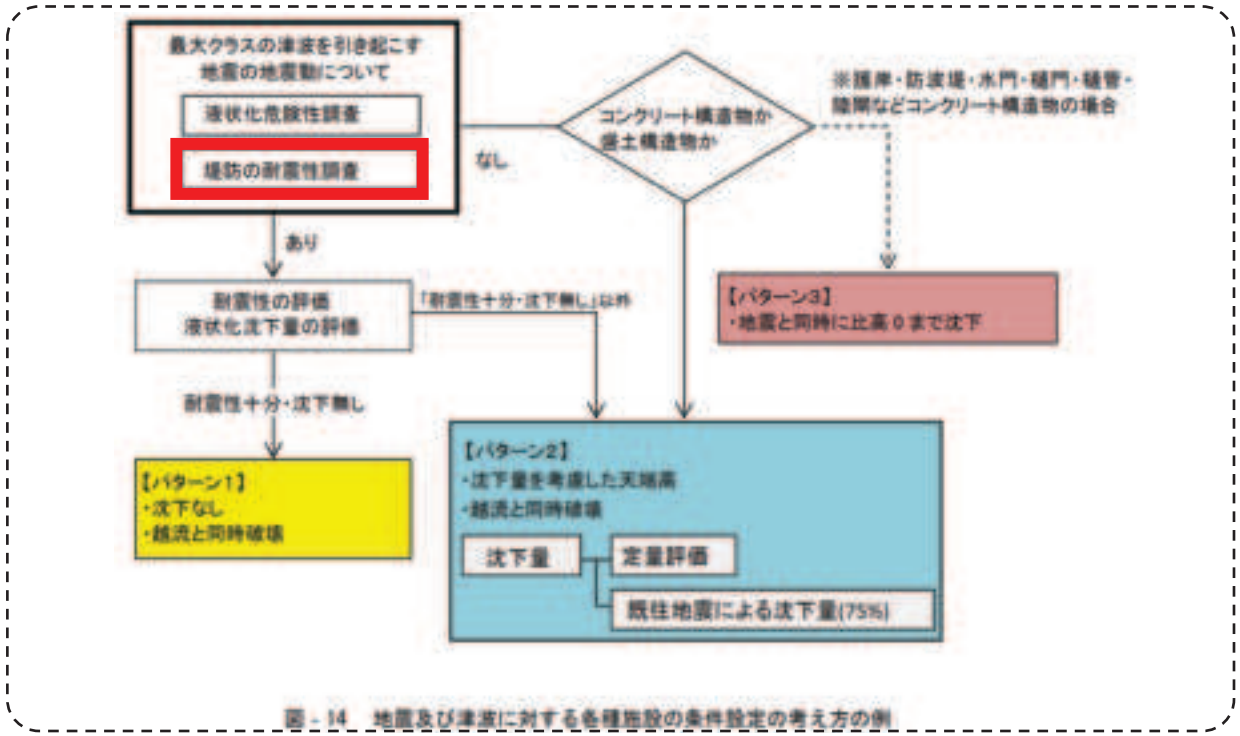
山口県における
堤防の耐震性調査の実施状況の整理

概要

「津波浸水想定の設定の手引き」における耐震性調査の位置付け

堤防の耐震性調査が実施され、調査に関する資料が…
・ある場合：調査資料に記載の沈下量を反映。
・ない場合：コンクリート構造物は地震と同時に比高0まで沈下。
　　盛土構造物は75%沈下。越流と同時に破壊 。

➡ **山口県における堤防の耐震性調査**の実施状況とその内容を整理した。



図－14　地震及び津波に対する各種施設の条件設定の考え方の例

出典：津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.11

山口県における耐震性調査の状況

過年度に実施されている耐震性調査の確認

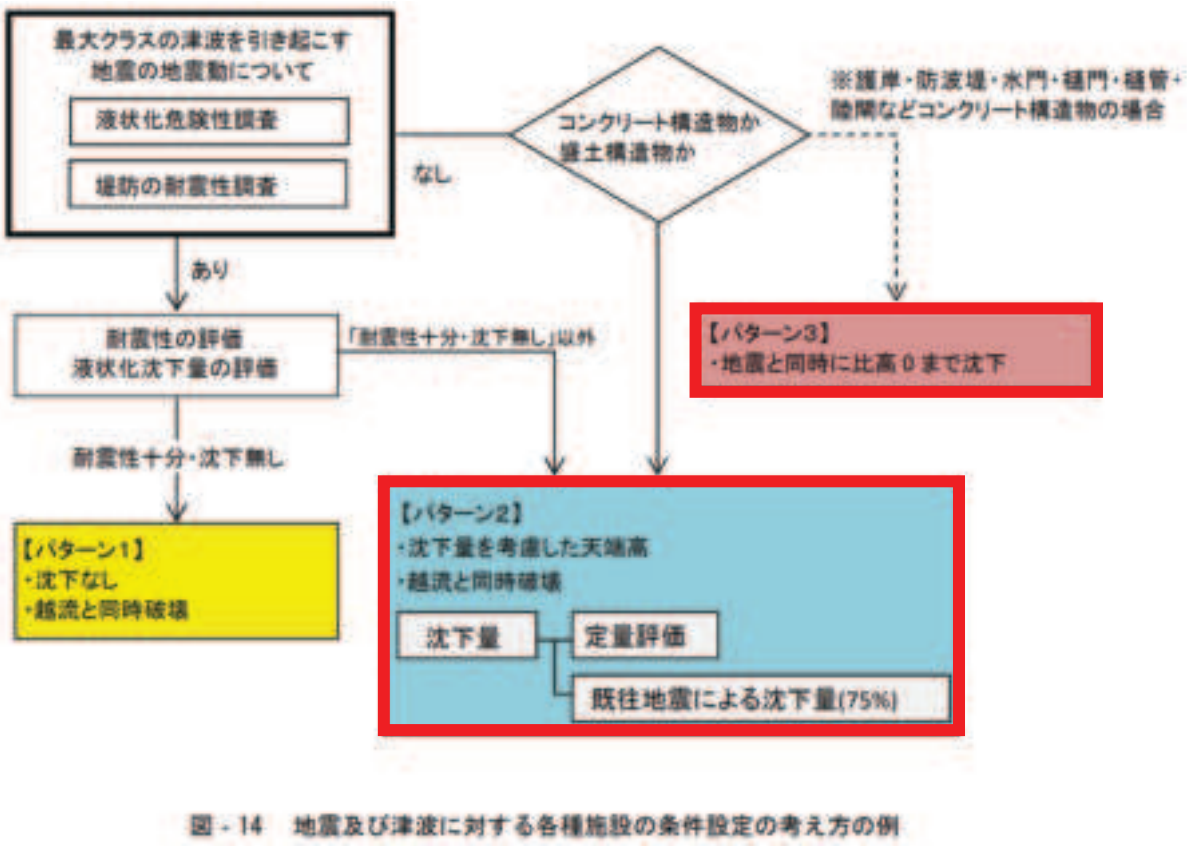
・山口県においてこれまで実施された耐震性調査は、**レベル１地震動（東南海・南海地震等）を対象**としており、最大クラスの地震は対象とされていない。

耐震性調査が実施されている地点

本調査における沈下量の設定

耐震性調査の状況を踏まえた方針

・山口県の各種施設はパターン２またはパターン３となる。



図－14　地震及び津波に対する各種施設の条件設定の考え方の例

出典：津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.11

【参考】前回調査の各種施設の破壊条件

前回調査の破壊条件の考え方は以下である。

各種施設の破壊条件の考え方

	H24山口県
地震による破壊	各種施設は地震発生直後（津波来襲前）に、 ➢ パラペット等の全高が消失する。※1 ➢ 土提、水門、樋門の天端高の75%が沈下する。※2 ➢ 大規模な水門※3については、100%の機能消失とする。
津波による破壊	越流時点で ➢ 堤防、水門、樋門等の100%が消失する。※4

※1 ：パラペット等とは、10mメッシュデータで表現できない幅の狭い構造物を示す。
※2 ：パラペット等を除く土提部分の75%が沈下するものとする。
　　水門、樋門についても、隣接堤防と同等の沈下が生じるものとする。
※3 ：10mメッシュデータで表現できる程度の大規模な水門については、100%の機能消失とする。
※4 ：パラペット等を含め、堤防の100%が消失するものとする。水門、樋門についても同様とする。

参考資料７

被害想定計算手法の整理

※ 主要な被害想定項目として，「建物被害」，「人的被害」，「ライフライン被害」，「生活支障」及び「直接経済被害」の算定手法の概要を記載。
※ 参考とした資料の出典等については，今後整理し取りまとめる。

目　次

《 建物被害 》 1
（１）液状化による建物被害 1
（２）揺れによる建物被害 4
（３）土砂災害による建物被害 7
（４）津波による建物被害 8
（５）地震火災による建物被害 10
（６）建物被害のダブルカウントの除去 14
《 人的被害 》 15
（１）人口データの設定 15
（２）建物倒壊による人的被害 17
（３）土砂災害による人的被害 19
（４）火災による人的被害 20
（５）津波による人的被害 23
（６）屋内収容物移動・転倒，屋内落下物による人的被害 29
（７）屋外落下物による人的被害 31
（８）ブロック塀等の倒壊による人的被害 34
（９）自動販売機の転倒による人的被害 37
（１０）自力脱出困難者の発生（揺れによる建物倒壊に伴う要救助者） 39
（１１）災害関連死 40
《 ライフライン被害 》 41
（１）上水道 41
（２）下水道 45
（３）電力 48
（４）通信 52
（５）ガス 56
《 生活支障 》 58
（１）避難者 58
（２）要配慮者 60
（３）帰宅困難者 61
《 直接経済被害 》 63

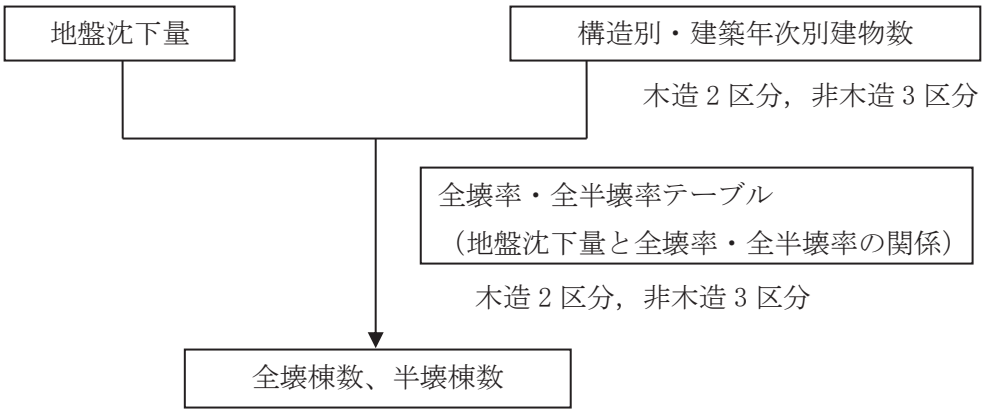
《 建物被害 》

（1）液状化による建物被害

① 基本的な考え方

・液状化による地盤沈下量と全壊率及び全半壊率との関係からメッシュごとの全壊棟数及び半壊棟数を算定した。

■液状化による全壊棟数の想定手法



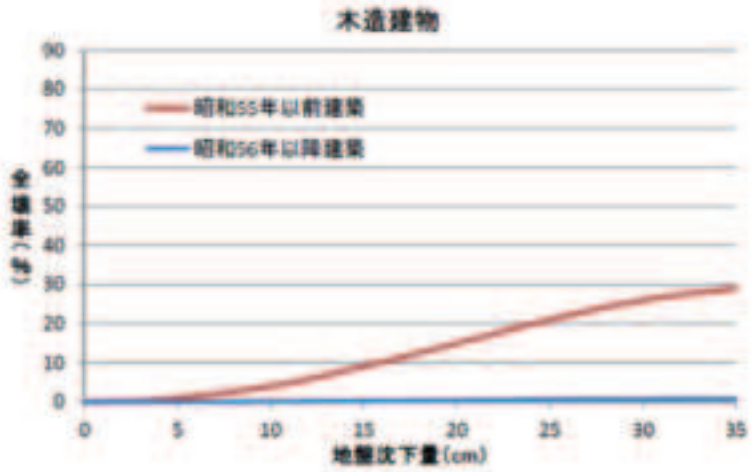
② 算出式

全壊棟数＝建物棟数×全壊率
全半壊棟数＝建物棟数×全半壊率
半壊棟数＝全半壊棟数－全壊棟数

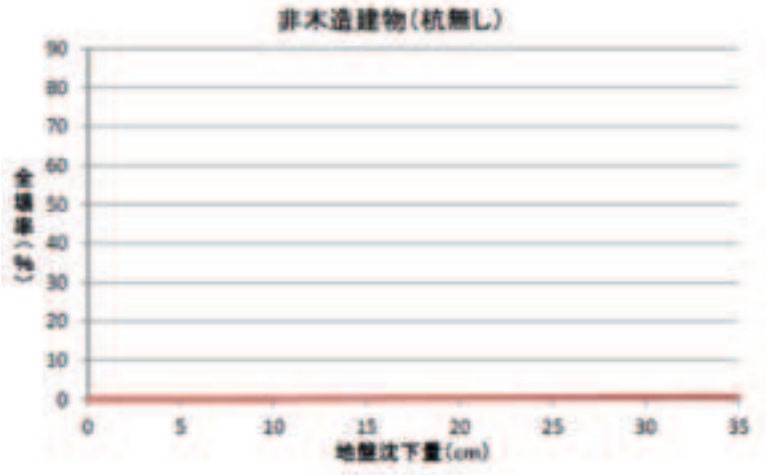
③ 全壊・全半壊テーブル

・メッシュ毎の地盤沈下量を算定した。
・構造(木造／非木造)、用途(住家／非住家)、建築年代(木造 2 区分、非木造 3 区分)別の建物データを整理した。
・全壊率・半壊率テーブルは，内閣府(2025)における南海トラフ巨大地震による被害想定手法に示されている図を用いた。なお、非木造の杭の有無については山口県での統計が無いため、3 階建て以上の建物が杭の設置を通常義務付けられていることから、非木造建物における杭あり建物は 3 階建て以上の建物とした。
・メッシュの地盤沈下量と全壊率・全半壊率テーブルから液状化による全壊棟数及び半壊棟数を算定した。

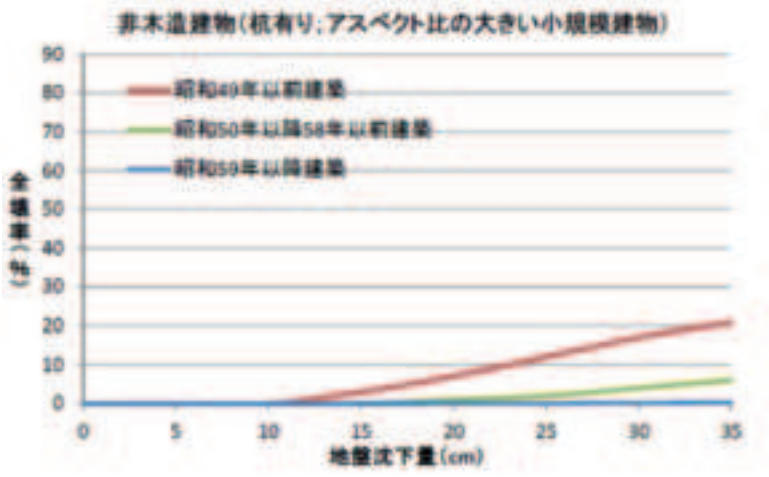
■液状化による木造全壊率



■液状化による非木造全壊率

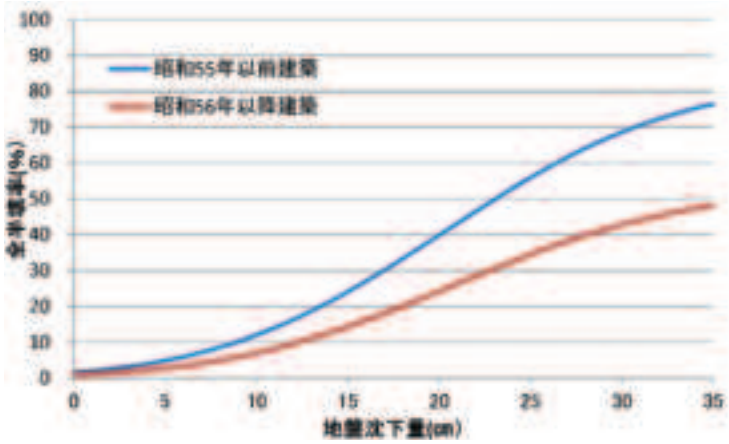


（杭無し）

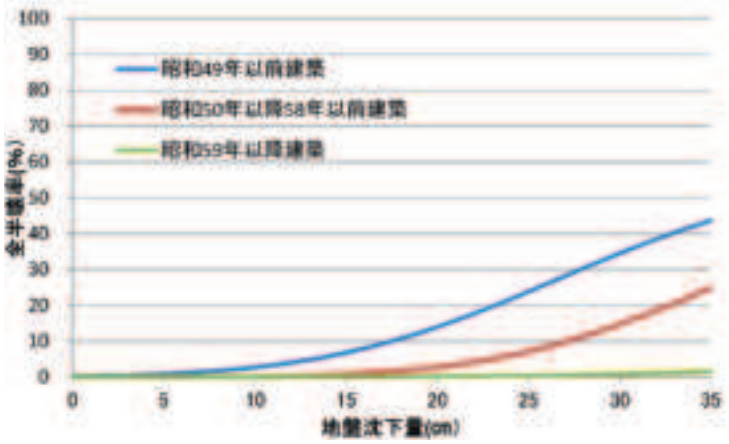


（杭有り：アスペクト比の大きい小規模建物）

■液状化による木造全半壊率



■液状化による非木造全半壊率



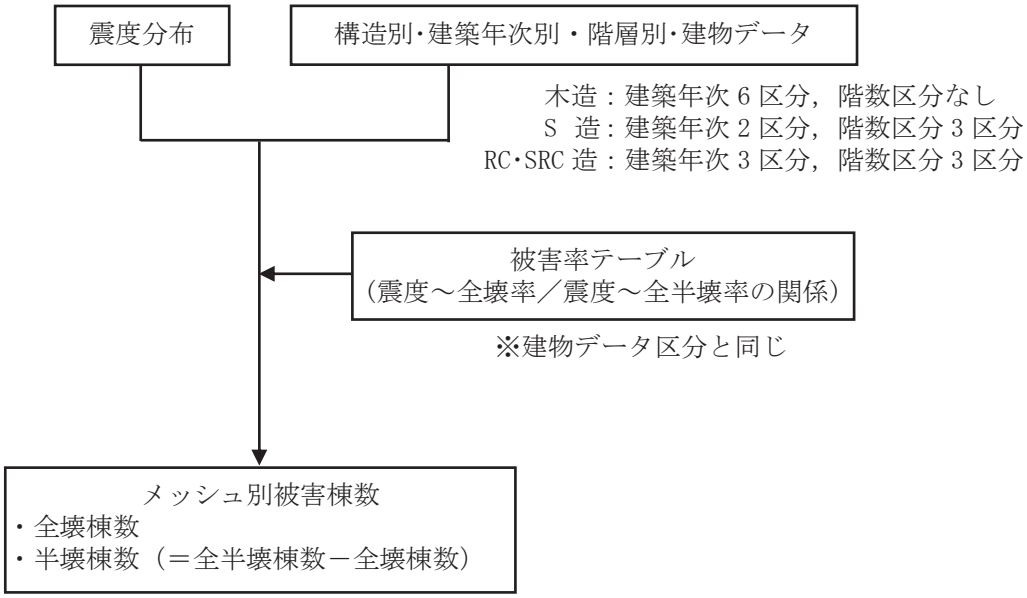
※杭あり建物のうち、被害が生じるのはアスペクトル比(建物の長辺と短辺の比)の大きい小規模建物のみを対象とし、アスペクト比の小さいもしくはアスペクト比が大きくても大規模建物については半壊以上の被害はないものとした。

（２）揺れによる建物被害

① 基本的な考え方

・建物棟数データと震度から，メッシュごとの全壊棟数，半壊棟数を算出する。

■揺れによる被害棟数の算出フロー



② 算出式

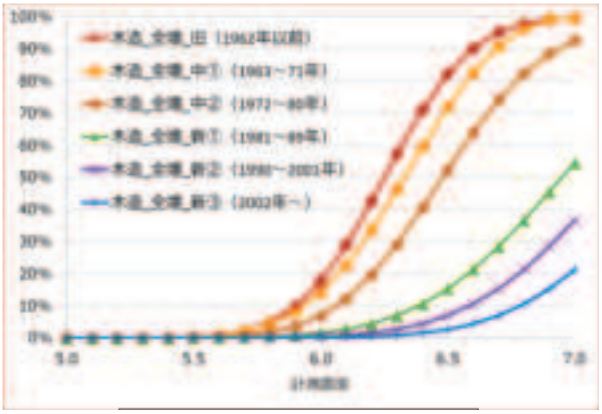
全壊棟数　＝建物棟数×全壊率

全半壊棟数＝建物棟数×全半壊率

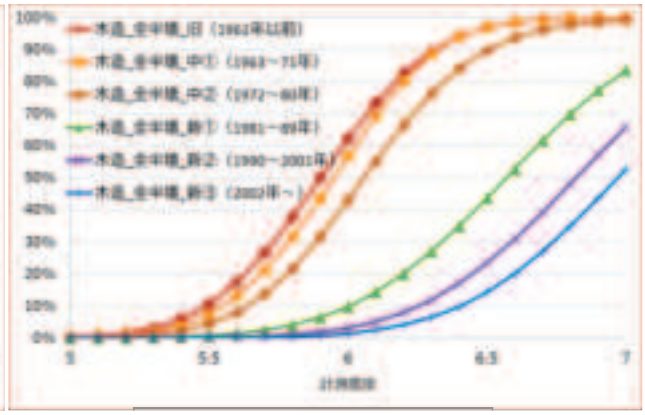
半壊棟数　＝全半壊棟数－全壊棟数

全壊棟数及び半壊棟数は，次ページ以降に示す壊率テーブル（震度と全壊率との関係）及び全半壊率テーブル（震度と全半壊率との関係）から算出する。

■木造建物の被害率曲線

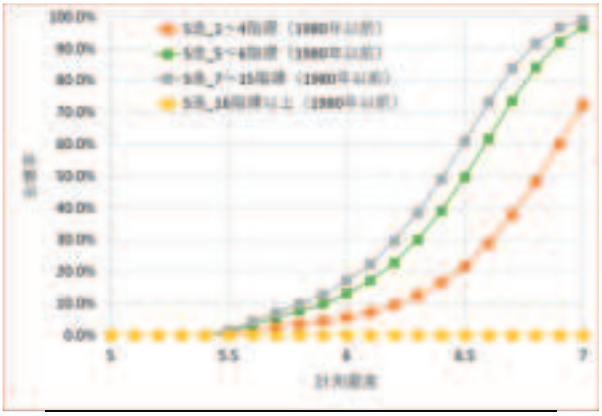


木造の全壊率曲線

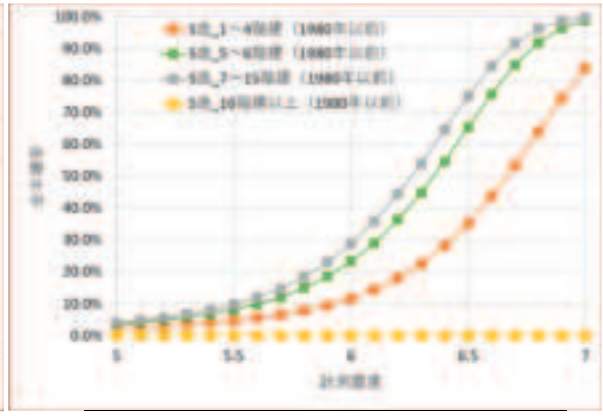


木造の全半壊率曲線

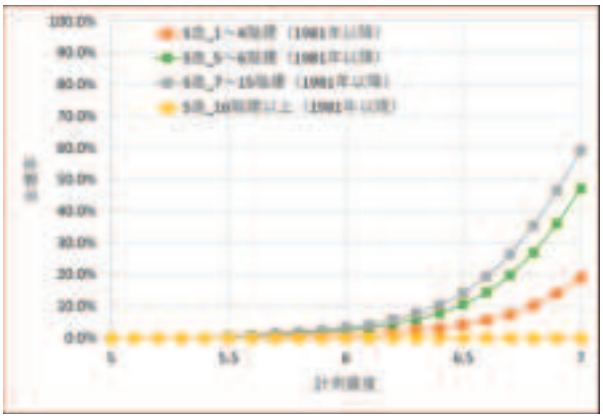
■S 造建物の被害率曲線



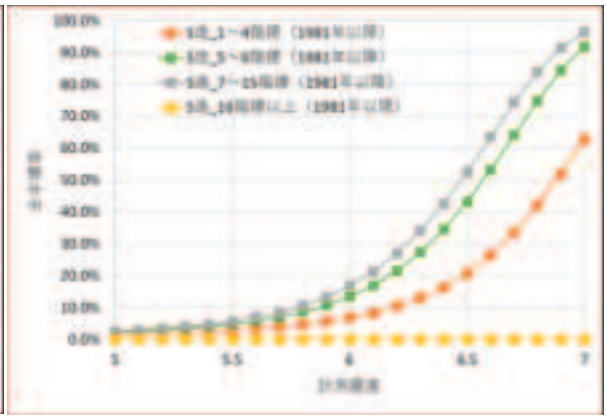
S 造(1980 年以前)の全壊率曲線



S 造(1980 年以前)の全半壊率曲線



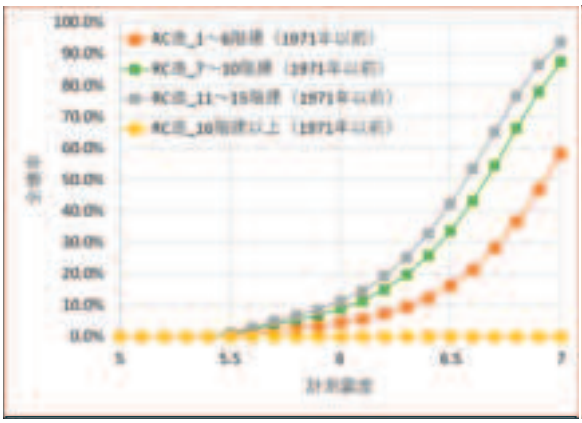
S 造(1981 年以降)の全壊率曲線



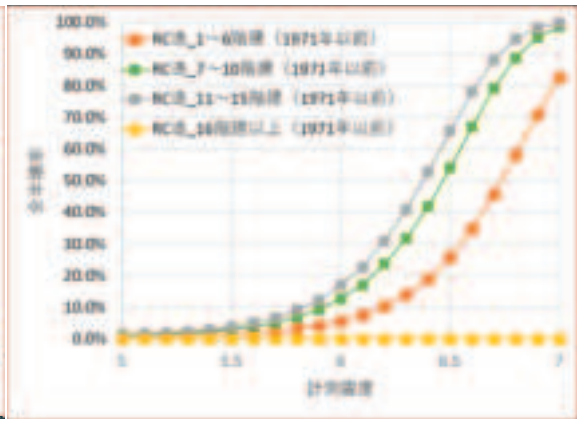
S 造(1981 年以降)の全半壊率曲線

出典：内閣府（2025）

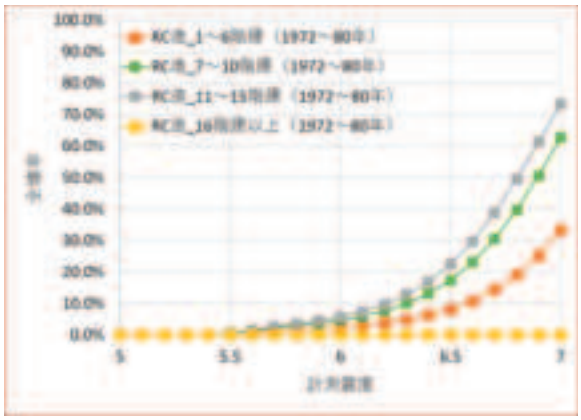
■RC・SRC 造建物の被害率曲線



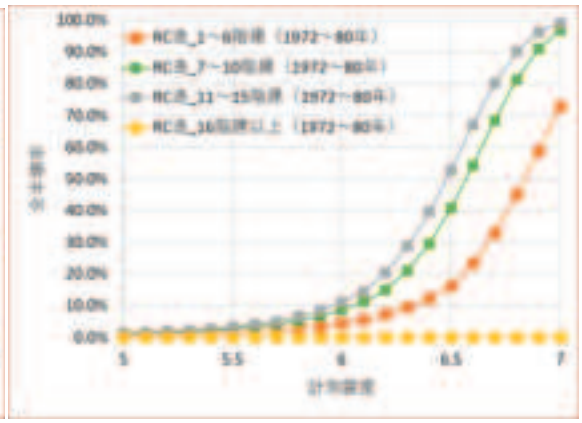
RC･SRC 造(1971 年以前)の全壊率曲線



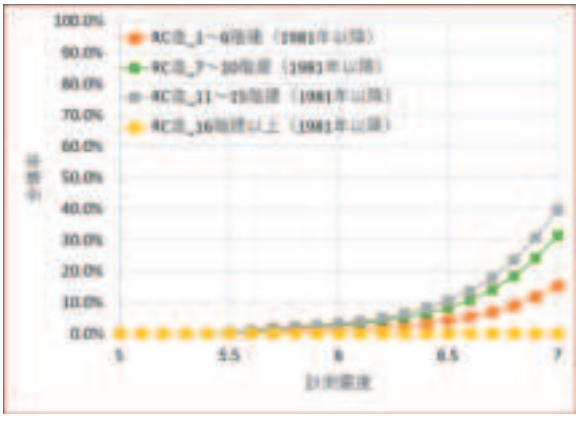
RC･SRC 造(1971 年以前)の全半壊率曲線



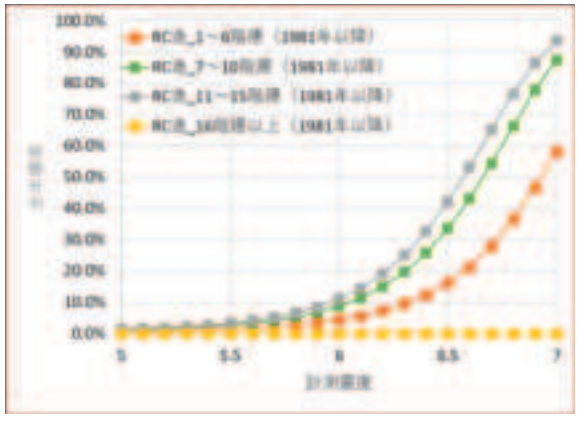
RC･SRC 造(1972～1980 年以前)の
全壊率曲線



RC･SRC 造(1972～1980 年以前)の
全半壊率曲線



RC･SRC 造(1981 年以前)の全壊率曲線



RC･SRC 造(1981 年以前)の全半壊率曲線

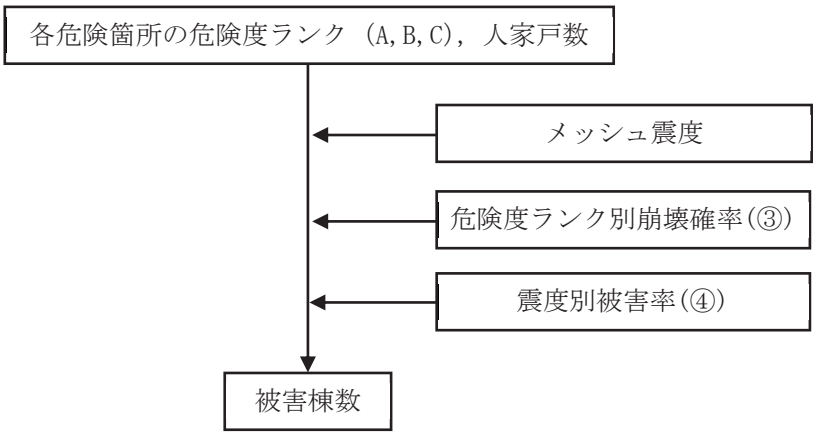
出典：内閣府（2025）

（３）土砂災害による建物被害

① 基本的な考え方

・急傾斜地崩壊危険箇所及び地すべり危険箇所を対象として，危険箇所の保全人家戸数と崩壊危険度ランクから，メッシュごとの全壊棟数，半壊棟数を算出する。なお，危険箇所のうち対策踏みの箇所は対象外とする。

■土砂災害による被害棟数の想定手法



② 算出式

・全壊棟数＝危険箇所内人家戸数×崩壊確率×震度別被害率（全壊率）

・半壊棟数＝危険箇所内人家戸数×崩壊確率×震度別被害率（半壊率）

③ 危険度ランク別崩壊確率

■土砂災害による危険度ランク別崩壊確率

ランク	崩壊確率
A	10 %
B	0 %
C	0 %

※近年発生した直下地震の事例（新潟県中越地震，新潟県中越沖地震，岩手・宮城内陸地震）を踏まえ，崩壊危険度ランク別の崩壊確率を設定（ランク B，C の崩壊確率はゼロ）

④ 震度別被害率

■土砂災害による震度別被害率

	～震度 4	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
全壊率	0 %	6 %	12 %	18 %	24 %	30 %
半壊率	0 %	14 %	28 %	42 %	56 %	70 %

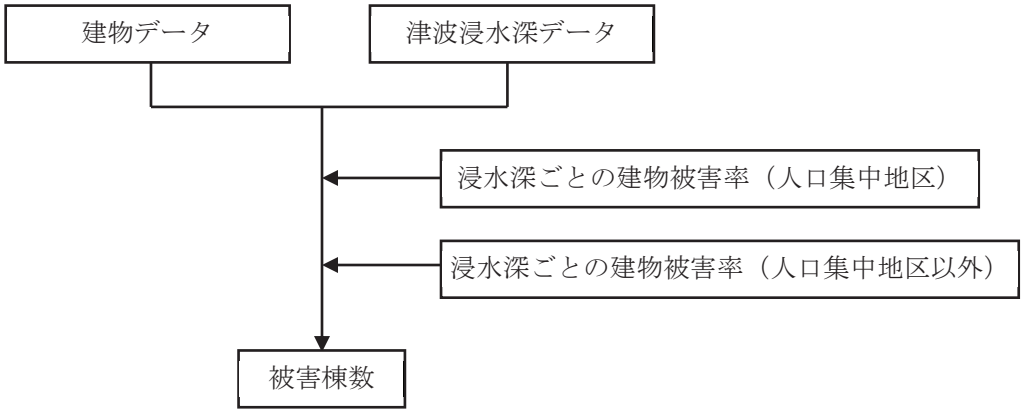
（４）津波による建物被害

建物棟数データと津波浸水深データから，メッシュごとの全壊棟数，半壊棟数を想定する。

①　想定の基本的考え方

・建物被害の評価に用いるパラメータとしては，津波浸水深を用いる。
・人口集中地区とそれ以外の地区で津波浸水深ごとの建物被害率の関係を用いて建物構造別に全壊棟数・半壊棟数を算出する。
・津波浸水深は，メッシュ内にある 10m メッシュの浸水深の平均値を用いた。

■津波による建物被害の想定手法

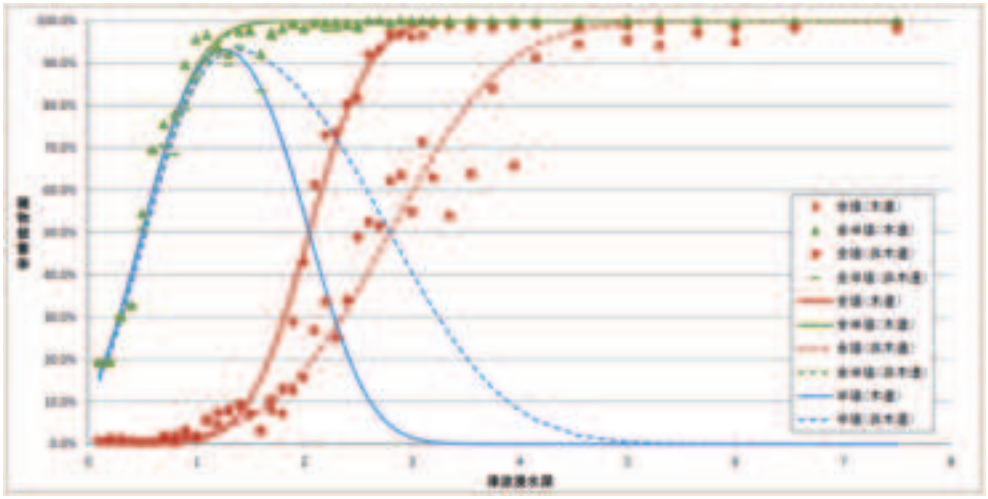


②　算出式

全壊棟数＝建物棟数×浸水深ごとの全壊被害率
半壊棟数＝建物棟数×浸水深ごとの半壊被害率

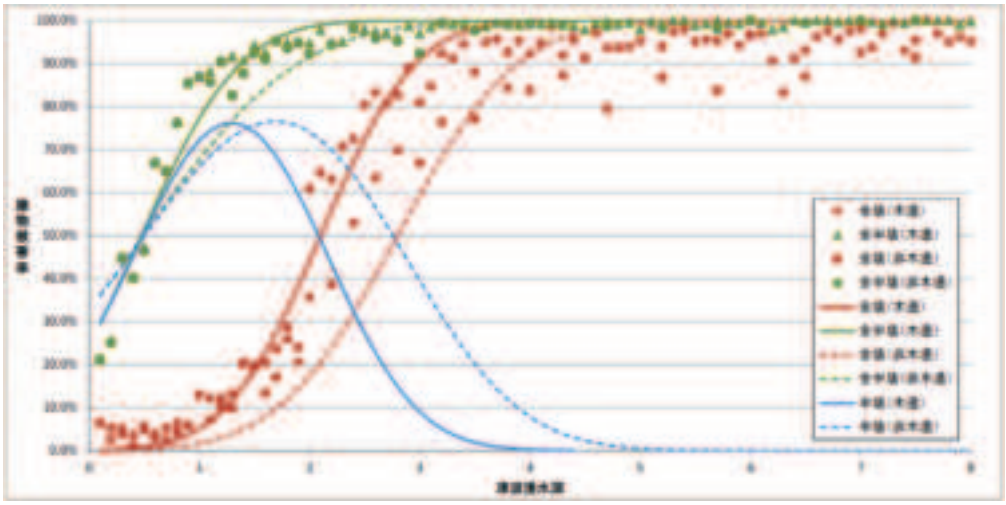
③　建物被害率

■津波浸水深ごとの建物被害率（人口集中地区）



出典：内閣府（2025）

■津波浸水深ごとの建物被害率（人口集中地区以外）



出典：内閣府（2025）

（５）地震火災による建物被害

① 基本的な考え方

・建物 1 棟単位の延焼シミュレーションを繰り返し行い、メッシュごとの平均的な焼失棟数を想定する。炎上出火件数、消防力の運用の算出までは内閣府（2025）の方法を用い，，焼失棟数の算出（延焼シミュレーション）は消防力の運用後の残火災件数をランダムで設定し建物 1 棟単位の延焼シミュレーションを繰り返し行う手法を用いた。

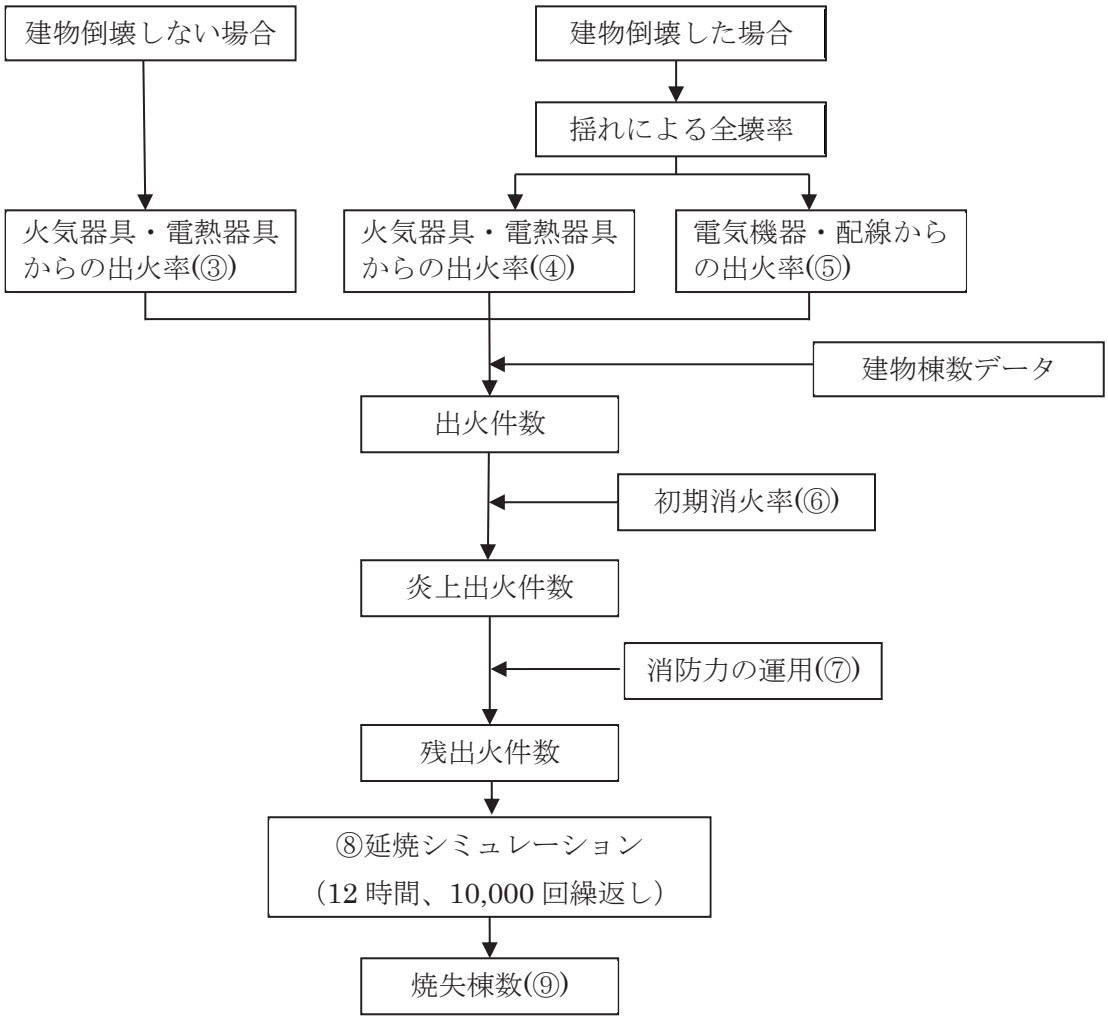
・集計のための地区単位は 250m メッシュ（一部 125m メッシュ）とする。

・発災季節と発災時刻は，冬・深夜，夏・昼，冬・夕方の 3 ケースを想定する。

・風速条件は，風速 3m/s（平均風速）、8m/s（強風）、15m/s（極強風）の 3 ケースを想定する。

・風向については県内の気象観測点の卓越風向を考慮し東風する。

■火災による焼失棟数想定の流れ



・出火件数　　：後に消火されるものも含めた全ての出火数
・炎上出火件数：住民による初期消火活動で消火できず，
　　炎上に至った出火の件数
・残出火件数　：消防によっても消火されずに残った出火数

② 出火について

・出火要因の多くを占める火気器具，電気関係からの出火を取り扱う。
・停電時には電気関係からの出火はなく，停電復旧後に出火することも考えられるが，ここでは保守側の観点から，電気関係からの出火も地震直後に発生するものとして考える。
・1)建物倒壊しない場合の火気器具・電熱器具，2)建物倒壊した場合の火気器具・電熱器具，3)電気機器・配線からの出火の 3 つに分けて出火率を設定する。
・建物倒壊しない場合の出火は，震度別・用途別・季節時間帯別の全出火率を設定し，算出する。
・震度別の初期消火成功率を考慮して炎上出火件数を算出する。

③ 建物倒壊しない場合の火気器具・電熱器具からの出火

・建物データに用途別の事業所数比率をかけて用途別建物棟数を設定し，震度別用途別出火率から全出火件数を算出する。

全出火件数＝震度別用途別出火率×用途別建物棟数

■震度別用途別出火率

震度別用途別出火率(冬･深夜)

	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
飲食店	0.0001%	0.0004%	0.0025%	0.0099%	0.0402%
物販店	0.0001%	0.0002%	0.0009%	0.0042%	0.0454%
病院	0.0005%	0.0007%	0.0025%	0.00112%	0.1368%
事務所等その他事業所	0.0000%	0.0000%	0.0006%	0.0026%	0.0127%
住宅・共同住宅	0.0001%	0.0005%	0.0016%	0.0053%	0.0225%

震度別用途別出火率(夏･昼)

	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
飲食店	0.0017%	0.0042%	0.0199%	0.0681%	0.2222%
物販店	0.0003%	0.0008%	0.0037%	0.0151%	0.0951%
病院	0.0010%	0.0015%	0.0050%	0.0231%	0.2880%
事務所等その他事業所	0.0003%	0.0011%	0.0052%	0.0196%	0.1071%
住宅	0.0001%	0.0002%	0.0007%	0.0025%	0.0166%

震度別用途別出火率(冬･夕方)

	震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
飲食店	0.0027%	0.0088%	0.0366%	0.1153%	0.3862%
物販店	0.0005%	0.0017%	0.0055%	0.0176%	0.1082%
病院	0.0031%	0.0131%	0.0284%	0.0717%	0.9761%
事務所等その他事業所	0.0006%	0.0027%	0.0074%	0.0194%	0.1144%
住宅	0.0007%	0.0025%	0.0076%	0.0230%	0.0765%

出典：内閣府（2025）

④ 建物倒壊した場合の火気器具・電熱器具からの出火

・阪神・淡路大震災時の事例から，冬における倒壊建物１棟あたり出火率を 0.0449%とし，さらに時刻別に補正する。

・暖房器具類を使わない夏の場合は，倒壊建物１棟あたり出火率を 0.0286%とする。

・時刻補正係数は，1.0(深夜 5 時)，2.2(昼 12 時)，3.4(夕方 18 時)とする。

建物倒壊した場合の全出火件数＝建物倒壊棟数×
季節時間帯別の倒壊建物１棟あたり出火率

季節時間帯別の倒壊建物１棟あたり出火率：

0.0449%（冬・深夜），0.0629%（夏・昼），0.153%（冬・夕方）

⑤ 電気機器・配線からの出火

・電気機器・配線からの出火は建物全壊の影響を強く受けると考え，全壊率との関係で設定する。

電気機器からの出火件数＝0.044%×全壊棟数
配線からの出火件数　　＝0.030%×全壊棟数

⑥ 初期消火率

・東京消防庁出火危険度測定（第 10 回，令和 3 年）における住宅の初期消火成功率を適用する。

・震度別の初期消火成功率を考慮して炎上出火件数を算出する。

炎上出火件数＝（１－初期消火成功率）×全出火件数

■初期消火成功率

震度	6 弱以下	6 強	7
冬･深夜、冬･夕方	58%	26%	13%
夏･昼	55%	25%	13%

⑦ 消防力の運用

・消防力の運用効果を評価し、残出火件数を算定した。

・残出火件数の算定は、内閣府（2012）を参考として算定した。

・各消防本部・組合について求めた消火可能件数（発災直後；１時間後）と、想定される炎上出火件数を比較し、消火されなかった火災が延焼拡大すると考え、残火災件数（延焼拡大件数）を求めることとした。

消火可能件数（発災直後）

＝0.3×（消防ポンプ自動車数/2）＋小型動力ポンプ数/4）
×｛1－（1－61,544/市街地面積（㎡））^{水利数}｝

残出火件数＝炎上出火件数－消火可能件数

・上式は、阪神・淡路大震災（平均風速約 3m/s）のデータに基づき、消防運用による消火可能件数をポンプ車数や消防水利数を用いて表現したものであり、風速が大きくなれば発災直後に消防によって消火できる割合が低下することが考えられる。ここでは、上式における係数 0.3 は、風速 8m/s 以上では 0.2 とする。

■市町別消火可能件数（広域消防本部考慮）

市町	消火可能件数	
	平均風速時（係数0.3）	強風時（係数0.2）
下関市	2.354	1.569
山口市	2.034	1.356
萩市	2.283	1.522
防府市	0.185	0.124
下松市	0.567	0.378
長門市	0.886	0.590
美祢市	0.718	0.479
周南市	1.312	0.875
阿武町	0.251	0.167
柳井地区広域消防本部		
柳井市	0.937	0.624
周防大島町	1.466	0.977
上関町	0.325	0.217
平生町	0.356	0.237
光地区消防組合消防本部		
光市	0.289	0.193
田布施町	0.489	0.326
岩国地区消防組合消防本部		
岩国市	3.735	2.490
和木町	0.508	0.339
宇部・山陽小野田消防局		
宇部市	0.434	0.290
山陽小野田市	0.444	0.296

⑧　延焼シミュレーション

・建物 1 棟単位のデータを用いた延焼シミュレーションにより、焼失棟数を算定した。

・延焼の単位は建物 1 棟単位とし、出火点は残出火件数に従い、市町ごとに木造建物に対しランダムで設定した。

・風向・風速は延焼シミュレーション時間内（12 時間）で一定の条件とした。

・建物間の燃え移りは、下図に示すように、建物の中心（ポリゴンの幾何重心）を結ぶ直線に沿って、出火建物の重心から外壁、隣接建物の外壁、隣接建物の重心へと燃え進み、さらに同様に次の隣接建物に燃え進んで行く。ある建物から隣接建物に延焼するまでの時間 t は、次の式のとおりである。

※シミュレーションは 1 回の計算では、延焼火点の位置に依存した結果になるため、延焼火点の位置を 10,000 回全体にランダムに割り振り、それぞれの延焼シミュレーションを行い、メッシュごとに平均的な焼失棟数期待値を求めた。

■建物間の燃え移りイメージと建物に延焼するまでの時間 t

$$t = \frac{L_{i1}+L_{i2}}{V_i} + \frac{L_d}{V_d}$$

Li1 ：延焼元建物の重心から外壁までの延焼距離
Li2 ：延焼先建物の重心から外壁までの延焼距離
Ld ：延焼元・延焼先建物の外壁間の延焼距離
Vi ：建物内の延焼速度
Vd ：建物間の延焼速度

⑨ 焼失棟数

・延焼シミュレーションにより得られたメッシュ別の焼失棟数期待値を集計することで市町ごとの焼失棟数を算定した。

（６）建物被害のダブルカウントの除去

建物被害は、揺れによって全壊した後、津波に流出するなど、複数の要因で重複して被害を受ける可能性がある。

本調査では、複数の要因の重複を避けるため、「液状化⇒揺れ⇒土砂災害⇒津波⇒火災焼失」の順で被害を算定し、重複を除去した。

《 人的被害 》

（1）人口データの設定

人的被害想定に使用する人口データは，令和 2 年国勢調査による地域メッシュ統計データの夜間人口及び昼間人口を基本とする。

時刻別人口データは，和歌山県(2006)を参考として以下のように設定する。

■時刻別住宅滞留人口及びその他施設滞留人口の算出手法

時刻	住宅滞留人口及びその他施設滞留人口	移動中人口比率
深夜 (朝 5 時)	・全人口[人]＝夜間人口[人] ・住宅滞留人口[人]＝屋内人口[人]＝夜間人口[人] ・移動中人口[人]＝0[人]	0 %
昼 12 時	・全人口[人]＝昼間人口[人] ・屋内人口[人]＝0.95×昼間人口[人] ・住宅滞留人口[人]＝0.35×夜間人口[人] ・その他施設滞留人口[人]＝屋内人口[人]－住宅滞留人口[人] ・移動中人口[人]＝0.05×全人口[人]	5 %
夕方 18 時	・全人口[人]＝(2×夜間人口[人]+3×昼間人口[人])／5 ・屋内人口[人]＝0.90×｛(2×夜間人口[人]+3×昼間人口[人])／5｝ ・住宅滞留人口[人]＝0.61×夜間人口[人] ・その他施設滞留人口[人]＝屋内人口[人]－住宅滞留人口[人] ・移動中人口[人]＝0.10×全人口[人]	10%

※　和歌山県（2006）より抜粋

住宅滞留人口については，木造住家と非木造住家の棟数を基に，木造住宅滞留人口と非木造住宅滞留人口を算出する。

・木造住宅滞留人口＝住宅滞留人口
　　×｛木造住家棟数／(木造住家棟数＋非木造住家棟数)｝
・非木造住宅滞留人口＝住宅滞留人口
　　×｛非木造住家棟数／(木造住家棟数＋非木造住家棟数)｝

その他施設滞留人口については，木造非住家と非木造非住家の棟数を基に，木造非住宅滞留人口と非木造非住宅滞留人口を算出する。

・木造非住宅滞留人口＝その他施設滞留人口
　　×｛木造非住家棟数／(木造非住家棟数＋非木造非住家棟数)｝
・非木造非住宅滞留人口＝その他施設滞留人口
　　×非木造非住家棟数／(木造非住家棟数＋非木造非住家棟数)｝

以上より木造建物内滞留人口と非木造建物内滞留人口は次式から算出する。

・木造建物内滞留人口＝木造住宅滞留人口＋木造非住宅滞留人口
・非木造建物内滞留人口＝非木造住宅滞留人口＋非木造非住宅滞留人口

人流データを用いて設定するお盆 20 時における滞留人口は以下のように想定する。

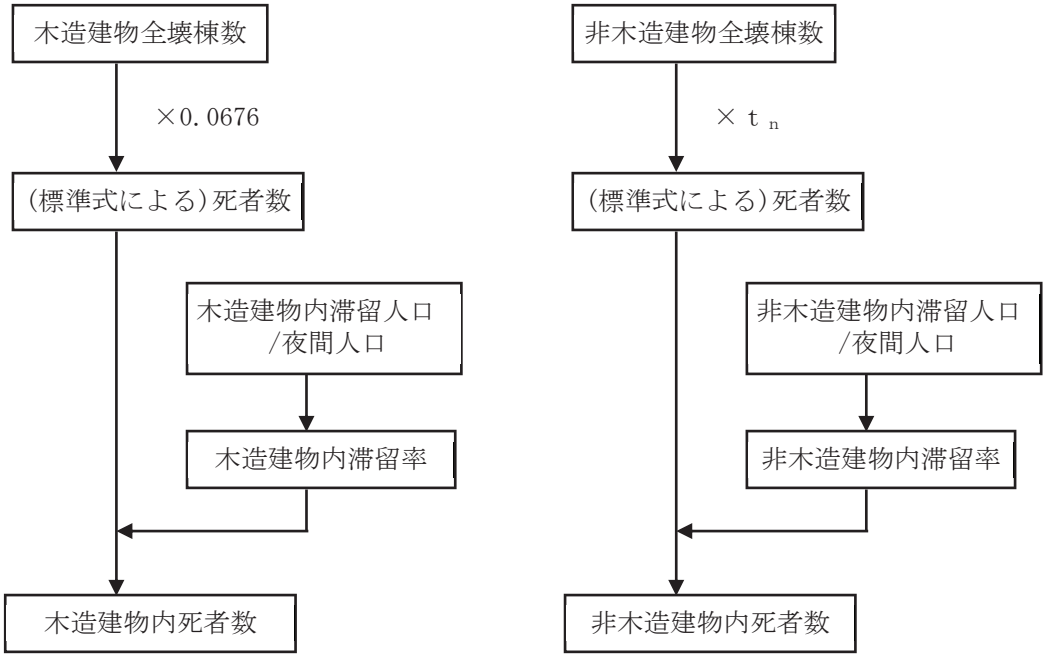
時刻	住宅滞留人口及びその他施設滞留人口	移動中人口比率
お盆 20 時	・全人口[人]＝お盆 20 時人口[人] ・屋内人口[人]＝0.90×お盆 20 時人口[人] ・住宅滞留人口[人]＝0.61×夜間人口[人] ・その他施設滞留人口[人]＝屋内人口[人]－住宅滞留人口[人] ・移動中人口[人]＝0.10×全人口[人]	10%

（２）建物倒壊による人的被害

① 基本的な考え方

・揺れによる建物被害と人口データから，市町ごとに死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

■死者数の算出フロー

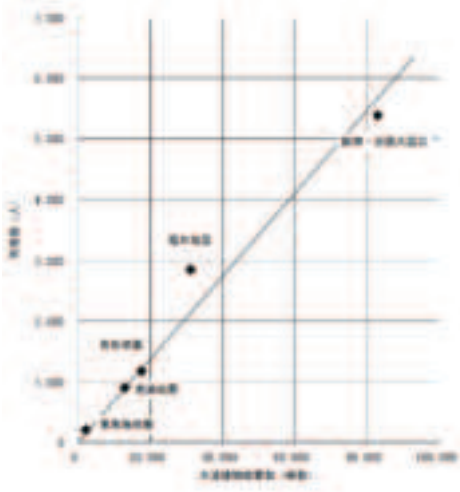


② 死者数

・300 人以上の死者が発生した最近の 5 地震（鳥取地震，東南海地震，南海地震，福井地震，阪神・淡路大震災）の被害事例から求められた全壊棟数と死者数との関係を使用する。

・非木造については，全壊に占める倒壊の割合が木造よりも小さいため，木造の係数の概ね 1/3 程度の係数としている。

■最近の 5 地震による全壊棟数と死者数の関係



【算出式】

・死者数（木造）＝0.0676×木造全壊棟数
×木造建物内滞留人口／夜間人口

・死者数（非木造）＝ t n×非木造全壊棟数
×非木造建物内滞留人口／夜間人口

$$t_n = 0.00840 \times \frac{P_{n0}}{P_{w0}} \times \frac{B_w}{B_n}$$

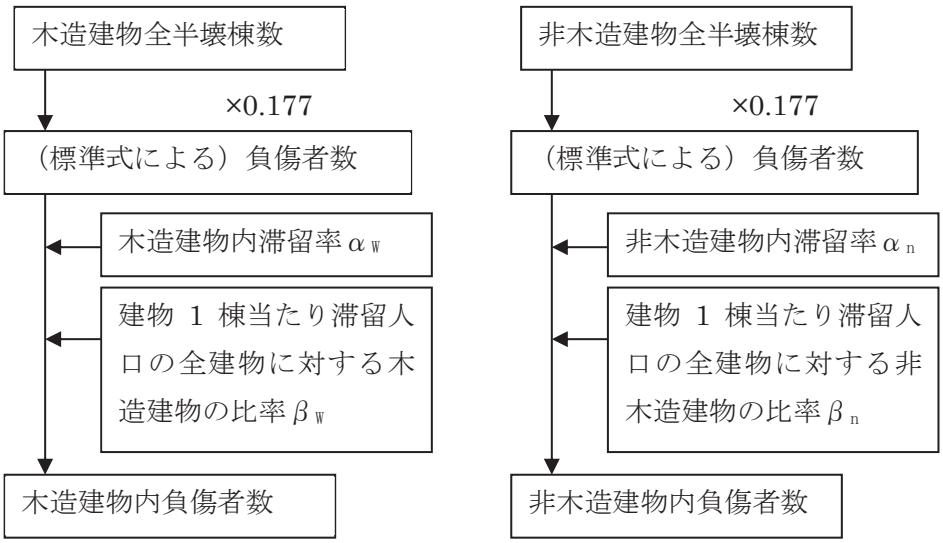
P_{w0}：夜間人口（木造）　P_{n0}：夜間人口（非木造）　B_w：建物棟数（木造）
B_n：建物棟数（木造）

※中央防災会議(2007)より抜粋

③ 負傷者数

・近年の地震の鳥取県西部地震，新潟県中越地震，新潟県中越沖地震，能登半島地震，岩手・宮城内陸地震の主な被災市町村，東北地方太平洋沖地震の内陸被災市町村の建物被害数（全壊棟数，全半壊棟数）と負傷者数・重傷者数との関係を使用する。

■建物被害数と負傷者数の関係



【算出式】

木造建物における負傷者数

負傷者数＝0.177×揺れによる木造全半壊棟数× α_W × β_W

非木造建物における負傷者数

負傷者数＝0.177×揺れによる非木造全半壊棟数× α_n × β_n

④ 重傷者数

・負傷者と同じ算出方法である。

【算出式】

木造建物における重傷者数

重傷者数＝0.100×揺れによる木造全壊棟数× α_W × β_W

非木造建物における重傷者数

重傷者数＝0.100×揺れによる非木造全壊棟数× α_n × β_n

（３）土砂災害による人的被害

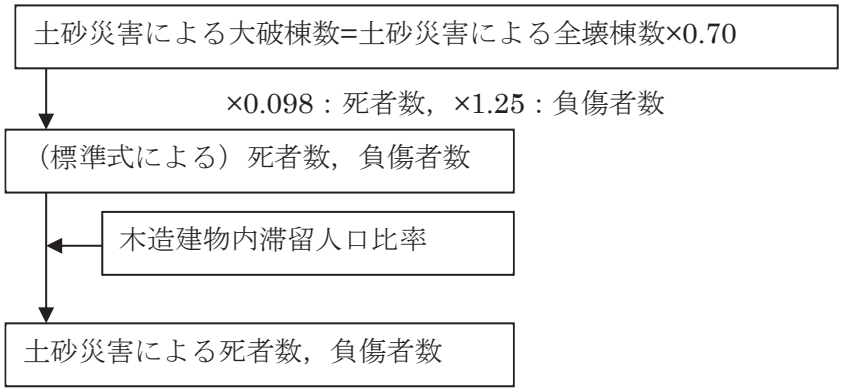
① 基本的な考え方

・急傾斜地崩壊危険箇所及び地すべり危険箇所を対象として，建物全壊棟数と人口データから，市町ごとに死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

・揺れにより引き起こされた斜面の崩壊（崖崩れ）により家屋が倒壊し，それに伴って人的被害が発生する場合を算出する。

・地震発生時刻の建物内滞留状況について考慮する。

■土砂災害による人的被害の算出フロー



② 算出式

・東京都防災会議(1991)の手法に従い，1967 年から 1981 年までの崖崩れの被害実態から求められた，被害棟数と死者数・負傷者数との関係式により，人的被害を算出する。（重傷者数は負傷者数の 1/2 としている）

死者数＝0.098×土砂災害による全壊棟数×0.7×
木造建物内滞留人口比率

負傷者数＝1.25×死者数

重傷者数=負傷者数/2

・上記の基本式に時間帯による建物内滞留者に関する以下の補正を加える。

・木造・非木造建物内滞留人口の 24 時間平均値は，早朝 5 時と昼 12 時の平均値とする。

崖崩れによる木造建物死者数＝基本式×当該時間の木造建物内滞留人口
／木造建物内滞留人口の 24 時間平均値

崖崩れによる非木造建物死者数＝基本式×当該時間の非木造建物内滞留人口
／非木造建物内滞留人口の 24 時間平均値

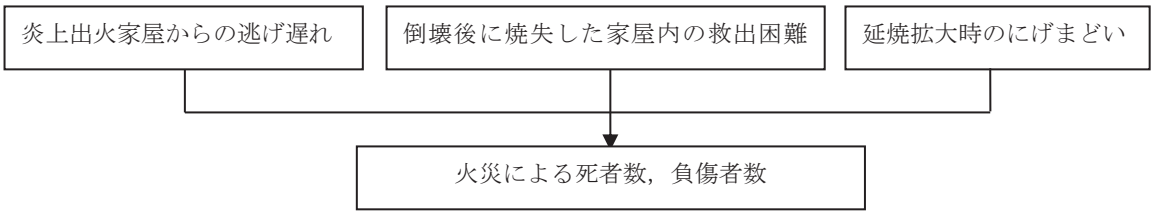
（4） 火災による人的被害

① 基本的な考え方

・火災による建物被害と人口データ等から，市町ごとに死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

・次の 3 つの火災による死者発生シナリオに基づき算出する。

■火災による人的被害の算出フロー



■火災による死者発生要因

シーン	死者発生のシナリオ	備　考
出火直後	炎上出火家屋からの逃げ遅れ	突然の出火により逃げ遅れた人（揺れによる建物倒壊を伴わない）
	倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者（生き埋め等）	揺れによる建物被害で建物内に閉じ込められた後に出火し，逃げられない人
延焼中		揺れによる建物被害で建物内に閉じ込められた後に延焼が及び，逃げられない人
	延焼拡大時の逃げ惑い	建物内には閉じ込められていないが，避難にとまどっている間に延焼が拡大し，巻き込まれて焼死した人

② 死者数

ア　炎上出火家屋からの逃げ遅れによる死傷者

・死者数＝0.055×出火件数×（発災時の屋内滞留人口／屋内滞留人口の 24 時間平均）

※係数 0.055 は，平成 30 年～令和 4 年の 5 年間の全国における 1 建物出火（放火を除く）当たりの死者数

イ　倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者

・逃げ遅れた人は，平時の火災における死者発生率から求める。

閉込めによる死者数＝倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人
×（1－生存救出率 0.387）

倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人
＝（1－早期救出可能な割合 0.72）×倒壊かつ焼失家屋内の要救助者数

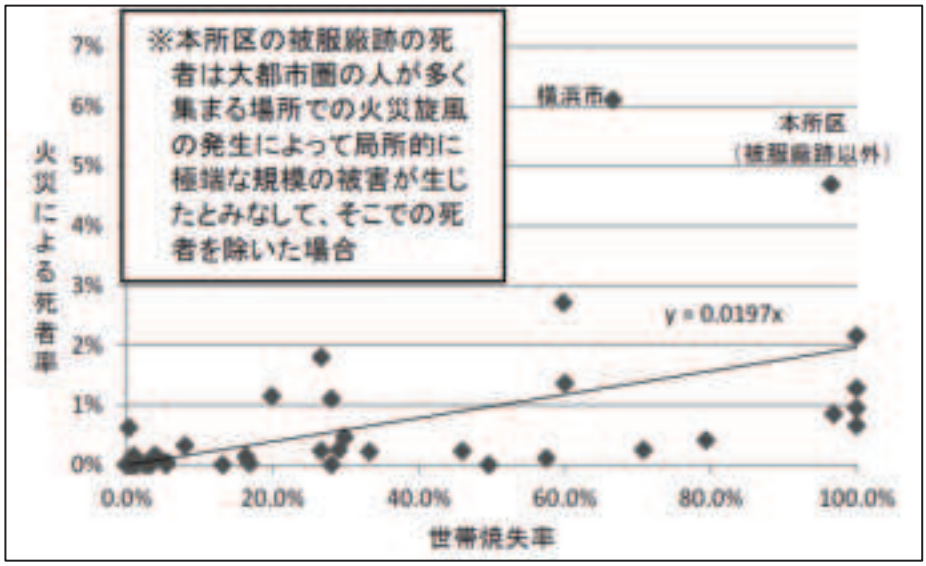
倒壊かつ焼失家屋内の要救助者数
＝建物倒壊による自力脱出困難者発生率
×倒壊かつ焼失の棟数／倒壊建物数

ウ　延焼中の逃げまどいによる死者数

延焼拡大時の逃げまどいによる死者数は，諸井・武村（2004）による関東大震災と，大火のうち被害が大きかった函館大火を基にした焼失率と火災による死者率の関係を適用して，次により算定する。

死者数＝0.0197×世帯焼失率×滞留人口

■火災による死者の増加傾向



注）炎上家屋内における死傷者及び延焼家屋内における死傷者数から揺れによる死傷者数とのダブルカンウントの除去を行なう。

③ 負傷者数

ア　炎上出火家屋からの逃げ遅れ

出火直後の火災による重傷者数

＝0.073×出火件数×発災時の屋内滞留人口/屋内滞留人口の 24 時間平均

出火直後の火災による軽傷者数

＝0.182×出火件数×発災時の屋内滞留人口/屋内滞留人口の 24 時間平均

イ　延焼拡大時の逃げまどい

延焼火災による重傷者数

＝0.0053×焼失率×発災時の屋内滞留人口

延焼火災による軽傷者数

＝0.0136×焼失率×発災時の屋内滞留人口

焼失率

＝焼失棟数÷建物棟数

注）炎上家屋内における死傷者及び延焼家屋内における死傷者数から揺れによる死傷者数とのダブルカンウントの除去を行なう。

（５）津波による人的被害

① 基本的な考え方

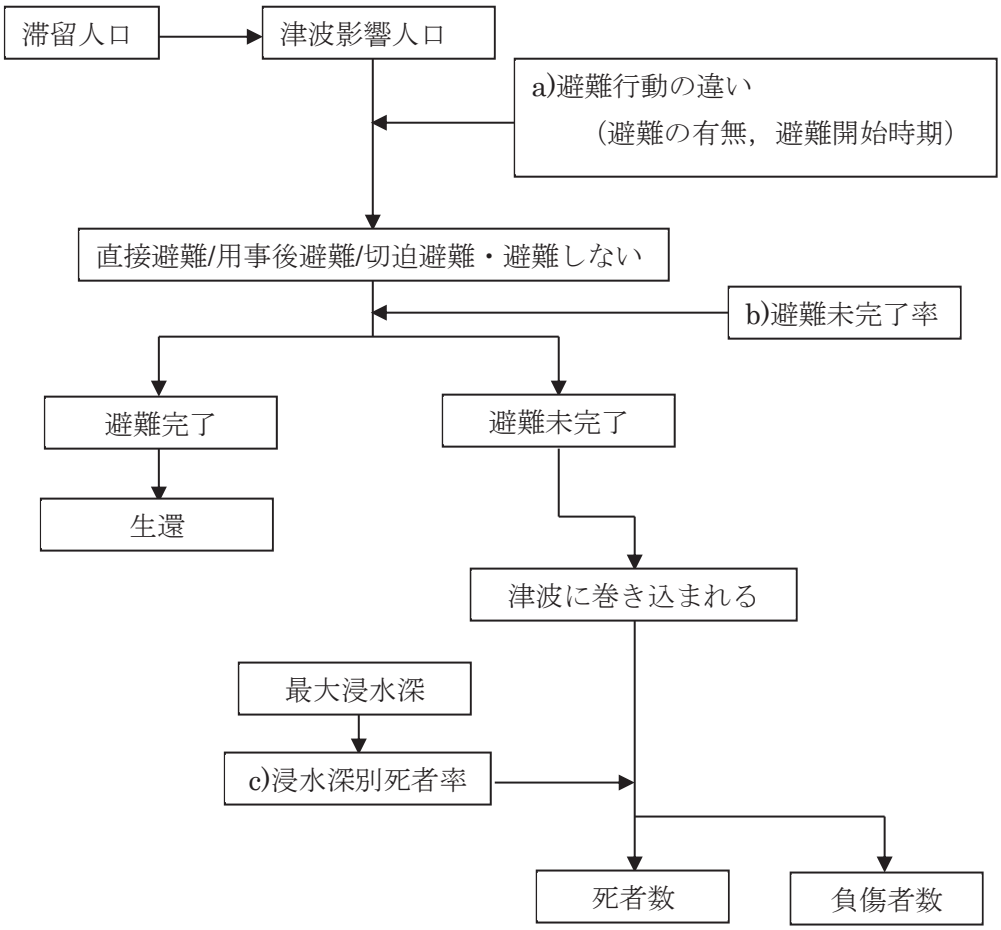
・津波浸水域において津波が到達する時間（浸水深 30cm 以上）までに避難が完了できなかった者を津波に巻き込まれたものとし，そこでの浸水深をもとに死者数，負傷者数を算出する。

・a)避難行動の違い（避難の有無，避難開始時期），b)津波到達時間までの避難完了成否，c)津波に巻き込まれた場合の死者発生度合いの 3 つに分けて設定する。

・揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者は津波から避難できないものとする。

・計算メッシュ単位は 5m＋10m メッシュとする。

■津波による人的被害の算出フロー



【算出式】

死者数＝避難未完了者×浸水深別死者率

負傷者＝避難未完了者のうち生存者全員

② 避難行動の違い（避難の有無，避難開始時期）

・「対策検討ワーキンググループ」では，東日本大震災の被災地域での調査結果（「津波避難等に関する調査結果」（内閣府・消防庁・気象庁））及び過去の津波被害（北海道南西沖地震，日本海中部地震）の避難の状況を踏まえ，次表のような４つの避難パターンを設定している。今回はこのうちの早期避難者比率が低い場合（早期避難率低）を考える。

■避難の有無，避難開始時期の設定

	避難行動別の比率		
	避難する		切迫避難あるいは避難しない
	すぐに避難する（直接避難）	避難するがすぐに避難しない（用事後避難）	
全員が発災後すぐに避難を開始した場合（避難開始迅速化）	100%	0%	0%
早期避難者比率が高く，さらに津波情報の伝達や避難の呼びかけが効果的に行われた場合（早期避難率高＋呼びかけ）	70%	30%	0%
早期避難者比率が高い場合（早期避難率高）	70%	20%	10%
早期避難者比率が低い場合（早期避難率低）	20%	50%	30%

出典：内閣府（2025）

③ 避難未完了率

・発災時の所在地から安全な場所まで避難完了できない人の割合，つまり避難未完了率については次の考え方で算出する。

【避難判定方法】

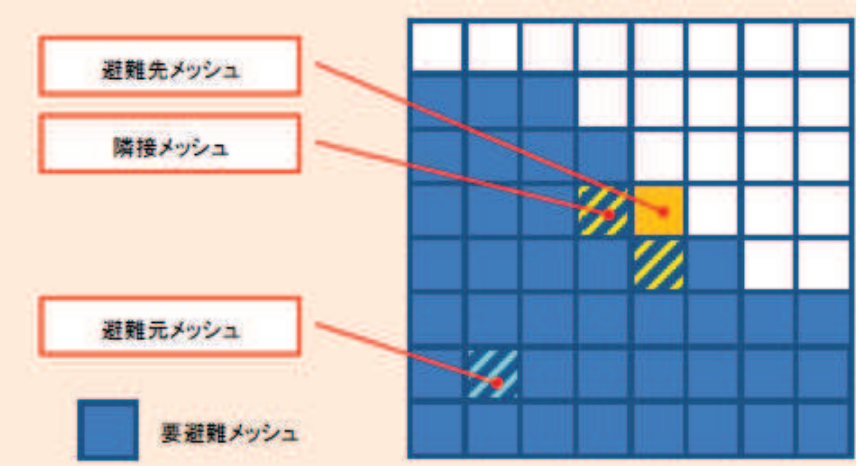
1）要避難メッシュの特定

最大津波浸水深が 30cm 以上となる要避難メッシュを特定

2）避難先メッシュの設定

各要避難メッシュ（避難元メッシュ）から最短距離にあり，かつ避難元メッシュよりも津波浸水深 1cm 到達時間が長い，津波浸水深 30cm 未満の避難先メッシュを特定する。

■要避難メッシュ，避難先メッシュの設定



3) 避難距離の算出

メッシュ中心間の直線距離の 1.5 倍を避難距離とする。（東日本大震災の実績）

4) 避難完了所要時間の算出

各要避難メッシュについて，避難距離を下表の避難速度で割って避難完了所要時間を算出する。なお，避難開始時間は，昼間発災時は，直接避難者で発災５分後，用事後避難者で１５分後とし，切迫避難者は当該メッシュに津波が到達してから避難するものとする。夜間の場合には，避難開始は昼間に比べてさら５分準備に時間がかかると仮定するとともに，避難速度も昼間の 80%に低下するものとする。

5) 避難成否の判定

各要避難メッシュについて，避難先メッシュの隣接メッシュにおける浸水深 30cm 到達時間と避難先メッシュまでの避難完了所要時間を比較し，避難行動者別に避難成否を判定する。

【避難速度】

・前回想定では，東日本大震災時の実績値の速報に基づき設定された速度を採用したが，最新の国の被害想定手法に従い，平野部と傾斜部，健常者と避難行動要支援者及び同行者それぞれの歩行速度を設定する。

・避難行動要支援者同行の人数割合は地域における避難行動要支援者同行のデータを用い，要支援者１人につき２人が同行すると設定する。

■避難速度の設定

単位：km/h（括弧内は m/s）

	健常者	避難行動 要支援者同行※2	全体
全体	2.43(0.68)	1.69(0.47)	2.24(0.62)
平野部※1	2.72(0.76)	1.89(0.53)	2.51(0.70)
傾斜部※1	1.73(0.48)	1.20(0.33)	1.59(0.44)

平野部=勾配 5%未満，傾斜部=勾配 5%以上

※1：平野部は全体平均の 1.12 倍，傾斜部は全体平均の 0.71 倍に設定

※2：健常者の避難速度と避難行動要支援者同行の避難速度は，東日本大震災の実績から 8:2 の人数割合であったとして全体平均より設定。

【高層階滞留者の考慮】

・襲来する津波の最大浸水深に応じてそれよりも高い高層階の滞留者は避難せずにとどまることができる場合を考慮する。

・最大浸水深別の避難対象者を次のように設定する。

・本委員会で対象とする津波浸水深は，ほとんどが 6m 未満であるため，1，2 階滞留者が避難すると考える。

■最大浸水深別の避難対象者

最大浸水深	避難対象者
30cm 以上 6m 未満	1，2 階滞留者が避難
6m 以上 15m 未満	1～5 階滞留者が避難
15m 以上 30m 未満	1～10 階滞留者が避難
30m 以上の場合	全員避難

出典：内閣府（2025）

【津波避難ビルの考慮】

・山口県内では，津波避難ビルによる人的被害軽減効果を考慮したケースは検討しない。

④ 浸水深別死者数

・津波に巻き込まれた際の死者数については，下図の死者率を適用する。なお，生存者全員が負傷するものと仮定する。（浸水深 30cm 以上で死者が発生し始め，浸水深 1m では全員が死亡すると仮定した関数である。）

・津波浸水深は，メッシュ内にある 10m メッシュの浸水深の平均値を用いた。

・負傷者における重傷者と軽傷者の割合については，北海道南西沖地震における奥尻町の人的被害の事例を参考にし，重傷者：軽傷者=34:66 とする。

■浸水深別死者率

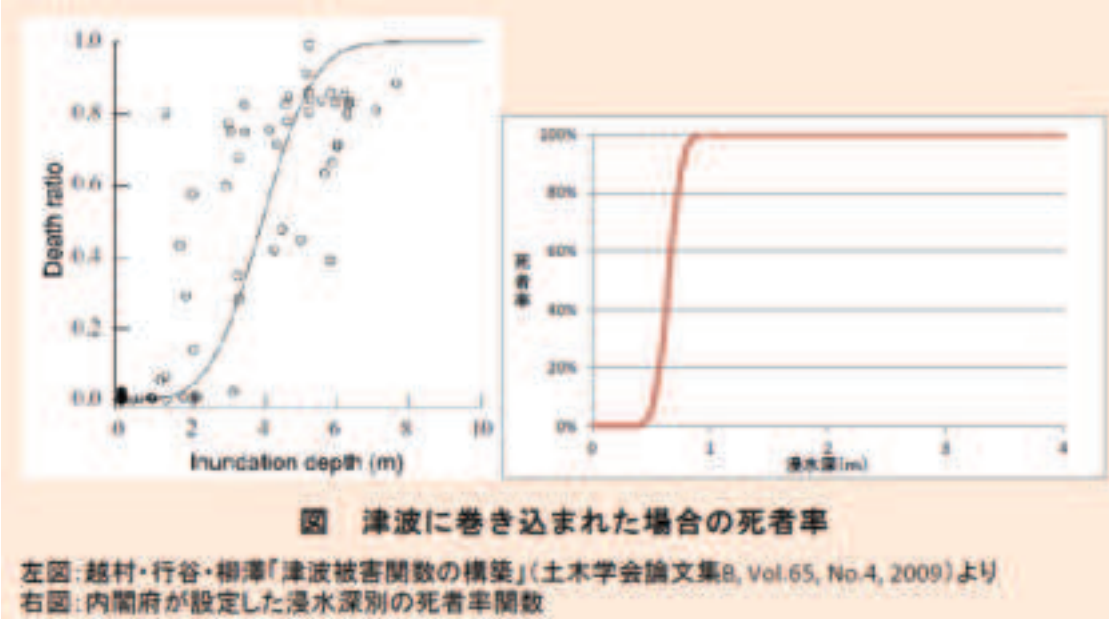


図　津波に巻き込まれた場合の死者率

左図：越村・行谷・柳澤「津波被害関数の構築」（土木学会論文集B, Vol.65, No.4, 2009）より
右図：内閣府が設定した浸水深別の死者率関数

出典：内閣府（2025）

【揺れによる建物倒壊に伴う死者及び自力脱出困難者の考慮】

・浸水域内における揺れによる建物倒壊に伴う死者については，建物倒壊による死者としてカウントする。

・浸水域内における揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者（うち生存者）については，津波による死者としてカウントするものとする。（近隣住民等による救助活動が行われずに，建物倒壊により閉じ込められた状態で浸水する可能性があるとともに，浸水地域の救助活動が難航し，一定時間を経過すると生存率が低下することを考慮）

【年齢構成を考慮した死傷者数の算出】

・東日本大震災における岩手，宮城，福島の被災地では，生存者においては高齢者ほど直後の避難率が高い傾向があるが，65 歳以上及び 75 歳以上の方は結果として死者率が他年齢に比べて高い。したがって，年齢構成が東日本大震災の被災地の状況よりも高齢化していれば津波に巻き込まれる可能性がより高いものとする。

・全国における年齢構成を考慮した人的被害を推定するため，国勢調査に基づくメッシュごとの年齢区分比率をもとにして，次式により人的被害補正係数を算出し，算出したメッシュ別死傷者数に乗じるものとする。

メッシュ別の人的被害補正係数
＝Σ（年齢区分別比率×年齢区分別重み係数）
＝15 歳未満人口比率×0.34＋15～64 歳人口比率×0.62
＋65～74 歳人口比率×1.79＋75 歳以上人口比率×2.81

【夏期の海水浴客等観光客の考慮】

・浸水域内に海水浴場等が存在するところでは，夏期のピーク時には住民数（夜間人口・昼間人口）と比較しても無視できない人数の海水浴客が存在することから，津波による人的被害の算出において，海水浴客の被害を算出する。

・市町単位の海水浴入り込み数（7・8 月の月単位データ）をもとに，7・8 月中の休日及び盆休み等に集中すること，ピーク時には一日単位利用者数の 100%がいることを仮定し，これらの海水浴客等観光客の分だけ津波浸水域内人口が増加すると考えて，海水浴客人的被害増加率を設定する。

（６）屋内収容物移動・転倒，屋内落下物による人的被害

① 想定の基本的考え方

・震度分布と人口データ等から，市町ごとに死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

・「建物倒壊による人的被害」の内数として算出する。ただし，震度分布が小さい場合には，建物倒壊による人的被害よりも，屋内収容物移動・転倒による人的被害の方が大きくなる場合がある。このような場合には，「建物倒壊による人的被害」＝「屋内収容物移動・転倒による人的被害」と判定する。この判定は，市町単位に行う。

・家具類等の転倒による死傷者と，屋内落下物に伴う死傷者を対象とする。

・転倒防止措置実施状況に応じて被害率を補正する。

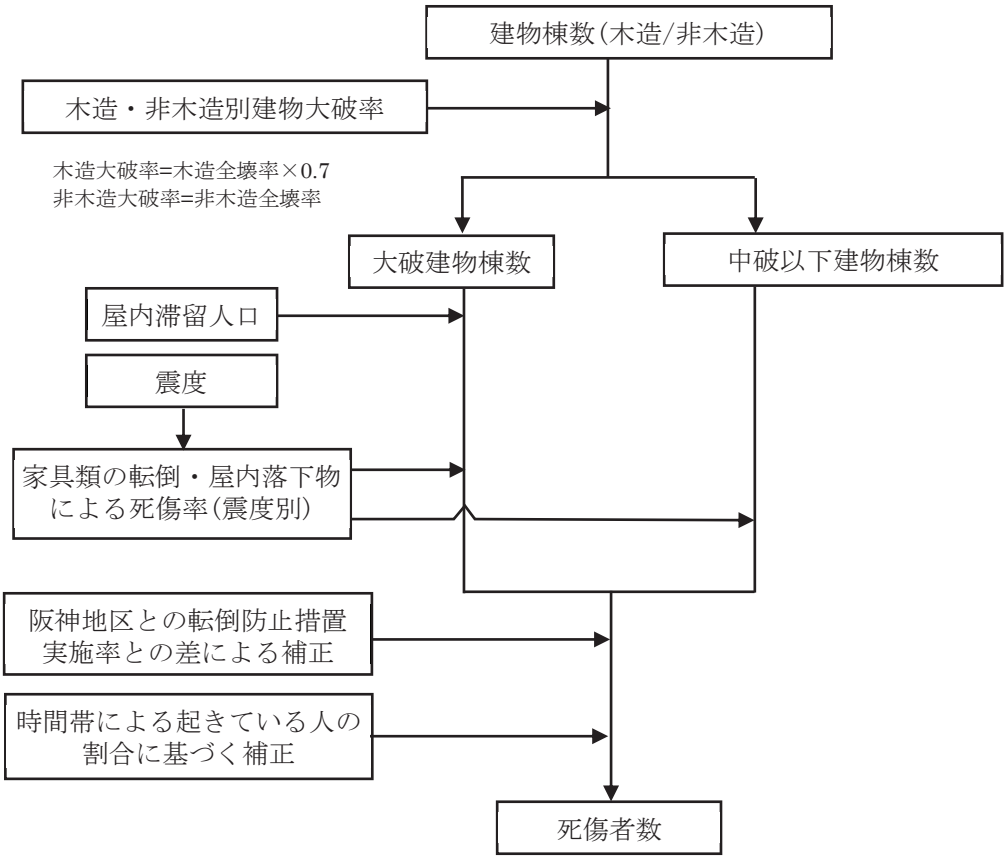
（家具転倒防止・落下物防止実施率 15.3%：山口県政世論調査結果（令和 6 年）のアンケート結果の値）

② 屋内収容物移動・転倒，屋内落下物による死傷者

・阪神・淡路大震災時の実態に基づき設定された，家屋全壊の場合とその他の場合の死傷者率を使用する。

・当時の阪神地区と山口県の家具転倒防止実施率（15.3%）との比を補正係数として乗じる。

■屋内収容物移動・転倒・屋内落下物による死傷者算出フロー



■屋内転倒物による死者率

震度	大破の場合		中破以下の場合	
	木造建物	非木造建物	木造建物	非木造建物
震度 7	0.314%	0.192%	0.00955%	0.000579%
震度 6 強	0.255%	0.156%	0.00689%	0.000471%
震度 6 弱	0.113%	0.0688%	0.00343%	0.000208%
震度 5 強	0.0235%	0%	0.000715%	0.0000433%
震度 5 弱	0.00264%	0%	0.0000803%	0.00000487%

出典：内閣府（2025）

■屋内落下物による死者率

震度	大破の場合		中破以下の場合	
	木造建物	非木造建物	木造建物	非木造建物
震度 7	0.0776%	0.0476%	0.00270%	0.000164%
震度 6 強	0.0542%	0.0351%	0.00188%	0.000121%
震度 6 弱	0.0249%	0.0198%	0.000865%	0.0000682%
震度 5 強	0.0117%	0%	0.000407%	0.0000404%
震度 5 弱	0.00586%	0%	0.000204%	0.0000227%

出典：内閣府（2025）

■屋内ガラスによる死傷者率

震度	死者率	負傷者率	重傷者率
震度 7	0.000299%	0.0564%	0.00797%
震度 6 強	0.000259%	0.0490%	0.00691%
震度 6 弱	0.000180%	0.0340%	0.00480%
震度 5 強	0.000101%	0.0190%	0.00269%
震度 5 弱	0.0000216%	0.00408%	0.000576%

出典：内閣府（2025）

■屋内転倒物による負傷者率

震度	大破の場合		中破以下の場合	
	負傷者率	重傷者率	負傷者率	重傷者率
震度 7	3.69%	0.995%	0.112%	0.0303%
震度 6 強	3.00%	0.809%	0.0809%	0.0218%
震度 6 弱	1.32%	0.357%	0.0402%	0.0109%
震度 5 強	0.276%	0%	0.00839%	0.00226%
震度 5 弱	0.0310%	0%	0.000943%	0.000255%

出典：内閣府（2025）

■屋内落下物による負傷者率

震度	大破の場合		中破以下の場合	
	負傷者率	重傷者率	負傷者率	重傷者率
震度 7	1.76%	0.194%	0.0613%	0.00675%
震度 6 強	1.23%	0.135%	0.0428%	0.00471%
震度 6 弱	0.566%	0.0623%	0.0197%	0.00216%
震度 5 強	0.266%	0%	0.00926%	0.00102%
震度 5 弱	0.133%	0%	0.00463%	0.000509%

出典：内閣府（2025）

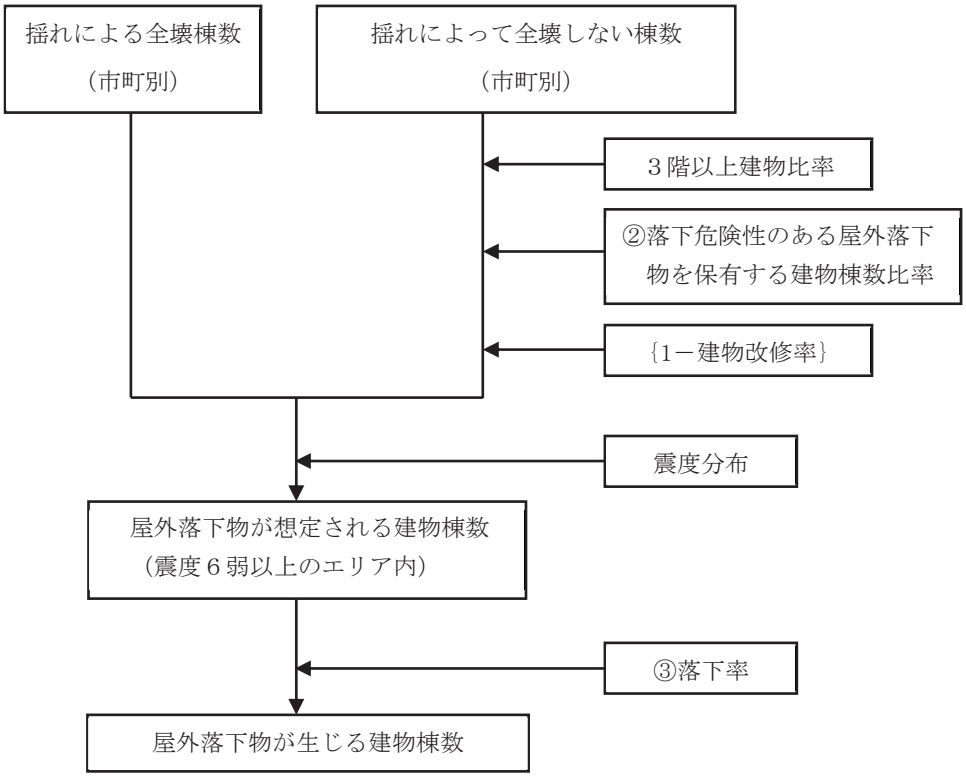
（７）屋外落下物による人的被害

全壊建物及びその他の建物のうち３階建て以上の非木造建物で落下危険性のある付帯物を保有する建物棟数比率から，落下物の発生が想定される建物棟数を算出し，これに落下率を掛けることで落下物の生じる建物棟数を算出する。さらに，この建物棟数からの窓ガラスの落下による市町ごとの死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

① 想定の基本的考え方

・揺れによって全壊する建物については，すべての建物が落下物の発生が想定されるものとする。
・揺れによって全壊しない建物のうち落下が想定される建物棟数は，震度６弱以上のエリア内における３階以上の非木造建物棟数に，落下物を保有する建物棟数比率と安全化指導実施による建物改修率を掛けることで算出する。
・建物改修率には，東京都の被害想定手法（2006）で用いている平均改修率 97.15%を用いる。

■屋外落下物による人的被害の算出フロー



【算出式】

落下物が生じる建物数 ＝ 落下が想定される建物棟数（震度６弱以上）×落下率

落下が想定される建物棟数 ＝ 揺れによる全壊棟数
＋非木造３階以上建物（全壊除く）×落下物保有率×（1－建物改修率）

② 落下危険性のある屋外落下物を保有する建物棟数比率

・屋外落下物を保有する建物棟数比率は，東京都の調査結果(東京都（1997）)をもとに，対象となる建物の建築年別に設定する。

■落下危険性のある屋外落下物を保有する建物棟数比率

建築年代	飛散物（窓ガラス，壁面等）	非飛散物（吊り看板等）
～昭和 45 年	30%	17%
昭和 46 年～55 年	6%	8%
昭和 56 年～	0%	3%

出典：東京都（H9）

③ 落下率

・落下物の発生が想定される建物のうち落下が生じる建物の割合（落下率）には，東京都（1997）で設定したブロック塀の被害率と同じ式を用いる。

■落下率算出式

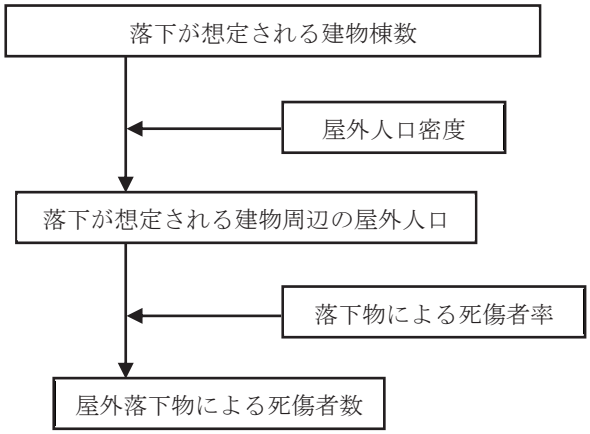
落下率（%）＝ －12.6 ＋ 0.07 × 地表最大加速度（gal）

※ただし，右辺の式の値が負になる場合は０%に，100 を超える場合は 100%に置き換える。

④ 屋外落下物による死傷者数

・宮城県沖地震(1978)時の落下物による被害事例に基づき，静岡県の第３次被害想定(2001)において設定した窓ガラスの落下による死傷者率を用いる。

■屋外落下物による人的被害の算出フロー



【算出式】

死傷者数＝ 死傷者率

×市町別の落下危険性のある落下物を保有する建物棟数比率

×（市町別屋外人口密度／1689.16）　（人／km^2）

■屋外落下物による死傷者率

震度	死者率	負傷者率	重傷者率
震度 7	0.00504%	1.69%	0.0816%
震度 6 強	0.00388%	1.21%	0.0624%
震度 6 弱	0.00239%	0.700%	0.0383%
震度 5 強	0.000604%	0.0893%	0.00945%
震度 5 弱	0%	0%	0%
震度 4 以下	0%	0%	0%

※火災予防審議会・東京消防庁「地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について」（平成 17 年）における屋外落下物（壁面落下）と屋外ガラス被害による死者率の合算値

※震度 7 を計測震度 6.5 相当，震度 6 強以下を各震度階の計測震度の中間値として内挿補間する。

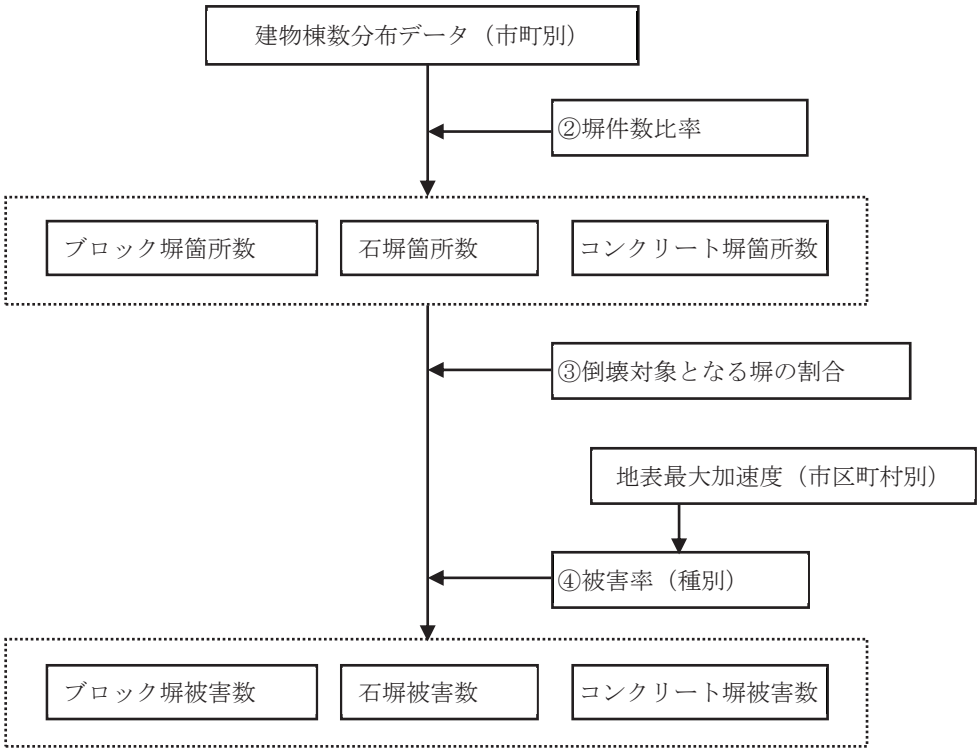
（８）ブロック塀等の倒壊による人的被害

建物あたりのブロック塀等の存在割合からブロック塀，石塀等の分布数を求め，地震動の強さと被害率との関係式を用いて各施設の被害数を求める。さらに，この被害数に死傷者率を掛けて市町ごとの死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

① 想定の基本的考え方

・建物あたりのブロック塀等の存在割合から，ブロック塀，石塀等の分布数を求める。
・ブロック塀等の倒壊防止対策の実施率を踏まえ，地震動の発生に伴う各施設の被害数を求める。
・算出に用いる被害率は，宮城県沖地震の被害実態データを参考に作成する。

■ブロック塀等の被害算出フロー



【算出式】

塀被害数＝ 倒壊対象となる塀件数 × 被害率

倒壊対象となる塀件数 ＝ 塀件数 × 倒壊対象となる割合

② 塀件数

・東京都の調査結果（R4）による木造住宅棟数と塀件数との関係を参考に，塀件数を求める。

■塀件数の算出式

ブロック塀	石塀	コンクリート塀
0.173×(木造住宅棟数)	0.027×(木造住宅棟数)	0.016×(木造住宅棟数)

出典：首都直下地震等による東京の被害想定（東京都，R4）の「木造建物１棟あたりのブロック塀等の存在割合（平均値）」

※木造建物棟数と木造住宅棟数は一致しないが，対象地域においてその比率を把握するデータがないため，計算上は安全側を見て一致するものとしている。

③ 倒壊対象となる塀の割合

・東京都による各塀の危険度調査結果から，外見調査の結果，特に改善の必要のない塀の比率が設定されている。

・東京都の手法に基づき，このうち半分は改訂耐震基準を十分満たしており，倒壊の危険性はないものとする。

■倒壊対象となる塀の割合

塀の種類	外見調査の結果特に改善が必要のない塀の比率(A)	倒壊対象となる割合 (1−0.5A)
ブロック塀	0.500	0.750
石塀	0.362	0.819
コンクリート塀	0.576	0.712

出典：東京都（H9）

④ 被害率

・宮城県沖地震の時の地震動の強さとブロック塀等の被害率との関係に基づき，市区町村別の平均加速度に対して下式を設定した。

■被害率算出式

ブロック塀被害率（%） ＝ −12.6 ＋ 0.07 × 地表最大加速度（gal）

石塀被害率（%） ＝ −26.6 ＋ 0.168 × 地表最大加速度（gal）

コンクリート被害率（%）＝ −12.6 ＋ 0.07 × 地表最大加速度（gal）

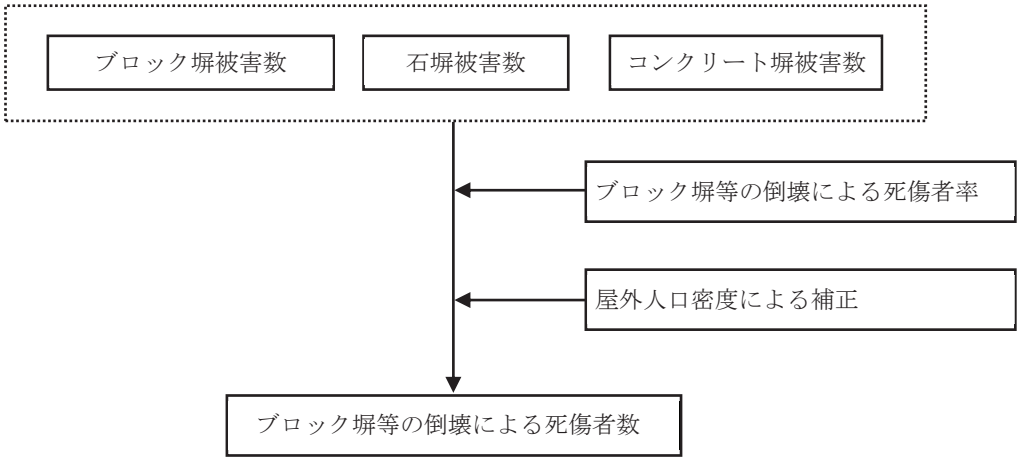
※ただし，右辺の式の値が負になる場合には0%に，100を超える場合には100%に置き換える。

出典：東京都（H9）

⑤ ブロック塀等の倒壊による死傷者数

・ブロック塀等の倒壊については，東京都の被害想定手法(1997)に基づき，宮城県沖地震(1978)時のブロック塀等の被害件数と死傷者数との関係から死傷者率を設定する。

■ブロック塀等の倒壊による人的被害の算出フロー



【算出式】

死傷者数＝ 死傷者率 × 市町別の種別塀被害件数
× （市町別屋外人口密度／1689.16）（人／km²）

・死傷者率は，宮城県沖地震時の仙台市の屋外人口密度(1689.16 人/km²)を前提とした値であるため，屋外人口密度に応じて補正する。

■死傷者率

死者率	負傷者率	重傷者率
0.00116	0.04	0.0156

出典：死傷率：東京都被害想定（東京都, H9）
負傷者率・重傷者率：第 3 次地震被害想定結果（静岡県，H13 年）

（９）自動販売機の転倒による人的被害

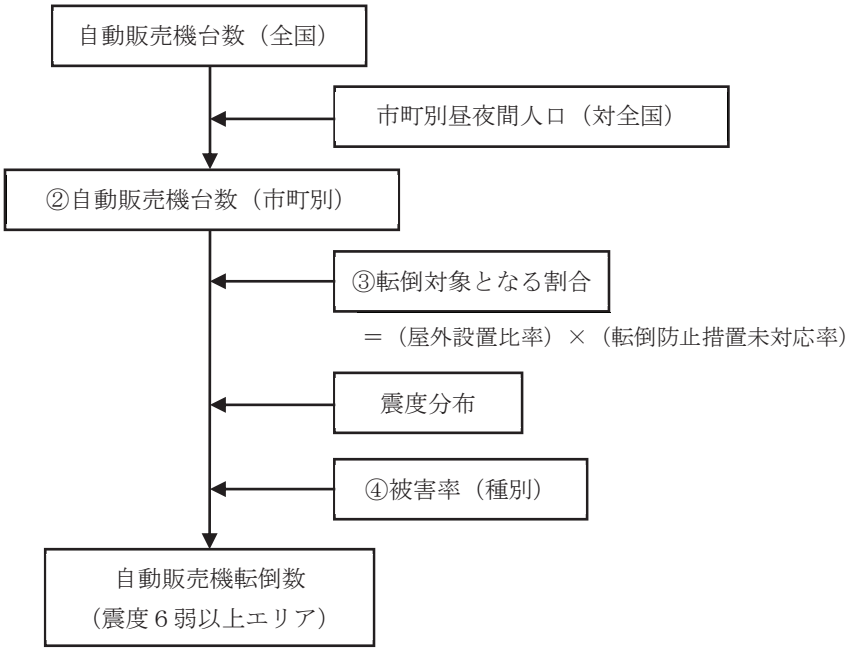
自動販売機の転倒は阪神・淡路大震災時の転倒率に基づき算出し，死傷者率を設定して市町ごとの死者数，負傷者数，重傷者数を算出する。

① 想定の基本的考え方

・自動販売機の転倒対象となる割合は，屋外設置比率と転倒防止措置未対応率より設定する。

・これと阪神・淡路大震災時の実態から設定される被害率より，震度 6 弱以上のエリアの転倒数を算出する。

■自動販売機の転倒被害の算出フロー



【算出式】

自動販売機被害件数 ＝ 転倒対象となる自動販売機台数×被害率

転倒対象となる自動販売機台数

＝ 自動販売機台数×屋外設置比率 × 転倒防止措置未対応率

② 自動販売機台数

・自動販売機の台数は，全国の台数(3,969,500 台：令和 4 年末時点)を各市町に次の式で配分して求める。

【算出式】

自動販売機台数＝全国自動販売機台数 ×（市町夜間人口＋市町昼間人口）

÷（全国夜間人口＋国昼間人口）

③ 転倒対象となる自動販売機の割合

・転倒対象となる自動販売機の割合は，次の屋外設置比率と転倒防止措置未対応率より設定する。

屋外設置比率：約 60%　（清涼飲料水メーカーへのヒアリングによる）

転倒防止措置未対応率：約 10%　（防止対策の進捗状況を踏まえて設定）

④ 被害率

・自動販売機の被害率は，阪神・淡路大震災時の（概ね震度 6 弱以上の地域における）転倒率により設定する。

阪神・淡路大震災時の（概ね震度 6 弱以上の地域における）転倒率

25,880 台 ／ 124,100 台 ＝ 約 20.9%

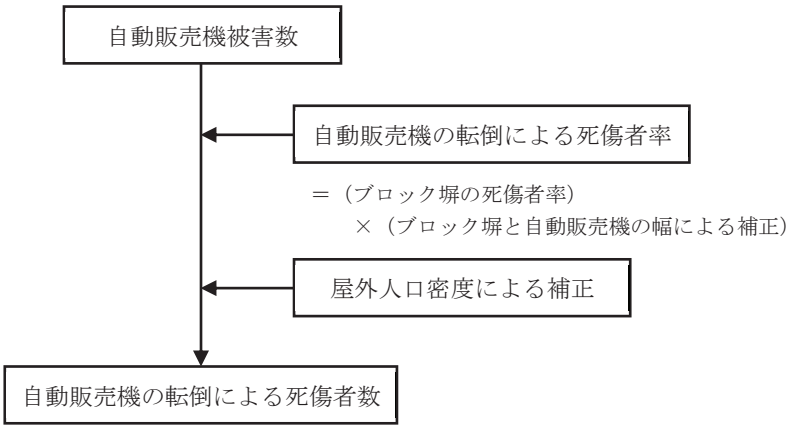
（神戸市，西宮市，尼崎市，宝塚市，芦屋市，淡路島市：全数調査）

⑤ 自動販売機の転倒による人的被害

・既往災害等による被害事例や被害想定手法の検討例は存在しないため，ブロック塀の倒壊による死傷者算出式を適用する。

・ただし，ブロック塀と自動販売機の幅の違いによる死傷者率の違いを考慮する。

■自動販売機の転倒による人的被害の算出フロー



【算出式】

死傷者数 ＝ 死傷者率 × 市町別の自動販売機被害件数

×（市町別屋外人口密度／1689.16）（人／km²）

・自動販売機の転倒による死傷者については，ブロック塀数と同じ死傷者率とし，自動販売機とブロック塀の幅の平均長の比(1:12.2)*によって補正する。

※東京都において，ブロック塀の幅は最大でおよそ 12.2m(=1 棟あたり敷地面積の平方根)とし，自動販売機の幅については統計的な実測データは存在しないため，仮に 1m として，両者の比を設定する。

（１０）自力脱出困難者の発生（揺れによる建物倒壊に伴う要救助者）

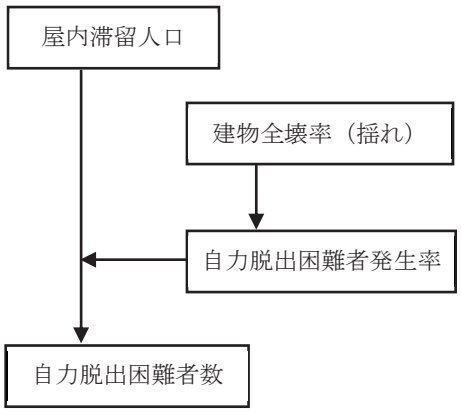
建物の倒壊によって下敷き・生き埋めとなり，救助が必要となる自力脱出困難者の数を求める。

① 想定の基本的考え方

・阪神・淡路大震災時における建物全壊率と救助が必要となる自力脱出困難者の数との関係を用いた静岡県(2000)や東京都(1997)の手法を参考にして，自力脱出困難者数を算出する。

・木造建物と非木造建物の全壊による自力脱出困難者を分けて算出する。

■自力脱出困難者数の算出フロー



【算出式】

自力脱出困難者数 ＝ 屋内滞留人口 × 自力脱出困難者発生率

自力脱出困難者発生率 ＝ 0.117 × 揺れによる建物全壊率

② 自力脱出困難者発生率（下敷き・生き埋め者率）

・阪神・淡路大震災における木造建物の全壊率と消防団によって救出された要救助者率の関係は次のように表される(1997 年東京都)。

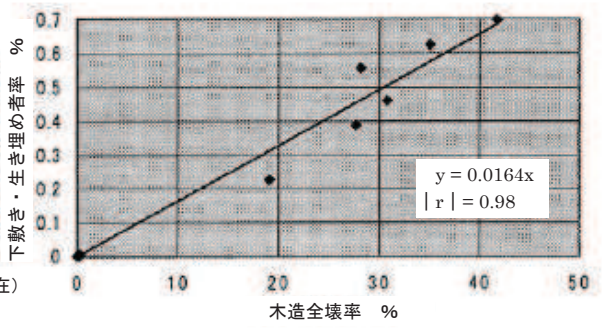
（消防団によって救出された下敷き・生き埋め者率）＝0.0164×（木造全壊率）

・非木造建物の全壊による自力脱出困難者発生率も，木造と同じく 0.0164 を用いる。

■全壊と（消防団によって救出された）下敷き・生き埋め者率の関係

地区名	全壊棟数	下敷き･生き埋め者数
東灘区	11,171	428人
灘　区	11,693	417人
中央区	4,947	197人
兵庫区	8,374	252人
長田区	12,515	390人
須磨区	6,042	189人
垂水区	90	2人
北　区	117	6人
西　区	0	2人

出典）建物被害は神戸市災害対策本部資料（1995年4月14日現在）
下敷き･生き埋め者数は神戸市消防局「阪神･淡路大震災における消防活動の記録」



・阪神・淡路大震災の人命救助実態について，神戸市東灘区で行われた聞き取り調査の結果(1996 宮野ら)では，救出者の内訳における「消防団」の割合は 14%であった(1997 年東京都)。

【算出式】

（自力脱出困難者発生率）＝（消防団に救助された下敷き・生き埋め者率）÷ 0.14
＝ 0.0164 ×（建物全壊率）÷ 0.14
＝ 0.117 ×（建物全壊率）

（１１）災害関連死

東日本大震災の岩手県・宮城県や，令和 6 年能登半島地震の石川県における災害関連死者数と最大避難者数の関係に基づいて推計する。

なお，推計結果については以下の 2 点に留意が必要である。

・南海トラフ巨大地震による影響は超広域・長期間にわたる可能性がある中で，上記の定量的な推計では評価しきれないような災害関連死の増大要因も考え得る。
・災害関連死の認定に関する基準等が自治体によって異なる点が災害関連死者数の統計データに影響している可能性がある。

■災害関連死者数と最大避難者数の関係

※各災害の被害実績に基づいて作成。なお，令和6年能登半島地震の石川県については，最大避難者数（令和6年1月2日：40,688人）と，令和7年3月25日時点で認定済の災害関連死者数（321人）に基づいて整理

《 ライフライン被害 》

（1）上水道

県内の工業用水道を含む水道管について，被害箇所数をメッシュ単位で算出し，市町ごとの断水人口を算出する。

① 上水道管延長データ

市町及び県企業局より簡易水道や水道管（導水管，送水管，給水管を除く配水本管，配水支管）について管種・管径ごとの延長データ及び位置情報を収集し，メッシュ単位で整理する。この時，延長データがない場合，道路延長データをもとに水道管の延長を按分する。

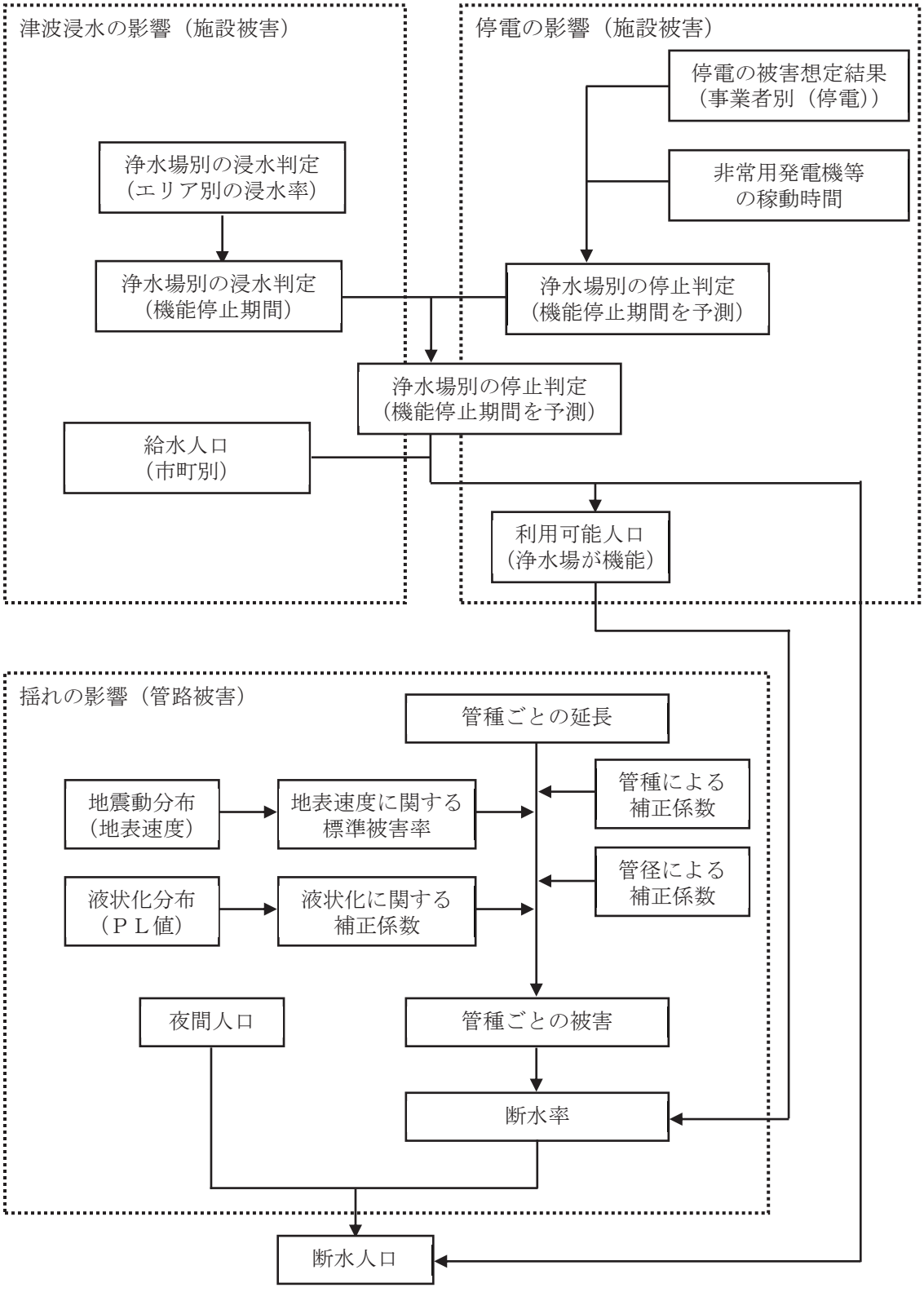
なお，以下の理由より，本調査では工業用水道を除外する。

・工業用水道は，住民の居住・生活区域に供給される水道ではなく，断水被害が発生しても住民に直接的な被害はない（住民の生活困窮の要因にはなりえない）。
・工業用水道の被害も断水率に計上すると，断水人口を過大に評価する恐れがある。

② 想定手法

・浄水場等の拠点施設は，耐震対策が実施されてきているが，これら施設の一部が被災した場合，水供給の停止が広域に及ぶ可能性がある。このため津波浸水及び停電による浄水場の機能停止判定を行う。
・導水管，送水管については，整備水準によっては耐震性の検討を要するものもあるが，ここでは，H25 年度の被害想定と同様に機能低下に至る大きな被害がないものとする。
・揺れによる影響は，水道管の物的被害率から断水率を算出する。
・断水率については，阪神・淡路大震災を含む過去の地震の被害事例を基に配水管の被害率と水道供給支障率（断水率）の関係を設定した川上の手法(1996)を用いる。

■上水道の断水人口算出フロー



【算出式】

断水人口 ＝ 津波浸水の影響による断水人口 ＋

浄水場停止による断水人口 ＋ 管路被害による断水人口

【津波浸水の影響（施設被害）】

・波浸水の影響は，エリア別の浸水深から浄水場の機能停止を判定する。

・浄水場位置の浸水深（5m, 10m メッシュ）が 1m 以上の場合に機能停止とする。

以上により，給水人口から断水人口を算出する。

【停電の影響（施設被害）】

・停電の影響は，浄水場の停電の予測結果と非常用発電機の整備状況を考慮する。

・浄水場位置の停電率（125m, 250m メッシュ）が 50%以上の場合に機能停止とする。

以上により，給水人口から断水人口を算出する。

【揺れによる影響（管路被害）】

・揺れによる影響は，管種・管径別の被害率を用いて断水被害を算出する。

・断水率（発災直後）＝1／｛1＋0.0473×(配水管被害率)$^{-1.61}$｝

・断水率（発災翌日）＝1／｛1＋0.307×(配水管被害率)$^{-1.17}$｝

・配水管被害率（箇所／km）＝配水管被害数（箇所）／配水管延長（km）

・配水管被害箇所数＝標準被害率×液状化危険度ランクによる補正係数
×管種・管径別の補正係数×延長

・標準被害率（箇所／km）＝$2.24\times10^{-3}\times$（地表速度(cm/s)－20）$^{1.51}$

・管路被害の断水人口＝断水率×夜間人口

■液状化危険度ランクによる補正係数

PL 値ランク	$P_L=0$	$0<P_L\leqq5$	$5<P_L\leqq15$	$15<P_L$
補正係数	1.0	1.2	1.5	3.0

出典：中央防災会議「東南海，南海地震等に関する専門調査会」(2007)

■管種管径別の補正係数

管種／管径	75 ㎜以下	100㎜～250 ㎜	300㎜～450 ㎜	500㎜～900 ㎜	1000 ㎜以上
ダクタイル鋳鉄管（耐震継手あり）	0.00				
ダクタイル鋳鉄管（耐震継手なし）	0.60	0.30		0.09	0.05
鋳鉄管	1.70	1.20	0.40		0.15
鋼管	0.84	0.42	0.24		
塩化ビニール管	1.50	1.20			
石綿セメント管	6.90	2.70	1.20		
その他	1.00				

出典：中央防災会議「東南海，南海地震等に関する専門調査会」(2007)

【復旧予測】

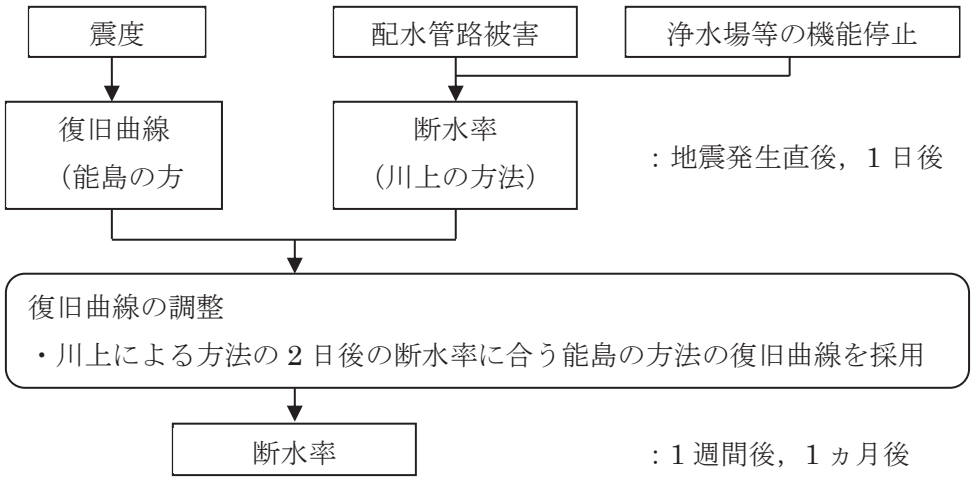
・徳島県(2013)の手法を参考とする。

・断水の復旧推移を，発生直後，1 日後，1 週間後，1 ヶ月後の 4 段階で想定する。

・地震発生直後，1 日後については，浄水場等の機能停止による影響及び，配水管路の被害を考慮した川上による方法により断水率を算出する。

・1 週間後，1 ヶ月後の断水率は，川上による方法が 2 日後まで算出できるため，以後の復旧推移には「首都直下地震　防災・減災プロジェクト」の成果である能島の方法を採用し，川上による方法と連続するように調整する。

■断水率と復旧推移の算出フロー



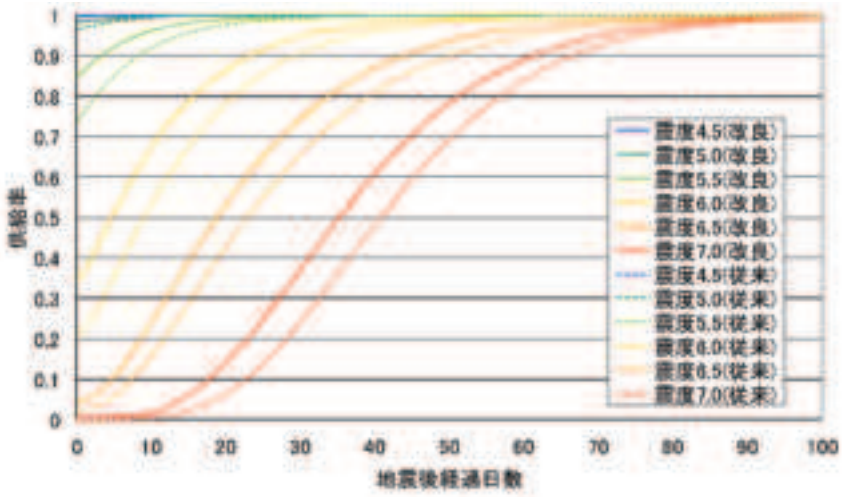
※川上による方法が 2 日後の断水率

断水率（発災直後）＝1／｛1＋0.319×(配水管被害率)$^{-1.18}$｝

※能島の方法

能島ら(2003)による供給系ライフラインの地震時機能評価モデルを，東日本大震災を踏まえてパラメータの見直しを行った能島ら(2012)を用いる。

■復旧予測に用いる上水道の供給率曲線



（２）下水道

県内の下水道埋設管について，管きょ被害箇所数をメッシュ単位で算出する。

① 下水道管きょ延長データ

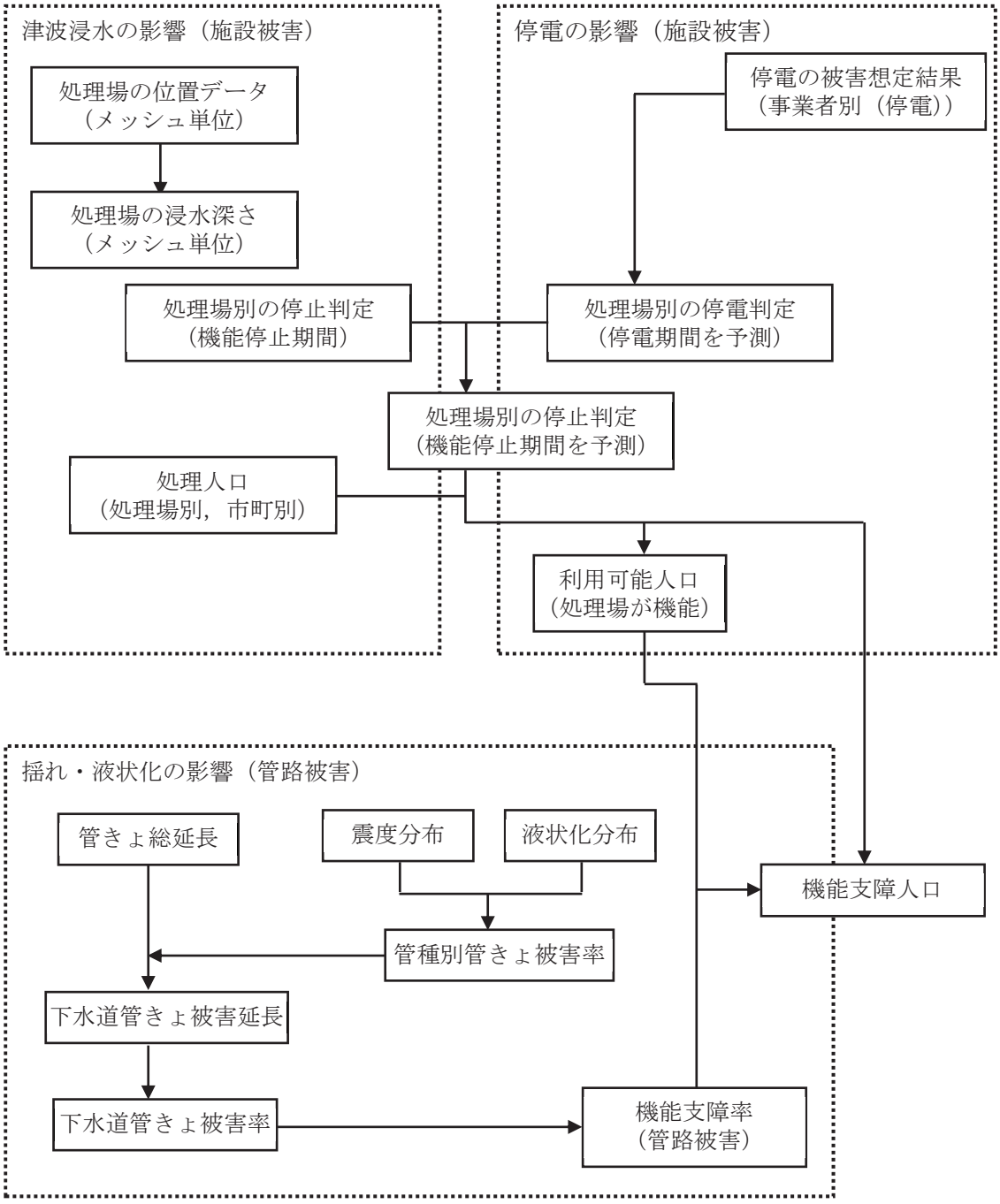
市町及び県都市計画課より，県民生活への影響の大きい汚水管及び合流管を対象とした流域下水道，農業集落排水及び漁業集落排水の埋設管（取付管を除く幹線管きょ，枝線管きょ）の管種ごとの延長データ及び位置情報を収集し，メッシュ単位で整理する。この時，延長データがない場合，道路延長データをもとに水道管の延長を按分する。

ただし，県内全域で下水道が整備されているわけではないため，各市町の下水度整備区域図等をもとに，下水道整備区域があるメッシュ内の道路延長＝水道管の延長とする。

② 想定手法

・ポンプ場や処理場等の下水道の拠点施設は，東日本大震災において津波による被害が発生しており，浸水深が 1m 未満であれば一部機能停止で，1m を超えると全機能停止が約 8 割であった。したがって，津波浸水の影響として，処理場の浸水を考慮する。
・東日本大震災においては停電の影響を受けた処理場もあったため，処理場の停電を考慮する。
・揺れによる下水道管きょ被害延長は，メッシュごとの震度分布と液状化危険度分布から管きょ被害率を設定し，これに管きょ延長を掛け合わせることで算出する。
・下水道管きょ被害率＝管きょの被害延長／管きょ総延長
・この被害率に市町ごとの下水道処理人口を掛け合わせることにより，下水道機能支障人口を算出する。

■下水道管きょ被害率の算出フロー



【算出式】

（機能支障人口）　＝（施設停止による機能支障人口）＋（管路被害による機能支障人口）

【津波浸水の影響（施設被害）】

・津波浸水の影響は，処理場の位置データ及び浸水深から浸水判定を行い，機能支障人口を算出する。

・処理場位置の浸水深（5m,10m メッシュ）が 1m 以上の場合に機能停止とする。

【停電の影響（施設被害）】

・停電の影響は，処理場の停電の予測結果から算出する。

・処理場位置の停電率（125m,250m メッシュ）が 50%以上の場合に機能停止とする。

【揺れによる影響（管路被害）】

・揺れと液状化の影響は，震度別 PL 値別の管種別被害率を用いて管路被害を算出する。

■管種別被害率　（単位：%）

管種	震度／液状化		震度階				
			5 弱	5 強	6 弱	6 強	7
塩ビ管・陶管	P_L 値	すべて	1.0	2.3	5.1	11.3	24.8
その他の管	P_L 値	$15<P_L$	0.6	1.3	3.0	6.5	14.5
		$5<P_L\leqq15$	0.5	1.0	2.2	4.8	10.7
		$0<P_L\leqq5$	0.4	0.9	2.0	4.5	9.8
		$P_L=0$	0.4	0.9	1.9	4.2	9.2

出典：国土交通省 大規模地震による下水道被害想定委員会，2006 年

【管路被害による下水道機能支障人口】

・下水道管きょ被害率に市町ごとの下水道処理人口を掛け合わせることにより，下水道機能支障人口を算出する。

【復旧予測】

・下水道機能支障の復旧推移を，発生直後，1 日後，1 週間後，1 ヶ月後の 4 段階で想定する。

・復旧推移については，復旧工事を行う業者は上水道と重複することが多く，近年の国内の地震災害においては上水道の復旧が優先されているため，1 週間までは下水道管路の復旧は進まないものとする。ただし，処理場の津波浸水による被害がない場合には，上水道の復旧状況に合わせながら戦略的に実施されると考えられるため，1 ヵ月後には復旧を完了するものとする。

（３）電力

停電軒数をメッシュ単位で算出する。想定手法は，中央防災会議「東南海，南海地震等に関する専門調査会」(2007)，東京都(2006)，鳥取県(2005)をベースに，津波浸水による被害については内閣府（2025）の方法を用いる。

① 電力設備データ

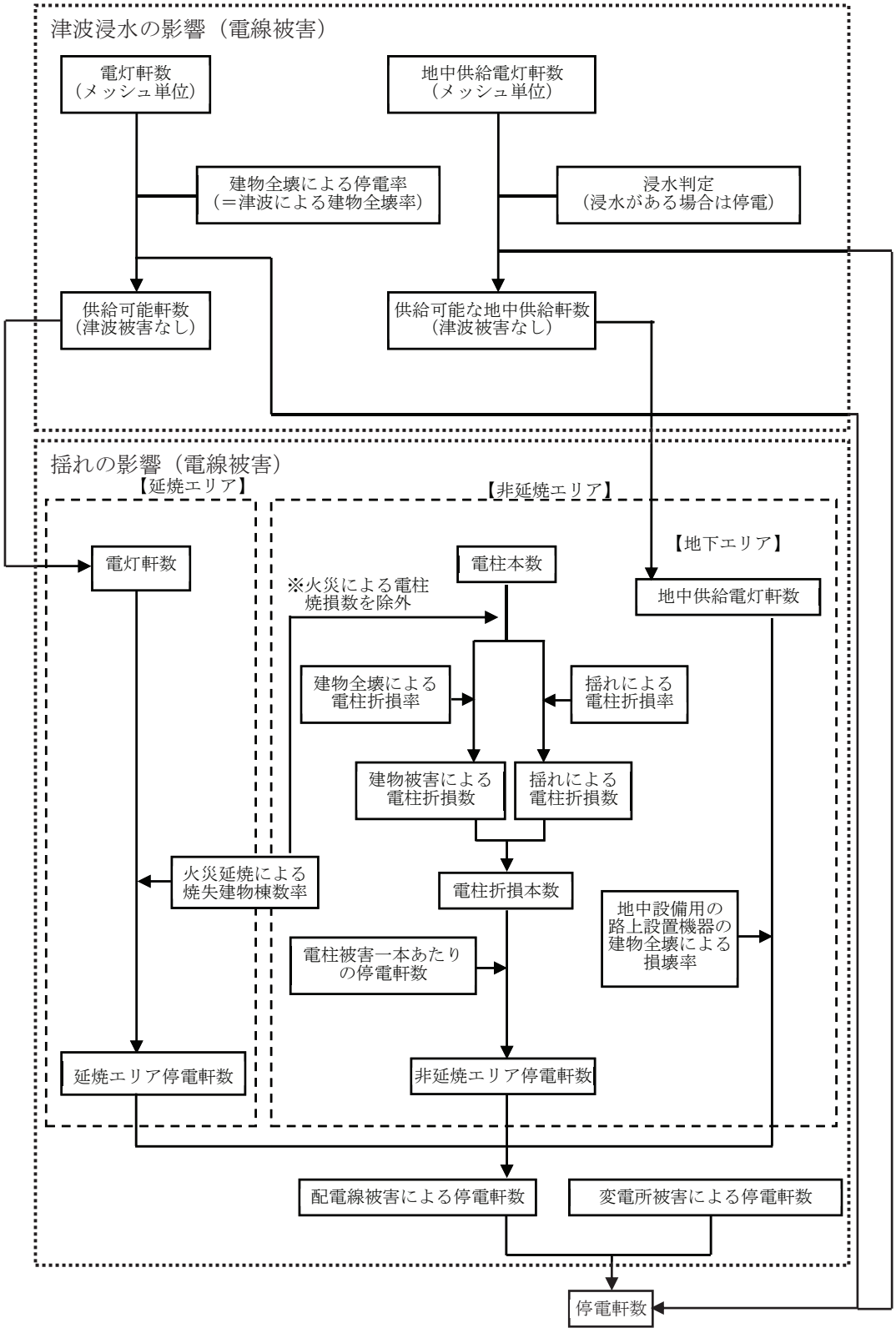
中国電力ネットワーク（株）の協力により，県内７箇所のネットワークセンターごとの電柱本数及び電灯軒数，変電所位置の情報を，メッシュ単位で整理する。

営業エリアごとの電柱本数及び電灯軒数は，メッシュ内の建物棟数に応じて配分し想定に用いる。架空配電線の径間亘長データは，中国電力ネットワーク（株）管内の電柱本数と架空配電線の総延長より設定する。

② 想定手法

・津波浸水と揺れによる電線被害等の影響を考慮して，停電軒数を算出する。
・停電率は，焼失面積率(焼失建物棟数率)及び電柱被害数より算出した停電軒数と電灯軒数（地中供給電灯軒数含む）より求める。
・火災延焼のあるエリアは，全面的に停電が生じると想定する。
・非延焼エリアは,電柱被害から停電が生じると想定する。電柱被害の発生要因は,「揺れ」及び「建物倒壊への巻き込まれ」と想定する。
・地下エリアは，地中設備につながる路上設置機器の損壊により停電が生じると想定する。路上設置機器の損壊要因は,「建物倒壊への巻き込まれ」と「津波浸水による」と想定する。
・発電設備については，複数の発電所で被害があったとしても，地震発生直後に相当量の負荷脱落量があるために電源量不足にはならないと想定する。
・変電設備については，安全側の評価を行い，一部の変電所で被害が発生し，一旦，全ての設備が停止するものとする。停止変電所が供給している配電用変電所の供給軒数から，当該地域の配電線被害による停電軒数を引いたものを変電所被害による軒数とする。
・停止変電所は，震度６強以上となるメッシュ内の変電所とする。

■停電軒数の算出フロー


津波浸水の影響（電線被害）
電灯軒数
（メッシュ単位）
地中供給電灯軒数
（メッシュ単位）
建物全壊による停電率
（＝津波による建物全壊率）
浸水判定
（浸水がある場合は停電）
供給可能軒数
（津波被害なし）
供給可能な地中供給軒数
（津波被害なし）
揺れの影響（電線被害）
【延焼エリア】
【非延焼エリア】
【地下エリア】
電灯軒数
電柱本数
※火災による電柱
焼損数を除外
地中供給電灯軒数
建物全壊による
電柱折損率
揺れによる
電柱折損率
建物被害による
電柱折損数
揺れによる
電柱折損数
火災延焼による
焼失建物棟数率
電柱折損本数
地中設備用の
路上設置機器の
建物全壊による
損壊率
電柱被害一本あたり
の停電軒数
延焼エリア停電軒数
非延焼エリア停電軒数
配電線被害による停電軒数
変電所被害による停電軒数
停電軒数

【津波浸水の影響（電線被害）】

・地上エリアの停電軒数は，津波浸水による建物全壊率を停電率と仮定し算出する。

建物全壊率＝津波による建物全壊棟数／（木造建物棟数＋非木造建物棟数）

・地下エリアの停電軒数は，浸水深（250m メッシュ）が 30cm 以上の場合にすべて停電すると想定し，停電軒数を算出する。

【揺れの影響（電線被害）延焼エリア】

・停電軒数＝電灯軒数×焼失建物棟数率

・焼失建物棟数率＝焼失建物棟数／（木造建物棟数＋非木造建物棟数）

【揺れの影響（電線被害）非延焼エリア】

・停電軒数＝電灯軒数×停電率(%)／100

・停電率(%)＝19.5×配電線の被害率(%)$^{0.35}$

・配電線被害率(%)＝100×被害亘長(km)／架空配電線の亘長(km)

・被害亘長(km)＝a×b×電柱被害本数

ここに，a：阪神・淡路大震災における架空線断線径間／電柱被害本数(=0.4)

b：架空配電線の径間亘長(km／亘長)＝全亘長／（全電柱数／2)

＊非延焼エリアの停電率の算出手法は鳥取県(2005)を参考とする。

ア　揺れによる電柱被害

・電柱被害本数＝電柱本数×揺れによる電柱折損率

・揺れによる電柱折損率（阪神・淡路大震災時の被害実態に基づく。）

震度７　　0.8%

震度６以上　0.056%

震度５以上　0.00005%

イ　建物倒壊への巻き込まれによる電柱被害

・電柱被害本数＝電柱本数×建物全壊による電柱折損率

・建物全壊による電柱折損率＝0.17155×建物全壊率

（阪神・淡路大震災の被害実態に基づく）

・建物全壊率＝木造建物全壊棟数／木造建物棟数

※阪神・淡路大震災時の実態は戸建住宅の全壊率を対象としている。

【揺れの影響（電線被害）地下エリア】

・停電軒数＝地中供給電灯軒数×路上設置機器損壊率

・路上設置機器損壊率＝建物全壊率×損壊係数（0.005）

・建物全壊率＝木造建物全壊棟数／木造建物棟数

・電柱地中化率を考慮する。

【復旧予測】

・東日本大震災等での復旧状況を考慮し，津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する停電軒数は，応急復旧対象から除くこととした。

・地震発生直後から 1 日間は被害状況の調査及び復旧要員の動員にあてられ，その後復旧作業として 2 日が必要となり，3 日後に復旧する。

※復旧曲線

地震発生直後から 1 日間は，被害状況の調査及び復旧要員の動員にあてられる。なお，変電所被害による停電については，被害発生直後から電力系統切り替えによる復旧作業を行い，停電に至るような機能支障については，1 日以内に回復するものとする。

（４）通信

県内の固定電話回線と携帯電話回線を対象として，不通回線数をメッシュ単位で算出する。想定手法は，中央防災会議「首都直下地震に係る被害想定」(2006)，中央防災会議「東南海，南海地震等に関する専門調査会」(2007)，東京都(2006)をベースに，津波浸水及び停電による被害については内閣府（2025）の方法を用いる。

① 通信設備データ

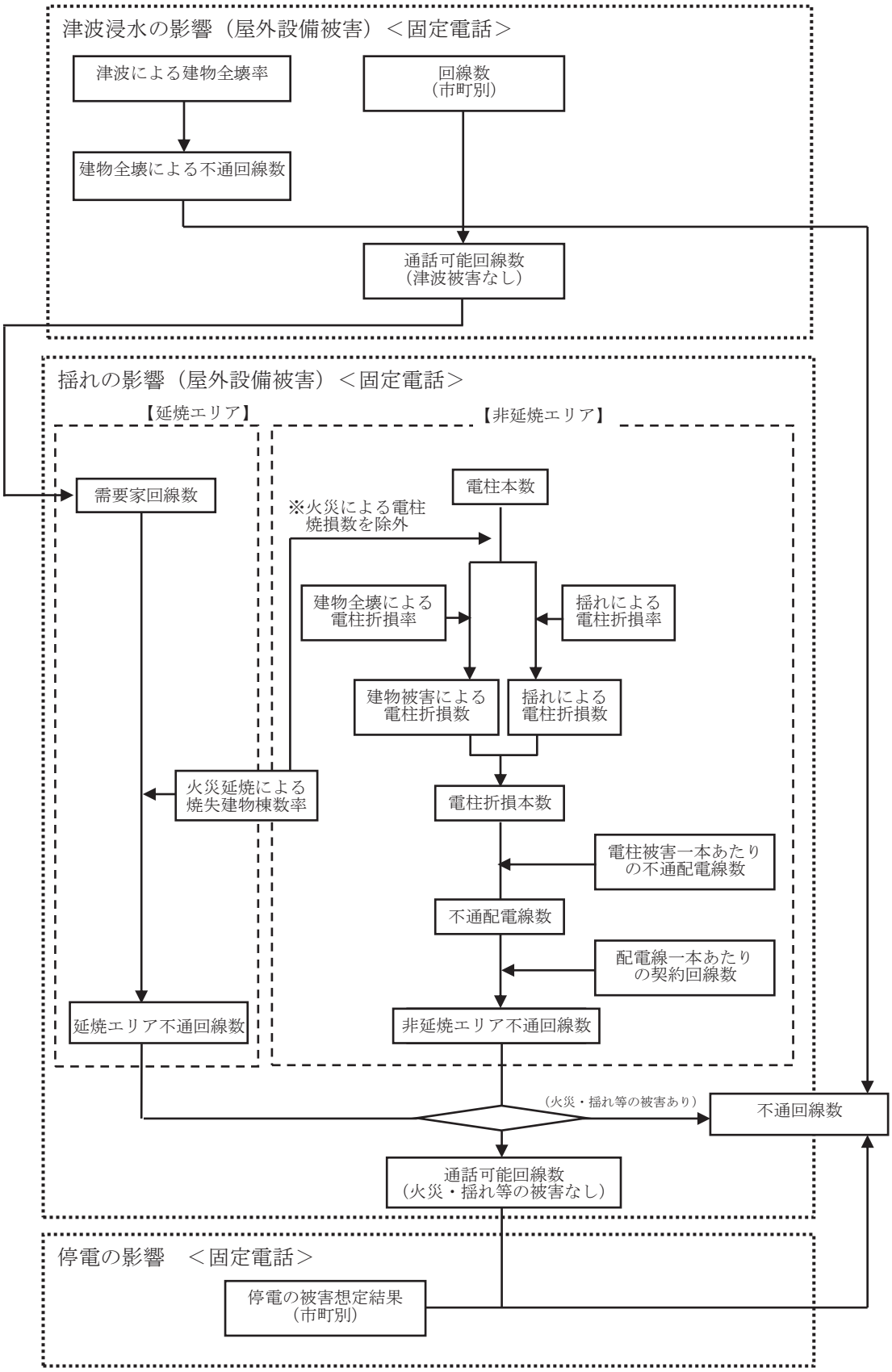
（株）NTT 西日本－山口の協力により，県内の 19 市町ごとの電柱本数及び回線数（アナログ及び ISDN）の情報により，メッシュ単位で整理した。営業エリアごとの電柱本数及び回線数は，メッシュ内の建物棟数に応じてメッシュに配分し，被害想定に用いる。

② 想定手法

ア　固定電話

・県内の加入電話の回線数を対象とする。
・津波浸水による建物全壊に伴う不通回線数及び停電に伴う不通回線数を算出する。
・揺れの影響による不通率は，焼失面積率（焼失建物棟数率）及び電柱被害数より算出した不通回線数と需要家回線数より求める。
・火災延焼のあるエリアは，全面的に通信寸断が生じると想定する。
・非延焼エリアは，電柱被害から通信寸断が生じると想定する。電柱被害は，被害発生要因を「揺れ」及び「建物倒壊への巻き込まれ」と想定する。
・地下エリアは，対象としない。
・停電による端末機の利用不能は，対象としない。
・通信設備拠点は，耐震化及びバックアップ設備や多重化が施され，阪神・淡路大震災時にも電力供給停止に伴う交換機能の停止以外では，機能支障にいたる被害は発生していないことから，拠点施設の被災による機能停止は対象としない。

■不通回線数算出フロー


津波浸水の影響（屋外設備被害）＜固定電話＞
津波による建物全壊率
回線数
（市町別）
建物全壊による不通回線数
通話可能回線数
（津波被害なし）
揺れの影響（屋外設備被害）＜固定電話＞
【延焼エリア】
【非延焼エリア】
需要家回線数
電柱本数
※火災による電柱
焼損数を除外
建物全壊による
電柱折損率
揺れによる
電柱折損率
建物被害による
電柱折損数
揺れによる
電柱折損数
火災延焼による
焼失建物棟数率
電柱折損本数
電柱被害一本あたり
の不通配電線数
不通配電線数
配電線一本あたり
の契約回線数
延焼エリア不通回線数
非延焼エリア不通回線数
（火災・揺れ等の被害あり）
不通回線数
通話可能回線数
（火災・揺れ等の被害なし）
停電の影響　＜固定電話＞
停電の被害想定結果
（市町別）

【算出式】

不通回線数＝津波による不通回線数＋延焼エリアの火災による不通回線数＋非延焼エリアの揺れによる不通回線数＋非延焼エリアの建物倒壊への巻き込まれによる不通回線数＋停電の影響による不通回線数

【津波浸水の影響（屋外設置被害）】

・津波浸水の影響として，建物被害による架空ケーブル被害を考慮する。（建物全壊したエリアの架空ケーブルが流失したものと仮定）

・津波による不通回線数＝津波による建物全壊率×津波浸水エリアの回線数

【揺れの影響（屋外設置被害）延焼エリア】

・不通回線数＝需要家回線数×焼失建物棟数率

・焼失建物棟数率＝焼失建物棟数／（木造建物棟数＋非木造建物棟数）

【揺れの影響（屋外設置被害）非延焼エリア】

・不通回線数＝電柱被害本数×電柱被害一本当たりの不通回線数

・電柱被害一本当たりの不通回線数＝電柱被害一本当たりの不通配電線数
×配電線一本当たりの契約回線数

・電柱被害一本当たりの不通配電線数は，阪神・淡路大震災の被害実態に基づき，東京都被害想定（平成９年８月）において設定された「電柱被害一本当たりの不通に係る配電線数（0.396)」を採用する。

・配電線一本当たりの契約回線数＝需要家回線数／配電線数
＝需要家回線数／（電柱本数×電柱一本当たりの配電線数）

※電柱一本当たりの配電線数を１と仮定する

1)　揺れによる電柱被害

・電柱被害本数＝電柱本数×揺れによる電柱折損率

・揺れによる電柱折損率（阪神・淡路大震災時の被害実態に基づく。）

震度７　　0.8%

震度６以上　0.056%

震度５以上　0.00005%

2)　建物倒壊への巻き込まれによる電柱被害

・電柱被害本数＝電柱本数×建物全壊による電柱折損率

・建物全壊による電柱折損率＝0.17155×建物全壊率
（阪神・淡路大震災の被害実態に基づく）

・建物全壊率＝木造建物全壊棟数／木造建物棟数

※阪神・淡路大震災時の実態は戸建住宅の全壊率を対象としている。

【停電の影響】

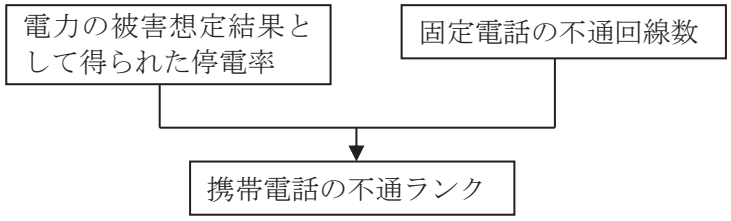
・停電の影響は，電力における停電の被害想定結果から算出する。

・停電の影響による不通回線数＝停電率×通信可能回線数（津波浸水域と延焼地区以外回線数）

イ　携帯電話

・電力の被害想定結果として得られた停電率と固定電話回線の被害想定結果として得られた不通回線率（固定電話回線数に対する不通回線数の割合）から，携帯電話の不通ランクをメッシュごとに 3 段階で評価する。なお，通話規制による輻輳については考慮しない。

■携帯電話不通ランク判定フロー



【算出式】

ランク A＝(停電率＞50% or 不通回線数＞50%)

ランク B＝(停電率＞40% or 不通回線数＞40%)

ランク C＝(停電率＞30% or 不通回線数＞30%)

■携帯電話不通ランク判定基準

ランク	状況	判定基準
ランク A	非常につながりにくい	停電率，不通回線率の少なくとも一方が 50%を超える。
ランク B	つながりにくい	停電率，不通回線率の少なくとも一方が 40%を超える。
ランク C	ややつながりにくい	停電率，不通回線率の少なくとも一方が 30%を超える。

【復旧予測】

・東日本大震災等での復旧状況を考慮し，津波浸水により建物全壊した需要家数に相当する不通回線数は，応急復旧対象から除くこととした。

（５）ガス

県内の低圧導管ブロックを対象として，供給停止戸数を算出する。

想定手法は，中央防災会議「東南海，南海地震等に関する専門調査会」(2007)をベースに，津波浸水及び停電による被害については内閣府（2025）の方法を用いる。

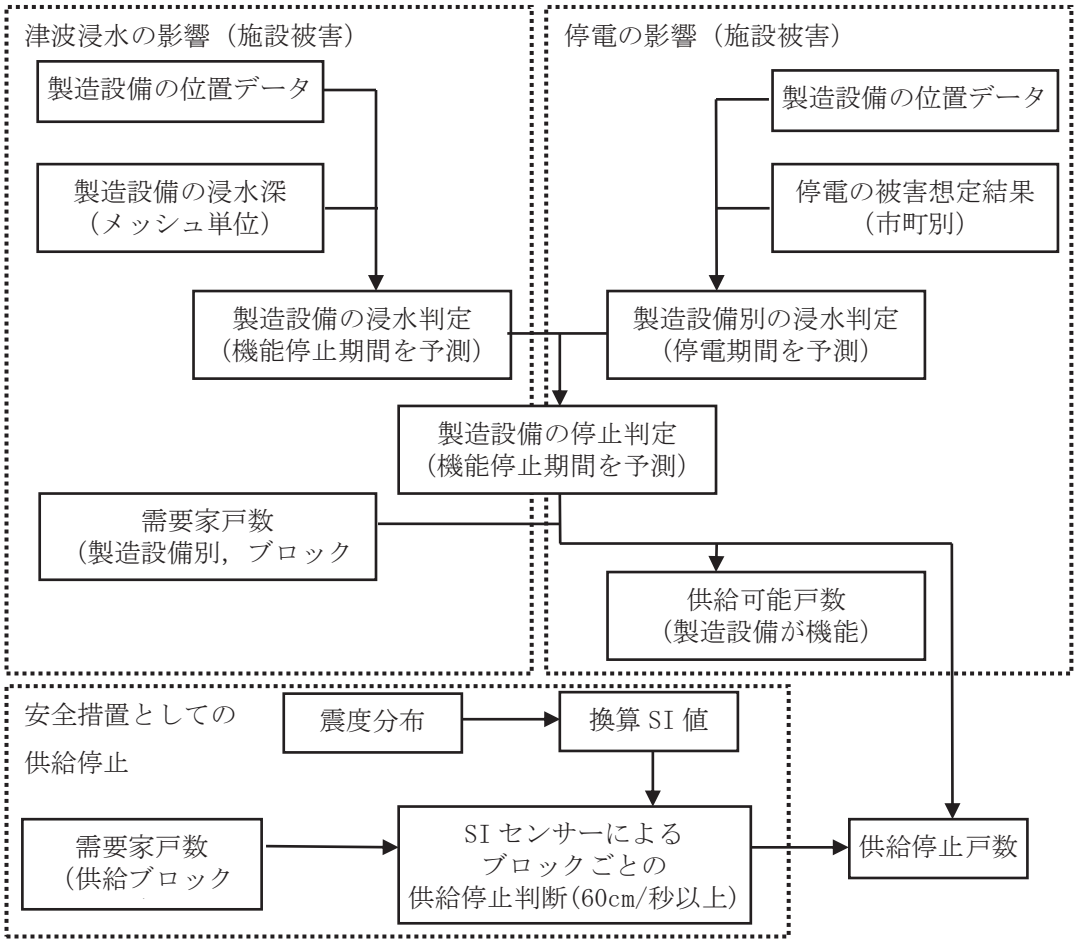
① ガス設備データ

山口合同ガス（株），宇部市ガス水道局の協力により，供給ブロックごとの供給世帯数及びSIセンサー位置の情報を整理する。

② 想定手法

・津波浸水，停電の影響及び，地震動の強いエリアを中心とした安全措置としての供給停止から供給停止戸数を算出する。

■ガス供給停止件数の算出フロー



【津波浸水の影響（施設被害）】

・津波浸水の影響として，製造設備の浸水被害を考慮する。

・製造設備位置の浸水深（10m メッシュ）が 1m 以上の場合に機能停止とする。

【停電の影響（施設被害）】

・停電の影響は，製造設備の停電の予測結果から算出する。

・製造設備位置の停電率（250m メッシュ）が 50%以上の場合に機能停止とする。

【安全措置としての供給停止】

・供給ブロックの全域が震度 6 強を超過した場合は，ブロック内の全ての地域で SI 値が 60cm/s を超過しているものとみなし，即時停止とする。

・また，震度 6 弱の地域においては，SI 値が 60cm/s を超過しているものと考えられる地域のみ供給停止する。

・SI 値は，童・山崎(1996)による次式により震度から算出する。

$$SI = 10^{(-1.16+0.50 \cdot I)}$$

ここに，I　：震度

SI　：SI 値(cm/s)

《 生活支障 》

（1）避難者

津波浸水，建物被害，ライフライン被害に伴い，発災当日・1 日後，1 週間後，1 ヶ月後の避難所生活者数又は避難所外避難者数を市町単位に算出する。

想定手法は，津波浸水区域外と浸水区域内に分けて算出する。

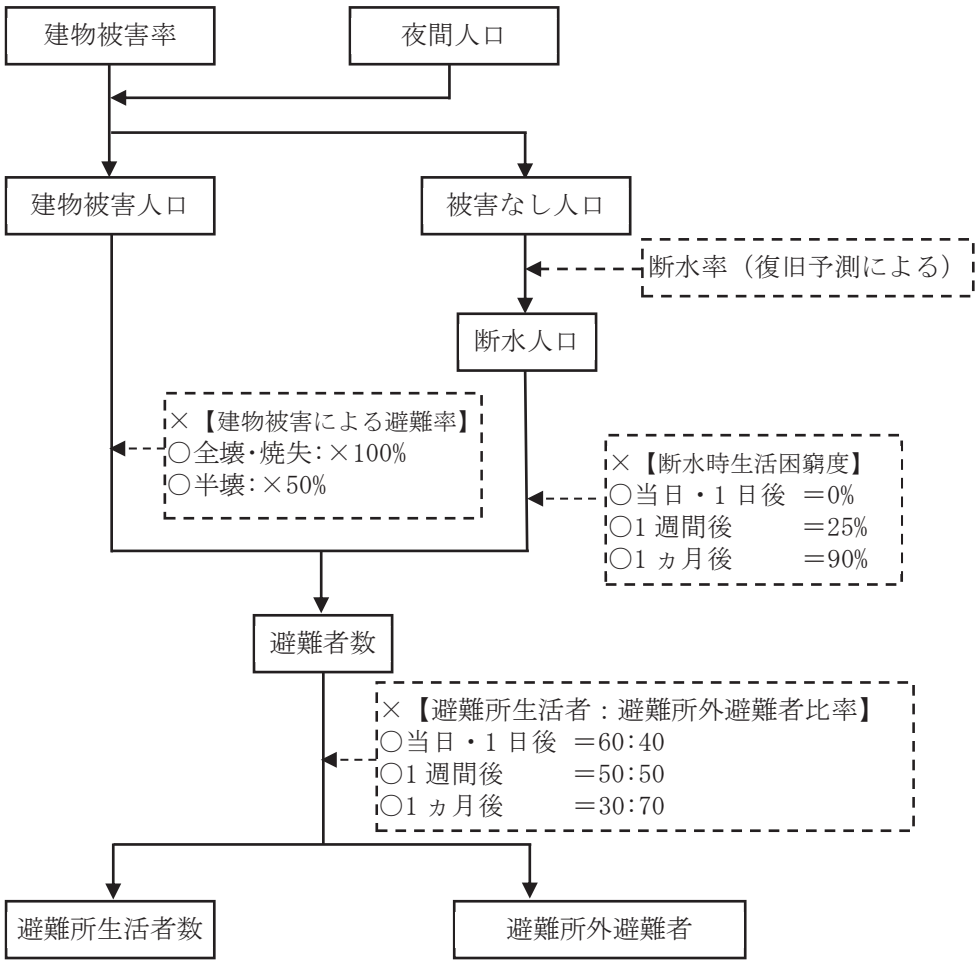
【算出式】

避難者数＝津波浸水区域外（避難所生活者数＋避難所外避難者数）＋浸水区域内（避難所生活者数＋避難所外避難者数）

① 津波浸水区域外

・津波浸水区域外における避難者は，建物被害による避難者と，ライフライン被害による避難者に分けて算出する。

■避難者数の算出フロー（津波浸水区域外）

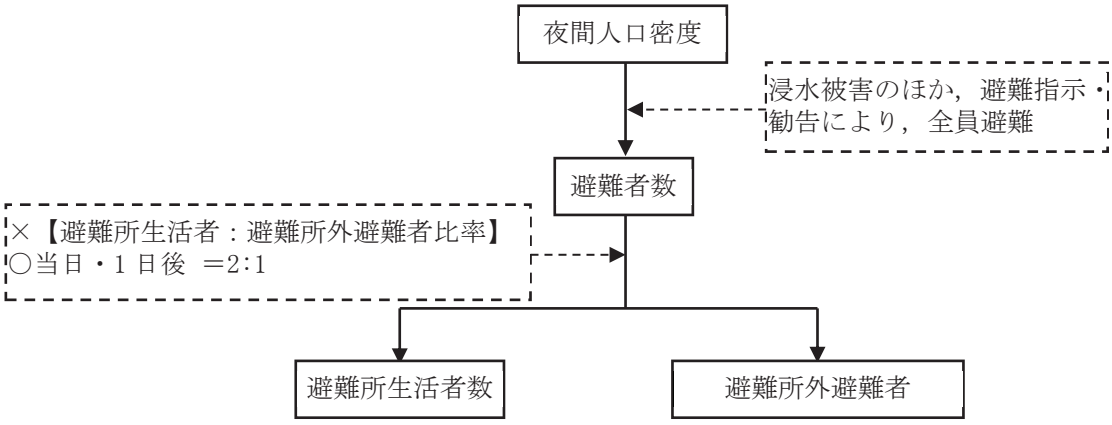


② 津波浸水区域内

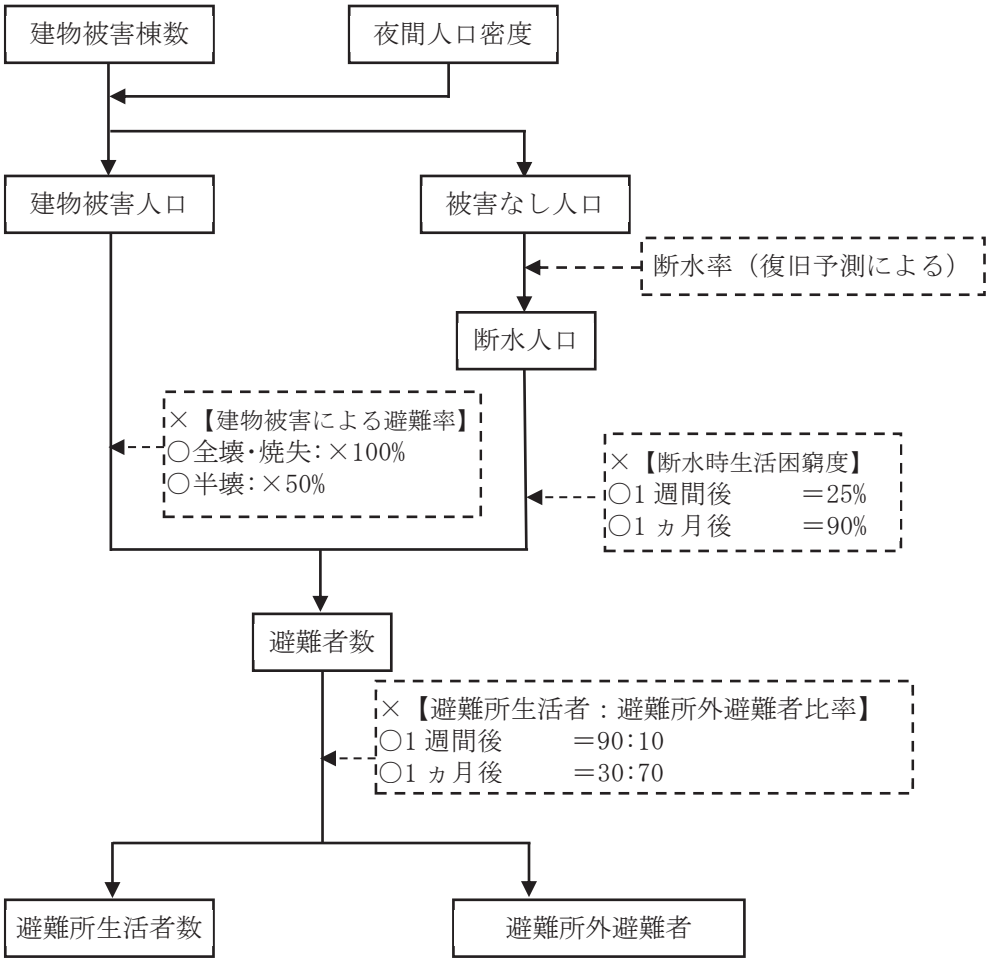
・発災後 3 日目までは，浸水被害のほか，避難指示・勧告によって，全員が避難すると考える。

・発災後 4 日目以降では，建物被害による避難者と，ライフライン被害による避難者に分けて算出する。

■避難者数の算出フロー（津波浸水区域内：3 日目まで）



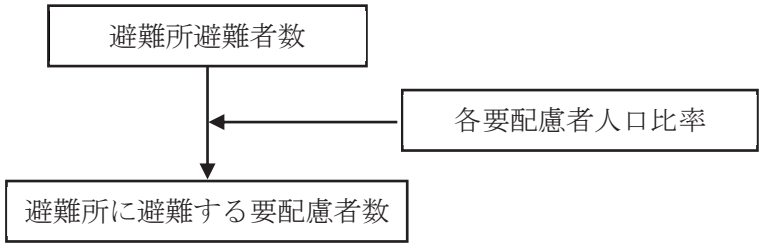
■避難者数の算出フロー（津波浸水区域内：4 日目以降）



（２）要配慮者

要配慮者の人口比率と避難所避難者数より，避難所に避難する要配慮者数を算定する。

■要配慮者数の算定フロー



① 対象とする要配慮者

対象とする要配慮者は以下に示すとおりとし，※1～7 までの調査結果を基本に要配慮者数を把握する。

■対象とする要配慮者数(1)

（単位：人）

市町	65 歳以上の単身高齢者※1	5 歳未満の乳幼児※1	身体障害者※2	知的障害者※2	精神障害者※3
下関市	19483	6740	5251	951	3050
宇部市	10685	4955	3051	614	1755
山口市	10370	6191	3481	657	2015
萩市	4339	775	972	214	456
防府市	6832	3981	2047	457	1104
下松市	3432	2402	793	194	432
岩国市	9979	3634	2467	486	1523
光市	3345	1420	740	200	417
長門市	2844	577	666	140	349
柳井市	2797	695	565	116	328
美祢氏	1663	336	540	110	212
周南市	9281	4080	2201	555	1197
山陽小野田市	4111	1621	1084	203	543
周防大島町	2147	200	374	71	176
和木町	365	212	88	20	44
上関町	441	29	65	11	22
田布施町	941	317	282	72	116
平生町	819	229	197	47	111
阿武町	333	55	73	18	38
合計	94207	38449	24937	5136	13888

■対象とする要配慮者数(2)

（単位：人）

市町	要介護認定者※4	難病患者※5	妊産婦※6	外国人※7
下関市	89693	2676	1163	5293
宇部市	53333	1917	860	2549
山口市	56779	1866	1049	2583
萩市	19040	484	134	491
防府市	35176	1189	700	2151
下松市	16621	492	471	863
岩国市	45879	1164	673	2570
光市	17558	458	219	551
長門市	13791	360	100	566
柳井市	11700	304	144	282
美祢氏	9664	240	54	254
周南市	45710	1315	737	1994
山陽小野田市	20800	779	295	935
周防大島町	7642	153	36	131
和木町	1695	52	39	101
上関町	1323	28	1	4
田布施町	5423	148	49	88
平生町	4441	88	41	146
阿武町	1530	37	10	29
合計	457798	13750	6775	21581

※1　令和 2 年度国勢調査
※2　山口県提供データ「身体障害者手帳」及び「療育手帳」(令和 7 年 3 月時点)
※3　山口県提供データ「精神障害者保険福祉手帳」（令和 7 年 3 月時点）
※4　山口県提供データ「介護保険者数」（令和 7 年 3 月時点）
※5　山口県提供データ「難病患者数」（令和 7 年 3 月時点）
※6　令和 6 年山口県市町年齢別推計人口　山口県 HP（令和 6 年 10 月時点）
※7　山口県提供データ（令和 6 年 12 月時点）

② 避難所に避難する要配慮者数（避難所避難者数の内数）

「（1）避難者」で算定された当日・1 日後，1 週間後，1 ヶ月後の避難所避難者数に要配慮者の人口比率を乗じることで，それぞれの時期における要配慮者数を算定する。

（３）帰宅困難者

各地区に外出する通勤，通学者のデータをもとに、外出者数、帰宅困難者数及び滞留者数を算定した。

① 外出者数の算定

外出者は、居住ゾーンから通勤・通学していて、地震後の混乱の中で安全確保のために少なくともしばらくの間は待機する必要がある者の人数を算定した。

算出に当たって外出者は、令和 2 年国勢踏査結果の集計表の「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」による各市町外からの通勤者・通学者数としており、旅行者や買い物客は含んでいない。

② 帰宅困難者数の算定

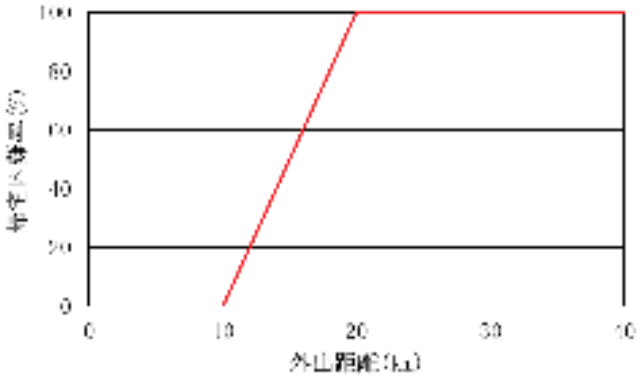
帰宅困難者数は、代表交通手段が鉄道、バス、自動車及び二輪車の「帰宅距離別滞留人口」に対して、首都直下地震(2025)の外出距離別帰宅困難率を乗じて算定した。

また、想定するシーンは、外出者数が最も多い昼 12 時とし、算定に当たっては、次の前提を設定した。

なお、本調査の推計における帰宅困難者数の中には、勤務先や学校などの屋内に留まる者も含まれる。

1) 代表交通手段が徒歩または自転車の場合、災害時においても徒歩または自転車で帰宅すると考え、全員が「帰宅可能」とみなす。
2) 通勤・通学者の利用交通機関の設定においては、令和 2 年国勢調査結果の小地域集計表を用いて、移動距離と利用手段の割合から設定する。
3) 外出距離別帰宅困難率は、首都直下地震(2025)の下図を使って算定するものとし、外出距離には「市町役場間の直線距離」を用いる。

■外出距離別の帰宅困難率



③ 滞留者数の算定

地震後しばらくして混乱が収まり、帰宅が可能となる状況となった場合において、遠距離等の理由により外出先で足止めされ、滞留する人口を算定した。

想定するシーン及び前提は、帰宅困難者と同様とした。

なお、本調査の推計における滞留者数の中には、勤務先や学校などの屋内に留まる者も含まれる。

《 直接経済被害 》

経済被害の対象を直接被害額として，被害を受けた施設及び資産の復旧，再建に要する費用を被害額として算定する。

次の表の①被害量(物的被害の想定結果)に②原単位（単位当たり復旧額等）を乗ずることにより算定する。

資産等の被害額＝

被害量（物的被害の想定結果）× ②原単位（単位当たり復旧額等）

■資産等の被害（その 1）

定量評価対象項目		①被害量	②原単位	原単位の出典
建物	木造住宅	被害のあった住宅数(注 1) (全壊棟数+半壊棟数×0.5)	新規住宅 1 棟当たり工事必要単価【市町】(注 2) (木造住宅の工事費予定額の合計 /木造住宅の数の合計)	着工建築物 : 市町別，構造別（建築物の数，床面積の合計，工事費予定額）（令和元年度） 着工建築物 : 市町別，用途別（大分類）（建築物の数，床面積の合計，工事費予定額）（令和元年度）
	木造非住宅 (事務所，工場建屋)	被害のあった建物数(注 1) (全壊棟数+半壊棟数×0.5)	新規建物 1 棟当たり工事必要単価【市町】(注 2) (木造非住宅の工事費予定額の合計 /木造非住宅の数の合計)	
	非木造住宅	被害のあった住宅数(注 1) (全壊棟数+半壊棟数×0.5)	新規住宅 1 棟当たり工事必要単価【市町】(注 2) (非木造住宅の床面積当たり工事費予定額 ×1 棟当たり床面積)	
	非木造非住宅 (事務所，工場建屋)	被害のあった建物数(注 1) (全壊棟数+半壊棟数×0.5)	新規建物 1 棟当たり工事必要単価【市町】(注 2) (非木造非住宅の床面積当たり工事費予定額 ×1 棟当たり床面積)	
資産	家庭用品	被害のあった住宅の建物数 (全壊棟数+半壊棟数×0.5)	1 世帯当たり評価単価【県】	国土交通省治水経済マニュアル（令和 4 年評価額） 令和 6 年経済センサス
	償却資産	建物被害率(非住宅の全壊建物率＋半壊建物率)	償却資産評価額【市区町】 (産業分類別従業者 1 人当たり評価額【市区町】 ×産業分類別従業者数【市区町】)	
	棚卸資産 (在庫)	同上	在庫資産評価額【市区町】 (産業分類別従業者 1 人当たり評価額【市区町】 ×産業分類別従業者数【市区町】)	

注 1：実際には全壊家屋の全てが建替えとならず，一部補修となる場合もある。

注 2：建替え時の費用は最近の住宅，非住宅 1 棟当たりの価格と同等であると仮定。

■資産等の被害（その 2）

定量評価対象項目		①被害量	②原単位	原単位の出典
ライフライン	上水道	断水人口	人口当たり復旧額	阪神・淡路大震災での復旧額データ
	下水道	管渠被害延長	管渠被害延長当たり復旧額	国土交通省（東日本大震災の実績）
	電力	被害電柱数	電柱 1 本当たり復旧額(発電所被害を除く)	電力事業者（東日本大震災の実績）
	通信	不通回線数(固定電話)	回線当たり復旧額	阪神・淡路大震災での復旧額データ
	都市ガス	延べ復旧作業日数	支障戸数 1 戸当たりの復旧額	東日本大震災の実績
交通施設	道路	被害箇所数	箇所当たり復旧額(道路種別)	各施設管理者（東日本大震災，阪神淡路大震災の実績）
	鉄道	被害箇所数	箇所当たり復旧額	
	港湾	被災岸壁数	岸壁当たり復旧額	
	その他の公共土木施設	道路，下水道等と公共土木施設等の復旧費を比較することで推計		宮城県「東日本大震災による被害額　平成 25 年 3 月 11 日現在」
土地	農地	浸水被害推定面積	浸水被害面積当たり復旧事業費	農林水産省（東日本大震災の実績）
その他	災害廃棄物	災害廃棄物発生量	1t 当たり処理費用	阪神・淡路大震災での復旧額データ

参考資料８

旧市町村別被害想定結果（案）

旧市町村別 被害想定結果（案）
（建物被害）

旧市町村別建物被害

- 旧市町村別総括表（全壊棟数、半壊棟数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

現19市町	旧56市町村	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数	半壊棟数									合計※2
		木造				小計	非木造				小計				木造				小計	非木造				小計	
		揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波					揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	下関市	0	83	0	227	309	0	2	0	13	15	324	0	324	0	176	0	898	1,073	0	45	0	170	215	1,288
	菊川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	0	371	0	414	785	0	6	0	81	86	871	0	871	11	1,083	0	2,742	3,836	42	338	0	1,145	1,525	5,360
	楠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口市	山口市	0	28	0	300	328	0	*0	0	40	40	368	0	368	0	78	0	755	833	0	16	0	214	230	1,063
	徳地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	0	67	0	8	75	0	*0	0	*0	1	76	0	76	0	201	0	141	343	0	28	0	25	54	396
	小郡町	0	0	0	*0	*0	0	0	0	*0	*0	*0	0	*0	0	0	0	9	9	0	0	0	2	2	11
	阿知須町	0	1	0	4	5	0	*0	0	*0	*0	5	0	5	1	5	0	62	67	3	1	0	12	16	83
	阿東町	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	3
萩市	萩市	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1	0	4	0	0	4	0	1	0	0	1	5
	川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2
	須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
防府市	防府市	0	138	0	120	258	0	5	0	33	38	296	0	296	0	441	0	769	1,210	0	284	0	425	709	1,919
下松市	下松市	0	13	0	6	19	0	*0	0	1	2	21	0	21	*0	42	0	261	304	1	22	0	112	135	439
岩国市	岩国市	190	556	16	1,191	1,953	88	9	4	256	357	2,310	184	2,494	2,282	1,640	34	6,371	10,327	332	545	9	2,990	3,876	14,203
	由宇町	0	201	*0	38	239	0	3	*0	4	6	245	5	250	30	609	*0	300	938	16	152	*0	80	248	1,186
	玖珂町	0	8	0	0	8	0	*0	0	0	*0	8	9	17	1	27	0	0	29	6	7	0	0	13	42
	本郷村	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	0	*0	*0	*0	*0	3	0	*0	0	3	1	0	*0	0	1	4
	周東町	0	34	0	0	34	0	*0	0	0	*0	34	5	39	7	106	0	0	112	15	27	0	0	43	155
	錦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	*0	0	0	0	*0	*0	0	0	0	*0	*0
	美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*0	*0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美和町	0	2	*0	0	2	0	*0	*0	0	*0	2	*0	3	19	8	1	0	27	10	1	*0	0	11	38

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 木造および非木造の半壊棟数合計値
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※4 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

旧市町村別建物被害

- 旧市町村別総括表（全壊棟数、半壊棟数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

現19市町	旧56市町村	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数	半壊棟数									合計※2
		木造				小計	非木造				小計				木造				小計	非木造				小計	
		揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波					揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
光市	光市	0	273	*0	21	295	0	4	*0	2	6	301	0	301	5	843	*0	88	936	13	246	*0	21	281	1,216
	大和町	0	11	0	0	11	0	*0	0	0	*0	11	0	11	1	32	0	0	33	1	7	0	0	9	41
長門市	長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	110	91	1	553	755	26	1	*0	74	101	856	36	892	704	299	1	2,363	3,367	95	38	*0	912	1,046	4,413
	大畠町	1	78	*0	24	104	*0	1	*0	2	3	106	*0	106	32	225	*0	148	405	7	32	*0	24	63	468
美祢市	美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美東町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋芳町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	0	9	0	21	30	0	*0	0	5	5	36	0	36	1	30	0	255	286	7	17	0	114	137	424
	新南陽市	0	19	0	224	243	0	1	0	52	53	296	0	296	1	67	0	1,171	1,240	33	59	0	606	698	1,938
	熊毛町	0	167	*0	0	167	0	2	*0	0	2	169	0	169	2	440	*0	0	442	5	119	*0	0	123	565
	鹿野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市	小野田市	0	62	0	789	850	0	1	0	104	105	955	0	955	0	201	0	2,537	2,738	0	45	0	778	823	3,561
	山陽町	0	0	0	219	219	0	0	0	30	30	249	0	249	0	0	0	219	219	0	0	0	60	60	279
周防大島町	久賀町	10	278	*0	17	305	1	1	*0	1	3	308	*0	308	228	586	*0	104	918	12	49	*0	10	72	990
	大島町	9	126	1	178	313	2	1	*0	9	11	324	4	329	225	314	2	906	1,448	19	38	*0	121	179	1,626
	東和町	13	131	2	75	221	1	*0	*0	1	2	223	2	225	241	278	3	399	921	7	20	*0	17	44	965
	橘町	7	44	1	79	130	1	*0	*0	2	3	134	1	134	257	111	3	566	936	12	6	*0	40	58	994
和木町	和木町	12	61	*0	128	201	13	1	*0	14	28	229	*0	229	162	161	*0	741	1,064	31	68	1	200	300	1,364
上関町	上関町	1	8	1	34	44	*0	*0	*0	2	3	47	0	47	70	20	3	210	303	11	2	*0	31	44	347
田布施町	田布施町	4	127	1	43	174	1	1	*0	4	7	181	*0	181	77	354	1	375	807	30	82	*0	104	217	1,024
平生町	平生町	1	96	1	362	460	*0	1	*0	40	42	502	*0	502	117	321	2	1,704	2,143	40	70	*0	465	575	2,718
阿武町	阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計		359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738	4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 木造および非木造の半壊棟数合計値
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※4 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

旧市町村別建物被害

- 旧市町村別総括表（全壊棟数、半壊棟数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

現19市町	旧56市町村	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数	半壊棟数									合計※2
		木造				小計	非木造				小計				木造				小計	非木造				小計	
		揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波					揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	下関市	1	314	*0	15	330	*0	7	*0	1	9	339	0	339	57	1,011	*0	144	1,212	28	373	*0	16	418	1,630
	菊川町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	2
	豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2	0	7	0	0	7	0	1	0	0	1	8
	豊北町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
宇部市	宇部市	233	574	*0	105	912	58	9	*0	19	87	999	379	1,378	1,390	1,766	1	1,481	4,638	404	558	*0	582	1,543	6,181
	楠町	0	5	0	0	5	0	*0	0	0	*0	5	2	7	3	18	0	0	21	6	5	0	0	11	32
山口市	山口市	180	782	2	99	1,063	19	7	*0	12	38	1,101	211	1,313	740	3,100	5	501	4,346	168	396	1	144	708	5,055
	徳地町	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	*0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2
	秋穂町	422	157	*0	2	581	25	1	*0	*0	26	607	5	613	739	447	*0	28	1,215	35	63	*0	7	105	1,320
	小郡町	*0	5	*0	*0	5	*0	*0	*0	*0	*0	6	45	51	35	24	1	5	65	68	9	*0	1	79	144
	阿知須町	346	4	*0	1	351	18	*0	*0	*0	18	369	4	373	681	15	*0	20	716	47	3	*0	5	55	771
	阿東町	0	4	0	0	4	0	*0	0	0	*0	4	2	7	1	12	0	0	12	1	2	0	0	2	14
萩市	萩市	0	175	0	0	175	0	2	0	0	2	177	0	177	0	484	0	0	484	0	90	0	0	90	574
	川上村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
	田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
	須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
防府市	防府市	1,521	339	7	36	1,903	368	12	4	10	395	2,297	1,707	4,004	4,118	1,124	13	167	5,422	850	711	8	102	1,670	7,093
下松市	下松市	0	81	0	2	83	0	2	0	*0	2	85	*0	85	12	260	0	12	284	64	115	0	5	184	468
岩国市	岩国市	0	22	0	125	146	0	*0	0	37	37	184	0	184	0	61	0	3,218	3,279	0	17	0	1,333	1,350	4,628
	由宇町	0	1	0	4	5	0	*0	0	*0	*0	5	0	5	0	3	0	35	38	0	1	0	9	10	48
	玖珂町	0	3	0	0	3	0	*0	0	0	*0	3	0	3	0	10	0	0	10	0	3	0	0	3	13
	本郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	周東町	0	15	0	0	15	0	*0	0	0	*0	15	0	15	0	48	0	0	48	0	12	0	0	12	60
	錦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 木造および非木造の半壊棟数合計値
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※4 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

旧市町村別建物被害

- 旧市町村別総括表（全壊棟数、半壊棟数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

現19市町	旧56市町村	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数	半壊棟数									合計※2
		木造				小計	非木造				小計				木造				小計	非木造				小計	
		揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波					揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
光市	光市	0	391	0	5	397	0	6	0	1	7	404	0	404	1	1,184	0	56	1,241	28	367	0	13	408	1,650
	大和町	0	15	0	0	15	0	*0	0	0	*0	16	0	16	0	45	0	0	45	0	10	0	0	10	55
長門市	長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
柳井市	柳井市	0	31	0	60	92	0	*0	0	14	14	106	0	106	0	98	0	1,363	1,461	0	10	0	528	539	1,999
	大畠町	0	33	0	4	37	0	*0	0	*0	*0	38	0	38	0	98	0	23	122	0	13	0	4	17	138
美祢市	美祢市	0	2	*0	0	2	0	*0	*0	0	*0	2	0	2	4	5	*0	0	10	14	1	*0	0	15	25
	美東町	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1	*0	2	0	0	2	1	1	0	0	1	3
	秋芳町	0	1	*0	0	1	0	*0	*0	0	*0	1	0	1	1	2	*0	0	3	4	*0	*0	0	5	8
周南市	徳山市	1	56	2	7	66	1	1	*0	1	4	71	31	102	129	185	5	63	382	166	74	1	26	267	649
	新南陽市	4	69	1	28	102	17	2	*0	9	28	131	12	143	142	234	1	591	967	140	140	*0	285	565	1,533
	熊毛町	0	188	0	0	188	0	2	0	0	2	191	4	194	*0	523	0	0	523	1	148	0	0	150	672
	鹿野町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	*0	*0	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
山陽小野田市	小野田市	4	142	*0	162	307	2	2	*0	22	26	334	29	363	126	471	*0	1,579	2,176	40	109	*0	441	590	2,766
	山陽町	0	49	*0	70	119	0	1	*0	6	6	126	6	132	15	146	*0	163	324	20	32	*0	40	91	415
周防大島町	久賀町	0	11	0	5	16	0	*0	0	*0	*0	16	0	16	0	26	0	31	58	0	2	0	3	5	63
	大島町	0	0	0	17	17	0	0	0	1	1	18	0	18	0	0	0	102	102	0	0	0	9	9	111
	東和町	0	2	0	23	24	0	*0	0	*0	*0	24	0	24	0	4	0	116	121	0	*0	0	3	4	124
	橘町	0	4	0	20	25	0	*0	0	1	1	25	0	25	0	12	0	95	107	0	1	0	7	7	114
和木町	和木町	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1	6	0	6	0	0	0	260	260	0	0	0	77	77	337
上関町	上関町	0	*0	0	12	12	0	*0	0	1	1	13	0	13	0	*0	0	53	53	0	*0	0	8	8	61
田布施町	田布施町	0	92	0	5	97	0	1	0	*0	1	98	0	98	0	251	0	76	327	0	59	0	21	81	408
平生町	平生町	0	4	0	72	76	0	*0	0	8	8	84	0	84	0	12	0	767	780	0	2	0	214	217	997
阿武町	阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343	8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 木造および非木造の半壊棟数合計値
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※4 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

旧市町村別 被害想定結果（案）
（人的被害）

旧市町村別人的被害

- 旧市町村別総括表（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

【人的被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1,2,5,10,11、冬・深夜または盆・夜、風速15m/s

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）［負傷者の内数］※2						自力脱出困難者※3（人）
		原因別						原因別						原因別						
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4	土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4	土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4	土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	
下関市	下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	1 (1)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
	菊川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	13 (8)	0	*0	1	1	15	1 (1)	0	*0	*0	*0	2	0
	楠町	0 (0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
山口市	山口市	*0 (*0)	0	*0	11	0	11	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	徳地町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	小郡町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	阿知須町	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	1 (1)	0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	阿東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	川上村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	0	*0	0
	田万川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	むつみ村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	須佐町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	旭村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	福栄村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	岩国市	13 (4)	1	*0	42	0	57	506 (75)	2	7	1	37	553	37 (16)	1	2	*0	14	55	58
	由宇町	*0 (*0)	*0	*0	8	0	8	7 (1)	*0	*0	0	1	8	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
	玖珂町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	2 (1)	0	*0	0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	本郷村	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	1 (*0)	*0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	周東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	4 (1)	0	*0	0	*0	4	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	錦町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美和町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	5 (*0)	*0	*0	0	*0	5	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0

※1 「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2 「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※3 「津波ケース1,2,5,10,11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※4 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。
※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※7 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別人的被害

- 旧市町村別総括表（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

【人的被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1,2,5,10,11、冬・深夜または盆・夜、風速15m/s

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1							負傷者（人）※2							重傷者（人）［負傷者の内数］※2							自力脱出困難者※3（人）
		原因別							原因別							原因別							
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4		土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4		土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4		土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	
光市	光市	*0	(*0)	*0	*0	5	0	5	4	(4)	*0	*0	0	1	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
	大和町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
長門市	長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	8	(1)	*0	*0	50	0	58	474	(31)	*0	2	1	11	487	52	(7)	*0	*0	1	4	57	26
	大畠町	*0	(*0)	*0	*0	9	0	9	9	(1)	*0	*0	*0	1	10	*0	(*0)	*0	*0	*0	*0	1	0
美祢市	美祢市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
	美東町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
	秋芳町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	*0	(*0)	0	*0	26	0	26	4	(4)	0	*0	*0	*0	4	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	0
	新南陽市	*0	(*0)	0	*0	49	0	49	9	(2)	0	*0	*0	*0	9	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	熊毛町	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	2	(2)	*0	*0	0	*0	2	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	鹿野町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
山陽小野田市	小野田市	*0	(*0)	0	*0	18	0	18	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	山陽町	*0	(*0)	0	*0	10	0	10	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周防大島町	久賀町	1	(*0)	*0	*0	7	0	8	43	(1)	*0	*0	0	1	44	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	1	1
	大島町	1	(*0)	*0	*0	17	0	18	48	(2)	*0	*0	*0	1	50	*0	(*0)	*0	*0	*0	*0	1	1
	東和町	1	(*0)	*0	*0	11	0	12	39	(1)	*0	*0	0	1	41	1	(*0)	*0	*0	*0	*0	2	1
	橘町	*0	(*0)	*0	*0	12	0	12	39	(2)	*0	*0	0	2	41	*0	(*0)	*0	*0	0	1	1	0
和木町	和木町	1	(*0)	*0	*0	7	0	8	36	(4)	*0	*0	*0	2	38	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	上関町	*0	(*0)	*0	*0	10	0	10	12	(*0)	*0	*0	*0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	田布施町	*0	(*0)	*0	*0	4	0	5	22	(4)	*0	*0	*0	1	24	1	(1)	*0	*0	0	1	1	1
平生町	平生町	*0	(*0)	*0	*0	82	0	82	75	(2)	*0	*0	*0	3	78	*0	(*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計		26	(6)	2	*0	474	0	502	1,362	(156)	3	11	4	67	1,446	98	(31)	1	3	1	26	129	91

※1 「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2 「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※3 「津波ケース1, 2, 5, 10, 11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※4 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。
※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※7 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別人的被害

- 旧市町村別総括表（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

【人的被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ・横ずれあり、冬･深夜または盆･夜、風速15m/s

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1							負傷者（人）※2							重傷者（人）［負傷者の内数］※2							自力脱出困難者※3（人）
		原因別							原因別							原因別							
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4		土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4		土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4		土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	
下関市	下関市	*0	(*0)	*0	*0	7	0	8	71	(15)	*0	*0	2	16	89	2	(2)	*0	*0	1	6	9	0
	菊川町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	豊田町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0
	豊浦町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
	豊北町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
宇部市	宇部市	16	(4)	*0	*0	21	0	37	352	(73)	*0	15	2	65	434	26	(15)	*0	4	1	26	56	73
	楠町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	2	(1)	0	*0	0	1	3	*0	(*0)	0	*0	0	*0	1	0
山口市	山口市	12	(2)	*0	*0	11	0	24	258	(38)	*0	8	*0	74	341	21	(7)	*0	2	*0	29	52	46
	徳地町	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	0	(0)	*0	*0	0	*0	*0	0	(0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	秋穂町	29	(2)	*0	*0	1	0	30	210	(21)	*0	1	0	6	217	43	(5)	*0	*0	0	2	45	64
	小郡町	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	23	(6)	*0	2	0	12	38	1	(1)	*0	1	0	5	7	0
	阿知須町	23	(2)	*0	*0	1	0	25	170	(34)	*0	1	*0	13	184	30	(7)	*0	*0	*0	5	35	64
	阿東町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	萩市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	川上村	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0
	田万川町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
	むつみ村	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
	須佐町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
	旭村	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	福栄村	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	防府市	105	(19)	1	10	54	0	170	1,080	(246)	1	68	2	120	1,271	170	(54)	*0	19	1	47	237	462
下松市	下松市	*0	(*0)	0	*0	6	0	6	21	(8)	0	*0	*0	22	43	1	(1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	岩国市	0	(0)	0	0	36	0	36	0	(0)	0	0	4	1	5	0	(0)	0	0	1	*0	2	0
	由宇町	0	(0)	0	0	8	0	8	0	(0)	0	0	1	*0	1	0	(0)	0	0	*0	*0	*0	0
	玖珂町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	2	2	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	0
	本郷村	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
	周東町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	錦町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美川町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0
	美和町	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0	(0)	0	0	0	*0	*0	0

※1 「主部区間 縦ずれのみ」の「冬･深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2 「主部区間 横ずれあり」の「盆･夜 風速15m/s」を設定したケース
※3 「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬･深夜 風速15m/s」
※4 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。
※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※7 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別人的被害

- 旧市町村別総括表（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

【人的被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ・横ずれあり、冬･深夜または盆･夜、風速15m/s

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）［負傷者の内数］※2						自力脱出困難者※3（人）
		原因別						原因別						原因別						
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4	土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4	土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※4	土砂災害	火災	津波※5	その他※6	合計	
光市	光市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	6 (4)	0	*0	*0	11	17	1 (1)	0	*0	*0	4	5	0
	大和町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
長門市	長門市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	油谷町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	柳井市	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	5	3	8	0 (0)	0	0	2	1	3	0
	大畠町	0 (0)	0	0	9	0	9	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
美祢市	美祢市	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	4 (1)	*0	*0	0	2	6	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
	美東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	秋芳町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	1 (*0)	*0	*0	0	1	2	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
周南市	徳山市	1 (1)	*0	*0	25	0	27	90 (21)	*0	2	1	40	133	4 (4)	*0	*0	*0	15	20	1
	新南陽市	*0 (*0)	*0	*0	38	0	38	65 (10)	*0	1	1	9	76	2 (2)	*0	*0	*0	4	6	3
	熊毛町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (1)	0	*0	0	5	6	*0 (*0)	0	*0	0	2	2	0
	鹿野町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
山陽小野田市	小野田市	*0 (*0)	*0	*0	16	0	16	29 (7)	*0	1	1	8	39	1 (1)	*0	*0	*0	3	5	1
	山陽町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	8 (3)	*0	*0	*0	5	13	1 (1)	*0	*0	*0	2	3	0
周防大島町	久賀町	0 (0)	0	0	7	0	7	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	大島町	0 (0)	0	0	17	0	17	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	東和町	0 (0)	0	0	11	0	11	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	橘町	0 (0)	0	0	19	0	19	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
和木町	和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	上関町	*0 (*0)	0	*0	12	0	12	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	田布施町	*0 (*0)	0	*0	4	0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	1	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	平生町	*0 (*0)	0	*0	76	0	76	*0 (*0)	0	*0	1	1	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計		188 (32)	1	10	452	0	652	2,391 (491)	2	99	26	422	2,939	303 (103)	1	28	9	165	505	714

※1 「主部区間 縦ずれのみ」の「冬･深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2 「主部区間 横ずれあり」の「盆･夜 風速15m/s」を設定したケース
※3 「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬･深夜 風速15m/s」
※4 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。
※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※7 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別 被害想定結果（案）
（避難者数）

旧市町村別避難者数

- 旧市町村別被害総括表（避難者）

【避難者数が最大となるケース（旧市町村）】

南海トラフ巨大地震：ケース11

（単位：人）

旧市町村	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外
下関市	14,268	9,469	5,028	4,799	1,851	1,407	747	444	1,851	555	295	1,295
菊川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	36,340	23,568	11,572	12,772	17,323	11,635	5,713	5,688	17,321	5,196	2,551	12,125
楠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口市	3,954	2,635	1,144	1,319	1,270	1,138	494	133	1,270	381	165	889
徳地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋穂町	2,749	1,800	781	949	1,354	1,021	443	334	1,354	406	176	948
小郡町	443	296	128	148	8	7	3	1	8	2	1	5
阿知須町	2,364	1,574	683	790	103	80	35	24	103	31	13	72
阿東町	29	18	8	12	29	15	6	15	29	9	4	20
萩市	18	11	7	7	18	9	6	9	18	6	3	13
川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
むつみ村	10	6	4	4	10	5	3	5	10	3	2	7
須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福栄村	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	*0	1
防府市	17,271	11,436	5,421	5,835	4,783	3,837	1,819	945	4,783	1,435	680	3,348
下松市	8,193	5,435	2,511	2,758	1,173	893	413	279	1,173	352	163	821
岩国市	60,514	38,849	20,745	21,664	57,783	43,021	22,973	14,762	58,068	17,420	9,302	40,648
由宇町	4,521	2,988	1,595	1,533	2,654	2,226	1,189	428	2,634	790	422	1,844
玖珂町	537	322	172	215	537	269	144	269	537	161	86	376
本郷村	1	1	*0	*0	1	1	*0	1	1	*0	*0	1
周東町	621	373	199	248	623	311	166	311	621	186	100	435
錦町	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0
美川町	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0
美和町	113	68	36	45	116	58	31	58	113	34	18	79

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別避難者数

- 旧市町村別被害総括表（避難者）

【避難者数が最大となるケース（旧市町村）】

南海トラフ巨大地震：ケース11

（単位：人）

旧市町村	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外
光市	9,030	5,711	2,941	3,319	6,633	4,117	2,120	2,517	6,633	1,990	1,025	4,643
大和町	296	177	91	118	296	148	76	148	296	89	46	207
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	12,927	8,475	4,593	4,452	7,224	5,644	3,059	1,580	7,221	2,166	1,174	5,055
大畠町	1,643	1,084	588	559	605	477	258	128	596	179	97	417
美称市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美東町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋芳町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳山市	8,017	5,298	2,516	2,720	1,799	1,337	635	463	1,799	540	256	1,260
新南陽市	11,789	7,852	3,730	3,937	3,630	3,222	1,531	408	3,630	1,089	517	2,541
熊毛町	2,827	1,696	806	1,131	2,825	1,413	671	1,413	2,827	848	403	1,979
鹿野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小野田市	11,869	7,897	4,051	3,973	4,548	3,995	2,050	552	4,548	1,364	700	3,183
山陽町	4,193	2,795	1,434	1,398	373	335	172	37	373	112	57	261
久賀町	1,695	1,113	811	582	776	594	432	181	750	225	164	525
大島町	3,764	2,496	1,817	1,269	1,975	1,693	1,233	282	1,973	592	431	1,381
東和町	2,306	1,530	1,114	775	415	333	242	82	406	122	89	284
橘町	2,711	1,798	1,309	914	612	489	356	123	592	178	129	415
和木町	5,529	3,597	1,662	1,933	3,205	2,367	1,093	838	3,227	968	447	2,259
上関町	1,882	1,254	1,058	629	217	188	158	29	212	64	54	148
田布施町	4,934	3,153	1,728	1,782	3,499	2,328	1,276	1,171	3,498	1,049	575	2,449
平生町	8,360	5,516	2,951	2,844	3,840	3,109	1,664	730	3,811	1,143	612	2,668
阿武町	1	1	*0	*0	2	1	1	1	1	*0	*0	1
合計	245,720	160,290	83,233	85,433	132,110	97,723	51,212	34,387	132,290	39,687	20,758	92,603

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別避難者数

- 旧市町村別被害総括表（避難者）

【避難者数が最大となるケース（旧市町村）】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

（単位：人）

旧市町村	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外
下関市	22,693	13,996	7,432	8,698	19,011	10,311	5,475	8,700	19,009	5,703	3,028	13,307
菊川町	9	5	3	4	9	5	2	5	9	3	1	6
豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊浦町	20	12	6	8	20	10	5	10	20	6	3	14
豊北町	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0
宇部市	62,641	38,896	19,098	23,746	52,028	29,666	14,566	22,362	52,076	15,623	7,671	36,453
楠町	915	549	270	366	915	458	225	458	915	275	135	641
山口市	52,616	31,780	13,793	20,837	52,282	27,262	11,832	25,020	52,308	15,692	6,810	36,616
徳地町	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0
秋穂町	4,835	3,013	1,307	1,822	5,345	3,573	1,551	1,772	5,434	1,630	708	3,804
小郡町	6,068	3,659	1,588	2,409	6,253	3,307	1,435	2,946	6,251	1,875	814	4,376
阿知須町	2,696	1,733	752	964	1,552	957	415	595	1,423	427	185	996
阿東町	531	318	138	212	531	265	115	265	531	159	69	372
萩市	2,297	1,378	837	919	2,297	1,149	697	1,149	2,297	689	418	1,608
川上村	2	1	1	1	2	1	*0	1	2	*0	*0	1
田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
むつみ村	1	*0	*0	*0	1	*0	*0	*0	1	*0	*0	1
須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福栄村	7	4	3	3	7	4	2	4	7	2	1	5
防府市	58,633	35,679	16,912	22,954	63,714	37,108	17,589	26,606	64,040	19,212	9,106	44,828
下松市	6,388	3,936	1,818	2,452	5,492	3,005	1,388	2,487	5,486	1,646	760	3,840
岩国市	26,783	17,808	9,509	8,976	5,505	4,667	2,492	839	5,505	1,652	882	3,854
由宇町	2,636	1,757	938	879	53	47	25	6	53	16	9	37
玖珂町	147	88	47	59	147	73	39	73	147	44	23	103
本郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周東町	193	116	62	77	193	96	51	96	193	58	31	135
錦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別避難者数

- 旧市町村別被害総括表（避難者）

【避難者数が最大となるケース（旧市町村）】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

（単位：人）

旧市町村	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外	全体	避難所	要配慮者	避難所外
光市	12,417	7,623	3,926	4,794	14,430	9,058	4,665	5,373	14,430	4,329	2,229	10,101
大和町	452	271	140	181	452	226	116	226	452	136	70	316
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
油谷町	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	*0	1
柳井市	7,601	5,042	2,733	2,559	1,529	1,225	664	303	1,529	459	249	1,070
大畠町	1,189	791	429	399	154	125	68	29	154	46	25	108
美称市	41	25	14	16	41	21	11	21	41	12	7	29
美東町	3	2	1	1	3	2	1	2	3	1	1	2
秋芳町	29	17	10	12	29	14	8	14	29	9	5	20
徳山市	12,268	7,581	3,601	4,687	10,163	5,515	2,620	4,648	10,045	3,014	1,431	7,032
新南陽市	12,423	7,958	3,780	4,466	9,651	6,721	3,192	2,930	9,578	2,873	1,365	6,705
熊毛町	3,648	2,189	1,040	1,459	3,648	1,824	866	1,824	3,648	1,094	520	2,554
鹿野町	1	1	*0	*0	1	*0	*0	*0	1	*0	*0	1
小野田市	11,628	7,618	3,908	4,010	7,003	5,500	2,822	1,503	6,995	2,099	1,077	4,897
山陽町	3,189	2,085	1,069	1,104	840	509	261	330	839	252	129	588
久賀町	939	625	455	314	39	31	22	8	39	12	8	27
大島町	1,841	1,227	893	614	37	33	24	4	37	11	8	26
東和町	1,711	1,141	830	570	24	22	16	3	24	7	5	17
橘町	1,820	1,213	883	607	43	35	25	8	43	13	9	30
和木町	3,244	2,162	999	1,081	348	313	145	35	348	104	48	243
上関町	1,743	1,162	981	581	26	23	20	3	26	8	7	18
田布施町	2,776	1,770	970	1,006	1,368	747	409	621	1,368	410	225	958
平生町	6,570	4,378	2,342	2,193	714	626	335	88	714	214	115	500
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	335,650	209,610	103,517	126,040	265,900	154,540	74,199	111,360	266,050	79,815	38,188	186,240

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。
※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別 被害想定結果（案）
（災害関連死）

旧市町村別災害関連死

- 旧市町村別被害総括表（災害関連死）

【災害関連死者数が最大となるケース（旧市町）】

南海トラフ巨大地震：ケース11

（単位：人）

旧市町村	災害関連死者	
	最小	最大
下関市	38	76
菊川町	0	0
豊田町	0	0
豊浦町	0	0
豊北町	0	0
宇部市	94	189
楠町	0	0
山口市	11	21
徳地町	0	0
秋穂町	7	14
小郡町	1	2
阿知須町	6	13
阿東町	*0	*0
萩市	*0	*0
川上村	0	0
田万川町	0	0
むつみ村	*0	*0
須佐町	0	0
旭村	0	0
福栄村	*0	*0
防府市	46	91
下松市	22	43
岩国市	155	311
由宇町	12	24
玖珂町	1	3
本郷村	*0	*0
周東町	1	3
錦町	*0	*0
美川町	*0	*0
美和町	*0	1

（単位：人）

旧市町村	災害関連死者	
	最小	最大
光市	23	46
大和町	1	1
長門市	0	0
三隅町	0	0
日置町	0	0
油谷町	0	0
柳井市	34	68
大畠町	4	9
美称市	0	0
美東町	0	0
秋芳町	0	0
徳山市	21	42
新南陽市	31	63
熊毛町	7	14
鹿野町	0	0
小野田市	32	63
山陽町	11	22
久賀町	4	9
大島町	10	20
東和町	6	12
橘町	7	14
和木町	14	29
上関町	5	10
田布施町	13	25
平生町	22	44
阿武町	*0	*0
合計	641	1,282

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

旧市町村別災害関連死

- 旧市町村別被害総括表（災害関連死）

【災害関連死者数が最大となるケース（旧市町）】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

（単位：人）

旧市町村	災害関連死者	
	最小	最大
下関市	56	112
菊川町	*0	*0
豊田町	0	0
豊浦町	*0	*0
豊北町	*0	*0
宇部市	156	311
楠町	2	4
山口市	127	254
徳地町	*0	*0
秋穂町	12	24
小郡町	15	29
阿知須町	7	14
阿東町	1	3
萩市	6	11
川上村	*0	*0
田万川町	0	0
むつみ村	*0	*0
須佐町	0	0
旭村	0	0
福栄村	*0	*0
防府市	143	285
下松市	16	31
岩国市	71	142
由宇町	7	14
玖珂町	*0	1
本郷村	0	0
周東町	*0	1
錦町	0	0
美川町	0	0
美和町	0	0

（単位：人）

旧市町村	災害関連死者	
	最小	最大
光市	30	61
大和町	1	2
長門市	0	0
三隅町	0	0
日置町	0	0
油谷町	*0	*0
柳井市	20	40
大畠町	3	6
美称市	*0	*0
美東町	*0	*0
秋芳町	*0	*0
徳山市	30	61
新南陽市	32	64
熊毛町	9	18
鹿野町	*0	*0
小野田市	30	61
山陽町	8	17
久賀町	3	5
大島町	5	10
東和町	5	9
橘町	5	10
和木町	9	17
上関町	5	9
田布施町	7	14
平生町	18	35
阿武町	0	0
合計	838	1,677

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

参考資料９

各市町で建物被害・人的被害が最大となるケース

【各市町で建物被害・人的被害が最大となるケース】

（概要）

・各市町単位で建物被害・人的被害が最大となるケースを整理。

・「被害想定結果」は「山口県全体で被害が災害となるケース」を整理しているため、以降に示す各市町単位での最大ケースの合計とは合致しない。

（以降に示す表の留意事項）

・小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

・1 未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な 0 ではない場合）は、「*0」で表示している。

・土砂災害による被害棟数は、市町ごとの構造別棟数比率で木造と非木造に配分している。

・（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害で、揺れによる建物倒壊被害の内数。

・重傷者は負傷者の内数。

・その他とは、ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害合計を示す。

・発災季節･時間は、原因別のうち被害が最大となる項目のシーンを表示している。

・「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

〈下関市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下関市	全壊・焼失	0	83	0	227	0	2	0	13	0	324	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	0	176	0	898	0	45	0	170	－	1,288	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下関市	死者	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	1 (1)	0	*0	1	0	2	陸側	ケース1	夏・昼
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	*0	0	1	陸側	ケース1	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下関市	死者	*0 (*0)	*0	*0	7	*0	8	ー	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	71 (17)	*0	*0	2	16	89	ー	横ずれあり	盆・夜
	重傷者	3 (3)	*0	*0	1	6	10	ー	横ずれあり	盆・夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下関市	全壊・焼失	0	*0	0	150	0	0	0	16	0	166	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	0	*0	0	627	0	*0	0	225	ー	852	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下関市	死者	0 (0)	0	0	76	0	76	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	0 (0)	0	0	0	*0	*0	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方

〈宇部市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
宇部市	全壊・焼失	0	371	0	414	0	6	0	81	0	871	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	11	1,083	0	2,742	42	338	0	1,145	−	5,360	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
宇部市	死者	*0 (*0)	0	*0	27	*0	27	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	26 (10)	0	*0	2	1	30	陸側	ケース1	夏・昼
	重傷者	2 (2)	0	*0	1	1	3	陸側	ケース1	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
宇部市	死者	16 (4)	*0	15	21	3	55	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	444 (95)	*0	15	4	73	537	−	横ずれあり	夏・昼
	重傷者	32 (19)	*0	4	2	29	66	−	横ずれあり	夏・昼

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
宇部市	全壊・焼失	0	97	0	280	0	0	0	46	0	423	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	3	94	0	2,546	1	54	0	997	−	3,694	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
宇部市	死者	0 (0)	0	0	29	*0	29	陸側	ケース5	夏・昼
	負傷者	0 (0)	0	0	*0	3	3	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	*0	1	1	陸側	ケース5	冬・夕方

〈山口市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山口市	全壊・焼失	0	98	0	312	0	1	0	41	0	451	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	1	286	0	971	3	46	0	251	−	1,557	陸側	ケース10	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山口市	死者	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	2 (2)	0	*0	1	*0	4	陸側	ケース11	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山口市	死者	64 (6)	*0	11	14	5	94	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	812 (132)	*0	12	1	110	935	−	縦ずれのみ	夏・昼
	重傷者	103 (27)	*0	3	*0	43	149	−	縦ずれのみ	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山口市	全壊・焼失	0	318	0	265	0	4	0	54	0	641	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	27	52	0	978	1	16	0	492	−	1,565	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山口市	死者	0 (0)	0	0	23	0	23	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	4 (6)	0	0	3	1	7	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	1	*0	1	陸側	ケース5	冬・深夜

〈萩市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
萩市	全壊・焼失	0	2	0	0	0	*0	0	0	0	2	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	0	6	0	0	0	1	0	0	−	7	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
萩市	死者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	陸側	ケース1	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	陸側	ケース1	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
萩市	死者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	−	縦ずれのみ	盆・夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	0	1	2	−	縦ずれのみ	盆・夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	−	縦ずれのみ	盆・夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
萩市	全壊・焼失	0	32	0	0	0	*0	0	0	0	32	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	0	2	0	0	0	1	0	0	−	3	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
萩市	死者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	0 (0)	0	0	0	*0	*0	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方

〈防府市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
防府市	全壊・焼失	0	138	0	120	0	5	0	33	0	296	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	0	441	0	842	0	284	0	460	−	2,027	陸側	ケース11	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
防府市	死者	*0 (*0)	0	*0	52	*0	52	陸側	ケース2	冬・深夜
	負傷者	4 (4)	0	*0	1	*0	6	陸側	ケース11	冬・深夜
	重傷者	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
防府市	死者	105 (19)	1	70	54	4	233	ー	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	1,260 (368)	1	68	4	123	1,457	ー	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	195 (81)	1	19	1	48	264	ー	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
防府市	全壊・焼失	0	10	0	159	0	0	0	51	0	219	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	2	26	0	803	1	26	0	667	ー	1,525	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
防府市	死者	0 (0)	0	0	1	0	1	陸側	ケース5	夏・昼
	負傷者	0 (0)	0	0	13	2	15	陸側	ケース5	夏・昼
	重傷者	0 (0)	0	0	5	1	5	陸側	ケース5	夏・昼

〈下松市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下松市	全壊・焼失	0	13	0	9	0	*0	0	2	0	25	陸側	ケース11	冬・夕方
	半壊	*0	42	0	504	1	22	0	219	−	789	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下松市	死者	*0 (*0)	0	*0	6	*0	6	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	4 (4)	0	*0	1	*0	5	陸側	ケース11	冬・深夜
	重傷者	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下松市	死者	*0 (*0)	0	*0	6	1	7	ー	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	32 (12)	0	*0	1	22	55	ー	横ずれあり	夏・昼
	重傷者	2 (2)	0	*0	*0	9	11	ー	横ずれあり	盆・夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下松市	全壊・焼失	0	30	0	1	0	0	0	*0	0	31	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	9	42	0	107	3	39	0	59	ー	258	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
下松市	死者	0 (0)	0	0	*0	0	*0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	1 (2)	0	0	*0	2	3	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	*0	1	1	陸側	ケース5	冬・夕方

〈岩国市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
岩国市	全壊・焼失	190	800	16	1,229	88	12	4	260	204	2,804	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	2,342	2,389	35	6,671	380	732	10	3,070	−	15,628	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
岩国市	死者	13 (4)	2	7	53	1	76	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	573 (98)	2	8	4	39	625	陸側	ケース10	夏・昼
	重傷者	48 (21)	1	2	1	15	68	陸側	ケース10	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
岩国市	死者	*0 (*0)	0	*0	44	*0	44	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	1 (1)	0	*0	12	4	16	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	4	1	6	−	縦ずれのみ	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
岩国市	全壊・焼失	380	516	25	464	47	9	7	189	31	1,668	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	3,793	676	50	5,044	292	396	16	3,938	−	14,205	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
岩国市	死者	26 (5)	2	1	276	*0	305	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	749 (116)	3	175	109	7	1,043	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	40 (25)	2	49	37	3	130	陸側	ケース5	冬・夕方

〈光市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
光市	全壊・焼失	0	284	*0	35	0	4	*0	4	0	327	陸側	ケース11	冬・夕方
	半壊	6	875	*0	226	15	253	*0	53	−	1,427	陸側	ケース11	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
光市	死者	*0 (*0)	*0	*0	6	*0	6	陸側	ケース11	冬・深夜
	負傷者	6 (6)	*0	*0	*0	1	8	陸側	ケース11	冬・深夜
	重傷者	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
光市	死者	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	ー	横ずれあり	冬・深夜
	負傷者	10 (6)	0	*0	*0	11	22	ー	横ずれあり	盆・夜
	重傷者	1 (1)	0	*0	*0	4	6	ー	横ずれあり	盆・夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
光市	全壊・焼失	*0	175	*0	20	0	7	0	3	0	205	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	22	68	*0	154	2	42	*0	46	ー	334	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
光市	死者	0 (0)	0	0	*0	0	*0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	3 (6)	0	0	*0	1	5	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	*0	1	1	陸側	ケース5	冬・夕方

〈長門市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
長門市	全壊・焼失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	0	0	0	0	0	0	0	0	－	0	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
長門市	死者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース1	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース1	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
長門市	死者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	―	縦ずれのみ	盆・夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	―	縦ずれのみ	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	―	縦ずれのみ	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
長門市	全壊・焼失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	0	0	0	0	0	0	0	0	―	0	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
長門市	死者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方

〈柳井市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
柳井市	全壊・焼失	111	170	1	765	27	1	*0	102	35	1,212	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	736	524	1	2,715	102	70	*0	1,003	−	5,151	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
柳井市	死者	9 (1)	*0	1	59	*0	70	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	483 (33)	*0	2	2	12	499	陸側	ケース11	盆・夜
	重傷者	52 (7)	*0	*0	1	5	58	陸側	ケース11	盆・夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
柳井市	死者	0 (0)	0	0	65	*0	65	ー	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	0 (0)	0	0	6	3	10	ー	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	2	1	3	ー	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
柳井市	全壊・焼失	52	78	3	489	4	0	1	98	0	725	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	997	292	7	4,460	56	124	1	2,133	ー	8,069	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
柳井市	死者	4 (1)	*0	0	67	*0	71	陸側	ケース5	夏・昼
	負傷者	189 (19)	*0	0	*0	3	193	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	4 (4)	*0	0	*0	1	5	陸側	ケース5	冬・深夜

〈美祢市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
美祢市	全壊・焼失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	0	0	0	0	0	0	0	0	−	0	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
美祢市	死者	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	陸側	ケース1	夏・昼
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	陸側	ケース1	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
美祢市	死者	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	10 (3)	*0	*0	0	3	13	−	縦ずれのみ	夏・昼
	重傷者	*0 (*0)	*0	*0	0	1	2	−	縦ずれのみ	盆・夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
美祢市	全壊・焼失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	0	0	0	0	0	0	0	0	−	0	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
美祢市	死者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方

〈周南市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周南市	全壊・焼失	0	195	*0	372	0	3	*0	85	0	655	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	4	537	*0	1,789	44	194	*0	961	−	3,530	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周南市	死者	*0 (*0)	*0	*0	75	*0	75	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	26 (9)	*0	*0	3	1	30	陸側	ケース11	夏・昼
	重傷者	1 (1)	*0	*0	1	*0	3	陸側	ケース11	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周南市	死者	1 (1)	*0	2	63	2	69	ー	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	254 (42)	*0	2	7	57	320	ー	横ずれあり	夏・昼
	重傷者	8 (8)	*0	1	2	22	33	ー	横ずれあり	冬・夕方

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周南市	全壊・焼失	0	22	*0	79	0	0	0	27	0	128	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	6	38	*0	1,328	3	67	0	843	ー	2,286	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周南市	死者	0 (0)	0	0	52	0	52	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	1 (2)	0	0	4	2	7	陸側	ケース5	夏・昼
	重傷者	0 (0)	0	0	1	1	2	陸側	ケース5	夏・昼

〈山陽小野田市〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山陽小野田市	全壊・焼失	0	62	0	1,008	0	1	0	134	0	1,204	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	0	201	0	2,756	0	45	0	838	−	3,840	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山陽小野田市	死者	*0 (*0)	0	*0	30	*0	30	陸側	ケース2	冬・深夜
	負傷者	1 (1)	0	*0	1	*0	2	陸側	ケース5	夏・昼
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	陸側	ケース5	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山陽小野田市	死者	*0 (*0)	*0	1	26	*0	28	ー	横ずれあり	冬・深夜
	負傷者	42 (14)	*0	1	2	13	58	ー	横ずれあり	夏・昼
	重傷者	3 (3)	*0	*0	1	5	9	ー	横ずれあり	盆・夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山陽小野田市	全壊・焼失	0	12	0	640	0	0	0	94	0	746	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	0	10	0	2,303	0	6	0	780	ー	3,099	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
山陽小野田市	死者	0 (0)	0	0	77	0	77	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	0 (0)	0	0	3	*0	3	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	1	*0	1	陸側	ケース5	冬・深夜

〈周防大島町〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周防大島町	全壊・焼失	38	578	4	434	4	2	*0	17	8	1,085	陸側	ケース11	冬・夕方
	半壊	950	1,289	9	2,192	50	114	1	210	−	4,815	陸側	ケース11	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周防大島町	死者	3 (*0)	*0	*0	47	*0	51	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	180 (9)	*0	*0	2	6	189	陸側	ケース11	冬・深夜
	重傷者	2 (2)	*0	*0	1	2	5	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周防大島町	死者	0 (0)	0	0	55	*0	55	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	0 (0)	0	0	9	*0	9	−	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	3	*0	3	−	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周防大島町	全壊・焼失	62	177	11	93	2	1	1	5	0	351	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	1,043	235	21	910	15	39	2	109	−	2,374	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
周防大島町	死者	4 (1)	1	0	67	0	72	陸側	ケース5	夏・昼
	負傷者	207 (17)	1	0	22	1	231	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	6 (4)	1	0	7	1	14	陸側	ケース5	冬・深夜

〈和木町〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
和木町	全壊・焼失	12	61	*0	128	13	1	*0	14	*0	229	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	162	161	*0	741	31	68	1	200	−	1,364	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
和木町	死者	1 (*0)	*0	*0	7	*0	8	陸側	ケース2	冬・深夜
	負傷者	40 (7)	*0	*0	1	2	44	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	4 (2)	*0	*0	*0	1	5	陸側	ケース5	夏・昼

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
和木町	死者	0 (0)	0	0	2	0	2	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	0 (0)	0	0	1	0	1	−	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	0	0	*0	0	*0	−	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
和木町	全壊・焼失	27	145	*0	62	15	22	*0	26	0	297	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	246	55	1	512	81	122	1	582	−	1,601	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
和木町	死者	2 (*0)	0	0	0	0	2	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	98 (7)	*0	0	0	1	99	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	5 (2)	0	0	0	*0	5	陸側	ケース5	冬・深夜

〈上関町〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
上関町	全壊・焼失	1	8	1	61	*0	*0	*0	4	0	76	陸側	ケース11	冬・夕方
	半壊	70	20	3	263	11	2	*0	37	−	407	陸側	ケース11	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
上関町	死者	*0 (*0)	*0	*0	10	*0	10	陸側	ケース2	冬・深夜
	負傷者	14 (1)	*0	*0	*0	1	15	陸側	ケース2	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	1	陸側	ケース2	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
上関町	死者	*0 (*0)	0	*0	12	*0	12	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	1	*0	1	−	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	−	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
上関町	全壊・焼失	9	3	7	22	1	0	1	2	0	44	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	176	3	14	211	8	1	3	53	−	470	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
上関町	死者	1 (*0)	1	0	*0	0	2	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	31 (3)	1	0	*0	*0	32	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	0 (1)	*0	0	*0	*0	1	陸側	ケース5	冬・夕方

〈田布施町〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
田布施町	全壊・焼失	4	127	1	49	1	1	*0	5	*0	188	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	77	354	1	400	30	82	*0	109	−	1,054	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
田布施町	死者	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	陸側	ケース10	夏・昼
	負傷者	22 (5)	*0	*0	1	1	25	陸側	ケース11	夏・昼
	重傷者	1 (1)	*0	*0	*0	1	2	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
田布施町	死者	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	ー	縦ずれのみ	夏・昼
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	1	1	2	ー	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	ー	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
田布施町	全壊・焼失	2	31	2	13	*0	*0	*0	1	0	49	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	130	58	4	248	7	26	1	77	ー	551	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
田布施町	死者	*0 (*0)	*0	0	0	0	*0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	21 (6)	*0	0	0	*0	22	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	0 (0)	*0	0	0	*0	*0	陸側	ケース5	冬・夕方

〈平生町〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
平生町	全壊・焼失	1	96	1	362	*0	1	*0	40	*0	502	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	117	321	2	1,790	40	70	*0	478	−	2,817	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
平生町	死者	*0 (*0)	*0	*0	83	*0	83	陸側	ケース10	冬・深夜
	負傷者	95 (4)	*0	*0	1	3	99	陸側	ケース11	夏・昼
	重傷者	1 (1)	*0	*0	*0	1	2	陸側	ケース11	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
平生町	死者	*0 (*0)	0	*0	76	*0	76	ー	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	10	1	11	ー	横ずれあり	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	3	*0	4	ー	横ずれあり	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
平生町	全壊・焼失	7	83	2	99	1	1	*0	9	0	202	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	234	111	4	1,381	9	42	1	357	ー	2,139	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
平生町	死者	1 (*0)	*0	0	1	0	2	陸側	ケース5	冬・深夜
	負傷者	49 (7)	*0	0	*0	1	50	陸側	ケース5	冬・深夜
	重傷者	0 (1)	*0	0	*0	*0	1	陸側	ケース5	冬・夕方

〈阿武町〉

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：本調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
阿武町	全壊・焼失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	陸側	ケース1	冬・夕方
	半壊	7	0	0	0	1	0	0	0	−	8	陸側	ケース1	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
阿武町	死者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	陸側	ケース1	冬・深夜
	負傷者	1 (*0)	0	*0	0	*0	1	陸側	ケース1	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	陸側	ケース1	冬・深夜

人的被害が最大となるケース（周防灘断層地震：本調査）

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
阿武町	死者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	負傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	−	縦ずれのみ	冬・深夜
	重傷者	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	−	縦ずれのみ	冬・深夜

建物・人的被害が最大となるケース（南海トラフ巨大地震：前回調査）

市町	項目	建物被害												
		木造				非木造				火災（焼失）（棟）	合計（棟）	最大被災ケース		
		原因別（棟）				原因別（棟）								
		揺れ	液状化	土砂災害	津波	揺れ	液状化	土砂災害	津波			地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
阿武町	全壊・焼失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	半壊	*0	0	0	0	0	0	0	0	−	*0	陸側	ケース5	冬・夕方

市名	項目	人的被害								
		原因別（人）					合計（人）	最大被災ケース		
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		地震動ケース	津波ケース	発災季節・時間
阿武町	死者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	負傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方
	重傷者	0 (0)	0	0	0	0	0	陸側	ケース5	冬・夕方

参考資料10

被害想定対象ケース別 想定結果（案）
（建物被害、人的被害）

被害想定対象ケース別 想定結果（案）
（建物被害）

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース1

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	0	83	0	227	309	0	2	0	13	15	324	0	324
宇部市	0	371	0	414	785	0	6	0	81	86	871	0	871
山口市	0	98	0	312	409	0	1	0	41	42	451	0	451
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	120	258	0	5	0	33	38	296	0	296
下松市	0	13	0	6	19	0	*0	0	1	2	21	0	21
岩国市	190	800	16	1,229	2,236	88	12	4	260	364	2,600	204	2,804
光市	0	284	*0	21	305	0	4	*0	2	7	312	0	312
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	577	859	27	1	*0	76	104	963	36	999
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	246	441	0	3	*0	57	60	501	0	501
山陽小野田市	0	62	0	1,008	1,069	0	1	0	134	135	1,204	0	1,204
周防大島町	38	578	4	349	969	4	2	*0	13	19	989	8	996
和木町	12	61	*0	128	201	13	1	*0	14	28	229	*0	229
上関町	1	8	1	34	44	*0	*0	*0	2	3	47	0	47
田布施町	4	127	1	43	174	1	1	*0	4	7	181	*0	181
平生町	1	96	1	362	460	*0	1	*0	40	42	502	*0	502
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース1

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	0	176	0	898	1,073	0	45	0	170	215	1,288
宇部市	11	1,083	0	2,742	3,836	42	338	0	1,145	1,525	5,360
山口市	1	286	0	967	1,254	3	46	0	253	302	1,556
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	769	1,210	0	284	0	425	709	1,919
下松市	*0	42	0	261	304	1	22	0	112	135	439
岩国市	2,342	2,389	35	6,671	11,437	380	732	10	3,070	4,191	15,628
光市	6	875	*0	88	968	15	253	*0	21	289	1,258
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,511	3,772	102	70	*0	936	1,109	4,881
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,426	1,968	44	194	*0	720	958	2,926
山陽小野田市	0	201	0	2,756	2,957	0	45	0	838	883	3,840
周防大島町	950	1,289	9	1,976	4,224	50	114	1	188	353	4,576
和木町	162	161	*0	741	1,064	31	68	1	200	300	1,364
上関町	70	20	3	210	303	11	2	*0	31	44	347
田布施町	77	354	1	375	807	30	82	*0	104	217	1,024
平生町	117	321	2	1,704	2,143	40	70	*0	465	575	2,718
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース2

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	0	83	0	218	301	0	2	0	13	14	315	0	315
宇部市	0	371	0	407	778	0	6	0	79	85	863	0	863
山口市	0	98	0	305	403	0	1	0	40	41	444	0	444
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	117	255	0	5	0	32	37	292	0	292
下松市	0	13	0	6	19	0	*0	0	1	2	21	0	21
岩国市	190	800	16	1,159	2,166	88	12	4	247	351	2,518	204	2,722
光市	0	284	*0	18	302	0	4	*0	2	6	308	0	308
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	539	820	27	1	*0	73	101	921	36	958
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	210	405	0	3	*0	49	52	458	0	458
山陽小野田市	0	62	0	972	1,034	0	1	0	130	131	1,165	0	1,165
周防大島町	38	578	4	324	945	4	2	*0	12	18	963	8	971
和木町	12	61	*0	122	195	13	1	*0	13	27	223	*0	223
上関町	1	8	1	32	43	*0	*0	*0	2	2	45	0	45
田布施町	4	127	1	38	169	1	1	*0	4	7	176	*0	176
平生町	1	96	1	332	430	*0	1	*0	37	38	469	*0	469
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	4,801	8,268	134	40	5	735	913	9,181	249	9,430

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース2

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	0	176	0	839	1,014	0	45	0	158	203	1,218
宇部市	11	1,083	0	2,711	3,805	42	338	0	1,131	1,511	5,315
山口市	1	286	0	955	1,242	3	46	0	250	299	1,542
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	725	1,166	0	284	0	403	687	1,853
下松市	*0	42	0	270	312	1	22	0	117	140	453
岩国市	2,342	2,389	35	6,555	11,321	380	732	10	3,013	4,135	15,455
光市	6	875	*0	79	959	15	253	*0	19	287	1,246
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,466	3,727	102	70	*0	928	1,101	4,828
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,373	1,915	44	194	*0	686	925	2,839
山陽小野田市	0	201	0	2,747	2,948	0	45	0	830	876	3,824
周防大島町	950	1,289	9	1,877	4,125	50	114	1	180	345	4,470
和木町	162	161	*0	736	1,060	31	68	1	198	298	1,358
上関町	70	20	3	202	296	11	2	*0	30	43	339
田布施町	77	354	1	353	785	30	82	*0	99	211	996
平生町	117	321	2	1,645	2,084	40	70	*0	449	559	2,643
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	23,530	36,770	750	2,368	12	8,493	11,622	48,392

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース5

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	0	83	0	183	265	0	2	0	11	12	278	0	278
宇部市	0	371	0	343	713	0	6	0	66	72	785	0	785
山口市	0	98	0	294	392	0	1	0	38	39	430	0	430
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	118	256	0	5	0	31	36	292	0	292
下松市	0	13	0	9	22	0	*0	0	2	3	25	0	25
岩国市	190	800	16	809	1,816	88	12	4	181	285	2,101	205	2,307
光市	0	284	*0	28	312	0	4	*0	3	7	320	0	320
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	765	1,047	27	1	*0	102	130	1,177	35	1,212
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	372	567	0	3	*0	85	89	655	0	655
山陽小野田市	0	62	0	823	885	0	1	0	109	109	994	0	994
周防大島町	38	578	4	403	1,023	4	2	*0	16	23	1,046	8	1,054
和木町	12	61	*0	96	169	13	1	*0	10	24	193	*0	193
上関町	1	8	1	54	65	*0	*0	*0	3	4	68	0	68
田布施町	4	127	1	49	180	1	1	*0	5	8	188	*0	188
平生町	1	96	1	359	457	*0	1	*0	40	41	499	*0	499
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	4,704	8,171	134	40	5	703	882	9,053	249	9,302

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース5

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	0	176	0	661	836	0	45	0	109	154	990
宇部市	11	1,083	0	2,533	3,627	42	338	0	1,049	1,429	5,055
山口市	1	286	0	962	1,249	3	46	0	248	297	1,546
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	784	1,225	0	284	0	431	715	1,940
下松市	*0	42	0	504	547	1	22	0	219	242	789
岩国市	2,342	2,389	35	5,731	10,497	380	732	10	2,657	3,779	14,275
光市	6	875	*0	137	1,018	15	253	*0	34	302	1,320
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,715	3,976	102	70	*0	1,003	1,175	5,151
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,789	2,331	44	194	*0	961	1,200	3,530
山陽小野田市	0	201	0	2,632	2,833	0	45	0	784	830	3,663
周防大島町	950	1,289	9	1,962	4,210	50	114	1	197	362	4,572
和木町	162	161	*0	715	1,038	31	68	1	191	291	1,329
上関町	70	20	3	256	350	11	2	*0	36	49	399
田布施町	77	354	1	400	832	30	82	*0	109	221	1,054
平生町	117	321	2	1,790	2,229	40	70	*0	478	588	2,817
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	23,570	36,810	750	2,368	12	8,506	11,635	48,445

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース10

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	0	83	0	207	289	0	2	0	12	14	303	0	303
宇部市	0	371	0	382	752	0	6	0	74	80	832	0	832
山口市	0	98	0	310	408	0	1	0	41	41	449	0	449
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	119	257	0	5	0	32	37	294	0	294
下松市	0	13	0	6	20	0	*0	0	2	2	22	0	22
岩国市	190	800	16	932	1,939	88	12	4	205	309	2,248	205	2,453
光市	0	284	*0	21	305	0	4	*0	2	7	312	0	312
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	598	879	27	1	*0	82	110	989	36	1,025
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	258	453	0	3	*0	59	62	516	0	516
山陽小野田市	0	62	0	903	964	0	1	0	120	121	1,085	0	1,085
周防大島町	38	578	4	305	925	4	2	*0	11	17	943	8	950
和木町	12	61	*0	109	182	13	1	*0	12	26	208	*0	208
上関町	1	8	1	35	45	*0	*0	*0	2	3	48	0	48
田布施町	4	127	1	35	167	1	1	*0	3	6	173	*0	173
平生町	1	96	1	318	416	*0	1	*0	35	37	453	*0	453
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	4,537	8,004	134	40	5	692	870	8,874	249	9,123

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース10

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	0	176	0	759	935	0	45	0	139	184	1,118
宇部市	11	1,083	0	2,625	3,719	42	338	0	1,091	1,471	5,189
山口市	1	286	0	971	1,258	3	46	0	251	300	1,557
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	684	1,125	0	284	0	383	668	1,793
下松市	*0	42	0	337	380	1	22	0	145	168	547
岩国市	2,342	2,389	35	6,124	10,890	380	732	10	2,807	3,929	14,819
光市	6	875	*0	90	971	15	253	*0	22	290	1,260
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,486	3,748	102	70	*0	948	1,121	4,868
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,522	2,063	44	194	*0	766	1,004	3,068
山陽小野田市	0	201	0	2,703	2,904	0	45	0	810	856	3,760
周防大島町	950	1,289	9	1,642	3,890	50	114	1	165	330	4,219
和木町	162	161	*0	721	1,044	31	68	1	194	294	1,338
上関町	70	20	3	214	308	11	2	*0	31	44	352
田布施町	77	354	1	343	776	30	82	*0	96	208	984
平生町	117	321	2	1,630	2,069	40	70	*0	444	554	2,623
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	22,850	36,090	750	2,368	12	8,291	11,420	47,510

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース11

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	0	83	0	191	274	0	2	0	11	13	286	0	286
宇部市	0	371	0	351	722	0	6	0	68	74	795	0	795
山口市	0	98	0	290	388	0	1	0	37	38	426	0	426
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	118	256	0	5	0	31	36	292	0	292
下松市	0	13	0	9	22	0	*0	0	2	3	25	0	25
岩国市	190	800	16	851	1,858	88	12	4	189	293	2,152	205	2,357
光市	0	284	*0	35	319	0	4	*0	4	8	327	0	327
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	736	1,018	27	1	*0	96	124	1,142	35	1,178
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	336	531	0	3	*0	77	80	611	0	611
山陽小野田市	0	62	0	848	910	0	1	0	112	113	1,023	0	1,023
周防大島町	38	578	4	434	1,054	4	2	*0	17	24	1,078	8	1,085
和木町	12	61	*0	96	170	13	1	*0	11	24	194	*0	194
上関町	1	8	1	61	71	*0	*0	*0	4	4	76	0	76
田布施町	4	127	1	48	180	1	1	*0	5	7	187	*0	187
平生町	1	96	1	344	442	*0	1	*0	38	39	481	*0	482
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	4,749	8,216	134	40	5	703	881	9,098	249	9,346

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

南海トラフ巨大地震：ケース11

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	0	176	0	692	867	0	45	0	119	163	1,031
宇部市	11	1,083	0	2,543	3,637	42	338	0	1,055	1,435	5,071
山口市	1	286	0	965	1,251	3	46	0	249	298	1,549
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	842	1,283	0	284	0	460	745	2,027
下松市	*0	42	0	478	520	1	22	0	207	230	750
岩国市	2,342	2,389	35	5,825	10,591	380	732	10	2,697	3,819	14,409
光市	6	875	*0	226	1,107	15	253	*0	53	320	1,427
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,695	3,957	102	70	*0	990	1,162	5,119
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,727	2,269	44	194	*0	924	1,162	3,431
山陽小野田市	0	201	0	2,658	2,859	0	45	0	793	838	3,697
周防大島町	950	1,289	9	2,192	4,440	50	114	1	210	375	4,815
和木町	162	161	*0	715	1,038	31	68	1	191	291	1,329
上関町	70	20	3	263	357	11	2	*0	37	51	407
田布施町	77	354	1	399	831	30	82	*0	108	221	1,052
平生町	117	321	2	1,763	2,202	40	70	*0	471	581	2,783
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	23,980	37,220	750	2,368	12	8,564	11,693	48,913

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	1	316	*0	15	332	*0	7	*0	1	9	341	0	341
宇部市	233	579	*0	105	917	58	9	*0	19	87	1,004	381	1,385
山口市	947	953	4	102	2,006	61	8	1	12	82	2,088	269	2,357
萩市	0	176	0	0	176	0	2	0	0	2	178	0	178
防府市	1,521	339	7	36	1,903	368	12	4	10	395	2,297	1,707	4,004
下松市	0	81	0	2	83	0	2	0	*0	2	85	*0	85
岩国市	0	40	0	129	169	0	*0	0	37	38	207	0	207
光市	0	407	0	5	412	0	6	0	1	7	419	0	419
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*
柳井市	0	65	0	64	129	0	*0	0	14	14	143	0	143
美祢市	0	3	*0	0	4	0	*0	*0	0	*0	4	0	4
周南市	5	313	3	36	357	19	6	1	10	35	392	47	439
山陽小野田市	4	191	*0	232	427	2	2	*0	28	33	459	35	495
周防大島町	0	17	0	65	82	0	*0	0	1	1	84	0	84
和木町	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1	6	0	6
上関町	0	*0	0	12	12	0	*0	0	1	1	13	0	13
田布施町	0	92	0	5	97	0	1	0	*0	1	98	0	98
平生町	0	4	0	72	76	0	*0	0	8	8	84	0	84
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	57	1,019	*0	144	1,221	28	375	*0	16	419	1,640
宇部市	1,393	1,784	1	1,481	4,659	410	563	*0	582	1,554	6,213
山口市	2,195	3,597	8	555	6,356	319	473	1	157	950	7,306
萩市	0	487	0	0	487	0	90	0	0	90	576
防府市	4,118	1,124	13	167	5,422	850	711	8	102	1,670	7,093
下松市	12	260	0	12	284	64	115	0	5	184	468
岩国市	0	121	0	3,253	3,375	0	32	0	1,342	1,374	4,749
光市	1	1,229	0	56	1,286	28	377	0	13	418	1,705
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
柳井市	0	196	0	1,386	1,582	0	23	0	532	555	2,138
美祢市	5	10	*0	0	15	19	2	*0	0	21	36
周南市	271	941	6	654	1,872	307	363	2	311	982	2,854
山陽小野田市	141	617	*0	1,742	2,500	60	141	*0	480	681	3,181
周防大島町	0	42	0	345	387	0	3	0	22	25	412
和木町	0	0	0	260	260	0	0	0	77	77	337
上関町	0	*0	0	53	53	0	*0	0	8	8	61
田布施町	0	251	0	76	327	0	59	0	21	81	408
平生町	0	12	0	767	780	0	2	0	214	217	997
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

周防灘断層帯主部区間：横ずれあり

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
下関市	1	316	*0	11	328	*0	7	*0	1	9	337	0	337
宇部市	233	579	*0	99	911	58	9	*0	18	86	997	381	1,378
山口市	947	953	4	100	2,003	61	8	1	12	82	2,085	269	2,354
萩市	0	176	0	0	176	0	2	0	0	2	178	0	178
防府市	1,521	339	7	33	1,900	368	12	4	9	394	2,293	1,707	4,000
下松市	0	81	0	1	83	0	2	0	*0	2	85	*0	85
岩国市	0	40	0	129	170	0	*0	0	38	38	208	0	208
光市	0	407	0	4	411	0	6	0	*0	7	418	0	418
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	0	0	*
柳井市	0	65	0	62	126	0	*0	0	14	14	140	0	140
美祢市	0	3	*0	0	4	0	*0	*0	0	*0	4	0	4
周南市	5	313	3	29	351	19	6	1	9	34	384	47	431
山陽小野田市	4	191	*0	201	395	2	2	*0	24	29	424	35	460
周防大島町	0	17	0	59	76	0	*0	0	1	1	77	0	77
和木町	0	0	0	4	4	0	0	0	*0	*0	4	0	5
上関町	0	*0	0	10	10	0	*0	0	*0	*0	10	0	10
田布施町	0	92	0	4	96	0	1	0	*0	1	97	0	97
平生町	0	4	0	66	70	0	*0	0	7	7	77	0	77
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,711	3,576	15	812	7,114	509	57	5	135	707	7,821	2,439	10,260

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

ケース別想定結果（建物被害）

- 原因別建物被害（半壊棟数）

周防灘断層帯主部区間：横ずれあり

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	57	1,019	*0	124	1,201	28	375	*0	14	417	1,618
宇部市	1,393	1,784	1	1,426	4,604	410	563	*0	560	1,533	6,136
山口市	2,195	3,597	8	543	6,344	319	473	1	154	947	7,291
萩市	0	487	0	0	487	0	90	0	0	90	576
防府市	4,118	1,124	13	152	5,407	850	711	8	94	1,663	7,070
下松市	12	260	0	10	282	64	115	0	4	183	465
岩国市	0	121	0	3,237	3,358	0	32	0	1,342	1,375	4,733
光市	1	1,229	0	50	1,280	28	377	0	12	417	1,697
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	0
柳井市	0	196	0	1,365	1,561	0	23	0	525	548	2,109
美祢市	5	10	*0	0	15	19	2	*0	0	21	36
周南市	271	941	6	607	1,825	307	363	2	288	960	2,785
山陽小野田市	141	617	*0	1,657	2,416	60	141	*0	453	654	3,069
周防大島町	0	42	0	333	376	0	3	0	21	24	400
和木町	0	0	0	225	225	0	0	0	69	69	294
上関町	0	*0	0	45	46	0	*0	0	7	7	53
田布施町	0	251	0	66	316	0	59	0	18	78	394
平生町	0	12	0	717	730	0	2	0	201	203	933
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,193	11,690	29	10,560	30,472	2,084	3,330	11	3,763	9,188	39,660

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。
※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

被害想定対象ケース別 想定結果（案）
（人的被害）

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース1、冬・深夜、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	27	0	27	10 (10)	0	*0	2	0	12	2 (2)	0	*0	1	0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	*0	0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	52	0	52	4 (4)	0	*0	1	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	4 (4)	0	*0	*0	0	4	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
岩国市	13 (4)	2	*0	53	0	68	537 (98)	2	*0	3	0	542	26 (21)	1	*0	1	0	28	50
光市	*0 (*0)	*0	*0	4	0	4	6 (6)	*0	*0	0	0	6	1 (1)	*0	*0	0	0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	58	0	65	172 (17)	*0	*0	1	0	173	13 (4)	*0	*0	*0	0	13	16
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	67	0	67	9 (9)	*0	*0	1	0	10	1 (1)	*0	*0	*0	0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	29	0	29	1 (1)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	43	0	46	180 (9)	*0	*0	1	0	181	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	40 (7)	*0	*0	1	0	41	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	14 (1)	*0	*0	*0	0	14	*0 (*0)	*0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	18 (5)	*0	*0	1	0	19	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	81	0	81	25 (4)	*0	*0	*0	0	25	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (*0)	0	*0	0	0	1	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	465	0	493	1,025 (179)	3	*0	14	0	1,042	50 (35)	1	*0	5	0	56	73

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース1、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	1 (1)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	16	*0	16	26 (10)	0	*0	1	*0	27	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	27	*0	27	4 (4)	0	*0	*0	*0	4	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	4	*0	4	3 (3)	0	*0	0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
岩国市	10 (3)	1	1	32	*0	45	573 (82)	2	2	1	9	586	48 (17)	1	1	*0	3	53	54
光市	*0 (*0)	*0	*0	2	*0	2	5 (5)	*0	*0	0	*0	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6 (1)	*0	*0	47	*0	53	300 (20)	*0	*0	*0	2	303	31 (4)	*0	*0	*0	1	32	18
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	36	*0	36	26 (9)	*0	*0	*0	*0	26	1 (1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	28	*0	31	179 (8)	*0	*0	*0	1	181	2 (2)	*0	*0	*0	1	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	2	*0	3	39 (6)	*0	*0	*0	1	40	4 (1)	*0	*0	*0	*0	4	5
上関町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	13 (1)	*0	*0	*0	*0	13	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	22 (3)	*0	*0	*0	*0	22	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	34	*0	34	95 (3)	*0	*0	*0	1	96	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	20 (5)	2	2	264	0	287	1,289 (157)	2	3	4	15	1,313	91 (31)	1	1	1	6	100	80

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース1、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	1	(1)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	14	*0	15	14	(9)	0	*0	1	1	16	1	(1)	0	*0	*0	1	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	7	*0	7	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	30	*0	30	3	(3)	0	*0	*0	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	3	(3)	0	*0	0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
岩国市	11	(3)	1	6	31	1	49	475	(75)	2	6	1	35	519	31	(16)	1	2	*0	14	48	49
光市	*0	(*0)	*0	*0	2	*0	3	4	(4)	*0	*0	0	1	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6	(1)	*0	1	42	*0	49	194	(16)	*0	1	*0	8	204	17	(3)	*0	*0	*0	3	21	16
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	37	*0	37	14	(8)	*0	*0	*0	1	15	1	(1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	15	*0	15	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	2	(*0)	*0	*0	28	*0	31	167	(7)	*0	*0	*0	5	173	1	(1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	3	*0	4	32	(5)	*0	*0	*0	2	35	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0	(*0)	*0	*0	6	*0	6	12	(1)	*0	*0	*0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	4	*0	4	17	(3)	*0	*0	*0	1	18	1	(1)	*0	*0	*0	1	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	39	*0	39	43	(3)	*0	*0	*0	3	46	1	(1)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	1	(*0)	0	*0	0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	21	(5)	2	7	265	2	296	983	(142)	2	9	4	59	1,057	57	(28)	1	2	1	23	85	72

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース2、冬・深夜、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	27	0	27	10 (10)	0	*0	2	0	12	2 (2)	0	*0	1	0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	*0	0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	0	1	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	52	0	52	4 (4)	0	*0	1	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	4 (4)	0	*0	*0	0	4	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
岩国市	13 (4)	2	*0	52	0	67	537 (98)	2	*0	4	0	543	26 (21)	1	*0	1	0	28	50
光市	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	6 (6)	*0	*0	0	0	6	1 (1)	*0	*0	0	0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	58	0	65	172 (17)	*0	*0	1	0	173	13 (4)	*0	*0	*0	0	13	16
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	67	0	67	9 (9)	*0	*0	2	0	11	1 (1)	*0	*0	1	0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	30	0	30	1 (1)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	45	0	48	180 (9)	*0	*0	1	0	182	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	40 (7)	*0	*0	1	0	41	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	14 (1)	*0	*0	*0	0	14	*0 (*0)	*0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	4	18 (5)	*0	*0	1	0	19	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	83	0	83	25 (4)	*0	*0	*0	0	26	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (*0)	0	*0	0	0	1	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	468	0	495	1,025 (179)	3	*0	15	0	1,043	50 (35)	1	*0	5	0	56	73

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース2、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	1 (1)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	16	*0	16	26 (10)	0	*0	1	*0	27	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	27	*0	27	4 (4)	0	*0	*0	*0	4	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	4	*0	4	3 (3)	0	*0	0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
岩国市	10 (3)	1	1	33	*0	46	573 (82)	2	2	1	9	586	48 (17)	1	1	*0	3	53	54
光市	*0 (*0)	*0	*0	3	*0	3	5 (5)	*0	*0	0	*0	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6 (1)	*0	*0	47	*0	53	300 (20)	*0	*0	*0	2	303	31 (4)	*0	*0	*0	1	32	18
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	36	*0	36	26 (9)	*0	*0	*0	*0	27	1 (1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	29	*0	32	179 (8)	*0	*0	*0	1	181	2 (2)	*0	*0	*0	1	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	2	*0	3	39 (6)	*0	*0	*0	1	40	4 (1)	*0	*0	*0	*0	4	5
上関町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	13 (1)	*0	*0	*0	*0	13	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	22 (3)	*0	*0	*0	*0	22	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	34	*0	34	95 (3)	*0	*0	*0	1	96	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	20 (5)	2	2	266	0	290	1,289 (157)	2	3	5	15	1,313	91 (31)	1	1	2	6	101	80

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース2、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	1	(1)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	15	*0	15	14	(9)	0	*0	1	1	16	1	(1)	0	*0	*0	1	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	7	*0	7	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	30	*0	30	3	(3)	0	*0	*0	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	3	(3)	0	*0	0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
岩国市	11	(3)	1	6	31	1	50	475	(75)	2	6	1	35	519	31	(16)	1	2	*0	14	48	49
光市	*0	(*0)	*0	*0	3	*0	3	4	(4)	*0	*0	0	1	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6	(1)	*0	1	41	*0	49	194	(16)	*0	1	*0	8	204	17	(3)	*0	*0	*0	3	21	16
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	38	*0	38	14	(8)	*0	*0	*0	1	15	1	(1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	15	*0	15	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	2	(*0)	*0	*0	29	*0	32	167	(7)	*0	*0	*0	5	173	1	(1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	3	*0	4	32	(5)	*0	*0	*0	2	35	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0	(*0)	*0	*0	6	*0	6	12	(1)	*0	*0	*0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	4	*0	4	17	(3)	*0	*0	*0	1	18	1	(1)	*0	*0	*0	1	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	39	*0	39	43	(3)	*0	*0	*0	3	46	1	(1)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	1	(*0)	0	*0	0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	21	(5)	2	7	268	2	299	983	(142)	2	9	4	59	1,058	57	(28)	1	2	1	23	85	72

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース5、冬・深夜、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	10 (10)	0	*0	2	0	12	2 (2)	0	*0	1	0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	1	0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	0	1	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	4 (4)	0	*0	1	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	4 (4)	0	*0	1	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
岩国市	13 (4)	2	*0	50	0	65	537 (98)	2	*0	3	0	542	26 (21)	1	*0	1	0	28	50
光市	*0 (*0)	*0	*0	5	0	5	6 (6)	*0	*0	0	0	6	1 (1)	*0	*0	0	0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	59	0	67	172 (17)	*0	*0	2	0	174	13 (4)	*0	*0	1	0	14	16
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	75	0	75	9 (9)	*0	*0	2	0	11	1 (1)	*0	*0	1	0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	28	0	28	1 (1)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	47	0	50	180 (9)	*0	*0	1	0	182	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	40 (7)	*0	*0	1	0	41	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	14 (1)	*0	*0	*0	0	14	*0 (*0)	*0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	18 (5)	*0	*0	1	0	19	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	82	0	82	25 (4)	*0	*0	1	0	26	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (*0)	0	*0	0	0	1	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	474	0	502	1,025 (179)	3	*0	17	0	1,045	50 (35)	1	*0	6	0	57	73

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース5、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	15	*0	15	26 (10)	0	*0	*0	*0	27	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	27	*0	27	4 (4)	0	*0	*0	*0	4	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	3 (3)	0	*0	*0	*0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
岩国市	10 (3)	1	1	33	*0	45	573 (82)	2	2	1	9	586	48 (17)	1	1	*0	3	53	54
光市	*0 (*0)	*0	*0	3	*0	3	5 (5)	*0	*0	0	*0	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6 (1)	*0	*0	48	*0	54	300 (20)	*0	*0	1	2	303	31 (4)	*0	*0	*0	1	32	18
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	37	*0	37	26 (9)	*0	*0	*0	*0	27	1 (1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	30	*0	33	179 (8)	*0	*0	*0	1	181	2 (2)	*0	*0	*0	1	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	2	*0	2	39 (6)	*0	*0	*0	1	40	4 (1)	*0	*0	*0	*0	4	5
上関町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	13 (1)	*0	*0	0	*0	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	22 (3)	*0	*0	*0	*0	22	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	34	*0	34	95 (3)	*0	*0	*0	1	96	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	20 (5)	2	2	266	0	290	1,289 (157)	2	3	4	15	1,313	91 (31)	1	1	1	6	100	80

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース5、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	14 (9)	0	*0	*0	1	16	1 (1)	0	*0	*0	1	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	7	*0	7	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	29	*0	29	3 (3)	0	*0	*0	*0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	4	*0	4	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
岩国市	11 (3)	1	6	31	1	50	475 (75)	2	6	1	35	519	31 (16)	1	2	*0	14	48	49
光市	*0 (*0)	*0	*0	3	*0	3	4 (4)	*0	*0	0	1	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6 (1)	*0	1	43	*0	50	194 (16)	*0	1	1	8	204	17 (3)	*0	*0	*0	3	21	16
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	39	*0	39	14 (8)	*0	*0	*0	1	15	1 (1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	2 (*0)	*0	*0	30	*0	33	167 (7)	*0	*0	*0	5	173	1 (1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	2	*0	3	32 (5)	*0	*0	*0	2	35	2 (1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	6	12 (1)	*0	*0	0	1	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	*0	4	17 (3)	*0	*0	*0	1	18	1 (1)	*0	*0	*0	1	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	39	*0	39	43 (3)	*0	*0	*0	3	46	1 (1)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	1 (*0)	0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	21 (5)	2	7	268	2	299	983 (142)	2	9	4	59	1,057	57 (28)	1	2	1	23	85	72

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース10、冬・深夜、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	10 (10)	0	*0	2	0	12	2 (2)	0	*0	1	0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	1	0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	0	1	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	4 (4)	0	*0	1	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	4 (4)	0	*0	*0	0	4	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
岩国市	13 (4)	2	*0	52	0	67	537 (98)	2	*0	4	0	543	26 (21)	1	*0	1	0	28	50
光市	*0 (*0)	*0	*0	4	0	4	6 (6)	*0	*0	*0	0	6	1 (1)	*0	*0	0	0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	58	0	65	172 (17)	*0	*0	1	0	173	13 (4)	*0	*0	*0	0	13	16
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	67	0	67	9 (9)	*0	*0	2	0	11	1 (1)	*0	*0	1	0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	29	0	29	1 (1)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	47	0	50	180 (9)	*0	*0	1	0	181	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	40 (7)	*0	*0	1	0	41	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	14 (1)	*0	*0	*0	0	14	*0 (*0)	*0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	4	18 (5)	*0	*0	1	0	19	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	83	0	83	25 (4)	*0	*0	1	0	26	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (*0)	0	*0	0	0	1	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	467	0	495	1,025 (179)	3	*0	16	0	1,043	50 (35)	1	*0	5	0	56	73

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース10、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	0	*0	5	0	5	1	(1)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	16	*0	16	26	(10)	0	*0	1	*0	27	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	5	*0	5	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	27	*0	27	4	(4)	0	*0	*0	*0	4	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	5	*0	5	3	(3)	0	*0	*0	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
岩国市	10	(3)	1	1	33	*0	46	573	(82)	2	2	1	9	586	48	(17)	1	1	*0	3	53	54
光市	*0	(*0)	*0	*0	2	*0	2	5	(5)	*0	*0	0	*0	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6	(1)	*0	*0	47	*0	53	300	(20)	*0	*0	1	2	303	31	(4)	*0	*0	*0	1	32	18
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	36	*0	36	26	(9)	*0	*0	*0	*0	27	1	(1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	15	*0	15	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3	(*0)	*0	*0	31	*0	34	179	(8)	*0	*0	*0	1	181	2	(2)	*0	*0	*0	1	2	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	2	*0	3	39	(6)	*0	*0	*0	1	40	4	(1)	*0	*0	*0	*0	4	5
上関町	*0	(*0)	*0	*0	5	*0	5	13	(1)	*0	*0	*0	*0	13	*0	(*0)	*0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	5	*0	5	22	(3)	*0	*0	*0	*0	22	1	(1)	*0	*0	*0	*0	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	34	*0	34	95	(3)	*0	*0	*0	1	96	1	(1)	*0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	20	(5)	2	2	268	0	291	1,289	(157)	2	3	4	15	1,313	91	(31)	1	1	1	6	100	80

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース10、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	1	(1)	0	*0	*0	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	15	*0	15	14	(9)	0	*0	1	1	16	1	(1)	0	*0	*0	1	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	7	*0	7	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	29	*0	29	3	(3)	0	*0	*0	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	3	(3)	0	*0	*0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	11	(3)	1	6	32	1	50	475	(75)	2	6	1	35	519	31	(16)	1	2	*0	14	48	49
光市	*0	(*0)	*0	*0	2	*0	2	4	(4)	*0	*0	0	1	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6	(1)	*0	1	42	*0	49	194	(16)	*0	1	1	8	204	17	(3)	*0	*0	*0	3	21	16
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	37	*0	37	14	(8)	*0	*0	*0	1	15	1	(1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	15	*0	15	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	2	(*0)	*0	*0	31	*0	34	167	(7)	*0	*0	*0	5	173	1	(1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	3	*0	3	32	(5)	*0	*0	*0	2	35	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0	(*0)	*0	*0	6	*0	6	12	(1)	*0	*0	*0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	4	*0	4	17	(3)	*0	*0	*0	1	19	1	(1)	*0	*0	*0	1	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	39	*0	39	43	(3)	*0	*0	*0	3	46	1	(1)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	1	(*0)	0	*0	0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	21	(5)	2	7	269	2	300	983	(142)	2	9	4	59	1,057	57	(28)	1	2	1	23	85	72

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース10、盆・夜、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	0	*0	7	0	7	1	(1)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	12	*0	12	13	(8)	0	*0	1	1	15	1	(1)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	5	*0	6	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	30	*0	30	3	(3)	0	*0	*0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	2	*0	2	3	(3)	0	*0	*0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
岩国市	12	(3)	2	7	31	1	53	525	(79)	2	8	1	39	574	37	(17)	1	2	*0	15	56	58
光市	*0	(*0)	*0	*0	3	*0	3	4	(4)	*0	*0	0	1	5	1	(1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	9	(1)	*0	1	55	*0	66	483	(33)	*0	2	1	12	498	52	(7)	*0	*0	*0	5	58	26
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	26	*0	26	14	(7)	*0	*0	*0	1	15	1	(1)	*0	*0	*0	*0	1	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	18	*0	18	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3	(*0)	*0	*0	18	*0	22	169	(6)	*0	*0	*0	6	176	1	(1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	2	*0	3	36	(4)	*0	*0	*0	2	38	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0	(*0)	*0	*0	3	*0	3	12	(*0)	*0	*0	*0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	2	*0	3	22	(4)	*0	*0	*0	1	24	1	(1)	*0	*0	*0	1	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	12	*0	13	75	(2)	*0	*0	*0	3	78	*0	(*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	25	(6)	2	8	228	2	265	1,362	(156)	3	11	4	67	1,446	98	(31)	1	3	1	26	129	91

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース11、冬・深夜、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	25	0	25	10 (10)	0	*0	2	0	12	2 (2)	0	*0	1	0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	1	0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	0	1	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	4 (4)	0	*0	1	0	6	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	4 (4)	0	*0	1	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	0
岩国市	13 (4)	2	*0	50	0	65	537 (98)	2	*0	2	0	542	26 (21)	1	*0	1	0	28	50
光市	*0 (*0)	*0	*0	6	0	6	6 (6)	*0	*0	*0	0	7	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	59	0	67	172 (17)	*0	*0	2	0	174	13 (4)	*0	*0	1	0	14	16
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	72	0	72	9 (9)	*0	*0	3	0	12	1 (1)	*0	*0	1	0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	28	0	28	1 (1)	0	*0	1	0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	43	0	46	180 (9)	*0	*0	2	0	182	2 (2)	*0	*0	1	0	3	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	40 (7)	*0	*0	1	0	41	2 (2)	*0	*0	*0	0	2	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	14 (1)	*0	*0	*0	0	14	*0 (*0)	*0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	5	0	5	18 (5)	*0	*0	1	0	19	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	82	0	82	25 (4)	*0	*0	1	0	26	1 (1)	*0	*0	*0	0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (*0)	0	*0	0	0	1	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	467	0	495	1,025 (179)	3	*0	19	0	1,047	50 (35)	1	*0	7	0	58	73

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース11、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）						負傷者（人）						重傷者（人）［負傷者の内数］						自力脱出困難者（人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1	土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	1 (1)	0	*0	*0	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	15	*0	15	26 (10)	0	*0	*0	*0	27	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	5	*0	5	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	27	*0	27	4 (4)	0	*0	*0	*0	4	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	4	*0	4	3 (3)	0	*0	*0	*0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
岩国市	10 (3)	1	1	32	*0	45	573 (82)	2	2	1	9	586	48 (17)	1	1	*0	3	53	54
光市	*0 (*0)	*0	*0	3	*0	3	5 (5)	*0	*0	*0	*0	5	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6 (1)	*0	*0	47	*0	54	300 (20)	*0	*0	1	2	303	31 (4)	*0	*0	*0	1	32	18
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	37	*0	37	26 (9)	*0	*0	1	*0	27	1 (1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	14	*0	14	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	27	*0	30	179 (8)	*0	*0	*0	1	181	2 (2)	*0	*0	*0	1	2	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	2	*0	2	39 (6)	*0	*0	*0	1	40	4 (1)	*0	*0	*0	*0	4	5
上関町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	13 (1)	*0	*0	0	*0	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	5	*0	5	22 (3)	*0	*0	*0	*0	22	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	34	*0	34	95 (3)	*0	*0	*0	1	96	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	20 (5)	2	2	262	0	286	1,289 (157)	2	3	5	15	1,314	91 (31)	1	1	2	6	101	80

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

南海トラフ巨大地震：ケース11、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	1	(1)	0	*0	*0	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0	(*0)	0	*0	14	*0	14	14	(9)	0	*0	*0	1	16	1	(1)	0	*0	*0	1	2	0
山口市	*0	(*0)	0	*0	7	*0	7	2	(2)	0	*0	*0	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0	(*0)	0	*0	29	*0	29	3	(3)	0	*0	*0	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
下松市	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	3	(3)	0	*0	*0	*0	3	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
岩国市	11	(3)	1	6	31	1	49	475	(75)	2	6	1	35	519	31	(16)	1	2	*0	14	48	49
光市	*0	(*0)	*0	*0	3	*0	3	4	(4)	*0	*0	*0	1	5	1	(1)	*0	*0	*0	*0	1	0
長門市	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	6	(1)	*0	1	42	*0	50	194	(16)	*0	1	1	8	204	17	(3)	*0	*0	*0	3	21	16
美祢市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0	(*0)	*0	*0	38	*0	38	14	(8)	*0	*0	1	1	15	1	(1)	*0	*0	*0	*0	2	0
山陽小野田市	*0	(*0)	0	*0	14	*0	14	1	(1)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	2	(*0)	*0	*0	27	*0	30	167	(7)	*0	*0	*0	5	173	1	(1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1	(*0)	*0	*0	3	*0	3	32	(5)	*0	*0	*0	2	35	2	(1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0	(*0)	*0	*0	5	*0	5	12	(1)	*0	*0	0	1	13	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	*0	*0	4	*0	4	17	(3)	*0	*0	*0	1	18	1	(1)	*0	*0	*0	1	1	1
平生町	*0	(*0)	*0	*0	38	*0	39	43	(3)	*0	*0	*0	3	46	1	(1)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	1	(*0)	0	*0	0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	21	(5)	2	7	264	2	295	983	(142)	2	9	5	59	1,058	57	(28)	1	2	2	23	86	72

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬・深夜、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	7	0	8	17	(17)	*0	*0	1	0	18	3	(3)	*0	*0	*0	0	3	0
宇部市	16	(4)	*0	*0	21	0	37	373	(95)	*0	*0	4	0	377	29	(19)	*0	*0	1	0	31	73
山口市	64	(6)	*0	*0	14	0	78	635	(132)	*0	*0	1	0	636	103	(27)	*0	*0	*0	0	103	174
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	105	(19)	1	10	54	0	170	1,260	(368)	1	10	4	0	1,274	195	(81)	1	3	1	0	199	462
下松市	*0	(*0)	0	*0	6	0	6	12	(12)	0	*0	*0	0	12	2	(2)	0	*0	*0	0	2	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	44	0	44	1	(1)	0	*0	12	0	13	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	0
光市	*0	(*0)	0	*0	5	0	5	6	(6)	0	*0	*0	0	6	1	(1)	0	*0	*0	0	1	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	65	0	65	0	(0)	0	0	6	0	6	0	(0)	0	0	2	0	2	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	3	(3)	*0	*0	0	0	3	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	0
周南市	1	(1)	*0	*0	63	0	65	96	(42)	*0	*0	5	0	102	8	(8)	*0	*0	2	0	10	4
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	*0	26	0	27	33	(14)	*0	*0	2	0	35	3	(3)	*0	*0	1	0	3	1
周防大島町	0	(0)	0	0	55	0	55	0	(0)	0	0	8	0	8	0	(0)	0	0	3	0	3	0
和木町	0	(0)	0	0	2	0	2	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	12	0	12	*0	(*0)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0	(*1)	0	*0	4	0	4	*0	(*0)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
平生町	*0	(*2)	0	*0	76	0	76	*0	(*0)	0	*0	9	0	9	*0	(*0)	0	*0	3	0	3	0
阿武町	*0	(*3)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	188	(32)	1	10	452	0	652	2,435	(689)	2	10	55	0	2,502	344	(144)	1	3	19	0	366	714

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	5	*0	6	59	(15)	*0	*0	1	3	63	2	(2)	*0	*0	*0	1	4	0
宇部市	11	(3)	*0	6	11	1	28	444	(84)	*0	6	2	18	470	32	(17)	*0	2	1	7	42	65
山口市	47	(4)	*0	7	5	1	60	812	(97)	*0	8	*0	27	848	99	(20)	*0	2	*0	11	112	138
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	72	(18)	1	40	28	1	142	1,020	(328)	1	39	1	30	1,092	165	(72)	*0	11	*0	12	189	378
下松市	*0	(*0)	0	*0	5	*0	6	32	(9)	0	*0	*0	5	37	2	(2)	0	*0	*0	2	4	0
岩国市	*0	(*1)	0	*0	29	*0	29	1	(1)	0	*0	4	1	6	*0	(*0)	0	*0	1	*0	2	0
光市	*0	(*2)	0	*0	3	*0	3	10	(4)	0	*0	*0	3	13	1	(1)	0	*0	*0	1	2	0
長門市	*0	(*3)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	51	*0	51	0	(0)	0	0	4	1	5	0	(0)	0	0	1	*0	2	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	10	(2)	*0	*0	0	1	11	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	1	0
周南市	1	(1)	*0	*0	35	*0	37	254	(42)	*0	*0	2	15	271	8	(8)	*0	*0	1	6	15	7
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	1	13	*0	14	42	(12)	*0	1	1	3	46	2	(2)	*0	*0	*0	1	4	1
周防大島町	0	(0)	0	0	35	*0	35	0	(0)	0	0	4	*0	4	0	(0)	0	0	1	*0	1	0
和木町	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	6	*0	6	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	5	*0	5	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	31	*0	31	*0	(*0)	0	*0	3	*0	4	*0	(*0)	0	*0	1	*0	1	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	133	(28)	1	54	262	3	452	2,684	(594)	2	54	24	107	2,871	312	(124)	1	15	8	42	378	589

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	5	*0	5	27	(13)	*0	*0	1	12	40	2	(2)	*0	*0	*0	5	7	0
宇部市	13	(3)	*0	15	10	2	40	358	(76)	*0	15	2	73	448	26	(16)	*0	4	1	29	60	64
山口市	51	(4)	*0	10	6	5	73	618	(94)	*0	11	*0	110	740	88	(19)	*0	3	*0	43	134	144
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	1	0
防府市	81	(16)	1	65	31	4	182	1,010	(295)	1	64	2	123	1,199	159	(65)	*0	18	1	48	226	389
下松市	*0	(*0)	0	*0	5	1	6	19	(8)	0	*0	*0	21	40	1	(1)	0	*0	*0	8	10	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	27	*0	28	*0	(*0)	0	*0	5	4	9	*0	(*0)	0	*0	2	1	3	0
光市	*0	(*0)	0	*0	3	*0	3	6	(4)	0	*0	*0	11	17	1	(1)	0	*0	*0	4	5	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	46	*0	46	0	(0)	0	0	4	2	6	0	(0)	0	0	1	1	2	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	5	(2)	*0	*0	0	3	8	*0	(*0)	*0	*0	0	1	1	0
周南市	1	(1)	*0	2	36	2	41	156	(36)	*0	2	2	57	217	7	(7)	*0	1	1	22	31	6
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	1	13	*0	15	34	(11)	*0	1	1	13	48	2	(2)	*0	*0	*0	5	7	1
周防大島町	0	(0)	0	0	35	*0	35	0	(0)	0	0	4	*0	4	0	(0)	0	0	1	*0	1	0
和木町	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	7	*0	7	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	1	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	36	*0	36	*0	(*0)	0	*0	4	1	5	*0	(*0)	0	*0	1	*0	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	147	(25)	1	92	265	14	521	2,234	(541)	2	94	25	431	2,785	287	(113)	1	26	9	168	490	604

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：横ずれあり、冬･深夜、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	6	0	6	17	(17)	*0	*0	2	0	19	3	(3)	*0	*0	1	0	3	0
宇部市	16	(4)	*0	*0	19	0	35	373	(95)	*0	*0	4	0	378	29	(19)	*0	*0	2	0	31	73
山口市	64	(6)	*0	*0	13	0	78	635	(132)	*0	*0	*0	0	636	103	(27)	*0	*0	*0	0	103	174
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
防府市	105	(19)	1	10	54	0	170	1,260	(368)	1	10	4	0	1,275	195	(81)	1	3	1	0	200	462
下松市	*0	(*0)	0	*0	5	0	6	12	(12)	0	*0	1	0	13	2	(2)	0	*0	*0	0	2	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	44	0	44	1	(1)	0	*0	12	0	13	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	0
光市	*0	(*0)	0	*0	5	0	5	6	(6)	0	*0	*0	0	6	1	(1)	0	*0	*0	0	1	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	64	0	64	0	(0)	0	0	6	0	6	0	(0)	0	0	2	0	2	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	3	(3)	*0	*0	0	0	3	*0	(*0)	*0	*0	0	0	*0	0
周南市	1	(1)	*0	*0	61	0	63	96	(42)	*0	*0	7	0	103	8	(8)	*0	*0	2	0	10	4
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	*0	26	0	27	33	(14)	*0	*0	2	0	35	3	(3)	*0	*0	1	0	3	1
周防大島町	0	(0)	0	0	53	0	53	0	(0)	0	0	9	0	9	0	(0)	0	0	3	0	3	0
和木町	0	(0)	0	0	2	0	2	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	12	0	12	*0	(*0)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	4	0	4	*0	(*0)	0	*0	1	0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	75	0	75	*0	(*0)	0	*0	10	0	10	*0	(*0)	0	*0	3	0	3	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	0	*0	0
合計	188	(32)	1	10	443	0	642	2,435	(689)	2	10	62	0	2,510	344	(144)	1	3	21	0	369	714

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：横ずれあり、夏・昼、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	5	*0	5	59	(15)	*0	*0	1	3	63	2	(2)	*0	*0	*0	1	4	0
宇部市	11	(3)	*0	6	10	1	27	444	(84)	*0	6	2	18	470	32	(17)	*0	2	1	7	42	65
山口市	47	(4)	*0	7	5	1	60	812	(97)	*0	8	*0	27	848	99	(20)	*0	2	*0	11	112	138
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	72	(18)	1	40	29	1	142	1,020	(328)	1	39	2	30	1,092	165	(72)	*0	11	1	12	189	378
下松市	*0	(*0)	0	*0	5	*0	5	32	(9)	0	*0	1	5	38	2	(2)	0	*0	*0	2	4	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	29	*0	29	1	(1)	0	*0	4	1	6	*0	(*0)	0	*0	1	*0	2	0
光市	*0	(*0)	0	*0	3	*0	3	10	(4)	0	*0	*0	3	13	1	(1)	0	*0	*0	1	2	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	51	*0	51	0	(0)	0	0	4	1	5	0	(0)	0	0	2	*0	2	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	10	(2)	*0	*0	0	1	11	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	1	0
周南市	1	(1)	*0	*0	34	*0	36	254	(42)	*0	*0	3	15	272	8	(8)	*0	*0	1	6	15	7
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	1	12	*0	14	42	(12)	*0	1	1	3	47	2	(2)	*0	*0	*0	1	4	1
周防大島町	0	(0)	0	0	35	*0	35	0	(0)	0	0	5	*0	5	0	(0)	0	0	2	*0	2	0
和木町	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	6	*0	6	*0	(*0)	0	*0	1	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	5	*0	5	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	30	*0	30	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	*0	(*0)	0	*0	1	*0	1	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	133	(28)	1	54	258	3	448	2,684	(594)	2	54	28	107	2,876	312	(124)	1	15	10	42	379	589

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：横ずれあり、冬・夕方、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	4	*0	5	27	(13)	*0	*0	1	12	40	2	(2)	*0	*0	*0	5	7	0
宇部市	13	(3)	*0	15	9	2	39	358	(76)	*0	15	2	73	448	26	(16)	*0	4	1	29	60	64
山口市	51	(4)	*0	10	6	5	73	618	(94)	*0	11	*0	110	740	88	(19)	*0	3	*0	43	134	144
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	*0	(*0)	0	*0	0	*0	1	0
防府市	81	(16)	1	65	31	4	182	1,010	(295)	1	64	2	123	1,200	159	(65)	*0	18	1	48	226	389
下松市	*0	(*0)	0	*0	4	1	5	19	(8)	0	*0	1	21	40	1	(1)	0	*0	*0	8	10	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	27	*0	27	*0	(*0)	0	*0	5	4	9	*0	(*0)	0	*0	2	1	3	0
光市	*0	(*0)	0	*0	3	*0	3	6	(4)	0	*0	*0	11	17	1	(1)	0	*0	*0	4	5	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	46	*0	46	0	(0)	0	0	4	2	6	0	(0)	0	0	1	1	2	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	5	(2)	*0	*0	0	3	8	*0	(*0)	*0	*0	0	1	1	0
周南市	1	(1)	*0	2	36	2	41	156	(36)	*0	2	3	57	218	7	(7)	*0	1	1	22	31	6
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	1	13	*0	15	34	(11)	*0	1	1	13	48	2	(2)	*0	*0	*0	5	8	1
周防大島町	0	(0)	0	0	35	*0	35	0	(0)	0	0	5	*0	5	0	(0)	0	0	2	*0	2	0
和木町	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	7	*0	7	*0	(*0)	0	*0	1	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	*0	(*0)	0	*0	*0	1	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	35	*0	35	*0	(*0)	0	*0	4	1	5	*0	(*0)	0	*0	1	*0	2	0
阿武町	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	147	(25)	1	92	261	14	517	2,234	(541)	2	94	29	431	2,789	287	(113)	1	26	10	168	492	604

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

ケース別想定結果（人的被害）

- シーン別人的被害（死者、負傷者、重傷者、自力脱出困難者）

周防灘断層帯主部区間：横ずれあり、盆・夜、風速15m/s

市町	死者（人）							負傷者（人）							重傷者（人）［負傷者の内数］							自力脱出困難者（人）
	原因別						合計	原因別						合計	原因別						合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒※1		土砂災害	火災	津波※2	その他※3		
下関市	*0	(*0)	*0	*0	7	*0	7	71	(15)	*0	*0	2	16	89	2	(2)	*0	*0	1	6	9	0
宇部市	13	(3)	*0	15	8	3	38	354	(74)	*0	15	2	67	437	26	(15)	*0	4	1	26	57	65
山口市	56	(5)	*0	11	5	5	77	661	(99)	*0	12	*0	106	779	94	(20)	*0	3	*0	41	139	160
萩市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	1	2	*0	(*0)	0	*0	0	1	1	0
防府市	87	(13)	1	70	31	3	192	1,080	(246)	1	68	2	120	1,271	170	(54)	*0	19	1	47	237	417
下松市	*0	(*0)	0	*0	2	1	3	21	(8)	0	*0	*0	22	43	1	(1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	*0	(*0)	0	*0	29	*0	29	*0	(*0)	0	*0	5	4	9	*0	(*0)	0	*0	2	1	3	0
光市	*0	(*0)	0	*0	4	*0	4	6	(4)	0	*0	*0	11	18	1	(1)	0	*0	*0	4	5	0
長門市	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	*0	(*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0	(0)	0	0	54	*0	55	0	(0)	0	0	6	3	9	0	(0)	0	0	2	1	3	0
美祢市	*0	(*0)	*0	*0	0	*0	*0	5	(2)	*0	*0	0	3	8	*0	(*0)	*0	*0	0	1	1	0
周南市	1	(1)	*0	2	25	2	30	155	(33)	*0	2	2	54	213	6	(6)	*0	1	1	21	29	5
山陽小野田市	*0	(*0)	*0	1	16	*0	18	37	(10)	*0	1	1	13	52	2	(2)	*0	*0	*0	5	8	1
周防大島町	0	(0)	0	0	23	*0	23	0	(0)	0	0	3	*0	3	0	(0)	0	0	1	*0	1	0
和木町	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	1	0	1	0	(0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0	(*0)	0	*0	3	*0	3	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0	(*0)	0	*0	2	*0	2	*0	(*0)	0	*0	*0	1	1	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0	(*0)	0	*0	11	*0	11	*0	(*0)	0	*0	1	1	2	*0	(*0)	0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0	(0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	158	(23)	1	98	222	15	494	2,391	(491)	2	99	26	422	2,939	303	(103)	1	28	9	165	505	648

※1 （ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※2 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。

※3 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※4 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

※5 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

参考資料11

前回調査結果（H26.3）との比較（建物被害、人的被害）

前回調査結果（H26.3）との比較（建物被害）

前回調査結果との比較（建物被害）

- 原因別被害棟数（全壊棟数、半壊棟数）

【建物被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

		本調査			前回調査			対前回調査比※1		
		木造	非木造	合計	木造	非木造	合計	木造	非木造	合計
全壊棟数	揺れ	359	134	493	539	70	609	0.7	1.9	0.8
	液状化	3,084	40	3,124	1,726	45	1,771	1.8	0.9	1.8
	土砂災害	24	5	30	50	11	61	0.5	0.5	0.5
	津波	5,072	772	5,844	2,834	621	3,454	1.8	1.2	1.7
	合計	8,539	951	9,490	5,149	746	5,895	1.7	1.3	1.6
半壊棟数	揺れ	4,483	750	5,233	6,688	480	7,168	0.7	1.6	0.7
	液状化	8,705	2,368	11,073	1,761	1,000	2,761	4.9	2.4	4.0
	土砂災害	52	12	64	100	24	124	0.5	0.5	0.5
	津波	24,090	8,678	32,768	21,612	11,356	32,968	1.1	0.8	1.0
	合計	37,330	11,807	49,137	30,162	12,860	43,021	1.2	0.9	1.1

焼失棟数			248			31			8.1

全壊棟数+焼失棟数			9,738			5,926			1.6

※1 本調査/前回調査

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

赤字　：前回調査時より増加

青字　：前回調査時より減少

前回調査結果との比較（建物被害）

- 原因別被害棟数（出火件数、残出火件数、焼失棟数）

【建物被害（全壊棟数+焼失棟数）が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

		本調査			前回調査			対前回調査比※1		
		出火（件）	残出火（件）	焼失（棟）	出火（件）	残出火（件）	焼失（棟）	出火（件）	残出火（件）	焼失（棟）
冬･深夜	風速3m/s	1	0	0	0	0	0	－	－	－
	風速8m/s	1	0	0				－	－	－
	風速15m/s	1	0	0	0	0	0	－	－	－
夏･昼	風速3m/s	7	0	0	1	0	7	7.3	－	－
	風速8m/s	7	1	33				－	－	－
	風速15m/s	7	1	46	1	1	15	7.3	1.0	3.1
冬･夕方	風速3m/s	12	3	59	2	0	14	6.2	－	4.3
	風速8m/s	12	6	155				－	－	－
	風速15m/s	12	6	248	2	2	31	6.2	3.0	8.1

※1 本調査/前回調査

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

赤字　：前回調査時より増加

青字　：前回調査時より減少

：該当データなし

－　：計算不可（前回調査値が0）

前回調査結果（H26.3）との比較（人的被害）

前回調査結果との比較（人的被害）

- 県全域人的被害（死者、負傷者、重傷者）

【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）】

南海トラフ巨大地震：ケース1,2,5,10,11、冬・深夜または盆・夜、風速15m/s

死者数※1　（単位：人）

本調査						前回調査						対前回調査比（本調査/前回調査）					
建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計	建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計	建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計
26　(6)	2	*0	474	0	502	28　(6)	4	0	582	0	614	0.9　(1.0)	0.5	－	0.8	－	0.8

負傷者数※2　（単位：人）

本調査						前回調査						対前回調査比（本調査/前回調査）					
建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計	建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計	建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計
1,362　(156)	3	11	4	67	1,446	1,353　(187)	6	0	118	0	1,477	1.0　(0.8)	0.4	－	0.0	－	1.0

重傷者数※2　（単位：人）

本調査						前回調査						対前回調査比（本調査/前回調査）					
建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計	建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計	建物倒壊※3	土砂災害	火災	津波	その他※4	計
98　(31)	1	3	1	26	129	55　(34)	3	0	40	0	98	1.8　(0.9)	0.5	－	0.0	－	1.3

※1 本調査における死者数最大ケースは「津波ケース5 冬・深夜 風速15m/s」、前回調査は「津波ケース5 夏・昼 風速15m/s」
※2 本調査における負傷者数最大ケースは「津波ケース10 盆・夜 風速15m/s」、前回調査は「津波ケース5 冬・深夜 風速15m/s」
※3 ()内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※4 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※5 重傷者数は負傷者数の内数
※6 小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

赤字：前回調査時より増加
青字：前回調査時より減少
－　：計算不可（前回調査値が0）

参考資料12

第6回検討委員会（速報）との比較（建物被害、人的被害）

建物被害（第6回検討委員会（速報）からの修正点）

【建物被害 修正概要】

- 建物棟数データの精査（建物棟数の減少）による被害棟数の減少
  増築部も1棟として計上 → 建物単位(増築部含む)で1棟計上。
- 推計の精査による微修正（１棟前後の微修正）
  値が完全な0ではなく、小数点以下の数字がある場合の対応（0と＊0の表記）において、四捨五入の扱いを小数点以下第2位まで精査した結果、数値が1棟前後で変更となる場合が発生した。

建物被害（第6回検討委員会（速報）との比較）

- 県全域建物被害（全壊・焼失棟数）

【県全域の建物被害が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

【第6回検討委員会】

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				合計	非木造				合計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
合計	359	3,095	24	5,093	8,571	134	40	5	785	964	9,536	248	9,783

【第7回検討委員会（下関市の建物棟数変更を踏まえ再計算）】

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
合計	359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

建物被害（第6回検討委員会（速報）との比較）

- 県全域建物被害（半壊棟数）

【県全域の建物被害が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：ケース1

【第6回検討委員会】

市町	半壊棟数										
	木造				合計	非木造				合計	合計※1
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
合計	4,483	8,722	52	24,158	37,415	750	2,392	12	8,864	12,017	49,432

【第7回検討委員会（下関市の建物棟数変更を踏まえ再計算）】

市町	半壊棟数									
	木造				小計	非木造				小計	合計※1
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
合計	4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

建物被害（第6回検討委員会（速報）との比較）

- 県全域建物被害（全壊・焼失棟数）

【県全域の建物被害が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

【第6回検討委員会】

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				合計	非木造				合計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
合計	2,711	3,592	15	888	7,205	510	61	6	145	722	7,927	2,439	10,366

【第7回検討委員会（下関市の建物棟数変更を踏まえ再計算）】

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造				小計	非木造				小計			
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波				
合計	2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値
※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している

建物被害（第6回検討委員会（速報）との比較）

- 県全域建物被害（半壊棟数）

【県全域の建物被害が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：縦ずれのみ

【第6回検討委員会】

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				合計	非木造				合計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
合計	8,198	11,693	29	10,965	30,885	2,120	3,566	11	3,900	9,596	40,481

【第7回検討委員会（下関市の建物棟数変更を踏まえ再計算）】

市町	半壊棟数										合計※1
	木造				小計	非木造				小計	
	揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
合計	8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値
※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。
※3 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

人的被害（第6回検討委員会（速報）からの修正点）

【人的被害 修正概要】

・屋内滞留人口の精査による微修正
　屋内滞留人口の精査により建物倒壊に係る検討項目の被害者数が変更となった。

・延焼計算の精査
　建物延焼範囲計算（焼失率）の精査による焼失棟数及び出火件数の変更に伴い、被害者数が変更となった。

・推計の精査による微修正（1人前後の微修正）
　値が完全な0ではなく、小数点以下の数字がある場合の対応（0と＊0の表記）において、四捨五入の扱いを小数点以下第2位まで精査した結果、数値が1人前後で変更となる場合が発生した。

人的被害（第6回検討委員会（速報）との比較）

- 県全域人的被害（死者数、負傷者数、重傷者数）

【項目別人的被害が最大となるケース】

南海トラフ巨大地震：基本3シーン＋特異日

【第6回検討委員会】

死者数※1

第6回検討委員会（速報）					
建物倒壊※4	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
26	3	0	474	0	502

負傷者数※2

第6回検討委員会（速報）					
建物倒壊※4	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
1,455	5	0	3	42	1,504

重傷者数※2, 8

第6回検討委員会（速報）					
建物倒壊※4	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
85	2	0	1	16	104

【第7回検討委員会】

死者数※1

第7回検討委員会（確定報）					
建物倒壊※5	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
26 (6)	2	*0	474	0	502

負傷者数※3

第7回検討委員会（確定報）					
建物倒壊※5	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
1,362 (156)	3	11	4	67	1,446

重傷者数※3, 8

第7回検討委員会（確定報）					
建物倒壊※5	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
98 (31)	1	3	1	26	129

※1　本調査における死者数の最大ケースは「津波ケース5 冬･深夜 風速15m/s」
※2　第6回検討委員会（速報）における負傷者数および重傷者数の最大ケースは「津波ケース5 盆･夜 風速15m/s」
※3　第7回検討委員会（確定報）における負傷者数および重傷者数の最大ケースは「津波ケース10 盆･夜 風速15m/s」
※4　屋内収容物移動・転倒による被害を含む
※5　（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※6　「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。
　　詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。
※7　ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※8　重傷者数は負傷者数の内数
※9　小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※10　1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

人的被害（第6回検討委員会（速報）との比較）

- 県全域人的被害（死者数、負傷者数、重傷者数）

【項目別人的被害が最大となるケース】

周防灘断層帯主部区間：基本3シーン＋特異日

【第6回検討委員会】

死者数※1

第6回検討委員会（速報）					
建物倒壊※4	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
188	2	5	452	0	648

負傷者数※2

第6回検討委員会（速報）					
建物倒壊※4	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
1,961	3	31,300	19	432	33,715

重傷者数※2, 8

第6回検討委員会（速報）					
建物倒壊※4	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
254	1	8,777	10	168	9,211

【第7回検討委員会】

死者数※1

第7回検討委員会（確定報）					
建物倒壊※5	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
188 (32)	1	10	452	0	652

負傷者数※3

第7回検討委員会（確定報）					
建物倒壊※5	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
2,391 (491)	2	99	26	422	2,939

重傷者数※3, 8

第7回検討委員会（確定報）					
建物倒壊※5	土砂災害	火災	津波※6	その他※7	計
303 (103)	1	28	9	165	505

※1　本調査における死者数の最大ケースは「津波ケース5 冬･深夜 風速15m/s」
※2　第6回検討委員会（速報）における負傷者数および重傷者数の最大ケースは「津波ケース5 盆･夜 風速15m/s」
※3　第7回検討委員会（確定報）における負傷者数および重傷者数の最大ケースは「津波ケース10 盆･夜 風速15m/s」
※4　屋内収容物移動・転倒による被害を含む
※5　（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※6　「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。
　　詳細は「【資料4】人的被害（補足）」参照。
※7　ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計
※8　重傷者数は負傷者数の内数
※9　小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※10　1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

第6回検討委員会（速報）との比較（市町別）

人的被害（南海トラフ巨大地震）

【第6回検討委員会（速報値）】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_市町別総括表】

市町	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
下関市	0 (0)	0	0	10	0	10	1 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	0 (0)	0	0	26	0	26	14 (8)	0	0	0	1	15	1	1	0	0	0	0	2
山口市	0 (0)	0	0	14	0	14	2 (2)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
萩市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防府市	0 (0)	0	0	51	0	51	3 (3)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
下松市	0 (0)	0	0	6	0	6	3 (3)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
岩国市	14 (4)	2	0	50	0	66	689 (79)	3	0	0	20	712	43	17	1	0	0	8	52	90
光市	0 (0)	0	0	5	0	5	4 (4)	0	0	0	1	5	1	1	0	0	0	0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
柳井市	8 (1)	0	0	59	0	67	319 (33)	0	0	1	8	328	31	7	0	0	1	3	35	18
美祢市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0 (0)	0	0	83	0	83	15 (7)	0	0	0	1	15	1	1	0	0	0	0	1	32
山陽小野田市	0 (0)	0	0	28	0	28	1 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
周防大島町	3 (0)	1	0	39	0	42	237 (6)	1	0	0	5	243	3	1	0	0	0	2	6	2
和木町	1 (0)	0	0	7	0	8	38 (4)	0	0	0	2	41	2	1	0	0	0	1	3	4
上関町	0 (0)	0	0	10	0	10	17 (1)	0	0	0	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0
田布施町	0 (0)	0	0	4	0	5	23 (4)	0	0	0	1	25	1	1	0	0	0	1	1	1
平生町	0 (0)	0	0	82	0	82	89 (2)	0	0	0	3	92	0	0	0	0	0	1	2	0
阿武町	0 (0)	0	0	0	0	0	1 (0)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26 (6)	3	0	474	0	502	1,455 (156)	5	0	3	42	1,504	85	31	2	0	1	16	104	79

※1：津波ケース5『「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」』の「冬·深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：津波ケース5『「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」』の「盆·夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：津波ケース1, 2, 5, 10, 11の「夏·昼」
※4：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。

【第7回検討委員会】
【項目別 人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_市町別総括表】

市町	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	1 (1)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	13 (8)	0	*0	1	1	15	1 (1)	0	*0	*0	*0	2	0
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	13 (4)	2	*0	50	0	65	525 (79)	2	8	1	39	574	37 (17)	1	2	*0	15	56	58
光市	*0 (*0)	*0	*0	5	0	5	4 (4)	*0	*0	0	1	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	59	0	67	483 (33)	*0	2	1	12	498	52 (7)	*0	*0	1	5	58	26
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	75	0	75	14 (7)	*0	*0	*0	1	15	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	28	0	28	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	47	0	50	169 (6)	*0	*0	*0	6	176	1 (1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	36 (4)	*0	*0	*0	2	38	2 (1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	12 (*0)	*0	*0	*0	1	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	22 (4)	*0	*0	*0	1	24	1 (1)	*0	*0	0	1	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	82	0	82	75 (2)	*0	*0	*0	3	78	*0 (*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	474	0	502	1,362 (156)	3	11	4	67	1,446	98 (31)	1	3	1	26	129	91

※1：「津波ケース5」の「冬·深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「津波ケース10」の「盆·夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「津波ケース1, 2, 5, 10, 11」の「盆·夜 風速15m/s」を設定したケース
※4：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。
※5：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※6：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

人的被害（周防灘断層帯_主部区間）

【第6回検討委員会（速報値）】
【項目別 人的被害が最大となるケース（基本3シーン） _市町別総括表】

市町	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）※2						自力脱出困難者※3
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		
下関市	0 (0)	0	0	7	0	8	24 (13)	0	0	1	14	38	2 (2)	0	0	0	5	8	0
宇部市	16 (4)	0	0	21	0	37	316 (76)	0	3,473	1	73	3,864	23 (16)	0	974	1	29	1,026	73
山口市	65 (6)	0	0	14	0	79	536 (95)	1	2,560	0	110	3,207	77 (20)	0	718	0	43	838	173
萩市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	24
防府市	105 (19)	1	5	54	0	166	892 (295)	2	1,741	1	123	2,758	140 (65)	1	488	1	48	677	556
下松市	0 (0)	0	0	6	0	6	17 (8)	0	0	0	21	38	2 (2)	0	0	0	8	10	0
岩国市	0 (0)	0	0	44	0	44	0 (0)	0	1	3	4	9	0 (0)	0	0	2	1	4	5
光市	0 (0)	0	0	5	0	5	6 (4)	0	0	0	11	17	1 (1)	0	0	0	4	5	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	0 (0)	0	0	65	0	65	0 (0)	0	0	3	2	5	0 (0)	0	0	1	1	2	0
美祢市	0 (0)	0	0	0	0	0	4 (2)	0	0	0	3	6	0 (0)	0	0	0	1	1	0
周南市	1 (1)	0	0	63	0	65	136 (36)	1	20,224	2	57	20,419	7 (7)	0	5,671	1	22	5,702	4
山陽小野田市	0 (0)	0	0	26	0	27	29 (11)	0	3,299	0	13	3,341	2 (2)	0	925	0	5	932	1
周防大島町	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	3	0	4	0 (0)	0	0	2	0	2	0
和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	0	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	171
上関町	0 (0)	0	0	12	0	12	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
田布施町	0 (0)	0	0	4	0	4	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
平生町	0 (0)	0	0	76	0	76	0 (0)	0	0	3	1	4	0 (0)	0	0	1	0	2	0
阿武町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	504
合計	188 (32)	2	5	452	0	648	1,961 (542)	3	31,300	19	432	33,715	254 (113)	1	8,777	10	168	9,211	715

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬·深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「冬·夕方 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬·深夜」
※4：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

【第7回検討委員会】
【項目別 人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日） _市町別総括表】

市町	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）※2						自力脱出困難者※3
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他		
下関市	*0 (*0)	*0	*0	7	0	8	71 (15)	*0	*0	2	16	89	2 (2)	*0	*0	1	6	9	0
宇部市	16 (4)	*0	*0	21	0	37	354 (74)	*0	15	2	67	437	26 (15)	*0	4	1	26	57	73
山口市	64 (6)	*0	*0	14	0	78	661 (99)	*0	12	*0	106	779	94 (20)	*0	3	*0	41	139	174
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	2	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	0
防府市	105 (19)	1	10	54	0	170	1,080 (246)	1	68	2	120	1,271	170 (54)	*0	19	1	47	237	462
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	21 (8)	0	*0	*0	22	43	1 (1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	*0 (*0)	0	*0	44	0	44	*0 (*0)	0	*0	5	4	9	*0 (*0)	0	*0	2	1	3	0
光市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	6 (4)	0	*0	*0	11	18	1 (1)	0	*0	*0	4	5	0
長門市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0 (0)	0	0	65	0	65	0 (0)	0	0	6	3	9	0 (0)	0	0	2	1	3	0
美祢市	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	5 (2)	*0	*0	0	3	8	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
周南市	1 (1)	*0	*0	63	0	65	155 (33)	*0	2	2	54	213	6 (6)	*0	1	1	21	29	4
山陽小野田市	*0 (*0)	*0	*0	26	0	27	37 (10)	*0	1	1	13	52	2 (2)	*0	*0	*0	5	8	1
周防大島町	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	3	*0	3	0 (0)	0	0	1	*0	1	0
和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0 (*0)	0	*0	12	0	12	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	0	*0	4	0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	1	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0 (*0)	0	*0	76	0	76	*0 (*0)	0	*0	1	1	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	188 (32)	1	10	452	0	652	2,391 (491)	2	99	26	422	2,939	303 (103)	1	28	9	165	505	714

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬·深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「盆·夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬·深夜 風速15m/s」
※4：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※5：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある
※6：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

第6回検討委員会（速報）との比較（旧市町村別）

参考資料：旧市町村別人的被害（南海トラフ巨大地震）

【第6回検討委員会（速報値）】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
下関市	下関市	0 (0)	0	0	10	0	10	1 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	菊川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	0 (0)	0	0	26	0	26	14 (8)	0	0	0	1	15	1	1	0	0	0	2	0
	楠町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口市	山口市	0 (0)	0	0	11	0	11	1 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	徳地町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小郡町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	阿知須町	0 (0)	0	0	1	0	1	1 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	阿東町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
萩市	萩市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川上村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田万川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	須佐町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防府市	防府市	0 (0)	0	0	51	0	51	3 (3)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
下松市	下松市	0 (0)	0	0	6	0	6	3 (3)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
岩国市	岩国市	13 (4)	2	0	42	0	58	666 (75)	3	0	0	18	687	42	16	1	0	0	7	50	54
	由宇町	0 (0)	0	0	8	0	8	9 (1)	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	1	1	0
	玖珂町	0 (0)	0	0	0	0	0	2 (1)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	本郷村	0 (0)	0	0	0	0	0	1 (0)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	周東町	0 (0)	0	0	0	0	0	4 (1)	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	錦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美和町	0 (0)	0	0	0	0	0	7 (0)	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0

※1：津波ケース5『「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」』の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：津波ケース5『「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」』の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：津波ケース1, 2, 5, 10, 11の「夏・昼」
※4：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

【第7回検討委員会】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
下関市	下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	1 (1)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
	菊川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	13 (8)	0	*0	1	1	15	1 (1)	0	*0	*0	*0	2	0
	楠町	0 (0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
山口市	山口市	*0 (*0)	0	*0	11	0	11	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	徳地町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	小郡町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	阿知須町	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	1 (1)	0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	阿東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	川上村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	0	*0	0
	田万川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	むつみ村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	須佐町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	旭村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	福栄村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	岩国市	13 (4)	1	*0	42	0	57	506 (75)	2	7	1	37	553	37 (16)	1	2	*0	14	55	58
	由宇町	*0 (*0)	*0	*0	8	0	8	7 (1)	*0	*0	0	1	8	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
	玖珂町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	2 (1)	0	*0	0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	本郷村	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	1 (*0)	*0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	周東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	4 (1)	0	*0	0	*0	4	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	錦町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美和町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	5 (*0)	*0	*0	0	*0	5	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0

※1：「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「津波ケース1, 2, 5, 10, 11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※4：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※5：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※6：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

参考資料：旧市町村別人的被害（南海トラフ巨大地震）

【第6回検討委員会（速報値）】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
光市	光市	0 (0)	0	0	5	0	5	4 (4)	0	0	0	1	5	1	1	0	0	0	1	0
	大和町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
長門市	長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	8 (1)	0	0	50	0	58	309 (31)	0	0	1	6	317	31	7	0	0	1	3	34	18
	大畠町	0 (0)	0	0	9	0	9	10 (2)	0	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	1	0
美祢市	美祢市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美東町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋芳町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	0 (0)	0	0	34	0	34	4 (4)	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	1	0
	新南陽市	0 (0)	0	0	49	0	49	8 (2)	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	熊毛町	0 (0)	0	0	0	0	0	3 (2)	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0
	鹿野町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市	小野田市	0 (0)	0	0	18	0	18	1 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	山陽町	0 (0)	0	0	10	0	10	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周防大島町	久賀町	1 (0)	0	0	5	0	5	53 (1)	0	0	0	1	54	1	0	0	0	0	0	1	1
	大島町	1 (0)	0	0	17	0	18	54 (2)	0	0	0	1	55	1	0	0	0	0	1	2	1
	東和町	1 (0)	0	0	7	0	8	68 (1)	0	0	0	1	69	1	0	0	0	0	0	2	0
	橘町	1 (0)	0	0	10	0	11	62 (2)	0	0	0	2	64	0	0	0	0	0	1	1	0
和木町	和木町	1 (0)	0	0	7	0	8	38 (4)	0	0	0	2	41	2	1	0	0	0	1	3	4
上関町	上関町	0 (0)	0	0	10	0	10	17 (1)	0	0	0	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0
田布施町	田布施町	0 (0)	0	0	4	0	5	23 (4)	0	0	0	1	25	1	1	0	0	0	1	1	1
平生町	平生町	0 (0)	0	0	82	0	82	89 (2)	0	0	0	3	92	0	0	0	0	0	1	2	0
阿武町	阿武町	0 (0)	0	0	0	0	0	1 (0)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		26 (6)	3	0	474	0	502	1,455 (156)	5	0	3	42	1,504	85	31	2	0	1	16	104	79

※1：津波ケース5『「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」』の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：津波ケース5『「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」』の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：津波ケース1,2,5,10,11の「夏・昼」
※4：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

【第7回検討委員会】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
光市	光市	*0 (*0)	*0	*0	5	0	5	4 (4)	*0	*0	0	1	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
	大和町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
長門市	長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	8 (1)	*0	*0	50	0	58	474 (31)	*0	2	1	11	487	52 (7)	*0	*0	1	4	57	26
	大畠町	*0 (*0)	*0	*0	9	0	9	9 (1)	*0	*0	*0	1	10	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	1	0
美祢市	美祢市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	美東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	秋芳町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	4 (4)	0	*0	*0	*0	4	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	0
	新南陽市	*0 (*0)	0	*0	49	0	49	9 (2)	0	*0	*0	*0	9	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	熊毛町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	2 (2)	*0	*0	0	*0	2	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	鹿野町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
山陽小野田市	小野田市	*0 (*0)	0	*0	18	0	18	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	山陽町	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周防大島町	久賀町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	43 (1)	*0	*0	0	1	44	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	1	1
	大島町	1 (*0)	*0	*0	17	0	18	48 (2)	*0	*0	*0	1	50	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	1	1
	東和町	1 (*0)	*0	*0	11	0	12	39 (1)	*0	*0	0	1	41	1 (*0)	*0	*0	*0	*0	2	1
	橘町	*0 (*0)	*0	*0	12	0	12	39 (2)	*0	*0	0	2	41	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
和木町	和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	36 (4)	*0	*0	*0	2	38	2 (1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	12 (*0)	*0	*0	*0	1	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	22 (4)	*0	*0	*0	1	24	1 (1)	*0	*0	0	1	1	1
平生町	平生町	*0 (*0)	*0	*0	82	0	82	75 (2)	*0	*0	*0	3	78	*0 (*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計		26 (6)	2	*0	474	0	502	1,362 (156)	3	11	4	67	1,446	98 (31)	1	3	1	26	129	91

※1：「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「津波ケース1,2,5,10,11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース
※4：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※5：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある。
※6：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

参考資料：旧市町村別人的被害（周防灘断層帯_主部区間）

【第6回検討委員会（速報値）】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
下関市	下関市	0 (0)	0	0	7	0	8	24 (13)	0	0	1	13	38	2 (2)	0	0	0	5	8	0
	菊川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	16 (4)	0	0	21	0	37	315 (75)	0	3,473	1	72	3,861	23 (16)	0	974	1	28	1,026	73
	楠町	0 (0)	0	0	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1	2	0 (0)	0	0	0	1	1	0
山口市	山口市	12 (2)	0	0	11	0	24	207 (42)	0	2,557	0	80	2,845	17 (8)	0	717	0	31	766	46
	徳地町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	29 (2)	0	0	1	0	30	168 (23)	0	1	0	7	176	34 (5)	0	0	0	3	37	64
	小郡町	0 (0)	0	0	0	0	0	23 (7)	0	0	0	14	37	1 (1)	0	0	0	5	7	0
	阿知須町	23 (2)	0	0	1	0	25	138 (23)	0	2	0	9	149	25 (5)	0	1	0	3	29	63
	阿東町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
萩市	萩市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	川上村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	田万川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	須佐町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	旭村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
防府市	防府市	105 (19)	1	5	54	0	166	892 (295)	2	1,741	1	123	2,758	140 (65)	1	488	1	48	677	464
下松市	下松市	0 (0)	0	0	6	0	6	17 (8)	0	0	0	21	38	2 (2)	0	0	0	8	10	0
岩国市	岩国市	0 (0)	0	0	36	0	36	0 (0)	0	1	3	1	5	0 (0)	0	0	2	0	2	0
	由宇町	0 (0)	0	0	8	0	8	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	玖珂町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	2	2	0 (0)	0	0	0	1	1	0
	本郷村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	周東町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	2	0 (0)	0	0	0	1	1	0
	錦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	美川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	美和町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬·深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「冬·夕方 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬·深夜」
※4：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

【第7回検討委員会】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
下関市	下関市	*0 (*0)	*0	*0	7	0	8	71 (15)	*0	*0	2	16	89	2 (2)	*0	*0	1	6	9	0
	菊川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	豊田町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
宇部市	宇部市	16 (4)	*0	*0	21	0	37	352 (73)	*0	15	2	65	434	26 (15)	*0	4	1	26	56	73
	楠町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	2 (1)	0	*0	0	1	3	*0 (*0)	0	*0	0	*0	1	0
山口市	山口市	12 (2)	*0	*0	11	0	24	258 (38)	*0	8	*0	74	341	21 (7)	*0	2	*0	29	52	46
	徳地町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	0 (0)	*0	*0	0	*0	*0	0 (0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	秋穂町	29 (2)	*0	*0	1	0	30	210 (21)	*0	1	0	6	217	43 (5)	*0	*0	0	2	45	64
	小郡町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	23 (6)	*0	2	0	12	38	1 (1)	*0	1	0	5	7	0
	阿知須町	23 (2)	*0	*0	1	0	25	170 (34)	*0	1	*0	13	184	30 (7)	*0	*0	*0	5	35	64
	阿東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	川上村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
	田万川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	むつみ村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	須佐町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	旭村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	福栄村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	防府市	105 (19)	1	10	54	0	170	1,080 (246)	1	68	2	120	1,271	170 (54)	*0	19	1	47	237	462
下松市	下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	21 (8)	0	*0	*0	22	43	1 (1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	岩国市	0 (0)	0	0	36	0	36	0 (0)	0	0	4	1	5	0 (0)	0	0	1	*0	2	0
	由宇町	0 (0)	0	0	8	0	8	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	玖珂町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	2	2	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	0
	本郷村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	周東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	錦町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	美和町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬·深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「盆·夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬·深夜 風速15m/s」
※4：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※5：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある
※6：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

参考資料：旧市町村別人的被害（周防灘断層帯_主部区間）

【第6回検討委員会（速報値）】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
光市	光市	0 (0)	0	0	5	0	5	6 (4)	0	0	0	10	16	1 (1)	0	0	0	4	5	0
	大和町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
長門市	長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	2	2	5	0 (0)	0	0	1	1	2	0
	大畠町	0 (0)	0	0	9	0	9	0 (0)	0	0	0	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
美祢市	美祢市	0 (0)	0	0	0	0	0	3 (2)	0	0	0	2	5	0 (0)	0	0	0	1	1	0
	美東町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	秋芳町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	1 (1)	0	0	25	0	27	74 (22)	0	19,925	1	41	20,041	4 (4)	0	5,588	1	16	5,608	1
	新南陽市	1 (1)	0	0	38	0	38	61 (13)	0	299	1	11	372	3 (3)	0	84	1	4	91	3
	熊毛町	0 (0)	0	0	0	0	0	1 (1)	0	0	0	4	5	0 (0)	0	0	0	2	2	0
	鹿野町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市	小野田市	0 (0)	0	0	16	0	16	24 (8)	0	3,299	0	8	3,332	2 (2)	0	925	0	3	930	1
	山陽町	0 (0)	0	0	10	0	10	5 (3)	0	0	0	4	9	1 (1)	0	0	0	2	2	0
周防大島町	久賀町	0 (0)	0	0	7	0	7	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	大島町	0 (0)	0	0	17	0	17	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	東和町	0 (0)	0	0	11	0	11	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	1	0	1	0
	橘町	0 (0)	0	0	19	0	19	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
和木町	和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	0	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
上関町	上関町	0 (0)	0	0	12	0	12	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
田布施町	田布施町	0 (0)	0	0	4	0	4	0 (0)	0	0	0	1	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0
平生町	平生町	0 (0)	0	0	76	0	76	0 (0)	0	0	3	1	4	0 (0)	0	0	1	0	2	0
阿武町	阿武町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
合計		188 (32)	2	5	452	0	648	1,961 (542)	3	31,300	19	432	33,715	254 (113)	1	8,777	10	168	9,211	715

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬･深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「冬･夕方 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬･深夜」
※4：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

【第7回検討委員会】
【項目別人的被害が最大となるケース（基本3シーン+特異日）_旧市町村別総括表】

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1 原因別						負傷者（人）※2 原因別						重傷者（人）※2 原因別						自力脱出困難者※3
		建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	建物倒壊、屋内収容物移動・転倒	土砂災害	火災	津波	その他	合計	
光市	光市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	6 (4)	0	*0	*0	11	17	1 (1)	0	*0	*0	4	5	0
	大和町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
長門市	長門市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	油谷町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	柳井市	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	5	3	8	0 (0)	0	0	2	1	3	0
	大畠町	0 (0)	0	0	9	0	9	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
美祢市	美祢市	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	4 (1)	*0	*0	0	2	6	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
	美東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	秋芳町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	1 (*0)	*0	*0	0	1	2	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
周南市	徳山市	1 (1)	*0	*0	25	0	27	90 (21)	*0	2	1	40	133	4 (4)	*0	*0	*0	15	20	1
	新南陽市	*0 (*0)	*0	*0	38	0	38	65 (10)	*0	1	1	9	76	2 (2)	*0	*0	*0	4	6	3
	熊毛町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (1)	0	*0	0	5	6	*0 (*0)	0	*0	0	2	2	0
	鹿野町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
山陽小野田市	小野田市	*0 (*0)	*0	*0	16	0	16	29 (7)	*0	1	1	8	39	1 (1)	*0	*0	*0	3	5	1
	山陽町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	8 (3)	*0	*0	*0	5	13	1 (1)	*0	*0	*0	2	3	0
周防大島町	久賀町	0 (0)	0	0	7	0	7	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	大島町	0 (0)	0	0	17	0	17	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	東和町	0 (0)	0	0	11	0	11	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	橘町	0 (0)	0	0	19	0	19	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
和木町	和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	上関町	*0 (*0)	0	*0	12	0	12	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	田布施町	*0 (*0)	0	*0	4	0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	1	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	平生町	*0 (*0)	0	*0	76	0	76	*0 (*0)	0	*0	1	1	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計		188 (32)	1	10	452	0	652	2,391 (491)	2	99	26	422	2,939	303 (103)	1	28	9	165	505	714

※1：「主部区間 縦ずれのみ」の「冬･深夜 風速15m/s」を設定したケース
※2：「主部区間 横ずれあり」の「盆･夜 風速15m/s」を設定したケース
※3：「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬･深夜 風速15m/s」
※4：（ ）内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す
※5：小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある
※6：1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「*0」で表示している。

【資料５】

地震発生からの時間経過	地震・津波の状況など	自分と家族の行動（自助）	地域の行動（共助）	行政等の行動（公助）	被災の様相	海溝型地震発生時の山口県での被災の状況等	南海トラフの巨大地震時	他の季節・時間帯で地震が発生した場合等の留意事項
地震発生前	平常時の備え	・ハザードマップにより、自宅の危険性を認識しておく ・耐震診断による建物の安全性確認と安全性が低い場合は耐震補強等を行う ・家具の固定 ・ハザードマップ等により、避難場所や避難経路の確認を行う ・地域で行われる避難訓練等に参加する ・備蓄食料品を準備しておく（ローリングストック推奨） ・防災用品等を準備しておく（予め何が必要かを調べておいて準備） ・個人的に必要な非常持出品は直ぐ持ち出せるように準備しておく（薬（お薬手帳、マイナ保険証）、衛生用品等） ・避難に支援が必要な場合は、支援者との日頃からのコミュニケーションを取っておく	・地域での防災リーダーの育成（防災士取得、防災サポータ制度の利用等） ・地域での街あるき（避難路における危険個所の確認等）を行う ・避難訓練の実施や防災関連イベント（住民だけでなく企業等にも参加を促す）により地域住民への啓発活動 ・地域の企業、学校、病院等とのコミュニケーションにより、災害時の連携や役割分担を明確化しておく ・自主防災組織の日頃の活動と新規人員の拡充も図る ・避難行動要支援者の把握と日頃からの活動（助け合いマップ等も作っておく）	・ハザードマップ等の公表・配布と啓発活動支援 ・防災訓練、防災イベントの実施、支援 ・防災サポータ制度の拡充 ・耐震化促進のための啓発活動と耐震診断や耐震補強等への助成・補助金制度拡充 ・避難ビルの指定、避難タワーの建設 ・避難路と避難場所の整備 ・避難行動要支援者に対する個別避難計画の策定支援 ・自動車避難ルール作りのガイドライン策定				
地震発生	地震発生 **気象庁から緊急地震速報が出される** 大きな揺れに見舞われる 平野部などでは液状化が発生し、斜面崩壊による土砂災害も発生する	・身を守る行動をする ・津波が発生し、沿岸に来るかもしれないと想定する			・耐震性の低い建物は倒壊し、下敷きになり死傷者発生 ・固定が不十分な家具・什器の転倒・移動により、死傷者発生 ・建物などに挟まり身動きができなくなった人がいる ・高層建物では、長周期の大きな揺れにより、身動きができなくなった人がいる ・揺れでハンドル操作が上手く出来ない車の事故が発生 ・列車の脱線も発生する	・県東部の広い地域で震度5弱以上の揺れに見舞われ、一部地域では震度6強の揺れに見舞われる ・県西部や内陸地域では、震度5強の揺れに見舞われる地域もある ・県東部の沿岸の地域で液状化の危険度がかなり高くなる地域があり、県西部の沿岸でも危険度が高い地域がある ・主に県東部で急傾斜崩壊の危険度が高い箇所がある ・揺れによる堤防の被災により、地震発生直後から浸水が始まり被害が発生する	【発災直後の様相】 ・地震発生による揺れと液状化、更にその直後に襲う津波や発生した火災の延焼により、多くの建物被害、人的被害が発生する。 ・広範囲の地域において、ライフラインの供給（電力、上下水道、都市ガス）が停止する ・固定電話が途絶し、輻輳により携帯電話も通話できなくなり、インターネットも接続できないエリアが発生する ・高速道路は、被災と点検のため通行止めとなる ・幅員の大きい道路は機能を果たすが、幅員の小さい道路や中山間部、津波被害を受けた道路等の多くが通過困難となる ・東海道・山陽新幹線の全線が不通になり、被災府県を中心に在来線各線が普通になり、震度５強以下の地域でも一部不通となる ・耐震強化岸壁は揺れでは機能を維持するが、津波により防波堤が被災し、港湾内が津波被害を受け、機能が停止する ・被災地内の空港は点検のため閉鎖される ・石油精油所の精油機能停止により石油精製能力が低下し、製品の出荷・受入機能も停止するため、被災地で石油製品の供給ができなくなる ・建物がれき等の災害廃棄物や津波堆積物が大量に発生する ・建物等から避難した人は、指定避難所や指定緊急避難場所に避難し、空き地等に避難する場合も発生する ・一時的に外出先で滞留する人が都市部で多く発生する ・自治体の庁舎の浸水や倒壊も発生する ・指揮命令権者や職員に被災により、災害応急対策が混乱し、更に停電・通信途絶により、被害状況の把握ができない	
数分程度～	揺れが収まる	・沿岸にいる場合は揺れが収まったら避難を開始する ・近隣に人や避難途中で見かけた人にも避難の呼びかけを行う	・避難の呼びかけも行う ・閉じ込められた人がいれば助ける ・避難しないという人の説得や避難に手間取っている人を助ける		・直ぐに避難しようとしない人もいる ・動きたくないという人もいる ・高齢者等避難開始に手間取る人もいる ・火気を使用している場合は火災も発生する	・揺れ・液状化・土砂災害による建物被害：全壊3,646棟、半壊16,370棟 ・揺れ・土砂災害による人的被害：死者28人、負傷者1,365人 ・県内の多くで停電となる ・避難の開始（被害想定では冬夕方の避難開始は7分後）		・深夜に地震が発生した場合は、散乱した部屋などの状況が直ぐに分からず、ガラス破片等でけがをする
	気象庁から大津波警報が発令される	・地震についての情報を得る	・消火を試みるも警報発令のため諦める	・地震の情報を防災無線等を通じて住民の通報する（停電の影響や設備の破損で情報発信できない場合や、情報発信できても住民には聞こえていない場合もある）	・津波避難優先のため初期消火もままならず、延焼火災となる	・地震発生直後のライフライン被害： 断水人口85,592人、下水道支障人口4,244人、停電軒数13,443軒、電話不通回線7,546回線		・夏期は海水浴客、釣り客、観光客が地震に遭遇する
最短40分程度	海岸部に津波到達	・沿岸にいる場合は高台（予め決められた避難場所等）に向けて避難する	・避難誘導をする		・避難行動要支援者とその同行者は逃げるスピードが遅いため、取り残されがちになる。 ・自動車で逃げようとする人もいる ・日頃、避難訓練に参加していない人は、避難に手間取る可能性がある。	・道路閉塞の可能性が高い所もあり、自動車避難が困難な所も出てくる		・深夜の場合、予め照明の用意をしていな人は、避難準備に時間がかかる ・陸にいる観光客は地元の人とともに避難する ・渡船を使った釣り客は津波に巻き込まれる ・早朝の場合等で漁に出ている船は帰港できず、沖に移動退避する

【資料５】

40分～2時間程度	津波が陸地内を進んで来る	・引き続き安全な場所を目指して避難移動する ・避難開始が遅れたりして間に合わないと思ったら、非常手段として建物の上層階に逃げる	・避難誘導を続ける ・階段等で登りづらい人を助ける	・災害対策本部の立ち上げと非常参集の開始（ただし、津波浸水域内の場合はまずは避難する） ・避難の広報	・津波に追いつかれた人は津波に巻き込まれる ・自動車避難をしても、道路の液状化、倒壊した建物・電柱、橋梁の段差などで通行できなくなったり、渋滞の発生で動けなくなり、津波に巻き込まれる ・上層階に逃げた人も津波高さが上回った所は津波に巻き込まれる ・脆弱な建物は津波により破壊されてそこに避難した人は津波に巻き込まれる ・建物などに挟まり身動きができない人は溺死する	・沿岸の平野が広い地域では、地震発生時に海岸から近い所にいる人は、津波から逃げきれない場合も出てくる ・防災上重要となる施設で津波浸水を受ける施設がある ・漁船等の船舶、養殖いかだ等の海上にあったものが陸に遡上してくる	【発災当日から翌日、２日後の様相】 ・事業者間の電力融通や、変電所被害については系統切替で停電の一部は解消するが、電柱被害の復旧には更に時間が必要となる ・上下水道や都市ガスの停止状況が続く ・携帯電話は基地局の非常用電源が停止し、不通エリアが最大となるが、通話可能地域においては、徐々に通信規制が緩和され、音声通信はつながるようになる ・高速道路等では一部で点検後通行可能となるが、交通規制等もあって、大渋滞も発生する ・在来線の鉄道は多くの路線で不通となり、東海道・山陽新幹線は徳山以西は運転を再開する ・全国の空港は被災地域の緊急オペレーションのため、大幅なダイヤ変更となる ・多数の避難者の発生により、満杯となる避難所が発生する ・水・食料は家庭内備蓄と公的備蓄により対応するが、対応しきれず不足も発生する ・都市部では多くの帰宅困難者が発生する ・道路啓開が進まず、域外からの救援活動は限定的であり、ヘリコプターによる支援が主体となる ・孤立集落等への救援・支援が遅れる可能性がある ・停電と通信途絶の影響を受け、被災状況把握に時間がかかり、自治体間での支援調整にも時間がかかる	・深夜の場合、避難経路上の非常照明が無く照明器具を持たない人は、避難経路を誤り津波に巻き込まれる人も発生する
2時間～4時間程度	津波の第1波だけでなく第2波以降も続く 夜が明ける	・高台等に避難してもさらに津波が迫って来る場所もあり、その場合は再移動も行う ・辺りの状況が見えてくる		・夜明けとともに、徐々に被災状況が分かってくるが、被害の全体像はまだ分からない	・再移動中に津波に巻き込まれる ・水上を漂っている人が漂流するがれき等とぶつかって亡くなる ・燃えている浮遊物（家屋、自動車、石油タンク等）も発生する	・津波による建物被害：全壊5,844棟、半壊32,768棟 ・津波による人的被害：死者474人、負傷者4人		
4時間～6時間	津波が収まってくる 被災地で大規模火災発生			・被災状況についての情報収集を始める ・避難所開設の準備を始める	・建物の屋根の上等に取り残された人もいるがどこにいるか分からない ・家族や自社職員の安否確認できない	・火災による建物被害：全焼248棟 ・火災による人的被害：死者ほぼゼロ4人、負傷者11人 ・建物被害の合計：全壊全焼9,738棟、半壊49,137棟 ・人的被害の合計：死者502人、負傷者1,446人 ・冬期の地震のため、露天や屋上等で備えがない所に避難した人の中から、暖が取れず低体温症で亡くなる人も出てくる		
約半日後	津波が収まる	・冬期であるため、避難したら暖を取る行動も必要	・高台等で備蓄品が無い所に避難した所では、避難所への移動や近隣からの調達も始める		・通信手段がない所では、引き続き家族や自社職員の安否確認ができない	・冬期の地震のため、暖が取れない所に避難した人で、低体温症で亡くなる人がさらに増える ・帰宅困難者：67,113人、滞留者：75,614人		・日中に地震発生の場合は、これから夜間となり、状況把握の継続が困難となる ・夏期の場合は、屋外に避難して熱中症になる人が発生
1日程度	被災状況が徐々に分かる **気象庁からの警報等が、津波警報、津波注意報と順次変更され、2日程度で解除となる**	・自宅などの後片付けを始める ・自宅等が流失して住む場所がない場合は、避難所で生活を始める	・可能な所では、助け合って避難所への移動を行う ・孤立化した所では、近隣からの調達をさらに試みる ・上空から分かるように状況を知らせるサインを作成（国際民間航空機構対空信号、のろし等）	・行政による救援行動が開始される ・きめ細かにはできず孤立状態が続く	・食料、飲料水の備えがない所で困窮する ・暖が取れない所では低体温症で亡くなる人がさらに増えてくる ・崖崩れで道路が使えない所も発生する ・被災した自宅の様子を見に行き、片付けなどを始める	・発災当日・1日後の避難者：全体245,720人（避難所160,290人（うち要配慮者83,233人）、避難所外85,433人） ・発災1日後のライフライン被害： 断水人口48,519人、下水道支障人口4,212人、停電軒数6,925軒、電話不通回線4,995回線	【3日後の様相】 ・電力はある程度の復旧が見込まれるが、上下水道の復旧は限定的であり、都市ガスは多くが停止したままの状況 ・高速道路は仮復旧が完了するが、直轄国道は不通区間が残っている ・交通規制により緊急車両の通行が優先され、一般車両の通行は制限される ・東海道・山陽新幹線（徳山以東）、在来線は応急復旧中のため不通のままの状態 ・瀬戸内海の各港では、入港可能な港湾を利用した緊急輸送が実施される ・在宅者が、食料等の不足により避難所に移動し始め、避難所避難者数が増加するが、避難者の所在・人数の確認や、救援物資の内容・必要量の確認が十分できない	・冬期の道路凍結や除雪が進まない所では思うように支援物資が届けられない
1週間程度	支援の動きが始められ、ライフラインの復旧も進められる	・避難所以外（親戚・知人宅等）での生活ができる場合は移動する ・疎開先がない場合は、避難所での生活を続ける	・避難所運営に協力する（地域住民の中でも役割分担等をする） ・避難所内での避難生活ルールつくり ・災害ボランティアの方と連携して片付け等の差配	・救援物資の集積基地を設けて、各避難所への配送を開始 ・孤立している個所が無いかの確認と救援 ・関連機関との連携した活動と、被災地状況の集約 ・避難所運営を行う ・ボランティア活動の管理	・食料、飲料水の備えがない所で困窮が続く ・孤立した所に避難した人の状況やようやくわかってくる ・避難所内でのストレスが生じてくる	・発災1週間後の避難者：全体132,110人（避難所97,723人（うち要配慮者51,212人）、避難所外34,387人） ・発災1週間のライフライン被害： 断水人口9,446人、下水道支障人口4,166人、停電軒数なし、電話不通回線4,995回線		・冬期に比べ夏期は、遺体の腐敗も進み、衛生状態の悪化（ゴミ・し尿の処理や食物の腐敗、食中毒等）の可能性が高まる
1か月程度	復旧作業の本格化と復興に向けて動きが始まる	・自宅を失った人は避難所生活が続く ・長期間の避難生活によるストレスも発生 ・今後の生活のこと考える	・元の地域コミュニティの継続に向けて活動開始 ・仮設住宅地などでのコミュニティを作る（孤独にならないように） ・災害廃棄物の一時集積場所の確保	・上記の救援活動の継続 ・仮設住宅、みなし仮設住宅の開設 ・メンタルケアを含めた支援を行う	・避難所でのいろいろな問題が顕在化してくる（避難所運営（避難所ごとのルールつくり、支援物資の配給、感染症対策、屋外避難者の対応、等）における問題、プライバシー問題、要配慮者への対応、ペットの取り扱い等々） ・避難所生活でのストレスや持病の悪化等による災害関連死が発生する ・知人などを頼って疎開する人も出てくる ・民間企業では事業を再開し始める企業も出てくる ・事業再開できない企業の影響が全国に波及する ・ボランティア活動も本格化してくる ・がれきの山があちこちにできる ・港内の水中にがれきなどが堆積し、船舶の往来に支障が生じる	・発災1ヶ月後の避難者：全体132,290人（避難所39,687人（うち要配慮者20,758人）、避難所外92,604人） ・ライフラインは復旧が進み1ヶ月後の支障はすべて解消 ・発災後の災害関連死は641人～1,282人	【1週間後の様相】 ・電力は配電支障の多くは解消されるが、供給側の被害により、節電要請や計画停電が行われる場合もある ・固定電話等は通話支障の多くが解消される ・上下水道や都市ガスは未復旧による支障人口は多い状態のまま ・緊急通行車両の標章発行対象が拡大され、民間企業の活動再開の動きが本格化する ・鉄道の不通状態は続くが、在来線のバスによる代替輸送が開始される ・自治体間や避難所間での、食事・物資の充実度等にばらつきや差が生じ始める ・多数発生した指定避難所以外の避難所や、在宅避難者・車中泊避難者の状況把握が困難になり、支援に混乱が生じる ・女性やこども等の平常時から社会的に脆弱な立場にある人の状況が困難になる。	

地震・津波被害想定調査結果のお知らせ（仮）

01 はじめに

日本は世界有数の地震大国と言われています。多くの死者・行方不明者が発生した東日本大震災（2011年）以降も、熊本地震（2016年）、大阪府北部地震（2018年）、北海道胆振東部地震（2018年）、令和6年能登半島地震（2024）など、各地で大きな地震が発生し、多くの被害が発生しています。

2025年3月には、内閣府から今後30年以内の発生確率が60～90%とされている南海トラフ巨大地震の被害想定結果が発表されました。

これらを受けて山口県では、最新の科学的知見や手法、過去の地震から得られた課題や教訓、建物や人の動きなどの社会条件の変化と地域特性を踏まえて、約20年ぶりに新たな地震被害想定調査を行いました。

このパンフレットは、山口県の周辺でどのような地震が発生し、どのくらいの被害を受けるのか、地震に備えるために何をしたらよいのかを、県民の皆さんにお知らせするものです。地震から命を守るため、ご自宅での防災対策に役立ててください。

02 山口県に被害をもたらす地震とは？

山口県の地震

地震災害には、1995年阪神・淡路大震災のように活断層の活動により発生する**活断層型の地震**と、2011年東日本大震災のように海洋プレートと大陸プレートの境界で発生する**海溝型の地震**とがあります。

山口県では、南海トラフの巨大地震や周防灘断層帯などの活断層型の大きな地震が発生する可能性があります。

出典：地震調査研究推進本部ホームページより

04 事前の対策で被害を防ごう！

防災対策とその効果

揺れに弱い古い建物の耐震化や家具の固定を行った場合、揺れによる建物の全壊棟数や死者数を大幅に減らすことができます。

南海トラフの巨大地震の例

減災効果の図示

自宅でできる防災対策

地震による被害は、事前の防災対策で減らすことができます。防災対策は私たち個人で行うものから行政で行うものまでさまざまです。

ここでは家庭でできる防災対策の例を紹介します。事前の対策で被害を防ぎましょう！

確認のポイント

1 ハザードマップを確認しよう！
- お住まいの地域はどれくらい揺れますか？
- 地震による土砂災害や液状化の危険はありますか？

確認のポイント

2 建物や家具の地震対策をしよう！
- お住まいの建物の耐震性をチェックしてみましょう。
- 下敷きになるのを防ぐため、大きな家具は固定しましょう。
- ガラスの飛散対策を行いましょう。

確認のポイント

3 物資を備えよう！
- すぐに避難できるよう、非常用持出品を準備しましょう。
- 地震時には停電や断水が発生します。食料、飲料水、簡易トイレなどを準備しましょう。
- スマホの予備電源やラジオを用意して、情報源を確保しましょう。

確認のポイント

4 もし地震が起きたら？ 家族で話し合おう！
- 連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- 自宅や学校、勤務先から最寄りの避難所までの道を確認しましょう。

確認のポイント

5 ご近所さんや周りの人と助け合おう！
- 地域の防災訓練や防災セミナーに参加してみましょう。
- やまぐち防災学習館では、防災や災害を知る・学ぶための資料を紹介しています。

被害想定に関する質問はこちらまで

山口県

山口県庁？○○○○局○○○○課
山口県●●市　TEL：000-0000-0000
メールアドレス：aaaaabbbbbccccc@dddd

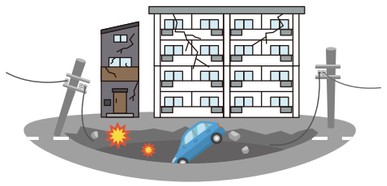
QR

03 想定される主な地震と被害

地震によって起こること

建物等の倒壊

土砂災害



ライフラインの被害

地盤の液状化

火災

集落の孤立

被害の概要

山口県では、県内に被害をもたらす可能性がある大きな地震を対象として、建物や人、ライフラインなどがどれくらいの被害を受けるか、科学的な知見に基づいて予測しました。

その結果、●●で発生する地震による被害が最も大きく、**全壊する建物が○万棟以上、死者が約○○人、負傷者が約○○万人**発生する結果となりました。

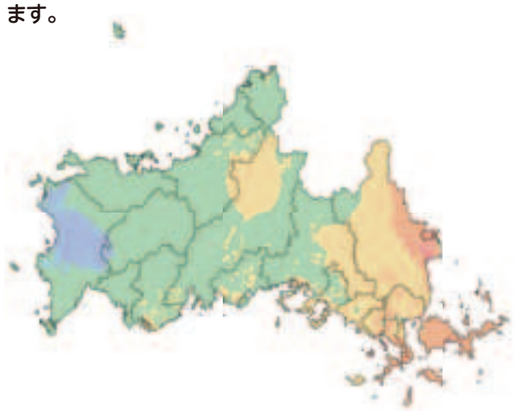
被害項目（抜粋）			南海トラフの巨大地震（陸側ケース）	周防灘断層帯（主部区間）
建物被害（全壊）	液状化		000 棟	000 棟
	揺れ		000 棟	000 棟
	土砂災害		000 棟	000 棟
	津波		000 棟	000 棟
	火災		000 棟	000 棟
	合計		000 棟	000 棟
人的被害	死者		000 人	000 人
	負傷者		000 人	000 人
ライフライン被害	上水道	断水人口	000 人	000 人
	下水道	支障人口	000 人	000 人
	電力	停電人口	000 人	000 人
	通信	支障回復	000 回線	000 回線
	都市ガス	停止件数	000 件	000 件
	LPガス	被害件数	000 件	000 件
避難者			000 人	000 人

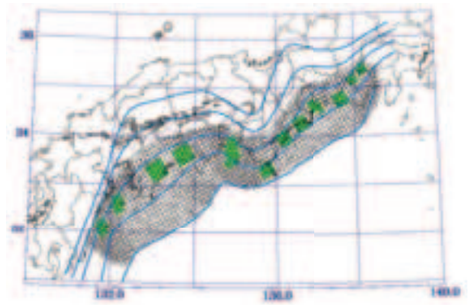
※被害は季節・時間によって変動します。　※合計値は、小数点以下の取り扱いによる値が合わない場合があります。

各地震の特徴

南海トラフの巨大地震（陸側ケース）

関東から九州にかけての広い地域で被害が発生する海溝型の巨大地震です。山口県では、主に県東部で揺れが大きく、最大震度６弱の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約●万棟、死者は約●人発生します。

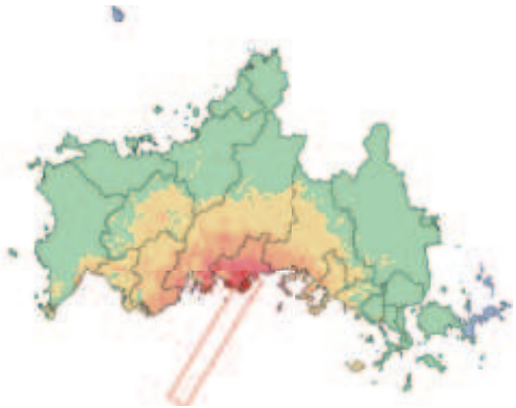


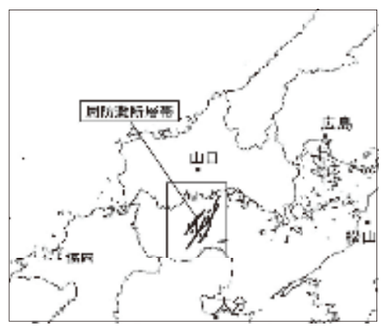


強震動生成域の設定の検討ケース（陸側ケース）

周防灘断層帯（主部区間）

山口県中央南部の沿岸において発生する活断層型の地震です。震源が位置する県南部で揺れが大きく、最大震度６強の揺れが発生します。その結果、全壊する建物は約○万棟、死者は約○人発生します。

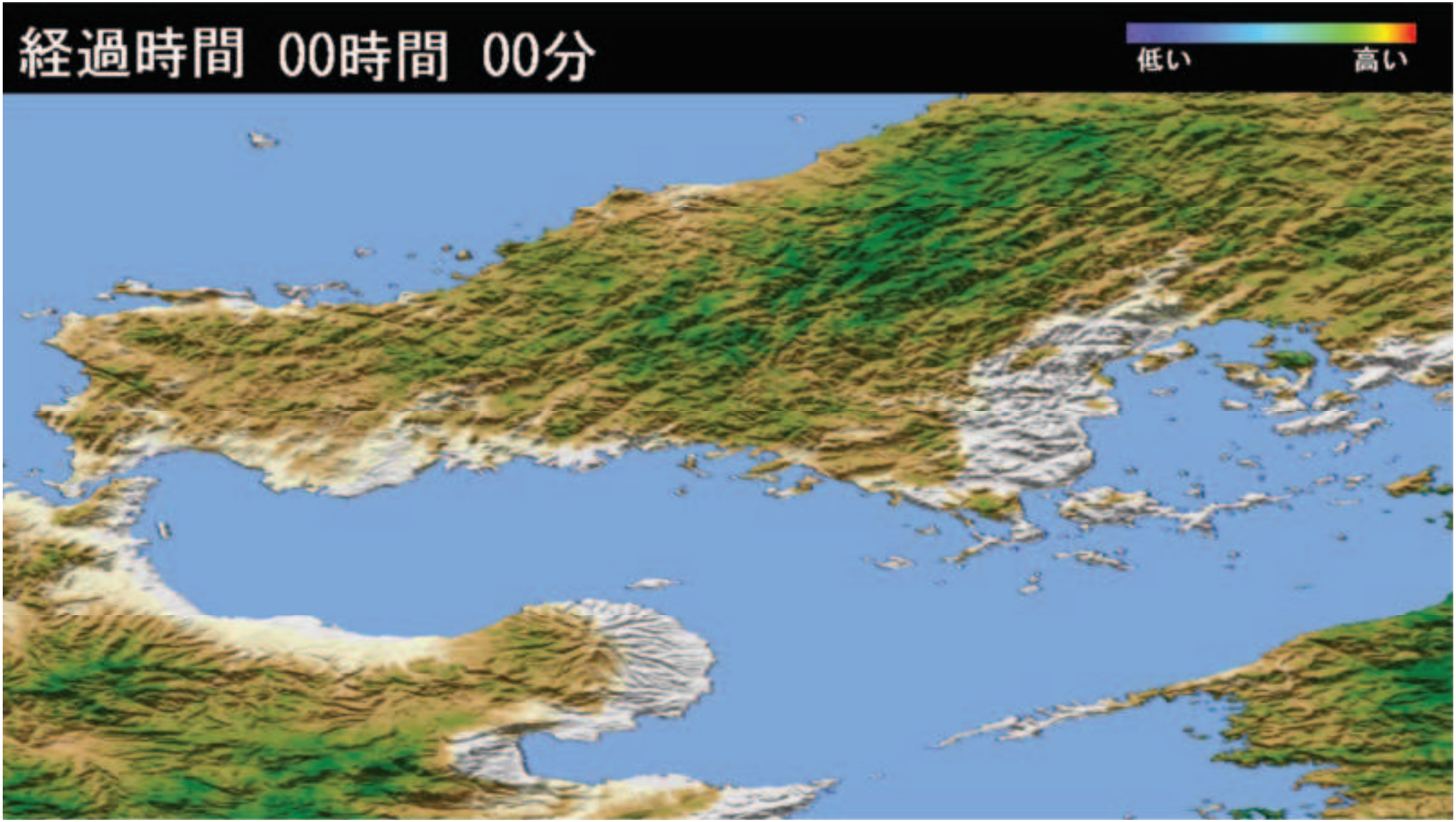




津波関係の図とコメントが入ります

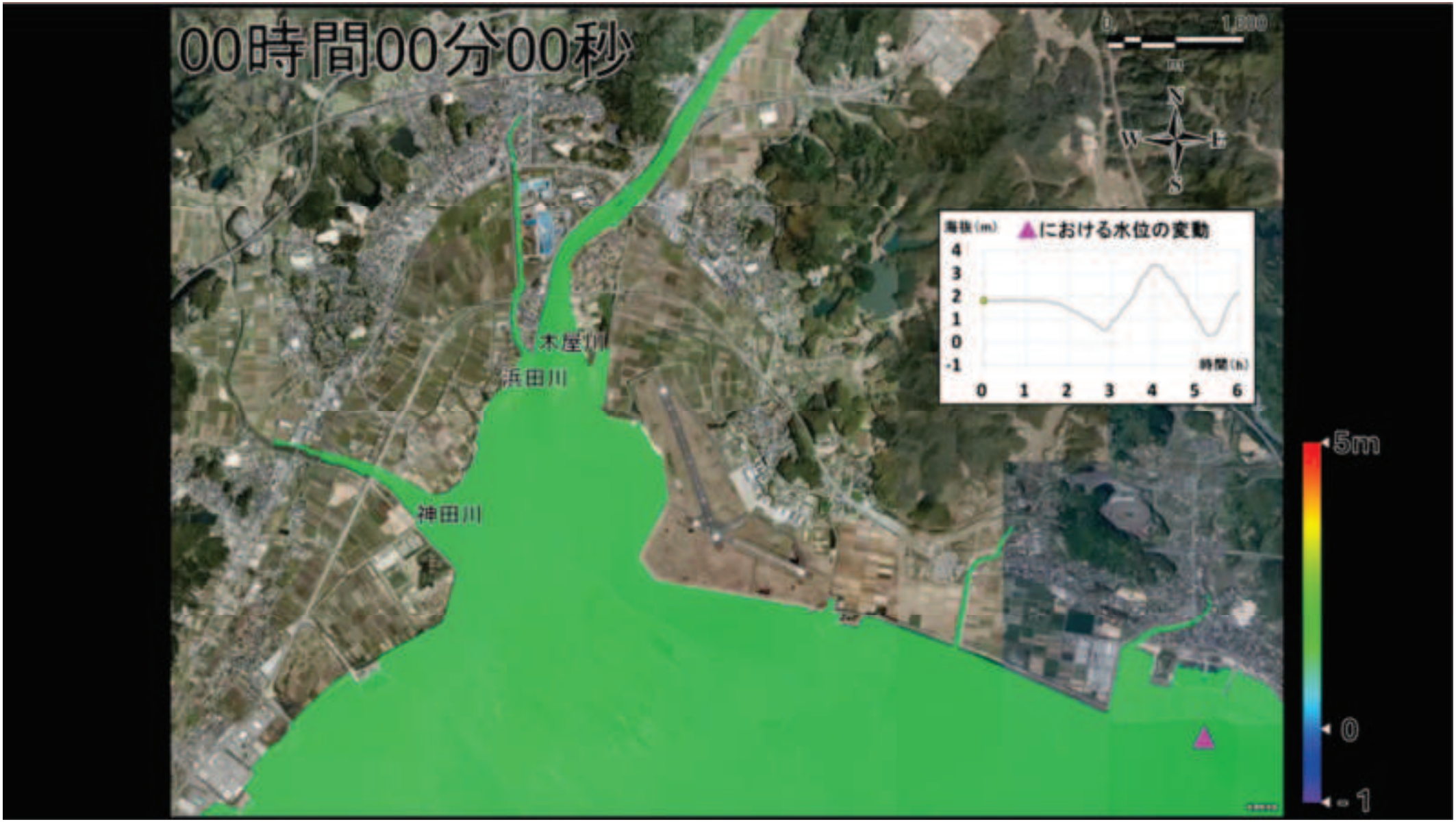
浸水の時間経過（南海トラフ全域）

浸水の時間経過（山口県全域）



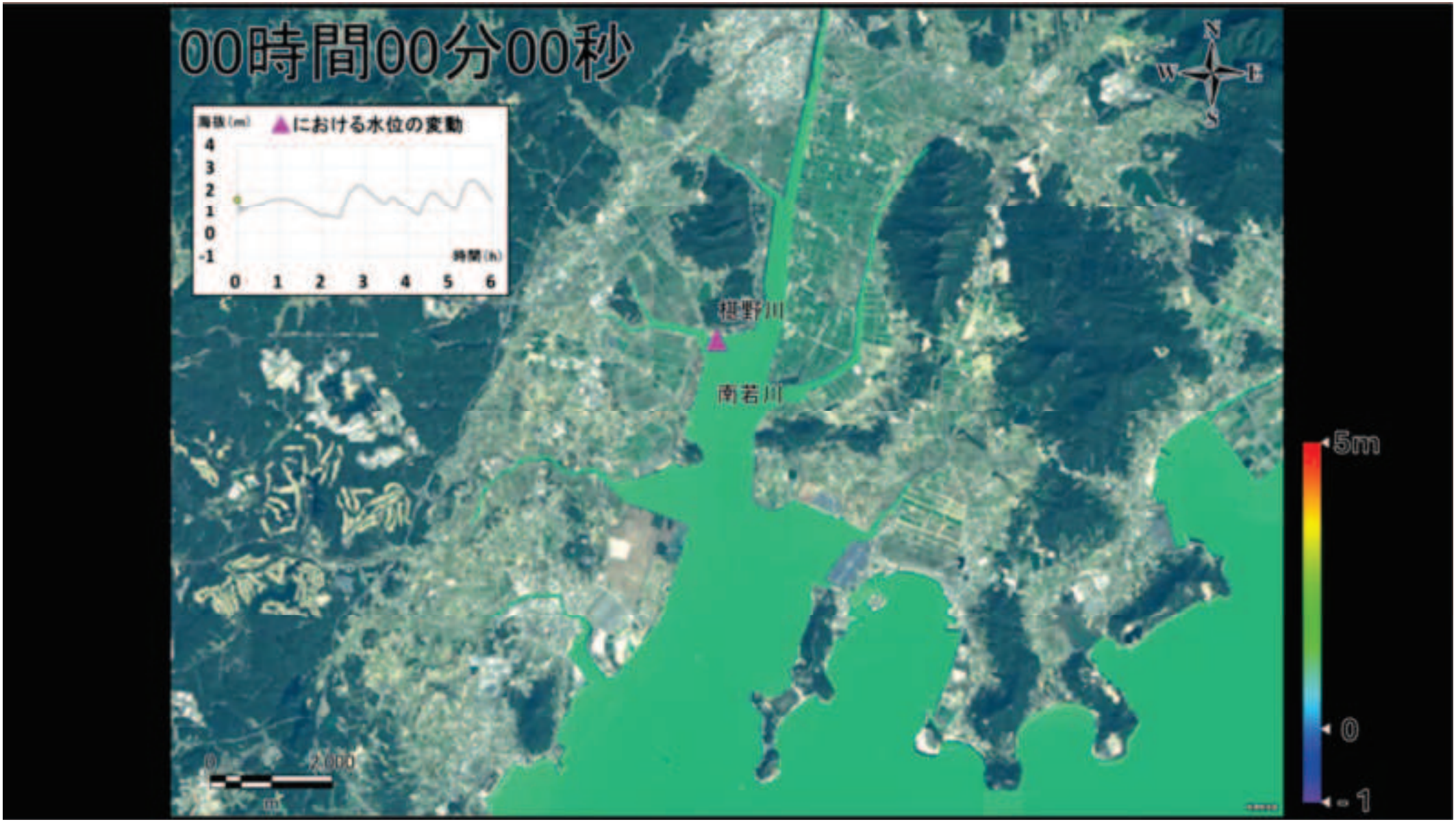
浸水の時間経過（下関市周辺）

計算条件：朔望平均満潮位、地震発生と同時に堤防被災



浸水の時間経過（山口市周辺）

計算条件：朔望平均満潮位、地震発生と同時に堤防被災



浸水の時間経過（柳井市周辺）

計算条件：朔望平均満潮位、地震発生と同時に堤防被災

資料６

令和７年度山口県地震被害想定調査業務

業　務　計　画　書

令和８年２月

＜目次＞

1.　業務概要 ····· 1
2.　業務内容 ····· 3
2.1　データ・資料の収集整理 ····· 3
2.2　地震被害想定 ····· 5
3.　成果品 ····· 12
4.　業務工程 ····· 13
5.　業務組織計画 ····· エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 業務概要

業務名称：令和７年度山口県地震被害想定調査業務

(1)　業務目的：

本業務は、山口県内における地震被害想定に係る調査について、最新の知見を踏まえ被害想定の見直しを行うものであり、地震により発生する地域の危険性を総合的・科学的に把握し、県内の防災関係機関における効率的・実践的な地震防災対策の推進に必要な基礎資料を作成するとともに、山口県地域防災計画に反映することを目的とする。

(2)　業務期間：令和７年 12 月 22 日～ 令和９年３月 31 日

(3)　調査対象地域

業務により行う調査の対象範囲は、山口県全域とする。

(4)　準拠する法令等

本業務を実施するにあたり、本仕様書、契約事情及び法令通達等に基づいて実施する。

(5)　提出書類の承認及び変更

本業務着手前に「業務計画」「工程表」「管理技術者及び照査技術者の通知（経歴書含む）」「その他山口県が必要とする書類」を作成、提出し、山口県の承認を受ける。また、これを変更しようとする場合も同様とする。

(6)　関係官公庁等への手続き

本業務に伴う必要な諸官庁、その他関係団体への諸手続は、山口県と協議の上、承認後に迅速に代行処理し、遅滞なくその旨を報告する。

(7)　成果品の帰属

本業務の成果品は、全て山口県に帰属するものとし、許可なく外部に貸与、使用し又は公表しない。また、業務中に知り得た事項を他に漏らさない。

(8)　再委託の禁止

本業務の全部を一括して第三者に再委託しない。

ただし、あらかじめ書面により承認を得たときは、業務の一部を第三者に委託する。

(9)　成果品の納品場所：山口県総務部防災危機管理課

(10) 山口県地震・津波防災対策検討委員会への対応

調査における作業方針や工程、採用する手法、調査結果などについては、「山口県地震・津波防災対策検討委員会（以下「検討委員会」という。）」の審議を経て、承認を得るものとして、必要に応じて指導、助言等を受けて本業務の成果に反映する。

また、検討委員会の会議に必要となる資料作成と議事録の作成を行うとともに、検討委員会に出席し検討内容を委員へ説明する等、検討委員会の運営を補助する。

(11) 対象となる想定地震

以下の 20 の地震を想定地震の候補とし、想定地震については検討委員会での審議を経て、決定する。

なお、検討委員会での資料作成にあたっては、事前に検討委員会委員等への聞き取りを実施する（３名程度）とともに、想定地震に係る関係資料を収集・整理する。

表 1　想定地震の一覧

地震名	備考
安芸灘～伊予灘の地震	
大竹断層（小方－小瀬断層）	（長期評価）岩国－五日市断層帯
菊川断層	滝部断層についても一体的に検討
大原湖断層系(山口盆地北西縁断層)	（長期評価）大原湖断層
大原湖断層系(宇部東部断層＋下郷断層)	（長期評価）小郡断層
中央構造線断層帯（石鎚山脈北縁西部～伊予灘）	
渋木断層	
厚狭東方断層	
萩北断層	
才ケ峠断層	
徳佐－地福断層	（長期評価）地福断層
佐波川断層	
大河内断層	（長期評価）岩国－五日市断層帯
日積断層	
安芸灘断層群	
広島湾－岩国沖断層帯	
弥栄断層	
奈古断層	
栄谷断層	
防予諸島沖の海底活断層	産業技術総合研究所の調査（Ｒ６）による

(12) 発注者：山口県総務部防災危機管理課

(13) 受託者：応用地質・中電技術共同体

2. 業務内容

2.1 データ・資料の収集整理

現在想定している調査・収集すべきデータリストを表 2 および表 3 に示す。平成 26 年の山口県地震被害想定調査報告書及び令和 6 年度山口県地震・津波被害想定調査業務における県所有データを踏まえ、表 2 および表 3 のうち更新が必要なデータについて市町や外部機関等からデータを収集・整理を行う。県所有データ、市町や外部機関等に県から提供依頼・照会が必要なデータ、受注者が独自入手可能なデータに区分しており、各区分に応じて対応を行う。

調査・収集データに関する各機関からの問い合わせに直接対応するとともに、収集したデータを整理する。

近年国内で発生した地震災害に関する最新の知見を収集し、これらを踏まえて検討項目の修正・見直しを提案する。

既往被害想定業務以降の減災効果を把握するために、既往被害想定業務の地表面加速度および震度分布と津波浸水結果、社会条件（人口、施設等のデータ）などを確認・整理する。

表 2　自然条件に関する収集データリスト

	データコード	データ項目	収集先（提供依頼先）	提供時の希望データ形式
①地盤動評価	自然01	J-SHISデータ（最新版）	WEBダウンロード（国立研究開発法人防災科学技術研究所）	電子データ
	自然02	地盤モデルデータ（浅部地盤、深部地盤）	県	csvファイル等
	自然03	ボーリングデータ	市町が保有しているボーリングデータ	ボーリング地点の柱状図及び室内土質試験について、XML形式、あるいはそれに準じる数値データ
	自然04		防災科研で過去に県から収集、地盤図から読み取ったデータもある可能性あり	ボーリング地点の柱状図及び室内土質試験について、XML形式、あるいはそれに準じる数値データ
	自然05		国の機関が保有しているボーリングデータ	ボーリング地点の柱状図及び室内土質試験について、XML形式、あるいはそれに準じる数値データ
	自然06		県が保有しているボーリングデータ	ボーリング地点の柱状図及び室内土質試験について、XML形式、あるいはそれに準じる数値データ
	自然07	地震観測記録	高地震の波形記録、観測点の地盤モデル等WEBダウンロード（国立研究開発法人防災科学技術研究所等）	電子データ
②急傾斜地危険度評価	自然08	急傾斜地崩壊危険箇所	県（土木部砂防課、農林水産部等）	shapeファイル等GISデータ
	自然09	急傾斜地崩壊危険区域		shapeファイル等GISデータ
	自然10	山腹崩壊危険地区		shapeファイル等GISデータ
	自然11	土砂災害警戒区域等		shapeファイル等GISデータ
	自然12	大規模造成地	各市町担当部署	1）外形、段階の切付け、面積、造成年代等の情報 2）造成前後の標高及び標高差分データ （1は必須、2は可能であれば、）
③その他	自然13	山口県地震・津波地害想定結果（過年度）	県	データはcsvやshapeファイル等

：県が所有しているデータ
：市町や外部機関等に県から提供依頼・照会が必要なデータ
：受注業者が独自収集可能なデータ

表 3　社会条件に関する収集データリスト

大項目	小項目	データリンク	必要属性およびデータ		
			データ名	必要属性	取得先（提供依頼先）
（1）道路施設	道路・道路台帳	社会01	道路延長台帳データ	・道路台帳テンプレートあり	市町
		社会02	道路台帳データ	・道路台帳テンプレートあり	市町
		社会03	道路ポリゴンデータ		県
		社会04	道路幅員情報データ		県
	地震火災	社会05	地形図（地形図等の高低差、地盤勾配図等（等高線、地形分類図等））		国土地理院ホームページからダウンロード（情報は不足がある場合、市町村等へ問合せ）
	市街地住居集積	-			
	都市計画区域・用途地域	社会06	ブロック境界図	・ブロック図の位置情報 ・ブロック境界図	県
		社会07	自動販売機台数	・県内における自動販売機台数	県
（2）人的被害	道路施設 （橋梁） 市街地住居集積 （人口） 都市計画区域・用途地域	社会08	人口データ（町丁目別人口、昼夜データ等人口分布が分かるもの）	・町丁目別人口	県
	屋内収容物の移動・転倒	社会09	家具転倒防止実施率	・家具転倒防止の実施率	県
	災害時要援護者	社会10	災害時要援護者情報	・市町別一人暮らし高齢者（75歳以上）人口、身体障害者数、知的障害者数、乳幼児数	県、市町
（3）ライフライン被害	上水道	社会11	管路網データ（管種・管径データ）	・浄水場・給水管の管路網、管種、管径、口径別延長情報	県、市町
		社会12	浄水場位置データ	・浄水場位置	県、市町
		社会13	給水人口	・給水人口（町丁目別等で分かると良い）	県、市町
		社会14	給水区域図	管種ごと口径ごとの供給区域が分かるデータ（上水道又は簡易水道等）	県、市町
	下水道（公共下水・農業集落排水）	社会15	管路網データ（管種・管径データ）	・排水管の管路網、管種、管径、口径別延長情報	県、市町
		社会16	処理場位置データ	・浄水場位置	県、市町
		社会17	下水道処理区域人口	・下水道処理区域人口（町丁目別等で分かると良い）	県、市町
		社会18	排水下水道処理区図	・排水下水道処理区図	県、市町
	都市ガス	社会19	供給ブロックおよびブロック別戸数	供給ブロック別の供給戸数（地区レベル等になる程度の供給地情報が分かると良い）	都市ガス事業者
		社会20	ガスセンサーの設置場所	・ガスセンサーの設置場所 ・地震の際、ガスブロック単位で供給停止するための区画の範囲（遮断の単位：ブロック内など）	都市ガス事業者
		社会21	導管に係る損傷（被害）	・導入可能な導管本数（本） ・応急復旧速度（延伸メートル／日）	都市ガス事業者
		社会22	導管延長		都市ガス事業者
	LPガス	社会23	供給範囲	・LPガス供給範囲	LPガス協会
		社会24	プロパンガスボンベ数	・プロパンガスボンベ数（地区レベル等になる程度の供給地情報が整理されたものが分かると良い）	LPガス協会
	電力	社会25	電灯軒数	・電灯軒数（地区レベル等になる程度の供給地情報が分かると良い）	電力事業者
		社会26	地中・架空線別給電灯軒数	・地中・架空線別給電灯軒数（地区レベル等になる程度の供給地情報が分かると良い）	電力事業者
		社会27	電柱本数	・電柱本数（地区レベル等になる程度の供給地情報が分かると良い）	電力事業者
		社会28	要員に係る損傷（被害）	・応急復旧速度に従事可能な人員	電力事業者
		社会29	導管延長	・供給区域内の道路（幹線・区・人）および地中線の配管延長（幹線・区・人）のデータ	電力事業者
	通信	社会30	電柱本数	・電柱本数（地区レベル等になる程度の供給地情報に整理したものが分かると良い）	NTT西日本・NTTドコモ等携帯電話事業者等
		社会31	要員に係る損傷（被害）	・応急復旧速度に従事可能な人員	NTT西日本・NTTドコモ等携帯電話事業者等
		社会32	加入者数	・通信加入者数（地区レベル等になる程度の供給地情報に整理したものが分かると良い）	NTT西日本・NTTドコモ等携帯電話事業者等
		社会33	導管延長	電柱情報（架空ケーブルの応急復旧速度（幹線・区・人）および地中線の応急復旧速度（幹線・区・人）のデータ）	NTT西日本・NTTドコモ等携帯電話事業者等
（4）交通施設被害	道路	社会34	道路台帳、道路一般図の道路網データ、橋梁	・交通センサス等の交通量情報	県
		社会35	市町道の道路網データ、橋梁	・交通センサス等の交通量情報	県、市町
		社会36	緊急輸送路	・交通センサス等の交通量情報 ・橋脚、トンネル、盛土、切土・斜面の情報を含む	県
		社会37	県内における建築データ	・位置情報 ・構造 ・接続種類（ラーメン、「式、壁式等） ・適用指方書で設計されたかどうか	県
	鉄道	社会38	鉄道路線データ（JR、私鉄、都市交通等）		県
	空港	社会39	空港関連の施設位置	・航空図 ・滑走路の舗装および地盤の液状化対策の状況など	県
	港湾	社会40	港湾施設データ	・港湾の位置、構造、地盤条件	県港湾課、市関係部局
（5）生活支援	避難所	社会41	避難所位置および管理・収容人数等の情報	・避難所の位置情報、収容人数、収容施設等	市町
		社会42	帰宅困難者数	避難所配置方法等	市町
	帰宅困難者	社会43	パーソントリップ調査（主要駅利用者含む）等（個人の移動が分かるデータ（モバイル空間統計））		交通政策が購入
	救援物資	社会44	物資備蓄施設および生活必需品の保管量		市町
		社会45	防災トイレ・簡易トイレ・携帯トイレ等の備蓄数		市町
	医療施設被害想定	社会46	医療施設数、病床数、医師数		県
	応援部隊	社会47	警察署等の配置や体制の強度状況		県
（6）二次被害防止		社会48	防災関連施設（消防署、警察署、駐屯地、港湾、等）		県
（7）エレベータ閉じ込め		社会49	エレベータ設置台数		県
（8）危険物流出		-			
（9）建築物倒壊		-			
（10）道路・交通機能への支障・損害		-		・交通センサス等の交通量情報	
（11）市街地火災		-		・交通センサス等の交通量情報	
（12）都市計画区域内移動		-			
（13）広域連携		-			
（14）ライフライン					
（15）大規模構造物損傷		社会50	大規模構造物情報		県、市町
（16）地下街・ターミナル駅等		社会51	地下街・ターミナル駅等		市町、鉄道会社
（17）その他		社会52	重要文化財情報		県、市町
（18）港湾機能		社会53	港湾の荷役施設の立地情報		県
（19）危険物等対策		社会54	危険物施設情報		県
（20）その他の施策		社会55	その他の位置情報		国、県、市町、合同庁舎管理者
（21）物資供給による影響緩和		-			
（22）津波対策		社会56	津波の高さ等浸水想定区域情報		
（23）港湾・空港関連施設		社会57	港湾・漁港の施設位置	位置と施設（岸壁・物揚場・岸壁等の数量など）のデータ	港湾・漁港管理者
（24）道路		社会58	道路の耐震補強における重点区間		
（25）鉄道施設		社会59	鉄道施設		県
（26）航空施設		社会60	各種施設の調査		空港設置者等
（27）その他必要と考えられる項目 （地震ハザード地図）	都市部等	社会61	都市部等（都市型人口集積）		県
		社会62	各種ハザード地図による危険地域抽出	ハザードマップ地図による危険地域、断層帯、影響圏	県

2.2 地震被害想定

(1) 地震動・地盤被害予測

1) 検討方針

図 1 に示す地震動・地盤被害予測のフローにしたがって検討を行う。

震源モデル作成においては、既往地震被害想定成果を踏まえつつ、内閣府および地震調査研究推進本部が提示している最新の断層モデルなどを考慮する。

想定する地震については、2016 年熊本地震や 2024 年能登半島地震における断層の連動を踏まえ、断層帯の連動を考慮した評価についても提案・検討する。

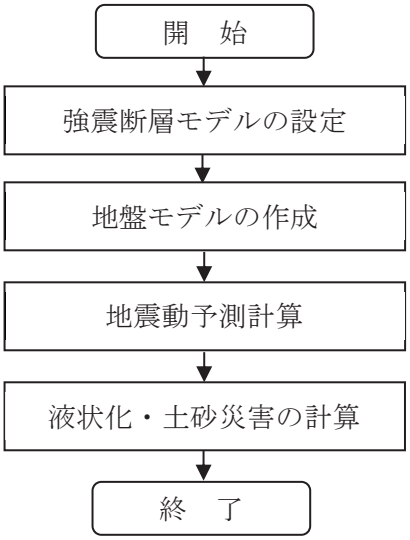


図 1　地震動・地盤被害予測の検討フロー

2)　地震動モデルの作成

基本的な想定単位は 250m メッシュ（人口集中地区（DID 地区）は 125m メッシュ）とし、地震動や液状化の被害想定を行う。

令和６年度山口県地震・津波被害想定調査業務で作成した深部・浅部地盤モデルを基本とし、必要に応じて、県内の地震観測記録等を用いたモデルの補正を行う。

3)　地震動予測計算

表　1 に示す 20 の想定地震および連動を考慮した想定を行う地震については、設定した震源モデルを用いて詳細法（統計的グリーン関数法）によって工学的基盤における地震動を予測する。

地表での地震動は、表層地盤モデルに工学的基盤における地震動を入力し、浅部地盤の非線形性を考慮した一次元地震応答解析により算定する。（図 2 参照）

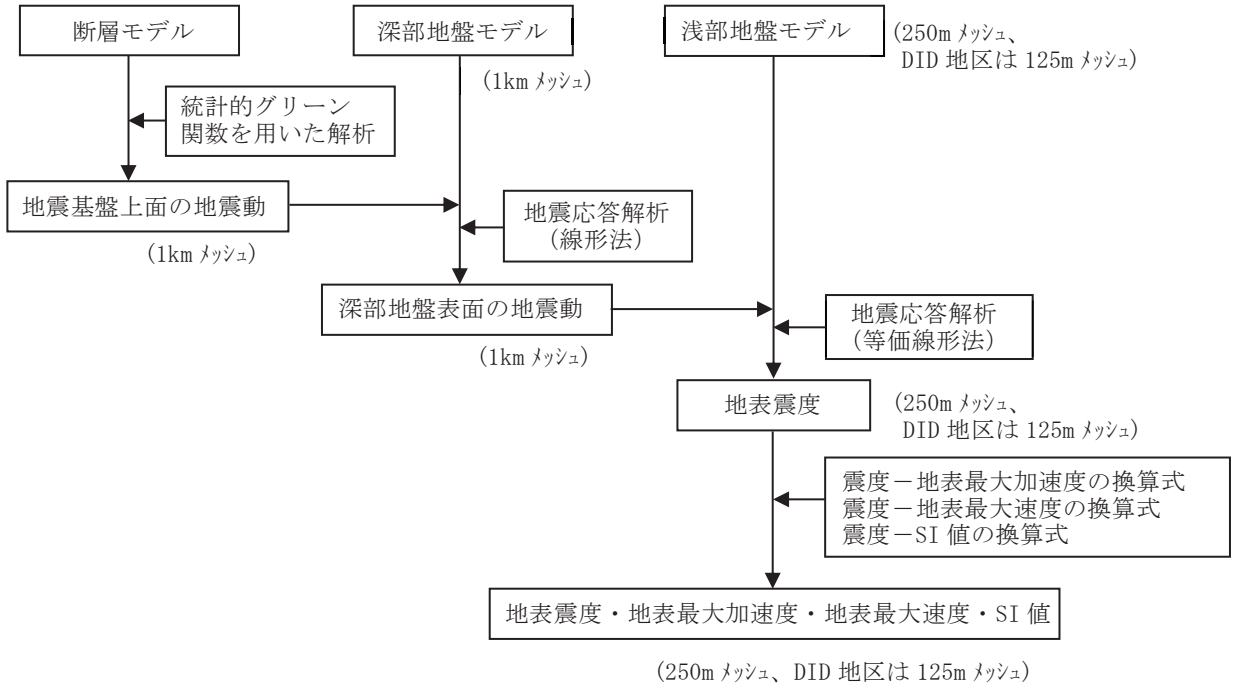


図 2　想定する地震の地震動予測フロー

4)　液状化・土砂災害の計算

液状化の計算では、道路橋表示方書の PL 法により 250m メッシュ（人口集中地区（DID 地区）は 125m メッシュ）ごとの液状化危険度を、各地震における地表最大加速度と地盤モデルをもとに PL 値を算定し、これにより液状化危険度を算定する。

液状化による建物被害を算定するために、メッシュ毎の地盤モデルをもとに沈下量を算定する。

土砂災害の計算では、山口県が指定している急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所及び山腹崩壊危険地区について、個々の斜面における地形や地被の状況（地震動に対し斜面のもつ崩壊の素因的条件）と、当該斜面の存在するメッシュにおける地震動の大きさから、斜面の崩壊危険度を相対的な危険度として予測する。

(2) 物的・人的被害想定

1) 検討方針

平成 26 年の山口県地震・津波被害想定および令和６年度山口県地震・津波被害想定調査業務を基本として、内閣府の南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会や他都道府県で議論されている内容を参考にしながら、項目や手法、被害関数（各種損壊率、人的被害率など）の見直しを適宜行う。

想定シーンは、内閣府検討の 3 シーン（冬・深夜、夏・昼 12 時、冬・夕 18 時）に加え、観光や帰省で滞留人口が多くなるシーンとなる１月、５月、８月など人流が常とは異なる季節・時刻等を設定する。

風速は、各地の平均風速を基本とした毎秒 3m、風が比較的強い毎秒 8m のケースに加え、関東大震災時の毎秒 15m の、合わせて 3 種類のシーンを設定する。

複合災害については、梅雨時期の地震発生による土石流災害を考慮する。

基本的な想定単位は 250m メッシュ（人口集中地区（DID 地区）は 125m メッシュ）とし、項目によっては市町、個別（箇所別）等の単位で想定を行う。

被害想定に用いる建築物、人口等のデータは、令和６年度山口県地震・津波被害想定調査業務で用いたものと同種のデータを更新して用いる。

2) 建物・火災被害

建物被害では、地震動、液状化、土砂災害による建物被害（全壊・半壊等）を推定する。

地震動、液状化、土砂災害による建物被害については、建物構造（木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、軽量鉄骨造など）・建築年代・階層に分類して設定した被害率より、全壊棟数、半壊棟数を想定する。

地震火災による建物被害については、揺れによる全壊率と震度別・用途別出火率、住民による初期消火を考慮し、全出火件数、炎上出火件数、初期消火件数の算出を行う。

初期消火で消火することができなかった炎上出火件数に対し、消防力を考慮した消火可能件数を減ずることで残火災件数の算定を行う。

残火災件数を出火点として配置し、気象条件等を考慮した上で、延焼シミュレーションを実施し、焼失棟数や面積を算出する。

なお、火災の焼失棟数算定には建物 1 棟単位のデータを用いた延焼シミュレーションを行うことで、市街地形状を考慮した精緻な予測を行う。

建物・火災被害想定の項目毎の手法の概要と予測単位、アウトプット、減災対策を表 4 に示す。

表 4　建物・火災被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
建物被害	建物被害	揺れ	構造・年代別に区分した建物棟数に計測震度に応じた全壊率・全半壊率を乗じて算定する。 大規模半壊、中規模半壊、半壊の内訳については、過去の被害実績調査から割合を求め適用する。	メッシュ市町	全壊・半壊（大規模半壊、中規模半壊、半壊）棟数	耐震化
		液状化	構造・年代別に区分した建物棟数に地盤沈下量に応じた全壊率・全半壊率を乗じて算定する。		全壊・半壊棟数	－
		急傾斜地崩壊等	急傾斜地等の範囲内の建物に対し危険度ランク別の崩壊確率、建物全壊率を乗じて算定する。		全壊・半壊棟数	対策整備率の向上
		大規模盛土造成地	地震動・液状化の際に地盤として考慮する。		揺れ・液状化被害に反映	－
	火災	－	建物1棟単位のデータを用いた延焼シミュレーションを実施することで、市街地形状も考慮する。 出火点のランダム配置による繰り返し計算によって平均的な焼失棟数期待値を求める。		出火件数 焼失棟数	耐震化、消防力、初期消火率
	屋外転倒物・落下物	ブロック塀や自動販売機の転倒及び屋外落下物	ブロック塀、自動販売機、屋外落下物の件数に対し、倒壊割合と震度に応じた被害率を乗じて算定する。		塀、自動販売機転倒数、落下物数	ブロック塀の耐震化

3)　ライフライン被害

地震動、液状化、火災等による上水道・下水道・ガス・電力・固定電話・携帯電話、流通小売の被害を想定する。

ライフライン施設被害想定の項目毎の手法の概要と予測単位、アウトプット、減災対策を表 5 に示す。

表 5　ライフライン施設被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
ライフライン被害	ライフライン被害想定	上水道	停電等の施設被害、地震による管路被害から断水人口を求める。過去の地震の実績から復旧日数を求める。	メッシュ市町	施設・管路被害箇所数、水道水の供給支障（断水世帯数・人口）、復旧日数、応急給水量	施設・管路耐震化
		下水道	停電による施設被害及び揺れ、液状化による管路被害から支障人口を求める。過去の地震の実績から復旧日数を求める。		施設・管路被害箇所数、機能支障世帯・人口、復旧日数	施設・管路耐震化
		都市ガス	地震による施設被害、ガス埋設管被害を求める。地震動の強いエリアを中心に安全装置が作動し供給停止する戸数、復旧日数を求める。		施設被害数、ガス埋設管被害箇所数、ガスの供給支障戸数、復旧日数	－
		LPガス	揺れによるLPガスボンベ被害数を求め、支障消費者数を求める。		供給支障消費者数、復旧日数	－
		電力	揺れ、建物倒壊による巻き込まれ、液状化、火災による電柱等の被害と供給施設被害とによる停電軒数を求める。 過去の地震の実績から復旧日数を求める。		電柱等の被害基数 停電軒数・戸数、復旧日数	－
		通信（固定電話・携帯電話）	揺れ、建物倒壊による巻き込まれ、液状化、火災による電柱等の被害と、停電、火災の焼失棟数から不通回線数を時系列で求める。過去の地震の実績から復旧日数を求める。 携帯電話については、停電と固定電話の不通状況から停波ランクを求める。		電柱等の被害基数 不通回線数、復旧日数 （携帯）不通ランク	－
		流通小売	地震による流通小売への影響を過去の災害事象を参考にとりまとめる。	定性評価	被害様相	－

4)　交通被害

地震動、液状化、火災等による道路、鉄道、港湾・漁港、空港の被害を想定する。

交通施設被害想定の項目毎の手法の概要と予測単位、アウトプット、減災対策を表 6 に示す。

表 6　交通施設被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
交通被害	交通施設被害	道路	緊急輸送路上の橋梁被害数、盛土・切土斜面・トンネル区間などの被害を対象として導通率（閉塞率）を想定する。	個別市町	被災箇所数 導通率（閉塞率）	橋梁耐震補強等
		鉄道	揺れによる被害を路線ごとに想定する。		被災箇所数	－
		港湾・漁港	港湾及び漁港施設については、耐震バースを考慮し、地震動・液状化による係留施設の被害を想定する。		被災施設数	耐震化
		空港	空港について、震度分布や液状化危険度に基づき被害を求める。		被災状況	－

5)　人的被害

本業務で収集した山口県内の市町別の人口、年齢別・性別・昼夜間人口等のデータを基に、最新の知見を踏まえ、表 7 の項目について人的被害の想定を行う。なお、被害項目ごとに算出した想定人数の項目間重複に配慮のうえ、整理する。

人的建物被害想定の項目毎の手法の概要と予測単位、アウトプット、減災対策を表 7 に示す。

表 7　人的被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
人的被害	人的被害の想定	建物倒壊	全壊棟数や半壊棟数に発生時間帯別の屋内滞留率と死傷者率を乗じて算定する。	メッシュ市町	死傷者数	耐震化
		土砂災害	急傾斜地崩壊等による全壊棟数に対し、発生時間帯別の木造建物内滞留者人口比率を乗じて算定する。		死傷者数	対策整備率の向上
		火災	出火建物における逃げ遅れ、建物倒壊による救出困難者の火災巻き込まれ、延焼からの逃げまどい被害を想定する。		死傷者数	耐震化、消防力
		ブロック塀等や自動販売機の転倒及び屋外落下物	ブロック塀、自動販売機、屋外落下物の発生件数に対し、発生時間帯別の人口密度を考慮し死傷率を乗じて算定する。		死傷者数	ブロック塀の耐震化
		屋内収容物の移動・転倒及び屋内落下物、屋内ガラス	揺れによる建物被害棟数に対し、発生時間帯別の屋内滞留人口、要因別の死者率・負傷者率を乗じて算定する。		死傷者数	家具固定
		揺れによる建物被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）	建物全壊率、発生時間帯別の屋内滞留人口、要救助者発生率を乗じて算定する。		要救助者数	耐震化
		震災関連死	近年の被害地震の実績における避難者と関連死の関係から死者数を算定する。	市町	死者数	－
		交通人的被害（道路）	過去の災害事例等を踏まえ、道路上の人的被害に関する被害の様相を記述する。	定性評価	被害様相	－
		交通人的被害（鉄道）	過去の災害事例等を踏まえ、鉄道における人的被害に関する被害の様相を記述する。	定性評価	被害様相	－

6)　生活被害

被災後の生活支障等となる表 8 の項目について想定を行う。

生活被害想定の項目毎の手法の概要と予測単位、アウトプット、減災対策を表 8・表 9 に示す。

表 8　生活被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧（1/2）

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
生活被害	生活支障	避難者避難所	住居を失った人や住居が健全であっても断水や停電等のインフラ被害により避難してくる避難者数を時系列的に求める。 避難所避難者と収容人数の差により、避難所収容人数過不足量、広域避難の発生可能性についても検討する。車中泊などは、熊本地震などの実績を整理することで検討する。	メッシュ市町	避難所避難者数、避難所外避難者数、収容人数過不足量、広域避難の発生可能性	耐震化等
		帰宅困難者	東北地方太平洋沖地震の帰宅実態調査結果に基づく外出距離別帰宅困難率を、現在地と居住地の距離別滞留人口に対して適用し、帰宅困難者数を求める。		帰宅困難者数	－
		物資不足量（食料、給水）	備蓄量と断水人口や避難者における避難者の差により不足量を求める。		物資過不足量	
		医療機能支障	平常時在院患者数をベースに、医療機関建物被害率、ライフライン機能低下による医療機能低下率、転院を要する者の割合を乗じて算出する。		要転院数、病床過不足数、救急医療需要供給不足数	－

表 9　生活被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧（2/2）

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
生活被害	生活支障	仮設住宅必要世帯（自力生活再建困難世帯）	全壊棟数や半壊棟数から応急仮設住宅の想定必要量を算定し、利用可能な賃貸住宅の空き家を応急借上住宅の供与可能戸数として、両者の差から見なし仮設等の需要数量を求める。	メッシュ市町	応急仮設住宅必要量、応急借上住宅の供与可能戸数、みなし仮設等の需要数	耐震化等
		仮設トイレ不足量	避難者数を基に仮設トイレ、簡易トイレ、携帯トイレの必要量を算出する。 備蓄量との差から不足量を算出する。		必要量、不足量	－
		保健衛生、防疫、遺体処理、必要資源等	保健衛生、防疫、遺体処理等については、避難所における保健衛生の確保、被災地域における防疫対策や遺体処理について、過去の災害事象を参考にとりまとめる。	定性評価	被害様相	－

7)　その他施設等被害

被災後の生活支障等となるの項目について想定を行う。

その他施設等被害想定の項目毎の手法の概要と予測単位、アウトプット、減災対策を表 10 に示す。

表 10　経済被害想定の項目ごとの手法等の概要一覧

区分	大項目	小項目	被害算定方法・想定手法	予測単位	アウトプット	減災対策
経済被害	被害額	直接被害	建物被害、ライフライン被害、交通被害等の物的被害による資産被害に対する復旧費用の総額を予測する。	市町	被害額（復旧費用）	耐震化
		間接被害	地震による生産活動の低下がもたらす生産の減少額を推計する。	全県	被害額	－

(3)　啓発資料の作成

今回算出した地震被害想定結果や減災対策の効果について、県民に理解を深めて頂くとともに、防災意識の向上を図る啓発用の資料を作成する。

1)　被災シナリオの作成

被害想定結果をもとに、応急対策活動に関係する被害の発生状況や推移、交通やライフラインの支障・復旧状況等を記述したシナリオを作成する。

被害の空間的・時間的に連続した災害状況の流れを想定し、対策活動の内容や規模、活動の支障となる事象の想定を行う。

2)　課題の整理と減災効果の推計

今回調査結果をもとに、地震被害に関する特性を総合的に評価し、防災・減災上の問題点および課題を抽出し、今後取り組むべき防災対策を提案する。

想定結果に対して必要かつ有効な地震対策を検討し、県の地震対策とその効果を検討するために減災効果を評価する（耐震化率・家具固定率、避難意識の醸成・向上等）。

3)　啓発資料の作成

市町や県民が具体的な地震対策や行動に結びつくような内容を、利用しやすい形で以下のような啓発・学習資料として取りまとめる。

・被災シナリオを踏まえ時系列の災害シナリオを作成し、自治体の災害対策本部立ち上げ訓練や避難所運営訓練など、各種防災訓練の前提となるものとして活用できる資料

・家庭や学校、自主防災組織等が災害発生から被災、避難、生活の再建に至るストーリーを自分たちで創造し、事前の防災対策や行動を実施することを支援する資料

・最大震度や分布域が異なる地震で想定する地震の特徴を踏まえた災害シナリオ

・地震災害に注意が必要な地域では、密集市街地等で一時的な安全を確保する一時避難場所、延焼火災等から安全を確保するための広域避難場所や避難路、主に負傷者用の臨時救護所開設予定場所、緊急車両以外の車両通行が規制される緊急輸送路等を地図上で把握できるような防災マップ

3. 成果品

本調査の成果は、成果報告書として取りまとめる。

内容　：「山口県地震被害想定調査報告書」

成果品：報告書、概要版の電子データ　一式

本調査結果のＨＰ公開用の電子データ　一式

GIS データ　一式

報告書作成に要した各種基礎データ　一式

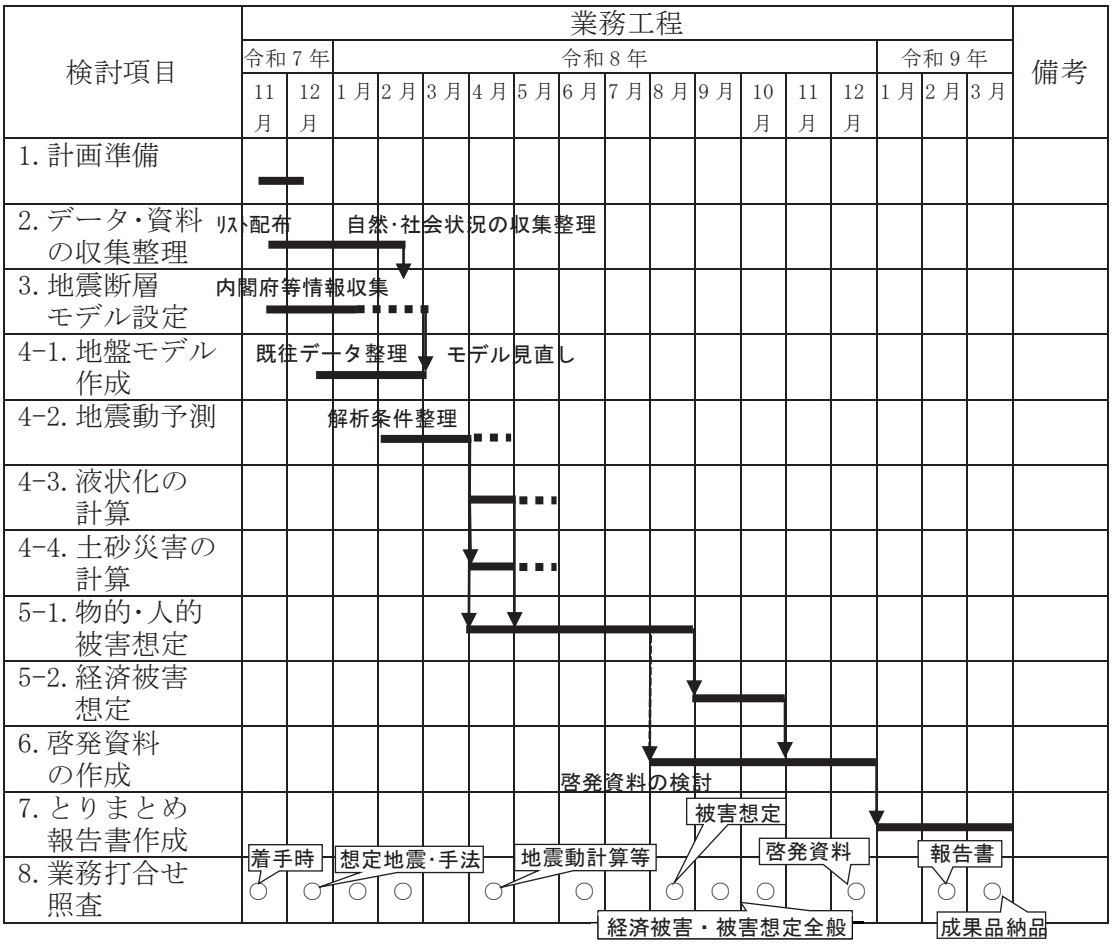
啓発資料データ　一式

※調査途中で活用したデータ及び GIS データも含め、できる限り納品する。

4. 業務工程

表 11 に業務工程表を示す。

表 11　業務工程表



資料７

日本海側の地震に係る地震・津波被害想定の見直しについて

１．想定地震について

（１）前回被害想定（R27.11）

日本海で想定する最大クラスの津波断層モデルを検討

①見島付近西部断層
②神田岬沖断層
③見島北方沖西部断層
　　前回第３回検討委員会（R24.11.7）での検討

④佐渡島北方沖の地震

⑤Ｆ５９断層
⑥Ｆ６０断層
⑦Ｆ５８断層
　　「日本海における大規模地震に関する調査検討会」（H25.1：国交省・内閣府・文科省）

⇒　**上記７断層を検討対象とし、地域海岸（９箇所）における津波高を比較**

⇒　各地域で津波高が最大となる想定地震を選定し、被害想定を実施

※「見島付近西部断層」「見島北方沖西部断層」「Ｆ６０断層」の３地震

２　見直しにおける想定地震の候補

現行の被害想定で検討対象とした７断層を基本に、次の地震を追加

○　地震調査研究推進本部で長期評価された地震
（日本海南西部の海域活断層の長期評価：令和４年３月）

○　「見島西縁断層」による地震

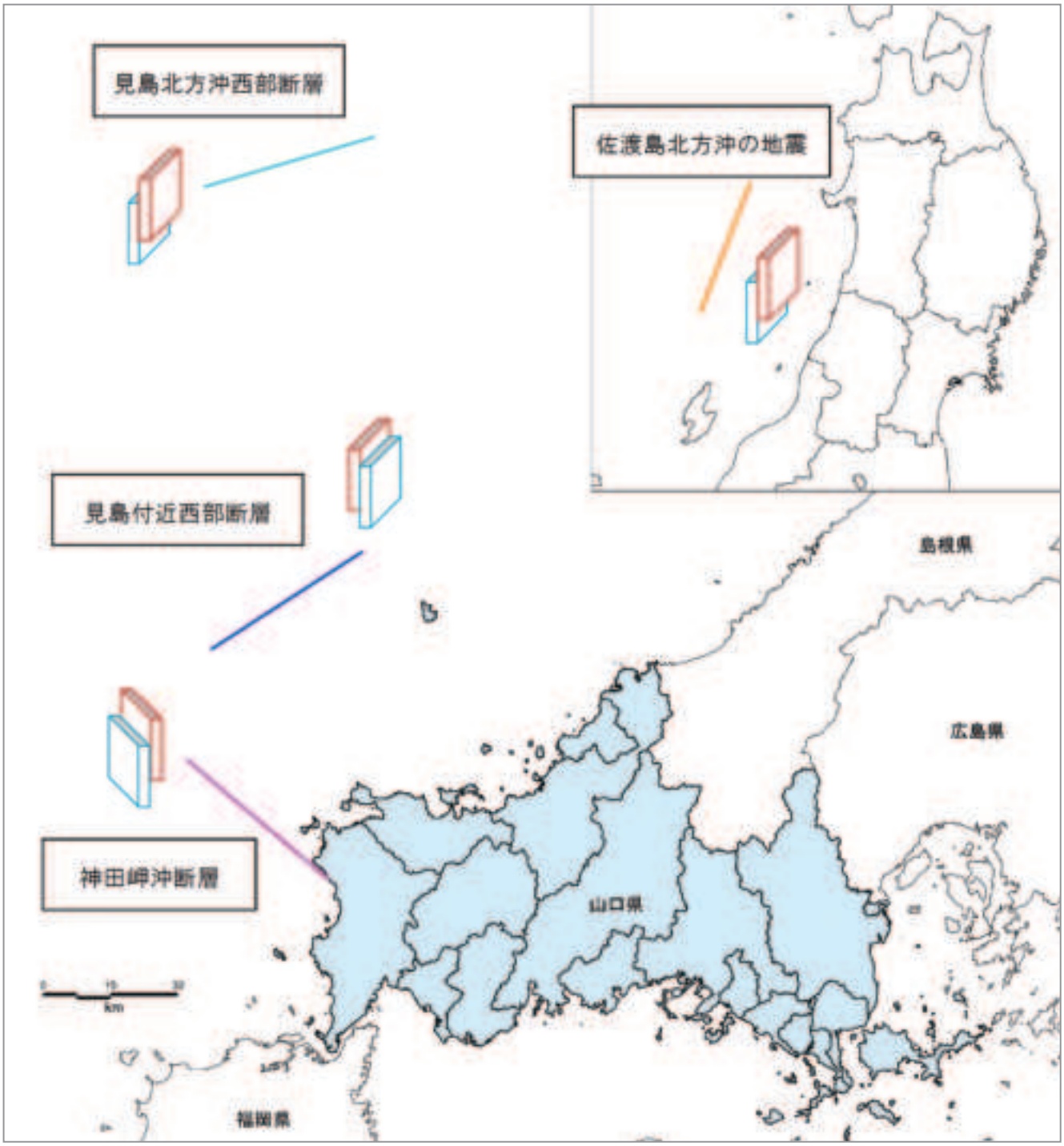
※現行被害想定に関わった有識者の意見を考慮

３　今後のスケジュール

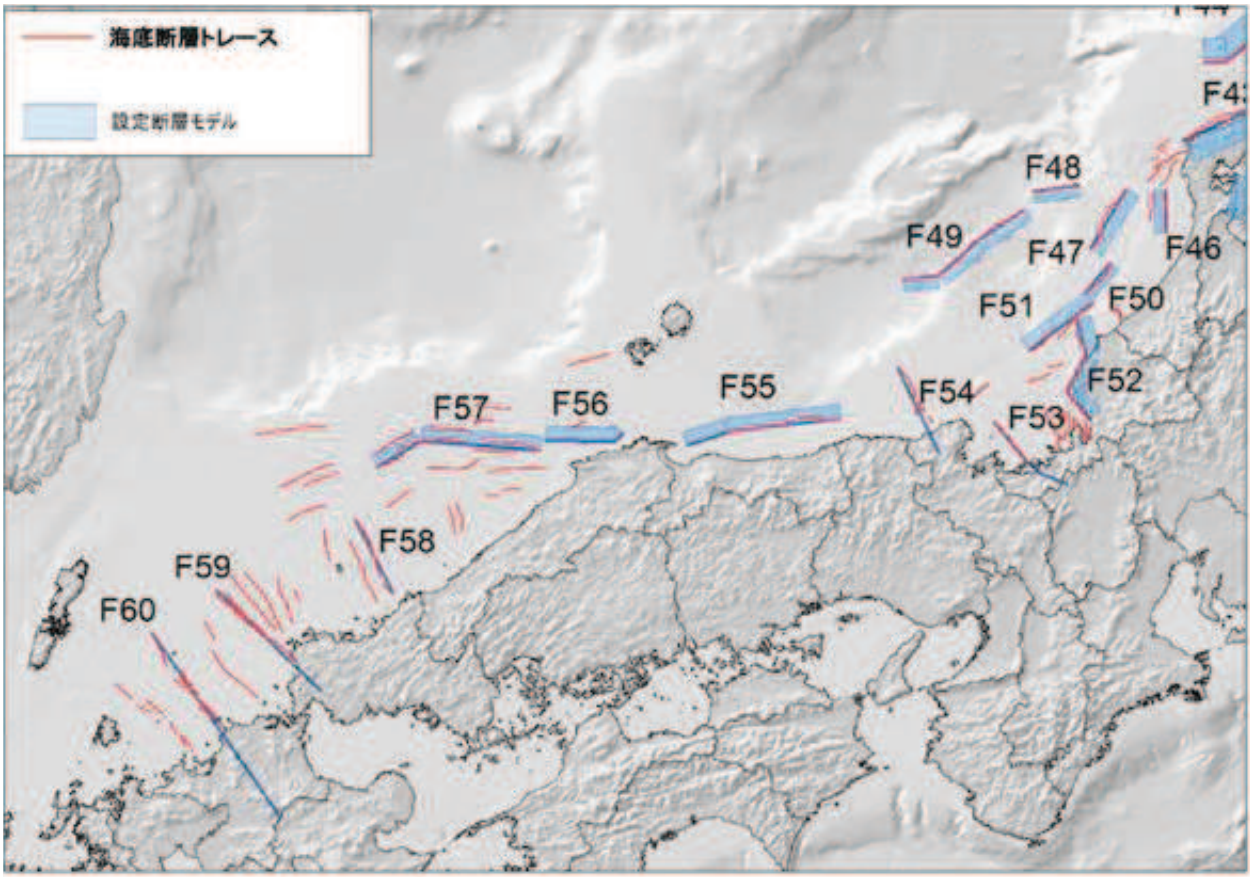
○令和８年２月～３月：契約手続きの実施

○令和８年４月頃　　：想定地震の候補に係るデータ収集等開始
⇒地震動予測の上、想定地震を設定

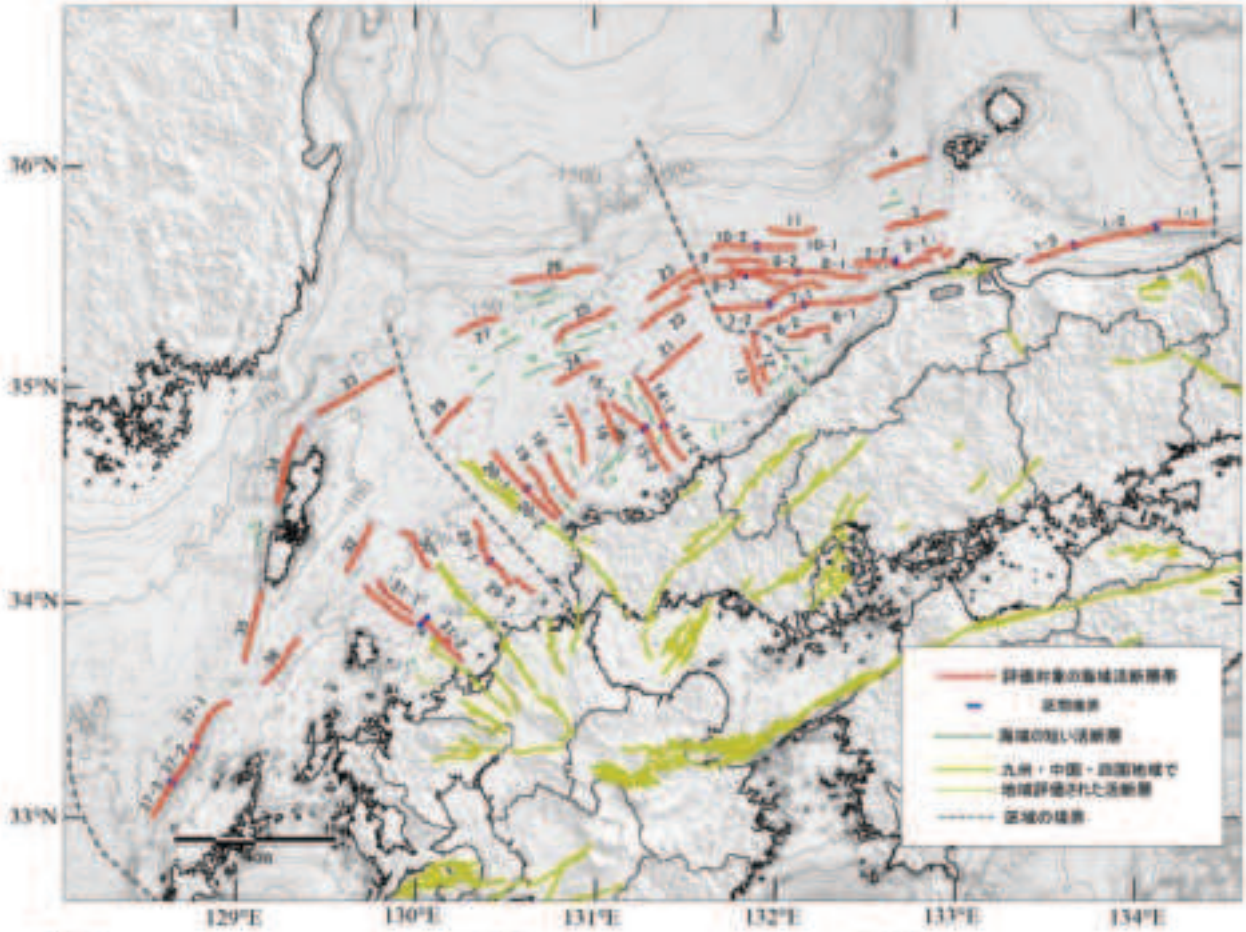
○令和８年度中　　：日本海側の地震に係る地震津波被害想定の公表



（出典：「第10回山口県地震・津波防災対策検討委員会」（平成27年3月27日開催）資料）



（出典：「日本海における大規模地震に関する調査検討会」最終報告資料）



（東部）
1-1 ：伯耆沖断層帯（東部区間）
1-2 ：伯耆沖断層帯（中部区間）
1-3 ：伯耆沖断層帯（西部区間）
2-1 ：島根半島北方沖断層帯（東部区間）
2-2 ：島根半島北方沖断層帯（西部区間）
3 ：出雲沖断層
4 ：島前西方沖断層
5 ：江津沖断層
6-1 ：日御碕沖断層帯（東部区間）
6-2 ：日御碕沖断層帯（西部区間）
7-1 ：根滝グリ北方断層帯（東部区間）
7-2 ：根滝グリ北方断層帯（西部区間）
8-1 ：十六島鼻西方沖断層帯（東部区間）
8-2 ：十六島鼻西方沖断層帯（中部区間）
8-3 ：十六島鼻西方沖断層帯（西部区間）
9 ：石見沖南断層
10-1 ：石見沖中断層帯（東部区間）
10-2 ：石見沖中断層帯（西部区間）
11 ：石見沖北断層

（中部）
12 ：浜田沖断層
13 ：三隅沖断層
14-1 ：須佐沖断層帯（北部区間）
14-2 ：須佐沖断層帯（南部区間）
15-1 ：モドロ岬沖断層帯（北部区間）
15-2 ：モドロ岬沖断層帯（南部区間）
16 ：見島近海断層
17 ：卯持ノ瀬東方断層
18 ：向津具沖断層
19 ：角島沖東断層
20-1 ：角島沖西断層帯（北部区間）
20-2 ：角島沖西断層帯（南部区間）
21 ：益田沖断層
22 ：千里ヶ瀬東方南断層
23 ：千里ヶ瀬東方北断層
24 ：タツモテ東方断層
25 ：ウマモチ北西断層
26 ：対馬海盆南方断層
27 ：長門はるか沖断層
28 ：対馬北東沖断層

（西部）
29-1 ：白島沖断層帯（北部区間）
29-2 ：白島沖断層帯（南部区間）
30 ：沖ノ島近海断層
31-1 ：小呂島近海断層帯（北西沖区間）
31-2 ：小呂島近海断層帯（東方沖区間）
32 ：対馬東水道断層
33 ：対馬北方沖断層
34 ：対馬上県西方沖断層
35 ：対馬南方沖断層
36 ：七里ヶ曽根断層
37-1 ：第１五島堆断層帯（北部区間）
37-2 ：第１五島堆断層帯（中部区間）
37-3 ：第１五島堆断層帯（南部区間）

図２　日本海南西部（評価対象海域）における評価対象の海域活断層帯と海域の短い活断層の分布
図中の番号は下記の各断層帯区間に対応する。海域の短い活断層の記号は表２を参照。地形はGEBCO Compilation Group (2020)による。

（出典：日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）―九州地域・中国地域北方沖―）

資料８

避難所運営検討部会での検討結果について（報告）

山口県地震・津波防災対策検討委員会の下部組織として設置した「避難所運営検討部会」（部会内にワーキンググループ設置）において、次のとおり避難所運営に係る指針・ガイドラインの見直し等について検討した結果を報告します。

１　見直し等のポイント

（１）「避難所運営マニュアル策定のための基本指針」見直し
《市町が避難所の運営マニュアルを策定する上での基本指針》

避難所環境の改善の観点から、次の事項を**追記**

○スフィア基準に沿った運営（スペースの確保、トイレの数、入浴設備　等）
○簡易ベッド、パーティション等の備蓄及び開設当初からの設置
○冷暖房器具の整備、備蓄、協定等による確保

（２）「地域住民による自主的な避難所運営ガイドライン」見直し
《地域住民が避難所運営を行うためのガイドライン》

避難所環境の改善に加え、次の事項を**追記**

○多様な視点（女性、高齢者、障害者、妊産婦、外国人等）による運営・方針決定の重要性

（３）「広域避難調整・広域避難所運営マニュアル」作　成
《県と市が連携して広域避難を実施するためのマニュアル》

市町を越えて避難を行う「広域避難」について、新たに**作成**

○広域避難基本方針（実施要件、想定避難者、広域避難所の機能）
○広域避難所の候補施設（４箇所）
（下関武道館、維新公園、スポーツ交流村、萩ウェルネスパーク）

２　部会の状況等（主な意見と対応）

（１）第１回避難所運営検討部会（R7.6.9）

避難所運営検討部会ワーキンググループの設置、今後の方向性及びスケジュールについて意見交換し、対応方針を決定

（２）第１回避難所運営検討部会ワーキンググループ（R7.10.27）

○　基本方針について、学校体育館など空調設備が未整備の避難所が多い中、スポットクーラー等の資機材整備による支援を基本指針等に記載すべき。

→　施設の規模や設備に応じた空調資機材の協定等を含めた平時からの確保について、基本指針等へ反映した。

○　ガイドラインについて、車中泊の季節的リスクのみでなく、やむを得ず実施する車中泊避難者への支援方法に関する記述を設けるべきではないか

→　車中泊避難の実態を踏まえ、リスク情報とともに、配慮が必要な避難者への支援の考え方をガイドラインへ反映した。

○　広域避難について、避難者の既往症や服薬情報が十分に引き継がれず、本人の申告に頼らざるを得ない状況があったことから、情報共有の方法を検討すべきではないか。

→　今年度改修予定の被災者生活再建支援システムを活用し、避難先において既往歴や服薬状況等を共有できる体制の構築を図ることとしており、マニュアルにシステムの活用について記載した。

３　第２回避難所運営検討部会ワーキンググループ（R8.1.15）

○　広域避難について、実際の避難の流れを踏まえた実効性の検証を行うとともに、南海トラフ地震を見据えた具体的な二次避難先の検討が必要ではないか。

→　来年度に広域避難訓練を実施し、マニュアルの実効性を検証するとともに、二次避難先の確保に向けた検討を進める。

○　ガイドラインについて、住民が取り組みやすいよう、レイアウト検討・課題確認・物品準備・訓練といった具体的なプロセスを記載してはどうか。

→　住民が具体的なイメージを持って取り組めるよう、来年度、モデル避難所マニュアルを作成し、作成過程とあわせて事例集として取り纏めることを予定している。

４　第２回避難所運営検討部会（R8.2.26）

基本指針等の最終案の検討を実施。当部会での意見を踏まえ、軽微な修正を行い、３月下旬に公表。